

SETSUNAN UNIVERSITY
SYLLABUS

2015 外国語学部 授業
計画
外国語学科

II

外 国 語 学 部

(学部略号：L)

Faculty of Foreign Studies

外国語学科

(学科略号：L)

Department of Foreign Studies

外国語学部 教育目標

外国語学部外国語学科は、外国語と日本語によるコミュニケーション能力および異文化と日本の文化に対する理解を涵養し、人間力・実践力・統合力を身につけた、異文化接触の現場で活躍できる知的専門職業人を養成することを目的とする。

※**外国語学部 外国語学科Ⅱ**に掲載されているのは、目次:P. 1～P. 14、
専門科目：P. 525～P. 1064 になります。

専門科目:P. 15～P. 524 は**Ⅰ**に、基礎科目:P. 1065～P. 1108、教養科目：
P. 1109～P. 1183、キャリア形成:P. 1185～P. 1204、教職科目：P. 1205
～P. 1245 は**Ⅲ**に掲載されております。

授 業 計 画

科目名	担当者	ページ
ア		
アカデミック スタディーズ	スコット ライリー	17
アジア文化論	森田 良成	18
アドバンスト イングリッシュ a	後藤 一章	19
アドバンスト イングリッシュ a	ジェフリー ベル	21
アドバンスト イングリッシュ a	中島 直嗣	23
アドバンスト イングリッシュ a	皆本 智美	25
アドバンスト イングリッシュ a	サラー マイケル	26
アドバンスト イングリッシュ a	マーティン オイクル	28
アドバンスト イングリッシュ b	後藤 一章	30
アドバンスト イングリッシュ b	ジェフリー ベル	32
アドバンスト イングリッシュ b	中島 直嗣	34
アドバンスト イングリッシュ b	皆本 智美	36
アドバンスト イングリッシュ b	サラー マイケル	37
アドバンスト イングリッシュ b	マーティン オイクル	39
アドバンスト ライティング a	齋藤 安以子	41
アドバンスト ライティング a	西川 眞由美	42
アドバンスト ライティング a	ショーン マクガバン	43
アドバンスト ライティング a	天野 貴史	44
アドバンスト ライティング a	ダニエル マリンズ	45
アドバンスト ライティング b	齋藤 安以子	46
アドバンスト ライティング b	西川 眞由美	47
アドバンスト ライティング b	ショーン マクガバン	48
アドバンスト ライティング b	天野 貴史	49
アドバンスト ライティング b	ダニエル マリンズ	50
アメリカ史学	林田 敏子	51
アメリカ文化論	大原関 一 浩	52

科目名	担当者	ページ
イ		
異文化接触論	篠原 愛人	53
イングリッシュ プレゼンテーション I b	ブラッドリー パークス	54
イングリッシュ プレゼンテーション I b	ニール カー	55
イングリッシュ プレゼンテーション I b	マシュー ケーパー	56
イングリッシュ プレゼンテーション I b	ダニエル マリンズ	57
イングリッシュ プレゼンテーション I b	マーティン オイクル	58
イングリッシュ プレゼンテーション I b	マイケル ハーキー	59
イングリッシュ プレゼンテーション II a	ジョン カール	60
イングリッシュ プレゼンテーション II a	スコット ライリー	61
イングリッシュ プレゼンテーション II a	崎 ミチアン	62
イングリッシュ プレゼンテーション II a	マーティン オイクル	64
イングリッシュ プレゼンテーション II a	家口 美智子	65
イングリッシュ プレゼンテーション II a	サラー マイケル	66
イングリッシュ プレゼンテーション II b	崎 ミチアン	67
イングリッシュ プレゼンテーション II b	ジョン カール	68
イングリッシュ プレゼンテーション II b	スコット ライリー	69
イングリッシュ プレゼンテーション II b	齋藤 安以子	70
イングリッシュ プレゼンテーション II b	ニール カー	71
イングリッシュ プレゼンテーション II b	スミザーズ 理恵	72
English Language Teaching	齋藤 安以子	73
インターンシップ I	西川 眞由美	1111
インターンシップ I	石井 三 恵	1112

科目名	担当者	ページ
インターンシップ II	西川 眞由美	1113
インターンシップ II	石井 三 恵	1114
インドネシア・マレー語圏概論	森田 良成	74
インドネシア・マレー語圏近現代史	森田 良成	75
インドネシア・マレー語圏の諸言語	山口 眞佐夫	76
インドネシア・マレー社会論	上田 達	77
インドネシア語 I a	山口 眞佐夫	78
インドネシア語 I b	山口 眞佐夫	79
インドネシア語 II a	浦野 崇 央	80
インドネシア語 II b	浦野 崇 央	81
インドネシア語 III a	大坪 紀子	82
インドネシア語 III b	大坪 紀子	83
インドネシア語 IV a	エニ レスタリ	84
インドネシア語 IV b	エニ レスタリ	85
インドネシア語 コムニカシ I a	エニ レスタリ	86
インドネシア語 コムニカシ I b	エニ レスタリ	87
インドネシア語 コムニカシ II a (1)	大坪 紀子	88
インドネシア語 コムニカシ II a (2)	エニ レスタリ	90
インドネシア語 コムニカシ II b (1)	大坪 紀子	91
インドネシア語 コムニカシ II b (2)	エニ レスタリ	93
インドネシア語 コムニカシ III a	デウィ クスリニ	94
インドネシア語 コムニカシ III b	デウィ クスリニ	96
インドネシア語 コムニカシ IV a	エニ レスタリ	97
インドネシア語 コムニカシ IV b	エニ レスタリ	98
インドネシア語入門 a (1)	山口 眞佐夫	99
インドネシア語入門 a (2)	浦野 崇 央	100
インドネシア語入門 a (3)	大坪 紀子	101
インドネシア語入門 b (1)	山口 眞佐夫	102
インドネシア語入門 b (2)	浦野 崇 央	103
インドネシア語入門 b (3)	大坪 紀子	104
インドネシア語表現法	山口 玲子	105
インドネシア語表現法 a	山口 玲子	106
インドネシア語ボキャブラリー a	山口 玲子	107
インドネシア語ボキャブラリー b	大坪 紀子	108
インドネシアトピックス	エニ レスタリ	109

科目名	担当者	ページ
エ		
エアラインビジネス論 I	坂下 正 憲	110
エアラインビジネス論 II	坂下 正 憲	112
映画のスペイン語 I	梶原 三 佳	114
映画のスペイン語 I	サトウ せつ子	115
映画のスペイン語 II	梶原 三 佳	116
映画のスペイン語 II	サトウ せつ子	117
映画のスペイン語 III	ヒセレ ラサロ	118
映画のスペイン語 IV	ヒセレ ラサロ	119
英語 I	高橋 章 夫	1067
英語 I	本 多 善	1068
英語 I	田浦 アマンダ	1069
英語 I	ショーン マクガバン	1070
英語 I	國友 万 裕	1071
英語 I	東野 厚 子	1072
英語 I	マイケル ハーキー	1073

科目名	担当者	ページ
英語Ⅰ	小川 一美	1074
英語Ⅱ	田浦 アマンダ	1075
英語Ⅱ	マイケル ハーキー	1076
英語Ⅱ	ジョン マクガバン	1077
英語Ⅱ	高橋 章夫	1078
英語Ⅱ	小川 一美	1079
英語Ⅱ	高橋 章夫	1080
英語Ⅱ	マイケル ハーキー	1081
英語Ⅱ	國友 万裕	1082
英語科教育法Ⅰ	家口 美智子	1207
英語科教育法Ⅱ	齋藤 安以子	1208
英語科教育法Ⅲ	齋藤 安以子	1210
英語科教育法Ⅳ	家口 美智子	1212
英語学Ⅰ	家口 美智子	120
英語学Ⅱ	後藤 一章	121
英語学Ⅱ	西川 眞由美	122
英語学Ⅲ	田中 秀毅	124
英語学概論	家口 美智子	125
英語圏概論（北米・ヨーロッパ）	吉村 征洋	126
英語圏概論（北米・ヨーロッパ）	マイケル ハーキー	127
英語圏概論	吉村 征洋	128
英語圏概論	マイケル ハーキー	129
英語で学ぶ工学入門（ものづくり編）	森脇 俊道	1116
映像中国語 a	中西 正樹	130
映像中国語 b	中西 正樹	131
英米文学史	天野 貴史	133
英米文学	皆本 智美	134
エリアスタディーズ（アフリカ）	伊東 未来	135
エリアスタディーズ（オセアニア）	木本 浩一	136
エリアスタディーズ（北アメリカ）	大原 一浩	138
エリアスタディーズ（東南アジア）	原 秀禎	139
エリアスタディーズ（日本）	赤澤 春彦	140
エリアスタディーズ（東アジア）	瀬戸 宏 北島 由紀子	141
エリアスタディーズ（ヨーロッパ）	林田 敏子	142
エリアスタディーズ（ラテンアメリカ）	北條 ゆかり	143
エンプロイメントデザインⅠ	石井 三恵	1187

オ

オーラル コミュニケーションⅠ a	スコット ライリー	144
オーラル コミュニケーションⅠ a	ジョセフ シウンシ	146
オーラル コミュニケーションⅠ a	アーサー ロングス	147
オーラル コミュニケーションⅠ a	アイビス ウィリアム	148
オーラル コミュニケーションⅠ a	田浦 アマンダ	149
オーラル コミュニケーションⅠ a	神崎 舞	150
オーラル コミュニケーションⅠ a	小池 正平	151
オーラル コミュニケーションⅠ a	内山 知美	152
オーラル コミュニケーションⅠ a	勿士ファー ジョンソン	153
オーラル コミュニケーションⅠ a	ロナルド メイソン	154
オーラル コミュニケーションⅠ a	松浦 茂寿	155
オーラル コミュニケーションⅠ a	オーエン クロー	156
オーラル コミュニケーションⅠ a	田中 秀毅	157

科目名	担当者	ページ
オーラル コミュニケーションⅠ a	アレン ニール	159
オーラル コミュニケーションⅠ b	スコット ライリー	160
オーラル コミュニケーションⅠ b	ジョセフ シウンシ	162
オーラル コミュニケーションⅠ b	アーサー ロングス	163
オーラル コミュニケーションⅠ b	アイビス ウィリアム	164
オーラル コミュニケーションⅠ b	田浦 アマンダ	165
オーラル コミュニケーションⅠ b	神崎 舞	166
オーラル コミュニケーションⅠ b	小池 正平	167
オーラル コミュニケーションⅠ b	内山 知美	168
オーラル コミュニケーションⅠ b	勿士ファー ジョンソン	169
オーラル コミュニケーションⅠ b	ロナルド メイソン	170
オーラル コミュニケーションⅠ b	松浦 茂寿	171
オーラル コミュニケーションⅠ b	オーエン クロー	172
オーラル コミュニケーションⅠ b	田中 秀毅	173
オーラル コミュニケーションⅠ b	アレン ニール	174
オーラル コミュニケーションⅡ a	ステイブ トムシェフスキー	175
オーラル コミュニケーションⅡ b	ステイブ トムシェフスキー	177
音声学	中島 直嗣	179

カ

海外インターンシップ	岩間 香	180
海外実習	田中 秀毅	181
海外実習	兪 鳴蒙	182
海外実習	篠原 愛人	183
海外実習	北條 ゆかり	184
海外実習	上田 達	185
海外留学事前演習	田浦 アマンダ	186
海外留学事前演習	兪 鳴蒙	188
海外ワークキャンプ	浅野 英一	189
カレント イングリッシュ a	皆本 智美	190
カレント イングリッシュ a	吉村 征洋	191
カレント イングリッシュ a	松田 早恵	192
カレント イングリッシュ a	大神 雄一郎	193
カレント イングリッシュ a	サトラー マイケル	194
カレント イングリッシュ a	ニール カー	196
カレント イングリッシュ a	ジェフリー ベル	197
カレント イングリッシュ b	皆本 智美	198
カレント イングリッシュ b	吉村 征洋	199
カレント イングリッシュ b	松田 早恵	200
カレント イングリッシュ b	大神 雄一郎	201
カレント イングリッシュ b	サトラー マイケル	202
カレント イングリッシュ b	ニール カー	204
カレント イングリッシュ b	ジェフリー ベル	205
環境学	木本 浩一	1117
韓国語Ⅰ a	沈 明姫	206
韓国語Ⅰ b	周 相勳	207
韓国語Ⅱ a	沈 明姫	208
韓国語Ⅱ b	千 英子	209
韓国語Ⅲ a	北島 由紀子	210
韓国語Ⅲ b	北島 由紀子	211
韓国語Ⅳ a	千 英子	212
韓国語Ⅳ b	千 英子	213

科目名	担当者	ページ
歓待の哲学	森 本 誠 一	214
キ		
基礎演習 I	天 野 貴 史 西 川 眞由美 住 吉 誠	216
基礎演習 I	田 中 健 二 鳥 居 祐 介 家 口 美智子	217
基礎演習 I	住 吉 誠 田 浦 アマンダ 西 川 眞由美	218
基礎演習 I	田 浦 アマンダ 田 中 秀 毅 天 野 貴 史	219
基礎演習 I	ショーン マクガバン 田 中 秀 毅 鳥 居 祐 介	220
基礎演習 I	田 中 健 二 家 口 美智子 ショーン マクガバン	221
基礎演習 I	瀬 戸 宏 兪 鳴 蒙 中 西 正 樹	222
基礎演習 I	篠 原 愛 人	223
基礎演習 I	北 條 ゆかり	224
基礎演習 I	上 田 達 山 口 眞佐夫 浦 野 崇 央	225
基礎演習 I	浅 野 英 一 門 脇 薫	226
基礎演習 I	赤 澤 春 彦 岩 間 香	227
基礎演習 I	大原関 一 浩 マイケル ハーキー 吉 村 征 洋	228
基礎演習 I	神 崎 舞 後 藤 一 章 中 島 直 嗣	229
基礎演習 I	中 島 直 嗣 吉 村 征 洋 神 崎 舞	230
基礎演習 I	松 田 早 恵 皆 本 智 美 大原関 一 浩	231
基礎演習 I	大原関 一 浩 マイケル ハーキー 松 田 早 恵	232
基礎演習 I	神 崎 舞 後 藤 一 章 皆 本 智 美	233
基礎演習 I	小 川 豊 生	234

科目名	担当者	ページ
	木 本 浩 一	
基礎演習 II	住 吉 誠 西 川 眞由美 天 野 貴 史	235
基礎演習 II	鳥 居 祐 介 家 口 美智子 田 中 健 二	236
基礎演習 II	住 吉 誠 西 川 眞由美 田 浦 アマンダ	237
基礎演習 II	天 野 貴 史 田 浦 アマンダ 田 中 秀 毅	238
基礎演習 II	田 中 秀 毅 鳥 居 祐 介 ショーン マクガバン	239
基礎演習 II	ショーン マクガバン 田 中 健 二 家 口 美智子	240
基礎演習 II	瀬 戸 宏 兪 鳴 蒙 中 西 正 樹	241
基礎演習 II	北 條 ゆかり	242
基礎演習 II	篠 原 愛 人	243
基礎演習 II	山 口 眞佐夫	244
基礎演習 II	有 馬 善 一 橋 本 正 俊	245
基礎演習 II	有 馬 善 一 林 田 敏 子	246
基礎演習 II	マイケル ハーキー 吉 村 征 洋 大原関 一 浩	247
基礎演習 II	神 崎 舞 中 島 直 嗣 後 藤 一 章	248
基礎演習 II	神 崎 舞 吉 村 征 洋 中 島 直 嗣	249
基礎演習 II	大原関 一 浩 皆 本 智 美 松 田 早 恵	250
基礎演習 II	大原関 一 浩 松 田 早 恵 マイケル ハーキー	251
基礎演習 II	後 藤 一 章 皆 本 智 美 神 崎 舞	252
基礎演習 II	小 川 豊 生 橋 本 正 俊	253
基礎教養演習 I a	橋 本 正 俊	254
基礎教養演習 I b	門 脇 薫	255
基礎教養演習 II a	澤 野 加 奈	256

科目名	担当者	ページ
基礎教養演習Ⅱ a	山 口 尚	257
基礎教養演習Ⅱ a	木 宮 正 裕	258
基礎教養演習Ⅱ b	丹 下 暖 子	259
基礎教養演習Ⅱ b	澤 野 加 奈	260
基礎教養演習Ⅱ b	山 口 尚	261
基礎ゼミナール	天 野 貴 史	262
基礎ゼミナール	有 馬 善 一	263
基礎ゼミナール	上 田 達	264
基礎ゼミナール	瀬 戸 宏	265
基礎ゼミナール	田 中 健 二	266
基礎ゼミナール	鳥 居 祐 介	267
基礎ゼミナール	西 川 眞由美	268
基礎ゼミナール	家 口 美智子	269
基礎ゼミナール	木 本 浩 一	270
基礎ゼミナール	浅 野 英 一	271
基礎ゼミナール	門 脇 薫	272
基礎ゼミナール	後 藤 一 章	273
基礎ゼミナール	齋 藤 安以子	274
基礎ゼミナール	中 島 直 嗣	275
基礎ゼミナール	原 秀 禎	276
基礎ゼミナール	皆 本 智 美	277
基礎ゼミナール	神 崎 舞	278
基礎ゼミナール	木 本 浩 一	279
基礎マレー語 a	上 田 達	280
基礎マレー語 b	上 田 達	281
北河内学－摂南大学と北河内を知る－	尾 山 廣	1119
キャリアデザイン	石 井 三 恵	1189
キャリアプランニング	中 島 直 嗣 家 口 美智子	1191
キャリアプランニング	浅 野 英 一 鳥 居 祐 介	1192
キャリアプランニング	住 吉 誠 後 藤 一 章	1193
キャリアプランニング	中 西 正 樹	1194
キャリアプランニング	天 野 貴 史 林 田 敏 子	1195
キャリアプランニング	赤 澤 春 彦 松 田 早 恵	1196
キャリアプランニング	田浦 アマンダ	
教育課程論	大 野 順 子	1213
教育経営論	朝 日 素 明	1215
教育原理	小 山 裕 樹	1217
教育原理	小 山 裕 樹	1219
教育実習Ⅰ	大 野 順 子	1221
教育実習Ⅱ	吉 田 佐治子	1223
教育実習Ⅲ	吉 田 佐治子	1224
教職実践演習(中・高)	吉 田 佐治子	1225
教育社会学	大 野 順 子	1227
教育心理学	吉 田 佐治子	1229
教育相談	吉 田 佐治子	1230
教育方法論	林 茂 樹	1231
教師論	朝 日 素 明	1233

科目名	担当者	ページ
ク		
暮らしの中の文化	木 本 浩 一	282
グラマー	西 美都子	284
Global Issues	大原関 一 浩	285
ケ		
経済学入門	後 藤 和 子	1121
芸術論	岩 間 香	1122
芸能と文化	岩 間 香	286
芸能文化論	岩 間 香	287
健康科学	藤 林 真 美	1123
健康論	河 瀬 泰 治	1125
言語学	山 口 真佐夫	288
現代学術論	鳥 田 喜 行	289
現代社会と法	小 野 晃 正	1126
現代社会論	浦 野 崇 央	290
現代中国論	大 西 紀	292
現代東南アジア論	森 田 良 成	293
現代文化論	小 川 豊 生	294
現代ラテンアメリカ論	北 條 ゆかり	295
コ		
国際関係の基礎理解	黒 田 賢 治	296
国際機構論	浅 野 英 一	298
国際協力論	浅 野 英 一	299
国際貢献実習演習	浅 野 英 一	300
国際文化概論(アジア)	中 西 正 樹	301
国際文化概論Ⅰ	有 馬 善 一	302
国際文化概論Ⅱ	赤 澤 春 彦	303
国際平和論	濱 良 祐	304
国際ボランティア論	浅 野 英 一	306
シ		
視覚芸術論	中 川 馨	307
時事インドネシア・マレー語 a	上 田 達	308
時事インドネシア・マレー語 b	浦 野 崇 央	310
思想と文化	小 川 豊 生	312
実践インドネシア・マレー語 a	大 坪 紀 子	313
実践インドネシア・マレー語 b	上 田 達	314
社会と人権	有 馬 善 一 林 田 敏 子 松 島 裕 一	1128
就職実践基礎	亀 田 峻 宣	1130
就職実践基礎	西 座 由 紀	1131
就職実践基礎	橋 本 朗 子	1132
就職実践基礎	松 田 剛 典	1133
就職実践基礎	西 座 由 紀	1134
就職実践基礎	亀 田 峻 宣	1135
生涯学習概論	橋 本 孝 成	315
生涯学習論	橋 本 孝 成	316
上級検定インドネシア語	山 口 玲 子	317

科目名	担当者	ページ
情報処理 I	星 山 幸 子	1083
情報処理 I	藤 木 健 史	1084
情報処理 I	星 山 幸 子	1085
情報処理 I	藤 木 健 史	1086
情報処理 II	星 山 幸 子	1087
情報処理 II	藤 木 健 史	1088
情報処理 II	星 山 幸 子	1089
情報処理 II	藤 木 健 史	1090
初級検定インドネシア語	山 口 玲 子	318
食品機能学	青 笹 治	1136
初年次ゼミナール	赤 澤 春 彦	319
初年次ゼミナール	浅 野 英 一	320
初年次ゼミナール	浦 野 崇 央	321
初年次ゼミナール	門 脇 薫	322
初年次ゼミナール	住 吉 誠	323
初年次ゼミナール	田 中 秀 毅	324
初年次ゼミナール	中 西 正 樹	325
初年次ゼミナール	山 口 真 佐 夫	326
初年次ゼミナール	神 崎 舞	327
初年次ゼミナール	有 馬 善 一	328
初年次ゼミナール	小 川 豊 生	329
初年次ゼミナール	橋 本 正 俊	330
初年次ゼミナール	林 田 敏 子	331
初年次ゼミナール	原 秀 禎	332
初年次ゼミナール	松 田 早 恵	333
初年次ゼミナール	吉 村 征 洋	334
初年次ゼミナール	大 原 関 一 浩	335
初年次ゼミナール	木 本 浩 一	336

ス

数学	小 林 俊 公	1138
スキルズ トレーニング I a	スコット ライリー	337
スキルズ トレーニング I b	スコット ライリー	339
スキルズ トレーニング II a	ブルース ライリー	341
スキルズ トレーニング II b	ブルース ライリー	342
スキルズ トレーニング a	鳥 居 祐 介	343
スキルズ トレーニング a	松 田 早 恵	345
スキルズ トレーニング a	田 中 秀 毅	347
スキルズ トレーニング a	神 崎 舞	349
スキルズ トレーニング a	後 藤 一 章	351
スキルズ トレーニング b	吉 村 征 洋	353
スキルズ トレーニング b	後 藤 一 章	355
スキルズ トレーニング b	鳥 居 祐 介	357
スキルズ トレーニング b	松 田 早 恵	359
スキルズ トレーニング b	神 崎 舞	361
スキルズ トレーニング b	田 中 秀 毅	363
スピーキング I a	ジェーン パーマンター	365
スピーキング I b	ジェーン パーマンター	367
スピーキング II a	田浦 アマンダ	369
スピーキング II a	勿 寿 夫 一 浩	371
スピーキング II a	オーエン クロー	372
スピーキング II a	アレン ニール	373

科目名	担当者	ページ
スピーキング II a	アーサー ロングソン	374
スピーキング II a	小 池 正 平	375
スピーキング II a	江 戸 智 美	376
スピーキング II a	ロナルド メインソン	377
スピーキング II a	内 山 知 美	378
スピーキング II a	松 浦 茂 寿	379
スピーキング II a	ジョセフ シウンシ	380
スピーキング II a	神 崎 舞	381
スピーキング II a	アイビス ウイリアム	382
スピーキング II a	マシュー ケーパー	383
スピーキング II b	田浦 アマンダ	384
スピーキング II b	勿 寿 夫 一 浩	385
スピーキング II b	オーエン クロー	386
スピーキング II b	アレン ニール	387
スピーキング II b	アーサー ロングソン	388
スピーキング II b	小 池 正 平	389
スピーキング II b	江 戸 智 美	390
スピーキング II b	ロナルド メインソン	391
スピーキング II b	内 山 知 美	392
スピーキング II b	松 浦 茂 寿	393
スピーキング II b	ジョセフ シウンシ	394
スピーキング II b	神 崎 舞	395
スピーキング II b	アイビス ウイリアム	396
スピーキング II b	マシュー ケーパー	397
スピーキング&ライティング I a	マイケル ハーキー	398
スピーキング&ライティング I a	ダニエル マリンズ	400
スピーキング&ライティング I a	グラント パーミンハム	402
スピーキング&ライティング I a	アレン ニール	404
スピーキング&ライティング I a	ニール カー	406
スピーキング&ライティング I a	ブラッドリー パークス	408
スピーキング&ライティング I a	スコット ライリー	410
スピーキング&ライティング I a	マーティン オイクル	412
スピーキング&ライティング I a	ジェーン パーマンター	414
スピーキング&ライティング I a	ショーン マクガバン	416
スピーキング&ライティング I b	マイケル ハーキー	418
スピーキング&ライティング I b	ブラッドリー パークス	420
スピーキング&ライティング I b	スコット ライリー	422
スピーキング&ライティング I b	マーティン オイクル	424
スピーキング&ライティング I b	ショーン マクガバン	426
スピーキング&ライティング I b	ニール カー	428
スピーキング&ライティング I b	グラント パーミンハム	430
スピーキング&ライティング I b	アレン ニール	432
スピーキング&ライティング I b	ジェーン パーマンター	434
スピーキング&ライティング I b	ジェフリー ベル	436
スピーキング&ライティング I b	ジョセフ シウンシ	438
スピーキング&ライティング I b	ダニエル マリンズ	440
スペイン語 I a	宮多良 デイスネル	442
スペイン語 I b	宮多良 デイスネル	443
スペイン語 II a	マツダイラ キーメル	444
スペイン語 II b	マツダイラ キーメル	445
スペイン語 III a	森 川 香 織	446
スペイン語 III a	ヒセレ ラサロ	447

科目名	担当者	ページ
スペイン語Ⅲb	ヒセレ ラサロ	448
スペイン語Ⅲb	森 川 香 織	449
スペイン語Ⅳa	マツダイラ キーメル	450
スペイン語Ⅳa	サバセ ダニエル	451
スペイン語Ⅳb	マツダイラ キーメル	452
スペイン語Ⅳb	サバセ ダニエル	453
スペイン語応用Ⅰ	磯 野 吉 美	454
スペイン語応用Ⅱ	磯 野 吉 美	455
スペイン語オラルⅡA	オラシオ ゴメス	456
スペイン語オラルⅡA	ヒセレ ラサロ	457
スペイン語オラルⅡB	宮多良 ディスネル	458
スペイン語オラルⅠ	オラシオ ゴメス	459
スペイン語オラルⅠ	ヒセレ ラサロ	460
スペイン語オラルⅡ	オラシオ ゴメス	461
スペイン語オラルⅡ	ヒセレ ラサロ	462
スペイン語オラルⅠA	オラシオ ゴメス	463
スペイン語オラルⅠA	ヒセレ ラサロ	464
スペイン語オラルⅠB	宮多良 ディスネル	465
スペイン語オラルⅢA	オラシオ ゴメス	466
スペイン語オラルⅢA	宮多良 ディスネル	467
スペイン語オラルⅢA	岡 あゆみ	468
スペイン語オラルⅢB	穂 原 三 佳	469
スペイン語オラルⅢB	マツダイラ キーメル	470
スペイン語オラルⅢB	サバセ ダニエル	471
スペイン語オラルⅣA	オラシオ ゴメス	472
スペイン語オラルⅣA	宮多良 ディスネル	473
スペイン語オラルⅣA	岡 あゆみ	474
スペイン語オラルⅣB	穂 原 三 佳	475
スペイン語オラルⅣB	マツダイラ キーメル	476
スペイン語オラルⅣB	サバセ ダニエル	477
スペイン語オラルⅤ	宮多良 ディスネル	478
スペイン語オラルⅥ	宮多良 ディスネル	479
スペイン語オラルⅦ	オラシオ ゴメス	480
スペイン語オラルⅧ	オラシオ ゴメス	481
スペイン語学	三 浦 知佐子	482
スペイン語基礎A	北 條 ゆかり	483
スペイン語基礎A	森 川 香 織	484
スペイン語基礎B	篠 原 愛 人	485
スペイン語基礎B	岡 あゆみ	486
スペイン語基礎C	穂 原 三 佳	487
スペイン語基礎C	酒 井 真梨奈	488
スペイン語圏概論	篠 原 愛 人	489
スペイン語圏トピックスⅠ	宮多良 ディスネル	490
スペイン語圏トピックスⅡ	三 浦 知佐子	491
スペイン語圏トピックスⅢ	林 安紀子	492
スペイン語圏トピックスⅣ	林 安紀子	493
スペイン語圏の芸術	オラシオ ゴメス	494
スペイン語講読Ⅰ	三 浦 知佐子	495
スペイン語講読Ⅰ	宮多良 ディスネル	496
スペイン語講読Ⅱ	宮多良 ディスネル	497
スペイン語講読Ⅱ	三 浦 知佐子	498
スペイン語通訳ガイドⅠ	篠 原 愛 人	499

科目名	担当者	ページ
スペイン語通訳ガイドⅡ	篠 原 愛 人	500
スペイン語入門A	北 條 ゆかり	501
スペイン語入門A	森 川 香 織	502
スペイン語入門B	篠 原 愛 人	503
スペイン語入門B	岡 あゆみ	504
スペイン語入門C	穂 原 三 佳	505
スペイン語入門C	酒 井 真梨奈	506
スペイン語文章構成Ⅰ	北 條 ゆかり	507
スペイン語文章構成Ⅰ	林 安紀子	508
スペイン語文章構成Ⅱ	北 條 ゆかり	509
スペイン語文章構成Ⅱ	林 安紀子	510
スペイン語文章構成Ⅲ	磯 野 吉 美	511
スペイン語文章構成Ⅳ	磯 野 吉 美	512
スペイン語翻訳	森 川 香 織	513
スペインの社会と文化	磯 野 吉 美	515
スペインの文化	磯 野 吉 美	516
スペシャリストインドネシア・マレー語	上 田 達 山 口 真佐夫	517
スポーツ科学実習Ⅰ	横 山 喬 之 川 野 裕姫子	1091
スポーツ科学実習Ⅰ	横 山 喬 之 川 野 裕姫子	1092
スポーツ科学実習Ⅱ	横 山 喬 之 川 野 裕姫子	1093
スポーツ科学実習Ⅱ	横 山 喬 之 川 野 裕姫子	1094
住まいとデザイン	平 田 陽 子	1139

セ

生活思想論	木 本 浩 一	518
生活のなかの数学	小 林 俊 公	1141
青少年育成ファシリテーター養成講座	浅 野 英 一	1142
生徒指導論	朝 日 素 明	1235
生命と物質	松 浦 哲 郎	1143
世界の宗教	村 上 司 樹	520
世界の政治	椿 原 敦 子	1145
世界の地理	高 崎 章 裕	521
世界の文化の比較	村 上 司 樹	523
世界の歴史	林 田 敏 子	524
専門日本語FⅠ	中 岡 樹 里	1095
専門日本語FⅡ	中 岡 樹 里	1096

ソ

総合インドネシア語a(Ⅰ)	浦 野 崇 央	525
総合インドネシア語a(Ⅱ)	山 口 玲 子	526
総合インドネシア語b(Ⅰ)	浦 野 崇 央	527
総合インドネシア語b(Ⅱ)	山 口 玲 子	528
総合スペイン語Ⅰ	磯 野 吉 美	529
総合スペイン語Ⅱ	磯 野 吉 美	530
総合スペイン語ⅢA	北 條 ゆかり	531
総合スペイン語ⅢA	森 川 香 織	532
総合スペイン語ⅢB	岡 あゆみ	533

科目名	担当者	ページ
総合スペイン語ⅢB	篠原 愛人	534
総合中国語 a	段 飛虹	535
総合中国語 a	瀬戸 宏	536
総合中国語 b	段 飛虹	537
総合中国語 b	瀬戸 宏	538
総合マレー語 a	上田 達	539
総合マレー語 b	上田 達	540
卒業研究	小川 豊生	541
卒業研究 I	赤澤 春彦	542
卒業研究 I	浅野 英一	543
卒業研究 I	天野 貴史	544
卒業研究 I	岩間 香	545
卒業研究 I	上田 達	546
卒業研究 I	浦野 崇央	547
卒業研究 I	小川 豊生	548
卒業研究 I	門脇 薫	549
卒業研究 I	後藤 一章	550
卒業研究 I	齋藤 安以子	551
卒業研究 I	篠原 愛人	552
卒業研究 I	ション マクガバン	553
卒業研究 I	住吉 誠	554
卒業研究 I	瀬戸 宏	555
卒業研究 I	田浦 アマンダ	556
卒業研究 I	田中 健二	557
卒業研究 I	田中 秀毅	558
卒業研究 I	鳥居 祐介	559
卒業研究 I	中島 直嗣	560
卒業研究 I	中西 正樹	561
卒業研究 I	西川 眞由美	562
卒業研究 I	橋本 正俊	563
卒業研究 I	林田 敏子	564
卒業研究 I	原 秀禎	565
卒業研究 I	北條 ゆかり	566
卒業研究 I	マイケル ハーキー	567
卒業研究 I	松田 早恵	568
卒業研究 I	皆本 智美	569
卒業研究 I	家口 美智子	570
卒業研究 I	兪 鳴蒙	571
卒業研究 I	吉村 征洋	572
卒業研究 II	赤澤 春彦	573
卒業研究 II	浅野 英一	574
卒業研究 II	天野 貴史	575
卒業研究 II	岩間 香	576
卒業研究 II	上田 達	577
卒業研究 II	浦野 崇央	578
卒業研究 II	小川 豊生	579
卒業研究 II	門脇 薫	580
卒業研究 II	後藤 一章	581
卒業研究 II	齋藤 安以子	582
卒業研究 II	篠原 愛人	583
卒業研究 II	ション マクガバン	584
卒業研究 II	住吉 誠	585

科目名	担当者	ページ
卒業研究 II	瀬戸 宏	586
卒業研究 II	田浦 アマンダ	587
卒業研究 II	田中 健二	588
卒業研究 II	田中 秀毅	589
卒業研究 II	鳥居 祐介	590
卒業研究 II	中島 直嗣	591
卒業研究 II	中西 正樹	592
卒業研究 II	西川 眞由美	593
卒業研究 II	橋本 正俊	594
卒業研究 II	林田 敏子	595
卒業研究 II	原 秀禎	596
卒業研究 II	北條 ゆかり	597
卒業研究 II	マイケル ハーキー	598
卒業研究 II	松田 早恵	599
卒業研究 II	皆本 智美	600
卒業研究 II	家口 美智子	601
卒業研究 II	兪 鳴蒙	602
卒業研究 II	吉村 征洋	603

夕

体験型特別実習 B	中西 正樹	604
大衆文化論	森本 誠一	605
ダイバーシティとコミュニケーション	石井 三恵	1146
旅と観光の地理	原 秀禎	607
旅の文学	小川 豊生	608
多文化の共生	木本 浩一	610

チ

地域研究論	森田 良成	612
地域連携教育活動 I	浅野 英一	1147
地域連携教育活動 II	浅野 英一	1148
チームビルディング	水野 武	1149
中級検定インドネシア語	山口 玲子	613
中国経済論	郭 進	614
中国語 I a	今中 崇文	615
中国語 I b	今中 崇文	616
中国語 II a	兪 鳴蒙	617
中国語 II b	欒 玉璽	618
中国語 III a	欒 玉璽	619
中国語 III a	曹 櫻	620
中国語 III b	欒 玉璽	621
中国語 III b	曹 櫻	622
中国語 IV a	孫 輝	623
中国語 IV b	孫 輝	624
中国語 L L I a	兪 鳴蒙	625
中国語 L L I b	兪 鳴蒙	626
中国語 L L II a	中西 正樹	627
中国語 L L II b	瀬戸 宏	628
中国語科教育法 I	瀬戸 宏	1236
中国語科教育法 II	中西 正樹	1237
中国語科教育法 III	瀬戸 宏	1239
中国語科教育法 IV	中西 正樹	1241

科目名	担当者	ページ
中国語圏概論	中西正樹	629
中国語会話Ⅰ a	曹 櫻	630
中国語会話Ⅰ b	曹 櫻	631
中国語会話Ⅱ a	李 英杰	632
中国語会話Ⅱ b	李 英杰	633
中国語会話表現法Ⅰ a	曹 櫻	634
中国語会話表現法Ⅰ b	曹 櫻	635
中国語会話表現法Ⅱ a	李 英杰	636
中国語会話表現法Ⅱ b	李 英杰	638
中国語学Ⅰ	中西正樹	640
中国語学Ⅱ	俞 鳴蒙	641
中国語研究	俞 鳴蒙	642
中国語原書講読Ⅰ a	曹 櫻	643
中国語原書講読Ⅰ a	大西紀	644
中国語原書講読Ⅰ b	曹 櫻	645
中国語原書講読Ⅰ b	大西紀	646
中国語原書講読Ⅱ a	俞 鳴蒙	647
中国語原書講読Ⅱ b	俞 鳴蒙	648
中国語講読Ⅰ a	瀬戸宏	649
中国語講読Ⅰ b	瀬戸宏	650
中国語講読Ⅱ a	孫 輝	651
中国語講読Ⅱ b	孫 輝	652
中国語コミュニケーション a	李 英杰	653
中国語コミュニケーション a	欒 玉璽	655
中国語コミュニケーション b	李 英杰	657
中国語コミュニケーション b	欒 玉璽	658
中国語作文Ⅰ a	今中崇文	660
中国語作文Ⅰ b	今中崇文	661
中国語作文Ⅱ a	大西紀	662
中国語作文Ⅱ b	大西紀	663
中国語視聴専科 a	中西正樹	664
中国語視聴専科 b	中西正樹	665
中国語トピックス a	馮 艶	667
中国語トピックス b	馮 艶	668
中国語を書くⅠ a	今中崇文	669
中国語を書くⅠ b	今中崇文	670
中国語を聞くⅠ a	俞 鳴蒙	671
中国語を聞くⅠ b	俞 鳴蒙	672
中国語を話すⅠ a	曹 櫻	673
中国語を話すⅠ b	曹 櫻	674
中国語を読むⅠ a	瀬戸宏	675
中国語を読むⅠ b	瀬戸宏	676
中国史学	森川裕貫	677
中国地誌学	原 秀禎	678
中国文学	瀬戸宏	679

ツ

通訳・翻訳インドネシア・マレー語	山口真佐夫	680
ツーリズム論Ⅰ	坂下正憲	681
ツーリズム論Ⅱ	坂下正憲	683

科目名	担当者	ページ
テ		
ディスプレイ論	毛呂祐子	685
ディベート	ブライアン スレーター	686
ディベート	ニール カー	687
ディベート	マーティン オイクル	688
哲学から学ぶ	有馬善一	1150
ト		
統計学	星山幸子	1152
道德教育の研究	小山裕樹	1243
東南アジア史学	森田良成	689
東南アジア人類学	上田達	690
東南アジア地誌学	原 秀禎	692
東南アジア文化論	大坪紀子	693
特別活動の理論と方法	林 茂樹	1245
トピック スタディーズⅠ	西川真由美	695
トピック スタディーズⅠ	村上幸太郎	696
トピック スタディーズⅠ	サトラー マイケル	697
トピック スタディーズⅠ	マーティン オイクル	699
トピック スタディーズⅠ a	ブライアン スレーター	700
トピック スタディーズⅠ a	ジェフリー ベル	701
トピック スタディーズⅠ a	マイケル ハーキー	703
トピック スタディーズⅠ a	大原関一浩	704
トピック スタディーズⅠ b	西川真由美	705
トピック スタディーズⅠ b	村上幸太郎	706
トピック スタディーズⅠ b	サトラー マイケル	707
トピック スタディーズⅠ b	マーティン オイクル	709
トピック スタディーズⅡ	ブラッドリー パークス	710
トピック スタディーズⅡ	ショーン マクガバン	711
トピック スタディーズⅡ	マーティン オイクル	713
トピック スタディーズⅡ	ダニエル マリンズ	714
トピック スタディーズⅢ	村木美紀子	716
トピック スタディーズⅢ	松下乃垂	717
トピック スタディーズⅢ	松田早恵	719
トピック スタディーズⅢ	本多善	720
ドラマ	マーティン オイクル	721
ドラマ	ブラッドリー パークス	722
ドラマ	ダニエル マリンズ	724
ドラマ	マシュー クーパー	726
ドラマ	ニール カー	728
ドラマⅠ	マーティン オイクル	729
ドラマⅠ	ブラッドリー パークス	730
ドラマⅠ	ダニエル マリンズ	732
ドラマⅠ	マシュー クーパー	734
ドラマⅠ	ニール カー	736
ドラマⅡ	田浦アマンダ	737
ドラマⅡ	ブライアン スレーター	738
ドラマⅡ	ジョセフ シウンシ	740
ドラマⅡ	齋藤安以子	741
ドラマⅡ	吉村征洋	742
ドラマⅡ	ニール カー	743

科目名	担当者	ページ
トランスレーション トレーニング a	田 中 秀 毅	744
トランスレーション トレーニング a	瀧 川 宏 樹	746
トランスレーション トレーニング a	湊 由 妃 子	747
トランスレーション トレーニング a	田 中 健 二	749
トランスレーション トレーニング a	鈴 木 三 千 代	750
トランスレーション トレーニング b	田 中 秀 毅	751
トランスレーション トレーニング b	瀧 川 宏 樹	753
トランスレーション トレーニング b	湊 由 妃 子	754
トランスレーション トレーニング b	田 中 健 二	756
トランスレーション トレーニング b	鈴 木 三 千 代	757

二

日米関係論	有 馬 善 一	758
日米比較文化	鳥 居 祐 介	759
日米文化交流史	田 中 健 二	761
日中関係論	大 西 紀	762
日中観光文化と通訳法	中 西 正 樹	763
日中翻訳法 I a	李 英 杰	765
日中翻訳法 I b	李 英 杰	767
日中翻訳法 II a	李 英 杰	769
日中翻訳法 II a	馮 艷	771
日中翻訳法 II b	李 英 杰	773
日中翻訳法 II b	馮 艷	775
日本語会話 F I	高 井 美 穂	1097
日本語会話 F II	高 井 美 穂	1098
日本語学 I	橋 本 正 俊	777
日本語学 II	橋 本 正 俊	778
日本語学 IV	小 川 豊 生	779
日本語教育実習演習	門 脇 薫	780
日本語教育実習	門 脇 薫	781
日本語教授法 I	門 脇 薫	782
日本語教授法 II	藤 原 京 佳	783
日本語教授法 III	宮 崎 玲 子	784
日本国憲法	小 野 晃 正	1153
日本語史概説	橋 本 正 俊	785
日本語上級会話 F I	高 井 美 穂	1155
日本語上級会話 F II	高 井 美 穂	1156
日本語上級会話 I	高 井 美 穂	786
日本語上級会話 II	高 井 美 穂	787
日本語上級作文 F I	中 岡 樹 里	1157
日本語上級作文 F II	中 岡 樹 里	1158
日本語上級作文 I	中 岡 樹 里	788
日本語上級作文 II	中 岡 樹 里	789
日本語上級読解 F I	古 川 由 理 子	1159
日本語上級読解 F II	古 川 由 理 子	1160
日本語上級読解 I	古 川 由 理 子	790
日本語上級読解 II	古 川 由 理 子	791
日本語総合 F I	古 川 由 理 子	1099
日本語総合 F II	古 川 由 理 子	1100
日本語読解 F I	中 岡 樹 里	1101
日本語読解 F II	中 岡 樹 里	1102
日本語読解 I	中 岡 樹 里	792

科目名	担当者	ページ
日本語読解 II	中 岡 樹 里	793
日本語能力開発 I	澤 野 加 奈	1197
日本語能力開発 I	高 嶋 藍	1198
日本語能力開発 I	田 中 教 子	1199
日本語能力開発 I	人形寺 英利子	1200
日本語能力開発 II	澤 野 加 奈	1201
日本語能力開発 II	高 嶋 藍	1202
日本語能力開発 II	田 中 教 子	1203
日本語能力開発 II	人形寺 英利子	1204
日本語表現作文 F I	中 岡 樹 里	1103
日本語表現作文 F II	中 岡 樹 里	1104
日本語表現作文 I	中 岡 樹 里	794
日本語表現作文 II	中 岡 樹 里	795
日本語文法 F I	中 岡 樹 里	1105
日本語文法 F II	中 岡 樹 里	1106
日本語文法 I	中 岡 樹 里	796
日本語文法 II	中 岡 樹 里	797
日本史学	赤 澤 春 彦	798
日本事情 F I	門 脇 薫	1107
日本事情 F II	門 脇 薫	1108
日本事情 I	門 脇 薫	799
日本事情 II	門 脇 薫	800
日本と世界の出会い	村 上 司 樹	801
日本の思想	中 村 翼	802
日本の歴史	赤 澤 春 彦	804
日本美術史	岩 間 香	805
日本文学	小 川 豊 生	806
日本文学	小 川 豊 生	808
人間の探求	池 田 清	1161

ハ

博物館概論	谷 直 樹	809
博物館学 I	谷 直 樹	811
博物館学 II	岩 間 香	813
博物館教育論	毛 呂 祐 子	814
博物館実習	岩 間 香	816
	赤 澤 春 彦	
	谷 直 樹	
博物館情報・メディア論	中 川 馨	817
博物館資料保存論	赤 澤 春 彦	818
博物館資料論	岩 間 香	819
パブリックスピーキング a	スティーブ トマエフスキー	820
パブリックスピーキング b	スティーブ トマエフスキー	822
犯罪被害者と法的救済	小 野 晃 正	1162

ヒ

ビジネス イングリッシュ a	ブラッドリー パークス	824
ビジネス イングリッシュ a	ダニエル マリンズ	825
ビジネス イングリッシュ a	マーティン オイクル	826
ビジネス イングリッシュ a	藤 岡 真 樹	827
ビジネス イングリッシュ a	梅 田 尋 道	829
ビジネス イングリッシュ b	ブラッドリー パークス	830

科目名	担当者	ページ
ビジネス イングリッシュ b	ダニエル マリズ	831
ビジネス イングリッシュ b	マーティン オイクル	832
ビジネス イングリッシュ b	藤岡 真樹	833
ビジネス イングリッシュ b	梅田 尋道	835
ビジネスインドネシア・マレー語	エニ レスタリ	836
ビジネス中国語Ⅱ a	馮 艶	837
ビジネス中国語Ⅱ b	馮 艶	838
ビジネス中国語Ⅲ a	今中 崇文	839
ビジネス中国語Ⅲ b	今中 崇文	840
ビジネス中国語 a	大西 紀	841
ビジネス中国語 b	大西 紀	842
ビジネスマナー	富岡 直美	1164
美術の歩み	岩間 香	843

フ

風土と地理	木本 浩一	844
武道論	横山 喬之	1166
フランス語Ⅰ a	藤本 武司	846
フランス語Ⅰ b	藤本 武司	847
フランス語Ⅱ a	中井 裕之	848
フランス語Ⅱ b	中井 裕之	850
フランス語Ⅲ a	藤本 武司	852
フランス語Ⅲ b	藤本 武司	853
フランス語Ⅳ a	中井 裕之	854
フランス語Ⅳ b	中井 裕之	856
プレゼンテーション	ブラッドリー パークス	858
プレゼンテーション	ニール カー	859
プレゼンテーション	マシュー ケーパー	860
プレゼンテーション	ダニエル マリズ	861
プレゼンテーション	マーティン オイクル	862
プレゼンテーション	マイケル ハーキー	863
プレゼンテーションインドネシア・マレー語	エニ レスタリ	864
フレッシュマン イングリッシュ	西 美都子	865
文化演習Ⅰ	天野 貴史	866
文化演習Ⅰ	齋藤 安以子	867
文化演習Ⅰ	住吉 誠	868
文化演習Ⅰ	田浦 アマンダ	869
文化演習Ⅰ	田中 秀毅	870
文化演習Ⅰ	鳥居 祐介	871
文化演習Ⅰ	西川 真由美	872
文化演習Ⅰ	ショーン マクガバン	873
文化演習Ⅰ	家口 美智子	874
文化演習Ⅰ	篠原 愛人	875
文化演習Ⅰ	北條 ゆかり	876
文化演習Ⅰ	上田 達	877
文化演習Ⅰ	浦野 崇央	878
文化演習Ⅰ	山口 真佐夫	879
文化演習Ⅰ	赤澤 春彦	880
文化演習Ⅰ	浅野 英一	881
文化演習Ⅰ	有馬 善一	882
文化演習Ⅰ	岩間 香	883
文化演習Ⅰ	門脇 薫	884

科目名	担当者	ページ
文化演習Ⅰ	橋本 正俊	885
文化演習Ⅰ	林田 敏子	886
文化演習Ⅰ	後藤 一章	887
文化演習Ⅰ	中島 直嗣	888
文化演習Ⅰ	マイケル ハーキー	889
文化演習Ⅰ	松田 早恵	890
文化演習Ⅰ	皆本 智美	891
文化演習Ⅰ	吉村 征洋	892
文化演習Ⅰ	兪 鳴蒙	893
文化演習Ⅰ	中西 正樹	894
文化演習Ⅰ	瀬戸 宏	895
文化演習Ⅰ	小川 豊生	896
文化演習Ⅰ	原 秀禎	897
文化演習Ⅱ	天野 貴史	898
文化演習Ⅱ	齋藤 安以子	899
文化演習Ⅱ	住吉 誠	900
文化演習Ⅱ	田浦 アマンダ	901
文化演習Ⅱ	田中 秀毅	902
文化演習Ⅱ	鳥居 祐介	903
文化演習Ⅱ	西川 真由美	904
文化演習Ⅱ	ショーン マクガバン	905
文化演習Ⅱ	家口 美智子	906
文化演習Ⅱ	篠原 愛人	907
文化演習Ⅱ	北條 ゆかり	908
文化演習Ⅱ	上田 達	909
文化演習Ⅱ	浦野 崇央	910
文化演習Ⅱ	山口 真佐夫	911
文化演習Ⅱ	赤澤 春彦	912
文化演習Ⅱ	浅野 英一	913
文化演習Ⅱ	有馬 善一	914
文化演習Ⅱ	岩間 香	915
文化演習Ⅱ	門脇 薫	916
文化演習Ⅱ	橋本 正俊	917
文化演習Ⅱ	林田 敏子	918
文化演習Ⅱ	後藤 一章	919
文化演習Ⅱ	中島 直嗣	920
文化演習Ⅱ	マイケル ハーキー	921
文化演習Ⅱ	松田 早恵	922
文化演習Ⅱ	皆本 智美	923
文化演習Ⅱ	吉村 征洋	924
文化演習Ⅱ	兪 鳴蒙	925
文化演習Ⅱ	中西 正樹	926
文化演習Ⅱ	瀬戸 宏	927
文化演習Ⅱ	小川 豊生	928
文化演習Ⅱ	原 秀禎	929
文化観光実習演習	赤澤 春彦	930
	橋本 正俊	
	林田 敏子	
文化人類学	西垣 有	1167
文化と表現	橋本 正俊	931

科目名	担当者	ページ
へ		
平和の思想	濱 良 祐	932
ホ		
法学入門	小 野 晃 正	1168
ボキャブラリー&グラマー a	松 田 早 恵	934
ボキャブラリー&グラマー a	後 藤 一 章	935
ボキャブラリー&グラマー a	西 川 眞由美	936
ボキャブラリー&グラマー a	齋 藤 安以子	937
ボキャブラリー&グラマー a	鳥 居 祐 介	938
ボキャブラリー&グラマー a	中 島 直 嗣	939
ボキャブラリー&グラマー a	家 口 美智子	940
ボキャブラリー&グラマー a	神 崎 舞	941
ボキャブラリー&グラマー a	皆 本 智 美	942
ボキャブラリー&グラマー a	住 吉 誠	943
ボキャブラリー&グラマー b	家 口 美智子	944
ボキャブラリー&グラマー b	皆 本 智 美	945
ボキャブラリー&グラマー b	西 川 眞由美	946
ボキャブラリー&グラマー b	齋 藤 安以子	947
ボキャブラリー&グラマー b	天 野 貴 史	948
ボキャブラリー&グラマー b	後 藤 一 章	949
ボキャブラリー&グラマー b	中 島 直 嗣	950
ボキャブラリー&グラマー b	住 吉 誠	951
ボキャブラリー&グラマー b	大原関 一 浩	952
ボキャブラリー&グラマー b	田浦 アマンダ	953
ボキャブラリー&グラマー b	松 田 早 恵	954
ボキャブラリー&グラマー b	鳥 居 祐 介	955
ホスピタリティ・インターンシップ	坂 下 正 憲	956
ホスピタリティ演習	坂 下 正 憲	957
ホスピタリティ論Ⅰ	沖 中 美 喜	959
ホスピタリティ論Ⅱ	沖 中 美 喜	960
ホテルビジネス論Ⅰ	坂 下 正 憲	961
ホテルビジネス論Ⅱ	坂 下 正 憲	963
翻訳文化論	小 川 豊 生	965
マ		
マーケティングと歴史	武 居 奈緒子	1170
マーケティング入門	武 居 奈緒子	1171
マイノリティ論	有 馬 善 一	967
マレー語圏トピックス	ノレハ ビンティ	969
ミ		
身近な犯罪から自分、家族、まちを守る	中 沼 丈 晃	1172
ミュージアムへの招待	谷 直 樹	971
ミュージアムマネジメント論	赤 澤 春 彦	973
メ		
メディア イングリッシュ a	山 本 尚 子	975
メディア イングリッシュ a	江 戸 智 美	977
メディア イングリッシュ a	中 道 英美子	978
メディア イングリッシュ a	湊 由妃子	979

科目名	担当者	ページ
メディア イングリッシュ a	里 井 真理子	980
メディア イングリッシュ a	オーエン クロー	981
メディア イングリッシュ a	アーサー ロングス	982
メディア イングリッシュ b	山 本 尚 子	983
メディア イングリッシュ b	江 戸 智 美	985
メディア イングリッシュ b	中 道 英美子	986
メディア イングリッシュ b	湊 由妃子	987
メディア イングリッシュ b	里 井 真理子	988
メディア イングリッシュ b	オーエン クロー	989
メディア イングリッシュ b	アーサー ロングス	990
メディアのスペイン語Ⅰ	三 浦 知佐子	991
メディアのスペイン語Ⅱ	林 安紀子	992
メディアのスペイン語Ⅲ	磯 野 吉 美	994
モ		
ものづくりインターンシップ基礎	奥 野 竜 平	1174
ものづくりインターンシップ基礎	川 野 常 夫	1176
ものづくりインターンシップ実践	奥 野 竜 平	1177
ものづくり海外インターンシップ	川 野 常 夫	1179
ヤ		
役立つ金融知力	陸 川 富 盛	1181
ヨ		
ヨーロッパ史学	林 田 敏 子	995
ヨーロッパ思想	池 田 清	996
ラ		
ライティング a	家 口 美智子	997
ライティング a	グラント パーミンハム	999
ライティング a	住 吉 誠	1001
ライティング a	スコット ライリー	1003
ライティング a	ブライアン スレーター	1005
ライティング a	ブルース ライリー	1007
ライティング a	ジョン カール	1009
ライティング a	ダニエル マリンズ	1011
ライティング b	家 口 美智子	1013
ライティング b	グラント パーミンハム	1014
ライティング b	住 吉 誠	1016
ライティング b	スコット ライリー	1018
ライティング b	ブライアン スレーター	1019
ライティング b	ブルース ライリー	1021
ライティング b	ジョン カール	1022
ライティング b	ダニエル マリンズ	1024
ラテンアメリカ史学	篠 原 愛 人	1025
ラテンアメリカの社会と文化	北 條 ゆかり	1026
ラテンアメリカ文学	森 川 香 織	1027
リ		
リーディングⅠ a	江 戸 智 美	1028
リーディングⅠ a	湊 由妃子	1029
リーディングⅠ a	西 谷 継 治	1030

科目名	担当者	ページ
リーディングⅠ a	住 吉 誠	1031
リーディングⅠ a	田 中 健 二	1032
リーディングⅠ a	瀧 川 宏 樹	1033
リーディングⅠ b	江 戸 智 美	1034
リーディングⅠ b	湊 由妃子	1035
リーディングⅠ b	住 吉 誠	1036
リーディングⅠ b	田 中 健 二	1037
リーディングⅠ b	関 初 海	1038
リーディングⅠ b	瀧 川 宏 樹	1039
リーディングⅠ b	西 谷 継 治	1040
リーディングⅡ a	天 野 貴 史	1041
リーディングⅡ a	湊 由妃子	1042
リーディングⅡ a	松 井 信 義	1043
リーディングⅡ a	木 村 ゆ み	1044
リーディングⅡ a	アレン ニール	1045
リーディングⅡ a	ジェフリー ベル	1046
リーディングⅡ a	グラント パーミンハム	1047
リーディングⅡ a	ジェーン パーメンター	1049
リーディングⅡ b	天 野 貴 史	1051
リーディングⅡ b	湊 由妃子	1052
リーディングⅡ b	松 井 信 義	1053
リーディングⅡ b	木 村 ゆ み	1054
リーディングⅡ b	アレン ニール	1055
リーディングⅡ b	ジェフリー ベル	1056
リーディングⅡ b	グラント パーミンハム	1057
リーディングⅡ b	ジェーン パーメンター	1059
旅行インドネシア・マレー語	大 坪 紀 子	1061

レ

歴史に学ぶ	林 田 敏 子	1183
-------	---------	------

ロ

ロマンス語研究Ⅰ	柱 本 元 彦	1063
ロマンス語研究Ⅱ	柱 本 元 彦	1064

專 門 科 目

科目名	総合インドネシア語 a (1)	科目名 (英文)	Integrated Indonesian Language Skills a(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語 (Bahasa Indonesia) の総合的な運用能力の一層の向上を目指す。			
到達目標	本授業では、特に「読む」「書く」の能力を高めることを目的とし、インドネシア語で表現する能力のレベルアップを行う。			
授業方法と留意点	本授業は、「総合インドネシア語 a (2)」と同じテキストを用い、リレー方式で行っていく。なお、定期試験についても「総合インドネシア語」統一試験を実施する。授業時には辞書を必ず携帯すること。			
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス	授業の進め方の説明 これまでに学んだことをの再確認 春期課題回収	学んだことの再確認
	2	第2課	基礎力確認演習 (講読)	学んだことの再確認
	3	第4課	能動文と受動文	学んだことの再確認
	4	第5課	文の種類1 疑問文 (講読)	学んだことの再確認
	5	第7課	文の種類3 重文と複文 (講読)	学んだことの再確認
	6	第8課	基礎力確認演習 (総合)	学んだことの再確認
	7	第10課	インドネシアの教科書の講読①	予習 学んだことの再確認
	8	第10課	インドネシアの教科書の講読③	予習 学んだことの再確認
	9	第10課	インドネシアの教科書の講読⑤	予習 学んだことの再確認
	10	第11課	雑誌に親しんでみよう	学んだことの再確認
	11	第12課	会話文の講読②	学んだことの再確認
	12	第12課	会話文の講読④	学んだことの再確認
	13	第14課	エッセイの講読①	予習 学んだことの再確認
	14	第14課	エッセイの講読③	予習 学んだことの再確認
	15	第14課	エッセイの講読⑤ 夏期課題指示	予習 学んだことの再確認
関連科目	主言語インドネシア語科目すべて (特に「総合インドネシア語 a (2)」)			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	総合インドネシア語	浦野崇央・山口真佐夫編	摂南大学外国語学部
	2	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃	大学書林
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	定期試験 (「総合インドネシア語」統一試験)、「積極的な授業参加」の度合いなどをもとに総合的に判断する。 詳細は、第1回目の授業で伝える。			
学生へのメッセージ	インドネシア語をモノにするために一生懸命取り組みましょう。 質問があれば、いつでも研究室に来て下さい。積極的な姿勢が大切です。			
担当者の研究室等	7号館4階(浦野研究室)			
備考	事前・事後学習課題欄を参考にして、毎週少なくとも30分程度以上の復習は欠かさず、指示がある時は予習もこなすこと。			

科目名	総合インドネシア語 a (2)	科目名 (英文)	Integrated Indonesian Language Skills a(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山口 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語 (Bahasa Indonesia) の総合的な運用能力の一層の向上を目指す。本授業では、特に「読む」「書く」「話す」の能力を高めることを目的とし、インドネシア語で表現する能力のレベルアップを行なう。			
到達目標	あらゆる文体のインドネシア語をマスターすること。			
授業方法と留意点	本授業は、「総合インドネシア語 a (1)」と同じテキストを用い、リレー方式で行なっていく。なお、定期試験についても「総合インドネシア語」統一試験を実施する。 授業時には辞書を必ず携帯すること。			
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第1課	辞書の種類および使い方についての解説	次週の予習および学んだことの再確認
	2	第3課	基礎力確認演習 (作文)	次週の予習および学んだことの再確認
	3	第5課	文の種類1 疑問文 (作文)	次週の予習および学んだことの再確認
	4	第6課	文の種類2 単文 (講読)	次週の予習および学んだことの再確認
	5	第6課	文の種類2 単文 (作文)	次週の予習および学んだことの再確認
	6	第7課	文の種類3 (作文)	次週の予習および学んだことの再確認
	7	第9課	新聞に親しんでみよう	次週の予習および学んだことの再確認
	8	第10課	インドネシアの教科書の講読②	次週の予習および学んだことの再確認
	9	第10課	インドネシアの教科書の講読④	次週の予習および学んだことの再確認
	10	第10課	インドネシアの教科書の講読⑥	次週の予習および学んだことの再確認
	11	第12課	会話文の講読①	次週の予習および学んだことの再確認
	12	第12課	会話文の講読③	次週の予習および学んだことの再確認
	13	第134課	広告に親しんでみよう	次週の予習および学んだことの再確認
	14	第14課	エッセイの講読②	次週の予習および学んだことの再確認
	15	第14課	エッセイの講読④	学んだことの再確認
関連科目	インドネシア語科目すべて (特に「総合インドネシア語 a(1)」)			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	定期試験 (「総合インドネシア語」統一試験)、「積極的な授業参加」の度合いなどをもとに総合的に判断する。			
学生へのメッセージ	インドネシア語をモノにするために一生懸命取り組みましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業内容を確実に理解するためにも、事前・事後学習課題には十分な時間をかけること。			

科目名	総合インドネシア語 b (1)	科目名 (英文)	Integrated Indonesian Language Skills b(1)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語 (Bahasa Indonesia) 運用能力の一層の向上を目指す。		
到達目標	前期開講の「総合インドネシア語 a (1)」に引き続き、本授業では特に「読む」能力を高めることを目的とし、インドネシア語で表現する能力のレベルアップを行う。		
授業方法と留意点	本授業は、「総合インドネシア語 b (2)」と同じテキストを用い、リレー方式で行っていく。なお、定期試験についても「総合インドネシア語」統一試験を実施する。授業時には辞書を必ず携帯すること。		
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定		
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等
	1	第15課	手紙を書いてみよう
	2	第16課	ことわざの表現①②
	3	第16課	ことわざの表現⑤⑥
	4	第17課	映画を観てみよう
	5	第18課	文学作品の講読①
	6	第18課	文学作品の講読②
	7	第18課	文学作品の講読④
	8	第18課	文学作品の講読⑥
	9	第18課	文学作品の講読⑧ 語彙力確認試験
	10	第19課	スピーチをしてみよう③ (スピーチの仕方の確認)
	11	第20課	bahasa baku と bahasa sehari-hari②
	12	第20課	bahasa baku と bahasa sehari-hari③
	13	第21課	テレビを観てみよう
	14	第23課	新聞記事の講読②
	15	第23課	新聞記事の講読③④
関連科目	主言語インドネシア語科目すべて (特に「総合インドネシア語 b (2)」)		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	総合インドネシア語	浦野崇央・山口真佐夫編
	2	インドネシア語辞典ポケット版	末永晃
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	定期試験 (「総合インドネシア語」統一試験)、「積極的な授業参加」の度合いなどをもとに総合的に判断する。 詳細は、第1回目の授業で伝える。		
学生へのメッセージ	インドネシア語をモノにするために一生懸命に取り組みましょう。 質問があれば、いつでも研究室に来て下さい。積極的な姿勢が大切です。		
担当者の研究室等	7号館4階(浦野研究室)		
備考	「事前・事後学習課題」欄を参考に、毎週少なくとも30分程度以上の復習は欠かさず、指示のある時は予習をこなすこと。		

科目名	総合インドネシア語 b (2)	科目名 (英文)	Integrated Indonesian Language Skills b(2)
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	山口 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語 (Bahasa Indonesia) の運用能力の一層の向上を目指す。前期開講の「総合インドネシア語 a (2)」に引き続き、本授業では特に「読む」「書く」の能力を高めることを目的とし、インドネシア語で表現する能力のレベルアップを行なう。																																																																		
到達目標	あらゆる文体のインドネシア語をマスターすること。																																																																		
授業方法と留意点	本授業は、「総合インドネシア語 b (1)」と同じテキストを用い、リレー方式で行なっていく。なお、定期試験についても「総合インドネシア語」統一試験を実施する。 授業時には辞書を必ず携帯すること。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	インドネシア語技能検定																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>第 15 課</td><td>手紙を書いてみよう</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>2</td><td>第 15 課</td><td>手紙を書いてみよう</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>3</td><td>第 15 課</td><td>手紙を書いてみよう②</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>4</td><td>第 16 課</td><td>ことわざの表現③④</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>5</td><td>第 15 課</td><td>手紙を書いてみよう</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>6</td><td>第 19 課</td><td>スピーチをしてみよう①</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>7</td><td>第 18 課</td><td>文学作品の講読③</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>8</td><td>第 18 課</td><td>文学作品の講読⑤</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>9</td><td>第 18 課</td><td>文学作品の講読⑦</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>10</td><td>第 19 課</td><td>スピーチをしてみよう②</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>11</td><td>第 19 課</td><td>スピーチをしてみよう④ スピーチコンテスト</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>12</td><td>第 20 課</td><td>bahasa baku と bahasa sehari-hari①</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>13</td><td>第 20 課</td><td>bahasa baku と bahasa sehari-hari④</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>14</td><td>第 22 課</td><td>略語と借用語</td><td>次週の予習および学んだことの再確認</td></tr> <tr><td>15</td><td>第 23 課</td><td>新聞記事の講読①</td><td>学んだことの再確認</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	第 15 課	手紙を書いてみよう	次週の予習および学んだことの再確認	2	第 15 課	手紙を書いてみよう	次週の予習および学んだことの再確認	3	第 15 課	手紙を書いてみよう②	次週の予習および学んだことの再確認	4	第 16 課	ことわざの表現③④	次週の予習および学んだことの再確認	5	第 15 課	手紙を書いてみよう	次週の予習および学んだことの再確認	6	第 19 課	スピーチをしてみよう①	次週の予習および学んだことの再確認	7	第 18 課	文学作品の講読③	次週の予習および学んだことの再確認	8	第 18 課	文学作品の講読⑤	次週の予習および学んだことの再確認	9	第 18 課	文学作品の講読⑦	次週の予習および学んだことの再確認	10	第 19 課	スピーチをしてみよう②	次週の予習および学んだことの再確認	11	第 19 課	スピーチをしてみよう④ スピーチコンテスト	次週の予習および学んだことの再確認	12	第 20 課	bahasa baku と bahasa sehari-hari①	次週の予習および学んだことの再確認	13	第 20 課	bahasa baku と bahasa sehari-hari④	次週の予習および学んだことの再確認	14	第 22 課	略語と借用語	次週の予習および学んだことの再確認	15	第 23 課	新聞記事の講読①	学んだことの再確認
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	第 15 課	手紙を書いてみよう	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
2	第 15 課	手紙を書いてみよう	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
3	第 15 課	手紙を書いてみよう②	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
4	第 16 課	ことわざの表現③④	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
5	第 15 課	手紙を書いてみよう	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
6	第 19 課	スピーチをしてみよう①	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
7	第 18 課	文学作品の講読③	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
8	第 18 課	文学作品の講読⑤	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
9	第 18 課	文学作品の講読⑦	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
10	第 19 課	スピーチをしてみよう②	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
11	第 19 課	スピーチをしてみよう④ スピーチコンテスト	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
12	第 20 課	bahasa baku と bahasa sehari-hari①	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
13	第 20 課	bahasa baku と bahasa sehari-hari④	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
14	第 22 課	略語と借用語	次週の予習および学んだことの再確認																																																																
15	第 23 課	新聞記事の講読①	学んだことの再確認																																																																
関連科目	インドネシア語科目すべて (特に「総合インドネシア語 b(1)」)																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	定期試験 (「総合インドネシア語」統一試験)、「積極的な授業参加」の度合いなどをもとに総合的に判断する。																																																																		
学生へのメッセージ	インドネシア語をモノにするために一生懸命に取り組みましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師控室)																																																																		
備考	授業内容を確実に理解するためにも、事前・事後学習課題には十分な時間をかけること。																																																																		

科目名	総合スペイン語 I	科目名 (英文)	Integrated Spanish Skills I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	初めて習う外国語は覚えることが多く、暗記と理解に時間をかけてもなかなか定着しにくい。この授業では、練習問題をこなすことで理解を深め、記憶に定着させることを目指す。 また、語学には語彙力アップが欠かせない。毎回単語テストを課す。それだけでなく、授業では覚えた単語を使った作文を数多くこなす。																																																																		
到達目標	「スペイン語入門A、B、C」で学んだばかりの内容に対応する豊富な練習問題に取り組むことで、文法の基礎を着実に習得する。																																																																		
授業方法と留意点	日本人学習者にはすぐに理解しにくい箇所を集中的に学習し、文法科目を補っていく。分からなかったことを恥ずかしいと思わず、理解が完全でないと思えば、どんどん疑問をぶつけてほしい。学生のニーズを優先したい。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定6級																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>この授業の目指すところ 日本人の苦手な音</td> <td>スペイン語圏の国と首都</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>発音</td> <td>日本人の苦手な音</td> <td>二重子音</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>音節分けとアクセント</td> <td>音節分けの徹底練習</td> <td>音節とは</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>名詞の性と数</td> <td>名詞の性 (何で区別するか) 複数形から単数形へ</td> <td>名詞の色々</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>名詞と形容詞</td> <td>語尾の連動</td> <td>名詞と連動する形容詞</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>人称と動詞活用 活用形から主語を知る</td> <td>人称とは何か 動詞活用とは何か 活 用形の徹底</td> <td>基本的な規則活用動詞</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>語彙力検査</td> <td>ボキャブラリ・コンテスト</td> <td>単語</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>be 動詞に相当する動詞</td> <td>ser と estar</td> <td>be 動詞</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>be 動詞に相当する動詞</td> <td>estar と hay</td> <td>be 動詞</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>指示語 所有格</td> <td>名詞との位置関係、性数一致</td> <td>あれ、これ、それ</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>動詞の活用</td> <td>活用形から主語を知る</td> <td>動詞活用</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>動詞の活用 (2)</td> <td>不規則動詞を中心に</td> <td>動詞活用</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>目的格代名詞</td> <td>頻出する目的語</td> <td>me、te、nos、os</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>gustar 型動詞</td> <td>主語と目的語</td> <td>向き違いの表現</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>学習事項の総点検</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	この授業の目指すところ 日本人の苦手な音	スペイン語圏の国と首都	2	発音	日本人の苦手な音	二重子音	3	音節分けとアクセント	音節分けの徹底練習	音節とは	4	名詞の性と数	名詞の性 (何で区別するか) 複数形から単数形へ	名詞の色々	5	名詞と形容詞	語尾の連動	名詞と連動する形容詞	6	人称と動詞活用 活用形から主語を知る	人称とは何か 動詞活用とは何か 活 用形の徹底	基本的な規則活用動詞	7	語彙力検査	ボキャブラリ・コンテスト	単語	8	be 動詞に相当する動詞	ser と estar	be 動詞	9	be 動詞に相当する動詞	estar と hay	be 動詞	10	指示語 所有格	名詞との位置関係、性数一致	あれ、これ、それ	11	動詞の活用	活用形から主語を知る	動詞活用	12	動詞の活用 (2)	不規則動詞を中心に	動詞活用	13	目的格代名詞	頻出する目的語	me、te、nos、os	14	gustar 型動詞	主語と目的語	向き違いの表現	15	確認	理解度確認テスト	学習事項の総点検
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	この授業の目指すところ 日本人の苦手な音	スペイン語圏の国と首都																																																																
2	発音	日本人の苦手な音	二重子音																																																																
3	音節分けとアクセント	音節分けの徹底練習	音節とは																																																																
4	名詞の性と数	名詞の性 (何で区別するか) 複数形から単数形へ	名詞の色々																																																																
5	名詞と形容詞	語尾の連動	名詞と連動する形容詞																																																																
6	人称と動詞活用 活用形から主語を知る	人称とは何か 動詞活用とは何か 活 用形の徹底	基本的な規則活用動詞																																																																
7	語彙力検査	ボキャブラリ・コンテスト	単語																																																																
8	be 動詞に相当する動詞	ser と estar	be 動詞																																																																
9	be 動詞に相当する動詞	estar と hay	be 動詞																																																																
10	指示語 所有格	名詞との位置関係、性数一致	あれ、これ、それ																																																																
11	動詞の活用	活用形から主語を知る	動詞活用																																																																
12	動詞の活用 (2)	不規則動詞を中心に	動詞活用																																																																
13	目的格代名詞	頻出する目的語	me、te、nos、os																																																																
14	gustar 型動詞	主語と目的語	向き違いの表現																																																																
15	確認	理解度確認テスト	学習事項の総点検																																																																
関連科目	スペイン語入門A、B、C																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	定期試験も実施する。ただし、毎回の単語テスト、ボキャブラリ・コンテスト、理解度確認テストで合格レベルに達しておれば、定期試験は免除することがある。																																																																		
学生へのメッセージ	初めての外国語の勉強は大変です。毎日、少しずつでも勉強しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	総合スペイン語Ⅱ	科目名(英文)	Integrated Spanish Skills II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期と同じように、文法の練習問題をおとして理解を深めるとともに、語彙力の増強をめざす。 毎回単語テストをする。 習熟度別のクラス編成にする場合もある。																																																																
到達目標	「スペイン語基礎A、B、C」で学んだばかりの内容に対応する豊富な練習問題に取り組むことで、文法の基礎を着実に習得する。																																																																
授業方法と留意点	日本人学習者にはすぐに理解しにくい箇所を集中的に学習し、文法科目を補っていく。分からなかったことを恥ずかしいと思わず、理解が完全でないと思えば、どんどん疑問をぶつけてほしい。ニーズに応えていきたい。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>前期の復習</td> <td>前期の試験問題を持参のこと</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>再帰動詞</td> <td>自動詞と他動詞</td> <td>形と用法</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>再帰動詞(2)</td> <td>さまざまな用法をおとして、ニュアンスをつかむ</td> <td>形と用法</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>過去形</td> <td>活用の徹底</td> <td>点過去の活用形の暗記</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>過去形(2)</td> <td>点過去と現在完了の違い</td> <td>点過去と現在完了の使い分け</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>過去形(3)</td> <td>点過去と線過去の違い</td> <td>点過去と線過去の使い分け</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>復習</td> <td>復習プリント</td> <td>学習事項の総点検</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>語彙力検査</td> <td>ボキャブラリーコンテスト</td> <td>既習語彙の見直し</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>未来形と過去未来形</td> <td>活用の徹底</td> <td>未来形と過去未来形の活用</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>過去完了形と未来完了形</td> <td>単純時制と複合時制の関係</td> <td>使い分け</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>いろいろな時制</td> <td>動詞活用形コンテスト</td> <td>様々な時制の使い分け</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>修飾語句</td> <td>形容詞・過去分詞など</td> <td>語尾</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>修飾語句(2)</td> <td>関係詞とは</td> <td>英語の関係詞を少しおさらい</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>これまでのまとめ</td> <td>復習プリント</td> <td>学習事項の総点検</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>確認</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>学習事項の総点検</td> </tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	前期の復習	前期の試験問題を持参のこと	2	再帰動詞	自動詞と他動詞	形と用法	3	再帰動詞(2)	さまざまな用法をおとして、ニュアンスをつかむ	形と用法	4	過去形	活用の徹底	点過去の活用形の暗記	5	過去形(2)	点過去と現在完了の違い	点過去と現在完了の使い分け	6	過去形(3)	点過去と線過去の違い	点過去と線過去の使い分け	7	復習	復習プリント	学習事項の総点検	8	語彙力検査	ボキャブラリーコンテスト	既習語彙の見直し	9	未来形と過去未来形	活用の徹底	未来形と過去未来形の活用	10	過去完了形と未来完了形	単純時制と複合時制の関係	使い分け	11	いろいろな時制	動詞活用形コンテスト	様々な時制の使い分け	12	修飾語句	形容詞・過去分詞など	語尾	13	修飾語句(2)	関係詞とは	英語の関係詞を少しおさらい	14	これまでのまとめ	復習プリント	学習事項の総点検	15	確認	理解度確認テスト	学習事項の総点検
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	オリエンテーション	前期の復習	前期の試験問題を持参のこと																																																														
2	再帰動詞	自動詞と他動詞	形と用法																																																														
3	再帰動詞(2)	さまざまな用法をおとして、ニュアンスをつかむ	形と用法																																																														
4	過去形	活用の徹底	点過去の活用形の暗記																																																														
5	過去形(2)	点過去と現在完了の違い	点過去と現在完了の使い分け																																																														
6	過去形(3)	点過去と線過去の違い	点過去と線過去の使い分け																																																														
7	復習	復習プリント	学習事項の総点検																																																														
8	語彙力検査	ボキャブラリーコンテスト	既習語彙の見直し																																																														
9	未来形と過去未来形	活用の徹底	未来形と過去未来形の活用																																																														
10	過去完了形と未来完了形	単純時制と複合時制の関係	使い分け																																																														
11	いろいろな時制	動詞活用形コンテスト	様々な時制の使い分け																																																														
12	修飾語句	形容詞・過去分詞など	語尾																																																														
13	修飾語句(2)	関係詞とは	英語の関係詞を少しおさらい																																																														
14	これまでのまとめ	復習プリント	学習事項の総点検																																																														
15	確認	理解度確認テスト	学習事項の総点検																																																														
関連科目	スペイン語基礎A、B、C																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	定期試験も実施する。ただし、理解度確認テストなどで、十分に習得できていると判断されれば、定期試験は免除する。 提出物+単語テスト+ボキャブラリー・コンテスト+理解度確認テスト																																																																
学生へのメッセージ	夏休みの間のさびを落として、心機一転、がんばりましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室																																																																
備考	ボキャブラリー・コンテストの実施時期は上の予定より早くなることもある。																																																																

科目名	総合スペイン語ⅢA	科目名(英文)	Integrated Spanish Skills IIIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の「スペイン語入門・基礎」の続編。1年次に積み残した文法項目を扱う。 ・「総合ⅢIA」と「総合ⅢIB」はリレー形式で進めていくので、必ず両方を履修すること。 ・しばしば単語テスト、文法確認テストを実施する。 																																																																
到達目標	命令形と接続法のマスター																																																																
授業方法と留意点	文法解説の後、様々な練習問題をこなし、知識の定着を目指す。 総合ⅢIAとⅢIBはリレー形式で進むので、必ずどちらとも履修すること。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級～4級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>復習(1)</td> <td>動詞の直説法現在・過去時制を中心に復習</td> <td>直説法の単純時制</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>復習(2)</td> <td>直説法完了時制を中心に復習 小テストを課す場合もある</td> <td>直説法の複合時制</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>命令文(1)</td> <td>肯定命令</td> <td>命令形</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>命令文(2)</td> <td>否定命令</td> <td>命令形</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>接続法(1)</td> <td>名詞節と接続法</td> <td>接続法を求める動詞</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>接続法(2)</td> <td>関係詞と接続法</td> <td>関係詞</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>接続法(3)</td> <td>副詞節と接続法</td> <td>かならず接続法を求める接続詞</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>接続法(4)</td> <td>副詞節と接続法</td> <td>場合によって接続法を求める接続詞</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ボキャコン</td> <td>ボキャコン</td> <td>つねに語彙力は必要</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>接続法(5)</td> <td>接続法現在完了</td> <td>活用形の確認 接続法現在と現在完了の違い</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>接続法(6)</td> <td>接続法過去</td> <td>点過去の活用形の総復習 接続法過去の活用</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>接続法(7)</td> <td>接続法過去完了</td> <td>接続法過去完了</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>接続法(8)</td> <td>仮定表現</td> <td>現実と仮定の差</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>接続法(9)</td> <td>隠れた仮定法</td> <td>どこに隠れた要素があるか</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>復習</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>学習事項の総点検</td> </tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	復習(1)	動詞の直説法現在・過去時制を中心に復習	直説法の単純時制	2	復習(2)	直説法完了時制を中心に復習 小テストを課す場合もある	直説法の複合時制	3	命令文(1)	肯定命令	命令形	4	命令文(2)	否定命令	命令形	5	接続法(1)	名詞節と接続法	接続法を求める動詞	6	接続法(2)	関係詞と接続法	関係詞	7	接続法(3)	副詞節と接続法	かならず接続法を求める接続詞	8	接続法(4)	副詞節と接続法	場合によって接続法を求める接続詞	9	ボキャコン	ボキャコン	つねに語彙力は必要	10	接続法(5)	接続法現在完了	活用形の確認 接続法現在と現在完了の違い	11	接続法(6)	接続法過去	点過去の活用形の総復習 接続法過去の活用	12	接続法(7)	接続法過去完了	接続法過去完了	13	接続法(8)	仮定表現	現実と仮定の差	14	接続法(9)	隠れた仮定法	どこに隠れた要素があるか	15	復習	理解度確認テスト	学習事項の総点検
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	復習(1)	動詞の直説法現在・過去時制を中心に復習	直説法の単純時制																																																														
2	復習(2)	直説法完了時制を中心に復習 小テストを課す場合もある	直説法の複合時制																																																														
3	命令文(1)	肯定命令	命令形																																																														
4	命令文(2)	否定命令	命令形																																																														
5	接続法(1)	名詞節と接続法	接続法を求める動詞																																																														
6	接続法(2)	関係詞と接続法	関係詞																																																														
7	接続法(3)	副詞節と接続法	かならず接続法を求める接続詞																																																														
8	接続法(4)	副詞節と接続法	場合によって接続法を求める接続詞																																																														
9	ボキャコン	ボキャコン	つねに語彙力は必要																																																														
10	接続法(5)	接続法現在完了	活用形の確認 接続法現在と現在完了の違い																																																														
11	接続法(6)	接続法過去	点過去の活用形の総復習 接続法過去の活用																																																														
12	接続法(7)	接続法過去完了	接続法過去完了																																																														
13	接続法(8)	仮定表現	現実と仮定の差																																																														
14	接続法(9)	隠れた仮定法	どこに隠れた要素があるか																																																														
15	復習	理解度確認テスト	学習事項の総点検																																																														
関連科目	スペイン語の全科目																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 総合スペイン語(2年)</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 総合スペイン語(2年)		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	摂南大学 総合スペイン語(2年)		摂南大学																																																														
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	定期試験も実施する。ただし、平常点(授業参加・提出物)＋小テスト(単語テストやボキャブラリコンテストも含む)＋確認テストなどで合格点に達していると評価されれば、定期試験を免除する。 なお、あくまで目安であるが、定期試験以外の配分は、平常点2割：小テスト(ボキャコンを含む)3割；確認テスト5割																																																																
学生へのメッセージ	いよいよ、スペイン語文法の仕上げ。しんどいけど、あと少しです。頑張りましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館5階(北條研究室)																																																																
備考																																																																	

科目名	総合スペイン語ⅢA	科目名(英文)	Integrated Spanish Skills IIIA
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	森川 香織
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の「スペイン語入門・基礎」の続編。1年次に積み残した文法項目を扱う。 ・「総合 IIIA」と「総合 IIIB」はリレー形式で進めていくので、必ず両方を履修すること。 ・しばしば単語テスト、文法確認テストを実施する。 			
到達目標	接続法の用法を正確に理解し、スペイン語の文法を一通りマスターする。			
授業方法と留意点	文法解説の後、様々な練習問題をこなし、知識の定着を目指す。 総合 IIIAと IIIBはリレー形式で進むので、必ずどちらとも履修すること。			
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級～4級			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	復習(1)	動詞の直説法現在・過去時制を中心に復習	直説法の単純時制
	2	復習(2)	直説法完了時制を中心に復習 小テストを課す場合もある	直説法の複合時制
	3	命令文(1)	肯定命令	命令形
	4	命令文(2)	否定命令	命令形
	5	接続法(1)	名詞節と接続法	接続法を求める動詞
	6	接続法(2)	関係詞と接続法	関係詞
	7	接続法(3)	副詞節と接続法	かならず接続法を求める接続詞
	8	接続法(4)	副詞節と接続法	場合によって接続法を求める接続詞
	9	ボキャコン	ボキャコン	つねに語彙力は必要
	10	接続法(5)	接続法現在完了	活用形の確認 接続法現在と現在完了の違い
	11	接続法(6)	接続法過去	点過去の活用形の総復習 接続法過去の活用
	12	接続法(7)	接続法過去完了	接続法過去完了
	13	接続法(8)	仮定表現	現実と仮定の差
	14	接続法(9)	隠れた仮定法	どこに隠れた要素があるか
	15	復習	理解度確認テスト	学習事項の総点検
関連科目	スペイン語の全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	西和中辞典	高垣敏博他	小学館
	2	現代スペイン語辞典	宮城昇他	白水社
	3	わかるスペイン語文法	西川喬	同学社
評価方法(基準)	定期試験も実施する。ただし、平常点(授業参加・提出物)+小テスト(単語テストやボキャブラリコンテストも含む)+確認テストなどで合格点に達していると評価されれば、定期試験を免除する。 なお、あくまで目安であるが、定期試験以外の配分は、平常点2割:小テスト3割:確認テスト5割			
学生へのメッセージ	いよいよ、スペイン語文法の仕上げです。もうひと息、頑張りましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(講師控え室)			
備考				

科目名	総合スペイン語ⅢB	科目名(英文)	Integrated Spanish Skills IIIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	Q
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	岡 あゆみ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の「スペイン語入門・基礎」の続編。1年次に積み残した文法項目を扱う。 ・「総合ⅢIA」と「総合ⅢIB」はリレー形式で進めていくので、必ず両方を履修すること。 ・しばしば単語テスト、文法確認テストを実施する。 																																																																
到達目標	命令形と接続法のマスター																																																																
授業方法と留意点	文法解説の後、様々な練習問題をこなし、知識の定着を目指す。 総合ⅢIAとⅢIBはリレー形式で進むので、必ずどちらとも履修すること。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級～4級																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>復習(1)</td> <td>動詞の直説法現在・過去時制を中心に復習</td> <td>直説法の単純時制</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>復習(2)</td> <td>直説法完了時制を中心に復習 小テストを課す場合もある</td> <td>直説法の複合時制</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>命令文(1)</td> <td>肯定命令</td> <td>命令形</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>命令文(2)</td> <td>否定命令</td> <td>命令形</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>接続法(1)</td> <td>名詞節と接続法</td> <td>接続法を求める動詞</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>接続法(2)</td> <td>関係詞と接続法</td> <td>関係詞</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>接続法(3)</td> <td>副詞節と接続法</td> <td>かならず接続法を求める接続詞</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>接続法(4)</td> <td>副詞節と接続法</td> <td>場合によって接続法を求める接続詞</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>ボキャコン</td> <td>ボキャコン</td> <td>つねに語彙力は必要</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>接続法(5)</td> <td>接続法現在完了</td> <td>活用形の確認 接続法現在と現在完了の違い</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>接続法(6)</td> <td>接続法過去</td> <td>点過去の活用形の総復習 接続法過去の活用</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>接続法(7)</td> <td>接続法過去完了</td> <td>接続法過去完了</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>接続法(8)</td> <td>仮定表現</td> <td>現実と仮定の差</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>接続法(9)</td> <td>隠れた仮定法</td> <td>どこに隠れた要素があるか</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>復習</td> <td>理解度確認テスト</td> <td>学習事項の総点検</td> </tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	復習(1)	動詞の直説法現在・過去時制を中心に復習	直説法の単純時制	2	復習(2)	直説法完了時制を中心に復習 小テストを課す場合もある	直説法の複合時制	3	命令文(1)	肯定命令	命令形	4	命令文(2)	否定命令	命令形	5	接続法(1)	名詞節と接続法	接続法を求める動詞	6	接続法(2)	関係詞と接続法	関係詞	7	接続法(3)	副詞節と接続法	かならず接続法を求める接続詞	8	接続法(4)	副詞節と接続法	場合によって接続法を求める接続詞	9	ボキャコン	ボキャコン	つねに語彙力は必要	10	接続法(5)	接続法現在完了	活用形の確認 接続法現在と現在完了の違い	11	接続法(6)	接続法過去	点過去の活用形の総復習 接続法過去の活用	12	接続法(7)	接続法過去完了	接続法過去完了	13	接続法(8)	仮定表現	現実と仮定の差	14	接続法(9)	隠れた仮定法	どこに隠れた要素があるか	15	復習	理解度確認テスト	学習事項の総点検
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																														
1	復習(1)	動詞の直説法現在・過去時制を中心に復習	直説法の単純時制																																																														
2	復習(2)	直説法完了時制を中心に復習 小テストを課す場合もある	直説法の複合時制																																																														
3	命令文(1)	肯定命令	命令形																																																														
4	命令文(2)	否定命令	命令形																																																														
5	接続法(1)	名詞節と接続法	接続法を求める動詞																																																														
6	接続法(2)	関係詞と接続法	関係詞																																																														
7	接続法(3)	副詞節と接続法	かならず接続法を求める接続詞																																																														
8	接続法(4)	副詞節と接続法	場合によって接続法を求める接続詞																																																														
9	ボキャコン	ボキャコン	つねに語彙力は必要																																																														
10	接続法(5)	接続法現在完了	活用形の確認 接続法現在と現在完了の違い																																																														
11	接続法(6)	接続法過去	点過去の活用形の総復習 接続法過去の活用																																																														
12	接続法(7)	接続法過去完了	接続法過去完了																																																														
13	接続法(8)	仮定表現	現実と仮定の差																																																														
14	接続法(9)	隠れた仮定法	どこに隠れた要素があるか																																																														
15	復習	理解度確認テスト	学習事項の総点検																																																														
関連科目	スペイン語の全科目																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 総合スペイン語(2年)</td> <td></td> <td>摂南大学</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 総合スペイン語(2年)		摂南大学	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1	摂南大学 総合スペイン語(2年)		摂南大学																																																														
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	定期試験も実施する。ただし、平常点(授業参加・提出物)＋小テスト(単語テストやボキャブラリコンテストも含む)＋確認テストなどで合格点に達していると評価されれば、定期試験を免除する。 なお、あくまで目安であるが、定期試験以外の配分は、平常点2割：小テスト(ボキャコンを含む)3割；確認テスト5割																																																																
学生へのメッセージ	いよいよ、スペイン語文法の仕上げ。しんどいけど、あと少しです。頑張りましょう。																																																																
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																
備考																																																																	

科目名	総合スペイン語ⅢB	科目名(英文)	Integrated Spanish Skills IIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	R
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次の「スペイン語入門・基礎」の続編。1年次に積み残した文法項目を扱う。 ・「総合ⅢIA」と「総合ⅢIB」はリレー形式で進めていくので、必ず両方を履修すること。 ・しばしば単語テスト、文法確認テストを実施する。 			
到達目標	命令形と接続法のマスター			
授業方法と留意点	文法解説の後、様々な練習問題をこなし、知識の定着を目指す。 総合ⅢIAとⅢIBはリレー形式で進むので、必ずどちらとも履修すること。			
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定5級～4級			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	復習(1)	動詞の直説法現在・過去時制を中心に復習	直説法の単純時制
	2	復習(2)	直説法完了時制を中心に復習 小テストを課す場合もある	直説法の複合時制
	3	命令文(1)	肯定命令	命令形
	4	命令文(2)	否定命令	命令形
	5	接続法(1)	名詞節と接続法	接続法を求める動詞
	6	接続法(2)	関係詞と接続法	関係詞
	7	接続法(3)	副詞節と接続法	かならず接続法を求める接続詞
	8	接続法(4)	副詞節と接続法	場合によって接続法を求める接続詞
	9	ボキャコン	ボキャコン	つねに語彙力は必要
	10	接続法(5)	接続法現在完了	活用形の確認 接続法現在と現在完了の違い
	11	接続法(6)	接続法過去	点過去の活用形の総復習 接続法過去の活用
	12	接続法(7)	接続法過去完了	接続法過去完了
	13	接続法(8)	仮定表現	現実と仮定の差
	14	接続法(9)	隠れた仮定法	どこに隠れた要素があるか
	15	復習	理解度確認テスト	学習事項の総点検
関連科目	スペイン語の全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	摂南大学 総合スペイン語(2年)		摂南大学
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	定期試験も実施する。ただし、平常点(授業参加・提出物)＋小テスト(単語テストやボキャブラリコンテストも含む)＋確認テストなどで合格点に達していると評価されれば、定期試験を免除する。 なお、あくまで目安であるが、定期試験以外の配分は、平常点2割：小テスト(ボキャコンを含む)3割；確認テスト5割			
学生へのメッセージ	いよいよ、スペイン語文法の仕上げ。しんどいけど、あと少しです。頑張りましょう。			
担当者の研究室等	7号館5階(篠原研究室)			
備考				

科目名	総合中国語 a	科目名 (英文)	Integrated Chinese Skills a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	K
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	段 飛虹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学	【教員免許状取得のための履修区分】選択

授業概要・目的	文法や文型を理解し、それを応用できる力をつけることは検定試験の長文や文法問題、翻訳問題などに対応するうえで必要なだけでなく、外国語によるコミュニケーションを成立させるためにも不可欠のものである。ただ、文法の分析や説明をそのまま記憶することは言葉の運用につながるものではなく、整理された文例をできるだけ多くインプットする過程を経てはじめて意味の理解やことばの産出が機能するようになる。そこで、この授業では検定試験形式の問題を大量に解くという方法を通して文法にかかわる応用力をやしなう。
到達目標	6月末に受験する中国語検定2級試験の文法問題に70%正解できるレベル程度の文法の知識を身に付ける。
授業方法と留意点	毎回のテーマに関係する正誤問題や翻訳問題、空欄問題、長文問題を解く。3年生の各選択科目ではそれぞれ次の項目に重点を置いている。「中国語コミュニケーション」=リスニング、「日中翻訳法」=日文中訳、「原書講読」=読解、「総合」=文法。これら全てを履修することで偏りなく2級試験に合格する力をつけることができる。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験2級合格。中国語コミュニケーション能力の向上。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第1課	動詞類義語 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
2	第2課	名詞類義語 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
3	第3課	副詞類義語 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
4	第4課	把構文 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
5	第5課	状態補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
6	第6課	可能補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
7	第7課	複合方向補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
8	中間試験	第1課～第7課	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
9	第8課	方向補語派生義	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
10	第9課	結果補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
11	第10課	構造助詞	授業外の時間に、中国語検定試験の問題の中から授業で学んだ文法事項を探す作業を進める。
12	第11課	前置詞類義語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
13	第12課	複文とその補助成分 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
14	第13課	複文とその補助成分 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
15	期末試験	第8課～第13課	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。

関連科目 中国語の3年生科目すべて

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	総合中国語	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	中間テストと期末テストの成績と授業にとり組む積極性を基準に評価する。特に出席状況は成績に大きく反映されるので無断欠席しないように。欠席回数が六回を超えた者に対しては単位は認めない。
学生へのメッセージ	検定2級突破を目指して積極的に授業に取り組んでください。
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	この科目で使用する教科書『総合中国語』は前後期を通じて使用する。

科目名	総合中国語 a	科目名 (英文)	Integrated Chinese Skills a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	L
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国文学
		取得のための履修区分	選択

授業概要・目的	文法や文型を理解し、それを応用できる力をつけることは検定試験の長文や文法問題、翻訳問題などに対応するうえで必要なだけでなく、外国語によるコミュニケーションを成立させるためにも不可欠のものである。ただ、文法の分析や説明をそのまま記憶することは言葉の運用につながるものではなく、整理された文例をできるだけ多くインプットする過程を経てはじめて意味の理解やことばの産出が機能するようになる。そこで、この授業では検定試験形式の問題を大量に解くという方法を通して文法にかかわる応用力をやしなう。
到達目標	6月末に受験する中国語検定2級試験の文法問題に70%正解できるレベル程度の文法の知識を身に付ける。
授業方法と留意点	毎回のテーマに関係する正誤問題や翻訳問題、空欄問題、長文問題を解く。3年生の各選択科目ではそれぞれ次の項目に重点を置いている。「中国語コミュニケーション」=リスニング、「日中翻訳法」=日文中訳、「原書講読」=読解、「総合」=文法。これら全てを履修することで偏りなく2級試験に合格する力をつけることができる。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験2級合格。中国語コミュニケーション能力の向上。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第1課	動詞類義語 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
2	第2課	名詞類義語 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
3	第3課	副詞類義語 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
4	第4課	把構文 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
5	第5課	状態補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
6	第6課	可能補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
7	第7課	複合方向補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
8	中間試験	第1課～第7課	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
9	第8課	方向補語派生義	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
10	第9課	結果補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
11	第10課	構造助詞	授業外の時間に、中国語検定試験の問題の中から授業で学んだ文法事項を探し作業を進める。
12	第11課	前置詞類義語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
13	第12課	複文とその補助成分 (1)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
14	第13課	複文とその補助成分 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
15	期末試験	第8課～第13課	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。

関連科目 中国語の3年生科目すべて

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	総合中国語	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	中間テストと期末テストの成績と授業にとり組む積極性を基準に評価する。特に出席状況は成績に大きく反映されるので無断欠席しないように。欠席回数が六回を超えた者に対しては単位は認めない。
学生へのメッセージ	検定2級突破を目指して積極的に授業に取り組んでください。
担当者の研究室等	7号館3階 瀬戸研究室
備考	この科目で使用する教科書『総合中国語』は前後期を通じて使用する。

科目名	総合中国語 b	科目名 (英文)	Integrated Chinese Skills b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	K
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	段 飛虹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	文法や文型を理解し、それを応用できる力をつけることは検定試験の長文や文法問題、翻訳問題などに対応するうえで必要なだけでなく、外国語によるコミュニケーションを成立させるためにも不可欠のものである。ただ、文法の分析や説明をそのまま記憶することは言葉の運用につながるものではなく、整理された文例をできるだけ多くインプットする過程を経てはじめて意味の理解やことばの産出が機能するようになる。そこで、この授業では前期科目「総合中国語 b」で学んだ項目を定着させながら学習範囲をより広げて、検定 2 級試験の文法問題の中でも比較的難易度の高い問題にも対応できる力をやしなう。
到達目標	11 月末に受験する中国語検定 2 級試験の文法問題に 80% 正解できるレベル程度の文法の知識を身に付ける。
授業方法と留意点	毎回のテーマに関する正誤問題や翻訳問題、空欄問題、長文問題を解く。3 年生の各選択科目ではそれぞれ次の項目に重点を置いている。「中国語コミュニケーション」=リスニング、「日中翻訳法」=日文中訳、「原書講読」=読解、「総合」=文法。これら全てを履修することで偏りなく 2 級試験に合格する力をつけることができる。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 2 級合格。中国語コミュニケーション能力の向上。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第 14 課	複文とその補助成分 (3)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
2	第 15 課	複文とその補助成分 (4)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
3	第 16 課	複文とその補助成分 (5)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
4	第 17 課	成語 (慣用フレーズ)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
5	第 18 課	比較表現	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
6	第 19 課	動詞類義語 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
7	中間試験	第 14 課～第 19 課	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
8	第 20 課	名詞類義語 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
9	第 21 課	可能補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
10	第 22 課	把構文 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
11	第 23 課	接続詞	授業外の時間に、中国語検定試験の問題の中から授業で学んだ文法事項を探し作業を進める。
12	第 24 課	副詞類義語 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
13	第 25 課	疑問詞呼応	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
14	第 26 課	離合詞	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
15	期末試験	第 20 課～第 26 課	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。

関連科目 中国語の 3 年生科目すべて

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	総合中国語	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	中間テストと期末テストの成績と授業にとり組む積極性を基準に評価する。特に出席状況は成績に大きく反映されるので無断欠席しないように。欠席回数 が 6 回を超えた者に対しては単位は認めない。
学生へのメッセージ	検定 2 級突破を目指して積極的に授業に取り組んでください。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 非常勤講師控室
備考	この科目で使用される教科書『総合中国語』は前後期を通じて使用する。

科目名	総合中国語 b	科目名 (英文)	Integrated Chinese Skills b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	L
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国文学
		取得のための履修区分	選択

授業概要・目的	文法や文型を理解し、それを応用できる力をつけることは検定試験の長文や文法問題、翻訳問題などに対応するうえで必要なだけでなく、外国語によるコミュニケーションを成立させるためにも不可欠のものである。ただ、文法の分析や説明をそのまま記憶することは言葉の運用につながるものではなく、整理された文例をできるだけ多くインプットする過程を経てはじめて意味の理解やことばの産出が機能するようになる。そこで、この授業では前期科目「総合中国語 b」で学んだ項目を定着させながら学習範囲をより広げて、検定2級試験の文法問題の中でも比較的難易度の高い問題にも対応できる力をやしなう。
到達目標	11月末に受験する中国語検定2級試験の文法問題に80%正解できるレベル程度の文法の知識を身に付ける。
授業方法と留意点	毎回のテーマに関する正誤問題や翻訳問題、空欄問題、長文問題を解く。3年生の各選択科目ではそれぞれ次の項目に重点を置いている。「中国語コミュニケーション」=リスニング、「日中翻訳法」=日文中訳、「原書講読」=読解、「総合」=文法。これら全てを履修することで偏りなく2級試験に合格する力をつけることができる。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験2級合格。中国語コミュニケーション能力の向上。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第14課	複文とその補助成分 (3)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
2	第15課	複文とその補助成分 (4)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
3	第16課	複文とその補助成分 (5)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
4	第17課	成語 (慣用フレーズ)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
5	第18課	比較表現	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
6	第19課	動詞類義語 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
7	中間試験	第14課～第19課	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
8	第20課	名詞類義語 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
9	第21課	可能補語	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
10	第22課	把構文 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
11	第23課	接続詞	授業外の時間に、中国語検定試験の問題の中から授業で学んだ文法事項を探し作業を進める。
12	第24課	副詞類義語 (2)	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
13	第25課	疑問詞呼応	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
14	第26課	離合詞	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。
15	期末試験	第20課～第26課	この授業で作るノートを利用して、他の中国語の授業で学んだ文法事項も整理しながら記入する。

関連科目	中国語の3年生科目すべて
------	--------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	総合中国語	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	中間テストと期末テストの成績と授業にとり組む積極性を基準に評価する。特に出席状況は成績に大きく反映されるので無断欠席しないように。欠席回数6回を超えた者に対しては単位は認めない。
-----------	---

学生へのメッセージ	検定2級突破を目指して積極的に授業に取り組んでください。
-----------	------------------------------

担当者の研究室等	7号館3階 瀬戸研究室
----------	-------------

備考	この科目で使用する教科書『総合中国語』は前後期を通じて使用する。
----	----------------------------------

科目名	総合マレー語 a	科目名 (英文)	Integrated Malayan Language Skills a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	マレー語の基礎的な事項を学習した者を対象として、マレー語運用能力の向上を目指す。配付資料に依拠しながら文法事項について説明する。また、新聞、雑誌、論文、映像資料など多様な媒体におけるマレー語に触れ、理解に努める。学習事項を踏まえて、表現能力を高めるため、受講者にはまとまった量の文章作成等を随時課す。			
到達目標	マレー語能力の向上。			
授業方法と留意点	課題を出すので、自分の到達度を鑑みて自主的に取り組むこと。特に、リスニングの課題は次回授業までに確実に取り組んでおくこと。			
科目学習の効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	既習事項について復習する。	既習事項の確認問題
	2	文法1 (強勢語)	juga, pun, pulaなどの強勢語の意味や使用例について学習する。	既習事項の確認と演習課題
	3	文法2 (語尾の表現)	lah, kahなどの文末・語末に使われる語について学習する。	既習事項の確認と演習課題
	4	文法3 (ialah, adalah)	マレー語でよく使用される kata pemerihal (ialah と adalah)について学習する。	既習事項の確認と演習課題
	5	復習1	第4講義までに学んだ内容について復習を行うとともに、理解度を問う確認テストを行う。	テストのために既習事項を確認する。
	6	文法4 (感嘆語)	amboi, aduhなどの感嘆語の使用について学習する。	既習事項の確認と演習課題
	7	表現1 (ことわざと慣用句)	マレー語で使用されることわざと慣用句について、その文化的背景を踏まえて学習する。	既習事項の確認と演習課題 (ことわざと慣用句についてのサイトにアクセスして、課題に取り組む)
	8	表現2 (聞き取り)	マレー語教材を用いて聞き取りを行う。	既習事項の確認と演習課題 (指定した動画ファイルを視聴して課題に取り組む)
	9	表現3 (聞き取り)	マレー語放送を視聴して聞き取りを行う。 中高生向けに書かれた文章を取り上げて講読する。	練習問題と課題文にあるわからない単語について調べてくる。
	10	復習2	第9講義までに学んだ内容について復習を行うとともに、理解度を問う筆記と聞き取りの確認テストを行う。	テストのために既習事項を確認確認する。
	11	講読1	中高生向けに書かれた文章を取り上げて講読する。	既習事項の確認と演習課題。練習問題と課題文にあるわからない単語について調べてくる。
	12	講読2	マレー語で書かれた雑誌の小記事を取り上げて講読する。	既習事項の確認と演習課題。練習問題と課題文にあるわからない単語について調べてくる。
	13	表現1	地図、図表、写真などを見て、作文を完成させる。	作文のための資料収集と、文章の推敲。
	14	復習3	第13講義までに学んだ諸表現について復習を行うとともに、理解度を問う確認テストを行う。	テストのために既習事項を確認する。
	15	総合復習	確認テストについての講評を行うとともに、地図や図表等に関する受講者の作文を発表する。	作文の完成と既習事項の確認。
関連科目	総合マレー語 b、時事インドネシア・マレー語 a、マレー語圏トピックスⅡ、実践インドネシア・マレー語 b			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Kamus Dewan		Dewan Bahasa dan Pustaka
	2	マレーシア語学習辞典	川上雄作	アジアのことばと辞書の会
	3			
評価方法 (基準)	3回に分けて行う確認テスト (60%) と発表や提出物等の授業への取り組み (40%) と併せて成績を判断する。詳細は第一回目の授業で指示する。			
学生へのメッセージ	日々の研鑽を怠らないようにしてください。			
担当者の研究室等	7号館5階 (上田研究室)			
備考	参考書に挙げたマレー語辞書は、課題に取り組む際に大いに参考にすること。			

科目名	総合マレー語 b	科目名 (英文)	Integrated Malayan Language Skills b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	基礎的な事項を学習した者を対象として、マレー語運用能力の向上を目指す。新聞、雑誌、論文、映像資料など多様な媒体におけるマレー語に触れ、理解に努める。学習事項を踏まえて、表現能力を高めるため、受講者にはまとまった量の文章作成やスピーチを随時課す。			
到達目標	マレー語能力の向上。			
授業方法と留意点	課題を出すので、自分の到達度を鑑みて自主的に取り組むこと。特に、リスニングの課題は次回授業までに確実に取り組んでおくこと。			
科目学習の効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	前期学習事項の確認を行う。	既習事項の確認と課題文のわからない単語について調べてくる。
	2	文法 1	接続詞の用法について学ぶ。	既習事項の確認と演習問題
	3	文法 2	接辞の多様な使用方法について学ぶ。	既習事項の確認と演習問題
	4	講読 1	マレー文化についてマレー語で書かれた雑誌記事を講読する。あわせて、関連するトピックスに関連した映像資料を視聴する。	既習事項の確認と演習課題 (図書館やウェブからマレー語資料を収集してくる)
	5	復習 1	第 4 講義までに学んだ内容について復習を行うとともに、理解度を問う確認テストを行う。	既習事項の復習
	6	表現 1	マレー語ニュースを視聴して、内容を要約する。	既習事項の確認と演習課題 (マレー語ニュースにアクセスして、わからない表現や単語をピックアップしてくる)
	7	表現 2	マレー語ニュースを視聴して、内容を要約する。	既習事項の確認と演習課題 (興味のあるトピックについて書かれたサイトを探して、わからない表現や単語をピックアップしてくる)
	8	講読 2	インターネット上にある口語混じりの文章に触れる。	既習事項の確認と演習課題 (興味のあるトピックについて書かれたサイトを探して、わからない表現や単語をピックアップしてくる)
	9	講読 3	マレー語で書かれた平易な本の一部を読む	既習事項の確認と演習課題 (本の該当箇所にあるわからない表現や単語を調べてくる)
	10	復習 2	第 9 講義までに学んだ内容について復習を行うとともに、理解度を問う筆記と聞き取りの確認テストを行う。	既習事項の復習。
	11	講読 4	マレー語で書かれた平易な本の一部を講読する。	既習事項の確認と演習課題 (本の該当箇所にあるわからない表現や単語を調べてくる)
	12	表現 3	マレーシアのラジオ放送について概観を得た上で、口語表現を学修する。	既習事項の確認と演習課題 (マレーシアのラジオ放送を視聴する。わかった内容について報告する準備を行う)
	13	演習	マレーシアの学生向けに作られた「国語 (マレー語)」問題に取り組む。	既習事項の確認と演習課題 (該当箇所にあるわからない表現や単語を調べてくる)
	14	復習 3	第 13 講義までに学んだ諸表現について復習を行うとともに、理解度を問う確認テストを行う。	練習問題
15	総合復習	確認テストについての講評を行うとともに、学力試験の作文問題を発表する。	学習事項の復習	
関連科目	総合マレー語 a、時事インドネシア・マレー語 a、マレー語圏トピックス;、実践インドネシア・マレー語 b			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Kamus Dewan		Dewan Bahasa dan Pustaka
	2			
	3			
評価方法 (基準)	3回に分けて行う確認テスト (70%) と発表や提出物等の授業への取り組み (30%) と併せて成績を判断する。詳細は第一回目の授業で指示する。			
学生へのメッセージ	日々の研鑽を怠らないようにしてください。			
担当者の研究室等	7号館 5階 (上田研究室)			
備考	参考書に挙げたマレー語辞書は、課題に取り組む際に大いに参考にすること。			

科目名	卒業研究	科目名(英文)	Graduation Thesis
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	4	履修区分	必修科目
学期	通年	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習で設定したテーマ(修正・変更可)にもとづき、各自の個別研究を深めていく。調査や整理、発表や討論、さらにレポート・原稿作成という一連の作業のプロセスを通じて、知識や思考を深め、内容を洗練させようとして、卒業研究レポートに取り組んでほしい。																																																																		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題を設定し、文献を探求し、論点を論理的に整理し、まとめたレポートを制作する力を養成する。 ・発表力、聞く力、質問力、コメント力など社会人としての基礎的な力を涵養する。 																																																																		
授業方法と留意点	<p>(前期)</p> <p>まず、卒業研究レポート提出までの作業について簡単なガイダンスをおこなう。次に各自、執筆までのスケジュールを立てる。必要な文献を多く読むことで問題意識を高め、先行研究をふまえて、独自の「結論」を導き出すための問題を設定する。</p> <p>(後期)</p> <p>各自の発表をふまえて執筆にとりかかる。論理的展開と明快な文章を心がけ、4年間の集大成をおこなう。</p>																																																																		
科目学習の効果(資格)																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>導入</td> <td>3ゼミで設定したテーマの再確認(変更・修正を含む)</td> <td>テーマについて熟考する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>テーマの設定</td> <td>各自のテーマを最終決定する。</td> <td>テーマについて熟考する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>構想と探求</td> <td>必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。</td> <td>構想を練る。文献探索。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>構想と探求</td> <td>必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。</td> <td>構想を練る。文献探索。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>構想と探求</td> <td>必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。</td> <td>構想を練る。文献探索。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>各章・各節の立案と資料整理</td> <td>各章各節の具体的な内容を立案する。</td> <td>立案と整理。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>各章・各節の立案と資料整理</td> <td>各章各節の具体的な内容を立案する。</td> <td>立案と整理。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>各章・各節の立案と資料整理</td> <td>各章各節の具体的な内容を立案する。</td> <td>立案と整理。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>執筆と討議</td> <td>整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。</td> <td>執筆と推敲。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>執筆と討議</td> <td>整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。</td> <td>執筆と推敲。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>執筆と討議</td> <td>整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。</td> <td>執筆と推敲。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>執筆と討議</td> <td>整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。</td> <td>執筆と推敲。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>執筆と討議</td> <td>整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。</td> <td>執筆と推敲。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>完成原稿の確認</td> <td>レポートを完成させ、さらに推敲を加える。</td> <td>執筆と推敲。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>完成原稿の確認</td> <td>レポートを完成させ、さらに推敲を加える。</td> <td>執筆と推敲。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	導入	3ゼミで設定したテーマの再確認(変更・修正を含む)	テーマについて熟考する。	2	テーマの設定	各自のテーマを最終決定する。	テーマについて熟考する。	3	構想と探求	必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。	構想を練る。文献探索。	4	構想と探求	必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。	構想を練る。文献探索。	5	構想と探求	必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。	構想を練る。文献探索。	6	各章・各節の立案と資料整理	各章各節の具体的な内容を立案する。	立案と整理。	7	各章・各節の立案と資料整理	各章各節の具体的な内容を立案する。	立案と整理。	8	各章・各節の立案と資料整理	各章各節の具体的な内容を立案する。	立案と整理。	9	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。	10	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。	11	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。	12	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。	13	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。	14	完成原稿の確認	レポートを完成させ、さらに推敲を加える。	執筆と推敲。	15	完成原稿の確認	レポートを完成させ、さらに推敲を加える。	執筆と推敲。
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	導入	3ゼミで設定したテーマの再確認(変更・修正を含む)	テーマについて熟考する。																																																																
2	テーマの設定	各自のテーマを最終決定する。	テーマについて熟考する。																																																																
3	構想と探求	必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。	構想を練る。文献探索。																																																																
4	構想と探求	必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。	構想を練る。文献探索。																																																																
5	構想と探求	必要な参考文献を収集読解し、全体の構想をねる。	構想を練る。文献探索。																																																																
6	各章・各節の立案と資料整理	各章各節の具体的な内容を立案する。	立案と整理。																																																																
7	各章・各節の立案と資料整理	各章各節の具体的な内容を立案する。	立案と整理。																																																																
8	各章・各節の立案と資料整理	各章各節の具体的な内容を立案する。	立案と整理。																																																																
9	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。																																																																
10	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。																																																																
11	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。																																																																
12	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。																																																																
13	執筆と討議	整理したところから執筆しつつ、討議を繰り返し、推敲をおこなう。	執筆と推敲。																																																																
14	完成原稿の確認	レポートを完成させ、さらに推敲を加える。	執筆と推敲。																																																																
15	完成原稿の確認	レポートを完成させ、さらに推敲を加える。	執筆と推敲。																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	口頭発表(討論含む)・卒業研究レポートを総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	卒業研究への取り組みは、一つのテーマを徹底的に掘り下げる貴重な機会です。社会へ出るための最も重要な総合力を養成することをめざしましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館4階(小川研究室)																																																																		
備考	事前事後学習時間の目安:資料探索・整理に50時間。その他10時間。																																																																		

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	研究テーマ・課題を設定し、論文を作成する。これを通じ、学術的な調査・資料分析の方法、論理的な思考、文章の技術を習得する。		
到達目標	論理的な思考に基づく分析と考察、ディスカッション、文章表現などの能力が身につく。		
授業方法と留意点	研究計画書に沿って、論文作成を進める。研究内容や論文作成の進展状況について、演習で報告し、全員で討議する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	<ul style="list-style-type: none"> 研究計画書を作成する（卒業研究のテーマに関する文献のレビューおよび調査方法の説明を含む）。 調査に着手する。 		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	演習への出席、発言、口頭発表、調査への取り組み姿勢に基づいて行う。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等			
備考			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	国際文化演習で行った課題を自らの研究テーマにあわせて資料収集し、それを調査しながら研究報告にまとめる。グループ・ゼミと個人ゼミを組み合わせながら指導を卒業研究レポートを完成させる。																		
到達目標	下記の3つの能力を到達目標とする ①課題解決能力：与えられた課題を期限内に解決できる。 ②論理的記述能力：内容を論理的かつ簡潔に記述し、卒業研究レポートを完成させる。 ③社会的理解力：研究テーマの社会的意味や影響力を理解する。																		
授業方法と留意点	(前期) 1回目：オリエンテーション 2回目以降：執筆までの各自のスケジュールを計画しそれを実行する																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】国際協調・国際理解の展望 【事前事後学習課題】文献・インターネット等で内容を調べてくる。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	研究活動、口頭発表、研究発表内容を総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階 浅野研究室																		
備考																			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習における議論をさらに発展させ、その成果を卒業研究レポートでまとめる。		
到達目標	英文で12枚以上の「卒論」を作成する。		
授業方法と留意点	卒論と就活を両立させる。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>「卒業論文」について共通の理解を図る。</p> <p>前期・・・Poeを読む(金3)、個別指導(金4) 後期・・・Melvilleを読む(火3)、個別指導(金3・4) (火3は3年次生との合同授業)</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	授業における取り組みと卒業研究レポートを総合して評価する。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等備考	7号館3F 天野研究室		

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究レポートを作成する。前期は研究テーマに関する文献を収集し、読み、基礎的な知識を身につける。またレポートの章立てを作る。ものの調べ方や文章を読み解く力をつける。		
到達目標	専門的な文献や資料の探索方法や論文を分析し批判する力を身につける。インターネットへの注意や論文の引用の仕方を学び研究倫理を身につける。論理の組み立てを学び実践する。的確な日本語の文章を書く。		
授業方法と留意点	教員の指示にしたがい個々に必要な作業を進める。発表を行う。毎回進捗状況をたがいに報告する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>主として美術や文化に関する問題から卒業研究レポートテーマを決める。 関連の論文・文献を収集する。 それらを読み、レポートにまとめる問題点を引き出す。 実地調査・アンケートなど必要な作業を行い、分析考察する。 章立てをまとめる。</p> <p><事前事後学習課題>自分で図書館やインターネットを利用して、必要な文献を集める。 文献を読んで分からないことは自分で調べる。 論文執筆は各自で行い、大学には家で書いてきたものを印刷して持ってくる。</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	参加の態度とレポートの内容		
学生へのメッセージ	卒業研究レポートは1年かけて行う大変な作業です。苦しいことも多々ありますが、大学で「これを学んだ」という自覚をもつことができます。充実した1年間になるよう、がんばりましょう。		
担当者の研究室等			
備考			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究レポートの作成を指導する。文化人類学という広い枠を設けるものの、受講者の関心からテーマを設定して、その研究を指導する。文献の調べ方、データの収集、文章表現など、卒業研究レポート作成のために必要な知識や能力を涵養する。各自の主題に関連する文献講読と、各自の調査主題の報告が授業の中心となる。			
到達目標	卒業研究レポートの作成。			
授業方法と留意点	卒業研究完成のために計画的に取り組むことができるよう、時期にあった指導を行う。前半は完成のための礎作りのための時期とし、後半は論文作成を意識する時期とする。 卒業研究を有意義なものにするためには、受講者の主体性が必要である。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	まず、受講者の関心に基づいて、調査主題を設定する。そのうえで、関連するトピックについて書かれた文化人類学や社会学の文献の講読を進める。毎回報告者を指名するので、報告者は配付資料を用意して30分程度で内容について報告する。コメンテーターは5分程度のコメントをする。報告者とコメンテーターと聴衆のいずれの役割においても発言することが求められるので、指定された文献を精読してくる。各自の調査成果報告においても、同様の役割分担を行う。時間を有効に活用するため、授業時間外の作業の質と量が問われる。報告とディスカッションを経て、期末レポートを作成するための指導を行う。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	毎回の授業への取り組みと発表内容、および期末レポートから総合的に判断する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等備考				

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	現代の日本や東南アジア世界をめぐる社会事象および社会現象がいかなる意味をもち、周りにどれほどの影響を与えているのか。3年次の「文化演習」で得た知見をベースにしつつ、各受講生が個別に選択したテーマについて、ディシプリンの見方を怠らずに、より深い考察を行っていく。																		
到達目標	研究作業を通じて、客観的な眼差しがもてるようになる。また、日頃のゼミ活動を通じて、「目くばり」「気くばり」「心くばり」のできる人間になることを目標とする。																		
授業方法と留意点	基本的には個人個人での取り組みとなるため、研究計画をきっちりと立て、積極的姿勢で進めていくこと。 なお、7月に卒論中間発表会を開催するので、留意のこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 各自が卒業研究レポート完成へ向けて、それぞれのテーマを設定し、取り組んでいく。 【事前事後学習課題】 文献資料・インターネット等を活用し、取り組んでいる研究を深化させること。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル</td> <td>浦野崇央編</td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「研究」を進めるために―研究資料ガイド2015―</td> <td>浦野崇央編</td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ	2	「研究」を進めるために―研究資料ガイド2015―	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
2	「研究」を進めるために―研究資料ガイド2015―	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
3																			
評価方法 (基準)	毎月のレポートおよび積極的に研究を進めていくという受講態度で評価します。																		
学生へのメッセージ	学生生活の集大成を立派な形として残すことができるように、一生懸命取り組んでいきましょう。																		
担当者の研究室等	7号館4階 (浦野研究室)																		
備考																			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習で設定したテーマ(修正・変更可)にもとづき、各自の個別研究を深めていく。調査や整理、発表や討論、さらにレポート・原稿作成という一連の作業のプロセスを通じて、知識や思考を深め、内容を洗練させたうえで、卒業研究レポートに取り組んでほしい。																		
到達目標	・自ら問題を設定し、文献を探求し、論点を論理的に整理し、まとめたレポートを制作する力を養成する。 ・発表力、聞く力、質問力、コメント力など社会人としての基礎的な力を涵養する。																		
授業方法と留意点	(前期) まず、卒業研究レポート提出までの作業について簡単なガイダンスをおこなう。次に各自、執筆までのスケジュールを立てる。必要な文献を多く読むことで問題意識を高め、先行研究をふまえて、独自の「結論」を導き出すための問題を設定する。 (後期) 各自の発表をふまえて執筆にとりかかる。論理的展開と明快な文章を心がけ、4年間の集大成をおこなう。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【テーマ】 日本文学・日本文化・日本語をめぐる諸問題(海外との比較研究を含む) 【内容】 各自が三ゼミにおいて設定したテーマを深め、発表する力、聴く力、書く力を養成する。また文献探索の方法や、論文の書き方について学ぶ。 ? テーマの再確認または変更 ? 参考文献の収集 ? 文献の読解・分析 ? 先行研究の分析 ? 論の構想 ? 論文の作成 ? 共同討議 などを柱としてすすめる。 【方法】 発表・討議をくりかえし、また個別指導を通じて、卒研レポートの完成をめざす。 【事後・事前学習】 自己のテーマの深化・錬成、発表の準備とまとめ																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	口頭発表(討論含む)・卒業研究レポートを総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	卒業研究への取り組みは、一つのテーマを徹底的に掘り下げる貴重な機会です。社会へ出るための最も重要な総合力を養成することをめざしましょう。																		
担当者の研究室等	7号館4階(小川研究室)																		
備考																			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>【テーマ】 日本語・日本語教育</p> <p>【授業概要・目的・到達目標】 3年次の文化演習で学んだことを基に、広い意味の「日本語教育」-----日本語学・第二言語習得・異文化コミュニケーション・教授法・多文化共生等-----に関して、各自が設定したテーマについて考察し、卒業研究レポートを完成する。</p>																
到達目標	<p>*スケジュールにしたがって、執筆作業を進めていくことができる。</p> <p>*自分が設定したテーマに関して、自分なりに調査・分析・考察し、論理的な文章を書くことができる。</p>																
授業方法と留意点	各自が関心を持ったテーマについて、文献及び資料を収集する。資料収集・調査・分析等の研究方法や論文執筆の指導は個別に行うが、ゼミの学生同士の意見交換を通してよりよい研究論文を執筆する。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 各自の研究テーマについてのディスカッション、論文執筆、論文添削</p> <p>【事前事後学習課題】 資料、文献収集、論文執筆、推敲</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	卒業研究への意欲、口頭発表、論文の内容等により総合的に評価する。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等																	
備考																	

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	受講生が、言語や文化に関して興味のある研究テーマを選択し、そのテーマについて研究レポートを作成していく。																		
到達目標	卒業研究を執筆し、それについて発表することが出来るようになる。																		
授業方法と留意点	(前期) 4月：卒研テーマを決定する。論文の書き方、資料の集め方を学ぶ。 4月～9月：資料を収集し、資料を整理する。資料を読んで内容を把握する。 (後期) 10月～11月：各章ごとに下書きを開始して、粗稿を書く。 12月～ 1月：清書をして、卒業研究レポートを完成させる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 言語と文化 【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べてくる。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	卒業研究の内容																		
学生へのメッセージ	大学生生活も残りあとわずかです。悔いのないように頑張って下さい。																		
担当者の研究室等	後藤研究室 (7号館5階)																		
備考																			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>【テーマ】 英語圏および英語圏と関わりを持つ言語と文化</p> <p>【授業概要・目的・到達目標】 3年次の文化演習で学んだことを生かして、学生各自がテーマを設定し、卒業研究レポートを作成する。</p>																
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの話題に関して複数の立場で判断する姿勢を身につける。 ・情報の精度や公平性を気に掛けるようになる。 ・社会人になってからも通用する、責任をもった調査やレポートの書き方を身につける。 																
授業方法と留意点	各自のテーマに基づいて資料を収集し、資料の調査・分析など情報のインプットの方法を学ぶ。さらに、論文の構成や発表方法など情報のアウトプットの方法を学び、最終的に卒業研究レポートを完成させる。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	英語圏の歴史・文化・文学や英語教育をテーマとするが、学生が個々に興味をもつテーマを選んでかまわない。 ゼミの学生各自の発表と、リサーチや研究のルールの学習を、並行して行う。社会人として卒業後も活かせる知識や技術となるので、授業はもれなく全力で参加しよう。																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	卒業研究に取り組む姿勢と卒業研究レポートの内容によって総合的に評価する。																
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生の間におきたいことを、1つでもたくさんやってしまいましょう。 ・一生記憶に残るような良いレポートを仕上げましょう。 																
担当者の研究室等	7号館4階 齋藤研究室																
備考																	

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	他の人に自信をもって見てもらえる卒業研究レポートに仕上げるために必要な文献探し、資料読み、まとめ方（カードやノートの取り方）、論文の構成、文章作法などを身につける。		
到達目標	共通のテーマのもとで論文執筆作法を学んだ後、各自のテーマに沿った卒業研究に着手する。		
授業方法と留意点	最初はゼミ生全員で共通のテーマについて、問題設定、資料読み、まとめ方を確認する。 それぞれが卒業研究の主題を決めれば、文献探し、読書計画、読み、まとめなどを個別に指導する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 文化史的な内容の文献を課題図書として選び、読み合わせていく。</p> <p>【事前事後学習課題】 担当する個所についてレジュメを作り、発表する。レジュメの適不適について話し合い、より良い状態に仕上げる。</p>		
関連科目	スペイン語、スペイン語圏に関する科目全般。歴史系科目。		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	レジュメの内容、授業での発表、受け答え。課題（小レポートを含む）。		
学生へのメッセージ	4年間の大学生活の集大成となる卒業研究レポートです。先輩たちのよい所を見習い、後輩たちの見本となるようなレポートを作成しましょう。		
担当者の研究室等	7号館5階（篠原研究室）		
備考			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ショー ン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	各自の卒業研究を遂行する。自ら定めたテーマについて、文献の渉猟、データの収集、アンケート調査などを行いながら、筋道の通った論法で、自分の意見を述べる。最終的に、各自の成果をゼミでプレゼンテーションし、研究レポートにまとめる。			
到達目標	自ら定めたテーマに関する資料を収集し、考えを論理的にまとめ、意見を発信できるようになる。			
授業方法と留意点	毎回の授業で、担当教員との討論をするので、きちんと準備したうえで望むこと。全体的なスケジュールを常に念頭に置きながら、計画的に進めていくことが望まれる。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	卒業研究レポート指導 / 文献の読み込み、担当者との討論、データの収集などを行う			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	毎回の討論や、中間発表などを総合的に判断して評価する。			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館5階 McGovern 研究室			
備考				

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	学生それぞれのテーマや関心をもとに、ひとつトピックを設定し、文献の渉猟・読み込み、データ収集、考察などを進めながら、自らの意見を論理だてて述べ、それを自らの言葉に落とし込み、卒業研究を完成させる。																		
到達目標	和文の場合、12000字以上の卒業研究を完成させる。																		
授業方法と留意点	前期は特に文献の渉猟、読み込み、データ収集に力点を置く。きちんと毎回の授業で指定された作業をこなしてこることが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>テーマ：現代英語の語法文法研究</p> <p>内容：文献の読み込み、データの収集などをもとに、指導教員との討議から、できるだけオリジナリティのある考えに到達できることを目指す。</p> <p>事前・事後学習課題：文献の渉猟・読み込み、データ収集などを含めて、卒業論文を少しずつ書き進める。事前・事後学習の総時間を30時間とする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	卒業研究の進捗状況を総合的に判断する。																		
学生へのメッセージ	文献探しは卒業研究を作成するにあたって基本中の基本です。めんどくがらずに関係のないテーマの本でも読みこみましょう。違った分野のものでも、自分のテーマとの思わぬ関連性やヒントを得ることがあります。																		
担当者の研究室等備考	7号館4階 住吉 誠 研究室																		

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究のテーマの決定と参考文献の収集を行う。		
到達目標	卒業研究の方向性を決定し、草稿を書く。		
授業方法と留意点	これまでの文化演習での学習の蓄積を考慮して、研究テーマを考える。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	授業の最初に卒業研究のテーマを決めて、内容を詳細に検討する。 さらに参考文献の存在を確かめて、入手をどのようにするかを考える。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	卒業研究への取り組みを総合的に判断する。		
学生へのメッセージ	一生記憶に残る卒業研究ができればいいなと思います。		
担当者の研究室等	7号館3階		
備考			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	In this course, students will continue to research and learn about the topics introduced in 3rd year on tourism and hospitality in English. Cross cultural issues will be discussed to create an awareness of customer service in both Japan and overseas. Students will write further on their graduation thesis in English. Reading for pleasure will be encouraged, to expand vocabulary and improve all four skills - speaking, listening, reading and writing. Oral presentations of thesis material and discussions will take place to encourage confidence in English. Job skills - interviewing techniques and answers will be reviewed."																		
到達目標	Students should improve their four skills of reading, writing listening and speaking in this double period class where only English is used.																		
授業方法と留意点	Regular on-time attendance, a willingness to participate in all organised tutorial events, reading outside class for the reading marathon are the key to a good grade.																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>(First term) Thesis topics which have already been decided upon will be researched at length, typed out and a Part 1 copy handed in by the end of the term. Students will attend an English play during the year.</p> <p>Academic writing skills will continue to be studied to help in the process.</p> <p>(Second term) Students will continue to write their thesis papers (Part 2). Oral presentations on thesis topics will take place and hospitality related excursions will be organized with students researching locations. Students will participate in the speech and recitation contest. Second term will be the time for more intensive study in English.</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>English for International Tourism Pre-intermediate New Edition</td> <td>Dublicka and O'Keefe</td> <td>Pearson ELT Japan</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Language Note</td> <td>Richard McMahon</td> <td>languagenote.com</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Basic steps to writing research papers</td> <td>Kluge and Taylor</td> <td>Cengage</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	English for International Tourism Pre-intermediate New Edition	Dublicka and O'Keefe	Pearson ELT Japan	2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com	3	Basic steps to writing research papers	Kluge and Taylor	Cengage
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	English for International Tourism Pre-intermediate New Edition	Dublicka and O'Keefe	Pearson ELT Japan																
2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com																
3	Basic steps to writing research papers	Kluge and Taylor	Cengage																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	Attendance, oral presentations, reading and thesis will form the basis for grading along with enthusiastic 100% participation in events organized by the teacher. Be ready to join in the reading marathon, speech/recitation contest, and drama events.																		
学生へのメッセージ	Reading is the core of your English improvement, so be prepared to read lots. English only will be used in class. Please come ready to use English, read in English, write in English, and help others to stay in English for every class. Don't be afraid of																		
担当者の研究室等	田浦研究室 7号館 5階																		
備考																			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次文化演習での蓄積をもとに各自の研究を進め、主に英語学のアプローチで卒業研究をまとめてゆく。																		
到達目標	参考文献を十分に入れた完成度の高い卒業研究を書き上げる。																		
授業方法と留意点	研究タイトル、研究概要、研究目標、参考文献、付帯資料、などをそろえる方法を学び、自分の卒業研究に生かしてゆく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>学生本人の興味、関心などを基礎として、様々な英語素材を収集する。例えば、映画脚本、文学作品（本）、時事英語関連の英語素材（英語週刊誌、英字新聞など）から、内容分析を行うのか、語学的アプローチで研究するのかを決める。</p> <p>卒業研究の焦点をどこに絞るかを決めた上で、参考文献を集める。本学図書館、同学校法人内の図書館、さらには府立図書館などにも参考書籍を探しに行く。</p> <p>卒業研究の骨格を決める。第一章から最後の「まとめ」、さらには参考文献欄に至るまで全体像を把握する。</p> <p>教員と学生がディスカッションをした上で、論述の方向性と問題解決の箇所を綿密に決めてゆく。</p> <p>参考文献からの引用のやり方など、論文形式にそった書き方を勉強する。</p> <p>推敲は重要な活動であるので、書いては推敲を行うというサイクルを身につける。</p> <p>最後にかきあげた卒研は最初から点検し、論述の矛盾がないように修正する。</p>																		
関連科目	文化演習																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>なし。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	なし。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	なし。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	出席、卒業研究の前期分の出来上がり、等を総合的に判断する。																		
学生へのメッセージ	頑張りましょう。																		
担当者の研究室等	7号館3階田中健二研究室																		
備考																			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究レポートを作成するために、適切な研究テーマを選定し、参考文献の検索や言語データの収集の仕方、説得力のある議論の展開方法、読み手に親切な書き方などを修得する。																		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業研究の研究テーマを決定する。 2. 参考文献や資料を検索し、その内容を分かりやすく要約する。 3. 説得力のある論証方法を身につける。 																		
授業方法と留意点	<p>本科目は、研究テーマを問わず必要となる、研究レポートの構成や書式、MS ワードの操作法などの共通事項について学ぶ。詳しいスケジュールは別紙の「卒業研究指導計画」を参照のこと。</p> <p>留意点は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「卒業研究指導計画」に従って卒業研究を計画的に進めること。 2. 個人面接の有無にかかわらず、主体的に、粘り強く研究に取り組むこと。 3. 考察の範囲は欲張らず、一定の成果を得て余裕があれば広げるようにすること。 4. 欠席はやむを得ない場合を除き極力避けること（本科目は授業であって、自由参加の勉強） 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究テーマの決定と関連する概念の理解 2. 参考文献の検索と要約 3. 先行研究の評価（問題点など） 4. 研究論文の作法 5. MS ワードの活用法 <p>【事前事後学習課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 参考文献の整理と要約（卒業研究中間報告レポート） 2. 卒業研究中間発表（プレゼン） 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜プリントを配付する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜プリントを配付する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜プリントを配付する。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>論文の教室</td> <td>戸田山和久</td> <td>NHK ブックス</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>英語論文表現辞典</td> <td>樋口昌幸ほか</td> <td>北星堂</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)</td> <td></td> <td>Collins COBUILD</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	論文の教室	戸田山和久	NHK ブックス	2	英語論文表現辞典	樋口昌幸ほか	北星堂	3	Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	論文の教室	戸田山和久	NHK ブックス																
2	英語論文表現辞典	樋口昌幸ほか	北星堂																
3	Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD																
評価方法（基準）	卒業研究中間報告レポート、プレゼン、卒業研究の取り組み姿勢を総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	卒業研究は、単なる専門知識の修得ではなく、論理的思考力を磨くための最大にして、最後の取り組みです。知識は分野によって変わりますが、思考力はさまざまな分野に応用でき、卒業後の人生を支えてくれるでしょう。そんな思考力を確実に会得できるように真剣に取り組みましょう。																		
担当者の研究室等	田中（秀）研究室（7号館4階）																		
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の分析では英英辞典を使用することが強く推奨される。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。 2. 欠席は授業に出席しなかった場合（公欠・忌引き・病欠を含む）のすべてを対象とする（ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること）。欠席回数に限度については初回授業で説明するので必ず確認すること。 3. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また 																		

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次文化演習での蓄積をもとに各自の研究を進め、アメリカ合衆国の文化、歴史、社会についての卒業論文（研究レポート）を完成に近づけます。																		
到達目標	前期のうちに卒研の全体像が見えてくるところまで進める。例えば4章構成の卒研であれば、2つの章の下書きを書き終え、残りの2章にどのような資料を使って何を書くかという目的が立っている状態にする。																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 週2回の授業時間を分割し、各ゼミ生について隔週で30分程度のアポイントを取り、研究室で原稿の添削を受けたり、次のアポイントまでの進め方についての個別指導を受けてもらいます。個人面談とは違いますので、アポイントを取っている学生以外にも研究室を開放します。ゼミ仲間が受けている添削やアドバイスを聞いて自分の作業への参考にしたり、研究室のPCと資料を使って自由に作業することができます。 ゼミ生全員が集合し、各自の進行状況について報告し合う全体ミーティングも毎週30分程度行います。 PCの基本操作には3年 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 これまでのゼミ生の研究テーマには次のようなものがあります。 「ディズニーアニメを巡る人種差別論争：『ポカホンタス』『アラジン』を中心に」「ハリウッド映画が描く公民権運動：『ロング・ウォーク・ホーム』を例に」「映画『インデペンデンス・デイ』（1996）と多文化主義」「ラテンポップの舞台裏：1990年代のサルサ音楽ブームについて」「アメリカ独自のモータースポーツNASCARの歴史」「アメリカにおけるラグビーの歴史」「ジャズ・トランペッター、ルイ・アームストロングとマイルス・デイビス」「初期ハリウッドの日本人スター早川雪洲」「『白雪姫』 — グリム童話からディズニーアニメへ」「黒人メジャーリーガー、ジャッキー・ロビンソンとアメリカ社会」「チャーリー・チャップリンと赤狩りの時代」「マイケル・ジャクソンと人種問題」「黒人だけのプロ野球、ニグロ・リーグの歴史とその遺産」「黒人ブルースと白人ロックミュージシャンたち」</p> <p>【事前事後学習課題】 資料を読み、文章を書くことを日々の習慣にすること。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	ゼミ活動全体への貢献(50%)+卒業論文・研究レポートの進行状況(50%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等																			
備考																			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	言語・文化、国際ビジネスなどの分野に関する研究を進めていきます。(1) 参考文献や資料の収集とその活用法、(2) 論文の書式および参考文献等の表記法、(3) データに基づいた科学的論文の展開法などの習得も大切な授業目的になります。																
到達目標	各自で選んだテーマについて卒業研究レポートを作成することを目標とします。																
授業方法と留意点	各自の研究テーマおよびその進行状況に応じて指導を行っていきます。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 言語・文化、国際ビジネスなどの分野に関する研究を演習形式で進めていきます。 ・まず4～5月に、3年次末の第1回中間研究発表を踏まえて、それぞれの研究テーマを再確認します。 ・次に、論文の基本的な書式や展開について学ぶながら、参考文献や資料の収集を行っていきます。 ・その後、論文の骨子の作成に取りかかり、夏期休業中に論文の概要をまとめ、後期の作業につなげます。</p> <p>【事前事後学習課題】 参考文献等で研究テーマについて調べて、要点を整理してみよう。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業に取り組む姿勢と、卒業研究の進捗状況などによって総合的に評価します。																
学生へのメッセージ	就職活動との両立を心がけてほしいと思います。																
担当者の研究室等	7号館 4F 中島研究室																
備考																	

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	文化演習で研究したテーマをもとにそれをより深く掘り下げるとともに、関連する問題を幅広く取り上げながら独自の見解を展開する。授業で調べた内容を逐次発表しながら、最終的には論文の形式にまとめる。		
到達目標	収集した資料から必要なものを選び出し、それを効果的に利用しながら議論を展開する能力を身につける。また、論文を作成する作業を通して、論理的に思考しそれを分かりやすい文章にまとめる力をやしなう。		
授業方法と留意点	授業では発表を重視する。レポート作成の過程では、章立てとそれを作成するスケジュールを自ら決め、その進捗状況をつねに指導教員に報告する。また、利用する可能性のある資料はすべて引用元を明らかにした状態で整理、管理する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	外国語による関西の観光情報の調査とその発信。		
関連科目	日中観光文化と通訳法		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	ゼミへの取り組み、発表、卒業研究レポートの内容を総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	就職活動で忙しい時期です。あわてることなく、でも着実に研究を進めましょう。		
担当者の研究室等			
備考			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習で設定したテーマ(修正・変更可)にもとづき、各自、個別研究を深めていく。調査・整理→発表・討論→レポート・原稿作成という一連の作業を繰り返すなかで、知識・思考を深め、内容を洗練させたうえで、卒業研究レポートに取り組んでほしい。			
到達目標	テーマに関して、何を調べたいのかを常に確認しながら、自分の考えをまとめつつ少しずつ書き進めること。何度も読み返し、修正を加えながら、一つのまとまった論を作る努力を重ねてください。			
授業方法と留意点	まず、卒業研究レポート提出までの作業について簡単なガイダンスをおこなった後、各自、執筆までのスケジュールを立てる。できるだけ多くの文献を読むことで問題意識を高め、先行研究をふまえながら、無理のない(「結論」の導き出せる)問い(問題)を設定すること。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> 各自が決めた内容に関し、それに関する本や文献に当たり、しっかり読み込んでまとめながら書き進めること。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	卒業研究レポートへの取り組みを総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	卒業研究レポートの作成は大変な作業ですが、頑張ってよいレポートを書いてください。			
担当者の研究室等	7号館4階西川研究室			
備考	<p>【学生へのメッセージ】</p> 卒業研究への取り組みは、一つのテーマを徹底的に掘り下げる最後の機会です。最後の1年をどう過ごすかで、卒業後の人生も大きく変わってきます。がんばりましょう。			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次文化演習 I・II で各自設定したテーマ及び研究の方向性に基づいて、卒業研究を進める。			
到達目標	卒業研究を進める。			
授業方法と留意点	各自のテーマに基づいて、資料収集・調査及び分析等を行い、卒業研究を進める。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	卒業研究を作成する。 テーマに基づいて文献収集を行い、毎週報告する。 それにより、卒業研究のアウトラインを完成させる。 毎回、事前の文献収集とまとめ、事後の整理が必要である。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 (卒論に取り組む姿勢) 100%			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館4階			
備考	事前事後学習時間 計60時間			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習で設定したテーマ（修正・変更可）にもとづき、各自、個別研究を深めていく。調査・整理→発表・討論→レポート・原稿作成という一連の作業を繰り返すなかで、知識・思考を深め、内容を洗練させたうえで、卒業研究レポートに取り組んでほしい。		
到達目標	卒業研究レポートの作成に必要な知識およびデータをすべて取得し、独創性のある章立てを考える。		
授業方法と留意点	まず、卒業研究レポート提出までの作業について簡単なガイダンスをおこなった後、各自、執筆までのスケジュールを立てる。できるだけ多くの文献を読むことで問題意識を高め、先行研究をふまえながら、無理のない（「結論」の導き出せる）問い（問題）を設定すること。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 西洋社会史の総合研究 【事前事後学習課題】 授業中に適宜指示する。事前事後学習の総時間数は約 60 時間。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法（基準）	口頭発表（討論含む）・卒業研究レポートを総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	卒業研究への取り組みは、一つのテーマを徹底的に掘り下げる最後の機会です。最後の1年をどう過ごすかで、卒業後の人生も大きく変わってきます。がんばりましょう。		
担当者の研究室等	7号館4階 林田研究室		
備考			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究では、3回生の文化演習で培った基礎を踏まえて、各自のテーマ・調査地域を決定して現地調査を行う。 現地調査・資料収集の方法や、収集した資料の整理・分析の方法、さらに論文の書き方や図化の方法など、ゼミ生のレベルや進度に応じた個人指導を行い、卒業研究レポートを完成させる。 																		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 調査地域の概要を把握する。 調査地域に関する文献を収集する。 文献読解を始める。 																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 全授業の出席を基本とする。 各自のテーマに即して、個別指導を行う。 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>以下の内容で、授業を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①オリエンテーション ②卒業研究テーマ、調査地域の決定 ③調査地域に関する文献目録の作成 ④文献購読 ⑤文献研究発表 ⑥地図の利用法 ⑦統計資料の分析 ⑧郷土資料の収集法 ⑨夏休み調査の方法 <p>などについて詳細に解説・指導する。</p>																		
関連科目	旅と観光の地理、東南アジア地誌学、中国地誌学																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>使用しない。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	使用しない。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	使用しない。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜紹介する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜紹介する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜紹介する。																		
2																			
3																			
評価方法 (基準)	受講状況、研究発表、レポートの内容を加味して、総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	地理や観光、環境問題に興味があり、図書館や役所での資料集めが苦にならない人に適しています。																		
担当者の研究室等	7号館5階 原研究室																		
備考																			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	文化演習で学んだ知識をもとに、卒業研究のテーマを決定する。アンケートや聞き取り調査などを要する場合は、その準備・実施・分析を行い、それに基づき主体的に考察し、論理的文章が書けるようになることをめざす。ゼミ生間で互いに建設的な批判や示唆を与えあうことが重要である。																		
到達目標	研究テーマを決め、必要な文献・資料を収集し、分析に取り組む。																		
授業方法と留意点	今日の多文化状況をめぐり、具体的な地域や国を対象として調べたことを発表します。その社会がグローバリゼーションのなかで直面している諸相に着目し、ひとつのテーマに絞り込んで、必要かつ確かな資料の収集と分析を進め、ゼミを報告の場とする。テーマによってはフィールドワークや聞き取り調査を積極的に実施してほしい。夏休み前に卒業研究レポートのアウトラインを作り、発表しあう。意見交換をつねに重視する。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】人の移動における「包摂と自律」 【事前事後学習課題】段階に応じた研究報告を毎回準備する。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>各自のテーマと研究対象地域に応じて指示する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	各自のテーマと研究対象地域に応じて指示する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	各自のテーマと研究対象地域に応じて指示する。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜紹介する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜紹介する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜紹介する。																		
2																			
3																			
評価方法(基準)	問題意識を深める取り組みと研究報告によって評価する。																		
学生へのメッセージ	思考の過程をしっかりと刻んだ卒業研究レポートを計画性をもって書き上げてください。																		
担当者の研究室等備考	7号館5階 北條研究室																		

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	Students will continue to develop their ideas started in 3rd year and compose a final thesis.		
到達目標			
授業方法と留意点	Students will collect documents on their topics, evaluate and analyze the information, and together with feedback from the instructor, compose their final research paper.		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	Individualized for each student.		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	Students will be evaluated on the content, cohesion and clarity of thought in their graduation theses.		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等	7号館3F ハーキー研究室		
備考			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>3年次には英語圏に共通する「知っておくべき事柄」(文化知識)に焦点を当て、情報収集・発表を行ってきました。また新聞記事を使って、時事情報にも触れました。さらに、後期は、A Boy in the Striped Pajamas という本を輪読し、フィクションからのメッセージとその背景に重なる歴史も読み取りました。</p> <p>4年次は、3年次に築いた「英語圏の基礎知識」の土台の上に、「最近の」あるいは「今の」情報を加えていきます。また、A Long Way Gone というシエラレオネの元少年兵の回顧録を読み、内戦が繰り返される国とはどういうものなのかを考えます。</p> <p>最終的には、英語、日本語、文学、映画、教育、文化の中から2つ以上を結びつけた卒業研究テーマを掘り下げ、新たな視点を加えながら論文の作成にあたります。</p>																		
到達目標	卒業研究レポートとして扱うテーマを選び、資料収集、文献の読み込みを始めます。夏休みまでにはレポートの論理的なアウトラインができていること、最終的に完成度の高い論文を仕上げることを目標とします。																		
授業方法と留意点	卒業研究レポート執筆の手順、構成、テーマなどを確認します。文献・資料の収集を続ける傍ら、それを整理し、論文の大まかな構成を考えます。調査が必要ならその準備をし、実行します。指導を受けながら、情報の追加、削除、論理の修正など推敲を重ねます。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】ライフストーリーで知る世界／卒業研究</p> <p>【事前事後学習課題】輪読本に関しては、該当箇所を読み、ワークシートを作成します。卒業研究レポートは、それぞれが教員の指導とアドバイスを受けながら執筆を進めます。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	1年を通じたの受講態度、口頭発表、論文への取り組み方、論文の内容などを見て、総合的に評価します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階 松田研究室																		
備考	【学生へのメッセージ】 まだまだ学ぶべきことがいっぱいあるはず。																		

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業論文執筆を行う。 1年かけて納得の行く論文を書く。			
到達目標	卒業研究レポートを仕上げるにあたり、問題理解力と調査・表現技能を身につける。			
授業方法と留意点	論文をたくさん読んで論文の書き方を学習する。 時間に余裕を持つために、早めに執筆に取りかかること。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	個人指導とする。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	適宜、指示する。		
	2			
	3			
評価方法 (基準)	卒業論文の独創性と言語・論理の質で評価する。			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館4階皆本研究室			
備考	大学生生活の総括をしっかりと行ってください。			

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年間で培った論理的思考を、研究テーマを選びリサーチし自分の論点を書くことで主張するという作業として完成させる。英語で書いても日本語で書いても、全力を尽くして何かを創造する喜びを味わってほしい。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> * 論理的な文章を書く * オリジナリティのある研究を行う * 日頃の疑問をはらす * じっくり考えて、実証して、自分の結論に責任を持つ * 引用の仕方を学ぶ 		
授業方法と留意点	個人指導を行う。ぎりぎりで書き上げるのではなく、時間に余裕を持つと推敲することができるので、より良いものが書ける。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 3年次に選んだテーマを掘り下げて、トピックを選ぶ。どんなリサーチが可能かを担当教員と話し合って探る。 個人指導で文献を紹介したり、トピックについてディスカッションする。</p> <p>冬休み前に卒論発表会を実施する。</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	卒業研究への取り組み、卒業研究の内容を総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	計画を立てて根気よく頑張りましょう。		
担当者の研究室等備考	7号館4F 家口研究室		

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の演習で習得した知識をベース、担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査等を行い、研究手法や学問的思考を向上させる。																
到達目標	中国の言語と文化、中国語の類義語、中国語の状態形容詞などをテーマに研究あるいは比較研究を行うことによって、広い視野から国際理解を深め、言葉の感受性を豊かにし、中国語力を高めるのを旨とする。卒業研究レポート作成を指導し、研究能力を育成する。																
授業方法と留意点	各自テーマを決め、収集した資料と検討を行った文章をパソコンディスプレイで提示しながら他のゼミ生や指導教員に説明するとともに討議を行う。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の諺について ・中国の数字文化義について ・中国語の類義語について ・オノマトペの中国語訳ーハリポッターの翻訳を中心にー <p>【事前事後学習課題】</p> <p>指示に従って、文献・インターネット等で内容を調べたうえ、レポートを作成して来る。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>日本語オノマトペ辞典</td> <td>小野正弘</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>中国語ことわざ用法辞典</td> <td>金丸邦三・孫玄齡</td> <td>大学書林</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>例文で覚える中国語類義語 1000</td> <td>日本語版監修：平山邦彦</td> <td>ASK</td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	日本語オノマトペ辞典	小野正弘	小学館	2	中国語ことわざ用法辞典	金丸邦三・孫玄齡	大学書林	3	例文で覚える中国語類義語 1000	日本語版監修：平山邦彦	ASK
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	日本語オノマトペ辞典	小野正弘	小学館														
2	中国語ことわざ用法辞典	金丸邦三・孫玄齡	大学書林														
3	例文で覚える中国語類義語 1000	日本語版監修：平山邦彦	ASK														
評価方法 (基準)	取り組む姿勢とレポートによって総合評価をする。																
学生へのメッセージ	努力を惜しまなければ、成功につながります。																
担当者の研究室等	7号館3階 (兪研究室)																
備考																	

科目名	卒業研究 I	科目名 (英文)	Graduation Thesis I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	イギリス文学・文化、および英語教育関連分野に関して、各自が設定したテーマについて研究を行い、卒業研究レポートを作成する。			
到達目標	各自が設定するテーマについて、論理的に表現できるようになる。 質の高い卒業研究レポートを作成する。			
授業方法と留意点	各自が設定したテーマについて、教員による指導および他のゼミ受講生からのアドバイスを受けながら、卒業研究レポートの作成を進める。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	先行研究を入念に行い、教員による指導を受けて、卒業研究レポートを作成する。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	到達目標の達成状況、プレゼンテーション、卒業研究レポートを総合的に評価する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館3階 吉村研究室			
備考				

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	研究テーマ・課題を設定し、論文を作成する。これを通じ、学術的な調査・資料分析の方法、論理的な思考、文章の技術を習得する。		
到達目標	論理的な思考に基づく分析と考察、ディスカッション、文章表現などの能力が身につく。		
授業方法と留意点	研究計画書に沿って、論文作成を進める。研究内容や論文作成の進展状況について、演習で報告し、全員で討議する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	調査を完了し、調査結果についての分析を進め、論文を完成させる。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	演習への出席、発言、口頭発表、調査への取り組み姿勢、論文内容に基づいて行う。		
学生への メッセージ			
担当者の 研究室等			
備考			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	国際文化演習で行った課題を自らの研究テーマにあわせて資料収集し、それを調査しながら研究報告にまとめる。グループ・ゼミと個人ゼミを組み合わせながら指導を卒業研究レポートを完成させる。																		
到達目標	下記の3つの能力を到達目標とする ①課題解決能力：与えられた課題を期限内に解決できる。 ②論理的記述能力：内容を論理的かつ簡潔に記述し、卒業研究レポートを完成させる。 ③社会的理解力：研究テーマの社会的意味や影響力を理解する。																		
授業方法と留意点	(後期) 1回目：中間報告 2回目以降：執筆開始																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】国際協調・国際理解の展望 【事前事後学習課題】文献・インターネット等で内容を調べてくる。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	研究活動、口頭発表、研究発表内容を総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階 浅野研究室																		
備考																			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習における議論をさらに発展させ、その成果を卒業研究レポートでまとめる。		
到達目標	英文で12枚以上の「卒論」を作成する。		
授業方法と留意点	卒論と就活を両立させる。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>「卒業論文」について共通の理解を図る。</p> <p>前期・・・Poeを読む(金3)、個別指導(金4) 後期・・・Melvilleを読む(火3)、個別指導(金3・4) (火3は3年次生との合同授業)</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	授業における取り組みと卒業研究レポートを総合して評価する。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等備考	7号館3F 天野研究室		

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究レポートを仕上げる。章立てに沿って、文章を書く。正しい日本語で論理的な文章を書く力をつける。また図版や表・グラフを適切に使用し、読み手に分かりやすいレポートの作成法を学ぶ。		
到達目標	適切な言葉を選び、論理的な文章が書けるようになる。図版や表・グラフを適切に使用できる。テーマに関して説明ができる。		
授業方法と留意点	文献検索、読み込み、発表、文章作成を連続して行う。文章は教員が添削指導する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	美術・文化に関する卒業研究レポートを執筆する。 前期にひきつづき本・論文などで幅広い知識を蓄える。 執筆は各自で行い、ゼミではその進捗状況を報告する。文章は印刷して持参する。 図・表・グラフを作り読む者に分かりやすく効果的なレポートの作成をめざす。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	卒業研究レポートの内容と参加態度		
学生への メッセージ	1年間をかけてひとつのレポートを書きます。大変な仕事ですが、自分が何を学んだのか、何を知っているのか、何ができるのか、ということが社会に向かって堂々といえるようになります。がんばりましょう。		
担当者の 研究室等	岩間研究室(7号館5階)		
備考			

科目名	卒業研究 II	科目名 (英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究レポートの作成を指導する。文化人類学という枠を設けるものの、受講者の関心に基づいて研究を指導する。文献の調べ方、データの収集、文章表現など、卒業研究レポート作成のために必要な知識や能力を涵養する。各自の主題に関連する文献講読と、各自の調査主題の報告が授業の中心となる。		
到達目標	卒業研究レポートの作成。		
授業方法と留意点	卒業研究完成のために計画的に取り組むことができるよう、時期にあった指導を行う。前半は完成のための礎作りのための時期とし、後半は論文を完成させる時期とする。 卒業研究を有意義なものにするためには、受講者の主体性が必要である。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	まず、受講者の関心に基づいて、調査主題を設定する。そのうえで、関連するトピックについて書かれた文化人類学や社会学の文献の講読を進める。毎回報告者を指名するので、報告者は配付資料を用意して30分程度で内容について報告する。コメンテーターは5分程度のコメントをする。報告者とコメンテーターと聴衆のいずれの役割においても発言することが求められるので、指定された文献を精読してくること。各自の調査成果報告においても、同様の役割分担を行う。時間を有効に活用するため、授業時間外の作業の質と量が問われる。報告とディスカッションを経て、主題についての知見を深めていき、卒業研究レポートの執筆ができるよう指導する。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	毎回の授業への取り組みと、発表内容、完成した卒業研究レポートから総合的に判断する。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等備考			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	現代の日本や東南アジア世界をめぐる社会事象および社会現象がいかなる意味をもち、周りにどれほどの影響を与えているのか。3年次の「文化演習」で得た知見をベースにしつつ、各受講生が個別に選択したテーマについて、ディシプリンの見方を怠らずに、より深い考察を行っていく。																		
到達目標	研究作業を通じて、客観的な眼差しがもてるようになる。また、日頃のゼミ活動を通じて、「目くばり」「気くばり」「心くばり」のできる人間になることを目標とする。																		
授業方法と留意点	基本的には個人個人での取り組みとなるため、研究計画をきっちりと立て、積極的姿勢で進めていくこと。 なお、秋には3年ゼミと合同でのゼミ旅行を実施し、1月には卒論最終発表会を開催するので、留意のこと。 また、「卒業研究レポート」提出後に、『浦野ゼミ卒業論文集』としてまとめるので、その点も留意のこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 各自が卒業研究レポート完成へ向けて、それぞれのテーマを設定し、取り組んでいく。 ちなみに、2014年度生が取り組んだテーマ(卒業研究レポート題目)は次の通りである。 「なぜ、極端を志向するのか—嫌煙家と愛煙家の対立を通して—」「アラビア書道の『美』の表現」「マレーシア人の名前の特徴」「日本におけるデザイナーズブランドの浸透とその発展—三宅一生と7人のデザイナーたちの『モノづくり』を通して—」「マラソンの大衆化」「時空を超えたHello Kitty—『かわいい』から『kawaii』へ—」「風呂文化の変遷」</p> <p>【事前事後学習課題】 文献資料・インターネット等を活用し、取り組んでいる研究を深化させること。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>浦野ゼミ卒業論文集各年版</td> <td></td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル</td> <td>浦野崇央編</td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—</td> <td>浦野崇央編</td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	浦野ゼミ卒業論文集各年版		摂南大学外国語学部・浦野ゼミ	2	浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ	3	「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	浦野ゼミ卒業論文集各年版		摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
2	浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
3	「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
評価方法(基準)	積極的に研究を進めていくという受講態度および卒業研究レポートの内容(完成度)で評価します。なお、卒研レポートの完成度の判断については、審査段階における副査の先生のご意見も参考にします。																		
学生へのメッセージ	学生生活の集大成を立派な形として残すことができるように、一生懸命取り組んでいきましょう。																		
担当者の研究室等備考	7号館4階(浦野研究室)																		

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習で設定したテーマ(修正・変更可)にもとづき、各自の個別研究を深めていく。調査や整理、発表や討論、さらにレポート・原稿作成という一連の作業のプロセスを通じて、知識や思考を深め、内容を洗練させようとして、卒業研究レポートに取り組んでほしい。																		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら問題を設定し、文献を探求し、論点を論理的に整理し、まとめたレポートを制作する力を養成する。 ・発表力、聞く力、質問力、コメント力など社会人としての基礎的な力を涵養する。 																		
授業方法と留意点	<p>(前期)</p> <p>まず、卒業研究レポート提出までの作業について簡単なガイダンスをおこなう。次に各自、執筆までのスケジュールを立てる。必要な文献を多く読むことで問題意識を高め、先行研究をふまえて、独自の「結論」を導き出すための問題を設定する。</p> <p>(後期)</p> <p>各自の発表をふまえて執筆にとりかかる。論理的展開と明快な文章を心がけ、4年間の集大成をおこなう。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【テーマ】 日本文学・日本文化・日本語をめぐる諸問題(海外との比較研究を含む)</p> <p>【内容】 各自が三ゼミにおいて設定したテーマを深め、発表する力、聴く力、書く力を養成する。また文献探索の方法や、論文の書き方について学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ? テーマの再確認または変更 ? 参考文献の収集 ? 文献の読解・分析 ? 先行研究の分析 ? 論の構想 ? 論文の作成・完成 ? 共同討議 <p>などを柱としてすすめる。</p> <p>【方法】 発表・討議をくりかえし、また個別指導を通じて、卒研レポートの完成をめざす。</p> <p>【事後・事前学習】 自己のテーマの深化・錬成、発表の準備とまとめ</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	口頭発表(討論含む)・卒業研究レポートを総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	卒業研究への取り組みは、一つのテーマを徹底的に掘り下げる貴重な機会です。社会へ出るための最も重要な総合力を養成することをめざしましょう。																		
担当者の研究室等	7号館4階(小川研究室)																		
備考																			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>【テーマ】 日本語・日本語教育</p> <p>【授業概要・目的・到達目標】 3年次の文化演習で学んだことを基に、広い意味の「日本語教育」-----日本語学・第二言語習得・異文化コミュニケーション・教授法・多文化共生等-----に関して、各自が設定したテーマについて考察し、卒業研究レポートを完成する。</p>																
到達目標	<p>*スケジュールにしたがって、執筆作業を進めていくことができる。</p> <p>*自分が設定したテーマに関して、自分なりに調査・分析・考察し、論理的な文章を書くことができる。</p>																
授業方法と留意点	各自が関心を持ったテーマについて、文献及び資料を収集する。資料収集・調査・分析等の研究方法や論文執筆の指導は個別に行うが、ゼミの学生同士の意見交換を通してよりよい研究論文を執筆する。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 各自の研究テーマについてのディスカッション、論文執筆、論文添削</p> <p>【事前事後学習課題】 資料、文献収集、論文執筆、推敲</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>よくわかる卒論の書き方</td> <td></td> <td>ミネルヴァ書房</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	よくわかる卒論の書き方		ミネルヴァ書房	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	よくわかる卒論の書き方		ミネルヴァ書房														
2																	
3																	
評価方法(基準)	卒業研究への意欲、口頭発表、論文の内容等により総合的に評価する。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等																	
備考																	

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	受講生が、言語や文化に関して興味のある研究テーマを選択し、そのテーマについて研究レポートを作成していく。																		
到達目標	卒業研究を執筆し、それについて発表することが出来るようになる。																		
授業方法と留意点	(前期) 4月：卒研テーマを決定する。論文の書き方、資料の集め方を学ぶ。 4月～9月：資料を収集し、資料を整理する。資料を読んで内容を把握する。 (後期) 10月～11月：各章ごとに下書きを開始して、粗稿を書く。 12月～ 1月：清書をして、卒業研究レポートを完成させる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 言語と文化 【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べてくる。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	卒業研究の内容																		
学生へのメッセージ	大学生活も残りあとわずかです。悔いのないように頑張って下さい。																		
担当者の研究室等	後藤研究室(7号館5階)																		
備考																			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>【テーマ】 英語圏および英語圏と関わりを持つ言語と文化</p> <p>【授業概要・目的・到達目標】 学生各自がテーマを設定し、卒業研究レポートを作成する。</p>																
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1つの話題に関して複数の立場で判断する姿勢を身に着ける。 ・情報の精度や公平性を気に掛けるようになる。 ・社会人になってからも通用する、責任をもった調査やレポートの書き方を身に着ける。 																
授業方法と留意点	各自のテーマに基づいて資料を収集し、資料の調査・分析など情報のインプットの方法を学ぶ。さらに、論文の構成や発表方法など情報のアウトプットの方法を学び、最終的に卒業研究レポートを完成させる。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	英語圏の歴史・文化・文学や英語教育をテーマとするが、学生が個々に関心をもつテーマを選んでかまわない。 ゼミの学生各自の発表と、リサーチや研究のルールの学習を、並行して行う。社会人として卒業後も活かせる知識や技術となるので、授業はもれなく全力で参加しよう。																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	卒業研究に取り組む姿勢と卒業研究レポートの内容によって総合的に評価する。																
学生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生の間におきたいことを、1つでもたくさんやってしましましょう。 ・一生記憶に残るような良いレポートを仕上げましょう。 																
担当者の研究室等	7号館4階 齋藤研究室																
備考																	

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究レポートの作成に向けての準備 12月10日をめどに下書きを完成させる。それまでに章ごとに下書きを提出する。		
到達目標	人に読んでもらえる文章を書く。論理的な構成と読みやすい文章のレポートを作成する。		
授業方法と留意点	個別指導になる。決められた日時に課題を仕上げて来ること。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 個別のテーマによる。 【事前事後学習課題】 指定された文献を読んできて、その内容について報告できること。		
関連科目	スペイン語、スペイン語圏に関連する科目。 歴史系科目。		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	提出された課題と、卒業研究レポートによる。		
学生へのメッセージ	いよいよラストスパートです。最後まで気を抜かず、良いレポートに仕上げましょう。		
担当者の研究室等	7号館5階(篠原研究室)		
備考			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ショー ン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	各自の卒業研究を遂行する。自ら定めたテーマについて、文献の渉猟、データの収集、アンケート調査などを行いながら、筋道の通った論法で、自分の意見を述べる。最終的に、各自の成果をゼミでプレゼンテーションし、研究レポートにまとめる。			
到達目標	自ら定めたテーマに関する資料を収集し、考えを論理的にまとめ、意見を発信できるようになる。			
授業方法と留意点	毎回の授業で、担当教員との討論をするので、きちんと準備したうえで望むこと。全体的なスケジュールを常に念頭に置きながら、計画的に進めていくことが望まれる。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	卒業研究レポート指導 / 文献の読み込み、担当者との討論、データの収集などを行う			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	毎回の討論や、最終プレゼンテーション、完成した卒業研究レポート、査読者の意見などを総合的に判断して評価する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館5F マクガバン研究室			
備考				

科目名	卒業研究 II	科目名 (英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	学生それぞれのテーマや関心をもとに、ひとつトピックを設定し、文献の渉猟・読み込み、データ収集、考察などを進めながら、自らの意見を論理だてて述べ、それを自らの言葉に落とし込み、卒業研究を完成させる。																
到達目標	和文の場合、12000字以上の卒業研究を完成させる。																
授業方法と留意点	卒業研究 II では特にデータの分析や卒業研究の作成に力点を置く。きちんと毎回の授業で指定された作業をこなしてこることが望まれる。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>テーマ：現代英語の語法文法研究</p> <p>内容：文献の読み込み、データの収集などをもとに、指導教員との討議から、できるだけオリジナリティのある考えに到達できることを目指す。</p> <p>事前・事後学習課題：文献の渉猟・読み込み、データ収集などを含めて、卒業論文を少しずつ書き進める。事前・事後学習の総時間を30時間とする。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	卒業研究の進捗状況を総合的に判断する。																
学生へのメッセージ	文献探しは卒業研究を作成するにあたって基本中の基本です。めんどくがらずに関係のないテーマの本でも読みこみましょう。違った分野のものでも、自分のテーマとの思わぬ関連性やヒントを得ることがあります。																
担当者の研究室等	7号館4階 住吉 誠 研究室																
備考																	

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	すでに決定した研究テーマに従い、執筆に入る。参考文献の取り入れ方にも注意しながら、書き進めてゆく。そして推敲を重ねて卒業研究を完成させる。		
到達目標	卒業研究の完成		
授業方法と留意点	執筆内容と研究テーマの矛盾がないか点検をしながら、卒業研究を完成させてゆく。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	学生とともに研究テーマ、内容、形式を整えてゆく。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	完成した卒業研究と、その取り組みを総合的に判断する。		
学生へのメッセージ	一生記憶に残る卒業研究になればいいと思います。		
担当者の研究室等	7号館3階		
備考			

科目名	卒業研究 II	科目名 (英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>In this course, students will continue to research and learn about the topics introduced in 3rd year on tourism and hospitality in English.</p> <p>Cross cultural issues will be discussed to create an awareness of customer service in both Japan and overseas. Students will write further on their graduation thesis in English.</p> <p>Reading for pleasure will be encouraged, to expand vocabulary and improve all four skills - speaking, listening, reading and writing.</p> <p>Oral presentations of thesis material and discussions will take place to encourage confidence in English. Job skills - interviewing techniques and answers will be reviewed.</p>																
到達目標	<p>Students should improve their four skills of reading, writing listening and speaking in this double period class where only English is used.</p>																
授業方法と留意点	<p>Regular on-time attendance, a willingness to participate in all organised tutorial events, reading outside class for the reading marathon are the key to a good grade.</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>(First term) Thesis topics which have already been decided upon will be researched at length, typed out and a Part 1 copy handed in by the end of the term. Students will attend an English play during the year.</p> <p>Academic writing skills will continue to be studied to help in the process.</p> <p>(Second term) Students will continue to write their thesis papers (Part 2). Oral presentations on thesis topics will take place and hospitality related excursions will be organized with students researching locations. Students will participate in the speech and recitation contest. Second term will be the time for more intensive study in English.</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>English for International Tourism Pre-intermediate New Edition</td> <td>Dublicka and O'Keefe</td> <td>Pearson ELT Japan</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Language Note</td> <td>Richard McMahon</td> <td>languagenote.com</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Basic steps to writing research papers</td> <td>Kluge and Taylor</td> <td>Cengage</td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	English for International Tourism Pre-intermediate New Edition	Dublicka and O'Keefe	Pearson ELT Japan	2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com	3	Basic steps to writing research papers	Kluge and Taylor	Cengage
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	English for International Tourism Pre-intermediate New Edition	Dublicka and O'Keefe	Pearson ELT Japan														
2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com														
3	Basic steps to writing research papers	Kluge and Taylor	Cengage														
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	<p>Attendance, oral presentations, reading and thesis will form the basis for grading along with enthusiastic 100% participation in events organized by the teacher. Be ready to join in the reading marathon, speech/recitation contest, and drama events.</p>																
学生へのメッセージ	<p>Reading is the core of your English improvement, so be prepared to read lots.</p> <p>English only will be used in class. Please come ready to use English, read in English, write in English, and help others to stay in English for every class. Don't be afraid of</p>																
担当者の研究室等	田浦研究室 7号館 5階																
備考																	

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次文化演習での蓄積をもとに各自の研究を進め、主に英語学のアプローチで卒業研究をまとめてゆく。																		
到達目標	参考文献を十分に入れた完成度の高い卒業研究を書き上げる。																		
授業方法と留意点	研究タイトル、研究概要、研究目標、参考文献、付帯資料、などをそろえる方法を学び、自分の卒業研究に生かしてゆく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 【事前事後学習課題】 学生本人の興味、関心などを基礎として、様々な英語素材を収集する。例えば、映画脚本、文学作品（本）、時事英語関連の英語素材（英語週刊誌、英字新聞など）から、内容分析を行うのか、語学的アプローチで研究するのかを決める。 卒業研究の焦点をどこに絞るかを決めた上で、参考文献を集める。本学図書館、同学校法人内の図書館、さらには府立図書館などにも参考書籍を探しに行く。 卒業研究の骨格を決める。第一章から最後の「まとめ」、さらには参考文献欄に至るまで全体像を把握する。 教員と学生がディスカッションをした上で、論述の方向性と問題解決の箇所を綿密に決めてゆく。 参考文献からの引用のやり方など、論文形式にそった書き方を勉強する。</p> <p>推敲は重要な活動であるので、書いては推敲を行うというサイクルを身につける。</p> <p>最後にかきあげた卒研は最初から点検し、論述の矛盾がないように修正する。</p>																		
関連科目	文化演習																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>なし。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	なし。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	なし。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	出席、卒業研究の後期分の出来上がり、等を総合的に判断する。																		
学生へのメッセージ	頑張りましょう。																		
担当者の研究室等	7号館3階田中健二研究室																		
備考																			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究レポートを作成するために、適切な研究テーマを選定し、参考文献の検索や言語データの収集の仕方、説得力のある議論の展開方法、読み手に親しい書き方などを修得する。																		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 先行研究を踏まえ、自論（主張と論証）を作成する。 2. 序論と結論を作成する。 3. 卒業研究レポートの体裁を整える。 																		
授業方法と留意点	<p>本科目は、受講生の研究テーマに応じて個別指導を中心に進める。詳しいスケジュールは別紙の「卒業研究指導計画」を参照のこと。</p> <p>留意点は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「卒業研究指導計画」に従って卒業研究を計画的に進めること。 2. 主体的に、粘り強く研究に取り組むこと。 3. 考察の範囲は欲張らず、一定の成果を得て余裕があれば広げるようにすること。 4. 欠席はやむを得ない場合を除き極力避けること（本科目は授業であって、自由参加の勉強会ではない）。就活などで欠席した場合の補完は自分の責任で行い、研究が遅れないよう 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自論（主張と論証）の作成 2. 結論と序論の作成 3. 卒業研究レポートの校正 <p>【事前事後学習課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業研究レポートのドラフト作成と指導教員のフィードバックをふまえた加筆・修正（卒業研究レポート） 2. 卒業研究発表会（プレゼン） 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜プリントを配付する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜プリントを配付する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜プリントを配付する。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>論文の教室</td> <td>戸田山和久</td> <td>NHK ブックス</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>英語論文表現辞典</td> <td>樋口昌幸ほか</td> <td>北星堂</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)</td> <td></td> <td>Collins COBUILD</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	論文の教室	戸田山和久	NHK ブックス	2	英語論文表現辞典	樋口昌幸ほか	北星堂	3	Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	論文の教室	戸田山和久	NHK ブックス																
2	英語論文表現辞典	樋口昌幸ほか	北星堂																
3	Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD																
評価方法（基準）	卒業研究レポート、プレゼン、卒業研究の取り組み姿勢を総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	卒業研究は、単なる専門知識の修得ではなく、論理的思考力を磨くための最大にして、最後の取り組みです。知識は分野によって変わりますが、思考力はさまざまな分野に応用でき、卒業後の人生を支えてくれるでしょう。そんな思考力を確実に会得できるように真剣に取り組みましょう。																		
担当者の研究室等	田中（秀）研究室（7号館4階）																		
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の分析では英英辞典を使用することが強く推奨される。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。 2. 欠席は授業に出席しなかった場合（公欠・忌引き・病欠を含む）のすべてを対象とする（ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること）。欠席回数については初回授業で説明するので必ず確認すること。 3. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また 																		

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期までの蓄積をもとに各自の研究を進め、アメリカ合衆国の文化、歴史、社会についての卒業論文(研究レポート)を完成させます。																
到達目標	自分自身、指導教員、査読して下さる副査の先生の全員が満足できる卒業研究レポートを期限通りに提出し、プライドと達成感を持って本学を卒業すること。																
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・前期同様、週2回の授業時間を分割し、各ゼミ生について隔週で30分程度のアポイントを取り、研究室で原稿の添削を受けたり、次のアポイントまでの進め方についての個別指導を受けてもらいます。個人面談とは違いますので、アポイントを取っている学生以外にも研究室を開放します。ゼミ仲間が受けている添削やアドバイスを聞いて自分の作業への参考にしたり、研究室のPCと資料を使って自由に作業することができます。 ・ゼミ生全員が集合し、各自の進行状況について報告し合う全体ミーティングも毎週30分程度行います。 ・PCの基本操 																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 これまでのゼミ生の研究テーマには次のようなものがあります。 「ディズニーアニメを巡る人種差別論争：『ボカホンタス』『アラジン』を中心に」「ハリウッド映画が描く公民権運動：『ロング・ウォーク・ホーム』を例に」「映画『インデペンデンス・デイ』(1996)と多文化主義」「ラテンポップの舞台裏：1990年代のサルサ音楽ブームについて」「アメリカ独自のモータースポーツ NASCAR の歴史」「アメリカにおけるラグビーの歴史」「ジャズ・トランペッター、ルイ・アームストロングとマイルス・デイビス」「初期ハリウッドの日本人スター早川雪洲」「『白雪姫』 — グリム童話からディズニーアニメへ」「黒人メジャーリーガー、ジャッキー・ロビンソンとアメリカ社会」「チャーリー・チャップリンと赤狩りの時代」「マイケル・ジャクソンと人種問題」「黒人だけのプロ野球、ニグロ・リーグの歴史とその遺産」「黒人ブルースと白人ロックミュージシャンたち」</p> <p>【事前事後学習課題】 資料を読み、文章を書くことを日々の習慣にすること。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	ゼミ活動全体への貢献(50%)+卒業論文・研究レポート(50%)																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	7号館3F 鳥居研究室																
備考																	

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	言語・文化、国際ビジネスなどの分野に関する研究を進めていきます。(1) 参考文献や資料の収集とその活用法、(2) 論文の書式および参考文献等の表記法、(3) データに基づいた科学的論文の展開法などの習得も大切な授業目的になります。																
到達目標	各自で選んだテーマについて卒業研究レポートを完成させることを目標とします。																
授業方法と留意点	各自の研究テーマおよびその進行状況に応じて指導を行っていきます。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 言語・文化、国際ビジネスなどの分野に関する研究を演習形式で進めていきます。 ・まず、前期の研究成果に基づいて、論文の概要をまとめ、後期開始直後に第2回中間研究発表を行います。 ・その後、さらに論旨の整合性を高めながら、文体上の不備を修正していきます。 ・12月下旬までに卒業研究レポートの完成を目指します。</p> <p>【事前事後学習課題】 参考文献等で研究テーマについて調べて、要点を整理してみよう。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	卒業研究レポートの完成度を軸とし、授業に取り組む姿勢を加味して総合的に評価します。																
学生へのメッセージ	計画的な研究活動を心がけてほしいと思います。																
担当者の研究室等備考	7号館4F 中島研究室																

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	文化演習で研究したテーマをもとにそれをより深く掘り下げるとともに、関連する問題を幅広く取り上げながら独自の見解を展開する。授業で調べた内容を逐次発表しながら、最終的には論文の形式にまとめる。		
到達目標	収集した資料から必要なものを選び出し、それを効果的に利用しながら議論を展開する能力を身につける。また、論文を作成する作業を通して、論理的に思考しそれを分かりやすい文章にまとめる力をやしなう。		
授業方法と留意点	授業では発表を重視する。レポート作成の過程では、章立てとそれを作成するスケジュールを自ら決め、その進捗状況をつねに指導教員に報告する。また、利用する可能性のある資料はすべて引用元を明らかにした状態で整理、管理する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	外国語による関西の観光情報の調査とその発信。		
関連科目	日中観光文化と通訳法		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	ゼミへの取り組み、発表、卒業研究レポートの内容を総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	有終の美を飾ってください。		
担当者の研究室等			
備考			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習で設定したテーマ(修正・変更可)にもとづき、各自、個別研究を深めていく。調査・整理→発表・討論→レポート・原稿作成という一連の作業を繰り返すなかで、知識・思考を深め、内容を洗練させたうえで、卒業研究レポートに取り組んでほしい。		
到達目標	テーマに関して、何を調べたいのかを常に確認しながら、自分の考えをまとめつつ少しずつ書き進めること。何度も読み返し、修正を加えながら、一つのまとまった論を作る努力を重ねてください。		
授業方法と留意点	まず、卒業研究レポート提出までの作業について簡単なガイダンスをおこなった後、各自、執筆までのスケジュールを立てる。できるだけ多くの文献を読むことで問題意識を高め、先行研究をふまえながら、無理のない(「結論」の導き出せる)問い(問題)を設定すること。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> 各自が決めた内容に関し、それに関する本や文献に当たり、しっかり読み込んでまとめながら書き進めること。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	卒業研究レポートへの取り組みを総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	卒業研究レポートの作成は大変な作業ですが、頑張ってよいレポートを書いてください。		
担当者の研究室等	7号館4階西川研究室		
備考	<p>【学生へのメッセージ】</p> 卒業研究への取り組みは、一つのテーマを徹底的に掘り下げる最後の機会です。最後の1年をどう過ごすかで、卒業後の人生も大きく変わってきます。がんばりましょう。		

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究Ⅰの成果を継続し、各自設定したテーマ及び研究の方向性に基づいて、卒業研究を完成させる。			
到達目標	卒業研究を完成させる。			
授業方法と留意点	各自のテーマに基づいて、資料収集・調査及び分析等を行い、卒業研究を完成させる。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	卒業研究を完成させる。 テーマに基づいて文献収集、卒業研究執筆を行い、毎週報告する。 毎回、事前の文献収集とまとめ、事後の整理が必要である。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点(卒論に取り組む姿勢)100%			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館4階			
備考	事前事後学習時間 計60時間			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の文化演習で設定したテーマ(修正・変更可)にもとづき、各自、個別研究を深めていく。調査・整理→発表・討論→レポート・原稿作成という一連の作業を繰り返すなかで、知識・思考を深め、内容を洗練させたうえで、卒業研究レポートに取り組んでほしい。		
到達目標	4年間の集大成として、卒業研究レポートを書き上げる。		
授業方法と留意点	中間報告をまじえながら各自執筆にとりかかる。論理的展開と明快な文章を心がけ、4年間の集大成をおこなってほしい。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 西洋社会史の総合研究 【事前事後学習課題】 授業中に適宜指示する。事前事後学習の総時間数は約60時間。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	口頭発表(討論含む)・卒業研究レポートを総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	卒業研究への取り組みは、一つのテーマを徹底的に掘り下げる最後の機会です。最後の1年をどう過ごすかで、卒業後の人生も大きく変わってきます。がんばりましょう。		
担当者の研究室等	7号館4階 林田研究室		
備考			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 卒業研究では、3年生の文化演習で培った基礎を踏まえて、各自のテーマ・調査地域を決定して現地調査を行う。 現地調査・資料収集の方法や、収集した資料の整理・分析の方法、さらに論文の書き方や図化の方法など、ゼミ生のレベルや進度に応じた個人指導を行い、卒業研究レポートを完成させる。 																		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 夏休み調査のまとめをする。 収集資料の分析を始める。 分析内容を文章化する。 卒業研究レポートを完成させる。 																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 全授業の出席を基本とする。 各自のテーマに即して、個別指導を行う。 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>以下の内容で、授業を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 夏休み調査の中間発表 収集資料の整理 収集資料の分析 図化作業 調査研究中間発表 論文作成の方法 卒業研究レポートの完成 <p>などについて詳細に解説・指導する。</p>																		
関連科目	旅と観光の地理、東南アジア地誌学、中国地誌学																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>使用しない。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	使用しない。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	使用しない。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜紹介する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜紹介する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜紹介する。																		
2																			
3																			
評価方法(基準)	受講状況、研究発表、レポートの内容を加味して、総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	地理や観光、環境問題に興味があり、図書館や役所での資料集めが苦にならない人に適しています。																		
担当者の研究室等	7号館5階 原研究室																		
備考																			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業研究レポートを執筆する過程で論理的思考力と文章力を養い、テーマを決めるに至った問題意識をつねに念頭におき、それへの答えを導き出す論文を書き上げる。		
到達目標	邦語文献だけに頼らず、専攻言語で培った力を十分に生かし、自分が選んだテーマに関する先行研究を押さえたうえで、オリジナリティのある論文を作成する。		
授業方法と留意点	夏期休業中の成果を後期の始めに報告しあい、論文の構成を組み立てる。以後、各自が節ごとの発表を少しずつ行い、質疑応答を交わし合うなかで推敲を加え、論文を完成させる。ゼミ生間で建設的な批判や示唆を与え合うことが重要である。		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】人の移動における「包摂と自律」 【事前事後学習課題】段階に応じた研究報告を毎回準備する。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	各自のテーマ、研究対象地域に応じて指示する。	
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1	適宜紹介する。	
	2		
	3		
評価方法(基準)	研究報告の積み重ねとそれらを自己の問題意識に沿っていかに論理的にまとめあげることができたかを評価する。		
学生へのメッセージ	思考の過程をしっかりと刻んだ卒業研究レポートを計画性をもって書き上げてください。		
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室		
備考			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	Students will continue to develop their ideas started in 3rd year and compose a final thesis.		
到達目標			
授業方法と留意点	Students will collect documents on their topics, evaluate and analyze the information, and together with feedback from the instructor, compose their final research paper.		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	Individualized for each student.		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	Students will be evaluated on the content, cohesion and clarity of thought in their graduation theses.		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等	7号館3F ハーキー研究室		
備考			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>3年次には英語圏に共通する「知っておくべき事柄」(文化知識)に焦点を当て、情報収集・発表を行ってきました。また新聞記事を使って、時事情報にも触れました。さらに、後期は、A Boy in the Striped Pajamas という本を輪読し、フィクションからのメッセージとその背景に重なる歴史も読み取りました。</p> <p>4年次は、3年次に築いた「英語圏の基礎知識」の土台の上に、「最近の」あるいは「今の」情報を加えていきます。また、A Long Way Gone というシエラレオネの元少年兵の回顧録を読み、内戦が繰り返される国とはどういうものなのかを考えます。</p> <p>最終的には、英語、日本語、文学、映画、教育、文化の中から2つ以上を結びつけた卒業研究テーマを掘り下げ、新たな視点を加えながら論文の作成にあたります。</p>																		
到達目標	卒業研究レポートとして扱うテーマを選び、資料収集、文献の読み込みを始めます。遅くとも夏休みには本格的に執筆をはじめ、最終的に完成度の高い論文を仕上げることを目標とします。																		
授業方法と留意点	卒業研究レポート執筆の手順、構成、テーマなどを確認します。文献・資料の収集を続ける傍ら、それを整理し、論文の大まかな構成を考えます。調査が必要ならその準備をし、実行します。指導を受けながら、情報の追加、削除、論理の修正など推敲を重ねます。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】ライフストーリーで知る世界／卒業研究</p> <p>【事前事後学習課題】輪読本に関しては、該当箇所を読み、ワークシートを作成します。卒業研究レポートは、それぞれが教員の指導とアドバイスを受けながら執筆を進めます。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	1年を通じての受講態度、口頭発表、論文への取り組み方、論文の内容などを見て、総合的に評価します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館5階 松田研究室																		
備考	【学生へのメッセージ】 まだまだ学ぶべきことがいっぱいあるはず。																		

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	卒業論文執筆を行う。 1年かけて納得の行く論文を書く。		
到達目標	卒業研究レポートを仕上げるにあたり、問題理解力と調査・表現技能を身につける。		
授業方法と留意点	論文をたくさん読んで論文の書き方を学習する。 時間に余裕を持つために、早めに執筆に取りかかること。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	個人指導とする。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1	適宜、指示する。	
	2		
	3		
評価方法 (基準)	卒業論文の独創性と言語・論理の質で評価する。		
学生への メッセージ			
担当者の 研究室等	7号館4階皆本研究室		
備考	大学生生活の総括をしっかりと行ってください。		

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年間で培った論理的思考を、研究テーマを選びリサーチし自分の論点を書くことで主張するという作業として完成させる。英語で書いても日本語で書いても、全力を尽くして何かを創造する喜びを味わってほしい。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> * 論理的な文章を書く * オリジナリティのある研究を行う * 日頃の疑問をはらす * じっくり考えて、実証して、自分の結論に責任を持つ * 引用の仕方を学ぶ 		
授業方法と留意点	個人指導を行う。ぎりぎりで書き上げるのではなく、時間に余裕を持つと推敲することができるので、より良いものが書ける。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 3年次に選んだテーマを掘り下げて、トピックを選ぶ。どんなリサーチが可能かを担当教員と話し合って探る。 個人指導で文献を紹介したり、トピックについてディスカッションする。</p> <p>冬休み前に卒論発表会を実施する。</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	卒業研究への取り組み、卒業研究の内容を総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	計画を立てて根気よく頑張りましょう。		
担当者の研究室等備考	7号館4F 家口研究室		

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	3年次の演習で習得した知識をベース、担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査等を行い、研究手法や学問的思考を向上させる。																		
到達目標	中国の言語と文化、中国語の類義語、中国語の状態形容詞などをテーマに研究あるいは比較研究を行うことによって、広い視野から国際理解を深め、言葉の感受性を豊かにし、中国語力を高めるのを旨とする。卒業研究レポート作成を指導し、研究能力を育成する。																		
授業方法と留意点	各自テーマを決め、収集した資料と検討を行った文章をパソコンディスプレイで提示しながら他のゼミ生や指導教員に説明するとともに討議を行う。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の諺について ・中国の数字文化義について ・中国語の類義語について ・オノマトペの中国語訳—ハリーポッターの翻訳を中心に— <p>【事前事後学習課題】</p> <p>指示に従って、文献・インターネット等で内容を調べたうえ、レポートを作成して来る。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>日本語オノマトペ辞典</td> <td>小野正弘</td> <td>小学館</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>中国語ことわざ用法辞典</td> <td>金丸邦三・孫玄齡</td> <td>大学書林</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>例文で覚える中国語類義語 1000</td> <td>日本語版監修：平山邦彦</td> <td>ASK</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	日本語オノマトペ辞典	小野正弘	小学館	2	中国語ことわざ用法辞典	金丸邦三・孫玄齡	大学書林	3	例文で覚える中国語類義語 1000	日本語版監修：平山邦彦	ASK
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	日本語オノマトペ辞典	小野正弘	小学館																
2	中国語ことわざ用法辞典	金丸邦三・孫玄齡	大学書林																
3	例文で覚える中国語類義語 1000	日本語版監修：平山邦彦	ASK																
評価方法(基準)	取り組む姿勢とレポートによって総合評価をする。																		
学生へのメッセージ	努力を惜しまなければ、成功につながります。																		
担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)																		
備考																			

科目名	卒業研究Ⅱ	科目名(英文)	Graduation Thesis II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	イギリス文化・文化、および英語教育関連分野に関して、各自が設定したテーマについて研究を行い、卒業研究レポートを作成する。			
到達目標	各自が設定するテーマについて、論理的に表現できるようになる。 質の高い卒業研究レポートを作成する。			
授業方法と留意点	各自が設定したテーマについて、教員による指導および他のゼミ受講生からのアドバイスを受けながら、卒業研究レポートの作成を進める。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	先行研究を入念に行い、教員による指導を受けて、卒業研究レポートを作成する。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	到達目標の達成状況、プレゼンテーション、卒業研究レポートを総合的に評価する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館3階 吉村研究室			
備考				

科目名	体験型特別実習 B	科目名 (英文)	Experience-based Practicum B
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択必修科目
学期	通年集中	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>本学部のパッケージプログラムは、学生の主体性・自主性を喚起し、将来のキャリアについて体系的に学ぶことを目的としている。この「体験型特別実習 B」科目では、学生自身が主体的に計画、参加した社会的活動についてその活動内容や成果を日誌やプレゼン、レポートの形式（授業内容の項目で詳述）で事後に報告し、審査を経て単位を取得するが認定される。ここでいう社会的活動とは、上で述べたパッケージプログラムの趣旨に合致する授業外の研究活動やインターンシップ、ボランティア活動などを指す。事後申請型の科目なので事前に履修登録は行わない。</p>																		
到達目標	<p>事前授業によってこの科目の趣旨と評価基準を十分理解したうえで、自ら立てた活動計画に基づいて活動できる自主性、積極性の獲得を目指す。さらにその活動内容とそこで得られたものについて詳細かつ分かりやすく表現できる力をつける。</p>																		
授業方法と留意点	<p>学内で行われる事前授業や事後授業（実施日は追ってポータル等で案内する）には必ず出席すること。無断で欠席した場合には単位を与えない。単位申請の対象となるのは申請時から遡って2年以内の活動（ただし、本学在学中のものに限る）とする。また、事前授業や事後授業、単位申請の受け付け、審査、認定はすべて外国語学部が行うが、活動そのものには関与しないので、活動への申し込みや先方への問い合わせも学生自身が行い、主催団体等の規定やスケジュールに従いながら行動すること。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>授業は以下の順に進める。単位申請は事前、事後すべての授業への参加を条件とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 事前授業（5月～6月） 本科目の申請対象となる活動について、必要時間数や安全面での注意事項などについて理解する。科目の趣旨や到達目標、申請方法、評価の方法や基準、事後授業のスケジュール、さらに日誌ノートの書き方などについて学ぶ。 活動への参加（時期は活動によって異なる） 主催団体等の広報資料を集めるなどして、自分で活動計画を立てたうえで、活動に必要な手続きを進める。主催団体等によるガイダンスや審査を経て活動に参加することになれば、現地での滞在期間に日誌を書く。 事後授業（11月上旬予定） 審査のスケジュールや方法について学び、プレゼンテーションやレポート作成作業に備える。また、日誌など単位申請に必要な文書について確認し、不備があれば指導を受ける。 事後授業2（11月下旬予定） 申請者が現地で活動した内容やその成果を示す写真や映像を用いながら報告を行う。中西および数名の学部教員が審査に当たる。このあと、参加した活動の内容やそこで得られた成果をテーマとして2,000字程度のレポートを指定された締め切り日までに提出する。なお、ここでプレゼンテーションやレポートが活動を主催する団体が求めるとは別のものであることに注意。 事後授業3（2月上旬予定） プレゼンテーションやレポートの審査にあたった教員が講評を行う。 																		
関連科目	体験型特別実習 A, 海外実習, 海外インターンシップなど																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	事前事後授業での取り組み、日誌、プレゼンテーション、レポートをもとに総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7号館3階（中西研究室）																		
備考																			

科目名	大衆文化論	科目名(英文)	Popular Culture
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	森本 誠一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	私たちは普段から「大衆」や「文化」といったことばを使っています。ところが、いざ冷静になって「大衆とは何か?」「文化とは何か?」と考えてみると、なかなか容易には答えられません。これは「大衆文化」についても同様です。サッカーや野球といったスポーツはみなさんにとって大衆文化でしょうか。オペラを観に行くことはどうでしょう。ウィーンやブラハで同じ質問をすれば、みなさんと違う答えが返ってくるかもしれません。この授業では私たちに馴染みのある題材を手がかりに、大衆文化について学修します。
到達目標	
授業方法と留意点	この授業は講義形式ですが、受講生との対話を通じて授業を進めていきます。授業を受けるにあたって膨大な資料を読んだり多くのことを暗記したりする必要はありませんが、毎回の授業に出席しなければ学修の効果は薄いでしょう。また、授業の終わりに毎回リアクションペーパーを提出してもらい、第2回目以降の授業では冒頭でそれを取り上げます。
科目学習の効果(資格)	大衆文化を通して社会を眺められるようになること、社会の出来事について批判的に考えられるようになること。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	この授業で何を学ぶのか、授業の全体像を把握します。授業の進め方、成績評価の方法・基準についても確認します。	シラバスをしっかりと読んでから授業に出席しましょう。また授業に出席するにあたっては、シラバスを印刷して持参するか情報端末で見られる状態にしておきましょう。
	2	大衆、文化、大衆文化	大衆文化論を学ぶ上でおさえておくべき基本的な概念について確認します。	授業中に指示します。
	3	メディアの変遷と大衆文化	メディアの変遷とともに大衆文化のありようも変化してきました。この回は、メディアの歴史を概観しつつ、大衆文化がどのように変わってきたのかを学修します。	授業中に指示します。
	4	インターネット、SNS	インターネットは20世紀後半から爆発的に世界で広がってきましたが、このインターネット上で提供されているさまざまなサービスは大衆文化と深い関わりをもっています。この回では、インターネットとそこで提供されるサービスをもとに、大衆文化について考察します。	授業中に指示します。
	5	スポーツと大衆文化	スポーツは洋の東西を問わず、また長い歴史の中で広く大衆に親しまれてきた文化の一つです。この回ではスポーツと大衆文化の関係について考えます。	授業中に指示します。
	6	アニメ、コミック	アニメ、コミックを通して大衆文化を考えます。	授業中に指示します。
	7	映画、音楽	今では大衆文化の代表格とも言える映画も、世界で初めて公開されたのはほんの120年ほど前のことでした。対する音楽はスポーツと同様に非常に長い歴史と広がりをもっています。この回では映画、音楽を通して大衆文化について考えます。	授業中に指示します。
	8	中間のふり回り	前半の授業をふり返ります。不明な点があれば質疑応答により解決します。	授業中に指示します。
	9	居酒屋、立ち飲み屋、パブ、コーヒーハウス、サロン	国内外の飲み屋、社交の場を通じて大衆文化について考えます。	授業中に指示します。
	10	ハイカルチャー、教養	ハイカルチャー、教養との関係で大衆文化について考えます。	授業中に指示します。
	11	ゲームと大衆文化	ゲームにもさまざまなものがありますが、この回では「人狼」と呼ばれるゲームを実際に演じてもらいながら大衆文化について考えます。	授業中に指示します。
	12	大衆文化と政治(1)	テレビ、映画、アニメといったメディアは、これまで幾度となくプロパガンダとして政治的な宣伝に利用されてきました。この回では大衆文化と政治の関係について学修します。	授業中に指示します。
	13	大衆文化と政治(2)	プロパガンダとして作られ利用されてきた映画、アニメを実際に視聴し、大衆文化と政治の関係について理解を深めます。	授業中に指示します。
	14	お正月を通して大衆文化を考える	みなさんはお正月といえば何を思い浮かべるでしょうか。また、みなさんはお正月をどのように過ごしているでしょうか。書初め、羽子板、凧揚げ、餅つき、福笑いなど、お正月と言えば真っ先に思い浮かんだ伝統的な行事も、最近では影を潜めごく一部の人がとしか行わないようになってきました。この回では、お正月の伝統行事を通して大衆文化について考えます。	授業中に指示します。
	15	まとめ、全体のふり回り	これまでの授業をふり返りながら、各回	これまでの授業で学修したことをしっかりと復習し

			の授業が全体としてどのようなつながっていたのかを確認します。成績評価の方法・基準についても再確認します。	て授業に参加しましょう。授業を受けたあとは改めて授業全体をふり返りながら期末試験に向けて準備をしましょう。
関連科目	基礎、教養科目全般に関連する。			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	この授業は授業内課題（リアクションペーパー）15%、受講態度（積極的な発言など）5%、期末試験 80%で評価します。			
学生への メッセージ	決して堅苦しい雰囲気の授業ではありませんので、肩の力を抜いて授業に参加してもらえればと思います。授業では時事問題についてみなさんによく尋ねます			
担当者の 研究室等	この科目の履修上の相談については、授業の前後もしくはメールにて受け付けます。 7号館2階 非常勤講師室 メールアドレス：xmorimse[*]edu.setsunan.ac.jp ([*]を半角の@に置き換え)			
備考				

科目名	旅と観光の地理	科目名(英文)	Geography of Travel and Tourism
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 日本における観光地をさまざまな視点から分析し、その特色を明らかにする。 観光地の定義を行った後、観光資源、観光流動、観光産業について分析を加える。 観光地の諸特性を類型化し、観光調査の方法について説明したのち、観光開発の問題点を指摘する。 多数の観光地に関するビデオやスライドを使用し、具体的な事例をあげながら理解を深めていく。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 日本における観光地の特色を理解する。 日本の観光資源、外国人観光客の動向についても把握する。
授業方法と留意点	配布プリントを中心に、ビデオ教材を毎回使用し、具体的な観光地について分析を行う。
科目学習の効果(資格)	<ul style="list-style-type: none"> 日本における観光地の特性を把握できる。 旅行業界に就職を希望する学生諸君にとっては、地理的知識の修得につながる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	旅・観光の定義	旅・観光とは何か、その定義	観光・旅等の定義内容を整理する。
2	研究の目的と方法	旅・観光研究の目的と方法	研究の目的と方法を整理し、理解を深める。
3	観光発達史 I	外国における観光地の発達過程	ヨーロッパにおける観光地の歴史をまとめる。
4	観光発達史 II	日本における観光地の発達過程	日本における観光地の歴史をまとめる。
5	観光資源と観光流動	自然・人文観光資源の評価、観光の需要、観光圏の形成	観光の需要、観光圏の形成についてまとめ、理解を深める。
6	観光産業	観光産業の構成と分布	観光産業の構成と分布をまとめ、理解を深める。
7	第1回から第6回までのまとめと理解度確認テスト	第1回から第6回までのまとめを行った後、理解度を確保するためのテストを実施する。	テスト内容を確認し、理解できていない内容を復習する。
8	観光地の特性 I	温泉観光地とその特色	温泉観光地とその特色をまとめる。
9	観光地の特性 II	山岳観光地とその特色	山岳観光地とその特色をまとめる。
10	観光地の特性 III	海岸観光地とその特色	海岸観光地とその特色をまとめる。
11	観光地の特性 IV	宗教・都市観光地とその特色	宗教・都市観光地とその特色をまとめる。
12	観光調査法 I	資料の吟味と収集法、グーグルによる検索、観光統計の入手法	観光調査法の内容を復習する。
13	観光調査法 II	アンケート調査、ヒヤリング調査、調査結果の整理法	アンケート調査、ヒヤリング調査項目を作成する。
14	第8回から第13回までのまとめと理解度確認テスト	第8回から第13回までのまとめを行った後、理解度を確保するためのテストを実施する。	テスト内容を確認し、理解できていない内容を復習する。
15	理解度確認テストの結果を踏まえ、全体を総括する。	旅・観光のまとめ、日本における観光地の特性	日本における観光地の特性をまとめる。

関連科目 東南アジア地誌学, 中国地誌学

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	観光地理学	寺阪昭信	古今書院
2	観光学	溝尾良隆	古今書院
3	アーバンツーリズム	淡野明彦	古今書院

評価方法(基準)	2回の理解度確認テストの成績を中心に、授業参加、講義態度も加味して、総合的に評価する。
学生へのメッセージ	配布プリントの内容だけでなく、口頭で説明した内容やビデオの内容も要約して、しっかりノートにまとめる習慣を身に付けて下さい。
担当者の研究室等	7号館5階(原研究室)
備考	

科目名	旅の文学	科目名(英文)	Literature on Travel
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この講義では、日本人が長い時間をかけて培ってきた様々な文化(文学)の精髓を、(旅)を主なテーマとして紹介・解説する。あつかう時代は古代から現代まで。古代人の旅から現代の世界遺産の旅までは幅広く対象とする。また日本国内の旅にかぎらず、日本人の海外への旅の記録や、海外から日本への旅をも含めて扱う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・旅の文化がどのようにして生まれたのか、その経緯を認識する。 ・現代の旅と前近代の旅との違いについて認識を深める。 ・名所旧跡についての文化的な知識を養成する。
授業方法と留意点	講義形式ですすめる。ただしあらかじめ読んでおくことを要求したり、授業時に作品を読んで問題に答えてもらったりする時間もしばしば設定する予定。
科目学習の効果(資格)	一部の資格試験に臨むための基礎的知識の養成。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	概説 文学は旅をする	旅や観光と文学との関わりについて考察し、全体の導入とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
2	神々の旅(神話伝承の世界から)①	人間にとって旅とは何か、日本や世界の神話にさかのぼって考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
3	神々の旅(神話伝承の世界から)?	引き続き、人間にとって旅とは何か、日本や世界の神話にさかのぼって考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
4	古代の文学と旅(万葉の旅)	古代日本人の旅への思いを万葉集を題材に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
5	物語と旅	平安朝物語における旅の意味について世界的視野で考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
6	巡礼の旅と伝説①	旅が契機となって生まれた伝説を世界的視野で考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
7	巡礼の旅と伝説?	中世の人々にとって旅とは何であったか、説話集を題材に探求する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
8	巡礼の旅と伝説?	世界遺産となっている土地に残る伝説を探求し、聖地の有する歴史的意義について認識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
9	江戸の観光と文学①	本格的な観光文学の登場について、『東海道中膝栗毛』などを中心に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
10	江戸の観光と文学?	芭蕉の旅をはじめ、「歌枕」を訪れる旅という視点から考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
11	旅行記の世界① ジパングへの旅	西洋人の日本発見の経緯を、「旅行記」を題材に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
12	旅行記の世界② 西洋発見の旅	明治日本人の西洋発見の経緯をさまざまな旅行記をもとに考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
13	ユートピアの文学	人間の文化の基底で生きたユートピアの想像力について探求する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
14	現代の旅と文学	映画やアニメなど現代文化における旅の意味について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
15	総括(総合評価授業)	授業全体をまとめ、総合問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の整理とまとめ

関連科目	文化観光プログラムに関する科目や日本文化にかかわる科目。なお1年次開講の「現代文化論」は、一部この講義と有機的に連動している。
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	総合評価授業での総合問題、および各授業での確認問題・課題レポート等で総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	人間が(旅)することの意味を深く考えるきっかけにしてほしい。
-----------	--------------------------------

担当者の 研究室等	7号館4階(小川研究室)
備考	事前・事後の学習は、それぞれ2時間ずつ、総時間60時間を目安とする。

科目名	多文化の共生	科目名(英文)	Multicultural Co-Living
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	グローバル化と言われる変化は、われわれの社会にどのような影響を与えているのであろうか。本講義では、社会の基層としての「文化」に着目して、文化の「間」において生じる様々な事象・問題を取り上げて、検討する。
到達目標	1) 国家、文化、エスニシティ、ナショナリズムなど社会科学的な基礎概念について学ぶ。 2) 「文化」概念について学ぶ。 3) 多文化・異文化に関わる事件についての具体的な知識を得る。 4) 自文化を相対化できる視角を身に着ける。
授業方法と留意点	講義形式で進めていく。授業では、ビブリオ(授業記録)作成を求め、必要に応じて、コメントの提出を求める。
科目学習の効果(資格)	多文化を考えるための多角的・複眼的な思考を身に着け、自らの思考を相対化することによって、自文化理解を深めるヒントを得る。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	「文化」とは何か? (1)	・様々な「文化」概念について検討する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
3	「文化」とは何か? (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
4	ナショナリズムと文化 (1)	・ナショナリズムの概念について検討する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
5	ナショナリズムと文化 (2)	・ナショナリズムと文化の関係について、歴史上の事例をあげながら、検討する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
6	ナショナリズムと文化 (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
7	文化の内と外 (1)	・境界をキーワードとして、文化の内外について検討する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
8	文化の内と外 (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
9	エスニシティと文化 (1)	・人種、民族、エスニシティをキーワードとして、多文化社会の構成を検討する	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
10	エスニシティと文化 (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
11	エスニシティと文化 (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
12	多文化社会の現在 (1)	・多文化社会の代表例をあげ、そこでの諸問題を検討する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
13	多文化社会の現在 (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
14	多文化社会と日本 (1)	・多文化社会化する日本の現状と課題について検討する。	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
15	多文化社会と日本 (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。

関連科目	本授業は文化論のマクロ面を扱うことを意識している。ミクロ面を扱う「暮らしの中の文化」と並行して受講することによって、より深い理解が可能になる。また、自然環境などの関連では「風土と地理」も参考になる。
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業内で課す課題（コメント）と小テストを基本とし、その他、レポート、テストなどを総合して評価する。
学生への メッセージ	本講義では、多彩な事例と社会科学的な概念を駆使することによって、多文化社会における共生の可能性について検討していく。粘り強い思考を求めたい。
担当者の 研究室等	7号館5階（木本研究室）
備考	

科目名	地域研究論	科目名(英文)	Area Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	森田 良成
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	歴史や文化が異なる様々な地域の、経済に関する事例を取り上げる。ここでの経済とは、広く人々の間で行われる物のやりとり全般を意味する。さまざまな地域の事例の比較・検討を通して、それぞれの社会に埋め込まれた独特の経済の合理性が、どのように変容していくのか・いかないのかを考える。																																																																		
到達目標	物事の本質や可否を判断する際に私たちがふだん用いている論理や価値を相対化して、日常を新しくとらえ直し、現代世界を見る新たな視座を獲得する。																																																																		
授業方法と留意点	毎回、こちらが提示する質問についての考えや感想を作文してもらう。																																																																		
科目学習の効果(資格)																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>イントロダクション</td> <td>授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「食べる」1</td> <td>食べものの生産、消費、廃棄の多様なあり方</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>「食べる」2</td> <td>食べものの生産、消費、廃棄の多様なあり方</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>「贈る」1</td> <td>社会に埋め込まれた経済</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>「贈る」2</td> <td>浪費の力</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>「正しい」1</td> <td>異なる経済的な正しさと、両者の関係</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>「正しい」2</td> <td>異なる経済的な正しさと、両者の関係</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>「価値」1</td> <td>物の価値はどのように決まるのか</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>「貧しい」1</td> <td>「貧困」とはなにか</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>「貧しい」2</td> <td>「貧困」とはなにか</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>「自由」1</td> <td>市場主義と自由の拡大</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>「自由」2</td> <td>市場主義と自由の拡大</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>グローバル化 1</td> <td>包摂と接合</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>グローバル化 2 + テスト</td> <td>包摂と接合</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>まとめ</td> <td>授業全体のまとめ</td> <td>関連する文献を紹介するので読むこと。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明	関連する文献を紹介するので読むこと。	2	「食べる」1	食べものの生産、消費、廃棄の多様なあり方	関連する文献を紹介するので読むこと。	3	「食べる」2	食べものの生産、消費、廃棄の多様なあり方	関連する文献を紹介するので読むこと。	4	「贈る」1	社会に埋め込まれた経済	関連する文献を紹介するので読むこと。	5	「贈る」2	浪費の力	関連する文献を紹介するので読むこと。	6	「正しい」1	異なる経済的な正しさと、両者の関係	関連する文献を紹介するので読むこと。	7	「正しい」2	異なる経済的な正しさと、両者の関係	関連する文献を紹介するので読むこと。	8	「価値」1	物の価値はどのように決まるのか	関連する文献を紹介するので読むこと。	9	「貧しい」1	「貧困」とはなにか	関連する文献を紹介するので読むこと。	10	「貧しい」2	「貧困」とはなにか	関連する文献を紹介するので読むこと。	11	「自由」1	市場主義と自由の拡大	関連する文献を紹介するので読むこと。	12	「自由」2	市場主義と自由の拡大	関連する文献を紹介するので読むこと。	13	グローバル化 1	包摂と接合	関連する文献を紹介するので読むこと。	14	グローバル化 2 + テスト	包摂と接合	関連する文献を紹介するので読むこと。	15	まとめ	授業全体のまとめ	関連する文献を紹介するので読むこと。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	イントロダクション	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
2	「食べる」1	食べものの生産、消費、廃棄の多様なあり方	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
3	「食べる」2	食べものの生産、消費、廃棄の多様なあり方	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
4	「贈る」1	社会に埋め込まれた経済	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
5	「贈る」2	浪費の力	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
6	「正しい」1	異なる経済的な正しさと、両者の関係	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
7	「正しい」2	異なる経済的な正しさと、両者の関係	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
8	「価値」1	物の価値はどのように決まるのか	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
9	「貧しい」1	「貧困」とはなにか	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
10	「貧しい」2	「貧困」とはなにか	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
11	「自由」1	市場主義と自由の拡大	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
12	「自由」2	市場主義と自由の拡大	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
13	グローバル化 1	包摂と接合	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
14	グローバル化 2 + テスト	包摂と接合	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
15	まとめ	授業全体のまとめ	関連する文献を紹介するので読むこと。																																																																
関連科目	文化人類学など																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加の度合い(30%、主に授業終了時に提出してもらうコメント・感想から判断する)と、授業期間中に行うテスト(自由記述)(70%)から評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	関心をもった話題については自分で資料にあたり、考えを深めるようにしてください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	中級検定インドネシア語	科目名(英文)	Intermediate Test for Indonesian Language Proficiency
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	山口 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語技能検定試験D級の過去問題に取り組み、D級レベルの語彙や文法を学習する。			
到達目標	1月に行われる検定試験においてD級に合格すること。			
授業方法と留意点	本授業では、これまでに行われてきたインドネシア語技能検定試験の過去の問題を中心に、特に語彙と文法に重点をおき、授業を進める。また、適宜小テストを行う。辞書は必ず携帯すること。			
科目学習の効果(資格)	インドネシア語技能検定			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	練習問題(1)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	2	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	3	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	4	練習問題(2)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	5	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	6	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	7	練習問題(3)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	8	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	9	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	10	練習問題(4)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	11	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	12	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	13	練習問題(5)	過去問を解く	過去問で間違えた部分を直す
	14	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	次週の予習および新出単語の復習
	15	続き	内容の把握、語彙、文法についての補足説明	新出単語の復習
関連科目	主言語インドネシア語科目のすべて			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点および小テストによる総合評価、なお、技能検定試験の結果も考慮する。			
学生へのメッセージ	検定試験合格を目指して、授業には積極的に参加しましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業内容を確実に理解するためにも、事前・事後学習課題には十分に時間をかけること。			

科目名	中国経済論	科目名(英文)	Chinese Economic Reform
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	郭 進
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	改革開放政策が実施された30年、中国は世界第二の経済大国まで成長した。現在、世界経済、日本経済への影響力を強める中国経済を学ぶことは今日を生きる私たちにとって必須である。この授業では、中国経済の基本知識を修得することを目的としている。この授業を履修することによって、以下の学習ができます。①中国経済の全体像 ②社会主義市場経済の意味 ③改革開放政策のもとで、中国経済の成長過程 ④中国経済成長による米中、日中関係の変化 ⑤中国経済の課題と問題点
到達目標	この授業を履修することによって、①中国経済の全体像②社会主義市場経済の意味③改革開放政策のもとで、中国経済の成長過程④中国経済成長による米中、日中関係の変化⑤中国経済の課題と問題点を理解することを目標とする。
授業方法と留意点	教科書に沿って講義を行う。講義は基本的に、前回の内容の復習、本日のポイント、内容（ポイントについて解説）、課題提出（内容に応じて課題を出す）の形式で進めていく。
科目学習の効果（資格）	中国経済の全体像を分かる上に、毎日のように、テレビや新聞などで取り上げられている中国経済のニュースを自分なりの分析能力を身につける。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	中国経済を学ぶ前に、中国の全体像をつかむために中国の政治、文化、歴史などについて紹介する。	授業後、アンケートを実施。
2	社会主義資本経済とは何か	社会主義市場経済の概念および計画経済から市場経済への移行について学ぶ。	授業後、練習問題の提出
3	中国の産業力について	中国の産業構造と工業成長の要因について解説する。	授業後、課題の提出
4	中国の企業について	中国における国有企業の改革及び現代企業制度について学習する。	授業後、練習問題の提出
5	中国の農業問題	中国の農村、農業の改革と現状について解説する。	授業後、課題の提出
6	中国の人口変動と労働市場	中国の労働力事情、人口政策などを解説する。	授業後、課題の提出
7	中国の金融市場	中国の金融システム、証券市場などを紹介する。	授業後、練習問題の提出
8	まとめ、小テスト	前半のまとめと小テスト。	授業前、7回目までの内容を復習すること
9	中国の貿易政策と人民元問題	中国の貿易構造や人民元の切り上げ問題などを紹介する。	授業後、練習問題の提出
10	中国の外資導入政策	中国の外資導入政策と対中直接投資について解説する。	授業後、練習問題の提出
11	米中経済関係の現状と課題	改革開放政策後を中心に、中国とアメリカの政治、経済の現状と課題について学ぶ。	授業後、課題の提出
12	日中経済関係の現状と課題	日本の対中投資、日中間の経済協力および日中間自由貿易協定の展開について解説する。	授業後、練習問題の提出
13	中国経済の持続的成長は可能か	中国経済発展による環境破壊、エネルギー不足、食糧問題等を紹介する。	授業後、課題の提出
14	中国における格差問題	経済発展につれて、中国における地域格差の拡大、所得格差の拡大などの問題について学ぶ。	授業後、練習問題の提出
15	総まとめ	講義の総まとめと試験対策。	授業後、課題の提出

関連科目 特になし

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国経済入門 [第3版]	南 亮進・牧野 文夫	日本評論社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法（基準） 課題提出と小テストと期末テストとの総合評価による。課題提出20%、小テスト30%、期末テスト50%の割合で評価する。授業態度などによる平常点も考慮する。

学生へのメッセージ 授業を分かりやすくするために、授業中、イメージしやすい身近な題材・経済ニュースを取り上げ、講義を行っていくと思う。

担当者の研究室等 1号館7階 郭講師室（経済学部）

備考

科目名	中国語 I a	科目名 (英文)	Chinese Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	今中 崇文
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業は、1年間の学習を通じて、初級レベルの中国語を身に付けようとするものである。正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聞く・話す・書くの4つの力を総合的にバランスよく習得することを目的とする。
到達目標	単語を覚え、基礎文法を学び、簡単な文型を運用して会話や作文ができるなど、基礎的な中国語能力の習得を目指す。
授業方法と留意点	中国語の発音に慣れるよう、口語練習を重視する。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 (準4級) が受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第1課 発音1	ピンイン, 単母音, 声調。	練習問題を解答する。
2	第2課 発音2	子音, 無気音と有気音, 捲舌音。	練習問題を解答する。
3	第3課 発音3	複母音, r 化音。	練習問題を解答する。
4	第4課 発音4	鼻母音, 声調の変化。	練習問題を解答する。
5	第5課 発音の復習チェックシート	発音編の復習。 ☆単元テスト1	練習問題を解答する。
6	第6課 (会話) 初めまして	人称代名詞, 「是」構文, 氏名の言い方, 疑問文。	練習問題を解答する。
7	第6課 (会話) 初めまして	副詞「也」, 副詞「不」。	練習問題を解答する。
8	第7課 (会話) これはサンブルです	指示代名詞, 疑問詞疑問文。	練習問題を解答する。
9	第7課 (会話) これはサンブルです	助詞「的」, 副詞「都」。	練習問題を解答する。
10	第8課 復習チェックシート	第6課～第7課の復習。 ☆単元テスト2	練習問題を解答する。
11	第9課 (会話) お茶をどうぞ	動詞述語文, 時間の言い方。	練習問題を解答する。
12	第9課 (会話) お茶をどうぞ	時間詞の用法, 動詞「在」。	練習問題を解答する。
13	第10課 (会話) お近付きになれてうれしい	形容詞述語文, 反復疑問文。	練習問題を解答する。
14	第10課 (会話) お近付きになれてうれしい	助詞「?」, 副詞「有点」。	練習問題を解答する。
15	第11課 復習チェックシート	第9課～第10課の復習。 ☆単元テスト3	練習問題を解答する。

関連科目 中国語 I b

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	撰南大学 ビジネス中国語	外国語学部中国語教室編	
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中日辞典		
2	日中辞典			
3				

評価方法 (基準) 授業への参加度と単元テストによる。

学生へのメッセージ 教室でも家でも声を出してたくさん発音しましょう。

担当者の研究室等 7号館2階 (非常勤講師室)

備考

科目名	中国語 I b	科目名 (英文)	Chinese Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	今中 崇文
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業は、1年間の学習を通じて、初級レベルの中国語を身に付けようとするものである。正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聞く・話す・書くの4つの力を総合的にバランスよく習得することを目的とする。																																																																		
到達目標	単語を覚え、基礎文法を学び、簡単な文型を運用して会話や作文ができるなど、基礎的な中国語能力の習得を目指す。																																																																		
授業方法と留意点	中国語の発音に慣れるよう、口語練習を重視する。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 (準4級) が受験可能。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第12課 (会話) 納品期日</td> <td>数の数え方, 年月日と曜日の言い方。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第12課 (会話) 納品期日</td> <td>助動詞「想」, 動詞の重ね型。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第13課 (会話) 説明書があります</td> <td>所有の「有」, 助数詞。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第13課 (会話) 説明書があります</td> <td>疑問詞「多少」, 疑問詞「幾」。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第14課 復習チェックシート</td> <td>第12課～第13課の復習。 ☆単元テスト1</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第15課 (会話) 全日空で上海へ行きます</td> <td>連動文, 前置詞「離」。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第15課 (会話) 全日空で上海へ行きます</td> <td>前置詞「在」, 存在の「有」。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第16課 (会話) お電話をしました</td> <td>完了の「了 (1)」, 前置詞「給」。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第16課 (会話) お電話をしました</td> <td>前置詞「和」, 接続詞「如果」。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第17課 復習チェックシート</td> <td>第15課～第16課の復習。 ☆単元テスト2</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第18課 (会話) 売り上げは去年より多くなりました</td> <td>完了の「了 (2)」, 比較表現の「比」構文。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第18課 (会話) 売り上げは去年より多くなりました</td> <td>接続詞「雖然・・・但是・・・」。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>第19課 (会話) 中国語ができません</td> <td>助動詞「会」と「能」, 動詞の進行表現。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>第19課 (会話) 中国語ができません</td> <td>時間の長さを表す補語, 二つの「了」の併用。</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>第20課 復習チェックシート</td> <td>第18課～第19課の復習。 ☆単元テスト3</td> <td>練習問題を解答する。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	第12課 (会話) 納品期日	数の数え方, 年月日と曜日の言い方。	練習問題を解答する。	2	第12課 (会話) 納品期日	助動詞「想」, 動詞の重ね型。	練習問題を解答する。	3	第13課 (会話) 説明書があります	所有の「有」, 助数詞。	練習問題を解答する。	4	第13課 (会話) 説明書があります	疑問詞「多少」, 疑問詞「幾」。	練習問題を解答する。	5	第14課 復習チェックシート	第12課～第13課の復習。 ☆単元テスト1	練習問題を解答する。	6	第15課 (会話) 全日空で上海へ行きます	連動文, 前置詞「離」。	練習問題を解答する。	7	第15課 (会話) 全日空で上海へ行きます	前置詞「在」, 存在の「有」。	練習問題を解答する。	8	第16課 (会話) お電話をしました	完了の「了 (1)」, 前置詞「給」。	練習問題を解答する。	9	第16課 (会話) お電話をしました	前置詞「和」, 接続詞「如果」。	練習問題を解答する。	10	第17課 復習チェックシート	第15課～第16課の復習。 ☆単元テスト2	練習問題を解答する。	11	第18課 (会話) 売り上げは去年より多くなりました	完了の「了 (2)」, 比較表現の「比」構文。	練習問題を解答する。	12	第18課 (会話) 売り上げは去年より多くなりました	接続詞「雖然・・・但是・・・」。	練習問題を解答する。	13	第19課 (会話) 中国語ができません	助動詞「会」と「能」, 動詞の進行表現。	練習問題を解答する。	14	第19課 (会話) 中国語ができません	時間の長さを表す補語, 二つの「了」の併用。	練習問題を解答する。	15	第20課 復習チェックシート	第18課～第19課の復習。 ☆単元テスト3	練習問題を解答する。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	第12課 (会話) 納品期日	数の数え方, 年月日と曜日の言い方。	練習問題を解答する。																																																																
2	第12課 (会話) 納品期日	助動詞「想」, 動詞の重ね型。	練習問題を解答する。																																																																
3	第13課 (会話) 説明書があります	所有の「有」, 助数詞。	練習問題を解答する。																																																																
4	第13課 (会話) 説明書があります	疑問詞「多少」, 疑問詞「幾」。	練習問題を解答する。																																																																
5	第14課 復習チェックシート	第12課～第13課の復習。 ☆単元テスト1	練習問題を解答する。																																																																
6	第15課 (会話) 全日空で上海へ行きます	連動文, 前置詞「離」。	練習問題を解答する。																																																																
7	第15課 (会話) 全日空で上海へ行きます	前置詞「在」, 存在の「有」。	練習問題を解答する。																																																																
8	第16課 (会話) お電話をしました	完了の「了 (1)」, 前置詞「給」。	練習問題を解答する。																																																																
9	第16課 (会話) お電話をしました	前置詞「和」, 接続詞「如果」。	練習問題を解答する。																																																																
10	第17課 復習チェックシート	第15課～第16課の復習。 ☆単元テスト2	練習問題を解答する。																																																																
11	第18課 (会話) 売り上げは去年より多くなりました	完了の「了 (2)」, 比較表現の「比」構文。	練習問題を解答する。																																																																
12	第18課 (会話) 売り上げは去年より多くなりました	接続詞「雖然・・・但是・・・」。	練習問題を解答する。																																																																
13	第19課 (会話) 中国語ができません	助動詞「会」と「能」, 動詞の進行表現。	練習問題を解答する。																																																																
14	第19課 (会話) 中国語ができません	時間の長さを表す補語, 二つの「了」の併用。	練習問題を解答する。																																																																
15	第20課 復習チェックシート	第18課～第19課の復習。 ☆単元テスト3	練習問題を解答する。																																																																
関連科目	中国語 I a																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>摂南大学 ビジネス中国語</td> <td>外国語学部中国語教室編</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	摂南大学 ビジネス中国語	外国語学部中国語教室編		2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	摂南大学 ビジネス中国語	外国語学部中国語教室編																																																																	
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中日辞典</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>日中辞典</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	中日辞典			2	日中辞典			3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	中日辞典																																																																		
2	日中辞典																																																																		
3																																																																			
評価方法 (基準)	授業への参加度と単元テストによる。																																																																		
学生へのメッセージ	教室でも家でも声を出してたくさん発音しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考																																																																			

科目名	中国語Ⅱa	科目名(英文)	ChineseⅡa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの力を総合的にバランスよく習得する。1年間の学習を通じて初級中国語がマスターできる。
到達目標	単語を覚え、基礎文法を学び、簡単な文型を運用して、会話や作文ができるなど、基礎的な中国語能力の習得を目指す。
授業方法と留意点	中国語の発音に慣れるように、口語練習を重視する。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験準4級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	第2課 発音2	複母音②, 鼻母音, 子音②。	練習問題を解答する。
3	第3課 発音3	複母音③④, 子音③。	練習問題を解答する。
4	第4課 発音4	子音④⑤。	練習問題を解答する。
5	本文編 第1課 お名前は?	☆単元テスト1 形容詞述語文, 疑問文, 副詞「很」。	練習問題を解答する。
6	第1課 お名前は?	副詞「不」, 疑問詞疑問文, 名前の言い方。	練習問題を解答する。
7	第2課 僕は日本人だ	「是」構文, 副詞「都」。	練習問題を解答する。
8	第2課 僕は日本人だ	助詞「的」, 反復疑問文。	練習問題を解答する。
9	第3課 君は大阪人だよ ね?	☆単元テスト2 動詞述語文, 終助詞「?」, 副詞「也」。	練習問題を解答する。
10	第3課 君は大阪人だよ ね?	命令文, 同時進行の表現。	練習問題を解答する。
11	第4課 おいくら?	動詞の重ね型, お金の言い方。	練習問題を解答する。
12	第4課 おいくら?	こそあどの言い方, 単位の言葉「張」「個」。	練習問題を解答する。
13	第5課 どの先生が好き?	前置詞「和」, 名詞述語文。	練習問題を解答する。
14	第5課 どの先生が好き?	時間の言い方。	練習問題を解答する。
15	おさらい	☆単元テスト3	練習問題を解答する。

関連科目	中国語Ⅱb
------	-------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	摂南大学 中国語入門	摂南大学外国語学部編	
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中日辞典		
2	日中辞典		
3			

評価方法(基準)	授業参加と単元テストによる。
学生へのメッセージ	教室でも家でも声を出してたくさん読みましょう。
担当者の研究室等備考	7号館3階(兪研究室)

科目名	中国語Ⅱb	科目名(英文)	Chinese IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	樂 玉璽
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの力を総合的にバランスよく習得する。1年間の学習を通じて初級中国語がマスターできる。
到達目標	単語を覚え、基礎文法を学び、簡単な文型を運用して、会話や作文ができるなど、基礎的な中国語能力の習得を目指す。
授業方法と留意点	口語練習を重視し、中国語の発音に慣れてもらう。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験準4級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第6課 今は3時5分前だ	「有」と「在」、疑問詞の使い方。	練習問題を解答する。
2	第6課 今は3時5分前だ	意見を求める言い方。	練習問題を解答する。
3	第7課 この前の土曜日映画を見に行った	副詞「経常」、例示の言い方。	練習問題を解答する。
4	第7課 この前の土曜日映画を見に行った	文型「是・・・還是・・・」。	練習問題を解答する。
5	第8課 小説は好きなの?	☆単元テスト1 前置詞「從」と「到」、副詞「太」と「不太」。	練習問題を解答する。
6	第8課 小説は好きなの?	前置詞「離」、前置詞「跟」、副詞「又」。	練習問題を解答する。
7	第9課 ファーストフード店は家から近い	副詞「就」、副詞「才」。	練習問題を解答する。
8	第9課 ファーストフード店は家から近い	結果補語「完」、文型「一・・・就・・・」。	練習問題を解答する。
9	第10課 北京ダックを食べたことある?	☆単元テスト2 助詞「過」、助動詞「要」。	練習問題を解答する。
10	第10課 北京ダックを食べたことある?	副詞「再」、副詞「別」。	練習問題を解答する。
11	第11課 一緒に中国語を勉強した方がいいね	「把」構文、助動詞「会」、構造助詞「得」、副詞「只」。	練習問題を解答する。
12	第11課 一緒に中国語を勉強した方がいいね	助動詞「可以」、比較の「没有」、禁止表現「不要」。	練習問題を解答する。
13	第12課 もし彼と知り合いになりたいなら	助動詞「想」、仮定表現「要是」。	練習問題を解答する。
14	第12課 もし彼と知り合いになりたいなら	方向補語「来」。	練習問題を解答する。
15	おさらい	☆単元テスト3	練習問題を解答する。

関連科目	中国語Ⅱa
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	摂南大学 中国語入門	摂南大学外国語学部編	
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中日辞典		
	2	日中辞典		
	3			

評価方法(基準)	授業参加と単元テストによる。
学生へのメッセージ	教室でも家でも声を出してよく読みましょう。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	中国語Ⅲ a	科目名 (英文)	Chinese IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	樂 玉璽
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	1年次に学んだ中国語を基礎に、読む・聴く・話す・書くの四つの力をさらに総合的にバランスよく学習する。1年間で中国語の運用能力の中級レベル、中国語検定試験4級レベルに達することを指す。
到達目標	中国での買い物や移動に困らない程度の聞く力、話す力を目指す。
授業方法と留意点	毎回予習と復習を必ずしてください。
科目学習の効果 (資格)	前期終了後、中国語検定試験4級受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第13課(1)	是～的構文	課文、会話本文をノートに書き写す。
	2	第13課(2)	助動詞「打算」「准?」、前置詞「了」「除了」	練習問題を解答する。
	3	第13課(3)	疑問代名詞「?什?」、接続詞「因?」、「所以」、可能補語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	4	第13課(4)	会話	練習問題を解答する。
	5	復習、単元テスト	第13課	課文、会話本文をノートに書き写す。
	6	第14課(1)	動態助詞「着」、気象現象	練習問題を解答する。
	7	第14課(2)	存現文、兼語文	課文、会話本文をノートに書き写す。
	8	第14課(3)	使役文、被動文、複合方向補語	練習問題を解答する。
	9	第14課(4)	会話	課文、会話本文をノートに書き写す。
	10	復習、単元テスト	第14課	練習問題を解答する。
	11	第15課(1)	長文講読・新出単語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	12	第15課(2)	文法・練習問題	練習問題を解答する。
	13	第16課(1)	長文講読・新出単語	指示に従い、復習する。
	14	第16課(2)	文法・練習問題	指示に従い、復習する。
	15	復習、単元テスト	第15課～第16課	指示に従い、復習する。

関連科目	中国語 Ia, 中国語 IIa, 中国語 Ib, 中国語 IIb, 中国語 IVa
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 Ib	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元ごとにテストを行う。
学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。また休講があれば、その都度進度は順次繰り延べられるので注意すること。
担当者の研究室等備考	7号館2階 非常勤講師室

科目名	中国語Ⅲ a	科目名(英文)	Chinese IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	1年次に学んだ中国語を基礎に、読む・聴く・話す・書くの四つの力をさらに総合的にバランスよく学習する。1年間で中国語の運用能力の中級レベル、中国語検定試験4級レベルに達することを指す。
到達目標	中国での買い物や移動に困らない程度の聞く力、話す力を目指す。
授業方法と留意点	毎回予習と復習を必ずしてください。
科目学習の効果(資格)	前期終了後、中国語検定試験4級受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	第13課(1)	是～的構文	課文、会話本文をノートに書き写す。
	2	第13課(2)	助動詞「打算」「准?」、前置詞「了」「除了」	練習問題を解答する。
	3	第13課(3)	疑問代名詞「?什?」、接続詞「因?」、「所以」、可能補語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	4	第13課(4)	会話	練習問題を解答する。
	5	復習、単元テスト	第13課	課文、会話本文をノートに書き写す。
	6	第14課(1)	動態助詞「着」、気象現象	練習問題を解答する。
	7	第14課(2)	存現文、兼語文	課文、会話本文をノートに書き写す。
	8	第14課(3)	使役文、被動文、複合方向補語	練習問題を解答する。
	9	第14課(4)	会話	課文、会話本文をノートに書き写す。
	10	復習、単元テスト	第14課	練習問題を解答する。
	11	第15課(1)	長文講読・新出単語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	12	第15課(2)	文法・練習問題	練習問題を解答する。
	13	第16課(1)	長文講読・新出単語	指示に従い、復習する。
	14	第16課(2)	文法・練習問題	指示に従い、復習する。
15	復習、単元テスト	第15課～第16課	指示に従い、復習する。	

関連科目	中国語 Ia, 中国語 IIa, 中国語 Ib, 中国語 IIb, 中国語 IVa
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 Ib	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとにテストを行う。
学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。また休講があれば、その都度進度は順次繰り延べられるので注意すること。
担当者の研究室等備考	7号館2階 非常勤講師室

科目名	中国語Ⅲb	科目名(英文)	Chinese IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	1
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	藥 玉麗
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	1年次に学んだ中国語を基礎に、読む・聴く・話す・書くの四つの力をさらに総合的にバランスよく学習する。1年間で中国語の運用能力の中級レベル、中国語検定試験4級レベルに達することを旨とする。
到達目標	中国語ⅢIaで学んだ事項を定着させるとともに発展させ、比較的優しい新聞記事などを辞書を使って読めるレベルを目指す。
授業方法と留意点	予習と復習を必ずしてください。
科目学習の効果(資格)	後期終了時、中国語検定試験4級受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	第17課(1)	長文講読・新出単語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	2	第17課(2)	文法・練習問題	練習問題を解答する。
	3	第18課(1)	長文講読・新出単語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	4	第18課(2)	文法・練習問題	練習問題を解答する。
	5	復習、単元テスト	第17課～第18課	課文、会話本文をノートに書き写す。
	6	第19課(1)	長文講読・新出単語	練習問題を解答する。
	7	第19課(2)	文法・練習問題	課文、会話本文をノートに書き写す。
	8	第20課(1)	長文講読・新出単語	練習問題を解答する。
	9	第20課(2)	文法・練習問題	課文、会話本文をノートに書き写す。
	10	復習、単元テスト	第19課～第20課	練習問題を解答する。
	11	第21課(1)	長文講読・新出単語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	12	第21課(2)	文法・練習問題	練習問題を解答する。
	13	第22課(1)	長文講読・新出単語	指示に従い、復習する。
	14	第22課(2)	文法・練習問題	指示に従い、復習する。
	15	復習、単元テスト	第21課～第22課	指示に従い、復習する。

関連科目	中国語ⅢIa, 中国語Ⅳa, 中国語Ⅳb
------	----------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語Ⅲb	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとにテストを行う。
学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。また休講があれば、その都度進度は順次繰り延べられるので注意すること。
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	

科目名	中国語Ⅲb	科目名(英文)	Chinese IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	2
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	1年次に学んだ中国語を基礎に、読む・聴く・話す・書くの四つの力をさらに総合的にバランスよく学習する。1年間で中国語の運用能力の中級レベル、中国語検定試験4級レベルに達することを旨とする。
到達目標	中国語 IIIa で学んだ事項を定着させるとともに発展させ、比較的優しい新聞記事などを辞書を使って読めるレベルを目指す。
授業方法と留意点	予習と復習を必ずしてください。
科目学習の効果(資格)	後期終了時、中国語検定試験4級受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	第17課(1)	長文講読・新出単語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	2	第17課(2)	文法・練習問題	練習問題を解答する。
	3	第18課(1)	長文講読・新出単語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	4	第18課(2)	文法・練習問題	練習問題を解答する。
	5	復習、単元テスト	第17課～第18課	課文、会話本文をノートに書き写す。
	6	第19課(1)	長文講読・新出単語	練習問題を解答する。
	7	第19課(2)	文法・練習問題	課文、会話本文をノートに書き写す。
	8	第20課(1)	長文講読・新出単語	練習問題を解答する。
	9	第20課(2)	文法・練習問題	課文、会話本文をノートに書き写す。
	10	復習、単元テスト	第19課～第20課	練習問題を解答する。
	11	第21課(1)	長文講読・新出単語	課文、会話本文をノートに書き写す。
	12	第21課(2)	文法・練習問題	練習問題を解答する。
	13	第22課(1)	長文講読・新出単語	指示に従い、復習する。
	14	第22課(2)	文法・練習問題	指示に従い、復習する。
	15	復習、単元テスト	第21課～第22課	指示に従い、復習する。

関連科目	中国語 IIIa, 中国語 IVa, 中国語 IVb
------	----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 Ib	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとにテストを行う。
----------	--------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。また休講があれば、その都度進度は順次繰り延べられるので注意すること。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	中国語IV a	科目名 (英文)	Chinese IVa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	孫 輝
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	1年生の中国語科目では文法を中心に学んだが、この授業では陳述文を読んだり会話文で会話練習をすることでより実践的な中国語を学ぶ。また、すでに学んだ文法や単語は応用文を通して記憶に定着させるとともに応用力をつける。
到達目標	中国ドラマの簡単なセリフや新聞の記事を辞書を頼りに理解できるだけの力を目指す。
授業方法と留意点	ひとつの話題あたり5回の授業のペースで進めていく。文法や練習問題の部分でもそれがどのような場面で使われていたのかを思い出しながら授業に臨むことが望ましい。授業後の復習や授業前の予習が重要となる。
科目学習の効果 (資格)	中国語を聞き話す能力が向上し、後期終了時点で中国語検定試験4級が受験できるだけの力がつく。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	第1課(1)	本文	授業内容を復習する。
	2	第1課(2)	会話	授業内容を復習する。
	3	第1課(3)	文法(念?, ??, ?好, ?~感?趣, ?什?, 因?~所以~, 看来)	授業内容を復習する。
	4	第1課(4)	練習問題	授業内容を復習する。
	5	単元テスト (1)	第1課を範囲とする	授業内容を復習する。
	6	第2課(1)	本文	授業内容を復習する。
	7	第2課(2)	会話	授業内容を復習する。
	8	第2課(3)	文法(在~?大的, 考大学/考上大学, 才, 除了~以外, 当(老?), 忙得要命, 很少+動詞フレーズ, ?短信)	授業内容を復習する。
	9	第2課(4)	練習問題	授業内容を復習する。
	10	単元テスト (2)	第2課を範囲とする	授業内容を復習する。
	11	第3課(1)	本文	授業内容を復習する。
	12	第3課(2)	会話	授業内容を復習する。
	13	第3課(3)	文法(上(?所), 「一?」と「第一?」, 「分」と「分?」, 我家?学校比??., 一个多小?, 我在?肥., 看看??., 听听音??., 我起得很早, 睡得不太??., ?然~但是~)	授業内容を復習する。
	14	第3課(4)	練習問題	授業内容を復習する。
	15	単元テスト (3)	第3課を範囲とする	授業内容を復習する。

関連科目	中国語 IIIa
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語中級 a	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元テストと出席状況、授業に取り組む姿勢などを総合して評価する。
-----------	----------------------------------

学生へのメッセージ	日本国内にも中国語圏からの観光客が増えています。この授業で身につけた中国語がいつかどこかで役に立つはずですよ。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館2階 非常勤講師室
------------	--------------

科目名	中国語IV b	科目名(英文)	Chinese IVb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	孫 輝
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	1年生の中国語科目では文法を中心に学んだが、この授業では陳述文を読んだり会話文で会話練習をすることでより実践的な中国語を学ぶ。また、すでに学んだ文法や単語は応用文を通して記憶に定着させるとともに応用力をつける。
到達目標	中国ドラマの簡単なセリフや新聞の記事を辞書を頼りに理解できるだけの力を目指す。
授業方法と留意点	ひとつの話題あたり5回の授業のペースで進めていく。文法や練習問題の部分でもそれがどのような場面で使われていたのかを思い出しながら授業に臨むことが望ましい。授業後の復習や授業前の予習が重要となる。
科目学習の効果(資格)	中国語を聞き話す能力が向上し、後期終了時点で中国語検定試験4級が受験できるだけの力がつく。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第4課(1)	本文	授業内容を復習する。
2	第4課(2)	会話	授業内容を復習する。
3	第4課(3)	文法(如果～的?, ?假, 前置詞「向」, ?, ?, 前置詞「?」, 替)	授業内容を復習する。
4	第4課(4)	練習問題	授業内容を復習する。
5	単元テスト(1)	第4課を範囲とする	授業内容を復習する。
6	第5課(1)	本文	授業内容を復習する。
7	第5課(2)	会話	授業内容を復習する。
8	第5課(3)	文法(叫(?久等了), 星期六?是星期天?, ?看几点合??. , 那就星期天?., 反正我没什?事儿。)	授業内容を復習する。
9	第5課(4)	練習問題	授業内容を復習する。
10	単元テスト(2)	第5課を範囲とする	授業内容を復習する。
11	第6課(1)	本文	授業内容を復習する。
12	第6課(2)	会話	授業内容を復習する。
13	第6課(3)	文法(今年夏天比往年来得早, ?起来, 一放假, 就?身, 趁)	授業内容を復習する。
14	第6課(4)	練習問題	授業内容を復習する。
15	単元テスト(3)	第6課を範囲とする	授業内容を復習する。

関連科目	中国語 IIIb
------	----------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語中級 a	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	単元テストと出席状況、授業に取り組む姿勢などを総合して評価する。
----------	----------------------------------

学生へのメッセージ	日本国内にも中国語圏からの観光客が増えています。この授業で身につけた中国語がいつかどこかで役に立つはずですよ。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館2階 非常勤講師室
------------	--------------

科目名	中国語 L L I a	科目名 (英文)	Chinese LL Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、後期の学期中に受験する中国語検定試験での合格を目指す。
到達目標	前期終了時に、中国語検定試験4級に出題される文法・語彙の80%を修得する。また同試験リスニング部分でも6割近く正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」のひとつで、『摂南大学中国語 Ia』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験準4級または4級を受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	子音(4), 子音(5)	発音編 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	会話 1	第1課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	会話 2	第2課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	会話 3	第3課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	第1課～第3課まとめ	第1回単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	6	会話 4	第4課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	会話 5	第5課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	会話 6	第6課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	連動文	第7課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	了1, 了2	第8課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	11	結果補語, 介詞 6	第9課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第7課～第9課まとめ	第3回単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	会話 10	第10課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	会話 11	第11課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	会話 12	第12課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を書く Ia」 「ビジネス中国語 a」「映像中国語 a」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 Ia	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元テストによる。
学生へのメッセージ	リレーの授業なので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)
備考	

科目名	中国語 L L I b	科目名 (英文)	Chinese LL Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、この学期中に受験する中国語検定試験4級での合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる11月末までに、中国語検定試験4級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話すIb」「中国語を読むIb」「中国語を聞くIb」「中国語を書くIb」のひとつで、『撰南大学中国語Ib』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験4級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	使役文、被動文、複合方向補語	第14課3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	検定4級準備(1)リスニング	第15課1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	検定4級準備(2)長文読解	第16課2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	検定4級準備(3)長文読解	第17課2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第15課～17課到達度確認	復習+第15課～17単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	検定4級準備(4)日文中訳	第18課4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	検定4級準備(5)日文中訳	第19課4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	検定4級準備(6)日文中訳	第20課4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	長文読解と既習事項確認(1)教材音読	第21課3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	長文読解と既習事項確認(2)日文中訳	第22課2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	長文読解と既習事項確認(3)語彙と発音	第23課1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第21課～23課到達度確認	復習+第21課～第23課単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	長文読解と既習事項確認(4)中文日訳	第24課4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	長文読解と既習事項確認(5)教材音読	第25課3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話すIb」「中国語を読むIb」「中国語を書くIb」 「ビジネス中国語b」「映像中国語b」
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語Ib	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	単元テストによる。
----------	-----------

学生へのメッセージ	リレーの授業なので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	中国語 L L II a	科目名 (英文)	Chinese LL IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	一年生の中国語科目で学習した内容を定着させるとともに、それを応用しながら読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく発展させる。中国語の刊物やWebサイトを辞書を使いながらも読みこなせるレベルを目指すとともに中国語検定試験3級の合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる6月末までに、中国語検定試験3級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語コースでの必修科目「中国語会話 IIa」「中国語講読 IIa」「中国語 LLIIa」「中国語作文 IIa」のひとつで、『摂南大学中国語 IIa』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 3級受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第3回	第2話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	第7回	第4話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	第11回	第6話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	第15回	第8話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	第18回	第9話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	6	第22回	第11話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	第26回	第13話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	第30回	第11話～第15話まとめ・単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	第34回	第17話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	第38回	第19話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	11	第42回	第21話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第46回	第23話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	第50回	第21話～第25話まとめ・単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	第54回	第27話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	第58回	第29話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語会話 IIa」「中国語講読 IIa」「中国語作文 IIa」 「ビジネス中国語 IIa」「日中翻訳法 Ia」
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 IIa	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
担当者の研究室等	7号館3階(中西研究室)
備考	

科目名	中国語 L L II b	科目名 (英文)	Chinese LL IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	一年生の中国語科目で学習した内容を定着させるとともに、それを応用しながら読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく発展させる。中国語の刊行物や Web サイトを辞書を使いながらも読みこなせるレベルを目指すとともに中国語検定試験 3 級および 2 級の合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる 11 月末までに、中国語検定試験 3 級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも 7 割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語コースでの必修科目「中国語会話 IIb」「中国語講読 IIb」「中国語 LLIIb」「中国語作文 IIb」のひとつで、『摂南大学中国語 IIb』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 3 級・2 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第 2 回	第 1 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	第 6 回	第 3 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第 10 回	第 5 話後半・第 1 回～第 10 回テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第 13 回	第 7 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	2 年生暗唱コンテスト	狐假虎威	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第 17 回	第 9 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	第 24 回	第 12 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第 28 回	第 14 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第 32 回	第 16 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	第 36 回	第 18 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第 40 回	第 20 話後半・第 31 回～第 40 回テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第 44 回	第 22 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第 48 回	第 24 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第 53 回	第 27 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第 56 回	第 28 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語会話 IIb」「中国語講読 IIb」「中国語作文 IIb」 「ビジネス中国語 IIb」「日中翻訳法 Ia」
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 IIb	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 3 階(瀬戸研究室)
----------	-----------------

備考	
----	--

科目名	中国語圏概論	科目名(英文)	Introduction to Cultures of the Chinese-Speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	中国のことばとその背景にある歴史や文化、テクノロジーについて広い視点で学ぶ。歴史は中国と日本、朝鮮や東南アジアとの関係も視野に入れながら概観し、いま中国とその周辺に起こっているさまざまな問題の原因と今後の展望についても考える。
到達目標	中国の歴史や文化に関わる事項は中国語を学ぶさいにもかならず出会うことであり、中国人と交流したり留学するさいにはさけて通れないことである。これらについて理解を深め、中国や中国語をめぐるさまざまな問題について意見を交わせるようにしたい。
授業方法と留意点	文字資料を中心としながら、画像や映像資料も併用しながら講義形式で授業を進める。ただし、必要に応じて調査や報告などゼミ形式も取り入れる。
科目学習の効果(資格)	日本と関係の深い中国の社会を知ることにより、国際的な視野を広げ今後の大学の勉学などに役立てる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	東アジアの地理概況	中国やその周辺地域の地形や気候とともに、主な都市や世界遺産の概要について学ぶ。	プリント1
2	中国の歴史(前半)	先史時代から元代にいたる歴史。	プリント2
3	中国の歴史(後半)	明代から現代中国にいたる歴史。	プリント3
4	多民族国家としての中国	多民族国家が形成された過程と現状、およびその問題点。	プリント4
5	日本と中国	古代の交流や交易から日清戦争を経て現在の日中関係を概観する。また、日本在住の中国人(華僑)についても学ぶ。	プリント5
6	中国の政治と経済	中華人民共和国の成立の過程とその政治システム、台湾との関係や経済の現状について概観する。	プリント6
7	中国の思想と宗教	中国の思想の源泉をなす諸子百家の思想および道教や仏教を概観する。また中国思想にもっとも大きく影響を与えた儒教思想についても学ぶ。	プリント7
8	中国の芸術	絵画や陶芸、書、文学、演劇など中国の芸術について概観する。	プリント8
9	漢詩の世界	唐詩を中心に古代の文学作品を鑑賞しながら、日本における「漢文訓読」の文化について理解を深める。	プリント9
10	現代中国の映像と音楽	現代の中国で流行している音楽や映像を鑑賞しながら、その特質を学ぶ。	プリント10
11	中国語とは	世界の言語の中での中国語の位置づけ、「中国語」の概念、普通話と方言、文字制作などについて概観する。	プリント11
12	漢字の今と昔	甲骨文字から現代の中国と日本で使われている漢字までの変遷をたどる。	プリント12
13	漢字文化圏の広がり	中国と日本、朝鮮、ベトナムという漢字文化圏の歴史と現状を概観する。	プリント13
14	日本語と中国語	別系統の言語でありながら日本途中動くが「漢字」を共有することで古来から活発な言語交流を行ってきたことについて学ぶ。	プリント14
15	コンピューターで扱う中国語	文字コード、フォント、IMEについて理解したあと、実際に中国語を入力する練習をする。	プリント15

関連科目	1年次必修の中国語各課目・中国関連の講義科目。
------	-------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業の最後に行う小テストおよびレポートをもとに評価する。
----------	------------------------------

学生へのメッセージ	授業中は私語などを慎み、集中して授業内容の理解に努めて下さい。
-----------	---------------------------------

担当者の研究室等	7号館3階(中西研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	中国語会話 I a	科目名 (英文)	Chinese Conversation Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、後期の学期中に受験する中国語検定試験での合格を目指す。
到達目標	前期終了時に、中国語検定試験 4 級に出題される文法・語彙の 80% を修得する。また同試験リスニング部分でも 6 割近く正解できるだけのリリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」のひとつで、『撰南大学中国語 Ia』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験準 4 級および 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	複母音(2), 鼻母音(1)	発音編 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	文末助詞, 主述述語文	第 1 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	指示代名詞, 反復疑問文, 構造助詞 2	第 2 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	文末助詞 2, 副詞 3	第 3 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	数詞 2, 副詞 5	第 4 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	時間詞, 名詞述語文	第 5 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	動詞「在」, 副詞 6	第 6 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第 4 課～第 6 課まとめ	第 2 回単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	会話 7	第 7 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	会話 8	第 8 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	会話 9	第 9 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	動量詞 2, 副詞 11	第 10 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	疑問代名詞 4, 能願動詞 3	第 11 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	進行文, 接続詞 1	第 12 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第 10 課～第 12 課まとめ	第 4 回単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」 「ビジネス中国語 a」「映像中国語 a」
------	---

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語 I a	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
----------	-------------------

備考	
----	--

科目名	中国語会話 I b	科目名 (英文)	Chinese Conversation Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4 年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、この学期中に受験する中国語検定試験 4 級での合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる 11 月末までに、中国語検定試験 4 級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも 6 割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す Ib」「中国語を読む Ib」「中国語を聞く Ib」「中国語を書く Ib」のひとつで、『摂南大学中国語 I b』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	是～的構文	第 13 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	動態助詞「着」、気象現象	第 14 課 1+第 13 課小テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第 13, 14 課文法と語彙の復習	第 13 課～14 復習課	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	検定 4 級準備 (1) 文法	第 15 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	検定 4 級準備 (2) 日文中訳	第 16 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	検定 4 級準備 (3) 日文中訳	第 17 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	検定 4 級準備 (4) 長文読解	第 18 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	検定 4 級準備 (5) 長文読解	第 19 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	検定 4 級準備 (6) 長文読解	第 20 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	長文読解と既習事項確認 (1) 語彙と発音	第 21 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第 21 課到達度確認	復習+第 21 課小テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	長文読解と既習事項確認 (2) 中文日訳	第 22 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	長文読解と既習事項確認 (3) 教材音読	第 23 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	長文読解と既習事項確認 (4) 日文中訳	第 24 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第 24 課～25 課到達度確認	復習+第 24 課～第 25 課単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を読む Ib」「中国語を聞く Ib」「中国語を書く Ib」 「ビジネス中国語 b」「映像中国語 b」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 I b	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
----------	-------------------

備考	
----	--

科目名	中国語会話Ⅱa	科目名(英文)	Chinese Conversation IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	一年生の中国語科目で学習した内容を定着させるとともに、それを応用しながら読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく発展させる。中国語の刊物やWebサイトを辞書を使いながらも読みこなせるレベルを目指すとともに中国語検定試験3級の合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる6月末までに、中国語検定試験3級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語コースでの必修科目「中国語会話Ⅱa」「中国語講読Ⅱa」「中国語LLⅡa」「中国語作文Ⅱa」のひとつで、『摂南大学中国語Ⅱa』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験3級受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	第1回	第1話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	第5回	第3話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	第9回	第5話	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	第13回	第7話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	第20回	第6話～第10話まとめ・単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	6	第24回	第12話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	第28回	第14話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	第32回	第16話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	第36回	第18話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	第40回	第16話～第20話まとめ・単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	11	第44回	第22話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第48回	第24話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	第52回	第26話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	第56回	第28話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	第60回	第26話～第30話まとめ・単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語講読Ⅱa」「中国語LLⅡa」「中国語作文Ⅱa」 「ビジネス中国語Ⅱa」「日中翻訳法Ⅰa」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語Ⅱa	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとに小テストを行う。
----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語会話Ⅱb	科目名(英文)	Chinese Conversation IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	一年生の中国語科目で学習した内容を定着させるとともに、それを応用しながら読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく発展させる。中国語の刊行物やWebサイトを辞書を使いながらも読みこなせるレベルを目指すとともに中国語検定試験3級および2級の合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる11月末までに、中国語検定試験3級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも7割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語コースでの必修科目「中国語会話Ⅱb」「中国語講読Ⅱb」「中国語LLⅡb」「中国語作文Ⅱb」のひとつで、『撰南大学中国語Ⅱb』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験3級・2級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第4回	第2話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	第8回	第4話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第15回	第8話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第19回	第10話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	第22回	第11話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第26回	第13話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	第30回	第15話後半・第21回～第30回テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第34回	第17話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第38回	第19話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	第42回	第21話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第46回	第23話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第50回	第25話後半・第41回～第50回テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第51回	第26話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第58回	第29話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第59回	第30話前半・第51回～第59回テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語講読Ⅱb」「中国語LLⅡb」「中国語作文Ⅱb」 「ビジネス中国語Ⅱb」「日中翻訳法Ⅰa」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語Ⅱb	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとに小テストを行う。
----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	中国語会話表現法 I a	科目名 (英文)	Chinese Speaking Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	この授業は習得した基礎文法を応用できるようになる中国語会話授業です。中国の「社会事情」「文化風習」といった身近な話題で、楽しく文法事項や表現を学習し、文法練習、会話練習とリスニング練習によって、中国語のコミュニケーション能力の向上を目指します。
到達目標	文法練習、会話練習とリスニング練習によって、会話を高める。
授業方法と留意点	授業への積極的な参加態度が望まれる。
科目学習の効果 (資格)	中国人と交流を交わすに必要な会話力をつけること。自らの表現能力を高めることも可能である。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第一課 大学生の週末1	文法説明・本文読み練習・翻訳	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	第一課 大学生の週末2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第二課 北京の交通事情1	文法説明・本文読み練習・翻訳	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第二課 北京の交通事情2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	会話	会話文を作成する。 会話を練習する。	会話発表を準備する。
6	第三課 中国人の主食1	文法説明・本文読み練習・翻訳 会話発表	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	第三課 中国人の主食2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第四課 数字についての好み1	文法説明・本文読み練習・翻訳	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第四課 数字についての好み2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	会話	会話文を作成する。 会話を練習する。	会話発表を準備する。
11	第五課 大学生のアルバイト事情1	文法説明・本文読み練習・翻訳 会話発表	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第五課 大学生のアルバイト事情2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第六課 集団生活のメリット1	文法説明・本文読み練習・翻訳	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第六課 集団生活のメリット2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	総復習	全体の総括。	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	特になし。
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	《知っておきたい中国事情》	吉田泰謙/相原里美	白水社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	口頭および筆記による小テストを数回に分けて実施し、これらをもとに成績を評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	中国語で自分の考えを表現できるようになることを最大の目的とするので、授業では自ら進んで発表したり意見を述べたりするなど積極的な参加を望みたい。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語会話表現法 I b	科目名 (英文)	Chinese Speaking Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	この授業は習得した基礎文法を応用できるようになる中国語会話授業です。中国の「社会事情」「文化風習」といった身近な話題で、楽しく文法事項や表現を学習し、文法練習、会話練習とリスニング練習によって、中国語のコミュニケーション能力の向上を目指します。
到達目標	文法練習、会話練習とリスニング練習によって、会話を高める。
授業方法と留意点	授業への積極的な参加態度が望まれる。
科目学習の効果 (資格)	中国人と交流を交わすに必要な会話力をつけること。自らの表現能力を高めることも可能である。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第七課 北京での買物 1	文法説明・本文読み練習・翻訳	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	第七課 北京での買物 2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	第八課 贈り物で気を付けること 1	文法説明・本文読み練習・翻訳	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	第八課 贈り物で気を付けること 2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	会話	会話文を作成する。 会話を練習する。	会話発表を準備する。
	6	第九課 中国式結婚 1	文法説明・本文読み練習・翻訳 会話発表	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	第九課 中国式結婚 2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	第十課 共働きの家庭 1	文法説明・本文読み練習・翻訳	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	第十課 共働きの家庭 2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	会話	会話文を作成する。 会話を練習する。	会話発表を準備する。
	11	第十一課 中国人の呼称 1	文法説明・本文読み練習・翻訳 会話発表	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第十一課 中国人の呼称 2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	第十二課 懂れる職業 1	文法説明・本文読み練習・翻訳	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	第十二課 懂れる職業 2	文法練習・リスニング練習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	総復習	全体の総括	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	特になし。
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	《知っておきたい中国事情》	吉田泰謙/相原里美	白水社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	会話・テスト
-----------	--------

学生へのメッセージ	中国語で自分の考えを表現できるようになることを最大な目的とするので、授業では自ら進んで発表したり意見を述べたりするなど積極的な参加を望みたい。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語会話表現Ⅱ a	科目名 (英文)	Chinese Speaking IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	本講義は北京バオリンという感動的な中国映画を教材にすることにより、出場人物の感情のこもった生の中国語に接し、その言葉遣い、口調、息遣いを肌で感じ取りながら、中国語表現能力、会話能力の向上を図る。また、映画のストーリーと出場人物の運命や喜怒哀楽を通じて、中国の文化や風土人情、中国人の価値観などを知ることができる。
到達目標	生きた中国語会話を身に付け、中国文化への理解を深める。
授業方法と留意点	一本の映画を数回に分けて、授業をするので、継続して授業に出ることが望ましい。
科目学習の効果 (資格)	中国人との交流に必要な会話能力を身に付ける。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	ユニット1 小春親子で上京。(1)	ビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
2	ユニット1 小春親子で上京。(2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
3	ユニット2 小春、麗々に出会う。(1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
4	ユニット2 小春、麗々に出会う。(2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
5	ユニット3 全財産盗まれる。(1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
6	ユニット3 全財産盗まれる。(2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
7	ユニット4 江先生に弟子入り。(1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
8	ユニット4 江先生に弟子入り。(2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
9	ユニット5 江先生の奇妙なレッスン。(1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
10	ユニット5 江先生の奇妙なレッスン。(2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
11	ユニット6 小春の反抗。(1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
12	ユニット6 小春の反抗。(2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
13	ユニット7 江先生、クビになる。(1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。

	14	ユニット7 江先生、クビになる。(2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
	15	全体の総括	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	前期内容の総復習をして、後期授業に備える。
関連科目	中国語原書講読 I ab			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	単元ごとに試験をする。			
学生への メッセージ	中国語で自分の考えを表現できるようになることを最大な目的とするので、授業では自ら進んで発表したり意見を述べたりするなど積極的な参加を望みたい。			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	中国語会話表現Ⅱ b	科目名 (英文)	Chinese Speaking IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	前期同様本講義は北京パオリンという感動的な中国映画を教材にすることにより、出場人物の感情のこもった生の中国語に接し、その言葉遣い、口調、息遣いを肌で感じ取りながら、中国語表現能力、会話能力の向上を図る。また、映画のストーリーと出場人物の運命や喜怒哀楽を通じて、中国の文化や風土人情、中国人の価値観などを知ることができる。
到達目標	生きた中国語会話を身に付け、中国文化への理解を深める。
授業方法と留意点	一本の映画を数回に分けて、授業をするので、継続して授業に出ることが望ましい。
科目学習の効果 (資格)	中国人との交流に必要な会話能力を身に付ける。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	ユニット 8 小春パオリンを売る (1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
2	ユニット 8 小春パオリンを売る (2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
3	ユニット 9 小春の秘密 (1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習 セリフを繰り返し朗読 練習問題を解答してくる	
4	ユニット 9 小春の秘密 (2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
5	ユニット 10 麗々音楽大学潜入 (1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
6	ユニット 10 麗々音楽大学潜入 (2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
7	ユニット 11 小春俞教授家に下宿 (1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
8	ユニット 11 小春俞教授家に下宿 (2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
9	ユニット 12 ライバル出現 (1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
10	ユニット 12 ライバル出現 (2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
11	ユニット 13 国際コンクール出場決定 (1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
12	ユニット 13 国際コンクール出場決定 (2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	
13	ユニット 14 小春走る (1)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。	

			セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	
	14	ユニット14 小春走る(2)	前回分のビデオの音声を消して、学生がそのセリフを言う。 新しいビデオを見、セリフを聞き取る。 セリフの発音、意味の確認。 重要単語、文法、文型。	授業で習った単語、文法、文型の復習。 セリフを繰り返し朗読。 練習問題を解答してくる。
	15	総復習	映画の一部の内容で劇をする。	一年間の成果と問題点を自ら総点検する。
関連科目	中国語原書講読 I ab			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	単元ごとに試験をする。			
学生への メッセージ	積極的な態度で授業に臨み、意欲的に授業に参加してください。			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	中国語学 I	科目名 (英文)	Chinese Linguistics I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	中国語は地域的な広がり、及び歴史的な広がりにおいてきわめて多様な言語である。その多様性をつなぐのが漢字であるが、漢字は基本的には表意文字であるため、文字に含まれるそれぞれの部品の意味を知ること、文字全体の意味を解釈できる。 本講義では藤堂明保著『漢字語源辞典』の単語家族に関する記述を参考にしながら、上古 (周代) 漢語の音韻体系と甲骨文字や金文を手がかりに、形と意味の関係を探り、古代人のものの見方や発想法について考える。
到達目標	日常使用する漢字について、それを構成する部品が何の象形なのか、どのような意味を担っているのか、それらを組み合わせることでも何を表現しているのかを説明できるようになることを目指す。また、未知の漢字に接した時もその意味や読音を推測できるようにする。
授業方法と留意点	一回の授業で4～5の漢字家族をとりあげ、その本来の意味や漢字の構成を考えていく。受講生にも意見を求める。
科目学習の効果 (資格)	中国語教職科目 (中国語の分野)。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	人体・姿勢	人・女・子・鬼・兄…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
2	身体部位 1	頭・毛・目・耳・口…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
3	身体部位 2	手・足…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
4	動物 1	牛・馬・羊…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
5	動物 2	犬・鹿・豚…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
6	動物 3	鳥・虫・蛇…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
7	天体・気象	日・月・水…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
8	鉱物	土・火・金…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
9	人工物	高・示…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
10	器具 1	方・網・工…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
11	器具 2	玉・父・車…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
12	器具 3	刀・辛・戈…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
13	動作	又・口・之…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
14	状態	束・阜・夂…	教材フォルダに置いてある講義資料のうち該当部分を印刷しておく。
15	形状	宀・王・弗…	—————

関連科目	中国語の語学科目を履修しておくこと。
------	--------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	常用漢字コアイメージ辞典	加納喜光	中央公論社
	2			
	3			

評価方法 (基準)	定期試験と授業参加状況をもとに評価する。
-----------	----------------------

学生へのメッセージ	講義の内容をノートする必要は言うまでもないが、試験では複数の語から1つの共通性を帰納する能力を評価する。語の音と意味がいかに密接に結びついているかを授業を通して理解してほしい。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階 (中西研究室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語学Ⅱ	科目名(英文)	Chinese Linguistics II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	俞 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	中国語学習において、混同しやすい類義語を使い分けることが非常に大切なことである。本講義は、日常での類義語、つまり中級段階でよく使われ、誤用が生じやすく、質問が集中されるものを取り上げて、中国語の語彙力(分析力、理解力、運用力)を高めることを目的とする。
到達目標	中国語検定試験2級合格を目指す。
授業方法と留意点	授業では、2つ～3つのテーマについて口述解説とドリルを中心に行う。
科目学習の効果(資格)	中国語の能力の向上、中国語検定試験の合格などに役立つ。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	「一点、有点、一下」「次、遍」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 212-224
2	「也許、可能、大概、恐怕」「一定、肯定」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 196-210
3	「給、替、爲」「大概、一般、差不多」「像、好像」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 178-195
4	「又、再」「往、朝」「对、跟」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 160-177 指定した範囲を復習する。
5	「時間、時候、時」「男性、男人、男的、男」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。 ☆単元テスト1	テキスト p. 146-158
6	「送、寄、発」「去、走」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 8-19
7	「会、能」「看、看見」「看得見」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 20-31
8	「在、有」「説、講、告訴」「幫、幫助、幫忙」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 32-49
9	「做、干」「見面、見、見到」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 50-61 指定した範囲を復習する。
10	「合格、及格、考上、考取」「变、变成、改变」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。 ☆単元テスト2	テキスト p. 62-76
11	「知道、明白」「想、覺得、以爲」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 78-89
12	「覺得、感覺、感得」「愛、喜歡」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 90-104
13	「好看、漂亮、美」「暖和、温暖、温和」「可怕、害怕、怕」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 106-123
14	「放松、轻松」「必要、需要」「高興、開心、愉快」	混同しやすい中国語のニュアンスや使い方の違いを解説。ドリルで攻略。	テキスト p. 124-144
15	まとめ	重要な部分をおさらいする。 ☆単元テスト3	指定した範囲を復習する。

関連科目	「中国語学Ⅰ」など。
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 類義語使い分けドリル	柴 森	NHK 出版
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	例文で覚える中国語類義語 1000	日本語版監修：平山邦彦	ASK
2				
3				

評価方法(基準)	単元テスト、授業参加、小レポートなど。
学生へのメッセージ	授業中は私語などを慎み、集中して授業内容の理解に努めて下さい。
担当者の研究室等	7号館3階(俞研究室)
備考	

科目名	中国語研究	科目名(英文)	Study of Chinese Language
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	前半は以前習った中国語の構文の仕組みに関する文法知識を深め、後半は複文を中心に文法事項を学びながら、中国語の学習能力と研究能力を身に付けることを目的とする。
到達目標	中国語検定試験3級ないし2級合格を目指す。
授業方法と留意点	新しい例文に出てくる単語も覚える必要がる。授業中、例題を通して文法力を高める。
科目学習の効果(資格)	中国語の教職科目である。中国語教員免許の取得には欠かせないものである。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	1、文の成分	ポイント解説と例題	p. 2～p. 7
	2	2、連体修飾語と連用修飾語	ポイント解説と例題	p. 8～p. 13
	3	3、動量補語と時量補語	ポイント解説と例題	p. 14～p. 19
	4	4、様態補語と程度補語	ポイント解説と例題	p. 20～p. 25 ☆単元テストの準備。
	5	5、単純方向補語と複合方向補語	ポイント解説と例題 ☆単元テスト1	p. 26～p. 31
	6	6、結果補語と可能補語	ポイント解説と例題	p. 32～p. 37
	7	7、比較文	ポイント解説と例題	p. 38～p. 43
	8	8、連動文と兼語文	ポイント解説と例題	p. 44～p. 49
	9	9、存現文と「有」構文	ポイント解説と例題	p. 50～p. 55 ☆単元テストの準備
	10	10、「把」構文と感嘆文	ポイント解説と例題 ☆単元テスト2	p. 56～p. 61
	11	11、並列・連続・累加の複文	ポイント解説と例題	p. 62～p. 67
	12	12、選択・取捨・条件の複文	ポイント解説と例題	p. 68～p. 73
	13	13、逆説・譲歩・因果の複文	ポイント解説と例題	p. 74～p. 79
	14	14、緊縮文	ポイント解説と例題	p. 80～p. 85 ☆単元テストの準備
	15	15、まとめ	☆単元テスト3	

関連科目	2年次以上の中国語科目。
------	--------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ぐんぐんのびる中国語②—構文で学ぶ初級中国語—	何 珍時	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	簡明中国語文法ポイント100	馬真・郭春貴	白帝社
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業参加と単元テストなどによる。
----------	------------------

学生へのメッセージ	中国語検定試験3級及び2級の受験対策にも役立ちます。
-----------	----------------------------

担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	中国語原書講読 I a	科目名 (英文)	Reading Classical Chinese Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	K
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	本授業は中国語原書講読 I に続き、経済・法律・政治・産業から科学技術・文学・スポーツ・芸能まで、中国の現状を語る中国語文章を講読し、中国語を日本語に翻訳する技術を習得する。
到達目標	中国語検定 2 級、準 1 級合格を目指す。
授業方法と留意点	単語の習得を重視し、語彙力を高める。新しい言葉を辞書で調べておくこと。
科目学習の効果 (資格)	通訳ガイド試験の受験。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第 1 課 連接亜欧大陸の新絲綢之路	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
2	第 1 課 連接亜欧大陸の新絲綢之路	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 93 声を出して読んでおく。単語を覚える。
3	第 2 課 ?不得不知道的中國知能手機	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
4	第 2 課 ?不得不知道的中國知能手機	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 94 声を出して読んでおく。単語を覚える。
5	第 3 課 春節花架	講読と中文日訳。 ☆単元テスト 1	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
6	第 3 課 春節花架	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 95 声を出して読んでおく。単語を覚える。
7	第 4 課 我在天國祝福?	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
8	第 4 課 我在天國祝福?	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 96 声を出して読んでおく。単語を覚える。
9	第 5 課 粽子乎?月餅乎?	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
10	第 5 課 粽子乎?月餅乎?	講読 (元の新聞記事) ☆単元テスト 2	練習問題 p. 97 声を出して読んでおく。単語を覚える。
11	第 6 課 說說 90 後創業者的那些事	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
12	第 6 課 說說 90 後創業者的那些事	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 98 声を出して読んでおく。単語を覚える。
13	第 7 課 城市花架	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
14	第 7 課 城市花架	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 99 声を出して読んでおく。単語を覚える。
15	復習 (第 1 ~ 7 課)	第 1 ~ 7 課の復習 ☆単元テスト 3	声を出して読んでおく。単語を覚える。

関連科目	「中国語原書講読 II b」
------	----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	2015 年度版 時事中国語の教科書 中国夢	三瀨正道・陳祖 pei	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業参加と単元テストによる。
学生へのメッセージ	最新の時事用語を覚えましょう。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
備考	

科目名	中国語原書講読Ⅰa	科目名(英文)	Reading Classical Chinese Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	L
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	大西 紀
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	本授業は経済・法律・政治・産業から科学技術・文学・スポーツ・芸能まで、中国の現状を語る中国語文章を講読し、中国語を日本語に翻訳する技術を習得する。
到達目標	辞書の助けは借りながらも、中国の新聞記事を読解できるようになる。
授業方法と留意点	単語の習得を重視し、語彙力を高める。新しい言葉を辞書で調べておくこと。
科目学習の効果(資格)	中国語検定2級レベルの読解力を養成

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第1課	閲読 ユーラシア大陸を結ぶ新シルクロード(1)	教科書の音読。 訳文の整理。
2	第1課	閲読 ユーラシア大陸を結ぶ新シルクロード(2)	教科書の音読。 訳文の整理。
3	第2課	閲読 中国のスマートフォン(1)	教科書の音読。 訳文の整理。
4	第2課	閲読 中国のスマートフォン(2)	教科書の音読。 訳文の整理。
5	第3課	閲読 春節こぼれ話(1) ☆単元テスト1	教科書の音読。 訳文の整理。
6	第3課	閲読 春節こぼれ話(2)	教科書の音読。 訳文の整理。
7	第4課	閲読 海を越え、生死を超えた愛(1)	教科書の音読。 訳文の整理。
8	第4課	閲読 海を越え、生死を超えた愛(2)	教科書の音読。 訳文の整理。
9	第5課	閲読 ちまき?それとも月餅?(1) ☆単元テスト2	教科書の音読。 訳文の整理。
10	第5課	閲読 ちまき?それとも月餅(2)	教科書の音読。 訳文の整理。
11	第6課	閲読 90年代生まれの起業家あれこれ(1)	教科書の音読。 訳文の整理。
12	第6課	閲読 90年代生まれの起業家あれこれ(2)	教科書の音読。 訳文の整理。
13	第7課	閲読 都市こぼれ話(1) ☆単元テスト3	教科書の音読。 訳文の整理。
14	第7課	閲読 都市こぼれ話(2)	教科書の音読。 訳文の整理。
15	復習(第1~7課)	第1~7課の復習 ☆単元テスト4	教科書の音読。 訳文の整理。

関連科目	中国語原書講読Ⅱa
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	2015年度版 時事中国語の教科書 中国夢	三瀧正道・陳祖倍	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	1 単元テストの平均点 2 出席点(出席が10回以上・ノートチェック・音読の巧拙) 1と2が共に6割を超えていることが要求される。
----------	---

学生へのメッセージ	最新の時事用語を覚えましょう。 ノートを随時チェックしますので、常日頃よりノートは良く整理しておきましょう。 出席回数が10回未満の場合は単位が認定できない。 単元テストの平均点が6割を超えていることを単位認定の条件とする。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	教科書は前期・後期の通年使用です。前期購入者は後期購入の必要はありません。
----	---------------------------------------

科目名	中国語原書講読 I b	科目名 (英文)	Reading Classical Chinese Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	K
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	本授業は中国語原書講読 I に続き、経済・法律・政治・産業から科学技術・文学・スポーツ・芸能まで、中国の現状を語る中国語文章を講読し、中国語を日本語に翻訳する技術を習得する。
到達目標	中国語検定 2 級、準 1 級合格を目指す。
授業方法と留意点	単語の習得を重視し、語彙力を高める。新しい言葉は辞書で調べておくこと。
科目学習の効果 (資格)	通訳ガイド試験の受験。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第 8 課 北京, 想説愛? 不容易	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
2	第 8 課 北京, 想説愛? 不容易	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 100 声を出して読んでおく。単語を覚える。
3	第 9 課 用麻将, 築起新的和平長城	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
4	第 9 課 用麻将, 築起新的和平長城	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 101 練声を出して読んでおく。単語を覚える。
5	第 10 課 中国老人生存之現状	講読と中文日訳。 ☆単元テスト 1	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
6	第 10 課 中国老人生存之現状	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 102 声を出して読んでおく。単語を覚える。
7	第 11 課 景美魚肥俊巴村	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
8	第 11 課 景美魚肥俊巴村	講読 (元の解説文)。	練習問題 p. 103 声を出して読んでおく。単語を覚える。
9	第 12 課 中国無人? 球	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
10	第 12 課 中国無人? 球	講読 (元の新聞記事)。 ☆単元テスト 2	練習問題 p. 104 声を出して読んでおく。単語を覚える。
11	第 13 課 讓大運河再活兩千年	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
12	第 13 課 讓大運河再活兩千年	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 105 声を出して読んでおく。単語を覚える。
13	第 14 課 制服話題二則	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
14	第 14 課 制服話題二則	講読 (元の新聞記事)。	練習問題 p. 106 声を出して読んでおく。単語を覚える。
15	復習 (第 8 ~ 14 課)	第 8 ~ 14 課の復習 ☆単元テスト 3	

関連科目	「中国語原書講読 II a」
------	----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	2015 年度 時事中国語の教科書 中国夢	三瀨正道・陳祖 pei	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業参加と単元テストによる。
学生へのメッセージ	最新の時事用語を覚えましょう。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
備考	

科目名	中国語原書講読 I b	科目名 (英文)	Reading Classical Chinese Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	L
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	大西 紀
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	本授業は経済・法律・政治・産業から科学技術・文学・スポーツ・芸能まで、中国の現状を語る中国語文章を講読し、中国語を日本語に翻訳する技術を習得する。
到達目標	辞書の助けは借りながらも中国の新聞記事を読解できるようになる。
授業方法と留意点	単語の習得を重視し、語彙力を高める。新しい言葉は辞書で調べておくこと。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定 2 級合格の読解能力を養成

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第8課	閲読 北京よ、どうしたら好きになれるのか? (1)	教科書の音読。 訳文の整理。
2	第8課	閲読 北京よ、どうしたら好きになれるのか? (2)	教科書の音読。 訳文の整理。
3	第9課	閲読 マージャンが平和の礎に (1)	教科書の音読。 訳文の整理。
4	第9課	閲読 マージャンが平和の礎に (2)	教科書の音読。 訳文の整理。
5	第10課	閲読 中国の老人は? (1) ☆単元テスト1	教科書の音読。 訳文の整理。
6	第10課	閲読 中国の老人は (2)	教科書の音読。 訳文の整理。
7	第11課	閲読 景色もよく魚も美味しい俊巴村 (1)	教科書の音読。 訳文の整理。
8	第11課	閲読 景色もよく魚も美味しい俊巴村 (2)	教科書の音読。 訳文の整理。
9	第12課	閲読 中国ではサッカーが絶滅? (1) ☆単元テスト2	教科書の音読。 訳文の整理。
10	第12課	閲読 中国ではサッカーが絶滅 (2)	教科書の音読。 訳文の整理。
11	第13課	閲読 大運河を未来に伝えよう (1)	教科書の音読。 訳文の整理。
12	第13課	閲読 大運河を未来に伝えよう (2)	教科書の音読。 訳文の整理。
13	第14課	閲読 制服の話 (1) ☆単元テスト3	教科書の音読。 訳文の整理。
14	第14課	閲読 制服の話 (2)	教科書の音読。 訳文の整理。
15	復習 (第8～14課)	第8～14課の復習 ☆単元テスト4	教科書の音読。 訳文の整理。

関連科目	「中国語原書講読 II b」
------	----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	2015年版 時事中国語の教科書 中国夢	三瀧正道・陳祖倍	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	1 単元テスト (複数回) の平均点 (最低 60 点以上)。 2 平常点 (10 回以上の出席・ノートチェック・音読の巧拙)。 1 と 2 が共に 6 割を超えていることが要求される。
-----------	---

学生へのメッセージ	最新の時事用語を覚えましょう。 ノートをチェックすることがありますので、平日頃からノートの整理に時間をかけましょう。 教科書は前期使用したものを使用しますので、新たに購入する必要はありません。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	教科書は通年使用ですから、前期に購入したものは新たに購入する必要はありません。
----	---

科目名	中国語原書講読Ⅱ a	科目名(英文)	Reading Classical Chinese IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	本授業は中国語原書講読Ⅰに続き、経済・法律・政治・産業から科学技術・文学・スポーツ・芸能まで、中国の現状を語る中国語文章を講読し、中国語を日本語に翻訳する技術を習得する。
到達目標	中国語検定2級、準1級合格を目指す。
授業方法と留意点	単語の習得を重視し、語彙力を高める。新しい言葉を辞書で調べておくこと。
科目学習の効果(資格)	通訳ガイド試験の受験。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第1課 連接亜欧大陸の新絲綢之路	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
2	第1課 連接亜欧大陸の新絲綢之路	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p.93 声を出して読んでおく。単語を覚える。
3	第2課 ?不得不知道的中國知能手機	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
4	第2課 ?不得不知道的中國知能手機	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p.94 声を出して読んでおく。単語を覚える。
5	第3課 春節花架	講読と中文日訳。 ☆単元テスト1	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
6	第3課 春節花架	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p.95 声を出して読んでおく。単語を覚える。
7	第4課 我在天國祝福?	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
8	第4課 我在天國祝福?	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p.96 声を出して読んでおく。単語を覚える。
9	第5課 粽子乎?月餅乎?	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
10	第5課 粽子乎?月餅乎?	講読(元の新聞記事) ☆単元テスト2	練習問題 p.97 声を出して読んでおく。単語を覚える。
11	第6課 說說90後創業者的那些事	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
12	第6課 說說90後創業者的那些事	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p.98 声を出して読んでおく。単語を覚える。
13	第7課 城市花架	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
14	第7課 城市花架	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p.99 声を出して読んでおく。単語を覚える。
15	復習(第1～7課)	第1～7課の復習 ☆単元テスト3	声を出して読んでおく。単語を覚える。

関連科目	「中国語原書講読Ⅱb」
------	-------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	2015年度版 時事中国語の教科書 中国夢	三瀨正道・陳祖 pei	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業参加と単元テストによる。
学生へのメッセージ	最新の時事用語を覚えましょう。
担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)
備考	

科目名	中国語原書講読Ⅱb	科目名(英文)	Reading Classical Chinese IⅡb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	本授業は中国語原書講読Ⅰに続き、経済・法律・政治・産業から科学技術・文学・スポーツ・芸能まで、中国の現状を語る中国語文章を講読し、中国語を日本語に翻訳する技術を習得する。
到達目標	中国語検定2級、準1級合格を目指す。
授業方法と留意点	単語の習得を重視し、語彙力を高める。新しい言葉は辞書で調べておくこと。
科目学習の効果(資格)	通訳ガイド試験の受験。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第8課 北京, 想説愛?不容易	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
2	第8課 北京, 想説愛?不容易	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p. 100 声を出して読んでおく。単語を覚える。
3	第9課 用麻将, 築起新的和平長城	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
4	第9課 用麻将, 築起新的和平長城	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p. 101 練声を出して読んでおく。単語を覚える。
5	第10課 中国老人生存之現状	講読と中文日訳。 ☆単元テスト1	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
6	第10課 中国老人生存之現状	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p. 102 声を出して読んでおく。単語を覚える。
7	第11課 景美魚肥俊巴村	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
8	第11課 景美魚肥俊巴村	講読(元の解説文)。	練習問題 p. 103 声を出して読んでおく。単語を覚える。
9	第12課 中国無人?球	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
10	第12課 中国無人?球	講読(元の新聞記事)。 ☆単元テスト2	練習問題 p. 104 声を出して読んでおく。単語を覚える。
11	第13課 讓大運河再活兩千年	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
12	第13課 讓大運河再活兩千年	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p. 105 声を出して読んでおく。単語を覚える。
13	第14課 制服話題二則	講読と中文日訳。	声を出して読んでおく。単語の練習帳を作る。
14	第14課 制服話題二則	講読(元の新聞記事)。	練習問題 p. 106 声を出して読んでおく。単語を覚える。
15	復習(第8~14課)	第8~14課の復習 ☆単元テスト3	

関連科目	「中国語原書講読Ⅱa」
------	-------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	2015年度 時事中国語の教科書 中国夢	三瀨正道・陳祖 pei	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業参加と単元テストによる。
----------	----------------

学生へのメッセージ	最新の時事用語を覚えましょう。
-----------	-----------------

担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	中国語講読 I a	科目名 (英文)	Chinese Reading Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、後期の学期中に受験する中国語検定試験での合格を目指す。
到達目標	前期終了時に、中国語検定試験 4 級に出題される文法・語彙の 80%を修得する。また同試験リスニング部分でも 6 割近く正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」のひとつで、『摂南大学中国語 Ia』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験準 4 級および 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	
			事前	事後
1	複母音(3)、鼻母音(4)、子音(3)	発音編 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	自己紹介、疑問詞疑問文	第 1 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	副詞語順、全否定、部分否定、疑問視疑問文	第 2 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	二重目的語、副詞 4	第 3 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	第 1 課～第 3 課会話文から出題	復習 1		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	所有、存在、疑問代名詞 2	第 4 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	疑問代名詞 3、介詞 1	第 5 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	指示代名詞 2	第 6 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	介詞 3、量詞 3	第 7 課 1		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	7 課小テスト、介詞 4、動量詞	第 8 課 1		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	8 課小テスト、状態補語、介詞 5	第 9 課 1		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第 7 課～第 9 課会話文から出題	復習 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	能願動詞 1	第 10 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	比較文、能願動詞 4	第 11 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	疑問代名詞 5、副詞 12	第 12 課 3		練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」 「ビジネス中国語 a」「映像中国語 a」
------	---

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7 号館 3 階(瀬戸研究室)
------------	-----------------

科目名	中国語講読 I b	科目名 (英文)	Chinese Reading Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、この学期中に受験する中国語検定試験4級での合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる11月末までに、中国語検定試験4級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話すIb」「中国語を読むIb」「中国語を聞くIb」「中国語を書くIb」のひとつで、『摂南大学中国語Ib』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験4級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	
			事前	事後
1	助動詞「打算」「準備」、前置詞「為了」「除了」	第13課2	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
2	存現文、兼語文	第14課2	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
3	第13、14課文法と語彙の到達度確認	第13課～14単元テスト	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
4	検定4級準備(1)日文中訳	第15課4	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
5	検定4級準備(2)リスニング	第16課1+第15課小テスト	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
6	検定4級準備(3)リスニング	第17課1+第16課小テスト	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
7	検定4級準備(4)文法	第18課3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
8	検定4級準備(5)文法	第19課3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
9	検定4級準備(6)文法	第20課3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
10	長文読解と既習事項確認(1)日文中訳	第21課2	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
11	長文読解と既習事項確認(2)語彙と発音	第22課1	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
12	第22課到達度確認	復習+第22課小テスト	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
13	長文読解と既習事項確認(3)中文日訳	第23課4	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
14	長文読解と既習事項確認(4)教材音読	第24課3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
15	長文読解と既習事項確認(5)日文中訳	第25課2	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話すIb」「中国語を聞くIb」「中国語を書くIb」 「ビジネス中国語b」「映像中国語b」
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法(基準)	単元ごとに小テストを行う。
----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館3階(瀬戸研究室)
------------	--------------

科目名	中国語講読 II a	科目名 (英文)	Chinese Reading IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	孫 輝
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	一年生の中国語科目で学習した内容を定着させるとともに、それを応用しながら読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく発展させる。中国語の刊物やWebサイトを辞書を使いながらも読みこなせるレベルを目指すとともに中国語検定試験3級の合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる6月末までに、中国語検定試験3級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語コースでの必修科目「中国語会話 IIa」「中国語講読 IIa」「中国語LLIIa」「中国語作文 IIa」のひとつで、『摂南大学中国語 IIa』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 3級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第4回	第2話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	第8回	第4話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第12回	第6話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第16回	第8話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	第19回	第10話	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第23回	第12話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	第27回	第14話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第31回	第16話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第35回	第18話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	第39回	第20話	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第43回	第22話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第47回	第24話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第51回	第26話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第55回	第28話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第59回	第30話	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語会話 IIa」「中国語LLIIa」「中国語作文 IIa」 「ビジネス中国語 IIa」「日中翻訳法 Ia」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 IIa	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語講読Ⅱb	科目名(英文)	Chinese Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	孫 輝
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	一年生の中国語科目で学習した内容を定着させるとともに、それを応用しながら読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく発展させる。中国語の刊行物やWebサイトを辞書を使いながらも読みこなせるレベルを目指すとともに中国語検定試験3級および2級の合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる11月末までに、中国語検定試験3級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも7割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語コースでの必修科目「中国語会話Ⅱb」「中国語講読Ⅱb」「中国語LLⅡb」「中国語作文Ⅱb」のひとつで、『摂南大学中国語Ⅱb』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験3級・2級受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	第3回	第2話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	第7回	第4話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	第11回	第6話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	第14回	第7話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	第18回	第9話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	6	第21回	第11話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	第25回	第13話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	第29回	第15話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	第33回	第17話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	第37回	第19話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	11	第41回	第21話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第45回	第23話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	第49回	第25話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	第54回	第27話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	第57回	第29話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語会話Ⅱb」「中国語LLⅡb」「中国語作文Ⅱb」 「ビジネス中国語Ⅱb」「日中翻訳法Ⅰa」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語Ⅱb	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとに小テストを行う。
----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語コミュニケーション a	科目名(英文)	Chinese Communication a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	K
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	この授業は生の中国語を体感することにより、中国語表現能力を身に付けることが目的である。過去二年間習った中国語の基礎をかためながら、音読、聴き取り、繰り返しなどの口頭練習を重ね、やや高度なコミュニケーションの手段としての中国語能力、ことに発信型の中国語能力の強化を目指す。
到達目標	中国検定試験2級のリスリング問題ができる。
授業方法と留意点	授業への積極的な参加態度で臨むこと。
科目学習の効果(資格)	基礎会話力を更なる一歩に向上させることで、中国に滞在するのに必要な交際能力を養う。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第一課 計去去旅游(1)	聞き取り、基本文型、会話文の日記、短文の聞き取り、応答練習。	練習問題を解答してくる。授業内容の予習復習。
2	第一課 計去去旅游(2)	練習問題の解説。 <旅行>をテーマに会話。 短文の聞き取り、意味確認、基本文型。	練習問題を解答してくる。短文の熟読。
3	第二課 訂機票(1)	前回短文の暗唱。 新しい会話文の聞き取り、基本文型、会話文の日記。	練習問題を解答してくる。授業内容の予習復習。
4	第二課 訂機票(2)	練習問題の解説。 <チケットの予約>をテーマに会話。 短文の聞き取り、意味確認、基本文型。	練習問題を解答してくる。短文の熟読。
5	第三課 在上海浦東機場(1)	前回短文の暗唱。 新しい会話文の聞き取り、基本文型、会話文の日記。	練習問題を解答してくる。授業内容の予習復習。
6	第三課 在上海浦東機場(2)	練習問題の解説。 <空港にて>をテーマに会話。 短文の聞き取り、意味確認、基本文型。	練習問題を解答してくる。短文の熟読。
7	第四課 在昆明機場出口(1)	前回短文の暗唱。 新しい会話文の聞き取り、基本文型、会話文の日記。	練習問題を解答してくる。授業内容の予習復習。
8	第四課 在昆明機場出口(2)	練習問題の解説。 <税関にて>をテーマに会話。 短文の聞き取り、意味確認。	練習問題を解答してくる。短文の熟読。
9	第五課 修理眼鏡(1)	前回短文の暗唱。 新しい会話文の聞き取り、基本文型、会話文の日記。	練習問題を解答してくる。授業内容の予習復習。
10	第五課 修理眼鏡(2)	練習問題の解説。 <眼鏡修理の依頼>をテーマに会話。	練習問題を解答してくる。短文の熟読。
11	第六課 換車(1)	前回短文の暗唱。 新しい会話文の聞き取り、基本文型、会話文の日記。	練習問題を解答してくる。授業内容の予習復習。
12	第六課 換車(2)	短文練習問題の解説。 <乗り換え>をテーマに会話。 短文の聞き取り、意味確認。	練習問題を解答してくる。短文の熟読。
13	第七課 買東西(1)	前回短文の暗唱。 新しい会話文の聞き取り、基本文型、会話文の日記。	練習問題を解答してくる。授業内容の予習復習。
14	第七課 買東西(2)	短文練習問題の解説。 <買い物>をテーマに会話。 短文の聞き取り、意味確認。	練習問題を解答してくる。短文の熟読。
15	総復習	全体の復習	練習問題を解答する。

関連科目 特になし。

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	体感中国～初級からのステップアップ～	奈良行博 Tong 岩韓軍 大沼尚子	同学社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	単元ごとに試験をする
学生へのメッセージ	中国語で互いにやりとりするから、意欲のある学生に履修してもらいたいです。
担当者の	7号館2階(非常勤講師室)

研究室等	
------	--

備考	
----	--

科目名	中国語コミュニケーション a	科目名 (英文)	Chinese Communication a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	L
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	礒 玉璽
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	この授業は生の中国語を体感することにより、中国語表現能力を身につけることが目的である。
到達目標	過去二年間習った中国語の基礎をかためながら、音読、聴き取り、模倣など口頭表現に重点をおいた練習を積み重ね、やや高度なコミュニケーションの手段としての中国語力、特に発信型の中国語能力の強化を目指す。
授業方法と留意点	授業への積極的な参加態度が望まれる。
科目学習の効果 (資格)	基礎会話を更なる一步に向上させることで、中国に滞在するのに必要な交際能力をつけること。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第一課 計画去旅游 (1)	弁音, 基本文型 会話文の日記, 听短文, 回答問題	練習問題を解答してくる。 前回授業内容の復習 次回授業の予習
2	第一課 計画去旅游 (2)	練習問題の解説 <旅行>というテーマで会話 短文の聞き取り、弁音、意味確認、基本文型	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、
3	第二課 訂機票 (1)	前回短文の暗唱 新しい会話文の弁音, 基本文型, 会話文の日記,	練習問題を解答してくる。 前回授業内容の復習 次回授業の予習
4	第二課 訂機票 (2)	練習問題の解説 <チケットの予約>というテーマで会話 短文の聞き取り、弁音、意味確認、基本文型	練習問題を解答してくる。 短文の熟読
5	第三課 在上海浦東機場 (1)	前回短文の暗唱 新しい会話文の弁音, 基本文型 会話文の日記,	練習問題を解答してくる。 前回授業内容の復習 次回内容の予習
6	第三課 在上海浦東機場 (2)	練習問題の解説 <空港にて>というテーマで会話 短文の聞き取り、弁音、意味確認、基本文型	練習問題を解答してくる。 短文の熟読
7	第四課 在昆明機場出口 (1)	前回短文の暗唱 新しい会話文の弁音, 基本文型 会話文の日記,	練習問題を解答してくる。 前回授業内容の復習 次回内容の予習
8	第四課 在昆明機場出口 (2)	練習問題の解説 <税関にて>というテーマで会話 短文の聞き取り、弁音、意味確認	練習問題を解答してくる。 短文の熟読
9	第五課 修理眼鏡 (1)	前回短文の暗唱 新しい会話文の弁音, 基本文型 会話文の日記	練習問題を解答してくる。 前回授業内容の復習 次回授業内容の予習
10	第五課 修理眼鏡 (2)	練習問題の解説 <眼鏡修理の依頼>というテーマで会話	練習問題を解答してくる 短文の熟読
11	第六課 換車 (1)	前回短文の暗唱 新しい会話文の弁音, 基本文型 会話文の日記	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習、復習
12	第六課 換車 (2)	短文の短練習問題の解説 <乗り換え>をテーマに会話 短文の聞き取り、弁音、意味確認	練習問題を解答してくる。 短文の熟読
13	第七課 買東西 (1)	前回短文の暗唱 新しい会話文の弁音, 基本文型 会話文の日記	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習復習
14	第七課 買東西 (2)	短文の短練習問題の解説 <買い物>をテーマに会話 短文の聞き取り、弁音、意味確認	練習問題を解答してくる。 短文の熟読
15	総復習	全体の復習	練習問題を解答する。

関連科目	特になし。
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	体感中国 ～初級からのステップアップ～	奈良行博 韓軍 大沼尚子等	株式会社 同学社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元ごとに試験をする
学生への メッセージ	中国語で互いにやりとりするから、意欲のある学生に履修してもらいたいと思っている。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	中国語コミュニケーションb	科目名(英文)	Chinese Communication b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	K
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	前期同様、この授業は生の中国語に体感することにより、中国語の口頭表現能力のさらなる向上を目標とする。音読、聞き取り、繰り返し、暗唱などの口頭練習を重ね、やや高度なコミュニケーションの手段としての中国語能力の強化を目指す。
到達目標	中国語検定試験2級のリスニング問題ができる。
授業方法と留意点	授業への積極的な参加態度で臨むこと。
科目学習の効果(資格)	基礎会話を更なる一歩に向上させることで、中国に滞在するのに必要な交際能力を養う。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第八課 看病 (1)	会話文の学習。 朗読、意味確認、日訳、文法、文型。	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習復習。
2	第八課 看病 (2)	練習問題の解説。 会話練習：<診察>。 短文の学習、聞き取り、発音と意味確認、訳、朗読。	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗記。
3	第九課 迷路了 (1)	会話文の学習 朗読、意味確認、日訳、文法、文型。	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習復習。
4	第九課 迷路了 (2)	練習問題の解説 会話練習：<道を尋ねる> 短文の学習、聞き取り、発音と意味確認、訳、朗読。	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗唱。
5	第十課 与老朋友再会 (1)	会話文の学習。 朗読、意味確認、日訳、文法、文型。	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習復習。
6	第十課 与老朋友再会 (2)	練習問題の解説。 会話練習：<親友との再会> 短文の学習 聞き取り、意味確認、訳、朗読。	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗唱。
7	第十一課 送同事礼物 (1)	会話文の学習。 朗読、意味確認、日訳、文法、文型。	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習復習。
8	第十一課 送同事礼物 (2)	練習問題の解説。 会話練習：<親友との再会> 短文の学習、聞き取り、朗読、意味確認、訳。	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗唱。
9	第十二課 偶遇中国游客 (1)	会話文の学習 朗読、意味確認、日訳、文法、文型。	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習復習。
10	第十二課 偶遇中国游客 (2)	練習問題の解説。 会話練習：<親友との再会> 短文の学習 聞き取り、朗読、意味確認。	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗唱。
11	成語物語 自相矛盾 (1)	音読、意味確認、文法、文型。	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習復習。
12	成語物語 自相矛盾 (2)	音読、意味確認、文法、文型。	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習復習。
13	成語物語 自相矛盾 (3)	<自相矛盾>の寸劇の作成。	寸劇の練習
14	成語物語 自相矛盾 (4)	寸劇<自相矛盾>の発表。	練習問題を解答してくる。 解答後の練習問題を復習する
15	総合復習	総合まとめ	練習問題を解答してくる。 解答後の練習問題を復習する。

関連科目	特になし。
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	体感中国～初級からのステップアップ～	奈良行博 Tong 岩韓軍 大沼尚子	同学社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとに試験をする
----------	------------

学生へのメッセージ	中国語で互いにやりとりするから、意欲のある学生に履修してもらいたいです。
-----------	--------------------------------------

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	中国語コミュニケーションb	科目名(英文)	Chinese Communication b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	L
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	礪 玉璽
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	前期同様、この授業は生の中国語に体感することにより、中国語の口頭表現能力のさらなる向上を目的とする。
到達目標	音読、聞き取り模倣、暗唱など口頭表現に重点をおいた練習を積み重ねながら、やや高度なコミュニケーションの手段としての中国語表現能力の強化を目指す。
授業方法と留意点	授業への積極的な参加態度が望まれる。
科目学習の効果(資格)	基礎会話力を更なる一歩に向上させることで、中国に滞在するのに必要な交際能力をつけること。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第八課 看病 (1)	会話文の学習 朗読、意味確認、日訳 文法、文型	練習問題を解答してくる。 授業の予習、復習
	2	第八課 看病 (2)	練習問題の解説 会話練習<診察> 短文の学習 聞き取り、発音と意味確認、訳、朗読	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗記
	3	第九課 迷路了(1)	会話文の学習 朗読、意味確認、日訳 文法、文型	練習問題を解答してくる。 授業の予習、復習
	4	第九課 迷路了(2)	練習問題の解説 会話練習<道を尋ねる> 短文の学習 聞き取り、発音と意味確認、訳、朗読	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗唱
	5	第十課 与老朋友再会(1)	会話文の学習 朗読、意味確認、日訳 文法、文型	練習問題を解答してくる。 授業の予習、復習
	6	第十課 与老朋友再会(2)	練習問題の解説 会話練習<親友との再会> 短文の学習 聞き取り、意味確認、訳、朗読	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗唱
	7	第十一課 送同事礼物(1)	会話文の学習 朗読、意味確認、日訳 文法、文型	練習問題を解答してくる。 授業の予習、復習
	8	第十一課 送同事礼物(2)	練習問題の解説 会話練習<親友との再会> 短文の学習 聞き取り、朗読、意味確認、訳、	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗唱
	9	第十二課 偶遇中国游客(1)	会話文の学習 朗読、意味確認、日訳 文法、文型	練習問題を解答してくる。 授業の予習、復習
	10	第十二課 偶遇中国游客(2)	練習問題の解説 会話練習<親友との再会> 短文の学習 聞き取り、朗読、意味確認、	練習問題を解答してくる。 短文の熟読、暗唱
	11	成語物語 自相矛盾(1)	音読、意味確認、文法、文型	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習、復習
	12	成語物語 自相矛盾(2)	音読、意味確認、文法、文型	練習問題を解答してくる。 授業内容の予習、復習
	13	成語物語 自相矛盾(3)	成語物語 <自相矛盾>の寸劇の作成	寸劇の練習
	14	成語物語 自相矛盾(4)	寸劇<自相矛盾>の発表	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する
	15	総合復習	総合まとめ	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	特になし。
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	体感中国 ~初級からのステップアップ~	奈良行博 韓軍 大沼尚子等	株式会社 同学社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとに試験をする
----------	------------

学生へのメッセージ	中国語で互いにやりとりするから、意欲のある学生に履修してもらいたいと思っている。
担当者の	7号館2階(非常勤講師室)

研究室等	
備考	

科目名	中国語作文 I a	科目名 (英文)	Chinese Composition Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	今中 崇文
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、後期の学期中に受験する中国語検定試験での合格を目指す。
到達目標	前期終了時に、中国語検定試験4級に出題される文法・語彙の80%を修得する。また同試験リスニング部分でも6割近く正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」のひとつで、『摂南大学中国語 Ia』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験準4級および4級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	四声, 単母音, 子音(1), 複母音(1)	発音編 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	形容詞述語文, 副詞 1, 変調	第 1 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	1 課小テスト, 是構文, 副詞 2, 構造助詞 1	第 2 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	2 課小テスト, 動目構造, 動詞重畳	第 3 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	数詞, 量詞 1	第 4 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	4 課小テスト, 数詞 3, 曜日	第 5 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	5 課小テスト, 方位詞, 不定代名詞, 量詞 2	第 6 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第 4 課～第 6 課会話文から出題	復習 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	選択疑問文, 副詞 7	第 7 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	了 1 了 2, 副詞 8	第 8 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	副詞 9, 把字句	第 9 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	動態助詞「過」副詞 10	第 10 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	10 課小テスト, 能願動詞 2, 動量詞 3	第 11 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	11 課小テスト, 方向補語	第 12 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第 10 課～第 12 課会話文から出題	復習 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」 「ビジネス中国語 a」「映像中国語 a」
------	---

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語 Ia	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	中国語作文 I b	科目名 (英文)	Chinese Composition Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	今中 崇文
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、この学期中に受験する中国語検定試験4級での合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる11月末までに、中国語検定試験4級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話すIb」「中国語を読むIb」「中国語を聞くIb」「中国語を書くIb」のひとつで、『摂南大学中国語Ib』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験4級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			1
2	会話	第14課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	検定4級準備(1)長文読解	第15課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	検定4級準備(2)文法	第16課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	検定4級準備(3)文法	第17課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	検定4級準備(4)リスニング	第18課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	検定4級準備(5)リスニング	第19課1+第18課小テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	検定4級準備(6)リスニング	第20課1+第19課小テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第18課～20課到達度確認	復習+第18課～20単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	長文読解と既習事項確認(1) 中文日訳	第21課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	長文読解と既習事項確認(2) 教材音読	第22課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	長文読解と既習事項確認(3) 日文中訳	第23課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	長文読解と既習事項確認(4) 語彙と発音	第24課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	長文読解と既習事項確認(5) 語彙と発音	第25課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	長文読解と既習事項確認(5) 中文日訳	第25課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話すIb」「中国語を読むIb」「中国語を聞くIb」 「ビジネス中国語b」「映像中国語b」
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法(基準)	単元ごとに小テストを行う。
----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	中国語作文Ⅱa	科目名(英文)	Chinese Composition IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	大西 紀
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	一年生の中国語科目で学習した内容を定着させるとともに、それを応用しながら読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく発展させる。中国語の刊物やWebサイトを辞書を使いながらも読みこなせるレベルを目指すとともに中国語検定試験3級の合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる6月末までに、中国語検定試験3級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。

授業方法と留意点	この科目は中国語コースでの必修科目「中国語会話Ⅱa」「中国語講読Ⅱa」「中国語LLⅡa」「中国語作文Ⅱa」のひとつで、『撰南大学中国語Ⅱa』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
----------	--

科目学習の効果(資格)	中国語検定試験3級受験可能。
-------------	----------------

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	第2回	第1話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	第6回	第3話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	第10回	第1話～第5話まとめ・単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	第14回	第7話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	第17回	第9話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	6	第21回	第11話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	第25回	第13話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	第29回	第15話	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	第33回	第17話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	第37回	第19話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	11	第41回	第21話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第45回	第23話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	第49回	第25話	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	第53回	第27話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	第57回	第29話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語会話Ⅱa」「中国語講読Ⅱa」「中国語LLⅡa」「ビジネス中国語Ⅱa」「日中翻訳法Ⅰa」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語Ⅱa	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとに小テストを行う。
----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語作文 II b	科目名 (英文)	Chinese Composition IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	大西 紀
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	一年生の中国語科目で学習した内容を定着させるとともに、それを応用しながら読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく発展させる。中国語の刊行物や Web サイトを辞書を使いながらも読みこなせるレベルを目指すとともに中国語検定試験 3 級および 2 級の合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる 11 月末までに、中国語検定試験 3 級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも 7 割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語コースでの必修科目「中国語会話 IIb」「中国語講読 IIb」「中国語 LLIIb」「中国語作文 IIb」のひとつで、『摂南大学中国語 IIb』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 3 級・2 級受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第 1 回	第 1 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	第 5 回	第 3 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	第 9 回	第 5 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	第 12 回	第 6 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	第 16 回	第 8 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	6	第 20 回	第 10 話後半・第 11 回～第 20 回テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	第 23 回	第 12 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	第 27 回	第 14 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	第 31 回	第 16 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	第 35 回	第 18 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	11	第 39 回	第 20 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第 43 回	第 22 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	第 47 回	第 24 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	第 52 回	第 26 話後半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	第 55 回	第 28 話前半	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語会話 IIb」「中国語講読 IIb」「中国語 LLIIb」 「ビジネス中国語 IIb」「日中翻訳法 Ia」
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 IIb	摂南大学外国語学	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
----------	-------------------

備考	
----	--

科目名	中国語視聴専科 a	科目名 (英文)	Practical Chinese a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	映像と音声を通じて、中国語を聞き取る能力を重点的に養成することを目的とする。授業ではパソコンやネットワーク、タッチパネルディスプレイなどを利用して、発音のチェックや他の学生との情報共有、シャドーイングなどの活動を行う。この課程は1年次の必修中国語各科目の内容と連動するもので、それらで学んだ事項を定着させることができる。
到達目標	中国語の音声を正確に判別し、既習の語彙やフレーズについて正しく発音したり漢字やピンインでディクテーションできることを目指す。中国語検定4級リスニング試験の形式やレベルの問題にも取り組み、同級合格レベルへの到達を具体的な目標とする。
授業方法と留意点	1. 必修中国語各課程で学んだ発音・語彙・文法を復習し、しっかりと理解できるようにする。 2. さらにそれらを聞き取り理解できるようさまざまな訓練を行う。とくに1年次では発音の基礎と基本的語彙の練習・運用に重点を置き、確実に聞き取れるように訓練する。以上二点に重点を置いて授業を進めていく。
科目学習の効果 (資格)	中国語聞き取り能力が向上し、前期終了時には中国語検定試験4級の受験が可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	中国語知識 (1)	地理・民族・人口	中国語を学ぶのに必要な中国に関する高等学校程度の知識を確認する。
2	第1課	四声と基本的な母音、子音 四択練習問題四声と基本的な母音、子音 四択練習問題	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
3	第2課	鼻母音と発音しにくい子音。 四択練習問題。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
4	第3課	声調バタンの反復練習。 練習問題。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
5	第4課	「是」構文 名前の言い方に関する置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
6	第5課	数量に関する表現と「有」構文に関する置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
7	第6課	動詞述語文と職業に関する表現の置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
8	第7課	形容詞述語文と比較表現を使った置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
9	第8課	前置詞と方位詞を使った表現の置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
10	第9課	「了」と結果補語を使った置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
11	第10課	「了」と結果補語を使った置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
12	第11課	動作の進行、完了の表現に関する置き換え練習。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
13	第12課	「就」「才」を使った文および「在」のいくつかの用法。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
14	第13課	程度補語の使い方。	すでに必修科目の授業で学んだ内容を画像や音声を使って定着する。
15	第14課	復習	

関連科目 必修中国語科目 (週4コマ) を必ず履修していること。

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに実施する小テストと3つの単元の到達度を測るテストなどを基準に評価する (中国語必修科目との共通テスト)。
学生へのメッセージ	選択科目なので、目的意識をしっかりと持って授業に臨んでほしい。
担当者の研究室等	7号館3階 (中西研究室)
備考	教科書は中国語必修科目用のものと共通。

科目名	中国語視聴専科 b	科目名 (英文)	Practical Chinese b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション	【教員免許状取得のための履修区分】選択

授業概要・目的	映像と音声を通じて、中国語を聞き取る能力を重点的に養成することを目的とする。授業ではパソコンやネットワーク、タッチパネルディスプレイなどを利用して、発音のチェックや他の学生との情報共有、シャドーイングなどの活動を行う。この課程は1年次の必修中国語各科目の内容と連動するもので、それらで学んだ事項を定着させることができる。
到達目標	11月下旬の中国語検定4級試験受験までに、そのリスニング試験問題で6割以上の正答率を達成することを目標とする。12月以降は4級試験の長文読解問題レベルの文章を教材として、これを正しくディクテーションしたりシャドーイングすることを目指す。
授業方法と留意点	1. 必修中国語各課程で学んだ発音・語彙・文法を復習し、しっかりと理解できるようにする。 2. さらにそれらを聞き取り理解できるようさまざまな訓練を行う。とくに1年次では発音の基礎と基本的語彙の練習・運用に重点を置き、確実に聞き取れるように訓練する。以上二点に重点を置いて授業を進めていく。
科目学習の効果 (資格)	中国語聞き取り能力が向上し、11月に実施される中国語検定試験4級に合格することを可能とする。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	時をかける少女(2/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
3	時をかける少女(3/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
4	時をかける少女(4/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
5	時をかける少女(5/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
6	時をかける少女(6/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
7	時をかける少女(7/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
8	時をかける少女(8/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
9	時をかける少女(9/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
10	時をかける少女(10/12) 検定 4 級レベルリスニング 問題	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
11	時をかける少女(11, 12/12)	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
12	サマーウォーズ(1/4) CALL システムを利用した タイピング訓練	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ペースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。
13	サマーウォーズ(2/4) CALL システムを利用した タイピング訓練	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。

			げ、Web ベースで作成された問題を考える。																	
	14	サマーウォーズ(3/4) CALL システムを利用した タイピング訓練	映画を鑑賞しながら、映画のセリフのうち初級段階で学んでおかねばならない語彙や構文について 25 項目を取り上げ、Web ベースで作成された問題を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。																
	15	サマーウォーズ(4/4) 中国語検定 3 級模擬テスト	最新の試験問題を解きながら、6 月に受験する検定への対策を考える。	授業で理解できなかった部分は、自宅で教材にアクセスして復習する。																
関連科目	必修中国語科目 (週 4 コマ) を必ず履修していること。																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>中国語 I a</td> <td>摂南大学外国語学部</td> <td>摂南大学外国語学部</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部																	
2																				
3																				
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
評価方法 (基準)	単元ごとに実施する小テストと 3 つの単元の到達度を測るテストなどを基準に評価する (中国語必修科目との共通テスト)。																			
学生への メッセージ	選択科目なので、目的意識をしっかりと持って授業に臨んでほしい。																			
担当者の 研究室等	7 号館 3 階 (中西研究室)																			
備考	教科書は中国語必修科目用のものと共通。																			

科目名	中国語トピックス a	科目名 (英文)	Chinese Topics a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	馮 艶
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	家庭、学校、職場などの場所での会話の学習により、会話能力を高め、現代中国の文化・社会についての関心と理解を深めます。
到達目標	旅行や留学のさまざまな場面でスムーズにコミュニケーションができるだけの聞く力と話す力を習得する。
授業方法と留意点	音読、リスニング、文法練習と会話練習を通して、総合的な語学力を高めます。
科目学習の効果 (資格)	中国の文化・社会を理解し、中国語会話能力を身につけます。 実践的な会話練習を通して、コミュニケーション能力を高めます。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第1課	彼はだれ?	予習・宿題
	2	第1課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	3	第2課	文章を書く	予習・宿題
	4	第2課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	5	第3課	助け合い	予習・宿題
	6	第3課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	7	1~3課のまとめ	筆記・リスニング・会話	予習・宿題
	8	第4課	結婚相手を探す	予習・宿題
	9	第4課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	10	第5課	転職	予習・宿題
	11	第5課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	12	第6課	出張	予習・宿題
	13	第6課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	14	4~6課のまとめ	筆記・リスニング・会話	予習・宿題
	15	総復習	総復習	復習

関連科目	必修中国語科目を履修していること。
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	小テスト・筆記テスト・会話発表・出席状況・授業態度
-----------	---------------------------

学生へのメッセージ	授業に真面目に取り組めば、会話能力は確実に上がりますので、頑張りましょう。
-----------	---------------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語トピックス b	科目名 (英文)	Chinese Topics b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	馮 艶
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】中国語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	家庭、学校、職場などの場所での会話の学習により、会話能力を高め、現代中国の文化・社会についての関心と理解を深めます。
到達目標	旅行や留学のさまざまな場面でスムーズにコミュニケーションができるだけの聞く力と話す力を習得する。
授業方法と留意点	音読、リスニング、文法練習と会話練習を通して、総合的な語学力を高めます。
科目学習の効果 (資格)	中国の文化・社会を理解し、中国語会話能力を身につけます。 実践的な会話練習を通して、コミュニケーション能力を高めます。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	第7課	息子と母親	予習・宿題
	2	第7課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	3	第8課	別れの言葉	予習・宿題
	4	第8課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	5	第9課	何を食べる	予習・宿題
	6	第9課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	7	7~9課のまとめ	筆記・リスニング・会話	予習・宿題
	8	第10課	車を買う	予習・宿題
	9	第10課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	10	第11課	幸せ	予習・宿題
	11	第11課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	12	第12課	引越し	予習・宿題
	13	第12課	文法練習・会話練習	予習・宿題
	14	10~12課のまとめ	筆記・リスニング・会話	予習・宿題
	15	総復習	総合復習	復習

関連科目	必修中国語科目を履修していること。
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	小テスト・筆記テスト・会話発表・出席状況・授業態度
-----------	---------------------------

学生へのメッセージ	授業に真面目に取り組めば、会話能力は確実に上がりますので、頑張りましょう。
-----------	---------------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	中国語を書く I a	科目名 (英文)	Chinese Writing I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	今中 崇文
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、後期の学期中に受験する中国語検定試験での合格を目指す。
到達目標	前期終了時に、中国語検定試験 4 級に出題される文法・語彙の 80% を修得する。また同試験リスニング部分でも 6 割近く正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」のひとつで、『摂南大学中国語 Ia』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験準 4 級および 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	四声, 単母音, 子音(1), 複母音(1)	発音編 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	形容詞述語文, 副詞 1, 変調	第 1 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	1 課小テスト, 是構文, 副詞 2, 構造助詞 1	第 2 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	2 課小テスト, 動目構造, 動詞重畳	第 3 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	数詞, 量詞 1	第 4 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	4 課小テスト, 数詞 3, 曜日	第 5 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	5 課小テスト, 方位詞, 不定代名詞, 量詞 2	第 6 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第 4 課～第 6 課会話文から出題	復習 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	選択疑問文, 副詞 7	第 7 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	了 1 了 2, 副詞 8	第 8 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	副詞 9, 把字句	第 9 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	動態助詞「過」副詞 10	第 10 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	10 課小テスト, 能願動詞 2, 動量詞 3	第 11 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	11 課小テスト, 方向補語	第 12 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第 10 課～第 12 課会話文から出題	復習 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」 「ビジネス中国語 a」「映像中国語 a」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7 号館 2 階(非常勤講師室)
------------	------------------

科目名	中国語を書く I b	科目名 (英文)	Chinese Writing I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	今中 崇文
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、この学期中に受験する中国語検定試験4級での合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる11月末までに、中国語検定試験4級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す I b」「中国語を読む I b」「中国語を聞く I b」「中国語を書く I b」のひとつで、『摂南大学中国語 I b』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	会話	第13課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	会話	第14課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	検定4級準備 (1) 長文読解	第15課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	検定4級準備 (2) 文法	第16課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	検定4級準備 (3) 文法	第17課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	検定4級準備 (4) リスニング	第18課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	検定4級準備 (5) リスニング	第19課 1+第18課小テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	検定4級準備 (6) リスニング	第20課 1+第19課小テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第18課～20課到達度確認	復習+第18課～20単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	長文読解と既習事項確認 (1) 中文日訳	第21課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	長文読解と既習事項確認 (2) 教材音読	第22課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	長文読解と既習事項確認 (3) 日文中訳	第23課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	長文読解と既習事項確認 (4) 語彙と発音	第24課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	長文読解と既習事項確認 (5) 語彙と発音	第25課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	長文読解と既習事項確認 (5) 中文日訳	第25課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す I b」「中国語を読む I b」「中国語を聞く I b」 「ビジネス中国語 b」「映像中国語 b」
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語 I b	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	中国語を聞く I a	科目名 (英文)	Chinese Listening I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】「中国語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4 年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、後期の学期中に受験する中国語検定試験での合格を目指す。
到達目標	前期終了時に、中国語検定試験 4 級に出題される文法・語彙の 80% を修得する。また同試験リスニング部分でも 6 割近く正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」のひとつで、『摂南大学中国語 Ia』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験準 4 級または 4 級を受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	子音 (4), 子音 (5)	発音編 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	会話 1	第 1 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	会話 2	第 2 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	会話 3	第 3 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	第 1 課～第 3 課まとめ	第 1 回単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	6	会話 4	第 4 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	会話 5	第 5 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	会話 6	第 6 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	連動文	第 7 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	了 1, 了 2	第 8 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	11	結果補語, 介詞 6	第 9 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第 7 課～第 9 課まとめ	第 3 回単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	会話 10	第 10 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	会話 11	第 11 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	会話 12	第 12 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を書く Ia」 「ビジネス中国語 a」「映像中国語 a」
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元テストによる。
-----------	-----------

学生へのメッセージ	リレーの授業なので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 3 階 (兪研究室)
----------	-----------------

備考	
----	--

科目名	中国語を聞く I b	科目名 (英文)	Chinese Listening I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】「中国語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、この学期中に受験する中国語検定試験4級での合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる11月末までに、中国語検定試験4級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す I b」「中国語を読む I b」「中国語を聞く I b」「中国語を書く I b」のひとつで、『摂南大学中国語 I b』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験4級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	使役文、被動文、複合方向補語	第14課3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	検定4級準備(1)リスニング	第15課1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	検定4級準備(2)長文読解	第16課2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	検定4級準備(3)長文読解	第17課2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第15課～17課到達度確認	復習+第15課～17単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	検定4級準備(4)日文中訳	第18課4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	検定4級準備(5)日文中訳	第19課4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	検定4級準備(6)日文中訳	第20課4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	長文読解と既習事項確認(1)教材音読	第21課3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	長文読解と既習事項確認(2)日文中訳	第22課2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	長文読解と既習事項確認(3)語彙と発音	第23課1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第21課～23課到達度確認	復習+第21課～第23課単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	長文読解と既習事項確認(4)中文日訳	第24課4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	長文読解と既習事項確認(5)教材音読	第25課3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す I b」「中国語を読む I b」「中国語を書く I b」 「ビジネス中国語 b」「映像中国語 b」
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語 I b	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元テストによる。
-----------	-----------

学生へのメッセージ	リレーの授業なので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	中国語を話す I a	科目名 (英文)	Chinese Speaking I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】「中国語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、後期の学期中に受験する中国語検定試験での合格を目指す。
到達目標	前期終了時に、中国語検定試験 4 級に出題される文法・語彙の 80% を修得する。また同試験リスニング部分でも 6 割近く正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す I a」「中国語を読む I a」「中国語を聞く I a」「中国語を書く I a」のひとつで、『摂南大学中国語 I a』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験準 4 級および 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	複母音(2), 鼻母音(1)	発音編 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	文末助詞, 主述述語文	第 1 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	指示代名詞, 反復疑問文, 構造助詞 2	第 2 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	文末助詞 2, 副詞 3	第 3 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	数詞 2, 副詞 5	第 4 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	時間詞, 名詞述語文	第 5 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	動詞「在」, 副詞 6	第 6 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第 4 課～第 6 課まとめ	第 2 回単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	会話 7	第 7 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	会話 8	第 8 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	会話 9	第 9 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	動量詞 2, 副詞 11	第 10 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	疑問代名詞 4, 能願動詞 3	第 11 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	進行文, 接続詞 1	第 12 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第 10 課～第 12 課まとめ	第 4 回単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を読む I a」「中国語を聞く I a」「中国語を書く I a」 「ビジネス中国語 a」「映像中国語 a」
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語 I a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
備考	

科目名	中国語を話す I b	科目名 (英文)	Chinese Speaking I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	曹 櫻
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】「中国語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4 年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、この学期中に受験する中国語検定試験 4 級での合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる 11 月末までに、中国語検定試験 4 級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも 6 割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す I b」「中国語を読む I b」「中国語を聞く I b」「中国語を書く I b」のひとつで、『摂南大学中国語 I b』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	是～的構文	第 13 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	動態助詞「着」、気象現象	第 14 課 1+第 13 課小テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第 13, 14 課文法と語彙の復習	第 13 課～14 復習課	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	検定 4 級準備 (1) 文法	第 15 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	検定 4 級準備 (2) 日文中訳	第 16 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	検定 4 級準備 (3) 日文中訳	第 17 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	検定 4 級準備 (4) 長文読解	第 18 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	検定 4 級準備 (5) 長文読解	第 19 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	検定 4 級準備 (6) 長文読解	第 20 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	長文読解と既習事項確認 (1) 語彙と発音	第 21 課 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第 21 課到達度確認	復習+第 21 課小テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	長文読解と既習事項確認 (2) 中文日訳	第 22 課 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	長文読解と既習事項確認 (3) 教材音読	第 23 課 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	長文読解と既習事項確認 (4) 日文中訳	第 24 課 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	第 24 課～25 課到達度確認	復習+第 24 課～第 25 課単元テスト	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を読む I b」「中国語を聞く I b」「中国語を書く I b」 「ビジネス中国語 b」「映像中国語 b」
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国語 I b	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等	7 号館 2 階 (非常勤講師室)
----------	-------------------

備考	
----	--

科目名	中国語を読む I a	科目名 (英文)	Chinese Reading I a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、後期の学期中に受験する中国語検定試験での合格を目指す。
到達目標	前期終了時に、中国語検定試験 4 級に出題される文法・語彙の 80% を修得する。また同試験リスニング部分でも 6 割近く正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す Ia」「中国語を読む Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」のひとつで、『摂南大学中国語 Ia』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの 4 科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験準 4 級および 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	
			事前	事後
1	複母音(3)、鼻母音(4)、子音(3)	発音編 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
2	自己紹介、疑問詞疑問文	第 1 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
3	副詞語順、全否定、部分否定、疑問視疑問文	第 2 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
4	二重目的語、副詞 4	第 3 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
5	第 1 課～第 3 課会話文から出題	復習 1	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
6	所有、存在、疑問代名詞 2	第 4 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
7	疑問代名詞 3、介詞 1	第 5 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
8	指示代名詞 2	第 6 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
9	介詞 3、量詞 3	第 7 課 1	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
10	7 課小テスト、介詞 4、動量詞	第 8 課 1	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
11	8 課小テスト、状態補語、介詞 5	第 9 課 1	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
12	第 7 課～第 9 課会話文から出題	復習 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
13	能願動詞 1	第 10 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
14	比較文、能願動詞 4	第 11 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
15	疑問代名詞 5、副詞 12	第 12 課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す Ia」「中国語を聞く Ia」「中国語を書く Ia」 「ビジネス中国語 a」「映像中国語 a」
------	---

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7 号館 3 階(瀬戸研究室)
------------	-----------------

科目名	中国語を読む I b	科目名 (英文)	Chinese Reading I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	正確な発音と中国語文法の基礎を学習し、読む・聴く・話す・書くの四つの技能を総合的にバランスよく習得する。4年間にわたって続く中国語学習の基礎を身につけるとともに、この学期中に受験する中国語検定試験4級での合格を目指す。
到達目標	検定試験が行われる11月末までに、中国語検定試験4級に出題される文法・語彙をすべて修得する。また同試験リスニング部分でも6割以上を確実に正解できるだけのリスニング能力を身につける。
授業方法と留意点	この科目は中国語専攻での必修科目「中国語を話す I b」「中国語を読む I b」「中国語を聞く I b」「中国語を書く I b」のひとつで、『摂南大学中国語 I b』を使用して、リレー式に連携して進められる。したがって、授業はこの4科目をすべて履修していることを前提としていることに注意する必要がある。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 4 級受験可能。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	
			事前	事後
1	助動詞「打算」「準備」、前置詞「為了」「除了」	第13課 2	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
2	存現文、兼語文	第14課 2	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
3	第13、14課文法と語彙の到達度確認	第13課～14単元テスト	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
4	検定4級準備 (1) 日文中訳	第15課 4	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
5	検定4級準備 (2) リスニング	第16課 1+第15課小テスト	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
6	検定4級準備 (3) リスニング	第17課 1+第16課小テスト	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
7	検定4級準備 (4) 文法	第18課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
8	検定4級準備 (5) 文法	第19課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
9	検定4級準備 (6) 文法	第20課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
10	長文読解と既習事項確認 (1) 日文中訳	第21課 2	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
11	長文読解と既習事項確認 (2) 語彙と発音	第22課 1	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
12	第22課到達度確認	復習+第22課小テスト	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
13	長文読解と既習事項確認 (3) 中文日訳	第23課 4	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
14	長文読解と既習事項確認 (4) 教材音読	第24課 3	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。
15	長文読解と既習事項確認 (5) 日文中訳	第25課 2	練習問題を解答してくる。	解答後の練習問題を復習する。

関連科目	「中国語を話す I b」「中国語を聞く I b」「中国語を書く I b」 「ビジネス中国語 b」「映像中国語 b」
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法 (基準)	単元ごとに小テストを行う。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	上記のような日程で講義が進むので、欠席すると次回の受講に困難をきたす。欠席はしないように。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館3階(瀬戸研究室)
------------	--------------

科目名	中国史学	科目名(英文)	Chinese History
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	森川 裕貴
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択 【科目】教科に関する科目(中学校 社会) 【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史 【教員免許状取得のための履修区分】選択 【科目】教科に関する科目(高等学校 地理歴史) 【施行規則に定める科目区分】外国史 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	今日そして今後の中国について理解を深める上で、中国の近現代史は大きな意味をもっている。この授業ではまず、清代から中華人民共和国までの中国の歩みを確認し、その上で、今日のわれわれにも関わりのある身近な問題を手がかりに、中国近現代史の特色について考えていく。
到達目標	中国近現代史に関する基本的知識を身につけ、それに基づき、自分の考えを明確かつ論理的に表現できるようにする。
授業方法と留意点	スライドなどを適宜使い、解説を加える。
科目学習の効果(資格)	中国近現代史、そしてこれからの中国を理解するための手がかりを得る。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス	講義の目的と、進行・評価方法についての説明	中国近現代史について、関心を持っている事柄を整理する
	2	日本と中国の違い	日本と中国の政治や社会の差異	講義内容の復習と整理
	3	清朝の性格	清朝の基本的性格とその興隆	講義内容の復習と整理
	4	清朝の衰退	清朝を衰退させた内外の諸要因	講義内容の復習と整理
	5	北京政府時期の中華民国	1920年代半ばまでの中華民国の政治と社会	講義内容の復習と整理
	6	南京国民政府時期の中華民国	1920年代半ば以降の中華民国の政治と社会	講義内容の復習と整理
	7	中国共産党の成立	中国共産党成立の経緯とその特色	講義内容の復習と整理
	8	中華人民共和国の建国とその展開	中華人民共和国の成立とその統治の性格	講義内容の復習と整理
	9	改革開放にいたる道	文化大革命から改革開放までの中華人民共和国	講義内容の復習と整理
	10	中国近現代の留学	中国近現代に留学が盛んとなった背景とその特徴	講義内容の復習と整理
	11	中国近現代の男女関係	中国の男女関係とその近現代における変容	講義内容の復習と整理
	12	中国近現代の親子関係	中国の親子関係とその近現代における変容	講義内容の復習と整理
	13	中国近現代の身体をめぐる議論(1)	纏足を取り巻く問題	講義内容の復習と整理
	14	中国近現代の身体をめぐる議論(2)	辮髪・断髪を取り巻く問題	講義内容の復習と整理
	15	講義のまとめと確認テスト	講義内容の総括・確認テスト	講義から学んだことを整理する

関連科目: そのほかの中国関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準): 講義への参加を前提に、レスポンスペーパー・小テスト(40%)、確認テスト(60%)により評価する。

学生へのメッセージ: 今日の日本や中国と比較しながら講義を進める。教科書は使用しないが、参考となる書籍を適宜紹介するので、実際に手に取ってみることを強く勧める。

担当者の研究室等: 7号館2階(非常勤講師室)

備考:

科目名	中国地誌学	科目名(英文)	Chinese Geography
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 中国における自然環境と人文的・社会的環境を中心に、中国の文化・風土にも着目しながら、その特色をまとめる。 中国の農業をはじめ、交通や工業、観光にいたるまで、中国と日本を比較しつつ、その文化的特殊性を把握する。 中国の世界遺産と観光についても解説する。 ビデオ教材を多用し、さまざまな角度から現代中国の実情を明らかにする。
到達目標	現代中国における自然・人文地理的現況を把握し、中国の現状を理解する。 中国における観光資源を明らかにし、中国観光の魅力について把握する。
授業方法と留意点	配布プリントを中心として、各項目ごとに解説していく。さらに、スライドやビデオを毎回使用し、具体的な中国像を把握できるよう努めたい。
科目学習の効果(資格)	旅行業界に就職を希望する学生諸君にとっては、中国の文化・地理的知識の修得につながる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	歴史的環境	中国の歴史と現況、日本との外交関係	中国の現況と歴史を整理する
2	中国の地形環境	中国における地形、地質環境の特色	中国の地形環境をまとめる
3	中国の気候環境	中国における気候の特色	中国の気候環境をまとめる
4	中国の植生環境	中国における植生の特色	中国の植生をまとめる
5	中国の農業Ⅰ	食糧作物と生産、生産地域の分布	農業生産地域をまとめる
6	中国の農業Ⅱ	経済作物と生産、生産地域の分布	経済作物を整理する
7	第1回から第6回までのまとめと理解度確認テスト	第1回から第6回までのまとめを行った後、理解度を確認するためのテストを実施する。	解答できなかった内容を復習する
8	中国の鉱業	鉱産資源とその分布、中国の石油問題	鉱業地域を整理する
9	中国の工業Ⅰ	郷鎮企業と中国工業、国有企業の解体と合併企業	郷鎮企業をまとめる
10	中国の工業Ⅱ	日本との貿易、工業都市の発展	工業都市を整理する
11	中国の交通	中国の交通網とその問題点、京九鉄道の開通と工業の発展、大運河と水運、長江と三峡ダム	中国大運河をまとめる
12	中国の観光Ⅰ	中国における観光地の分布と観光客	観光地域を整理する
13	中国の観光Ⅱ	中国の都市観光地と世界遺産	世界遺産をまとめる
14	第8回から第13回までのまとめと理解度確認テスト	第8回から第13回までのまとめを行った後、理解度を確認するためのテストを実施する。	解答できなかった内容を復習する
15	理解度確認テストの結果を踏まえ、全体を総括する。	中国における地域性のまとめ	中国の地域性をまとめる

関連科目	旅と観光の地理学、東南アジア地誌学、環境学
------	-----------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	2015・データブック・オブ・ザ・ワールド	二宮健二	二宮書店
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	中国情報源・2014-2015年版	21世紀中国総研	蒼蒼社
2	現代中国地誌	河野通博・青木千枝子	古今書院
3			

評価方法(基準)	2回の理解度確認テストの成績を中心に、授業参加、講義態度も加味して、総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	板書した内容だけでなく、口頭で説明した内容やビデオの内容も要約して、しっかりメモする習慣を付けて下さい。
-----------	--

担当者の研究室等備考	7号館5階(原研究室)
------------	-------------

科目名	中国文学	科目名(英文)	Chinese Literature
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】中国文学
		取得のための履修区分	選択

授業概要・目的	中国文学の中で、中国現代文学・演劇・映画を中心とする中国現代文化を中心に講義する。清末から現在までの代表的な作家・作品や特徴的な文化事象をとりあげその背後にあるものを探る。
到達目標	中国現代文学・演劇の流れと主要作品の概要が理解できる。また、作品の背景にある現代中国の人々の思想・感情も理解できる。
授業方法と留意点	教室での講義を中心とするが、ビデオなど映像資料も随時使用する。
科目学習の効果(資格)	中国の現代文化の概況や現代中国の生きた姿が文学作品やビデオなどを通して楽しく理解できる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	導入	中国現代文化の内容およびそれ以前の中国伝統文化の特徴について概説する。	中国現代文学の流れをまとめる。
	2	清末・民初の文学・演劇運動	五四新文学に先立つ清末・民初の文学・演劇について考える。	辛亥革命前後の文学・演劇改良運動はな不徹底に終わったか考える。
	3	五四運動と魯迅	『呐喊』序を読みながら、魯迅の文学的生涯について考える。	魯迅はなぜ文学を志したか、考える。
	4	五四時期のその他の文学	五四時期のその他の作家について考える。	五四時期の特徴を考えてみる。
	5	曹禺 1	曹禺の生涯を概観した後、「雷雨」について映画を観ながらその内容について考える。	曹禺の生涯についてまとめてみる。
	6	曹禺 2	引き続き「雷雨」について考える。	「雷雨」の内容をまとめる。
	7	曹禺 3	「日の出」「原野」「北京人」など曹禺の主要作品について考える。	曹禺の戯曲を読んでみる。
	8	毛沢東と文芸講話	毛沢東『文芸講話』がその後の中国文学に与えた影響について考える。	「文芸講話」の内容をまとめてみる。
	9	老舎 1	「茶館」について上演ビデオを鑑賞しながらその内容とその作品が書かれた時代背景について考えていく。	「茶館」を読んでみる。
	10	老舎 2	引き続き「茶館」を鑑賞しながら、その意味について考えていく。	「茶館」の内容を読んでみる。
	11	文化大革命期の文学・演劇	革命模範劇など文革期の作品を鑑賞し、その特質を探る	文化大革命について調べてみる
	12	高行健	中国語で創作する作家として最初にノーベル文学賞を受賞した高行健の作品について考える。	高行健の戯曲「バス停」の内容をまとめてみる。
	13	改革開放後の文学(1)	文化大革命終結後 1989年までの中国文学の流れをふりかえる。	天安門事件について調べてみる。
	14	改革開放後の文学(2)	六四天安門事件以後の中国文学の流れを振り返る	北京オリンピック、上海万博の文化的意義について考えてみる。
	15	まとめ	中国現代文学の流れをもう一度振り返る	中国現代文学の流れをもう一度まとめてみる。

関連科目	特になし。
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点および定期試験
----------	------------

学生へのメッセージ	激動する現代中国の背景にある中国現代文化の状況を知りたい学生の参加を歓迎します。中国語を受講していない学生の受講も歓迎します。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館3階(袴戸研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	通訳・翻訳インドネシア・マレー語	科目名(英文)	Indonesian-Malayan Language Interpretation and Translation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシア語における専門的知識と能力を持った人材になるための授業を行う。需要が多いが、使える人が少ないインドネシア語の専門的人材になるための通訳、翻訳の技術を養う。この授業を通してインドネシア語能力の充実を目指す。
到達目標	インドネシア語の通訳、翻訳を専門的に行うことができる能力の習得。
授業方法と留意点	すでに3年間インドネシア語を学んできた上で、さらなる能力の向上を目指すのであれば、各受講生は自分で十分準備をしてから授業に望んでほしい。
科目学習の効果(資格)	インドネシア語検定。 実践的なインドネシア語能力の習得。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	通訳1	通訳に関する基本的な知識の説明。	通訳に必要なものは何か、考えておくこと。
3	通訳2	通訳の練習1 インドネシア語から日本語への通訳練習1。	内容の復習。
4	通訳3	通訳の練習2 インドネシア語から日本語への通訳練習2。	通訳内容の予習をしておくこと。
5	通訳4	通訳の練習3 日本語からインドネシア語への通訳練習1。	内容の復習。
6	通訳5	通訳の練習4 日本語からインドネシア語への通訳練習2。	通訳内容の予習をしておくこと。
7	通訳能力の試験	通訳能力についての試験。	第2回から第6回の復習をしておくこと。
8	翻訳1	翻訳の練習1 インドネシア語から日本語への翻訳練習1	内容の復習。
9	翻訳2	翻訳の練習2 インドネシア語から日本語への翻訳練習2	内容の復習。
10	翻訳3	翻訳の練習3 インドネシア語から日本語への翻訳練習3	内容の復習。
11	翻訳4	翻訳の練習4 日本語からインドネシア語への翻訳練習1	内容の復習。
12	翻訳5	翻訳の練習5 日本語からインドネシア語への翻訳練習2	内容の復習。
13	翻訳6	翻訳の練習6 日本語からインドネシア語への翻訳練習3	内容の復習。
14	翻訳能力の試験	翻訳能力についての試験を行う。	第8回から第13回の復習をしておくこと。
15	まとめ	授業のまとめ	この授業に関する質問を用意しておくこと。

関連科目	主言語インドネシア語の科目すべて
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業期間中に行う2回行われる試験および平常点と積極的な授業参加度の度合いなどを総合的に判断する。
----------	--

学生へのメッセージ	4年間のインドネシア語学習の完成を目指して、努力をしてほしい。
-----------	---------------------------------

担当者の研究室等	7号館 5階 (山口研究室)
----------	----------------

備考	指示された予習・復習には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。
----	--------------------------------------

科目名	ツーリズム論 I	科目名 (英文)	Tourism I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	坂下 正憲
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	観光産業に関心を持つ受講生に、入門編として基本的な事業知識やその実態について分りやすく説明する。また、観光資源としての世界遺産についても触れる。
到達目標	観光産業を理解することにより、観光関連業界に働くにはどうしたら良いのか、どういう意識を持てば良いのか等就業意識や社会で働く力を高める事を目標とする。
授業方法と留意点	主にパワーポイントを使用しての授業となる。教科書は特に指定しないが、よく授業が理解できるように、適宜関連プリントを配布する。受講に当っては、日ごろから観光に関する報道（新聞、TVニュース等）に関心を払う事。
科目学習の効果（資格）	観光産業を学習、理解する事により、将来の進路決定をするにあたりひとつの判断材料として役立てることが出来る。（旅行業務取扱管理者）

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	観光の意味と仕組み	旅行観光業を学ぶにあたり観光の概念（意味と仕組み）について説明する。 観光の概念 語源と関連用語 定義、構造など	特になし。
3	観光の意義と効果	前回到続き、ツーリズムの基礎となる観光の意義とその効果について説明する。 観光の意義 観光立国 観光の効果など	特になし。
4	世界の観光の歴史	世界の観光の歴史について、欧州を中心に現代観光までの遷り変わりを説明する。 ヨーロッパの旅の歴史 トーマス・クック マス・ツーリズムなど	特になし。
5	日本の観光の歴史	我が国の観光について旅の始まりから、現代までの遷り変わりを解説する。 観光と旅の歴史 近代の観光 現代の観光など	特になし。
6	国内観光の現状	我が国の国内旅行の市場規模、その推移と現状について解説する。	特になし。
7	日本の海外観光旅行の歴史と現状	我が国の海外観光旅行の市場規模、その推移と現状について解説する。	特になし。
8	訪日外国人旅行	我が国を訪れる外国人旅行者の推移、実態と課題について講義する。	特になし。
9	ツーリズムの広がり	観光事情の実態を踏まえ、新しいコンセプトの観光とは何か、どのような観光が期待され実現されようとしているのかを論じる。	特になし。
10	観光対象と観光資源・観光施設	どのようなものが観光対象となりうるのか、自然観光資源と人文観光資源に分類して解かり易く解説する。また、それらを補足する観光施設についても触れる。	特になし。
11	観光地の形態	観光地とは観光資源と観光施設のある地域を言う。わが国でもっともポピュラーな観光地である温泉観光地を始めとして社寺観光地、都市観光地、自然観光地からリゾートまで様々な観光地の類型化を試みるとともに、それぞれの特性について考察する。	特になし。
12	観光産業（定義と構成、JR、クルーズ）	観光産業の定義やそれらを構成する要因を解説したのち、具体的な産業について説明する。	特になし。
13	観光産業（航空と宿泊産業）	前回の続きで観光産業の重要な構成要因である航空と宿泊産業について解説する。	特になし。
14	観光産業（旅行業）	観光産業の中心と言える旅行業を取り上げ、その歴史や現状について説明。また、具体的に旅行業にはどのような職種があって、どのように事業を展開しているかも説明する。	特になし。
15	観光資源の保護と観光産業の将来	いままでの講義のまとめとして観光資源の保護と観光産業の将来について議論する。	特になし。

関連科目 エアラインビジネス論1、2
ホテルビジネス論1、2

教科書

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	観光学入門	岡本伸之	有斐閣
	2	観光読本	財団法人日本交通公社編	東洋経済社
	3	観光概論	今井成男他	ジェイティービー能力開発
評価方法 (基準)	最低10回以上の出席を成績評価の条件とする。定期試験、ミニテストの成績、小レポート評価を基本に、講義参加姿勢等も考慮して総合的に評価する。			
学生への メッセージ	裾野の広い観光産業。ホテルも航空もその一部分にしか過ぎません。観光産業全体を研究することは宿泊産業も航空産業も一緒に研究する事を意味します。将来の進路として考えている学生諸君にも参考になる内容です。一緒に研究しましょう。旅に行きたくなる授業です。			
担当者の 研究室等	7号館4階 (エアライン・ホスピタルプログラムルーム)			
備考				

科目名	ツーリズム論Ⅱ	科目名(英文)	Tourism II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	坂下 正憲
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ツーリズム論Ⅰで学んだ観光産業に関する基本的な事業知識やその実態について更に深く説明する。また、世界遺産についても危機遺産や無形文化遺産など更に広く、深く解説する。
到達目標	旅行業をはじめとする観光関連業界で働くにはどうしたら良いのか、どういう意識を持てば良いのか等、就業意識や社会で働く力を高める事を目標とする。
授業方法と留意点	主にパワーポイントを使用しての授業となる。教科書は特に指定しないが、よく授業が理解できるように、適宜関連プリントを配布する。受講に当たっては、日ごろから観光に関する報道(新聞、TVニュース等)に関心を払う事。
科目学習の効果(資格)	観光産業を学習、理解する事により、将来の進路決定をするにあたりひとつの判断材料として役立てることが出来る。(旅行業務取扱管理者)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	講師紹介。授業方法の説明。授業概要、到達点の説明。成績評価、履修上の注意点などの説明。	特になし。
2	観光資源(世界遺産)	世界遺産をさらに深く理解していく。無形文化遺産、世界危機遺産や負の遺産と言われている世界遺産などについても詳しく解説する。	特になし。
3	観光資源の保護①	観光資源を如何にして保護していくのか。今までの経緯も含めて改めて学習していく。 また、資源を保護するために制定された法律も学ぶ。 1. 自然、観光資源の保護の歴史的背景 2. 「自然公園法」による保護	特になし。
4	観光資源の保護②	前回に続き、観光資源の保護するために制定された法律や民間の活動も学ぶ。 3. 「文化財保護法」による保護 4. 歴史的景観の保護(「古都保存法」) 5. 景観保全(「景観法」) 6. 民間の活動	特になし。
5	日本の観光政策(歴史と課題)	成長戦略として期待される観光業の果たすべき役割と観光立国として目指すべき道について説明する。	特になし。
6	日本の観光政策(外客誘致)	少子高齢化が進み国内消費が振るわない中、訪日外国人を増やす方策と工夫が外貨獲得の大きな鍵となる。2020年の東京オリンピックに向けて、外国人にとって魅力ある観光地づくりについて講義する。	特になし。
7	日本の様々な観光旅行	修学旅行や新婚旅行など我が国特有の観光旅行や将来の旅行の在り方まで学習する。	特になし。
8	旅行業(旅行代理店の実態)	観光産業の主役である旅行業の実務について更に深く学習する。旅行業の役割と機能について説明し、旅行代理店の実態をわかりやすく解説する。	特になし。
9	旅行業(課題と将来)	旅行代理店の事例を取り上げ、直面している課題やその対応策を学習し、さらに旅行業の将来を展望する。	特になし。
10	リゾート法とテーマパーク	1987年に制定されたリゾート法が、観光産業にもたらした影響を学ぶ。また、東京ディズニーランドやユニバーサルスタジオジャパンなどテーマパークについても成功例、失敗例を解説する。	特になし。
11	観光関連産業(航空)	格安航空の就航が本格化してきた昨今の航空業界。最近の日本航空情勢から将来のあり方までを論じる。	特になし。
12	観光関連産業(鉄道)	観光と深い関わりを持つ鉄道について、JRや私鉄の生き残りにかけての工夫や努力について深く解説する。また、世界遺産に登録されている鉄道も紹介。	特になし。
13	観光関連産業(クルーズ)	クルーズ後進国と言われる我が国において、その現状と課題について学習し、将来何をなすべきかを解説する。	特になし。
14	観光関連産業(バス・その他)	観光産業を支えるバス事業について歴史と現状について学習する。また、観光施設、観光土産品と土産品業など観光に関連する様々な産業の実態と課題について学習する。	特になし。
15	観光マーケティング	それぞれの観光関連産業が厳しい生存競争に生き残るために何をなさなければならないか、それぞれの分野のマーケティングについて議論する。	特になし。

関連科目	ツーリズム論1、 エアラインビジネス論1、2 ホテルビジネス論1、2			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	観光読本	財団法人日本交通公社編	東洋経済社
	2	観光概論	今井成男他	ジェイティービー能力開発
	3	観光基礎学	羽田耕治監修	ジェイティービー能力開発
評価方法 (基準)	最低10回以上の出席を成績評価の条件とする。定期試験、ミニテストの成績、小レポート評価を基本に、講義参加姿勢等も考慮して総合的に評価する。			
学生への メッセージ	様々な業種が組み合わさり「複合産業」と呼ばれる観光産業。しかし、現状では環境問題や地域社会との融和もおおきなテーマとなっています。観光関連産業を将来の進路として考えている学生諸君はもちろん、そうでない学生諸君にも興味深いテーマで参考になる内容です。一緒に研究しましょう。旅行が好きになる講義です。			
担当者の 研究室等	7号館4階（エアライン・ホスピタルプログラムルーム）			
備考	ツーリズム論1を受講していることが望ましいですが、履修条件ではありません。			

科目名	ディスプレイ論	科目名(英文)	Concepts in Display
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	毛呂 祐子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業は、博物館における展示の歴史、展示メディア、展示関連の教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法を学びます。
到達目標	博物館の展示に関する基礎的な知識と技術を習得することを目標とします。
授業方法と留意点	博物館における展示の概要、歴史を学び、実際にどのような展示が行われているのか、各種博物館の展示例を紹介し、展示計画から完成、評価までの一連の流れで基本的に必要な要素を学び、最終的には各自で展示パネルを作り発表します。また、授業の中で現在行われている展覧会や、博物館施設などを紹介するようにします。日頃から博物館施設を訪れ、さまざまな展示を見るように努めてください。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格認定のため必修の科目となります。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	博物館における展示の役割	博物館における展示の役割について講義します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。
2	博物館における展示と展示論の歴史	博物館における展示と展示論の歴史について講義します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。
3	展示の諸形態－館種別の展示例の紹介－	写真などを交えながら、博物館施設の展示例を紹介し、	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。
4	展示の諸形態－企画展例の紹介、他館との協力、展示業者など－	写真などを交えながら、さまざまな企画展を紹介し、	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。
5	展示の諸形態－博物館施設の見学－	実際に博物館施設の見学を行います。日程は最初の授業で発表します。	博物館施設への見学を行います。
6	展示設備－展示ケース、照明、展示備品について－	展示設備について紹介します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。その際、ケースや照明なども見るようにしてください。
7	展示設備－展示解説パネル、視聴覚装置、展示解説書などについて－	展示設備について紹介します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。その際、展示解説がどのように工夫されているか、視覚装置や音声ガイドはあるか、図録などの解説書はあるか、などについても気をつけて見てみてください。
8	展示設備－参加体験装置、人による解説について－	ワークショップなどの事例、ボランティア活動などの事例を紹介します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。その際、ワークショップなど参加できる事業を行っているか、ボランティアや展示解説員などがいるかなどについて見てみるとともに、可能なら参加するようにしてください。
9	新しい時代の展示－近年の潮流－	近年の展示について紹介します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。
10	展示パネルの製作	テーマを設定しますので、それについて調べます。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。その際、特に展示解説について考えてみてください。
11	展示パネルの製作	展示パネルに必要な情報を集め、どのようなパネルにするのかを考えます。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。その際、特に展示解説について考えてみてください。
12	展示パネルの製作	前回、企画した展示パネルをパソコンを使い形にしていきます。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。
13	展示パネルの展示	展示パネルの展示を行います。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。
14	展示パネルの展示	展示パネルの展示を行います。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。
15	総括。意見交換。	企画した展示パネルについて、意見の交換を行います。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れ、展示を鑑賞するようにしてください。

関連科目	学芸員資格に必要な各科目。
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業への出席、授業態度、レポートによって評価します。
----------	----------------------------

学生へのメッセージ	博物館の展示の様子は写真で紹介するだけではすべてはわかりません。多くの展示を鑑賞し、その空間を体感することが大事です。積極的に博物館施設を訪れ、その展示について考えるようにしてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	博物館施設の見学を行います。担当者は公益財団法人日本伝染病振興会にて学芸員をしています。
----	--

科目名	ディベート	科目名(英文)	Debate
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	イロ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ブライアン スレーター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	ディベートは「データや文献を根拠として」議論をする。授業ではあらかじめ用意された論題に対し、肯定と否定の両者の立場に別れ、試合形式でディベートを行う。事前に十分な下調べをし、証拠資料を集め、それらをまとめて発表に備える。また、発表の後では、相手からの反論を受け、その後に最終的な判定を行う。授業では下調べ、証拠資料の収集、調査の構築のプロセスを、特に丁寧に学び、英語でどのように論理的に事実や意見を述べる方法を身につける。
到達目標	The aim of this course is for students to study a topic and be able develop an opinion and argue "for" or "against" this topic with another student or group of students.
授業方法と留意点	英字新聞の記事や海外のニュースなどに接して現代社会の諸問題を知り、批判的思考力を養う。 Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises	pair work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises	pair work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises	pair work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises	project	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises	group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises	group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises	group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises	project	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises	group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises	group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises	group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises	self/peer evaluation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises	self/peer evaluation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson

関連科目	英語科目全般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Quizzes, tests, assignments
----------	-----------------------------

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	非常勤講師室(7号館2階)
----------	---------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	ディベート	科目名 (英文)	Debate
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	ハニ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This is a topic-based debating course. Through problem-solving activities, students will be encouraged to form and exchange their own opinions.
到達目標	Participation in this course will lead to an improvement in analytical and debating skills.
授業方法と留意点	Students will debate a wide range of important current issues, selected from the areas of technology, science, culture, language, mobile communications and social issues.
科目学習の効果 (資格)	An improvement in analytical and debating skills.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should read up on the unit for the next class.
	2	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	3	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	4	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	5	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	6	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	7	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	8	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	9	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	10	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	11	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should read up on the unit for the next class.
	12	Unit exercises.	Individual, pair and group work exercises.	Students should rehearse their presentations and prepare for the follow up debate.
	13	Presentations and follow up debates.	self/peer/teacher evaluation	Students should rehearse their presentations and prepare for the follow up debate.
	14	Presentations and follow up debates.	self/peer/teacher evaluation	Students should reflect on the course for the course review and feedback session.
15	Course review.	Feedback session	N/A	

関連科目	N/A
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Solutions: A Topic-based Communication and Discussion Text	Shawn Clankie, Yuki Maekawa, Masanobu Nakatsugawa, Tomohiro Endo	CENGAGE Learning
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Evaluation will be based on homework assignments, class participation and an end-of-semester presentation and debate.
-----------	---

学生へのメッセージ	Students who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework will achieve most from this course.
-----------	--

担当者の研究室等	非常勤講師室(7号館2階)
----------	---------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	ディベート	科目名(英文)	Debate
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	ホへ
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course introduces a variety of topics for students to learn about, to discuss and debate. Students will think about and give their opinion on and debate things like: families, jobs, friendship, dating, technology, environment, etc.
到達目標	The purpose of the course is to promote English fluency by having students think about and give their opinions in English.
授業方法と留意点	Students will do pair work, small group work, practice conversations, as well as listening exercises.
科目学習の効果(資格)	The objective of the course is for students improve their fluency by considering topics and discussing their opinions about them with others in class.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unit 3. I'm Not Addicted	Internet addiction.	Pages 18-21.
3	Unit 5. Who Pays?	Who should pay on a date?	Pages 26-29.
4	Unit 6. Saying "I Love You".	Expressing feelings openly and directly.	Pages 30-33.
5	Unit 9. A Letter from Grandma.	Communicating with friends and family	Pages 42-45.
6	Unit 10. Fan Worship.	Is there a limit to being a fan?	Pages 46-49.
7	Unit 11. Pet Peeve.	Dealing with rude behavior.	Pages 50-53.
8	Unit 13. Will Children Save the Earth?	Should children be concerned about the environment?	Pages 58-61.
9	Unit 14. Get a Job!	Young people starting a career.	Pages 62-65.
10	Unit 17. To Have or Have Not.	Should all couples have children?	Pages 74-77.
11	Unit 18. Are Humans Smart?	Are we smart enough to save ourselves?	Pages 78-81.
12	Unit 19. Cloning Cyndi.	Should animal cloning be allowed?	Pages 82-85.
13	Unit 20. Why Learn English?	Is learning English important?	Pages 86-89.
14	Unit 8. Cyber Love.	Meeting people on the Internet.	Pages 38-41.
15	Final Test.	Final Test.	Study for test.

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Impact Issues 1	Richard R. Day	Pearson Longman ISBN: 9789620199301
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書 Dictionary		
2				
3				

評価方法(基準)	出席授業参加態度 50% テスト 50%
----------	-------------------------

学生へのメッセージ	To get a good grade active participation, a positive attitude towards learning and regular attendance is important..
-----------	--

担当者の研究室等	非常勤講師室 7号館2階
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	東南アジア史学	科目名(英文)	History of Southeast Asia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	森田 良成
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目(中学校 社会) 【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史 【教員免許状取得のための履修区分】必修 【科目】教科に関する科目(高等学校 地理歴史) 【施行規則に定める科目区分】外国史 【教員免許状取得のための履修区分】必修		

授業概要・目的	本講義では、タイやベトナムなど大陸部からインドネシアやマレーシアなど島嶼部に及ぶ広大な東南アジア地域の歴史を、先史時代から現代に至るまで通時的に概観する。
到達目標	複雑に展開してきた東南アジアの歴史を知ること、現代世界における東南アジア社会を理解するための基本的な視座を獲得する。
授業方法と留意点	プリントを配布する。映像資料を適宜用いる。
科目学習の効果(資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	東南アジアの基礎知識	東南アジアの地理的特徴、東南アジア諸国の政治・経済・文化的特徴	関連する文献を紹介するので読むこと。
3	先史時代と初期の国家形成	交易国家の形成	関連する文献を紹介するので読むこと。
4	諸王朝の盛衰 1	大陸部における諸王朝の盛衰	関連する文献を紹介するので読むこと。
5	諸王朝の盛衰 2	島嶼部における諸王朝の盛衰	関連する文献を紹介するので読むこと。
6	ヨーロッパ勢力の到来 1	交易の時代、港市国家の変容	関連する文献を紹介するので読むこと。
7	ヨーロッパ勢力の到来 2	交易の時代、港市国家の変容	関連する文献を紹介するので読むこと。
8	植民地支配の進行 1	オランダによる東インド支配	関連する文献を紹介するので読むこと。
9	植民地支配の進行 2	イギリス植民地支配の拡大	関連する文献を紹介するので読むこと。
10	植民地支配の進行 3	反植民地主義運動の展開	関連する文献を紹介するので読むこと。
11	ナショナリズムの台頭と脱植民地化 1	独立と国家統合	関連する文献を紹介するので読むこと。
12	ナショナリズムの台頭と脱植民地化 2	国民国家の誕生	関連する文献を紹介するので読むこと。
13	東南アジアの現在 1	東南アジアの政治・経済・社会の現在と課題	関連する文献を紹介するので読むこと。
14	東南アジアの現在 2	東南アジアの政治・経済・社会の現在と課題	関連する文献を紹介するので読むこと。
15	まとめ	授業全体のまとめ	関連する文献を紹介するので読むこと。

関連科目 国際文化概論(アジア)、現代東南アジア論、アジア文化論など、東南アジアの社会・文化・歴史に関係するすべての科目。

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	『東南アジア史Ⅰ 大陸部』		山川出版社
2	『東南アジア史Ⅱ 島嶼部』		山川出版社
3			

評価方法(基準)	授業の最終回に実施するテストから主に評価する。そのほか、授業への積極的な参加・貢献などを総合的に評価し平常点として考慮する。
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	東南アジア人類学	科目名 (英文)	Southeast Asian Anthropology
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	東南アジアは外来の文化と土地に固有の文化との出会いから、多彩な文化を形成してきた地域として知られる。異なる文化を研究の対象としてきた文化人類学は、文化的に多様な東南アジアにおいてさまざまな民族誌(エスノグラフィ)を著してきた。本講義ではいわゆる古典と呼ばれるものから、現代的な関心に基づくものまで、民族誌の成果をトピックに分けて紹介する。これら諸事例の理解を通じて、いわゆる文化人類学的な考え方を学ぶことを目的とする。また、文化人類学によるこれらの民族誌的な成果から現代の私たちが学ぶべき点はどこにあるのかを考える。受講者は、本講義から文化人類学的なものを見方ができるようになることを目指す。
到達目標	*現代東南アジアにおける文化や社会の動態についての視角を得る。 *文化人類学が提示してきた見方を事例の中で理解することができる。
授業方法と留意点	*講義形式で行う。授業の理解を助けるために映像資料を使用する。 *受講者にはペーパー等で適宜コメントを求めることがあるので、ノートを写し、話を聞くだけでなく、自分の考えたことを表現するよう努めること。
科目学習の効果(資格)	*異文化に対する眼差しを育てる。 *東南アジア地域の文化的な多様性についての知識を得ることができる。

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	授業計画	1	イントロダクション	講義概要を説明する。
2		文化人類学とはどういう学問か---その1	文化人類学がどのような社会的背景から成立したかを概観する。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
3		文化人類学とはどういう学問か---その2	文化人類学の考え方を歴史的に通観する。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
4		民族---その1	東南アジア地域の諸民族集団の概観を得る。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
5		民族---その2	民族という概念を検討する。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
6		政治---その1	主にミャンマー(ビルマ)を事例として取り上げて、同国における政治の諸相を概観する。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
7		政治---その2	主にインドネシアを事例として取り上げて、同国における政治の諸相を概観する。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。試験準備に努めること。
8		復習---その1	第7講義までに取り上げた諸事例(民族&政治)と文化人類学的なものの方との関連を示すとともに、理解度を確かめる確認テストを実施する。	既習事項の確認
9		宗教---その1	主にタイを事例として取り上げて、同国における宗教文化の諸相を概観する。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
10		宗教---その2	主にフィリピンを事例として取り上げて、同国における宗教文化の諸相を概観する。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
11		経済---その1	主にインドネシアを事例として取り上げて、同国における伝統的な経済のあり方を学ぶ。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
12		経済---その2	主にマレーシアを事例として取り上げて、同国における経済のあり方を考える。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
13		伝統と近代---その1	東南アジア地域の人々の「いま」について、いくつかの民族誌的事例から考える。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。
14		復習2	第13講義までに取り上げた諸事例(宗教、経済、etc.)と文化人類学的なものの方との関連を示すとともに、理解度を確かめる確認テストを実施する。	授業で配付した資料をよく読んで理解に努めるとともに、参考資料の該当部分を読んでおくこと。試験準備に努めること。
15		伝統と近代---その2	確認テストについての講評を行いながら、東南アジア地域の人々の「いま」から、私たちがどのようなことを考え得るのかを示す。	既習事項の復習。

関連科目	「文化人類学」「地域研究論」など。
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業中に提出するペーパー(30%)と、二回行う到達度の確認テスト(70%)から総合的に判断する。詳細は初回の授業で指示する。
----------	--

学生への	東南アジアを舞台に書かれたさまざまな民族誌(エスノグラフィ)をトピックごとに紹介していきます。描かれた細部にこだわりながら、それら
------	---

メッセージ	の記述から私たちが学ぶことは何なのかを考えていきましょう。
担当者の 研究室等	7号館5階上田研究室
備考	

科目名	東南アジア地誌学	科目名(英文)	Southeast Asian Geography
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> それぞれの国について、歴史的背景、工業、農業、貿易、交通、人口、都市、村落、観光、宗教、民族等を解説する。 現在の観光問題や日系企業の海外進出、現地生産の状況、民族独立問題などについても言及していく。 特に、東南アジア各国の首都と世界遺産について詳細に解説する。 毎回ビデオ教材を多数使用し、具体的な各国紹介を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 東南アジア各国の現況を理解し、日本との関係を把握する。 東南アジアの世界遺産と観光について理解する。
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントを中心に教科書を併用して、各国別に解説する。 ビデオ教材を毎回使用し、具体的な東南アジア像を把握できるように努めたい。
科目学習の効果(資格)	東南アジア各国の現況を把握できる。旅行業界に就職を希望する学生諸君にとっては、地理的知識の修得につながる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	東南アジアの地域区分	自然・人文環境による地域区分、各国の分布	地域区分を整理する
2	メコンデルタの開発とベトナム	ベトナム戦争後の復興とドイモイ政策、エビ養殖の現状、世界遺産と観光	ベトナムの特色をまとめる
3	内陸国ラオス	ラオスの農業と開放政策、熱帯林の伐採問題、世界遺産と観光	ラオスの特色をまとめる
4	クメール文化とカンボジア	内戦の終結と地雷撤去問題、アンコールワットの観光問題、世界遺産と観光	カンボジアの特色をまとめる
5	小乗仏教の国タイ	タイの工業化とエイズ問題、リゾート開発とブーケット、世界遺産と観光	タイの特色をまとめる
6	ヒンズー文化とミャンマー	軍事政権とスーチーさん問題、首都移転と経済	ミャンマーの特色をまとめる
7	第1回から第6回までのまとめと理解度確認テスト	第1回から第6回までのまとめを行った後、理解度を確認するためのテストを実施する。	解答できなかった内容を復習する
8	半島国マレーシアとブランテーション	ルックイースト政策と工業化、ペナン島・ランカウイ島の観光開発、世界遺産と観光	マレーシアの特色をまとめる
9	ビジネスセンターとしてのシンガポール	工業化と観光、シンガポール開発とラッフルズホテル	シンガポールの特色をまとめる
10	集団島嶼群フィリピン	出稼ぎ問題と工業化、日比混血児問題、世界遺産と観光	フィリピンの特色をまとめる
11	石油国家ブルネイ	石油開発と市民生活、観光開発の現状	ブルネイの特色をまとめる
12	回教徒の国インドネシアⅠ	工業開発と東チモール問題、世界遺産と観光	インドネシアの特色をまとめる
13	回教徒の国インドネシアⅡ	バリ島の観光とテロ問題	バリ観光の特色をまとめる
14	第8回から第13回までのまとめと理解度確認テスト	第8回から第13回までのまとめを行った後、理解度を確認するためのテストを実施する。	解答できなかった内容を復習する
15	理解度確認テストの結果を踏まえ、全体を総括する。	東南アジア地域の特色と地域性	東南アジアの地域性を整理する

関連科目	中国地誌学、旅と観光の地理学、環境学
------	--------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	2015・データブック・オブ・ザ・ワールド	二宮健二	二宮書店
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	東南アジアの自然	高谷好一	弘文堂
2	東南アジアの自然と土地利用	岩田慶治・他	勁草書房
3			

評価方法(基準)	2回の理解度確認テストの成績を中心に、授業参加、講義態度も加味して、総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	板書した内容だけでなく、口頭で説明した内容やビデオの内容もしっかり要約して、メモする習慣をつけてください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館5階(原研究室)
備考	

科目名	東南アジア文化論	科目名(英文)	Studies on Culture of Southeast Asian
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	古来から現在に至るまで諸文化が交流するいっぽう、言語・音楽・舞踊・料理をはじめ、独自の文化と資源の豊かな地域が東南アジアである。そしてここ数十年は歴史学による研究の結果、東南アジアの重要性は以前よりも増し、世界史全体のとらえ方にも強い影響を及ぼすようになってきている。 本授業では身近なものから東南アジアの文化や文化交流の歴史を把握することを試みる。また随時、東南アジア各地の美術や映画、音楽、舞踊、文学なども紹介する。
到達目標	東南アジア世界の多様な文化を理解する。東南アジア世界と他地域間での文化交流も理解する。
授業方法と留意点	講義形式で進めるが、映像資料・音楽資料も随時使用する。 適宜、受講生にプレゼンテーションを課す。 積極的な参加態度を求める。
科目学習の効果(資格)	東南アジア文化の多様性を理解する。 異文化理解や多文化共生に必要な相対的視野を養う。 論理的思考力、情報リテラシー能力を養う。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	プロローグ	授業の進め方や成績評価法、プレゼンテーションなど、留意点の説明を行なう。東南アジア地域の地理などの基礎知識を学ぶ。	授業の進め方に対する質問や要望を事前に考えておくこと。
2	東南アジアの歴史の概観	東南アジア地域に到来した外来文化について通時的に概観する。東南アジア各地域の漢字表記名を学ぶ。	復習
3	東南アジアのことばと文字のかたち	東南アジア各地域で使われていることばと文字のかたちを知る。インドネシアのバリ島のバリ文字で自分の名前を書く。	復習として、紹介した関連文献を読んでおくこと
4	雅楽とガルーダ	1. ベトナムの雅楽を鑑賞しながら、その歴史を概観する。 2. 日本の林邑楽を鑑賞しながら、その歴史を概観する。 3. 東南アジア各地のガルーダ像(画像)と、日本の迦楼羅像(画像)を鑑賞し、各地への伝播について考察する。	東大寺の歴史について調べておくこと。
5	東南アジアの「ラーマーヤナ」と芸能①	インドで成立した叙事詩『ラーマーヤナ』がいかにして東南アジア各地に伝わり独自の展開を遂げたのか、演劇、影絵芝居、人形劇、寺院遺跡などを事例に考察する。	紹介した関連文献を読んでおくこと
6	東南アジアの「ラーマーヤナ」と芸能②	インドで成立した叙事詩『ラーマーヤナ』がいかにして東南アジア各地に伝わり独自の展開を遂げたのか、演劇、影絵芝居、人形劇、寺院遺跡などを事例に考察する。	復習
7	格子模様の布①	キンガム・チェックの源泉はマレー社会に遡るともいわれる。格子模様の布が、東南アジア世界で用いられている様子を概観し、宗教儀礼や日常生活との結びつきを考察する。	復習として、紹介した関連文献を読んでおくこと
8	格子模様の布②	マンチェスター・ユナイテッドを事例に、ギンガム・チェックの伝播と発展、もしくはギンガム・チェックがイギリスにもたらしたものを考察する。	紹介した関連文献を読んでおくこと
9	東南アジアの食べ物①	日本では比較的材料が入手しやすい食材を使用した、東南アジア各国の料理と料理法を学ぶ。	・紹介した関連文献を読んでおくこと
10	東南アジアの食べ物②	第9回の授業でとりあげた料理を作る際に、どこで材料を入手できるのか、また材料費がいくらかかるのか(高くなる原因)、イスラム教徒の人にもふるまえる調理法であるのか等を考察する。	紹介した関連文献を読んでおくこと
11	インスタント・ラーメン、インスタント・ヌードル	東南アジア世界の多様なインスタント・ヌードルを知る。またそれぞれの特徴を概観し、各地の生活の中での位置づけを考察してみる。	紹介した関連文献を読んでおくこと
12	ポピュラー音楽と社会	東南アジアにはロック、パンク、ヒップホップをはじめ、実験音楽系のグループやアイドル・グループがたくさんある。そのなかから、若干ではあるが音楽の傾向を問わず紹介する。また社会とのかかわりを考察する。	紹介した関連文献を読んでおくこと
13	近代絵画とアート	東南アジア各地で近代絵画が成立した時期と背景、代表的な近代絵画を画像で紹介する。またインスタレーション等の現代アート作品も画像で紹介する。絵画やアートが発するものを感じ、その要因	紹介した関連文献を読んでおくこと

			や創作者の考えも想像してみよう。	
	14	交通・交易	独自の文化が発展すると同時に、諸文化が交流した要因の1つとして、各地の交通手段や移動方法を考察する。	紹介した関連文献を読んでおくこと
	15	まとめと復習試験	授業内容の理解度を確認する。	全授業の復習
関連科目	東南アジア関連の科目、「地域研究論」「文化人類学」など社会学系の科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	積極的な授業態度および平常点、プレゼンテーション、第15回の復習試験の結果をあわせた総合評価。 詳細は、第1回目の授業で伝える。			
学生への メッセージ	積極的な態度で「東南アジア」に近づいてみてください。 受講者各自でも文献や書籍、情報を探し求め、知見を深めてください。			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	トピック スタディーズ I	科目名 (英文)	Topic Studies I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	イタリアという国をテーマに、地理、歴史、文化、芸術、生活、有名な都市について学びます。 英語で文献を読み、理解し、それについていろいろな視野から議論し、自分の意見をしっかり構築し、発表することを目的とします。
到達目標	本授業を受けることで、イタリアという国についての知識をある程度持つことができます。また、英文の読解力をつけ、得た知識を基に自分の意見をまとめて築き上げ、他の学生と意見を交換し、多様な意見をまとめて発表することができるようになります。
授業方法と留意点	配布するプリントの内容を、あらかじめ読み、理解して毎回の授業に臨んでください。 また、それに対する自分の意見をきちんと持つことが大切です。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC Test, TOEFL Test, 英検、英語リスニング、リーディング

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	授業のオリエンテーション	授業内容、評価方法、出欠の扱いなどについて説明。	予習
2	イタリアの地理	ヨーロッパにおけるイタリアの位置、独特の地形、地方、国旗、などについて学ぶ。	復習と予習。
3	イタリアの歴史	古代ローマ帝国から現代までの歴史を学ぶ。	復習と予習。
4	イタリアの食べ物	パスタ、ピザ、ワインに代表されるイタリアの食について学ぶ。	復習と予習。
5	イタリアの文化・芸術 (美術、文学、音楽、科学)	美術はレオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、文学のダンテ、音楽のヴェルディとプッチーニ、科学のガリレオを学ぶ。	復習と予習。
6	イタリア語	主に、英語とイタリア語の関係を中心に学ぶ。	復習と予習。
7	永遠の都 ローマ	2000年前の古代の遺跡が残る永遠の都ローマについて学ぶ。	復習と予習。
8	ファッションの街 ミラノ	中世と近代が混ざるミラノについて学ぶ。	復習と予習。
9	ルネッサンスの街 フィレンツェ	メディチ家が築いたルネッサンス発祥の地フィレンツェについて学ぶ。	復習と予習。
10	水の都 ヴェニス	1000年間続いた驚異のベネチア共和国や独特の街について学ぶ。	復習と予習。
11	ナポリを見て死ね ナポリ	イタリア最大の港ナポリ、ポンペイの遺跡などについて学ぶ。	復習と予習。
12	ローマ帝国とは	紀元前1世紀ごろから長期にわたって今のヨーロッパを統治したローマ帝国とはなんだったのかについて学ぶ。	復習と予習。
13	ルネッサンスとは	15世紀ごろを中心に始まったルネッサンスとはなんだったのかについて学ぶ。	復習と予習。
14	バチカン市国	キリスト教カソリックの総本山がある小さな国家バチカン市国について学ぶ。	復習と予習。
15	まとめ	まとめのレポートを仕上げる	復習と予習。

関連科目	他の英語科目
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	レポート、授業への参加態度、積極性など全体的な総合評価とする。
-----------	---------------------------------

学生へのメッセージ	イタリアという国について興味を持っている人は大歓迎です。 小さな国ですが、壮大な歴史を持つ大変魅力的な国です。 楽しく学びましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 西川研究室
----------	-------------

備考	プリント配布 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする
----	---

科目名	トピック スタディーズ I	科目名 (英文)	Topic Studies I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	村上 幸太郎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ヴィクトリア朝の代表的小説であるシャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』の簡約版を半期かけて精読する。長いテキストを読み通すことを通じて英文を読む「スタミナ」と読解力を養うと同時に、異なる地域・文化に対する理解を深めることを目的とする。
到達目標	精読は単にさらっと文章に目を通すこととは異なります。一文一文の因果関係を踏まえ、文の構造を完璧に理解し、ヴィクトリア朝の文化・慣習をしっかりと踏まえた上でテキストを読み込むことによって、これから多くの英文を読むことになるみなさんの基礎力を向上させることを目標としています。
授業方法と留意点	基本的にテキストを読んで訳すことを中心に進めていきますので、毎回しっかりと準備してきてください。明らかに予習をしていない場合は欠席と見なすこともあります。後半はグループワークなども取り入れ、作品について意見を発表してもらいたいと思っています。
科目学習の効果 (資格)	テキストの精読を通じて英語の読解力の向上が期待できます。また、19世紀イギリス文化への理解を深めることによって、『ハリー・ポッター』などの現代の作品を読む上での背景知識が身に付きます。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業内容の説明、ブロンテ姉妹についての解説	次回の予習 (6-7ページ)
	2	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	3	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	4	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	5	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	6	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	7	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	8	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	9	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	10	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	11	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	12	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	13	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	14	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	15	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	レポートの準備

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Jane Eyre (Oxford Bookworms Library, Stage 6) ISBN-13: 978-0194792622	Charlotte Bronte	Oxford University Press
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業中の貢献度・学期末のレポートなどを総合的に評価する。レポートではそれほど難しい課題は出さないので、毎回の予習を入念にやってくる。
-----------	--

学生へのメッセージ	ブロンテ姉妹の作品は翻訳も文庫で手に入りますし、映画やテレビドラマなどで何度も映像化されていますので、ぜひそれらも活用してください。この授業を通じて皆さんが19世紀イギリス文化に興味を持ち、簡約版でない原書に挑戦してくれたら幸いです。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする
----	---

科目名	トピック スタディーズ I	科目名 (英文)	Topic Studies I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	サトラー マイケル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	四技能（リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング）を総合的に伸ばすことで英語運用能力の基礎を身につけます。			
到達目標	日常、アカデミックなコミュニケーション活動に対応できる四技能の習得をめざします。			
授業方法と留意点	Each lesson students will read high-interest, authentic reading passages such as newspaper and magazine articles, personal essays, textbook chapters, book excerpts, and on-line discussions. Comprehension questions will help students see if they have understood the information in a reading and discussion questions ask students to think about the issues raised by the passage.			
科目学習の効果（資格）	To improve students English skills through readings on different topics			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Course orientation, textbook preview, quiz	Students should buy the textbook
	2	Chapter 1	Scanning, taking notes, synonyms	Preview vocabulary
	3	Chapter 2	Previewing, taking notes, suffixes (-ly)	Preview vocabulary
	4	Chapter 3	Scanning, taking notes, learning word forms	Preview vocabulary
	5	Chapter 4	Previewing, using adjectives and adverbs, using direct and indirect objects	Preview vocabulary
	6	Chapter 5	Predicting, identifying cause and effect, using prefixes (re-)	Preview vocabulary
	7	Chapter 6	Previewing, understanding the order of events, learn word forms, indefinite pronouns	Preview vocabulary
	8	Chapter 7	Predicting, using context clues, prefixes (un-), review for mid-term exam	Preview vocabulary, review for Mid-term exam
	9	Mid-semester exam		Preview vocabulary
	10	Chapter 8	Return and review exams, identifying main ideas and details, learn word forms and signal words	Preview vocabulary, review Mid-term exam answers
	11	Chapter 9	Previewing, understanding the order of events, learn word forms, time expressions	Preview vocabulary
	12	Chapter 10	Scanning, inferencing, using (ing) form of verbs, signal words	Preview vocabulary
	13	Chapter 11	Recognizing context clues, event order, signal words, inferencing	Preview vocabulary
	14	Chapter 12	Previewing, understanding event order, suffixes (-al, -ful, -ive), preview final exam	Review for Final exam
	15	Final exam	Final exam	
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Select Readings Elementary 2nd Edition ISBN 978-0-19-433223-1	Linda Lee	Oxford Uni Press
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	Attendance/attitude/effort (30%), Mid-semester test (20%), End of semester test (30%), Homework, small tests and quizzes (20%)			
学生へのメッセージ	To get a good grade for this class, students should keep in mind the following: try to use English as much as possible, be courteous to one another and to the teacher and demonstrate a co-operative attitude to learning. Habitual lateness, sleeping in class, forgetting to bring the textbook, using cell phones other than as a learning aid, are examples of unacceptable behaviour and repeat offenders will receive a lower grade or may find it difficult to pass this course. If a student forgets to bring his/her textbook to class, the student should make a copy from someone else`s textbook. Students are expected to do assigned homework at home, by themselves. Failure to submit homework when it is due will result in a lower grade. If a student is absent, it is their responsibility to find out whether there was any homework given that lesson, and to catch up what they missed. Before the lesson, students should prepare by previewing the textbook, using a dictionary to check unknown vocabulary. After each lesson, students are expected to review the material which they have studied, do any homework which they have been given, and use language learning strategies to improve their English language skills. This could include things such as watching English language movies, reading different kinds of English language reading materials, keeping a diary, speaking English with their friends..			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室			

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする
----	---

科目名	トピック スタディーズ I	科目名 (英文)	Topic Studies I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course introduces a variety of topics for students to learn about and discuss. Students will think about and give their opinion on things like: families, jobs, friendship, dating, technology, environment, etc.
到達目標	The purpose of the course is to promote English fluency by having students think about and give their opinions in English.
授業方法と留意点	Students will do pair work, small group work, practice conversations and do listening exercises.
科目学習の効果(資格)	The objective of the course is for students improve their fluency by considering topics and discussing their opinions about them with others in class.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unit 3. I'm Not Addicted	Internet addiction.	Pages 18-21.
3	Unit 5. Who Pays?	Who should pay on a date?	Pages 26-29.
4	Unit 6. Saying "I Love You".	Expressing feeling openly and directly.	Pages 30-33.
5	Unit 9. A Letter from Grandma.	Communicating with friends and family	Pages 42-45.
6	Unit 10. Fan Worship.	Is there a limit to being a fan?	Pages 46-49.
7	Unit 11. Pet Peeve.	Dealing with rude behavior.	Pages 50-53.
8	Unit 13. Will Children Save the Earth?	Should children be concerned about the environment?	Pages 58-61.
9	Unit 14. Get a Job!	Young people starting a career.	Pages 62-65.
10	Unit 17. To Have or Have Not.	Should all couples have children?	Pages 74-77.
11	Unit 18. Are Humans Smart?	Are we smart enough to save ourselves?	Pages 78-81.
12	Unit 19. Cloning Cyndi.	Should animal cloning be allowed?	Pages 82-85.
13	Unit 20. Why Learn English?	Is learning English important?	Pages 86-89.
14	Unit 8. Cyber Love.	Meeting people on the Internet.	Pages 38-41.
15	Final Test.	Final Test.	Study for test.

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Impact Issues 1</td> <td>Richard R. Day</td> <td>Pearson Longman ISBN: 9789620199301</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Impact Issues 1	Richard R. Day	Pearson Longman ISBN: 9789620199301	2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	Impact Issues 1	Richard R. Day	Pearson Longman ISBN: 9789620199301													
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>辞書 Dictionary</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	辞書 Dictionary			2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	辞書 Dictionary															
	2																
3																	

評価方法 (基準)	出席授業参加態度 50% テスト 50%
学生へのメッセージ	To get a good grade active participation, a positive attitude towards learning and regular attendance is important..
担当者の研究室等	非常勤講師室 7号館2階
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする

科目名	トピック スタディーズ I a	科目名 (英文)	Topic Studies Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ブライアン スレーター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	Teacher and students will select current news topics related to the USA and Japan. Students will have the choice in what find.			
到達目標	One goal of this class is to improve the way students work in a pair or a team to understand current news issues both in Japan and abroad.			
授業方法と留意点	Teacher will bring in one topic a week and students bring in another related topic the following week. Student teams will decided by themselves what role they have in presenting what their team found.			
科目学習の効果 (資格)	It is expected that students will be able to find, list and discuss topics that are meaningful to them.			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Student Bio Worksheet and Team Memory Game	Pair and Team work	Study next week's Teacher Topic Worksheet.
	2	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Student teams bring in current Japan topic.
	3	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Study next week's Teacher Topic Worksheet
	4	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Student teams bring in current Japan topic.
	5	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Study next week's Teacher Topic Worksheet
	6	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Student teams bring in current Japan topic.
	7	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Study next week's Teacher Topic Worksheet
	8	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Student teams bring in current Japan topic.
	9	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Study next week's Teacher Topic Worksheet
	10	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Student teams bring in current Japan topic.
	11	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Study next week's Teacher Topic Worksheet
	12	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Student teams bring in current Japan topic.
	13	Selecting and editing this week's topic reports	Pair and Team work	Study next week's Teacher Topic Worksheet
	14	Review student's clear files.	Pair and Team work	reivew
15	Review student's clear files.	Pair and Team work	no homework	
関連科目	...			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Grades are based on team work presentations and teacher worksheets.			
学生へのメッセージ	Student participation on their team are the keys to success in this class. You work individually or in a pair of on a team of three students. Who will have the job of finding the topic? Who will have the job of showing topic? Who will have the job of talking? You will have to decide what you do on your team.			
担当者の研究室等	Building 7, 2nd. floor teacher's room			
備考	配布資料の読み込みなど、事前・事後学習にかかる総時間はおおよそ 15 時間である。			

科目名	トピック スタディーズ I a	科目名 (英文)	Topic Studies Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ジェフリー ベル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course is designed to help students express their opinions individually and collectively in a group context. The focus will be on current topics and using critical thinking for self expression.
到達目標	The goal of this course is for students to improve their opinion forming and expressing abilities. This includes speaking English with more confidence and learning how to back-up opinions and beliefs with more passion.
授業方法と留意点	The course will be divided into coverage of specific units as outlined in the textbook "Solutions". Since there are many topics to choose from, students and teacher will choose the topics as a group and decide the best ones for detailed coverage in class.
科目学習の効果 (資格)	Students will learn to learn to express their own opinions through critical thinking.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introductions about the class and course.	Student and teacher self and group introductions.	Students should preview vocabulary for the unit.
	2	Lesson 1 'Should the university academic year begin in September?'	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	3	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	4	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	5	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	6	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	7	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	8	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	9	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	10	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	11	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	12	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	13	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook parameters.	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.
	14	Further subjects of each class will be decided by teacher and students according to the textbook	Unit coverage including background reading of topic and discussion exercises.	Students should preview vocabulary for the unit.

	parameters.		
15	Final Test	Students will select several topics and write about the advantages or disadvantages of each while supporting their opinions.	
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	Solutions	Shawn Clankie, Yuki Maekawa, Masanobu Nakatsugawa, Tomohiro Endo
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	Grading will be based on regular attendance, class participation and a final test.		
学生への メッセージ	We will learn to express our ideas about interesting topics such as cyber money, drinking and driving, etc. and learn strategies in forming original opinions.		
担当者の 研究室等	非常勤講師室 7号館2階		
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。		

科目名	トピック スタディーズ I a	科目名 (英文)	Topic Studies Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course is an introduction to Film Studies. The class takes a genre-based approach. We will examine films from the documentary, melodrama, adventure and science fiction genres. Students will also make a short film on their smartphones.
到達目標	Students will learn how to analyze and appreciate English-language films. We will examine movies for their artistic, cultural and linguistic merits.
授業方法と留意点	Each class will feature short film clips supported by listening worksheets and readings. Students will view the clips, analyze and discuss the contents.
科目学習の効果 (資格)	Understanding spoken English. Watching movies without subtitles. Appreciating the technical aspects of movie making.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Elements of film analysis	Discussion and activities	Review class materials
2	Documentary Films: Nanook of the North	Discussion and activities	Review class materials
3	Documentary Films: Nanook of the North	Discussion and activities	Prepare for quiz
4	Documentary Films: Nanook of the North	Discussion and activities	Review class materials
5	Melodrama: The English Patient	Discussion and activities	Review class materials
6	Melodrama: The English Patient	Discussion and activities	Prepare for quiz
7	Melodrama: The English Patient	Discussion and activities	Review class materials
8	Midterm Test	Midterm Test	Review class materials
9	Adventure: Snow Walker	Discussion and activities	Review class materials
10	Adventure: Snow Walker	Discussion and activities	Review class materials
11	Adventure: Snow Walker	Discussion and activities	Review class materials
12	Science Fiction: 2001	Discussion and activities	Prepare for quiz
13	Science Fiction: 2001	Discussion and activities	Review class materials
14	Science Fiction: 2001	Discussion and activities	Review class materials
15	Final Exam	Final Exam	Review class materials

関連科目	Oral Communication, Speaking, Topic Studies. This course would be useful for students who are focussing on film or culture for a graduation thesis.
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Regular quizzes, midterm, final exam and student film project.
-----------	--

学生へのメッセージ	Movies are a wonderful way to improve English ability.
-----------	--

担当者の研究室等	Building 7, 3rd floor, Herke's office.
----------	--

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする
----	---

科目名	トピック スタディーズ I a	科目名 (英文)	Topic Studies Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大原 関 一浩
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	2020年の東京オリンピック開催が決定し、ますます多くの外国人が日本を訪れると予想されます。このような状況を背景に、自国の歴史や文化について正しく英語で伝えられることは、これからの時代を担う皆さんにとって大切なスキルとなります。この授業では、英語リーディング・スピーキングを通じて、日本の魅力を伝えるために役立つ知識や技術を学びます。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住む国の文化への理解を深め、それを英語で伝える意欲を高める。 日本の文化・社会に関する短い英文記事を読めるようになる。 興味のある文化事情/場所について調べ、その魅力を英語で説明できる。
授業方法と留意点	各回、日本の文化事情に関する英文記事を読み、単語学習、リーディング、リスニング問題に取り組みます。重要単語を覚えること、英文を正しく理解することが大切です。そのためには予習・復習が必要となります。
科目学習の効果 (資格)	外国に行くと、日本人であることを意識させられます。英語で自分の国の魅力を英語で説明できることは、社会人としてプラスになります。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	授業の内容・方法の説明	授業内容の復習
2	Doraemon, gadget cat from the future ready for U.S. debut!	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 1の予習
3	¥100 shops delight foreign tourists	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 2の予習
4	Tomika silk mill gets World Heritage nod	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 3の予習
5	Govt to OK use of anonymous personal data	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 4の予習
6	Create a work environment in which more women can become managers	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 5の予習
7	Hopes, fears of voting-age debate	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 6の予習
8	Automakers turn to carbon fiber to make major parts	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 7の予習
9	Teens step into role as next generation of app designers	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 8の予習
10	Govt to aid creation of robot surgery	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 9の予習
11	More University Cafeterias offer halal dishes, washoku	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 10の予習
12	More foreign nurses seek certification in Japan	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 11の予習
13	American shares charms of kanji	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 12の予習
14	Nishikori confident he is closer to date with destiny	リーディング、語彙、リスニング問題	Chapter 13の予習
15	Student Presentation	各グループで選んだテーマについての発表	Prepare for your presentation

関連科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	英字紙で読む日本と世界 (Cool Japan and the World)	浦部尚志他	鶴見書店
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	平常点 (30%) : 授業中のコメント、質問、議論への貢献度、小テストなど 課題 (30%) : 課題や宿題の提出状況 グループ発表 (40%) : 各グループでトピックを選び、調べ、発表します。
-----------	---

学生へのメッセージ

担当者の研究室等
7号館5階 大原関研究室

備考
授業内容に多少の変更の可能性があるため初回の授業に必ず出席すること
毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする

科目名	トピック スタディーズ I b	科目名 (英文)	Topic Studies Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	西川 真由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	イタリアという国をテーマに、地理、歴史、文化、芸術、生活、有名な都市について学びます。 英語で文献を読み、理解し、それについていろいろな視野から議論し、自分の意見をしっかり構築し、発表することを目的とします。
到達目標	本授業を受けることで、イタリアという国についての知識をある程度持つことができます。また、英文の読解力をつけ、得た知識を基に自分の意見をまとめて築き上げ、他の学生と意見を交換し、多様な意見をまとめて発表することができるようになります。
授業方法と留意点	配布するプリントの内容を、あらかじめ読み、理解して毎回の授業に臨んでください。 また、それに対する自分の意見をきちんと持つことが大切です。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC Test, TOEFL Test, 英検、英語リスニング、リーディング

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	イタリアの地理	ヨーロッパにおけるイタリアの位置、独特の地形、地方、国旗、などについて学ぶ。	復習と予習。
3	イタリアの歴史	古代ローマ帝国から現代までの歴史を学ぶ。	復習と予習。
4	イタリアの食べ物	パスタ、ピザ、ワインに代表されるイタリアの食について学ぶ。	復習と予習。
5	イタリアの文化・芸術 (美術、文学、音楽、科学)	美術はレオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、文学のダンテ、音楽のヴェルディとプッチーニ、科学のガリレオを学ぶ。	復習と予習。
6	イタリア語	主に、英語とイタリア語の関係を中心に学ぶ。	復習と予習。
7	永遠の都 ローマ	2000年前の古代の遺跡が残る永遠の都ローマについて学ぶ。	復習と予習。
8	ファッションの街 ミラノ	中世と近代が混ざるミラノについて学ぶ。	復習と予習。
9	ルネッサンスの街 フィレンツェ	メディチ家が築いたルネッサンス発祥の地フィレンツェについて学ぶ。	復習と予習。
10	水の都 ヴェニス	1000年間続いた驚異のベネチア共和国や独特の街について学ぶ。	復習と予習。
11	ナポリを見て死ね ナポリ	イタリア最大の港ナポリ、ポンペイの遺跡などについて学ぶ。	復習と予習。
12	ローマ帝国とは	紀元前1世紀ごろから長期にわたって今のヨーロッパを統治したローマ帝国とはなんだったのかについて学ぶ。	復習と予習。
13	ルネッサンスとは	15世紀ごろを中心に始まったルネッサンスとはなんだったのかについて学ぶ。	復習と予習。
14	バチカン市国	キリスト教カソリックの総本山がある小さな国家バチカン市国について学ぶ。	復習と予習。
15	まとめ	まとめのレポートを仕上げる	復習と予習。

関連科目	他の英語科目
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	レポート、授業への参加態度、積極性など全体的な総合評価とする。
-----------	---------------------------------

学生へのメッセージ	イタリアという国について興味を持っている人は大歓迎です。 小さな国ですが、壮大な歴史を持つ大変魅力的な国です。 楽しく学びましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 西川研究室
----------	-------------

備考	プリント配布 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする
----	---

科目名	トピック スタディーズ I b	科目名 (英文)	Topic Studies Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	村上 幸太郎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ヴィクトリア朝の代表的小説であるシャーロット・ブロンテの『ジェーン・エア』の簡約版を半期かけて精読する。長いテキストを読み通すことを通じて英文を読む「スタミナ」と読解力を養うと同時に、異なる地域・文化に対する理解を深めることを目的とする。
到達目標	精読は単にさらっと文章に目を通すこととは異なります。一文一文の因果関係を踏まえ、文の構造を完璧に理解し、ヴィクトリア朝の文化・慣習をしっかりと踏まえた上でテキストを読み込むことによって、これから多くの英文を読むことになるみなさんの基礎力を向上させることを目標としています。
授業方法と留意点	基本的にテキストを読んで訳すことを中心に進めていきますので、毎回しっかりと準備してきてください。明らかに予習をしていない場合は欠席と見なすこともあります。後半はグループワークなども取り入れ、作品について意見を発表してもらいたいと思っています。
科目学習の効果 (資格)	テキストの精読を通じて英語の読解力の向上が期待できます。また、19世紀イギリス文化への理解を深めることによって、『ハリー・ポッター』などの現代の作品を読む上での背景知識が身に付きます。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業内容の説明、ブロンテ姉妹についての解説	次回の予習 (6-7ページ)
	2	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	3	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	4	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	5	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	6	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	7	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	8	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	9	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	10	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	11	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	12	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	13	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	14	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	次回の予習 (6-7ページ)
	15	『ジェーン・エア』精読	テキストの訳読	レポートの準備

関連科目 . . .

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Jane Eyre (Oxford Bookworms Library, Stage 6) ISBN-13: 978-0194792622	Charlotte Bronte	Oxford University Press
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準) 授業中の貢献度・学期末のレポートなどを総合的に評価する。レポートではそれほど難しい課題は出さないので、毎回の予習を入念にやってくる。

学生へのメッセージ ブロンテ姉妹の作品は翻訳も文庫で手に入りますし、映画やテレビドラマなどで何度も映像化されていますので、ぜひそれらも活用してください。この授業を通じて皆さんが19世紀イギリス文化に興味を持ち、簡約版でない原書に挑戦してくれたら幸いです。

担当者の研究室等 7号館2階非常勤講師室

備考 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み。各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする

科目名	トピック スタディーズ I b	科目名 (英文)	Topic Studies Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	サトラー マイケル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	四技能（リーディング、リスニング、スピーキング、ライティング）を総合的に伸ばすことで英語運用能力の基礎を身につけます。			
到達目標	日常、アカデミックなコミュニケーション活動に対応できる四技能の習得をめざします。			
授業方法と留意点	Each lesson students will read high-interest, authentic reading passages such as newspaper and magazine articles, personal essays, textbook chapters, book excerpts, and on-line discussions. Comprehension questions will help students see if they have understood the information in a reading and discussion questions ask students to think about the issues raised by the passage.			
科目学習の効果（資格）	To improve students English skills through readings on different topics			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Course orientation, textbook preview, quiz	Students should buy the textbook
	2	Chapter 1	Scanning, taking notes, synonyms	Preview vocabulary
	3	Chapter 2	Previewing, taking notes, suffixes (-ly)	Preview vocabulary
	4	Chapter 3	Scanning, taking notes, learning word forms	Preview vocabulary
	5	Chapter 4	Previewing, using adjectives and adverbs, using direct and indirect objects	Preview vocabulary
	6	Chapter 5	Predicting, identifying cause and effect, using prefixes (re-)	Preview vocabulary
	7	Chapter 6	Previewing, understanding the order of events, learn word forms, indefinite pronouns	Preview vocabulary
	8	Chapter 7	Predicting, using context clues, prefixes (un-), review for mid-term exam	Preview vocabulary, review for Mid-term exam
	9	Mid-semester exam		Preview vocabulary
	10	Chapter 8	Return and review exams, identifying main ideas and details, learn word forms and signal words	Preview vocabulary, review Mid-term exam answers
	11	Chapter 9	Previewing, understanding the order of events, learn word forms, time expressions	Preview vocabulary
	12	Chapter 10	Scanning, inferencing, using (ing) form of verbs, signal words	Preview vocabulary
	13	Chapter 11	Recognizing context clues, event order, signal words, inferencing	Preview vocabulary
	14	Chapter 12	Previewing, understanding event order, suffixes (-al, -ful, -ive), preview final exam	Review for Final exam
	15	Final exam	Final exam	
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Select Readings Elementary 2nd Edition ISBN 978-0-19-433223-1	Linda Lee	Oxford Uni Press
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	Attendance/attitude/effort (30%), Mid-semester test (20%), End of semester test (30%), Homework, small tests and quizzes (20%)			
学生へのメッセージ	To get a good grade for this class, students should keep in mind the following: try to use English as much as possible, be courteous to one another and to the teacher and demonstrate a co-operative attitude to learning. Habitual lateness, sleeping in class, forgetting to bring the textbook, using cell phones other than as a learning aid, are examples of unacceptable behaviour and repeat offenders will receive a lower grade or may find it difficult to pass this course. If a student forgets to bring his/her textbook to class, the student should make a copy from someone else`s textbook. Students are expected to do assigned homework at home, by themselves. Failure to submit homework when it is due will result in a lower grade. If a student is absent, it is their responsibility to find out whether there was any homework given that lesson, and to catch up what they missed. Before the lesson, students should prepare by previewing the textbook, using a dictionary to check unknown vocabulary. After each lesson, students are expected to review the material which they have studied, do any homework which they have been given, and use language learning strategies to improve their English language skills. This could include things such as watching English language movies, reading different kinds of English language reading materials, keeping a diary, speaking English with their friends..			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室			

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする
----	---

科目名	トピック スタディーズ I b	科目名 (英文)	Topic Studies Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course introduces a variety of topics for students to learn about and discuss. Students will think about and give their opinion on things like: families, jobs, friendship, dating, technology, environment, etc.
到達目標	The purpose of the course is to promote English fluency by having students think about and give their opinions in English.
授業方法と留意点	Students will do pair work, small group work, practice conversations and do listening exercises.
科目学習の効果(資格)	The objective of the course is for students improve their fluency by considering topics and discussing their opinions about them with others in class.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction, class overview. Unit 1 The Guy with Green Hair.	Being an individual or looking like everyone else.	No preparation required.
	2	Unit 3. I'm Not Addicted	Internet addiction.	Pages 18-21.
	3	Unit 5. Who Pays?	Who should pay on a date?	Pages 26-29.
	4	Unit 6. Saying "I Love You".	Expressing feelings openly and directly.	Pages 30-33.
	5	Unit 9. A Letter from Grandma.	Communicating with friends and family	Pages 42-45.
	6	Unit 10. Fan Worship.	Is there a limit to being a fan?	Pages 46-49.
	7	Unit 11. Pet Peeve.	Dealing with rude behavior.	Pages 50-53.
	8	Unit 13. Will Children Save the Earth?	Should children be concerned about the environment?	Pages 58-61.
	9	Unit 14. Get a Job!	Young people starting a career.	Pages 62-65.
	10	Unit 17. To Have or Have Not.	Should all couples have children?	Pages 74-77.
	11	Unit 18. Are Humans Smart?	Are we smart enough to save ourselves?	Pages 78-81.
	12	Unit 19. Cloning Cyndi.	Should animal cloning be allowed?	Pages 82-85.
	13	Unit 20. Why Learn English?	Is learning English important?	Pages 86-89.
	14	Unit 8. Cyber Love.	Meeting people on the Internet.	Pages 38-41.
	15	Final Test.	Final Test.	Study for test.

関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Impact Issues 1	Richard R. Day	Pearson Longman ISBN: 9789620199301
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書 Dictionary		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	出席授業参加態度 50% テスト 50%
学生へのメッセージ	To get a good grade active participation, a positive attitude towards learning and regular attendance is important..
担当者の研究室等	非常勤講師室 7号館2階
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする

科目名	トピック スタディーズⅡ	科目名(英文)	Topic Studies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	アフラッドリー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course is an introduction to Film Studies. Students will learn vocabulary and cultural references of popular Western/ American movies for their colloquial vocabulary and cultural understanding.
到達目標	Understand spoken English. Watching movies without subtitles.
授業方法と留意点	We will examine films from the adventure, drama, documentary and comedy genres.
科目学習の効果(資格)	Each class will feature short films clips supported by comprehension and vocabulary readings. Students will view the clips, analyze and discuss the colloquial vocabulary within the accompanying films

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Adventure movie : Apollo 13	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	2	Adventure movie : Apollo 13	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	3	Adventure movie : Apollo 13	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	4	Drama movie : Forrest Gump	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	5	Drama movie : Forrest Gump	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	6	Drama movie : Forrest Gump	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	7	Mid-term test	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	8	Documentary movie : Bowling for Columbine	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	9	Documentary movie : Bowling for Columbine	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	10	Documentary movie : Bowling for Columbine	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	11	Comedy movie : Groundhog Day	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	12	Comedy movie : Groundhog Day	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	13	Comedy movie : Groundhog Day	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
	14	Comedy movie : Groundhog Day	Watching movie clips and reading corresponding dialog	colloquial vocabulary within the accompanying films
15	Final test	Test	None	

関連科目	No prerequisite.
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ハンドアウト配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	40% attendance. 30% mid-term. 30% final test.
----------	---

学生へのメッセージ	Students should study the relevant movie vocabulary synopsis before seeing the movie. Synopses are designed to assist students in improving their English skills
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	Students are expected to review movie language from the handouts. 学生は授業の予習や復習で約15時間の学習を確保する。
----	---

科目名	トピック スタディーズⅡ	科目名(英文)	Topic Studies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ショーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course is an introduction to Information Design. Information and communication involve more than just language alone. In this class we will investigate the many different forms of communication (color; sound; photos; spatial arrangement; and more) and how these work together in combination. Topics and activities will include analyzing magazine advertisements; consumer product packaging and signs and wayfinding. In part of each class the teacher will introduce new ideas on the course topics. In the class workshop part of the course, students will learn computer design skills for presenting their work and writing mini reports. Students will use these short report assignments to create a comprehensive notebook report.
到達目標	Students will learn computer skills for presenting their work. Students will also learn how principles of Information Design in Japan and English-speaking cultures differ.
授業方法と留意点	All the coursework will be done in English.
科目学習の効果(資格)	

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Introduction to the class and course overview.	Arrive to class on time. Be ready to take notes and to study and learn in English.
	2	Communication: more than words alone	Lecture and note-taking strategies	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	3	Color as a resource of meaning	The many ways that color is used for communication	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	4	Images as a resource of meaning	The many ways that images communicate	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	5	Images as a resource of meaning Part 2	Photos versus cartoons	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	6	Actions and gestures	The many ways that actions communicate	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	7	Review and reports	Comprehensive notebook workshop	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	8	Sounds and melody as resources of meaning	The many ways that sound is used for communication	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	9	Public spaces, signs and way finding	Maps and space	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	10	Public spaces and way finding Part 2	Directions and interaction	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	11	Review and reports	Comprehensive notebook workshop	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	12	Advertising	Images and advertising	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	13	Advertising Part 2	Language and advertising	Preparing mini reports. Collecting data and other information to write about in the next class.
	14	Report design	Proofreading, organization and design workshop	Organize and complete course report.
15	Coursework and report review	Reports, presentations and discussion	...	

関連科目 Speaking and/or Oral communication courses

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準) Dependable weekly class attendance, active participation and quizzes 50%; comprehensive report 50%

学生への The various topics in this course will be interesting. This class will really help you improve your English listening and writing ability

メッセージ	and also skills using the computer.?
担当者の 研究室等	7号館5階 McGovern 研究室
備考	Prints and teacher-prepared materialsを配布する。 学生は約15時間予習と復習に学習時間を確保する。

科目名	トピック スタディーズⅡ	科目名 (英文)	Topic Studies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This is a course in cross cultural studies and how our identity is expressed through different cultural behaviors. Students will learn about and discuss different behavior which form people's identity.
到達目標	Students will learn to express themselves in English concerning a variety of topics which make up people's identity.
授業方法と留意点	As this is a communication class, students are expected to actively participate in communication activities such as pair work, small group work, as well as to try to use English as much as possible.
科目学習の効果 (資格)	Students will learn to express themselves in English concerning a variety of topics which make up people's identity.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	Introduction, overview.	No preparation required. 準備は必要ありません。
	2	Unit 1 Identity.	How characteristics, feelings, or beliefs that distinguish you from others form your personal identity.	Preview vocabulary for pages 2-5.
	3	Unit 2 Values.	Values which help us decide right and wrong, and guide us through difficult choices.	Preview vocabulary for pages 6-9.
	4	Unit 3 Culture Shock.	The stress people experience when they move to another culture.	Preview vocabulary for pages 10-13.
	5	Unit 4 Culture in Language.	Language reflects the culture of the people who speak it.	Preview vocabulary for pages 14-17.
	6	Unit 5 Body Language and Customs.	Body language and non-verbal communication as a reflection of culture.	Preview vocabulary for pages 18-21.
	7	Unit 6 Individualism.	The value of individualism and why it's important for some people. Vocabulary quiz units 1-6.	Preview vocabulary for pages 22-25. Study for vocabulary quiz.
	8	Unit 7 Politeness.	The way people treat each other in order to show courtesy and respect.	Preview vocabulary for pages 26-29.
	9	Unit 8 Communication Styles.	The different ways in which people express themselves.	Preview vocabulary for pages 30-33.
	10	Unit 9 Gender and Culture.	Gender roles and communication styles for men and women in different cultures.	Preview vocabulary for pages 34-37.
	11	Unit 10 Diversity.	The different cultures that exist both within a country or region, and between cultures.	Preview vocabulary for pages 39-41.
	12	Unit 11 Social Change.	Change that makes society and the world a better place.	Preview vocabulary for pages 42-45.
	13	Unit 12 Global Community.	The relationships between people of different cultures and how these relationship form a global community.	Preview vocabulary for pages 46-49.
	14	Special Topic.	To be announced.	No preparation required.
15	Final test. Vocabulary quiz units 7-12	Term test. Vocabulary quiz units 7-12.	Study for final test and vocabulary quiz.	

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Identity	Joseph Shaules	Oxford 978-0-19-438574-9
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Active participation, attitude and attendance 40%. Vocabulary tests 25%. Final test 35%.
-----------	--

学生へのメッセージ	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、辞書です。出席率そして積極的な授業参加発言、態度等を重要視する。Attitude, participation and attendance are considered important in this class for getting a good grade. Please bring your textbook and a dictionary to each class. If you forget your text one day, please make a copy before the class.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室.
----------	---------------

備考	学生は予習・復習のために約15時間確保すること。
----	--------------------------

科目名	トピック スタディーズⅡ	科目名(英文)	Topic Studies II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリノズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	This course introduces a range of topics from around the world?including food, festivals, music and journeys?that provoke interest, inspire discussion, and ultimately broaden one's view of our diverse, global society. Knowledge and understanding of the world can not only inspire you to improve your home region, but they also make you more appreciative of it.
到達目標	Students will learn about topics from around the world, improving their English skills.
授業方法と留意点	This is a listening and speaking course with a little reading designed to create a richer speaking experience. A mixture of scripted and authentic audio provides opportunities for listening practice. Students' communicative competence is developed through guided pair and group discussion activities. Activity types include interviews, surveys, class presentations and projects, and encourage students to take their learning beyond the classroom. National Geographic video offers additional opportunities for developing listening comprehension and inspires discussion about the wondrous diversity of our planet.
科目学習の効果(資格)	To improve reading, writing and speaking skills in English. To gain a better understanding, appreciation and enjoyment of the world we live in.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Talking about festivals	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. Organise a festival!	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
3	Review 1 and presentations	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises.	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
4	Talking about your city	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. Finding city solutions.	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
5	Talking about jobs	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. Interview someone about their job.	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
6	Review 2 and presentations	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises.	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
7	Talking about music	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. Write a song!	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
8	Talking about travel	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. Plan an expedition!	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
9	Review 3 and presentations	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises.	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
10	Talking about famous families	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. Family debate!	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
11	Talking about adventure travel	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. Make a public Service Announcement.	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
12	Review 4 and presentations	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises.	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
13	Talking about happiness	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. How to be happy!	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
14	Talking about endangered species	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises. Give a persuasive presentation.	Textbook exercise completion and /or presentation preparation.
15	Review 5 and presentations	Textbook listening, reading and video clip discussion exercises.	None

関連科目 Completion of Topics Studies I is not a necessary requirement for this course.

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法 (基準) Class participation - 10%
3-5 Short presentations - 90%

学生へのメッセージ

担当者の 非常勤講師室

研究室等	
備考	学生は予習・復習で約 15 時間を確保すること。

科目名	トピック スタディーズⅢ	科目名(英文)	Topic Studies III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	村木 美紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本授業では、受講生が将来グローバルに活躍することを目指し、社会活動の中で運用する実践的な英語の修得を目的とする。予定する授業内容は授業計画の通りであるが、社会情勢を踏まえた旬な情報も積極的に取り入れていくため、内容等を調整することもある。
到達目標	ESP (English for Specific Purposes) 理論に基づき、様々な職業、場面で行われている英語コミュニケーションの種類(ジャンル)を理解し、その目的、情報の受け手、情報の内容、言語的特徴を分析・把握した上で、状況に応じた適切な英語コミュニケーションを行う能力を身に付ける。
授業方法と留意点	講義の他、グループワークを積極的に取り入れる。グループ単位での課題やレポートの作成にあたっては、授業外でも話し合いの機会を持ち、期日までにグループ毎にまとめること。
科目学習の効果(資格)	実社会で役立つ英語運用能力を、言語学的側面のみならず、社会的要素も考慮に入れて、社会人としての総合力を身に付けることができる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	授業の概要、到達目標、授業計画、演習方法等の説明、演習(自己紹介等)	予習、課題取組
2	ジャンル分析:航空会社で使用する英語①	緊急避難行動の説明アナウンスと平常時アナウンスを比べ、目的による英語表現の違いを分析する。	予習、課題取組
3	ジャンル分析:航空会社で使用する英語②	航空機内の英語表示(サイン)にはどのような言語学的特徴があるかを分析する。	予習、課題取組
4	ジャンル分析:ホテルで使用する英語①	丁寧な英語表現の運用を、文化・社会的背景を含めて理解する。	予習、課題取組
5	ジャンル分析:ホテルで使用する英語②	クレーム処理を例に、複雑な状況での対応について考察する。	予習、課題取組
6	情報分析方法	効率の良いウェブ検索方法を学ぶ。観光案内パンフレットを作成する。	予習、課題取組
7	グループプレゼンテーション①	指定課題について、グループ毎にプレゼンテーションを行う。	予習、課題取組
8	ビジネス英語①	英文履歴書とカバーレターを作成する。	予習、課題取組
9	ビジネス英語②	Eメールコミュニケーションについて考える。	予習、課題取組
10	ビジネス英語③	チームでの仕事の進め方、会議の運営、議事録の書き方について学ぶ。	予習、課題取組
11	ビジネス英語④	製造物責任について考察し、製品マニュアルを分析する。	予習、課題取組
12	ビジネス英語⑤	広報部の仕事を紹介し、プレスリリースを分析する。	予習、課題取組
13	ビジネス英語⑥	プレゼンテーション技術①:パワーポイントスライドの作り方を学ぶ。	予習、課題取組
14	ビジネス英語⑦	プレゼンテーション技術②:プレゼンテーションでの話し方を学ぶ。	予習、課題取組
15	グループプレゼンテーション②	指定課題について、グループ毎にプレゼンテーションを行う。	予習、課題取組

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	<p>クラスノート(1回3点X15回=45点)、グループプレゼンテーション(1回15点x2回=30点)、個別レポート(1回10点X2回=20%)、クラス貢献度5点</p> <p>クラスレポートは授業終了時に回収し、提出のない場合(欠席の場合)は0点とする。</p> <p>評価にあたっては、①遅滞ない提出、②スペルミスや文書形式等に不備がないこと、③授業内容を反映した記述であること、④独自の考察が加えられていることの4点について評価する。</p>
----------	--

学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	レポート作成やプレゼンテーション準備にかかる時間や毎回の授業の事前事後学習の時間を合わせて15時間程度とする。

科目名	トピック スタディーズⅢ	科目名(英文)	Topic Studies III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	松下 乃亜
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	主にアメリカ、ヨーロッパでヒットしたポップミュージックが教材です。様々な英語の音楽を聴くことで、英語特有の表現や発音を学び、リスニング力、コミュニケーション力の向上を目指します。歌に出てくる重要な文法ポイントも取り上げます。またそれぞれの曲が生まれた文化的、社会的背景について書かれた記事を読み、読解力を身に着けます。
到達目標	つながったり、消えたりする英語の音に慣れ、自然な英語の音声を理解できるリスニング力の獲得、ならびに、英文を読みながら、読解力の向上を目標とする。
授業方法と留意点	リスニング中心のクラスです。小テストとプレゼンテーションも行います。
科目学習の効果(資格)	聴解力とコミュニケーション能力の向上

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unit 1 Complicated 音の同化①、接続詞と前置詞	リスニング、語句学習、サマリー	フレーズの復習、暗記
3	Unit 2 S.O.S 音の連結、仮定法	リスニング、語句学習、サマリー	フレーズの復習、暗記
4	Unit 3 You Are Not Alone 音の脱落①、品詞	リスニング、語句学習、サマリー	フレーズの復習、暗記 発表のプリントの提出
5	Unit 4 Don't Wanna Lose You 音の同化②、不定詞	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記
6	Unit 5 How Crazy Are You? 音の脱落②、分詞	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記
7	Unit 6 Sunday Morning ingの発音、形容詞、副詞	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記
8	Review Test Unit 7 I Want It That Way アメリカ英語の特徴① 知覚、使役動詞	小テスト	フレーズの復習、暗記
9	Unit 8 Suddenly I See アメリカ英語の特徴② 動名詞	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記
10	Unit 9 How Am I Supposed To Live Without You? 音の脱落③ 受動態	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記
11	Unit 10 Save The Best For Last 助動詞の発音① 完了形	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記
12	Unit 11 Last Christmas 音の連結② 5文型	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記
13	Unit 12 Torn 助動詞の発音② 助動詞	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記
14	Unit 13 La La 音の弱化 関係代名詞	リスニング、語句学習、サマリー 発表	フレーズの復習、暗記 フィードバック
15	Unit 14 With you 助動詞の発音③ 否定	リスニング中心のクラス 発表	フレーズの復習、暗記 発表のフィードバックの提出

関連科目	英語科目全般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	English with Pop Hits	Teruhiko Kadoyama / Simon Capper	成美堂
2				
3				

参考書	
-----	--

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント		
	2	辞書		
	3			
評価方法 (基準)	授業への参加 (毎回の discussion)40% 小テスト20% 発表 (発表のプリント、Discussion のリード、他の発表の discussion への参加、フィードバックの提出) 40% 欠席は三回までを評価基準とします。遅刻は三回で欠席一回。居眠り、私語、携帯電話の使用などは教室に来ていても欠席扱いとします。			
学生への メッセージ	当然ですが、日常生活で英語に触れる機会が増えれば、リスニング力が向上します。興味のあるニュースや音楽を見たり、聴いたりする機会を増やして下さい。楽しみながら学習しましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	トピック スタディーズⅢ	科目名 (英文)	Topic Studies III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的

このクラスでは、2009年に出版されたアメリカのヤングアダルト小説 The Perks of Being a Wallflower (Stephen Chbosky 著、224 ページ) を読み、その本が基になった映画 (2012) を鑑賞します。主演男優をローガン・ラーマン、主演女優をエマ・ワトソンが演じています。

アメリカの高校で繰り広げられる若者の葛藤物語ですが、現代作品ということで、登場人物同士の会話にも参考になる (実際に使える) 言い回しが多く、非常に勉強になります。ただし、同時にスラングや薬物・性・死などの表現・内容も含むことをお断りしておきます。

【あらすじ】
主人公のチャーリーは幼少期のトラウマを抱えている 16 歳の男の子。中学の最後にもさらに追い討ちをかけるような出来事を経験します。それでも、新しく高校生活をスタートするにあたって、何とか友達を作りたいと思うのですが、なかなかうまくいきません。そこで、とにかく「普通に」していることに徹して、残りの 1,385 日を何とか目立たぬようにやり過ごすことにします。そんな折、ふとしたことをきっかけに上級生のグループと知り合い、様々な初体験をすることになります。

到達目標

このクラスでは、過度に辞書に頼ることなくある程度まとまった量が抵抗なく読めるようになること、聴き取りや音読なども取り入れて総合的な英語力を伸ばすこと、最終的には英語での読書が楽しめるようになることを目指します。また、現代のアメリカにおける若者文化への理解と関心を深めることも目的とします。

授業方法と留意点

毎週 15~20 ページを読み進めますので、予定表に沿って読み、ワークシートを完成させてきてください。授業では、ワークシートのチェック、内容確認、会話音読などを行い、該当箇所の映画鑑賞をした後、要約課題に取り組みます。

科目学習の効果 (資格)

読解速度と読解力の向上、アメリカ文化知識獲得

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	導入 ひとりぼっちの高校生	個人カード配布、 連絡事項、授業計画・内容説明	ワークシート
2	運命の出会い	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
3	新しい居場所	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
4	初恋	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
5	ファーストキス	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
6	過去のトラウマ	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
7	初めての彼女	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	前半復習 中間チェック準備
8	中間チェック 前半テスト	前半内容把握テスト	ワークシート
9	正直な気持ち	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
10	壊れかけた日常	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
11	それぞれの道	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
12	サムとの別れ	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
13	封印されていた"ある秘密"	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	ワークシート
14	"僕らは無限"	ワークシートチェック、内容確認、映画鑑賞、音読・要約課題	後半復習 まとめチェック準備
15	まとめチェック 後半テスト	後半内容把握テスト 総まとめ	

関連科目

アドバンストイングリッシュ

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	授業で指示します		
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)

授業参加 20%
小テスト・ワークシート・課題 40%
まとめテスト 40%

学生へのメッセージ

Up & Down を繰り返すチャーリーの青春と一緒に覗いてみませんか。

担当者の研究室等

7号館5階 松田研究室

備考

毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。

科目名	トピック スタディーズⅢ	科目名 (英文)	Topic Studies III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	本多 善
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	授業ではアメリカ社会の問題について描かれた比較的平易なアメリカ小説を丁寧に読みながら、英文を正確に理解し、文章の内容や自分の考えを伝えられるようになることを目標とします。国境を越えて生活する人々の考えや移住を取り巻くアメリカ社会の問題についていくつかのトピックスから考察します。 文章は毎回授業時に配布します。テキストとしてはアメリカで初等教育に利用されているものがほとんどです。アメリカに移住した人々の生涯について書かれた小説等を使用します。講義を通して、人々が国境を越える際に生じる複雑な心境やアイデンティティ、それらを取り巻く社会構造について鋭く分析します。
到達目標	ネイティブが使用する中等教育向けの小説等を読み込むことによって、海外で生活する上で必要不可欠な基礎的英語力が身につきます。また、英語文化の基礎的知識やアメリカの移民事情、移民を取り巻く社会構造を政治・経済・文化的側面から考察することで国際的な教養力が身に付きます。 いくつかの事例を通して深く考える力が養われ、海外の社会事象を多角的な視点から考察する力も養われます。
授業方法と留意点	この授業では毎回配布するプリントの指定範囲を読んできてもらいます。わからない語彙については事前に調べておいてください。毎回必ず辞書を持参してください。 授業ではプリントの内容確認や音読練習を行います。また、内容の把握とアメリカ社会の分析を行うので授業内では疑問点や問題点、自分の意見や考えを積極的に主張してください。

科目学習の効果 (資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を多角的な視点から考察する力を養う ・深く考える力を養う ・英語の読解力を向上させる ・論理的に自分の意見を伝える力を養う
--------------	---

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス	・授業の進め方、自己紹介、講義の目標と各学生の目標を設定	イントロダクション、メモを読む
	2	指定範囲の内容理解、音読、ディスカッション	内容の確認と音読練習、クラス内でのディスカッション	指定範囲を読み、語彙を調べる
	3	指定範囲の内容理解、音読、ディスカッション	内容の確認と音読練習、クラス内でのディスカッション	指定範囲を読み、語彙を調べる
	4	映像資料 (英語) の内容理解、ディスカッション	映像資料の内容確認、クラス内でのディスカッション	映像資料の感想を書いてくる
	5	映像資料 (英語) の内容理解、ディスカッション	映像資料の内容確認、クラス内でのディスカッション	映像資料の内容を復習する
	6	指定範囲の内容理解、音読、ディスカッション	1～6 までの復習と次週行う発表の内容確認。	前半の講義内容を復習し、発表の準備を行う
	7	前半の内容理解、発表	前半の内容確認と発表。	指定範囲を読み、語彙を調べる
	8	指定範囲の内容理解、音読、ディスカッション	内容の確認と音読練習、クラス内でのディスカッション	指定範囲を読み、語彙を調べる
	9	指定範囲の内容理解、音読、ディスカッション	内容の確認と音読練習、クラス内でのディスカッション	指定範囲を読み、語彙を調べる
	10	映像資料の内容確認、クラス内でのディスカッション	映像資料の内容確認、クラス内でのディスカッション	映像資料の感想を書いてくる
	11	映像資料の内容確認、クラス内でのディスカッション	映像資料の内容確認、クラス内でのディスカッション	映像資料の内容を復習する
	12	指定範囲の内容理解、音読、ディスカッション	内容の確認と音読練習、クラス内でのディスカッション	指定範囲を読み、語彙を調べる
	13	指定範囲の内容理解、音読、ディスカッション	内容の確認と音読練習、クラス内でのディスカッション	指定範囲を読み、語彙を調べる
	14	指定範囲の内容理解、音読、ディスカッション	8～14 までの復習と次週に行う発表の内容確認	各自発表の準備を行う
	15	後半の内容理解と発表	後半の授業内容を確認し、各自発表を行う	全範囲を理解できているかどうか確認

関連科目	スピーキング、オーラルコミュニケーション
------	----------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The No-No Boys	Funke, Teresa	Victory House Press
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業への参加度 (ディスカッション) と事前学習 50% 発表とレポート 50%
-----------	---

学生へのメッセージ	外国語について学ぶということは、海外で生活する人々について学ぶということです。海外に行けば今までの「常識」が常識ではなかったことに気付かされます。授業では英語の読解をとおして、人々が国境を越える際に何が生じるのかについて深く考えます。また、この授業ではディスカッションや発表を積極的に取り入れていきます。みなさんの意見や考え、疑問がこの授業のテーマになるはずですよ。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	ドラマ	科目名(英文)	Drama
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	イロ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する。			
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。			
科目学習の効果(資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation	No preparation required.
	2	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	3	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	4	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	5	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	6	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	7	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	8	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	9	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	10	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	11	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	12	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	13	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	14	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	15	Final performance.	Final performance.	Prepare for final performance.
関連科目	プレゼンテーション			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点(授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等)の成績を総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	Students will learn and perform plays in this class. Active participation is expected, as well as good attendance.			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			
	Handouts will be given.			

科目名	ドラマ	科目名(英文)	Drama
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ハニ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	アフラッド・リー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する。
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。
科目学習の効果(資格)	英検、TOEFL、TOEIC

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
			1
2	Exercises:Speech Recitation and Delivery (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises:Speech Recitation and Delivery (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises:Speech Recitation and Delivery (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises:Supportive Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises:Supportive Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises:Supportive Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises:Skits and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises:Skits and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises:Skits and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises:Plays and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises:Plays and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises:Plays and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises:Plays and Peer Evaluation (4)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	プレゼンテーション
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等)の成績を総合的に評価する。
----------	--------------------------------------

学生へのメッセージ	歌や台詞を通じて生きた英語を学びましょう。
-----------	-----------------------

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p> <p>発音に気を付け、大きな声で英語を話す訓練をします。 劇の練習には、全員参加が不可欠ですので出席が重視されます。 Material to be provided</p>
----	--

科目名	ドラマ	科目名(英文)	Drama
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ホへ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する。
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。
科目学習の効果(資格)	英検

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
			1
2	Exercises:Speech Recitation and Delivery (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises:Speech Recitation and Delivery (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises:Speech Recitation and Delivery (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises:Supportive Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises:Supportive Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises:Supportive Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises:Skits and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises:Skits and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises:Skits and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises:Plays and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises:Plays and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises:Plays and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises:Plays and Peer Evaluation (4)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	プレゼンテーション
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等)の成績を総合的に評価する。
----------	--------------------------------------

学生へのメッセージ	Please try to come to every class. Missing classes will result in a low grade for this class as well as both other students practicing for the final performance. If you need help with anything, come see me anytime.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	<p>Worksheets provided by teacher</p> <p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p>
----	---

科目名	ドラマ	科目名(英文)	Drama
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	トチ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マシュー クーパー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する。
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。
科目学習の効果(資格)	英検

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
			1
2	Exercises:Speech Recitation and Delivery (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises:Speech Recitation and Delivery (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises:Speech Recitation and Delivery (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises:Supportive Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises:Supportive Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises:Supportive Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises:Skits and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises:Skits and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises:Skits and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises:Plays and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises:Plays and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises:Plays and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises:Plays and Peer Evaluation (4)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	プレゼンテーション
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等)の成績を総合的に評価する。
----------	--------------------------------------

学生へのメッセージ	話し方、動き、表情などを動員して、メッセージを豊かに伝えられるようになりましょう。 Anything goes on stage. Let's have fun!
-----------	--

担当者の	7号館2階 非常勤講師室
------	--------------

研究室等	
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	ドラマ	科目名(英文)	Drama
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	リヌ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。
科目学習の効果(資格)	英検、TOEIC

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation	No preparation required.
2	Activity 1: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
3	Activity 1 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
4	Activity 2: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
5	Activity 2 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
6	Activity 3: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
7	Activity 3 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
8	Activity 4: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
9	Activity 4 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
10	Activity 5: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
11	Activity 5 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
12	Activity 6: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
13	Activity 6 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
14	Activity 7: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
15	Activity 7: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.

関連科目	プレゼンテーション
------	-----------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等)の成績を総合的に評価する。
----------	--------------------------------------

学生へのメッセージ	Students will study and perform various drama activities in this class. Active participation is expected, as well as good attendance.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	Handouts distributed in class. 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ドラマ I	科目名 (英文)	Drama I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	Sイあい
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する。			
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。			
科目学習の効果(資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation	No preparation required.
	2	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	3	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	4	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	5	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	6	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	7	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	8	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	9	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	10	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	11	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	12	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	13	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	14	Study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	15	Final performance.	Final performance.	Prepare for final performance.
関連科目	プレゼンテーション			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	辞書		
	2			
	3			
評価方法(基準)	平常点(授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等)の成績を総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	Students will learn and perform plays in this class. Active participation is expected, as well as good attendance.			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			
	Handouts will be given.			

科目名	ドラマ I	科目名 (英文)	Drama I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ろうえ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	アフラッド・リー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する。
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。
科目学習の効果 (資格)	英検、TOEFL、TOEIC

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			1
2	Exercises:Speech Recitation and Delivery (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises:Speech Recitation and Delivery (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises:Speech Recitation and Delivery (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises:Supportive Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises:Supportive Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises:Supportive Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises:Skits and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises:Skits and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises:Skits and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises:Plays and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises:Plays and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises:Plays and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises:Plays and Peer Evaluation (4)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	プレゼンテーション
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	歌や台詞を通じて生きた英語を学びましょう。
-----------	-----------------------

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	<p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p> <p>発音に気を付け、大きな声で英語を話す訓練をします。 劇の練習には、全員参加が不可欠ですので出席が重視されます。 Material to be provided</p>
----	--

科目名	ドラマ I	科目名 (英文)	Drama I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ハおか
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する。
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。
科目学習の効果 (資格)	英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			1
2	Exercises:Speech Recitation and Delivery (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises:Speech Recitation and Delivery (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises:Speech Recitation and Delivery (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises:Supportive Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises:Supportive Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises:Supportive Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises:Skits and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises:Skits and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises:Skits and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises:Plays and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises:Plays and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises:Plays and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises:Plays and Peer Evaluation (4)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	プレゼンテーション
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	Please try to come to every class. Missing classes will result in a low grade for this class as well as both other students practicing for the final performance. If you need help with anything, come see me anytime.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	<p>Worksheets provided by teacher</p> <p>毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。</p>
----	---

科目名	ドラマ I	科目名 (英文)	Drama I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ニきく
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マシュー クーパー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する。
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。
科目学習の効果 (資格)	英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			1
2	Exercises:Speech Recitation and Delivery (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises:Speech Recitation and Delivery (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises:Speech Recitation and Delivery (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises:Supportive Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises:Supportive Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises:Supportive Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises:Skits and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises:Skits and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises:Skits and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises:Plays and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises:Plays and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises:Plays and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises:Plays and Peer Evaluation (4)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	プレゼンテーション
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	話し方、動き、表情などを動員して、メッセージを豊かに伝えられるようになりましょう。 Anything goes on stage. Let's have fun!
-----------	--

担当者の	7号館2階 非常勤講師室
------	--------------

研究室等	
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	ドラマ I	科目名 (英文)	Drama I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ホへけこさし
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	クラスメイトと協同して、英語でドラマ作品を上演する
到達目標	ドラマ上演を通じて、明示的・暗示的な英語コミュニケーション能力の向上を目指す。
授業方法と留意点	学期末にドラマ作品の上演会を行う。
科目学習の効果 (資格)	英検、TOEIC

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation	No preparation required.
	2	Activity 1: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	3	Activity 1 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	4	Activity 2: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	5	Activity 2 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	6	Activity 3: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	7	Activity 3 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	8	Activity 4: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	9	Activity 4 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	10	Activity 5: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	11	Activity 5 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	12	Activity 6: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	13	Activity 6 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	14	Activity 7: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	15	Activity 7: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.

関連科目	プレゼンテーション
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、宿題、提出物、ドラマ上演等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	Students will study and perform various drama activities in this class. Active participation is expected, as well as good attendance.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	Handouts distributed in class. 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ドラマⅡ	科目名(英文)	Drama II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	Students will perform Alice in Wonderland in pairs, small groups, and for a final performance. The aim of this course is to improve speaking skills through performance.
到達目標	By the end of the course, students will master how to present to an audience with eye contact, feeling, and pizzazz.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	Improving your confidence in speaking in a friendly atmosphere.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introductions	Getting to know one another	Buy textbooks
	2	Alice in Wonderland- the story	Scene 1	Reading the story, writing and remembering the script
	3	Drama activities	Scene 1	Reading, writing and remembering the script
	4	Drama activities	Scene 2	Reading, writing and remembering the script
	5	Drama activities	Scene 2	Reading, writing and remembering the script
	6	Drama activities	Scene 3	Reading, writing and remembering the script
	7	Drama activities	Scene 3	Reading, writing and remembering the script
	8	Drama activities	Scene 4	Reading, writing and remembering the script
	9	Drama activities	Scene 4	Reading, writing and remembering the script
	10	Drama activities	Scene 5	Reading, writing and remembering the script
	11	Drama activities	Scene 5	Preparation of music, costumes, makeup, and positions on the stage.
	12	Drama activities	1st Rehearsal	Performance practice
	13	Drama activities	2nd Rehearsal	Performance practice
	14	Drama activities	3rd rehearsal	Performance practice
15	Final performance with other classes	Performance - lights, camera, action in the Studio in Building 10, with music, costumes, and makeup.	100% attendance for the final performance	

関連科目	English performance skills, speaking and self-confidence in using English in a very enjoyable way
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Alices Adventures in Wonderland 1,620 yen	Lewis Carroll, adapted by Gina Clemen	Black Cat (Green Apple)
	2	Language Note writing exercise book 290 yen plus tax	Richard McMahon	Languagenote.com
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Alice in Wonderland movie with Johnny Depp		
	2			
	3			

評価方法(基準)	Last class drama performance in the studio with other classes (20%), Positive class atmosphere and willingness to use 100% English in the class (30%), on-time attendance (30%), Weekly readings/ comprehension of the Alice in Wonderland text (10%), Language note writing (10%).
----------	---

学生へのメッセージ	Enjoy the strange and funny imaginative world of Alice in Wonderland. This course is a good chance to use only English to improve your fluency and confidence and you will make friends acting together.
-----------	--

担当者の研究室等	Building 7, 5th floor koala poster on the door, Student hours Wed 3rd period
----------	--

備考	Move away from your desk - use body language and gestures while speaking - play some drama games - and enjoy English that is alive!
----	---

科目名	ドラマⅡ	科目名(英文)	Drama II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ブライアン スレーター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	Students will practice reciting speeches, playing short dialogues in pairs, and playing short plays or scenes from longer plays in small groups.
到達目標	The aim of this course is to improve speaking skills through performance.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	英検

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction: Clear Delivery	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
2	Exercises:Speech Recitation and Delivery (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises:Speech Recitation and Delivery (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises:Speech Recitation and Delivery (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises:Supportive Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises:Supportive Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises:Supportive Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises:Skits and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises:Skits and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises:Skits and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises:Plays and Peer Evaluation (1)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Exercises:Plays and Peer Evaluation (2)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Exercises:Plays and Peer Evaluation (3)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Exercises:Plays and Peer Evaluation (4)	Drill and review Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	English presentation, skills training, speaking
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Star Taxi	セオドア・ステックラー、イアン・フランクリン	DRAMAWORKS
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	Grades will be based 50% on participation and 50% on performance. Participation includes attendance. Attendance is graded strictly.
----------	---

学生へのメッセージ	Please try to come to each class. Missing classes will result in a low grade for this class as well as both other students practicing for the final performance. If you need help with anything, come see me anytime.
-----------	---

担当者の	7号館2階 非常勤講師室
------	--------------

研究室等	
備考	

科目名	ドラマⅡ	科目名(英文)	Drama II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ジョセフ シウンシ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The speaking tasks in Drama II can include individual recitations, dialogues, and short plays or scenes from plays. They will present longer pieces and learn to incorporate more expressive intonation and gestures in their speech.
到達目標	Students are expected to improve their communication ability through drama activities.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises:Clear delivery(1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises:Clear delivery (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises: Speech recitation (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises: Speech recitation (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises : Skits in pairs (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises: Skits in pairs (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises: Skits in pairs (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises: Plays in groups (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises: Plays in groups (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises: Plays in groups (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Final presentation	Group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Final presentation	Group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	・・・	

関連科目	Drama I, English Presentation I&II, Speaking I&II
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Class participation 50% Performance 50%
----------	--

学生へのメッセージ	Try your best to come to class! Have fun!
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	Handouts will be distributed in class.
----	--

科目名	ドラマⅡ	科目名(英文)	Drama II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The speaking tasks in Drama II can include individual recitations, dialogues, and short plays or scenes from plays. They will present longer pieces and learn to incorporate more expressive intonation and gestures in their speech.
到達目標	You will learn to talk in English with your heart, not just with good grammar and sound.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.
科目学習の効果(資格)	英検の面接, TOEIC SW,

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
			1
2	Exercises:Clear delivery(1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
3	Exercises:Clear delivery (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
4	Exercises: Speech recitation (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
5	Exercises: Speech recitation (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
6	Exercises : Skits in pairs (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
7	Exercises: Skits in pairs (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
8	Exercises: Skits in pairs (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
9	Exercises: Plays in groups (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
10	Exercises: Plays in groups (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
11	Exercises: Plays in groups (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
12	Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
13	Final presentation	Group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
14	Final presentation	Group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	...

関連科目 Drama I, English Presentation I&II, Speaking I&II

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準) active participation + team work 30%
mini report 30%
final production 40%

学生へのメッセージ 1年次より、目標はさらに高く。
自分も楽しみ、見ている人も楽しめる表現力を目指そう。

担当者の研究室等 7号館4階 齋藤研究室

備考

科目名	ドラマⅡ	科目名(英文)	Drama II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The speaking tasks in Drama II can include individual recitations, dialogues, and short plays or scenes from plays. They will present longer pieces and learn to incorporate more expressive intonation and gestures in their speech.			
到達目標	Students are expected to improve their communication ability through drama activities.			
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. All class activities will be conducted in English.			
科目学習の効果(資格)	英検			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises:Clear delivery(1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises:Clear delivery (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises: Speech recitation (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises: Speech recitation (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises : Skits in pairs (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises: Skits in pairs (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises: Skits in pairs (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises: Plays in groups (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises: Plays in groups (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises: Plays in groups (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Final presentation	Group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Final presentation	Group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Review	Feedback session	・・・	
関連科目	Drama I, English Presentation I&II, Speaking I&II			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
評価方法(基準)	Presentations 50%			
	Final 30%			
	Homework 20%			
学生へのメッセージ	Active participation in all class activities is required. If you participate actively, you will learn more in this class. If you miss classes, it will lower your grade. Remember that you are responsible for any information you miss if you are absent. Late homework will get much lower grade in some cases.			
担当者の研究室等	7号館3階 吉村研究室			
備考				

科目名	ドラマⅡ	科目名(英文)	Drama II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The objective of this course is for students to learn to express themselves both verbally and physically in drama. Students should gain confidence, learn vocabulary and enjoy the dramatic approach to learning English.
到達目標	Students are expected to improve their communication ability through drama activities.
授業方法と留意点	Students are expected to study and perform various drama activities. Regular attendance is also expected and is considered very important.
科目学習の効果(資格)	The objective of this course is for students to learn to express themselves both verbally and physically in drama. Students should gain confidence, learn vocabulary and enjoy the dramatic approach to learning English.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation	No preparation required.
	2	Activity 1: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	3	Activity 1 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	4	Activity 2: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	5	Activity 2 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	6	Activity 3: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	7	Activity 3 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	8	Activity 4: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	9	Activity 4 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	10	Activity 5: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	11	Activity 5 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	12	Activity 6: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	13	Activity 6 continued: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
	14	Activity 7: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.
15	Activity 7: study, rehearse, perform.	Pair work, group work, rehearsal and performance.	Study the vocabulary and lines for the next play.	

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)
Grades will be based on students' attitude and participation, rather than on written tests.

学生へのメッセージ
Students will study and perform various drama activities in this class. Active participation is expected, as well as good attendance.

担当者の研究室等
7号館2階
非常勤講師室

備考
Handouts distributed in class.
台詞を理解したり覚えたりする時間として約15時間を予定している。

科目名	トランスレーション トレーニング a	科目名 (英文)	Translational Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。
到達目標	英語と日本語の通訳・翻訳の基礎的な技能を身につけることを目標とする。
授業方法と留意点	必ず予習・復習をして授業に来ること。課題や発表、授業中の応答を重視する、演習形式で授業を行う。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検ほか、英語関連の資格一般

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	3	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	4	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	5	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	6	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	7	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	8	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	9	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	10	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	11	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	12	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	13	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	14	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	英語科目一般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The Art of Translation (英文翻訳上達の秘訣)	金子光茂ほか	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Longman Dictionary of Contemporary English, 6th ed. (ロングマン現代英英辞典第6版)		ロングマン
	2	Oxford Advanced Learner's Dictionary, 8th ed. (オックスフォード現代英英辞典第8版)		オックスフォード
	3	新編 英和活用大辞典		研究社

評価方法 (基準)	<p>【定期試験を実施】</p> <p>定期試験、課題・発表、平常点から総合的に評価する。</p> <p>評価の対象 定期試験、課題・発表、平常点</p> <p>試験の頻度 学期の最後</p> <p>評価に対する重み 定期試験 (65%)、課題・発表 (20%)、平常点 (15%)</p>
-----------	---

学生へのメッセージ	トランスレーションとは、単に「横書き (英文)」を「縦書き (和文)」に置き換えることではありません。各言語の特徴をふまえて、物事のとらえ方を転換する必要があります。これは決して容易いことではないので向上心をもって取り組みましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	田中 (秀) 研究室 (7号館4階)
----------	--------------------

備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通年で履修することが望ましい。 2. トランスレーションには良質の辞書が欠かせない。最低でも『ジーニアス英和辞典』のような学習用英和辞典を用意すること。英語の繊細なニュアンスを取りこぼさないように、参考書欄にあげた英英辞典の使用が強く推奨される。 3. 電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。 4. 欠席は授業に出席しなかった場合 (公欠・忌引き・病欠を含む) のすべてを対象とする (ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること)。欠席回数の限度については初回授業で説明するので必ず確認すること。 5. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また、携帯電話が授業中に鳴ると授業の進行の妨げになるので電源は授業開始までに切っておくこと。
----	---

	6. 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
--	--

科目名	トランスレーション トレーニング a	科目名 (英文)	Translational Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	瀧川 宏樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。
到達目標	英語と日本語の翻訳の基礎的な技能を身につけることを目標とする。
授業方法と留意点	本授業では、翻訳を中心に行う。課題や小テスト、授業中の応答、発表の成果を重視するので、日頃からしっかりとやること。毎回辞書を必ず持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検ほか、英語関連の資格一般

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	ガイダンス Lesson 1 おためし翻訳力テスト	ウォームアップテスト、文法、翻訳演習	テスト見直し
2	Lesson 2 こまめな辞書引きは基礎の基礎	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
3	Lesson 3 彼、彼女、それ、それらはご法度	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
4	Lesson 4 形容詞は落とし穴だらけ	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
5	Lesson 5 時には必要、補充訳	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
6	Lesson 6 翻訳は原文どおりに頭から	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
7	Lesson 7 国語力への志は高く	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
8	Lesson 8 動詞はふくみも見落とさず	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
9	Lesson 9 名詞の誤訳は誤魔化し利かぬ	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
10	Lesson 10 助動詞をあまく見るな	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
11	Lesson 11 意外に乏しい英語力	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
12	Lesson 12 態を転換する訳の技法	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
13	Lesson 13 品詞転換訳	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
14	Lesson 14 訳語がなければ自分でつくれ	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
15	Lesson 15 全課のおさらいテスト	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題

関連科目	英語科目全般
------	--------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	英文翻訳上達の秘訣 The Art of Translation	金子光茂、リチャード・H・シンブソン	南雲堂
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	期末試験 40% 課題、授業内課題、小テスト 50% 授業内発表 10%
-----------	--

学生へのメッセージ	他の人に理解してもらえるように訳すために、英語だけではなく日本語にも注意を払うよう、日常から心がけて下さい。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	トランスレーション トレーニング a	科目名 (英文)	Translational Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	湊 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。
到達目標	英語と日本語の通訳・翻訳の基礎的な技能を身につけることを目標とする。
授業方法と留意点	身近で興味深いトピックを取り上げたテキストを使って、英語から日本語、日本語から英語への翻訳・通訳の演習をする。単語連続訳練習、リスニング、長文読解、メモ取り練習や原稿なしの通訳にも挑戦しながら通訳技術を積み上げていく。必ずテキストの予習をし、辞書を持って授業に臨むこと。
科目学習の効果(資格)	TOEIC、英検等の得点力アップほか、英語関連の資格一般

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	授業内容についての説明、英語の4スキルに関する導入と準備をする。	Students should check the contents of the text book in advance.
授業計画	2	スポーツ交流に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson.
	3	スポーツ交流に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	4	映画に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	5	映画に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	6	環境保護に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	7	環境保護に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	8	環境問題に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	9	環境問題に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	10	国際交流に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	11	国際交流に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	12	インタビューに関する Interpretation & Translation 1	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson

	13	インタビューに関する Interpretation & Translation 1	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	14	Interpretation & Translation of the Special Topic	英語から日本語と日本語から英語への翻訳演習。	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	各ユニットの復習とまとめ。	レポート等最終提出。
関連科目	全英語科目。			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Developing Interpreting Skills for Communication	齊藤 彩子 / 皆川 治恵 / Richard G. Potter	南雲堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 (小テスト、レポート、授業への参加・貢献度等) 50%、まとめの試験 50%の総合評価とする。詳しくは第1回目の授業でハンドアウトを配布し説明する。			
学生へのメッセージ	今まで習得した英語を基本に、新しい挑戦として翻訳、通訳に取りくみます。積極的に学習することが不可欠ですが、努力は必ず報われます。			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	トランスレーション トレーニング a	科目名 (英文)	Translational Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	E F
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。英語と日本語の通訳・翻訳の基礎的な技能を身につけることを目標とする。
到達目標	英文を直訳で日本語にしてゆく作業は見直しが必要である。したがって文脈を正確に理解し、その文脈に応じた日本語訳を考える習慣を身につける。翻訳とは新たな日本語を自分で創り出す作業なので、弾力的に言葉を考えてゆく。
授業方法と留意点	必ず予習・復習をして授業に来ること。小テストや授業中の応答、発表の成果を重視する、演習形式で授業を行う。テキストのほかに英字新聞を使い、ジャーナリズムの英語にも挑戦する。辞書をかみならず持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検ほか、英語関連の資格一般

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	品詞と文の要素	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
2	動詞と時制	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
3	動詞と時制	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
4	完了形	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
5	完了形	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
6	完了形	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
7	助動詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
8	助動詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
9	助動詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
10	態	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
11	態	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
12	態	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
13	不定詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
14	不定詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
15	不定詞	Feedback session 文法説明	

関連科目	トランスレーショントレーニング b
------	-------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Benchmark English Grammar in 25 Lessons (7th edition)	桐原書店編集部	桐原書店
2	What's Up? Intermediate	Muroi Michiko	桐原書店
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	出席、定期試験、課題提出、授業態度、を総合的に判断する。
学生へのメッセージ	頑張りましょう。
担当者の研究室等	7号館3階田中健二研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	トランスレーション トレーニング a	科目名 (英文)	Translational Training a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	G H
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	鈴木 三千代
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。英語と日本語の通訳・翻訳の基礎的な技能を身につけることを目的とする。
到達目標	練習問題や英字新聞なども取り上げ、さらなる自己英語力の向上を目指す。英語能力を向上させることで自己の可能性が広がることを実感して欲しい。
授業方法と留意点	正確な日本語と自然なトランスレーションを行うため、テキストで英文法や語法のおさらいをする。 さらに英字新聞の読みやすい記事を取り上げて現代英語のトランスレーション訓練を行う。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検ほか、英語関連の資格一般

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	3	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	4	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	5	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	6	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	7	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	8	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	9	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	10	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	11	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	12	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	13	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	14	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	英語科目一般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The Art of Translation	金子 光茂 他	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点(授業への取り組み、レポート・課題、小テスト):50%と授業内期末テスト 50%を総合的に評価する。
-----------	---

学生へのメッセージ	予習・復習を怠らないようにし、必ず辞書を持って積極的な授業への参加を期待しています。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	トランスレーション トレーニング b	科目名 (英文)	Translational Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。
到達目標	英語と日本語の通訳・翻訳の基礎的な技能を身につけることを目標とする。
授業方法と留意点	必ず予習・復習をして授業に来ること。課題や発表、授業中の応答を重視する、演習形式で授業を行う。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検ほか、英語関連の資格一般

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	3	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	4	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	5	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	6	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	7	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	8	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	9	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	10	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	11	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	12	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	13	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	14	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	英語科目一般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Deep Reading (読みから訳への要領)	矢作三蔵	開文社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Longman Dictionary of Contemporary English, 6th ed. (ロングマン現代英英辞典第6版)		ロングマン
	2	Oxford Advanced Learner's Dictionary, 8th ed. (オックスフォード現代英英辞典第8版)		オックスフォード
	3	新編 英和活用大辞典		研究社

評価方法 (基準)	<p>【定期試験を実施】 定期試験, 課題・発表, 平常点から総合的に評価する。</p> <p>評価の対象 定期試験, 課題・発表, 平常点 試験の頻度 学期の最後 評価に対する重み 定期試験 (65%), 課題・発表 (20%), 平常点 (15%)</p>
-----------	--

学生へのメッセージ	トランスレーションとは、単に「横書き (英文)」を「縦書き (和文)」に置き換えることではありません。各言語の特徴をふまえて、物事のとらえ方を転換する必要があります。これは決して容易なことではないので向上心をもって取り組みましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	田中 (秀) 研究室 (7号館4階)
----------	--------------------

備考	<p>1. 通年で履修することが望ましい。</p> <p>2. トランスレーションには良質の辞書が欠かせない。最低でも『ジーニアス英和辞典』のような学習用英和辞典を用意すること。英語の繊細なニュアンスを取りこぼさないように、参考書欄にあげた英英辞典の使用が強く推奨される。</p> <p>3. 電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。</p> <p>4. 欠席は授業に出席しなかった場合 (公欠・忌引き・病欠を含む) のすべてを対象とする (ただし、やむを得ない事情と判断できる欠席については考慮するので申し出ること)。欠席回数の限度については初回授業で説明するので必ず確認すること。</p> <p>5. 遅刻は本人の授業理解度を低下させ、ほかの受講者の集中力を阻害するので避けること。また、携帯電話が授業中に鳴ると授業の進行の妨げ</p>
----	---

になるので電源は授業開始までに切っておくこと。
6. 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	トランスレーション トレーニング b	科目名 (英文)	Translational Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	瀧川 宏樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	本授業では、前期で学んだことを生かして、小説の翻訳を試みる。英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。
到達目標	英語と日本語の翻訳の基礎的な技能を身につけることを目標とする。
授業方法と留意点	本授業では、翻訳を中心に行う。課題や小テスト、授業中の応答、発表の成果を重視するので、日頃からしっかりとやること。毎回辞書を必ず持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検ほか、英語関連の資格一般

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス Chapter 1 Two Ladies of Berlevaag	ガイダンス、文法、翻訳演習	テスト見直し
	2	Chapter 2 Mmartine's Lover	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	3	Chapter 3 Philippa's Lover	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	4	Chapter 4 A Letter from Paris	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	5	Chapter 5 Still Life	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	6	Chapter 6 Babette's Good Luck	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	7	Chapter 7 The Turtle	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	8	Chapter 8 The Hymn	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	9	Chapter 9 Heneral Loewenhielm	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	10	Chapter 10 Babette's Dinner	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	11	Chapter 10 Babette's Dinner	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	12	Chapter 11 General Loewenhielm's Speech	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	13	Chapter 11 General Loewenhielm's Speech	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	14	Chapter 12 The Great Artist	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題
	15	Chapter 12 The Great Artist	文法、翻訳演習	小テスト対策、課題

関連科目	英語科目全般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	バベットの晩餐会	I・ディーネセン著、細川祐子編注	開文社出版英文叢書
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	期末試験 40% 課題、授業内課題、小テスト 50% 授業内発表 10%
-----------	--

学生へのメッセージ	他の人に理解してもらえるように訳すために、英語だけではなく日本語にも注意を払うよう、日常から心がけて下さい。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	トランスレーション トレーニング b	科目名 (英文)	Translational Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	湊 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。
到達目標	英語と日本語の通訳・翻訳の基礎的な技能を身につけることを目標とする。
授業方法と留意点	身近で興味深いトピックを取り上げたテキストを使って、英語から日本語、日本語から英語への翻訳・通訳の演習をする。単語連続訳練習、リスニング、長文読解、メモ取り練習や原稿なしの通訳にも挑戦しながら通訳技術を積み上げていく。必ずテキストの予習をし、辞書を持って授業に臨むこと。
科目学習の効果(資格)	TOEIC、英検等の得点力アップほか、英語関連の資格一般

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
		1	Introduction	授業内容についての説明、英語の4スキルに関する導入と準備をする。
授業計画	2	スポーツ交流に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson.
	3	スポーツ交流に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	4	映画に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	5	映画に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	6	環境保護に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	7	環境保護に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	8	環境問題に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	9	環境問題に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	10	国際交流に関する Interpretation & Translation	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	11	国際交流に関する Interpretation & Translation	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	12	インタビューに関する Interpretation & Translation 1	英語から日本語<単語の繰り返し練習と連続訳練習・リスニング:意味理解と再生の訓練・未知語と概要把握・ディクテーションとシャドーイング・長文読解・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・本文通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson

	13	インタビューに関する Interpretation & Translation 1	日本語から英語<単語の繰り返し練習と連続訳・メモ取り練習・シャドーイング・スラッシュリーディングとサイトトランスレーション・原稿なしの通訳>の演習。	Students should study the content of the day's lesson
	14	Interpretation & Translation of the Special Topic	英語から日本語と日本語から英語への翻訳演習。	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	各ユニットの復習とまとめ。	レポート等最終提出。
関連科目	全英語科目。			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Developing Interpreting Skills for Communication	齊藤 彩子 / 皆川 治恵 / Richard G. Potter	南雲堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常点 (小テスト、レポート、授業への参加・貢献度等) 50%、まとめの試験 50%の総合評価とする。詳しくは第1回目の授業でハンドアウトを配布し説明する。			
学生へのメッセージ	今まで習得した英語を基本に、新しい挑戦として翻訳、通訳に取りくみます。積極的に学習することが不可欠ですが、努力は必ず報われます。			
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	トランスレーション トレーニング b	科目名 (英文)	Translational Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	E F
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。英語と日本語の通訳・翻訳の基礎的な技能を身につけることを目標とする。
到達目標	英文を直訳で日本語にしてゆく作業は見直しが必要である。したがって文脈を正確に理解し、その文脈に応じた日本語訳を考える習慣を身につける。翻訳とは新たな日本語を自分で創り出す作業なので、弾力的に言葉を考えてゆく。
授業方法と留意点	必ず予習・復習をして授業に来ること。小テストや授業中の応答、発表の成果を重視する、演習形式で授業を行う。ジャーナリズム英語として英字新聞にもチャレンジする。毎回辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検ほか、英語関連の資格一般

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	不定詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	2	動名詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	3	動名詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	4	動名詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	5	分詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	6	分詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	7	分詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	8	分詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	9	比較	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	10	比較	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	11	比較	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	12	Interpretation & Translation	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	13	関係詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	14	関係詞	Exercises 文法説明	Students should study the content of the day's lesson
	15	関係詞	Exercises 文法説明	

関連科目	トランスレーショントレーニング a
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Benchmark English Grammar in 25 Lessons (7th edition)	桐原書店編集部	桐原書店
	2	What's Up? Intermediate	Muroi Michiko	桐原書店
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	出席、定期試験、課題提出、授業態度、を総合的に判断する。?
学生へのメッセージ	頑張りましょう。?
担当者の研究室等	7号館3階田中健二研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	トランスレーション トレーニング b	科目名 (英文)	Translational Training b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	G H
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	鈴木 三千代
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	英語と日本語の正確な理解をもとに、情報のイメージ化の練習を通して理解速度を速め、自然な訳出ができるように訓練を積む。相手にとってわかりやすい音声・文字による訳ができるように、文法への意識も高めながら演習を行う。英語と日本語の通訳・翻訳の基礎的な技能を身につけることを目的とする。
到達目標	練習問題や英字新聞なども取り上げ、さらなる自己英語力の向上を目指す。英語能力を向上させることで自己の可能性が広がることを実感して欲しい。
授業方法と留意点	正確な日本語と自然なトランスレーションを行うため、テキストで英文法や語法のおさらいをする。さらに英字新聞の読みやすい記事を取り上げて現代英語のトランスレーション訓練を行う。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL, 英検ほか、英語関連の資格一般

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	3	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	4	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	5	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	6	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	7	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	8	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	9	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	10	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	11	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	12	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	13	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	14	Interpretation & Translation	Exercises	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	英語科目一般
------	--------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The Art of Translation	金子 光茂 他	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点(授業への取り組み、レポート・課題、小テスト)50%と授業内期末テスト 50%を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	予習・復習を怠らないようにし、必ず辞書を持って積極的な授業への参加を期待しています。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	日米関係論	科目名(英文)	Japan-US Relations
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	有馬 善一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	開国から冷戦後までの140年にわたる日米関係の歴史を振り返る。			
到達目標	日本とアメリカの関係がどのような経緯を辿って、現在の日米同盟に至ったのかを理解する。近代国家の国際関係を動かす力学とはいかなるものであるのかという点に関する理解を深める。日本の今後進むべき道についての自分なりの考えを持つ。			
授業方法と留意点	教科書を併用しながら、資料を配布して、解説を行う。教科書をあらかじめよく読んでくること。			
科目学習の効果(資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	はじめに、講義へのイントロダクション	講義の概要と進め方	なし
	2	日本の歴史と地政学的位置	日本の歴史的な国家形成とアジアにおける地政学的な位置について 明治時代より以前と以後の日本の相違	講義内容を復習すること
	3	アメリカ合衆国の歴史と外交政策	移民、アメリカ革命、デモクラシー モンロー主義と太平洋国家	紹介する資料を読んでくる 講義内容を復習すること
	4	日米の遭遇と世界史への登場	日本の開国から明治期の日米関係について	教科書(第1章)を読んでくる 講義内容を復習すること
	5	帝国主義時代の日本とアメリカの植民地政策(1)	日本の韓国併合、アメリカのハワイ、フィリピンへの進出 日露戦争後の日米の台頭	教科書(第2章)を読んでくる 講義内容を復習すること
	6	帝国主義時代の日本とアメリカの植民地政策(2)	第一次世界大戦後の国際情勢 国際連盟の盟主としてのアメリカと日本	教科書(第3章)を読んでくる 講義内容を復習すること
	7	日本の中国大陸侵出とアメリカの不承認	満州事変と日中戦争における日米関係の変化	教科書(第4章)を読んでくる 講義内容を復習すること
	8	日本人のアメリカ移民の歴史	ハワイとアメリカ西海岸への日本人移民の歴史 第二次大戦中の日系人収容所 第二次大戦後の日系人社会	教科書(第5章)と資料を読んでくる 講義内容を復習すること
	9	日米戦争と日本占領	ヨーロッパ戦線と日米戦争 真珠湾攻撃から沖縄戦・原爆投下に至るまで	教科書(第6章)を読んでくる 講義内容を復習すること
	10	サンフランシスコ講和条約と戦後日本	朝鮮戦争と日本の安全保障	教科書(第7章)を読んでくる 講義内容を復習すること
	11	日米安保条約と安保改定反対闘争	日米安保条約を巡る様々な動きについて学ぶ	講義内容を復習すること
	12	東西冷戦下の日米同盟と沖縄返還	ベトナム戦争と基地沖縄問題と日米同盟について	教科書(第8章)を読んでくる 講義内容を復習すること
	13	米中接近、日中国交回復の時代の日米関係	中ソの衝突と日米の対中戦略のズレ	教科書(第9章)を読んでくる 講義内容を復習すること
	14	冷戦終結とグローバル時代の日米関係	湾岸戦争・イラク戦争と日米同盟の強化	教科書(第10章)を参考のこと 講義内容を復習すること
	15	講義のまとめ	これまでの講義をまとめた上で、日米関係の将来を展望する	教科書(第11章)を参考にすること 講義内容を復習すること
関連科目	国際文化概論			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	日米関係史	五十旗頭真編著	有斐閣
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	日本の外交	入江昭	中公新書
	2	新・日本の外交	入江昭	中公新書
	3			
評価方法(基準)	講義への参加の度合いと記述試験により評価。受講生の多寡によっては評価方法を変更することもある。その場合は授業の中で指示する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館4階			
備考	事前事後学習におよそ60時間必要。			

科目名	日米比較文化	科目名(英文)	Comparative Cultures of America and Japan
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的

この授業では、19世紀から現在までのアメリカ人の日本人観、日本人のアメリカ人観が表れた両国の様々な文化表現を、映画と音楽を中心に見ていきます。両国の文化に何らかの本質的な違いを見つけて比較するのではなく、人々が互いに抱いてきたイメージと、その歴史的な変遷に注目し、背景にある国際政治、国内政治との関わりを考えます。日米間に限らず、現代世界の人種問題、民族問題について、またメディアを通じた異文化理解について、当事者意識を持って考えるきっかけにしましょう。

受講生の皆さんには、ただ教室に来て講義を聞くのではなく、スケジュール通りに資料を読んでから講義を聴き、講義の後には教材フォルダにアップされた講義ノートを読み返すことが要求されます。また、毎回の授業時間の終盤には、その日に理解できた内容を作文として提出してもらいます。ある程度高度な日本語を読む、書く、という文系の学生に必須の学習方法を習慣づけ、就職活動や卒論作成に対応可能な日本語力も身につけましょう。

到達目標

- ・日本とアメリカ合衆国における人種問題、民族問題の歴史と現状についての基礎知識、基礎的理解を身につける。
- ・就職活動や卒論作成に向けて日本語力、作文力を向上させる。
- ・テーマに基づいて読解と作文を繰り返す学習技法を習得する。

授業方法と留意点

- ・やや特殊な授業方法をとりますので、初回の授業で詳細な説明を行います。履修を検討している人は初回の授業に必ず出席して下さい。やむを得ない事情で欠席する(した)場合は、一両日中に教員に連絡して欠席の事由を説明し、必要な指示を受けてから二回目の授業に臨んで下さい。連絡のあった受講生についてはできるだけの配慮をしますが、二回目以降の授業に何の準備もなく突然出席されても、他の受講生の迷惑になりますのでサポートはできません。
- ・高度で難解なものも含む大量のプリント教材を、自分でスケジュールを確認しながら読んでもらい、授業時間内にコメントを作文してもらいます。コメントが書けなければその日の成績は0点です。最終課題も論述(レポート形式の試験)です。毎回出席する意思のない人や、文章を読みたいくない人、書きたくない人は、この授業を選択してはいけません。
- ・座席は指定席制です。視力等の事情がある場合は配慮します。
- ・教材の多くは教材フォルダを通じて電子配布されますので、定期的なPC操作が必要です。
- ・このシラバスに載っている15回のスケジュールは仮です。初回の授業でより詳しいスケジュールを配布し、さらに変更があれば随時授業で告知します。

科目学習の効果(資格)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	受講に関する諸注意	受講に関する重要な説明と指示を初回授業でまとめて行います。	配付した資料の予習
2	相撲と minstrel show — 近代国民国家と「国民文化」	ベリー提督の日本来航時(1853-54)に描かれた絵図などを読み解く	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
3	「黄禍」としての日本人/日系人 その1	最初にして唯一の「日本人ハリウッドスター」早川雪洲の主演映画 Cheat (1915)を読み解く	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
4	「黄禍」としての日本人/日系人 その2	最初にして唯一の「日本人ハリウッドスター」早川雪洲の主演映画 Cheat (1915)を読み解く	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
5	日本人から見た「先進文明国」としてのアメリカ その1	1928年～1930年代の日本製「ジャズ」音楽を検証	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
6	日本人から見た「先進文明国」としてのアメリカ その2	池崎忠孝『世界を脅威するアメリカニズム』(1937)など検証	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
7	「人種戦争」としての第二次世界大戦その1	日米両国の人種プロパガンダイメージ・セレクションを検証	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
8	「人種戦争」としての第二次世界大戦その2	日米両国の人種プロパガンダイメージ・セレクションを検証	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
9	東西冷戦とアメリカの人種リベラリズム その1	映画『サヨナラ』(1957)を検証	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
10	東西冷戦とアメリカの人種リベラリズム その2	映画『サヨナラ』(1957)を検証	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
11	近代西洋文明批判としての対抗文化運動とその日本版 その1	ウッドストック(1969)と1970年代の日本のロック/フォークフェス等を例に考える。	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
12	近代西洋文明批判としての対抗文化運動とその日本版 その2	ウッドストック(1969)と1970年代の日本のロック/フォークフェス等を例に考える。	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
13	現代日本社会における人種差別告発と、戦後日本の「黒人」音楽 その1	戦後日本の「黒人音楽」の歴史的・現代的意義を検証	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
14	現代日本社会における人種差別告発と、戦後日本の「黒人」音楽 その2	戦後日本の「黒人音楽」の歴史的・現代的意義を検証	配布プリントおよび教科書を予習の上、授業に持参。授業後は資料を整理し、保管する。
15	まとめ	期末レポートに向けて、学習内容を総括する。	自分がレポートに使う可能性のある全ての配布資料および教科書に目を通し、持参。

関連科目 日米関係史・日米比較文化特殊講義

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	平常の作文および質疑への貢献の評価 70% 最終授業終了後に提出の最終レポート 30%			
学生への メッセージ	最初から全部分からなくてもかまいません。まずは「よく分からないが何だか面白い!」と感じるところを探しましょう。今の自分にとって難しく感じるものを、敢えて背伸びをして読み、また書くことを楽しめるようになって下さい。			
担当者の 研究室等	7号館3階(鳥居研究室)			
備考				

科目名	日米文化交流史	科目名(英文)	History of Japan-US Cultural Communication
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	1900年から1945年の、アメリカにおける日本人移民の仕事と生活がどのようなものだったかを学ぶ。本授業では特に1900年から1924年までに集中する。アメリカ市民権を与えられず、厳しい環境で働き続けた移民一世(男性)のアメリカにおける苦闘の日々と、日本から写真花嫁としてアメリカで働く一世男性のもとへ嫁ぐため、太平洋を渡った日本女性の歴史とその意義を中心に学ぶ。またアメリカジャーナリズムでは日本人移民をどのように報じたのかも学ぶ。
到達目標	日米文化交流史の英文による文献が読めるようにする。また歴史的事実の復習と日本人移民の相互関連を理解し、明治、大正時代の日米文化交流の幅広い学習を行う。
授業方法と留意点	板書講義形式。適宜プリント配布。ビデオも見ることがある。
科目学習の効果(資格)	20世紀初頭の日本とアメリカの民間レベルでの交流を、英文資料を参考にしながら学習する。英語学習としても役立つ。TOEIC 得点向上。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	アメリカにおける初期の日本人移民	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
2	日本人移民に対する偏見と厳しい扱い。1900~1924	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
3	日本人移民に対する偏見と厳しい扱い。1900~1924	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
4	日本人移民に対する偏見と厳しい扱い。1900~1924	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
5	日本人移民がおこなった写真結婚、写真妻	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
6	日本人移民がおこなった写真結婚、写真妻	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
7	日本人移民がおこなった写真結婚、写真妻	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
8	日本人移民がおこなった写真結婚、写真妻	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
9	日本人移民がおこなった写真結婚、写真妻	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
10	日本人移民の経済的発展	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
11	日本人移民の経済的発展	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
12	日本人移民の経済的発展	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
13	太平洋戦争中、日本人移民は収容所に入れられた事実	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
14	太平洋戦争中、日本人移民は収容所に入れられた事実	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	指示した箇所の英文を下読みする。
15	太平洋戦争中、日本人移民は収容所に入れられた事実	配布したプリントの読み、理解。自分の意見をまとめる。	復習

関連科目	日米関係論
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	出席と授業参加態度、定期試験の得点を総合的に判断する。課題レポートを出したときは、それも評価の一部に入れる。
----------	--

学生へのメッセージ	明治時代の日本人男性、日本人女性のねばり強さを、移民という事実から勉強しましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館3階田中健二研究室
----------	--------------

備考	配布資料の読み込みなど事前事後学習にかかる総時間数を15時間程度とする。
----	--------------------------------------

科目名	日中関係論	科目名(英文)	Sino-Japanese Relations
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大西 紀
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語)	【施行規則に定める科目区分】異文化理解
		【教員免許状取得のための履修区分】	選択

授業概要・目的	日本と中国は、東アジアにおいて「一衣帯水」の隣国であり、両国の交流の歴史は悠久で多彩である。本授業では、2000年以上の歴史がある日中関係史を概観し、古代、近代、現代という三つの大きな時期に分けて講義する。日中関係は古くから政治、経済および文化などの多方面において深い交流がある一方、戦争、植民地支配という不幸の歴史もあった。その意味では、日中関係を考える際に、経済・文化の交流を見るだけでなく、歴史問題も正しく認識する必要がある。また、近年ますます拡大している日中の経済関係についても解説し、経済関係およびアジアの将来を中心に未来志向の新しい日中関係の構築を考えてみたい。
---------	---

到達目標	日本と中国が歴史とどのような関係があったのか正しい知識を習得、今後の日中関係に生かす。
------	---

授業方法と留意点	プリントを利用した講義なので、単方向の授業形式となりがちだが、受講生からの質問は随時受け付け、双方向の授業となるように努めたい。
----------	--

科目学習の効果(資格)	日本と中国の関係史を知り、今後の日中関係について自分なりの視角を持ち、思考することができる。就職試験に有効。
-------------	--

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
			1
2	古代の日中関係史Ⅱ	金印の謎	参考書とプリント資料を読んでください
3	古代の日中関係史Ⅲ	遣唐使	参考書とプリント資料を読んでください
4	古代の日中関係史Ⅳ	鑑真、空海	参考書とプリント資料を読んでください
5	古代の日中関係史Ⅴ	宋・元・明代の日中関係	参考書とプリント資料を読んでください
6	近代の日中関係史Ⅰ	アヘン戦争、幕末期の日中関係	参考書とプリント資料を読んでください
7	近代の日中関係史Ⅱ	日清戦争、日露戦争、台湾の植民地支配	参考書とプリント資料を読んでください
8	近代の日中関係史Ⅲ	辛亥革命と日中関係	参考書とプリント資料を読んでください
9	現代の日中関係史Ⅰ	満州事変	参考書とプリント資料を読んでください
10	現代の日中関係史Ⅱ	日中戦争	参考書とプリント資料を読んでください
11	現代の日中関係史Ⅲ	中華人民共和国の成立と日中関係	参考書とプリント資料を読んでください
12	現代の日中関係史Ⅳ	日中の国交回復	参考書とプリント資料を読んでください
13	現代の日中関係Ⅴ	靖国参拝からみた日中関係	参考書とプリント資料を読んでください
14	現代の日中関係Ⅵ	日中の経済関係	参考書とプリント資料を読んでください
15	現代の日中関係Ⅶ	日中関係の総括	参考書とプリント資料を読んでください

関連科目	講義中に指示する。
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	定期試験は実施しない。 授業期間中複数回行うチェックテストおよび出欠状況等により総合評価する。 チェックテストの平均点が6割を超えていること；出席回数が10回を超えていることを最低条件とします。
----------	---

学生へのメッセージ	新聞を読むこと。特に日中関係に関わる記事には注目して欲しい。 授業中の私語は他の受講生の迷惑となるので慎んで欲しい。 チェックテストの平均点が6割を越えないもの、出席率が2/3を越えないものは、如何なる理由があれ単位は認定できない。履修の際はよく考慮して履修してください。特に卒業年次生は気を付けて履修しましょう。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館2階講師控室
------------	-----------

科目名	日中観光文化と通訳法	科目名(英文)	Japan-China Tourism and Interpretation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	大阪やその周辺の面白いところを自分の手で調べて作成した原稿を発表する活動を通してプレゼンのスキルを身につける。この目標を達成するため、日本の事物を中国語で表現するだけの語学力とともに、日本の地理や歴史に関する情報を集め、原稿を作成する技術を学ぶ。
到達目標	京都、大阪、奈良など関西のおもな観光地、テーマパークなどで中国語を使った簡単な観光ガイドができることを目指す。
授業方法と留意点	数名のグループにわかれ、与えられた課題に沿ったプレゼンを行ったり映像作品を作ることを各単元の目的とする。その準備として、取材地の選定や写真、情報の収集、原稿の作成、発表の練習を行う。授業以外の日に撮影会を実施することもある。
科目学習の効果(資格)	通訳案内士 中国語検定2級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	授業の目的, 方法などを理解する。	1. 教師によるプレゼンの事例を見ながら、取材地の選定や作業分担, 素材や資料を集める手順を理解する。 2. 写真にアナウンスやBGMを付けた動画を作成する手順を理解する。 3. グループ分けをしようえ次回の課題を出す。	写真撮影を担当する者は、次回の授業までにプレゼン用の写真を用意する。資料担当者は紙媒体の資料を調査しておく。
	2	大阪(1)	前回授業ですでに選定してある取材地, 取材施設について、写真、紙媒体およびeb上の記事をもとにプレゼンのための中国語原稿を作成する。原稿作成後は、プレゼンの分担を決めようえ練習を行う。	家庭でもプレゼンのための練習を行う。
	3	大阪(1)	1. グループ別にプレゼンを行う。 2. ビデオ作品の作成。 3. 次回の取材地について各グループで検討し、作業の分担を決める。	写真撮影を担当する者は、次回の授業までにプレゼン用の写真を用意する。資料担当者は紙媒体の資料を調査しておく。
	4	大阪(2)	前回授業ですでに選定してある取材地, 取材施設について、写真、紙媒体およびeb上の記事をもとにプレゼンのための中国語原稿を作成する。原稿作成後は、プレゼンの分担を決めようえ練習を行う。	家庭でもプレゼンのための練習を行う。
	5	大阪(2)	1. グループ別にプレゼンを行う。 2. ビデオ作品の作成。 3. 次回の取材地について各グループで検討し、作業の分担を決める。	写真撮影を担当する者は、次回の授業までにプレゼン用の写真を用意する。資料担当者は紙媒体の資料を調査しておく。
	6	大阪(3)	前回授業ですでに選定してある取材地, 取材施設について、写真、紙媒体およびeb上の記事をもとにプレゼンのための中国語原稿を作成する。原稿作成後は、プレゼンの分担を決めようえ練習を行う。	家庭でもプレゼンのための練習を行う。
	7	大阪(3)	1. グループ別にプレゼンを行う。 2. ビデオ作品の作成。 3. 次回の取材地について各グループで検討し、作業の分担を決める。	写真撮影を担当する者は、次回の授業までにプレゼン用の写真を用意する。資料担当者は紙媒体の資料を調査しておく。
	8	近畿全域(1)	前回授業ですでに選定してある取材地, 取材施設について、写真、紙媒体およびeb上の記事をもとにプレゼンのための中国語原稿を作成する。原稿作成後は、プレゼンの分担を決めようえ練習を行う。	家庭でもプレゼンのための練習を行う。
	9	近畿全域(1)	1. グループ別にプレゼンを行う。 2. ビデオ作品の作成。 3. 次回の取材地について各グループで検討し、作業の分担を決める。	写真撮影を担当する者は、次回の授業までにプレゼン用の写真を用意する。資料担当者は紙媒体の資料を調査しておく。
	10	近畿全域(2)	前回授業ですでに選定してある取材地, 取材施設について、写真、紙媒体およびeb上の記事をもとにプレゼンのための中国語原稿を作成する。原稿作成後は、プレゼンの分担を決めようえ練習を行う。	家庭でもプレゼンのための練習を行う。
	11	近畿全域(2)	1. グループ別にプレゼンを行う。 2. ビデオ作品の作成。 3. 次回の取材地について各グループで検討し、作業の分担を決める。	写真撮影を担当する者は、次回の授業までにプレゼン用の写真を用意する。資料担当者は紙媒体の資料を調査しておく。
	12	近畿全域(3)	前回授業ですでに選定してある取材地, 取材施設について、写真、紙媒体およびeb上の記事をもとにプレゼンのための中国語原稿を作成する。原稿作成後は、プレゼンの分担を決めようえ練習を行う。	家庭でもプレゼンのための練習を行う。
	13	近畿全域(3)	1. グループ別にプレゼンを行う。 2. ビデオ作品の作成。	写真撮影を担当する者は、次回の授業までにプレゼン用の写真を用意する。資料担当者は紙媒体の資料

			3. 次回の取材地について各グループで検討し、作業の分担を決める。	を調査しておく。																
	14	中国北京・上海	前回授業ですでに選定してある取材地、取材施設について、写真、紙媒体およびeb上の記事をもとにプレゼンのための中国語原稿を作成する。原稿作成後は、プレゼンの分担を決めたいえ練習を行う。	家庭でもプレゼンのための練習を行う。																
	15	中国北京・上海(1)	1. グループ別にプレゼンを行う。 2. ビデオ作品の作成。 3. 次回の取材地について各グループで検討し、作業の分担を決める。	写真撮影を担当する者は、次回の授業までにプレゼン用の写真を用意する。資料担当者は紙媒体の資料を調査しておく。																
関連科目	中国語主言語または共通言語2年生対象科目を修了していること。																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
評価方法 (基準)	筆記試験は行わず、口頭発表の内容やそれへの貢献を評価の材料とする。																			
学生への メッセージ	参加型、発信型の授業です。したがって、出席状況を重視した成績評価を行います。ただし、必要出席回数は公表しません。																			
担当者の 研究室等	7号館3階中西研究室																			
備考																				

科目名	日中翻訳法 I a	科目名 (英文)	Academic Writing in Chinese Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義は2年生の学生を対象とし、中国語作文力が初級後半から中級前半へのレベルアップを図るものである。講義では、まず基礎文法、基本文型及びその例文を習い、その後日文中訳をはじめ、沢山の練習を重ねて実践力を養う。
到達目標	中国語中級作文に欠かせない文法と文型を習い、日文中訳・中文日訳の実力を高める。
授業方法と留意点	毎回予習を必ずしておくこと。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 3級受験可能

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	第一課：挨拶	①「実に～だ」、動作の相手と対象を表す“跟～”について解説する。 ②練習問題。	p4-p7
3	第二課：自己紹介	①会話文の翻訳。 ②積極的に行為に取り組むことを表す“来”、「まるで～ようだ」について解説する。 ③練習問題。	p8-p10
4	第二課：自己紹介	①条件を表す“就”、出どころを表す“从”について解説する。 ②練習問題。	p10-p13
5	単元復習 1	①口頭練習。 ②単元テスト 1。	p2-p13
6	第三課：訛りについて	①会話文の翻訳。 ②伝聞を表す言い方、結果補語について解説する。 ③練習問題。	p14-p16
7	第三課：訛りについて	①「全然～ない」、可能補語“～得出/～不出”について解説する。 ②練習問題。	p16-p19
8	第四課：本を買う	①会話文の翻訳。 ②「ちょうど～しているところだ」、「～のために」について解説する。 ③練習問題。	p20-p22
9	第四課：本を買う	①「なぜ」、「～のうちに」について解説する。 ②練習問題。	p22-p25
10	単元復習 2	①口頭練習。 ②単元テスト 2。	p14-p25
11	第五課：天気について	①会話文の翻訳。 ②「～と言えば、すぐ～だ」、確認を表す“是不是～”について解説する。 ③練習問題。	p26-p28
12	第五課：天気について	①「～ほど～ではない」、助動詞の“会”について解説する。 ②練習問題。	p28-p31
13	第六課：喫茶店にて	①会話文の翻訳。 ②「～と思う」、「～の面において」について解説する。 ③練習問題。	p32-p34
14	第六課：喫茶店にて	①助動詞の“肯”、「～でもあるし、でもある」について解説する。 ②練習問題。	p34-p37
15	単元復習 3	①口頭練習。 ②単元テスト 3。	p26-p37

関連科目 2年次中国語必修科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語へのアプローチ II	楊凱榮・張麗群	朝日出版社
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中日辞典		
2	日中辞典			
3				

評価方法 単元ごとにテストを行う。

(基準)	
学生へのメッセージ	選択科目ですからしっかり自覚をもって講義に臨んでください。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	日中翻訳法 I b	科目名 (英文)	Academic Writing in Chinese Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義は2年生の学生を対象とし、中国語作文力が初級後半から中級前半へのレベルアップを図るものである。講義では、まず基礎文法、基本文型及びその例文を習い、その後日文中訳をはじめ、沢山の練習を重ねて実践力を養う。
到達目標	中国語中級作文に欠かせない文法と文型を習い、日文中訳・中文日訳の実力を高める。
授業方法と留意点	毎回予習を必ずしておくこと。
科目学習の効果 (資格)	中国語検定試験 3級受験可能

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	第七課：プリペイド・カードを買う	①助動詞の“得”、「～もあれば、～もある」について解説する。 ②練習問題。	p40-p43
3	第八課：食事	①会話文の翻訳。 ②疑問詞+“都”、「～のほか」について解説する。 ③練習問題。	p44-p46
4	第八課：食事	①「～である以上～だ」、「～すべきだ」について解説する。 ②練習問題。	p46-p49
5	単元復習 1	①口頭練習。 ②単元テスト 1。	p38-p49
6	第九課：カラオケに行く	①会話文の翻訳。 ②持続の“着”、比較の“比”について解説する。 ③練習問題。	p50-p52
7	第九課：カラオケに行く	①「きっと」「必ず」「間違いなく」、数量が少ない、程度が低いことを表す“才”について解説する。 ②練習問題。	p52-p55
8	第十課：タクシーの中で	①会話文の翻訳。 ②副詞の“光”、仮定を表す“如果～”について解説する。 ③練習問題。	p56-p58
9	第十課：タクシーの中で	①「(多くて)使いきれない」「～もかからない」、「～とすぐ～だ」について解説する。 ②練習問題。	p58-p61
10	単元復習 2	①口頭練習。 ②単元テスト 2。	p50-p61
11	第十一課：ショッピングセンターにて	①会話文の翻訳。 ②「～とは思ってもよらなかった」、「従来」「もともと」「これまで」について解説する。 ③練習問題。	p62-p64
12	第十一課：ショッピングセンターにて	①「～すればするほど～だ」、「～を～とする」について解説する。 ②練習問題。	p64-p67
13	第十二課：誕生日を祝う	①会話文の翻訳。 ②「あげる」「～であげる」、「～に対して」「～について」について解説する。 ③練習問題。	p68-p70
14	第十二課：誕生日を祝う	①「ちょうど」、条件を表す“才”について解説する。 ②練習問題。	p70-p73
15	単元復習 3	①口頭練習。 ②単元テスト 3。	p62-p73

関連科目 2年次中国語必修科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中国語へのアプローチ II	楊凱榮・張麗群	朝日出版社
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	中日辞典		
2	日中辞典			
3				

評価方法 (基準)	単元ごとにテストを行う。
学生への メッセージ	選択科目ですからしっかり自覚をもって講義に臨んでください。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	日中翻訳法Ⅱa	科目名(英文)	Academic Writing in Chinese IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	K
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	中級レベルの中国語作文を中心に文章技術のレベルアップを図ることが目的である。本講義では、ある場面における中国語表現の基本文型や関連語句を覚え、翻訳方法を学習する。実用的な文章を書けることを最終目標とする。
到達目標	中国語中級作文に欠かせない文法・文型・語彙を覚え、中文日訳・日文中訳の実力を高める。
授業方法と留意点	2年次からの「中国語コース」を選択する学生は、これら必修4コマと選択科目4コマを履修してください。「中国語コース」を選択しない学生は必修4コマのほか選択科目4コマの中から適宜選択履修してください。必修科目を履修せず、この授業だけを履修することはできません。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験3～2受験可能

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	ユニット1 お茶の由来(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット2 内容の予習
3	ユニット2 内モンゴルへの旅(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
4	ユニット2 内モンゴルへの旅(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット3の予習
5	ユニット3 母への誕生日プレゼント(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
6	ユニット3 母への誕生日プレゼント(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット4の予習
7	ユニット4 この漢字はどう読みますか(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
8	ユニット4 この漢字はどう読みますか(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
9	ユニット5 中国人の接客法(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
10	ユニット5 中国人の接客法(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
11	ユニット6 蟻って、偉い(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
12	ユニット6 蟻って、偉い(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
13	ユニット7 漢字の読めない中国人(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
14	ユニット7 漢字の読めない中国人(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
15	総復習	前期内容の復習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	3年次の中国語科目：「総合中国語」「中国語コミュニケーション」「中国語原書講読Ⅰ」「中国語会話表現法Ⅰ」「ビジネス中国語Ⅲ」「中国語トピックス」
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	試験は單元ごとに小テストを行います。
学生への メッセージ	プリント方式の教材なので、保管用のファイルを用意してください。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	日中翻訳法Ⅱ a	科目名(英文)	Academic Writing in Chinese IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	L
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	馮 艶
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	中級レベルの中国語作文を中心に文章技術のレベルアップを図ることが目的である。本講義では、ある場面における中国語表現の基本文型や関連語句を覚え、翻訳方法を学習する。実用的な文章を書けることを最終目標とする。
到達目標	検定試験3級に出題される日文中訳問題に正しく答えられる能力を身につける。
授業方法と留意点	2年次からの「中国語コース」を選択する学生は、これら必修4コマと選択科目4コマを履修してください。「中国語コース」を選択しない学生は必修4コマのほか選択科目4コマの中から適宜選択履修してください。必修科目を履修せず、この授業だけを履修することはできません。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験3級受験可能

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	ユニット1 お茶の由来(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット2 内容の予習
3	ユニット2 内モンゴルへの旅(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
4	ユニット2 内モンゴルへの旅(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット3の予習
5	ユニット3 母への誕生日プレゼント(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
6	ユニット3 母への誕生日プレゼント(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット4の予習
7	ユニット4 この漢字はどう読みますか(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
8	ユニット4 この漢字はどう読みますか(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
9	ユニット5 中国人の接客法(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
10	ユニット5 中国人の接客法(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
11	ユニット6 蟻って、偉い(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
12	ユニット6 蟻って、偉い(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
13	ユニット7 漢字の読めない中国人(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
14	ユニット7 漢字の読めない中国人(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
15	総復習	前期内容の復習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目 3年次の中国語科目：「総合中国語」「中国語コミュニケーション」「中国語原書講読Ⅰ」「中国語会話表現法Ⅰ」「ビジネス中国語Ⅲ」「中国語トピックス」

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	プリント配布		
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	試験は単元ごとに小テストを行います。
学生への メッセージ	プリント方式の教材なので、保管用のファイルを用意してください。
担当者の 研究室等	非常勤講師控え室
備考	

科目名	日中翻訳法Ⅱb	科目名(英文)	Academic Writing in Chinese IⅡb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	K
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	李 英杰
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期と同様、中級レベルの中国語作文を中心に文章技術のレベルアップを図ることが目的である。本講義では、ある場面における中国語表現の基本文型や関連語句を覚え、翻訳方法を学習する。実用的な文章が書けることを最終目標とする。
到達目標	中国語中級作文に欠かせない文法・文型・語彙を覚え、中文日訳・日文中訳の実力を高める。
授業方法と留意点	2年次からの「中国語コース」を選択する学生は、これら必修4コマと選択科目4コマを履修してください。「中国語コース」を選択しない学生は必修4コマのほか選択科目4コマの中から適宜選択履修してください。必修科目を履修せず、この授業だけを履修することはできません。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験2級受験可能

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	ユニット1 学校をサポートってハイキング(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
2	ユニット1 学校をサポートってハイキング(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット2 内容の予習
3	ユニット2 フランス人上海に(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
4	ユニット2 フランス人上海に(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット3 内容の予習
5	ユニット3 成人も漫画?(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
6	ユニット3 成人も漫画?(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット4 内容の予習
7	ユニット4 ある日の哲学授業(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
8	ユニット4 ある日の哲学授業(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット5 内容の予習
9	ユニット5 私のボランティア活動(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
10	ユニット5 私のボランティア活動(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット6 内容の予習
11	ユニット6 田舎から来た母親(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
12	ユニット6 田舎から来た母親(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット7 内容の予習
13	ユニット7 蠅とビリヤード(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
14	ユニット7 蠅とビリヤード(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文中の日訳。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
15	総復習	後期内容の総復習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	3年次の中国語科目:「総合中国語」「中国語コミュニケーション」「中国語原書講読Ⅰ」「中国語会話表現法Ⅰ」「ビジネス中国語Ⅲ」「中国語トピックス」
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	試験は単元ごとに小テストを行います。
学生への メッセージ	プリント方式の教材なので、保管用のファイルを用意してください。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	日中翻訳法Ⅱb	科目名(英文)	Academic Writing in Chinese IⅡb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	L
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	馮 艶
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期と同様、中級レベルの中国語作文を中心に文章技術のレベルアップを図ることが目的である。本講義では、ある場面における中国語表現の基本文型や関連語句を覚え、翻訳方法を学習する。実用的な文章を書けることを最終目標とする。
到達目標	検定試験3級～2級に出題される日文中訳問題に正しく答えられる能力を身につける。
授業方法と留意点	2年次からの「中国語コース」を選択する学生は、これら必修4コマと選択科目4コマを履修してください。「中国語コース」を選択しない学生は必修4コマのほか選択科目4コマの中から適宜選択履修してください。必修科目を履修せず、この授業だけを履修することはできません。
科目学習の効果(資格)	中国語検定試験2級受験可能

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	ユニット1 学校をサポートってハイキング(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文の中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット2 内容の予習
3	ユニット2 フランス人上海に(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
4	ユニット2 フランス人上海に(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文の中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット3 内容の予習
5	ユニット3 成人も漫画?(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
6	ユニット3 成人も漫画?(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文の中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット4 内容の予習
7	ユニット4 ある日の哲学授業(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
8	ユニット4 ある日の哲学授業(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文の中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット5 内容の予習
9	ユニット5 私のボランティア活動(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
10	ユニット5 私のボランティア活動(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文の中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット6 内容の予習
11	ユニット6 田舎から来た母親(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
12	ユニット6 田舎から来た母親(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文の中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。 ユニット7 内容の予習
13	ユニット7 蠅とビリヤード(1)	短文の日訳中 中文の聞き取り 基本文型、関連語句	短文の熟読 関連語句や文型の復習
14	ユニット7 蠅とビリヤード(2)	基本文型と関連語句を使った練習。 例文の中訳日。 練習問題日訳中。 基本文型を使った文作り。	短文の暗記。 練習問題を解答してくる。
15	総復習	後期内容の総復習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	3年次の中国語科目:「総合中国語」「中国語コミュニケーション」「中国語原書講読Ⅰ」「中国語会話表現法Ⅰ」「ビジネス中国語Ⅲ」「中国語トピックス」
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	試験は単元ごとに小テストを行います。
学生への メッセージ	プリント方式の教材なので、保管用のファイルを用意してください。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	日本語学 I	科目名 (英文)	Japanese Linguistics I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	全部で四教科開設している日本語学関係の授業では日本語の体系を考える。 「日本語史概説(日本語学Ⅰ)」では日本語の諸問題について歴史的に学ぶ。 日本語の歴史を知ることが、現在の日本語を考察することにつながる。日本語は、文献が残されている時代からでも、発音も文字も文法も、ずいぶんと変化している。どう変化したのか、なぜ変化したのか、という視点で、古代を中心に各時代の日本語の変化を考察する。
到達目標	日本語の文字、語彙、言葉遣いについて、これまでの経緯を正確に説明することができる。
授業方法と留意点	配布するプリントに沿って講義する。講義の後、コメントを求めたり、課題を出すこともある。
科目学習の効果(資格)	日本語の歴史の理解を通して、言葉に対する関心、理解が深まる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	はじめに	授業の進め方、概説 日本の時代区分	—————
2	山・やま・ヤマはどう違う?	漢字・ひらがな・カタカナの歴史1 漢字の受容	時代区分を覚える
3	山・やま・ヤマはどう違う?	漢字・ひらがな・カタカナの歴史2 ひらがなの成立	万葉仮名について整理する
4	山・やま・ヤマはどう違う?	漢字・ひらがな・カタカナの歴史3 カタカナの成立	ひらがなの成立について整理する
5	山・やま・ヤマはどう違う?	漢字・ひらがな・カタカナの歴史4 様々な文体	カタカナの成立について整理する
6	行列と行進	音読みについて学ぶ	文体についてまとめる
7	生きる・生まれる・生える 《確認小テスト》	訓読みについて学ぶ	音読みについて整理する
8	たかが方言 されど方言	標準語と方言1 標準語の成立	訓読みについて整理する
9	たかが方言 されど方言	標準語と方言2 方言の分布・文法	標準語についてまとめる
10	たかが方言 されど方言	標準語と方言3 方言の拡大と現代語	方言の分布について整理する
11	わたしだ・わしじゃ・わたくしですわ 《確認小テスト》	様々な言葉遣いについて	方言の特徴を調べる
12	「はひふへほ」と「びびぶべぼ」	発音の変化1 古代の発音	言葉遣いについて考察する
13	「はひふへほ」と「びびぶべぼ」	発音の変化2 変化の様子	古代の発音を整理する
14	恋・愛・恋愛 《確認小テスト》	翻訳語について考える	発音の変化を整理する
15	まとめ	これまでの復習テストを行う	これまでの復習

関連科目 日本語音韻論(日本語学Ⅱ)、日本語語彙論(日本語学Ⅲ)、日本語文法論(日本語学Ⅳ)、ことばに関する授業すべて

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準) 確認小テスト・確認テスト(75%)と講義時の課題(25%)から総合的に評価する。
最終週の確認テストの受験を条件とする。

学生へのメッセージ 日本語の歴史を知ることが、現代の日本語の新たな一面が見えてくるはずです。

担当者の研究室等 7号館4階(橋本研究室)

備考 事前・事後学習に要する総時間数は約60時間。

科目名	日本語学Ⅱ	科目名(英文)	Japanese Linguistics II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本語学Ⅰ～Ⅳで日本語の体系を考える。Ⅱでは日本語の音韻について学ぶ。音韻というのは、日本語の「音」に関すること。発音やアクセントなどについて、具体的に考える。外国語を学ぶ上でも重要な、日本語の音について正しく理解する。
到達目標	日本語の発音について、正確な知識をもとに説明することができる。
授業方法と留意点	配布するプリントに基づいて講義する。講義後、コメントを求めることもある。
科目学習の効果(資格)	日本語に対する理解を深める。日本語を相対的に観察し、外国語と比較する視点が身につく。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	授業の進め方 日本語の「音」について、考えてみる	—————
2	言語体系の諸単位 音韻史概観	言語の要素について 日本語の音韻史について概観する	日本語の音について各自考えておく
3	母音	母音をどのように発音しているか考える	日本語の音韻史について復習しておく
4	子音1	子音をどのように発音しているか考える	母音の調音を整理しておく
5	子音2	子音をどのように発音しているか考える	授業で取り上げた子音の発音を確認しておく
6	清音・濁音	清音・濁音をどのように発音しているか考える	授業で取り上げた子音の発音を確認しておく
7	前半のまとめ 《確認小テスト》	ここまでのまとめ 子音の発音の復習問題	子音・母音の調音について復習しておく
8	撥音・促音・長音 日本語の発音の諸問題	撥音・促音・長音について 日本語の発音の諸問題を取り上げる	拍の表を作成しておく
9	拍、音節 五十音図	日本語の拍と音節について考える 日本語の拍の一覧表を作成する	撥音・促音・長音について復習しておく
10	日本語のリズム	日本語が持つリズムの特徴について考える	拍の表に追加をしておく
11	アクセント1	高低アクセントと強弱アクセント アクセントの東西比較	日本語のリズムについての課題を作成しておく
12	アクセント2	アクセントの高低配分	関西と関東のアクセントの違いをまとめておく
13	アクセント3	活用語のアクセント イントネーションとアクセント	アクセントの法則をまとめておく
14	音の交替	母音交替・連濁	アクセントとイントネーションについて復習しておく
15	《確認テスト》 まとめ	復習テストを行う	これまでの復習

関連科目 日本語学Ⅰ・Ⅲ・Ⅳ、ことばに関わるすべての授業

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	確認小テストと確認テスト(75%)、講義時の課題等(25%)により総合的に評価する。最終授業時の確認テストの受験を条件とする。
学生へのメッセージ	日頃何気なく発している日本語は、どのようにして発音されているのか。実際に発音しながら、発音やアクセントについて考えてみましょう。
担当者の研究室等	7号館4階(橋本研究室)
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間。

科目名	日本語学Ⅳ	科目名(英文)	Japanese Linguistics IV
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本語学Ⅳでは、とくに日本語の語彙の成り立ちを中心に、その他文法・文章表現なども含めて、幅広く日本語についての知識や運用力を高めま
到達目標	・日本語の語彙を中心とした基礎的知識を身につける。 ・検定試験に臨むための基本的力を養成する。
授業方法と留意点	プリント・講義ノートに基づいてすすめます。日本語検定試験にも対応できる力を養成することを目指して、講義以外に、多くの練習問題を実施してまいります。その訓練に耐えられるよう、心がけてください。
科目学習の効果(資格)	日本語検定試験を積極的に受験することを薦めます。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	語彙と文法・単語の性質①	語彙と文法とが文の中でどうかかわり合っていくかについて考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	2	語彙と文法・単語の性質②	単語のもつ性質について様々な角度から考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	3	単語の種類①	単語のもつ意味や機能について分析する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	4	単語の種類②	単語のもつ意味や機能について分析する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	5	語構成①	単純語・合成語・複合語・造語法について考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	6	語構成②	単純語・合成語・複合語・造語法について考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	7	語彙の体系	類義語・対義語・語根について考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	8	日本的語彙①	日本的語彙の特質について考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	9	日本的語彙②	日本的語彙の特質について考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	10	意味の変化	時代とともに変化する語彙の歴史について考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	11	比喩	比喩的意味の種々相について考察する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	12	慣用句	慣用句の成り立ちについて分析する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	13	文体的特徴	文体とは何か、日本文の構造から分析を加える。	配布した練習問題の回答とまとめ
	14	表記	送り仮名・仮名遣いなどの日本語表記について分析する。	配布した練習問題の回答とまとめ
	15	総合評価授業	授業全体のまとめをおこない、総合問題を解く。	総まとめ

関連科目	国際教養論(言語)・日本語学Ⅰ～Ⅲ
------	-------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	総合評価授業での総合問題、および練習問題・レポート等を総合して評価する。
----------	--------------------------------------

学生へのメッセージ	ここで学んだことを実際に使ってみることを心がけてください。またそれが可能となる講義を目指します。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階(小川研究室)
----------	--------------

備考	事前・事後の学習は、それぞれ2時間ずつ、総時間60時間を目安とする。
----	------------------------------------

科目名	日本語教育実習演習	科目名 (英文)	Practice in Japanese Teaching
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	3	履修区分	選択科目
学期	通年	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	外国人日本語学習者に実際に日本語を教えるために、具体的な日本語教授法について講義と実習を行います。初級・中級・上級の各コースにおいて、目的や対象などによって指導案及び教材を作成する方法を学び、教育実習期間には本学の外国人留学生を対象に受講者全員が日本語の授業を試みます。
到達目標	*日本語授業を行うための教案および教材作成ができる。 *外国人留学生を対象にした教育実習で日本語の指導ができる。
授業方法と留意点	授業では、講義に加えディスカッション、テキスト・教材分析、教案・教材作成等の作業、授業観察、模擬授業など、日本語を教えるために、より実践的に授業を行います。この科目を受講するには、必要単位数を取得しておかなければならないので、受講前に各自確認しておいてください。
科目学習の効果 (資格)	本学の日本語教師養成課程の修了証

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	日本語教師の役割	日本語教師に求められるもの	日本語教育関連資料収集
3	コースデザイン	コースデザインの方法、学習者別のコースデザイン	日本語教育関連資料収集
4	テキスト・教材分析①	初級のテキスト・教材分析	担当のテキスト分析
5	テキスト・教材分析②	中上級のテキスト・教材分析	レジュメ作成、発表準備
6	発表	各自レジュメに沿って発表	教科書 熟読
7	初級レベルの指導①	指導の実際、教案の書き方	教科書 熟読
8	初級レベルの指導②	指導の実際	教科書 熟読
9	初級レベルの指導③	指導の実際	教科書 熟読
10	初級レベルの指導④	日本語の授業観察	初級のテキスト分析、発表準備
11	初級レベルの指導⑤	日本語の授業観察	課題レポート作成
12	初級レベルの指導⑥	教室活動例、副教材、指導方法の考察	教材、教案作成
13	初級レベルの指導⑦	教室活動例、副教材、指導方法の考察	教材、教案作成、発表準備
14	模擬授業	グループ発表、ディスカッション	発表準備
15	模擬授業	グループ発表、ディスカッション	課題レポート作成
16	中級レベルの指導①	中級レベルの教室活動例・副教材・指導方法の考察	中級レベルの教材作成、発表準備
17	中級レベルの指導②	中級レベルの教室活動例・副教材・指導方法の考察	中級レベルの教材作成、発表準備
18	上級レベルの指導①	上級レベルの教室活動例・副教材・指導方法の考察	上級レベルの教材作成、発表準備、
19	上級レベルの指導②	上級レベルの教室活動例・副教材・指導方法の考察	上級レベルの教材作成、発表準備、
20	指導方法について発表	発表、ディスカッション	配布資料 熟読
21	日本語授業の実際(1)	授業観察	授業観察レポート作成
22	日本語授業の実際(2)	授業観察	授業観察レポート作成
23	日本語授業の実際(3)	授業観察	授業観察レポート作成
24	日本語授業の実際(4)	授業観察	授業観察レポート作成
25	実習準備(1)	日本語教育実習実施概要と留意点、	グループごとに課題
26	実習準備(2)	実習生及び外国人留学生とのグループディスカッション	グループごとに課題
27	教育実習(実習週)	教案作成、教材作成、授業準備、グループディスカッション、指導教員による個別指導	教案作成、教材作成、授業準備、グループディスカッション、
28	教育実習(実習週)	教案作成、教材作成、授業準備、グループディスカッション、指導教員による個別指導	教案作成、教材作成、授業準備、グループディスカッション、
29	実習の反省 自己評価	ディスカッション、発表	実習ノート作成、発表準備
30	作成教材発表、実習のまとめ	発表	実習ノート完成

関連科目 日本語教授法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、日本語学全般、英語科教育法、その他の「日本語教員養成課程」配当の科目。

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	みんなの日本語初級Ⅰ 教え方の手引き		スリーエーネットワーク

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	はじめての日本語教育2		アスク

評価方法 (基準) 授業におけるタスク達成度・討論・発表、及び作成した教案・教材や実習ノート等から総合的に評価します。

学生へのメッセージ 外国人留学生に実際に日本語を教えることは貴重な経験になります。特に本学では、学内で教育実習ができる恵まれた環境で日本語教育について学べます。このチャンスを最大限生かして、多くのことを学んでください。

担当者の研究室等 7号館4階(門脇研究室)

備考

科目名	日本語教育実習	科目名 (英文)	Practice in Japanese Teaching
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	3	履修区分	選択科目
学期	通年	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	外国人日本語学習者に実際に日本語を教えるために、具体的な日本語教授法について講義と実習を行います。初級・中級・上級の各コースにおいて、目的や対象などによって指導案及び教材を作成する方法を学び、教育実習期間には本学の外国人留学生を対象に受講者全員が日本語の授業を試みます。
到達目標	*日本語授業を行うための教案および教材作成ができる。 *外国人留学生を対象にした教育実習で日本語の指導ができる。
授業方法と留意点	授業では、講義に加えディスカッション、テキスト・教材分析、教案・教材作成等の作業、授業観察、模擬授業など、日本語を教えるために、より実践的に授業を行います。この科目を受講するには、必要単位数を取得しておかなければならないので、受講前に各自確認しておいてください。
科目学習の効果 (資格)	本学の日本語教師養成課程の修了証

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	日本語教師の役割	日本語教師に求められるもの	日本語教育関連資料収集
3	コースデザイン	コースデザインの方法、学習者別のコースデザイン	日本語教育関連資料収集
4	テキスト・教材分析①	初級のテキスト・教材分析	担当のテキスト分析
5	テキスト・教材分析②	中上級のテキスト・教材分析	レジュメ作成、発表準備
6	発表	各自レジュメに沿って発表	教科書 熟読
7	初級レベルの指導①	指導の実際、教案の書き方	教科書 熟読
8	初級レベルの指導②	指導の実際	教科書 熟読
9	初級レベルの指導③	指導の実際	教科書 熟読
10	初級レベルの指導④	日本語の授業観察	初級のテキスト分析、発表準備
11	初級レベルの指導⑤	日本語の授業観察	課題レポート作成
12	初級レベルの指導⑥	教室活動例、副教材、指導方法の考察	教材、教案作成
13	初級レベルの指導⑦	教室活動例、副教材、指導方法の考察	教材、教案作成、発表準備
14	模擬授業	グループ発表、ディスカッション	発表準備
15	模擬授業	グループ発表、ディスカッション	課題レポート作成
16	中級レベルの指導①	中級レベルの教室活動例・副教材・指導方法の考察	中級レベルの教材作成、発表準備
17	中級レベルの指導②	中級レベルの教室活動例・副教材・指導方法の考察	中級レベルの教材作成、発表準備
18	上級レベルの指導①	上級レベルの教室活動例・副教材・指導方法の考察	上級レベルの教材作成、発表準備、
19	上級レベルの指導②	上級レベルの教室活動例・副教材・指導方法の考察	上級レベルの教材作成、発表準備、
20	指導方法について発表	発表、ディスカッション	配布資料 熟読
21	日本語授業の実際(1)	授業観察	授業観察レポート作成
22	日本語授業の実際(2)	授業観察	授業観察レポート作成
23	日本語授業の実際(3)	授業観察	授業観察レポート作成
24	日本語授業の実際(4)	授業観察	授業観察レポート作成
25	実習準備(1)	日本語教育実習実施概要と留意点、	グループごとに課題
26	実習準備(2)	実習生及び外国人留学生とのグループディスカッション	グループごとに課題
27	教育実習(実習週)	教案作成、教材作成、授業準備、グループディスカッション、指導教員による個別指導	教案作成、教材作成、授業準備、グループディスカッション、
28	教育実習(実習週)	教案作成、教材作成、授業準備、グループディスカッション、指導教員による個別指導	教案作成、教材作成、授業準備、グループディスカッション、
29	実習の反省 自己評価	ディスカッション、発表	実習ノート作成、発表準備
30	作成教材発表、実習のまとめ	発表	実習ノート完成

関連科目 日本語教授法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、日本語学全般、英語科教育法、その他の「日本語教員養成課程」配当の科目。

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	みんなの日本語初級Ⅰ 教え方の手引き		スリーエーネットワーク

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	はじめての日本語教育2		アスク

評価方法 (基準) 授業におけるタスク達成度・討論・発表、及び作成した教案・教材や実習ノート等から総合的に評価します。

学生へのメッセージ 外国人留学生に実際に日本語を教えることは貴重な経験になります。特に本学では、学内で教育実習ができる恵まれた環境で日本語教育について学べます。このチャンスを最大限生かして、多くのことを学んでください。

担当者の研究室等 7号館4階(門脇研究室)

備考

科目名	日本語教授法Ⅰ	科目名(英文)	Japanese Teaching Methodology I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	「日本語教授法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の中で、本授業では、外国語教授法、教科書・教材論、コースデザイン、日本語の文字・語彙・文法とその指導方法など、外国語としての日本語教育について広く概観する。			
到達目標	教科書の前半内容に関する知識を習得する。			
授業方法と留意点	授業は、講義の他にグループディスカッション、DVD視聴、課題、発表も含まれる。			
科目学習の効果(資格)	「日本語教員養成課程」必修科目の一つ。「日本語教授法Ⅱ・Ⅲ」の先行科目。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の概要・進め方・評価について・学習にあたっての留意事項	教科書第1章第1節
	2	日本語教育と外国語教育	日本語教育と国語教育、日本語教育と英語教育	教科書第1章第2節
	3	日本語教育の歴史	時代区分別の日本語教育史	教科書第2章第1節
	4	外国語教授法(1)	外国語教授法の理論と実践	DVDを視聴し、授業観察、教授法理論のレポート作成
	5	外国語教授法(2)	外国語教授法の理論と実践	DVDを視聴し、授業観察、教授法理論のレポート作成
	6	外国語教授法(3)	外国語教授法の理論と実践	教授法理論のレポート作成、教科書第2章第2節
	7	コースデザイン	コースデザイン、シラバスデザイン、ニューズアナリシス、評価	教科書及びその他資料による課題
	8	日本語教育の目標	レベル別目標、日本語能力試験の目標	教科書及びその他資料の課題
	9	教材・教具(1)	日本語教育の教科書	課題(教科書分析)
	10	教材・教具(2)	日本語教育の教材・教具	課題(教材分析)、教科書第3章第1節
	11	日本語学の基礎知識:文法	日本語教育のための日本語文法とその指導方法	教科書第3章第2節
	12	日本語学の基礎知識:語彙	日本語の語彙の特徴、語彙の指導方法	教科書第3章第3節
	13	日本語学の基礎知識:文字	文字の種類と指導方法	教科書第3章第4節
	14	外国人学習者の日本語	外国人学習者との接触場面における学習者の日本語観察	教科書及びその他資料の課題
	15	総復習・確認テスト	教科書の内容についての理解度確認	総復習
関連科目	日本語教授法Ⅱ・Ⅲ、日本語学全般、日本語教育実習、その他の「日本語教員養成課程(副専攻相当)」配当の選択科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	日本語教育法概論	東海大学留学生教育センター編	東海大学出版会
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	課題、レポート、授業への参加度、テスト等により総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	外国人を対象に外国語として日本語を教える面白さを皆で共有したいと思います。			
担当者の研究室等備考	7号館4階(門脇研究室)			

科目名	日本語教授法Ⅱ	科目名(英文)	Japanese Teaching Methodology II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	藤原 京佳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	初級レベルの文法項目を通覧し、多くの例文を文法的に分析する。																																																																		
到達目標	日本語の文法知識と分析方法を習得すること。																																																																		
授業方法と留意点	授業は、講義の他にグループによる話し合い、発表も含まれる。																																																																		
科目学習の効果(資格)	日本語教員養成副専攻必須科目の一つ。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業の進め方</td> <td>シラバスを読んでおく。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>文法を教えるとは</td> <td>文法を教える際に気をつけなければならないことについて知る。</td> <td>文法を教える際の留意点を復習する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>文型</td> <td>初級で扱われる主要な文型について知る。</td> <td>日本語教育で扱われる文型とは何か、どのような文型があるか復習する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>動詞</td> <td>日本語教育で使われている動詞の分類と活用について知る。</td> <td>動詞の分類のしかた(グループ分け)について復習する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>形容詞と名詞</td> <td>形容詞の分類方法と形容詞・名詞の活用について知る。</td> <td>形容詞・名詞の活用のしかたについて復習する。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>指示詞</td> <td>こ・そ・あの使い分けについて知る。</td> <td>こ・そ・あのさまざまな用法の違いについて復習する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>格助詞</td> <td>主に場所を表す格助詞について知る。</td> <td>場所を表す格助詞(に・で・を)の違いを整理して復習する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>存在文</td> <td>「います・あります」の使い分けについて知る。</td> <td>存在文の形と使用される助詞について復習する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>授受表現</td> <td>日本語の授受表現の特徴について知る。</td> <td>授受表現の使い分けについて復習する。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>自動詞・他動詞</td> <td>日本語の自動詞・他動詞の違いについて知る。</td> <td>自動詞・他動詞の形と意味の違いを整理して復習する。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>受身①</td> <td>日本語の受身の特徴と分類について知る。</td> <td>受身形の作り方と受身の分類について復習する。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>受身②</td> <td>日本語の受身の特徴と分類について知る。</td> <td>日本語の受身の特徴について復習する。</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>敬語</td> <td>日本語の敬語の体系について知る。</td> <td>尊敬語・謙譲語の使用のしかたを復習する。</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>まとめ・確認</td> <td>学習事項の確認として試験を行う。</td> <td>これまでの学習事項を復習する。</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>フィードバックおよび振り返りと文献紹介</td> <td>授業の振り返り、日本語初級文法の理解に役立つ文献を紹介する。</td> <td>授業で学習したことをどのように今後に生かすか考えておく。</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の進め方	シラバスを読んでおく。	2	文法を教えるとは	文法を教える際に気をつけなければならないことについて知る。	文法を教える際の留意点を復習する。	3	文型	初級で扱われる主要な文型について知る。	日本語教育で扱われる文型とは何か、どのような文型があるか復習する。	4	動詞	日本語教育で使われている動詞の分類と活用について知る。	動詞の分類のしかた(グループ分け)について復習する。	5	形容詞と名詞	形容詞の分類方法と形容詞・名詞の活用について知る。	形容詞・名詞の活用のしかたについて復習する。	6	指示詞	こ・そ・あの使い分けについて知る。	こ・そ・あのさまざまな用法の違いについて復習する。	7	格助詞	主に場所を表す格助詞について知る。	場所を表す格助詞(に・で・を)の違いを整理して復習する。	8	存在文	「います・あります」の使い分けについて知る。	存在文の形と使用される助詞について復習する。	9	授受表現	日本語の授受表現の特徴について知る。	授受表現の使い分けについて復習する。	10	自動詞・他動詞	日本語の自動詞・他動詞の違いについて知る。	自動詞・他動詞の形と意味の違いを整理して復習する。	11	受身①	日本語の受身の特徴と分類について知る。	受身形の作り方と受身の分類について復習する。	12	受身②	日本語の受身の特徴と分類について知る。	日本語の受身の特徴について復習する。	13	敬語	日本語の敬語の体系について知る。	尊敬語・謙譲語の使用のしかたを復習する。	14	まとめ・確認	学習事項の確認として試験を行う。	これまでの学習事項を復習する。	15	フィードバックおよび振り返りと文献紹介	授業の振り返り、日本語初級文法の理解に役立つ文献を紹介する。	授業で学習したことをどのように今後に生かすか考えておく。
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の進め方	シラバスを読んでおく。																																																																
2	文法を教えるとは	文法を教える際に気をつけなければならないことについて知る。	文法を教える際の留意点を復習する。																																																																
3	文型	初級で扱われる主要な文型について知る。	日本語教育で扱われる文型とは何か、どのような文型があるか復習する。																																																																
4	動詞	日本語教育で使われている動詞の分類と活用について知る。	動詞の分類のしかた(グループ分け)について復習する。																																																																
5	形容詞と名詞	形容詞の分類方法と形容詞・名詞の活用について知る。	形容詞・名詞の活用のしかたについて復習する。																																																																
6	指示詞	こ・そ・あの使い分けについて知る。	こ・そ・あのさまざまな用法の違いについて復習する。																																																																
7	格助詞	主に場所を表す格助詞について知る。	場所を表す格助詞(に・で・を)の違いを整理して復習する。																																																																
8	存在文	「います・あります」の使い分けについて知る。	存在文の形と使用される助詞について復習する。																																																																
9	授受表現	日本語の授受表現の特徴について知る。	授受表現の使い分けについて復習する。																																																																
10	自動詞・他動詞	日本語の自動詞・他動詞の違いについて知る。	自動詞・他動詞の形と意味の違いを整理して復習する。																																																																
11	受身①	日本語の受身の特徴と分類について知る。	受身形の作り方と受身の分類について復習する。																																																																
12	受身②	日本語の受身の特徴と分類について知る。	日本語の受身の特徴について復習する。																																																																
13	敬語	日本語の敬語の体系について知る。	尊敬語・謙譲語の使用のしかたを復習する。																																																																
14	まとめ・確認	学習事項の確認として試験を行う。	これまでの学習事項を復習する。																																																																
15	フィードバックおよび振り返りと文献紹介	授業の振り返り、日本語初級文法の理解に役立つ文献を紹介する。	授業で学習したことをどのように今後に生かすか考えておく。																																																																
関連科目	日本語教授法Ⅰ&Ⅱ、日本語学、日本語教育実習等																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加態度、発表、学期末試験などを総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	普段何気なくつかっている日本語について分析的に考え、日本語という言葉をもとに新たな視点で捉えてみましょう。また、この授業を通して日本語を学習している人たちにとって何が難しいのかということも考えてみてください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	質問・相談は授業前または授業後に対応する。メールでも可。 毎回新しい文法事項を扱うので、毎授業後に30分から1時間程度の復習が必要。																																																																		

科目名	日本語教授法Ⅲ	科目名(英文)	Japanese Teaching Methodology III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	宮崎 玲子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本語を教えるときに必要となる基礎的知識・技能を身につける。
到達目標	日本語教員資格取得のための基礎力を身につける。
授業方法と留意点	授業は、講義の他にグループディスカッション、課題、発表も含まれる。事前に教科書を読んでくることが求められる。
科目学習の効果(資格)	日本語教員資格取得のための実力養成

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	第3章第4節「音声」	日本語の音声の指導、学習について考える。	授業内容を復習する。 教科書の第4章第1節を読む。
3	第4章第1節「読むことに焦点を当てた指導の理論と実践」1	「読む」ことの指導方法について考える。	授業内容を復習する。
4	第4章第1節「読むことに焦点を当てた指導の理論と実践」2	「読む」ことの指導方法について考える。	授業内容を復習する。 教科書の第4章第2節を読む。
5	第4章第2節「聞くことに焦点を当てた指導の理論と実践」1	「聞く」ことの指導方法について考える。	授業内容を復習する。
6	第4章第2節「聞くことに焦点を当てた指導の理論と実践」2	「聞く」ことの指導方法について考える。	授業内容を復習する。 教科書の第4章第3節を読む。
7	第4章第3節「話すことに焦点を当てた指導の理論と実践」1	「話す」ことの指導方法について考える。	授業内容を復習する。
8	第4章第3節「話すことに焦点を当てた指導の理論と実践」2	「話す」ことの指導方法について考える。	授業内容を復習する。 教科書の第4章第4節を読む。
9	第4章第4節「書くことに焦点を当てた指導の理論と実践」1	「書く」ことの指導方法について考える。	授業内容を復習する。
10	第4章第4節「書くことに焦点を当てた指導の理論と実践」2	「書く」ことの指導方法について考える。	授業内容を復習する。 教科書の第4章第5節を読む。
11	第4章第5節「日本事情に焦点を当てた指導の理論と実践」	「日本事情」の指導方法について考える。	授業内容を復習する。 教科書の第5章第1節を読む。
12	第5章第1節「学習者の異文化体験」	異文化コミュニケーションについて考える。	授業内容を復習する。 教科書の第5章第2節を読む。
13	第5章第2節「留学生が経験する現実の接触場面」	現実の接触場面で必要な能力について考える。	授業内容を復習する。 教科書の第5章第3節を読む。
14	第5章第3節「日本語学習者の情意要因」	学習動機などの学習者の情意面について考える。	授業内容を復習する。
15	期末試験	筆記試験の実施	教科書・プリントを復習しておくこと。

関連科目 日本語教授法Ⅰ、日本語教授法Ⅱ、日本語学、日本語教育実習、その他の選択科目。

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	日本語教育法概論	東海大学留学生教育センター	東海大学出版会
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	課題、発表、授業への参加態度、期末試験などを総合的に評価する。
学生へのメッセージ	前期に学んだ日本語教育や日本語に関する知識をもとに、自分自身の外国語学習経験も振り返りながら、外国人にとって分かりやすく楽しい日本語の教え方について共に考えましょう。また、今後日本語教育に関わるにあたり、大切なことは何か考えましょう。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	日本語史概説	科目名(英文)	History of Japanese Language
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	全部で四教科開設している日本語学関係の授業では日本語の体系を考える。 「日本語史概説(日本語学Ⅰ)」では日本語の諸問題について歴史的に学ぶ。 日本語の歴史を知ることが、現在の日本語を考察することにつながる。日本語は、文献が残されている時代からでも、発音も文字も文法も、ずいぶんと変化している。どう変化したのか、なぜ変化したのか、という視点で、古代を中心に各時代の日本語の変化を考察する。
到達目標	日本語の文字、語彙、言葉遣いについて、これまでの経緯を正確に説明することができる。
授業方法と留意点	配布するプリントに沿って講義する。講義の後、コメントを求めたり、課題を出すこともある。
科目学習の効果(資格)	日本語の歴史の理解を通して、言葉に対する関心、理解が深まる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	はじめに	授業の進め方、概説 日本の時代区分	—————
2	山・やま・ヤマはどう違う?	漢字・ひらがな・カタカナの歴史1 漢字の受容	時代区分を覚える
3	山・やま・ヤマはどう違う?	漢字・ひらがな・カタカナの歴史2 ひらがなの成立	万葉仮名について整理する
4	山・やま・ヤマはどう違う?	漢字・ひらがな・カタカナの歴史3 カタカナの成立	ひらがなの成立について整理する
5	山・やま・ヤマはどう違う?	漢字・ひらがな・カタカナの歴史4 様々な文体	カタカナの成立について整理する
6	行列と行進	音読みについて学ぶ	文体についてまとめる
7	生きる・生まれる・生える 《確認小テスト》	訓読みについて学ぶ	音読みについて整理する
8	たかが方言 されど方言	標準語と方言1 標準語の成立	訓読みについて整理する
9	たかが方言 されど方言	標準語と方言2 方言の分布・文法	標準語についてまとめる
10	たかが方言 されど方言	標準語と方言3 方言の拡大と現代語	方言の分布について整理する
11	わたしだ・わしじゃ・わたくしですわ 《確認小テスト》	様々な言葉遣いについて	方言の特徴を調べる
12	「はひふへほ」と「びびぶべぼ」	発音の変化1 古代の発音	言葉遣いについて考察する
13	「はひふへほ」と「びびぶべぼ」	発音の変化2 変化の様子	古代の発音を整理する
14	恋・愛・恋愛 《確認小テスト》	翻訳語について考える	発音の変化を整理する
15	まとめ	これまでの復習テストを行う	これまでの復習

関連科目 日本語音韻論(日本語学Ⅱ)、日本語語彙論(日本語学Ⅲ)、日本語文法論(日本語学Ⅳ)、ことばに関する授業すべて

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準) 確認小テスト・確認テスト(75%)と講義時の課題(25%)から総合的に評価する。最終週の確認テストの受験を条件とする。

学生へのメッセージ 日本語の歴史を知ることが、現代の日本語の新たな一面が見えてくるはずです。

担当者の研究室等 7号館4階(橋本研究室)

備考 事前・事後学習に要する総時間数は約60時間。

科目名	日本語上級会話 I	科目名 (英文)	Advanced Japanese Speaking FI
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	高井 美徳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では、「お金」「家族」「幸福」「労働」など、個人や社会の価値観にかかわるようなトピックについて、日本語で議論する能力を伸ばす。			
到達目標	抽象的な話題について、論理的に意見を述べるができるようになることを目指す。			
授業方法と留意点	統計数理研究所「日本人の国民性調査」の質問項目および結果について議論する。その過程で、意見を構成するために必要な語彙を学ぶ。			
科目学習の 効果 (資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	トピック①	議論	復習
	2	トピック②	議論	復習
	3	トピック③	議論	復習
	4	トピック④	議論	復習
	5	トピック⑤	議論	復習
	6	トピック⑥	議論	復習
	7	トピック⑦	議論	復習
	8	中間テスト・復習	インタビュー形式によるテスト	復習
	9	トピック⑧	議論	復習
	10	トピック⑨	議論	復習
	11	トピック⑩	議論	復習
	12	トピック⑪	議論	復習
	13	トピック⑫	議論	復習
	14	トピック⑬	議論	復習
	15	まとめ	インタビュー形式によるテスト	復習
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業への取り組み、2回のテストから総合的に判断する。			
学生への メッセージ	受講生の日本語レベル等によって内容を変更することがあります。			
担当者の 研究室等	国際交流センター (3号館4階)			
備考				

科目名	日本語上級会話Ⅱ	科目名(英文)	Advanced Japanese Speaking FII
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	高井 美徳
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本語会話Ⅰと同様、個人や社会の価値観にかかわるような話題について日本語で議論する能力を伸ばす。																																																																		
到達目標	抽象的な話題について論理的に意見を述べるができるようになることを目指す。																																																																		
授業方法と留意点	統計数理研究所「日本人の国民性調査」の質問項目のなかから、前期に扱わなかった項目およびその結果について議論する。また、その過程で、意見を構成するために必要な語彙を学ぶ。																																																																		
科目学習の効果(資格)																																																																			
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>トピック①</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>トピック②</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>3</td><td>トピック③</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>トピック④</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>5</td><td>トピック⑤</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>6</td><td>トピック⑥</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>中間テスト・復習</td><td>インタビュー形式によるテスト</td><td>復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>トピック⑦</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>9</td><td>トピック⑧</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>10</td><td>トピック⑨</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>11</td><td>トピック⑩</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>12</td><td>トピック⑪</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>13</td><td>トピック⑫</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>14</td><td>トピック⑬</td><td>議論</td><td>復習</td></tr> <tr><td>15</td><td>まとめ</td><td>インタビュー形式によるテスト</td><td>復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	トピック①	議論	復習	2	トピック②	議論	復習	3	トピック③	議論	復習	4	トピック④	議論	復習	5	トピック⑤	議論	復習	6	トピック⑥	議論	復習	7	中間テスト・復習	インタビュー形式によるテスト	復習	8	トピック⑦	議論	復習	9	トピック⑧	議論	復習	10	トピック⑨	議論	復習	11	トピック⑩	議論	復習	12	トピック⑪	議論	復習	13	トピック⑫	議論	復習	14	トピック⑬	議論	復習	15	まとめ	インタビュー形式によるテスト	復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	トピック①	議論	復習																																																																
2	トピック②	議論	復習																																																																
3	トピック③	議論	復習																																																																
4	トピック④	議論	復習																																																																
5	トピック⑤	議論	復習																																																																
6	トピック⑥	議論	復習																																																																
7	中間テスト・復習	インタビュー形式によるテスト	復習																																																																
8	トピック⑦	議論	復習																																																																
9	トピック⑧	議論	復習																																																																
10	トピック⑨	議論	復習																																																																
11	トピック⑩	議論	復習																																																																
12	トピック⑪	議論	復習																																																																
13	トピック⑫	議論	復習																																																																
14	トピック⑬	議論	復習																																																																
15	まとめ	インタビュー形式によるテスト	復習																																																																
関連科目																																																																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への取り組み、2回のインタビューテストから総合的に判断する。																																																																		
学生へのメッセージ																																																																			
担当者の研究室等	国際交流センター(3号館4階)																																																																		
備考																																																																			

科目名	日本語上級作文 I	科目名 (英文)	Advanced Japanese Writing FI
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中岡 樹里
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	様々な状況・場面における作文を通し、相手との関係や文を書く目的、使用する媒体に応じた適切な文が書けるようになることを目指す。																																																																		
到達目標	相手との関係や文を書く目的、使用する媒体に応じて適切な文が書けるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	授業は、実践と解説を中心に行う。																																																																		
科目学習の効果(資格)	相手との関係、書く内容、使用媒体に応じた適切な文章が書けるようになる。																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業の説明、様々なコミュニケーションツールとその使用について学習する</td> <td>————</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Eメールの基本1</td> <td>Eメールの基本を学習する</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Eメールの基本2</td> <td>Eメールの基本を学習する</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Eメール1</td> <td>近況を知らせるメール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Eメール2</td> <td>お知らせメール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Eメール3</td> <td>お誘いメール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Eメール4</td> <td>リマインドメール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Eメール5</td> <td>問い合わせ/質問メール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Eメール6</td> <td>依頼メール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Eメール7</td> <td>アポイント/日程調整メール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Eメール8</td> <td>お礼のメール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Eメール9</td> <td>断りメール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>Eメール10</td> <td>クレームのメール</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>手紙</td> <td>お礼状を書く</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習・確認テスト</td> <td>総復習、確認テスト</td> <td>復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション	授業の説明、様々なコミュニケーションツールとその使用について学習する	————	2	Eメールの基本1	Eメールの基本を学習する	復習	3	Eメールの基本2	Eメールの基本を学習する	復習	4	Eメール1	近況を知らせるメール	復習	5	Eメール2	お知らせメール	復習	6	Eメール3	お誘いメール	復習	7	Eメール4	リマインドメール	復習	8	Eメール5	問い合わせ/質問メール	復習	9	Eメール6	依頼メール	復習	10	Eメール7	アポイント/日程調整メール	復習	11	Eメール8	お礼のメール	復習	12	Eメール9	断りメール	復習	13	Eメール10	クレームのメール	復習	14	手紙	お礼状を書く	復習	15	総復習・確認テスト	総復習、確認テスト	復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション	授業の説明、様々なコミュニケーションツールとその使用について学習する	————																																																																
2	Eメールの基本1	Eメールの基本を学習する	復習																																																																
3	Eメールの基本2	Eメールの基本を学習する	復習																																																																
4	Eメール1	近況を知らせるメール	復習																																																																
5	Eメール2	お知らせメール	復習																																																																
6	Eメール3	お誘いメール	復習																																																																
7	Eメール4	リマインドメール	復習																																																																
8	Eメール5	問い合わせ/質問メール	復習																																																																
9	Eメール6	依頼メール	復習																																																																
10	Eメール7	アポイント/日程調整メール	復習																																																																
11	Eメール8	お礼のメール	復習																																																																
12	Eメール9	断りメール	復習																																																																
13	Eメール10	クレームのメール	復習																																																																
14	手紙	お礼状を書く	復習																																																																
15	総復習・確認テスト	総復習、確認テスト	復習																																																																
関連科目	総合日本語、日本語読解、日本語会話、日本事情																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	授業への参加態度、課題などを総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	相手、内容、媒体に応じた効果的な書き方を勉強しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	(1)宿題(教員へのメール送信)は、授業中に適宜指示する。 (2)授業外の質問等については、メールで対応する。 (3)授業内容は、進度等に応じて変更する場合がある。																																																																		

科目名	日本語上級作文Ⅱ	科目名(英文)	Advanced Japanese Writing FII
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中岡 樹里
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ビジネス場面でのメール交換について解説しながら、実践を通し、状況・目的に応じて適切なビジネスメールが書けるようになることを目指す。			
到達目標	日本のビジネス場面やビジネス場面でのメール交換について理解し、状況や目的、相手に応じて適切なビジネスメールが書けるようになる。			
授業方法と留意点	授業は、講義と実践を中心に行う。			
科目学習の効果(資格)	状況や目的、相手に応じた適切なビジネスメールが書けるようになる。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション ビジネス場面のライティング	授業の説明、 ビジネス場面でのライティングについて学習する	—————
	2	就職活動1	就職活動について学習する 履歴書を書く	復習
	3	就職活動2	自己PRを書く	復習
	4	ビジネスマナー ビジネスコミュニケーション	ビジネスマナー、ビジネス場面でのコミュニケーションについて学習する	復習
	5	ビジネスメールの基本	ビジネスメールの基本を学ぶ	復習
	6	ビジネスメール1	挨拶メール	復習
	7	ビジネスメール2	報告メール	復習
	8	ビジネスメール3	通知メール	復習
	9	ビジネスメール4	案内メール	復習
	10	ビジネスメール5	確認メール	復習
	11	ビジネスメール6	依頼メール	復習
	12	ビジネスメール7	問い合わせ/回答メール	復習
	13	ビジネスメール8	アポイントを取るメール	復習
	14	ビジネスメール9	お詫び/お礼のメール	復習
	15	総復習・確認テスト	総復習・確認テスト	復習
関連科目	総合日本語、日本語読解、日本語会話、日本事情			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	授業への参加態度、課題などを総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	日系企業や日本国内の会社で働く際に必要な知識やビジネスメールの書き方を勉強して、就職に備えた練習をしましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	(1)宿題(教員へのメール送信)は、授業中に適宜指示する。 (2)授業外の質問等については、メールで対応する。 (3)授業内容は、進度等に応じて変更する場合がある。			

科目名	日本語上級読解 I	科目名 (英文)	Advanced Japanese Reading R
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	古川 由理子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>この授業では次の3点を目標にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る ②まとまった内容の文章の大意を把握する ③できるだけ速く①と②をできるようにする <p>なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。</p>																																																																		
到達目標	<p>日常生活に必要な文章から、大学生活において求められるレベルのある程度専門性のある文章まで、レベルの異なる文章をできるだけ速く読み、自分に必要な情報を読み取れるようになる。</p> <p>JLPTを受験する予定の者は、それぞれ、ターゲット級に合格する (N1、N2に限る)。</p>																																																																		
授業方法と留意点	<p>この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確にいていねいに読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. キーワード・キーセンテンスを探す 2. 接続詞に注意する 3. テキストの流れに注意する 4. 予測して読む 5. テキストをまとめる 																																																																		
科目学習の効果 (資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。 ・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。 ・その成果を専門の文章の読解に応用する。 <p>(・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)</p>																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス</td> <td>授業の概要説明 プレースメントテスト</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>指示語に注意する</td> <td>練習問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>キーワードに注意する</td> <td>穴埋め問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>文章の内容を予測する</td> <td>並べ替えの問題</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>キーセンテンスを探す (1)</td> <td>練習問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>キーセンテンスを探す (2)</td> <td>練習問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>要約をする</td> <td>全体を問う問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>説明文を読む (1)</td> <td>2～3の説明文を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>説明文を読む (2)</td> <td>2～3の説明文を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>論説文を読む (1)</td> <td>2～3の論説文を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>論説文を読む (2)</td> <td>2～3の論説文を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>随筆を読む</td> <td>2～3の随筆を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>小説を読む (1)</td> <td>2～3の小説を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>小説を読む (2)</td> <td>2～3の小説を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>期末テスト</td> <td>授業中に指示する</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	ガイダンス	授業の概要説明 プレースメントテスト	復習	2	指示語に注意する	練習問題をこなす	授業内容を復習する	3	キーワードに注意する	穴埋め問題をこなす	授業内容を復習する	4	文章の内容を予測する	並べ替えの問題	授業内容を復習する	5	キーセンテンスを探す (1)	練習問題をこなす	授業内容を復習する	6	キーセンテンスを探す (2)	練習問題をこなす	授業内容を復習する	7	要約をする	全体を問う問題をこなす	授業内容を復習する	8	説明文を読む (1)	2～3の説明文を読み、問題を解く	授業内容を復習する	9	説明文を読む (2)	2～3の説明文を読み、問題を解く	授業内容を復習する	10	論説文を読む (1)	2～3の論説文を読み、問題を解く	授業内容を復習する	11	論説文を読む (2)	2～3の論説文を読み、問題を解く	授業内容を復習する	12	随筆を読む	2～3の随筆を読み、問題を解く	授業内容を復習する	13	小説を読む (1)	2～3の小説を読み、問題を解く	授業内容を復習する	14	小説を読む (2)	2～3の小説を読み、問題を解く	授業内容を復習する	15	期末テスト	授業中に指示する	授業内容を復習する
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	ガイダンス	授業の概要説明 プレースメントテスト	復習																																																																
2	指示語に注意する	練習問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
3	キーワードに注意する	穴埋め問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
4	文章の内容を予測する	並べ替えの問題	授業内容を復習する																																																																
5	キーセンテンスを探す (1)	練習問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
6	キーセンテンスを探す (2)	練習問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
7	要約をする	全体を問う問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
8	説明文を読む (1)	2～3の説明文を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
9	説明文を読む (2)	2～3の説明文を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
10	論説文を読む (1)	2～3の論説文を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
11	論説文を読む (2)	2～3の論説文を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
12	随筆を読む	2～3の随筆を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
13	小説を読む (1)	2～3の小説を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
14	小説を読む (2)	2～3の小説を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
15	期末テスト	授業中に指示する	授業内容を復習する																																																																
関連科目	日本語表現作文																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	<p>定期試験を実施 (試験の形式については授業中に説明する)</p> <p>出席・授業態度 + 期末テスト = 100% 50% 50%</p>																																																																		
学生へのメッセージ	<p>受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。</p> <p>出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。</p>																																																																		
担当者の研究室等	外国語学部非常勤講師室 (7号館2階)																																																																		
備考	受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。																																																																		

科目名	日本語上級読解Ⅱ	科目名(英文)	Advanced Japanese Reading R
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	古川 由理子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>この授業では次の3点を目標にします。</p> <p>①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る</p> <p>②まとまった内容の文章の大意を把握する</p> <p>③できるだけ速く①と②をできるようにする</p> <p>なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。</p>																																																																		
到達目標	<p>日常生活に必要な文章から、大学生活において求められるレベルのある程度専門性のある文章まで、レベルの異なる文章をできるだけ速く読み、自分に必要な情報を読み取れるようになる。</p> <p>JLPTを受験する予定の者は、それぞれ、ターゲット級に合格する(N1、N2に限る)。</p>																																																																		
授業方法と留意点	<p>この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確に、正確に、正確に読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キーワード・キーセンテンスを探す 2. 接続詞に注意する 3. テキストの流れに注意する 4. 予測して読む 5. テキストをまとめる 																																																																		
科目学習の効果(資格)	<ul style="list-style-type: none"> ・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。 ・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。 ・その成果を専門の文章の読解に応用する。 <p>(・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)</p>																																																																		
授業計画	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス</td> <td>授業の概要説明 ブレースメントテスト</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>指示語に注意する</td> <td>練習問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>キーワードに注意する</td> <td>穴埋め問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>文章の内容を予測する</td> <td>並べ替えの問題</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>キーセンテンスを探す(1)</td> <td>練習問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>キーセンテンスを探す(2)</td> <td>練習問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>要約をする</td> <td>全体を問う問題をこなす</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>説明文を読む(1)</td> <td>2～3の説明文を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>説明文を読む(2)</td> <td>2～3の説明文を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>論説文を読む(1)</td> <td>2～3の論説文を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>論説文を読む(2)</td> <td>2～3の論説文を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>随筆を読む</td> <td>2～3の随筆を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>小説を読む(1)</td> <td>2～3の小説を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>小説を読む(2)</td> <td>2～3の小説を読み、問題を解く</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>期末テスト</td> <td>授業中に指示する</td> <td>授業内容を復習する</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	1	ガイダンス	授業の概要説明 ブレースメントテスト	復習	2	指示語に注意する	練習問題をこなす	授業内容を復習する	3	キーワードに注意する	穴埋め問題をこなす	授業内容を復習する	4	文章の内容を予測する	並べ替えの問題	授業内容を復習する	5	キーセンテンスを探す(1)	練習問題をこなす	授業内容を復習する	6	キーセンテンスを探す(2)	練習問題をこなす	授業内容を復習する	7	要約をする	全体を問う問題をこなす	授業内容を復習する	8	説明文を読む(1)	2～3の説明文を読み、問題を解く	授業内容を復習する	9	説明文を読む(2)	2～3の説明文を読み、問題を解く	授業内容を復習する	10	論説文を読む(1)	2～3の論説文を読み、問題を解く	授業内容を復習する	11	論説文を読む(2)	2～3の論説文を読み、問題を解く	授業内容を復習する	12	随筆を読む	2～3の随筆を読み、問題を解く	授業内容を復習する	13	小説を読む(1)	2～3の小説を読み、問題を解く	授業内容を復習する	14	小説を読む(2)	2～3の小説を読み、問題を解く	授業内容を復習する	15	期末テスト	授業中に指示する	授業内容を復習する
回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題																																																																
1	ガイダンス	授業の概要説明 ブレースメントテスト	復習																																																																
2	指示語に注意する	練習問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
3	キーワードに注意する	穴埋め問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
4	文章の内容を予測する	並べ替えの問題	授業内容を復習する																																																																
5	キーセンテンスを探す(1)	練習問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
6	キーセンテンスを探す(2)	練習問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
7	要約をする	全体を問う問題をこなす	授業内容を復習する																																																																
8	説明文を読む(1)	2～3の説明文を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
9	説明文を読む(2)	2～3の説明文を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
10	論説文を読む(1)	2～3の論説文を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
11	論説文を読む(2)	2～3の論説文を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
12	随筆を読む	2～3の随筆を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
13	小説を読む(1)	2～3の小説を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
14	小説を読む(2)	2～3の小説を読み、問題を解く	授業内容を復習する																																																																
15	期末テスト	授業中に指示する	授業内容を復習する																																																																
関連科目	日本語表現作文																																																																		
教科書	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	<p>定期試験を実施(試験の形式については授業中に説明する)</p> <p>出席・授業態度 + 期末テスト = 100%</p> <p>50% 50%</p>																																																																		
学生へのメッセージ	<p>受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。</p> <p>出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。</p>																																																																		
担当者の研究室等	外国語学部非常勤講師室(7号館2階)																																																																		
備考	受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。																																																																		

科目名	日本語読解 I	科目名 (英文)	Japanese Reading R
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中岡 樹里
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的 この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読み、表面的な意見や情報だけでなく、含意された意見や立場なども理解できるようになることを目指す。

到達目標 読んだ内容について、表面的な意見や情報だけでなく、含意された意見や立場なども理解できるようになる。

授業方法と留意点 授業は以下のような流れで進める。
①文章のテーマに関する知識をクラス内で共有する。②学習目標とそれを達成するために必要なスキルを確認する。③各自で文章を読み、タスクを解く。④教員による解説を行う。⑤自己評価を行う。
また、語彙力の増強のため、適宜単語テストを行う。

科目学習の効果 (資格) 専門分野の文章を読むための基礎力

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション 心のバリアフリー	授業の進め方の説明 読解、内容理解	復習
2	30 代ビジネスマンの「心の病」を考える	読解、内容理解	復習
3	「少女マンガ家ぐらし」へ	読解、内容理解	復習
4	プロフィール	読解、内容理解	復習
5	インタビュー	読解、内容理解	復習
6	いつも学びがある	読解、内容理解	復習
7	「早朝時間」のフル活用で成功した人たち①	読解、内容理解	復習
8	「早朝時間」のフル活用で成功した人たち②	読解、内容理解	復習
9	緑のカーテン	読解、内容理解	復習
10	環境立国ニッポンの挑戦①	読解、内容理解	復習
11	環境立国ニッポンの挑戦②	読解、内容理解	復習
12	渡り鳥はなぜ迷わない？	読解、内容理解	復習
13	フリーズする脳①	読解、内容理解	復習
14	フリーズする脳②	読解、内容理解	復習
15	総復習、確認テスト	総復習、確認テスト	復習

関連科目 日本語読解II

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準) 単語テスト、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

学生へのメッセージ 専門分野の文章を読むための基礎力を身につけましょう！

担当者の研究室等 7号館2階 (非常勤講師室)

備考 (1) 授業外の質問等については、メールで対応する。
(2) 授業内容は、進度等に応じて変更する場合があります。

科目名	日本語読解Ⅱ	科目名(英文)	Japanese Reading R
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中岡 樹里
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では、日本人向けに書かれた一般書を批判的に読むことができるようになることを目指す。			
到達目標	一般向けに書かれた文章を批判的に読むことができるようになる。			
授業方法と留意点	授業は基本的に2回で1つの文章を読む。 1回目の授業では、文章のテーマに関する知識をクラス内で共有し、学習目標とそれを達成するために必要なスキルを確認した上で各自文章を読み、教員による解説を行う。 2回目の授業では、1回目の授業で読んだ文章を批判的に読むためのタスクを行う。			
科目学習の効果(資格)	文章を批判的に読む力が身につく。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション 批判的な読み方の練習	授業の進め方の説明 批判的な読み方を練習する	復習
	2	私のニュースの読み方①	内容理解	復習
	3	私のニュースの読み方②	批判的に読む	復習 ミニレポート
	4	価値の一様性①	内容理解	復習
	5	価値の一様性②	批判的に読む	復習 ミニレポート
	6	経済学とは何か①	内容理解	復習
	7	経済学とは何か②	批判的に読む	復習 ミニレポート
	8	住まい方の思想①	内容理解	復習
	9	住まい方の思想②	批判的に読む	復習 ミニレポート
	10	ことばの構造、文化の構造①	内容理解	復習
	11	ことばの構造、文化の構造②	批判的に読む	復習 ミニレポート
	12	化粧する脳①	内容理解	復習
	13	化粧する脳②	批判的に読む	復習 ミニレポート
	14	メディアがもたらす環境変容に関する意識調査	内容理解、 批判的に読む	復習
	15	総復習、確認テスト	総復習、確認テスト	復習
関連科目	日本語読解Ⅰ			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。			
学生へのメッセージ	文章を批判的に読めるよう、一緒に練習しましょう。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	(1)授業外の質問等については、メールで対応する。 (2)授業内容は、進度等に応じて変更する場合があります。			

科目名	日本語表現作文 I	科目名 (英文)	Japanese Reading and Writing R
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中岡 樹里
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では、レポートや論文を書くための基礎を学びます。 レポートや論文に必要な、論理的な文章の書き方を身に付けることを目指します。																																																																		
到達目標	レポートや論文に必要な、論理的な文章の書き方を身に付ける。																																																																		
授業方法と留意点	授業では、レポートや論文の文章の書き方について、説明と実践を行います。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション 日本語の文体</td> <td>授業についての説明 日本語の文体について学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>レポート・論文の文体</td> <td>レポート・論文に使われる文体を学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>記号の使い方</td> <td>句読点、各種記号の使い方を学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>段落①</td> <td>段落構成について学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>段落②</td> <td>実践練習</td> <td>復習 ミニレポート</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>経過説明①</td> <td>経過説明の書き方を学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>経過説明②</td> <td>実践練習</td> <td>復習 ミニレポート</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>分類</td> <td>「分類」をする文の書き方を学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>定義</td> <td>定義の書き方を学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>分類・定義</td> <td>実践練習</td> <td>復習 ミニレポート</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>引用</td> <td>引用の書き方を学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>要約①</td> <td>要約の書き方を学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>要約②</td> <td>実践練習</td> <td>復習 ミニレポート</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>資料の利用</td> <td>資料の利用方法を学ぶ</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習・確認テスト</td> <td>総復習、確認テスト</td> <td>復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション 日本語の文体	授業についての説明 日本語の文体について学ぶ	復習	2	レポート・論文の文体	レポート・論文に使われる文体を学ぶ	復習	3	記号の使い方	句読点、各種記号の使い方を学ぶ	復習	4	段落①	段落構成について学ぶ	復習	5	段落②	実践練習	復習 ミニレポート	6	経過説明①	経過説明の書き方を学ぶ	復習	7	経過説明②	実践練習	復習 ミニレポート	8	分類	「分類」をする文の書き方を学ぶ	復習	9	定義	定義の書き方を学ぶ	復習	10	分類・定義	実践練習	復習 ミニレポート	11	引用	引用の書き方を学ぶ	復習	12	要約①	要約の書き方を学ぶ	復習	13	要約②	実践練習	復習 ミニレポート	14	資料の利用	資料の利用方法を学ぶ	復習	15	総復習・確認テスト	総復習、確認テスト	復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション 日本語の文体	授業についての説明 日本語の文体について学ぶ	復習																																																																
2	レポート・論文の文体	レポート・論文に使われる文体を学ぶ	復習																																																																
3	記号の使い方	句読点、各種記号の使い方を学ぶ	復習																																																																
4	段落①	段落構成について学ぶ	復習																																																																
5	段落②	実践練習	復習 ミニレポート																																																																
6	経過説明①	経過説明の書き方を学ぶ	復習																																																																
7	経過説明②	実践練習	復習 ミニレポート																																																																
8	分類	「分類」をする文の書き方を学ぶ	復習																																																																
9	定義	定義の書き方を学ぶ	復習																																																																
10	分類・定義	実践練習	復習 ミニレポート																																																																
11	引用	引用の書き方を学ぶ	復習																																																																
12	要約①	要約の書き方を学ぶ	復習																																																																
13	要約②	実践練習	復習 ミニレポート																																																																
14	資料の利用	資料の利用方法を学ぶ	復習																																																																
15	総復習・確認テスト	総復習、確認テスト	復習																																																																
関連科目	日本語表現作文 II																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	課題、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。																																																																		
学生へのメッセージ	レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	(1) 授業外の質問等については、メールで対応する。 (2) 授業内容は、進度等に応じて変更する場合があります。																																																																		

科目名	日本語表現作文Ⅱ	科目名(英文)	Japanese Reading and Writing R
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中岡 樹里
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では、レポートや論文を書くための基礎を学びます。 レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。			
到達目標	レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につける。			
授業方法と留意点	授業では、実際にテーマを決め、レポートを書き進めていきます。			
科目学習の効果(資格)	大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション 前期の復習	授業についての説明 前期の学習内容についての復習	復習
	2	レポートの言葉と表現	レポート・論文に使われる文、言葉、表現を学ぶ	復習
	3	レポートの構成	レポートの構成を学ぶ	復習
	4	テーマ決め・資料収集	テーマの決め方・絞り方、資料の集め方を学ぶ	復習 資料を集めてくる
	5	資料を整理する	集めた資料を整理する	復習
	6	アウトライン	レポートのアウトラインを作成する	復習
	7	序論①	序論の内容と書き方(課題、目的の提示)を学ぶ	復習
	8	序論②	序論を書く	復習
	9	本論①	本論の内容と書き方(データ、意見提示)を学ぶ	復習
	10	本論②	本論の内容と書き方(考察、結論提示)を学ぶ	復習
	11	本論③	本論を書く	復習
	12	結論①	結論の内容と書き方(全体のまとめ、今後の課題)を学ぶ	復習
	13	結論②	結論を書く	復習
	14	まとめ①	レポートを推敲し、完成稿を作成する	復習
	15	まとめ②	作成したレポートを元に発表を行う	復習
関連科目	日本語表現作文Ⅰ			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。 授業内で書き進めたレポートを最終的に提出してもらい、評価の対象とします。			
学生へのメッセージ	レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう！			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	(1)授業外の質問等については、メールで対応する。 (2)授業内容は、進捗等に応じて変更する場合があります。			

科目名	日本語文法 I	科目名 (英文)	Japanese Grammar R
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中岡 樹里
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では、中上級の文型を取り上げ、機能ごとにまとめて学びます。中上級の文型への理解を深め、正しく運用できるようになることを目指します。																																																																		
到達目標	中上級の文型への理解を深め、正しく運用できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	授業では、教員による解説と練習問題を繰り返します。																																																																		
科目学習の効果 (資格)	高度な日本語運用能力																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション 文型の理解度チェック</td> <td>授業の進め方の説明 文型の理解度チェック</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>動作の対象</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>目的・手段・媒介</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>起点・終点・限界・範囲</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>時点・場面</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>時間的同时性・時間的前後性</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>進行・相関関係</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>付帯・非付帯</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>限定</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>非限定・付加</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>比較・最上級・対比</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>判断の立場・評価の視点</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>基準</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>関連・対応</td> <td>文型の解説、練習</td> <td>復習</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>総復習、確認テスト</td> <td>総復習、確認テスト</td> <td>復習</td> </tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション 文型の理解度チェック	授業の進め方の説明 文型の理解度チェック	復習	2	動作の対象	文型の解説、練習	復習	3	目的・手段・媒介	文型の解説、練習	復習	4	起点・終点・限界・範囲	文型の解説、練習	復習	5	時点・場面	文型の解説、練習	復習	6	時間的同时性・時間的前後性	文型の解説、練習	復習	7	進行・相関関係	文型の解説、練習	復習	8	付帯・非付帯	文型の解説、練習	復習	9	限定	文型の解説、練習	復習	10	非限定・付加	文型の解説、練習	復習	11	比較・最上級・対比	文型の解説、練習	復習	12	判断の立場・評価の視点	文型の解説、練習	復習	13	基準	文型の解説、練習	復習	14	関連・対応	文型の解説、練習	復習	15	総復習、確認テスト	総復習、確認テスト	復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション 文型の理解度チェック	授業の進め方の説明 文型の理解度チェック	復習																																																																
2	動作の対象	文型の解説、練習	復習																																																																
3	目的・手段・媒介	文型の解説、練習	復習																																																																
4	起点・終点・限界・範囲	文型の解説、練習	復習																																																																
5	時点・場面	文型の解説、練習	復習																																																																
6	時間的同时性・時間的前後性	文型の解説、練習	復習																																																																
7	進行・相関関係	文型の解説、練習	復習																																																																
8	付帯・非付帯	文型の解説、練習	復習																																																																
9	限定	文型の解説、練習	復習																																																																
10	非限定・付加	文型の解説、練習	復習																																																																
11	比較・最上級・対比	文型の解説、練習	復習																																																																
12	判断の立場・評価の視点	文型の解説、練習	復習																																																																
13	基準	文型の解説、練習	復習																																																																
14	関連・対応	文型の解説、練習	復習																																																																
15	総復習、確認テスト	総復習、確認テスト	復習																																																																
関連科目	日本語文法 II																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	各回の練習問題、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。																																																																		
学生へのメッセージ	中上級の文法を再確認し、苦手を克服しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)																																																																		
備考	(1) 授業外の質問等については、メールで対応する。 (2) 授業内容は、進捗等に応じて変更する場合がある。																																																																		

科目名	日本語文法Ⅱ	科目名(英文)	Japanese Grammar R
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中岡 樹里
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では、中上級の文型を取り上げ、機能ごとにまとめて学びます。中上級の文型への理解を深め、正しく運用できるようになることを目指します。																																																																		
到達目標	中上級の文型への理解を深め、正しく運用できるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	授業では、教員による解説と練習問題を繰り返します。																																																																		
科目学習の効果(資格)	高度な日本語運用能力																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>オリエンテーション 前期の復習</td><td>授業の進め方の説明 前期の学習内容の確認、復習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>2</td><td>無関係・無視・例外</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>3</td><td>例示</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>4</td><td>強調</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>5</td><td>話題</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>6</td><td>逆説・譲歩</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>7</td><td>原因・理由</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>8</td><td>仮定条件・確定条件</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>9</td><td>逆説仮定条件</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>10</td><td>不可能・可能・困難・容易</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>11</td><td>傾向・状態・様子</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>12</td><td>経過・結末</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>13</td><td>否定・部分否定</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>14</td><td>伝聞・推量</td><td>文型の解説、練習</td><td>復習</td></tr> <tr><td>15</td><td>総復習、確認テスト</td><td>総復習、確認テスト</td><td>復習</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	オリエンテーション 前期の復習	授業の進め方の説明 前期の学習内容の確認、復習	復習	2	無関係・無視・例外	文型の解説、練習	復習	3	例示	文型の解説、練習	復習	4	強調	文型の解説、練習	復習	5	話題	文型の解説、練習	復習	6	逆説・譲歩	文型の解説、練習	復習	7	原因・理由	文型の解説、練習	復習	8	仮定条件・確定条件	文型の解説、練習	復習	9	逆説仮定条件	文型の解説、練習	復習	10	不可能・可能・困難・容易	文型の解説、練習	復習	11	傾向・状態・様子	文型の解説、練習	復習	12	経過・結末	文型の解説、練習	復習	13	否定・部分否定	文型の解説、練習	復習	14	伝聞・推量	文型の解説、練習	復習	15	総復習、確認テスト	総復習、確認テスト	復習
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	オリエンテーション 前期の復習	授業の進め方の説明 前期の学習内容の確認、復習	復習																																																																
2	無関係・無視・例外	文型の解説、練習	復習																																																																
3	例示	文型の解説、練習	復習																																																																
4	強調	文型の解説、練習	復習																																																																
5	話題	文型の解説、練習	復習																																																																
6	逆説・譲歩	文型の解説、練習	復習																																																																
7	原因・理由	文型の解説、練習	復習																																																																
8	仮定条件・確定条件	文型の解説、練習	復習																																																																
9	逆説仮定条件	文型の解説、練習	復習																																																																
10	不可能・可能・困難・容易	文型の解説、練習	復習																																																																
11	傾向・状態・様子	文型の解説、練習	復習																																																																
12	経過・結末	文型の解説、練習	復習																																																																
13	否定・部分否定	文型の解説、練習	復習																																																																
14	伝聞・推量	文型の解説、練習	復習																																																																
15	総復習、確認テスト	総復習、確認テスト	復習																																																																
関連科目	日本語文法Ⅰ																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法(基準)	各回の練習問題、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。																																																																		
学生へのメッセージ	中上級の文法を再確認し、苦手を克服しましょう。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																		
備考	(1)授業外の質問等については、メールで対応する。 (2)授業内容は、進捗等に応じて変更する場合がある。																																																																		

科目名	日本史学	科目名(英文)	Japanese History
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目(中学校 社会) 【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史 【教員免許状取得のための履修区分】必修 【科目】教科に関する科目(高等学校 地理歴史) 【施行規則に定める科目区分】日本史 【教員免許状取得のための履修区分】必修		

授業概要・目的	歴史学は人々の営為を様々な角度から検証する学問です。その中でも「時間」と「空間」という視点は歴史学の大きな特徴といえるでしょう。政治、経済、宗教、生活、文化など様々な要素が、「時間」の流れの中で、互いに関係を持ちながらどう変化してゆくのか。ここに歴史学のおもしろさがあります。本講義では日本の歴史を「流れ」にそって理解することを目的とします。
到達目標	日本の歴史にかかる基本的な知識を習得し、政治、経済、宗教、文化など多角的な要素を複合的に叙述できる能力を養えます。
授業方法と留意点	板書により講義を進めますが、プリント・スライドも用います。
科目学習の効果(資格)	今後の講義や演習で一つの事象を様々な視角から考察、叙述できるようになります。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	講義の進め方、評価方法などについて説明します。日本史の時代区分について考えます。	復習
2	古代国家の形成	ヤマト国家から律令国家形成までの歴史を学びます。	復習
3	摂関政治と貴族社会	平安時代の政治と社会について学びます。	復習
4	武士の登場と成長	中世以降の日本の歴史を考える上で鍵となる武士の登場、成長について学びます。	復習
5	鎌倉幕府	鎌倉幕府とは何か。成立にかかる歴史と特質について学びます。	復習
6	室町時代の政治と文化	室町時代の政治・文化の特質について学びます。	復習
7	戦国時代と天下統一	戦国時代から織豊期までの動向と統一政権誕生の歴史的意義を学びます。	復習
8	古代・中世の宗教	神祇・仏教・道教などを素材に宗教と政治・社会の関係について学びます。	復習
9	幕藩体制の成立	江戸時代の国家や地域社会の枠組みについて学びます。	復習
10	近世社会と民衆	江戸時代の民衆の生活や文化について学びます。	復習
11	近代国家への道	幕末から明治政府樹立までの歴史を学びます。	復習
12	近代の思想と文化	明治から昭和初期の文化や思想について学びます。	復習
13	戦争と国家	日清戦争、日露戦争、第一次大戦、第二次大戦が与えた影響について考えます。	復習
14	戦後から現代へ	敗戦と戦後の日本の歴史について学び、私たちの「今」について考えます。	復習
15	まとめ	論述試験を行います。	今までの講義ノートをまとめておくこと。

関連科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	講義最終日に行う論述試験(持ち込み可)、講義中に課す小レポートなどをもとに総合的に評価します。詳しくは講義第1回目に説明します。
学生へのメッセージ	年号や用語を暗記する必要はまったくありません。「これとあれは実はつながっていたんだ」とか「この布石があったからこういう事件が起きたんだ」といった「つながり」の面白さを発見してください。
担当者の研究室等	7号館4階(赤澤研究室)
備考	事前・事後学習は総時間60時間を目安とする。

科目名	日本事情 I	科目名 (英文)	Japanese Culture and Society R I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。
到達目標	日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします
授業方法と留意点	各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習
科目学習の効果 (資格)	自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化理解、異文化に対する見方・態度

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	ガイダンス・日本語レベルのチェック	授業の概要・進め方について・スピーチ	テキスト予習
2	映画1：テーマ「職業」	映画についての情報・背景解説、内容理解	テキスト予習、プリントの課題
3	映画1：テーマ「職業」	内容理解、タスク	テキスト予習、プリントの課題
4	映画1：テーマ「職業」	タスク、ディスカッション	テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
5	映画2：テーマ「家族」	映画についての情報・背景解説、内容理解	テキスト予習、プリントの課題、 発表準備
6	映画2：テーマ「家族」	内容理解、タスク	テキスト予習、プリントの課題、 発表準備
7	映画2：テーマ「家族」	タスク、ディスカッション	プリントの課題、発表準備
8	テーマ1・2に関する発表	発表、質疑応答、ディスカッション	テーマについてレポート
9	映画3：テーマ「子どもと社会」	映画についての情報・背景解説、内容理解	テキスト予習、プリントの課題
10	映画3：テーマ「子どもと社会」	内容理解、タスク	テキスト予習、プリントの課題
11	映画3：テーマ「子どもと社会」	タスク、ディスカッション	テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
12	映画4：「ジェンダー」	映画についての情報・背景解説、内容理解	テキスト予習、プリントの課題、 発表準備
13	映画4：「ジェンダー」	内容理解、タスク	テキスト予習、プリントの課題、 発表準備
14	映画4：「ジェンダー」	タスク、ディスカッション	プリントの課題、発表準備
15	テーマ3・4に関する発表	発表、質疑応答、ディスカッション	テーマについてレポート

関連科目	日本語読解、日本語文法、日本語表現作文
------	---------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	映画で日本文化を学ぶ人のために	窪田守弘編	世界思想社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	映画でジャパニーズ	窪田守弘編	南雲堂フェニックス
2			
3			

評価方法 (基準)	各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。
学生へのメッセージ	映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！
担当者の研究室等	7号館4階(門脇研究室)
備考	

科目名	日本事情Ⅱ	科目名(英文)	Japanese Culture and Society R II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。
到達目標	日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。
授業方法と留意点	各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習
科目学習の効果(資格)	自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解、異文化に対する見方・態度

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	ガイダンス・日本語レベルチェック	授業の概要・進め方について・スピーチ	テキスト予習
	2	映画1：テーマ「民族」	映画についての情報・背景解説、内容理解	テキスト予習、プリントの課題
	3	映画1：テーマ「民族」	内容理解、タスク	テキスト予習、プリントの課題
	4	映画1：テーマ「民族」	タスク、ディスカッション	テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
	5	映画2：テーマ「愛と死」	映画についての情報・背景解説、内容理解	テキスト予習、プリントの課題、発表準備
	6	映画2：テーマ「愛と死」	内容理解、タスク	テキスト予習、プリントの課題、発表準備
	7	映画2：テーマ「愛と死」	タスク、ディスカッション	プリントの課題、発表準備
	8	テーマ1・2に関する発表	発表、質疑応答、ディスカッション	テーマについてレポート
	9	映画3：テーマ「教育」	映画についての情報・背景解説、内容理解	テキスト予習、プリントの課題
	10	映画3：「教育」	内容理解、タスク	テキスト予習、プリントの課題
	11	映画3：テーマ「教育」	タスク、ディスカッション	テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
	12	映画4：「高齢化社会」	映画についての情報・背景解説、内容理解	テキスト予習、プリントの課題、発表準備
	13	映画4：「高齢化社会」	内容理解、タスク	テキスト予習、プリントの課題、発表準備
	14	映画4：「高齢化社会」	タスク、ディスカッション	プリントの課題、発表準備
	15	テーマ3・4に関する発表	発表、質疑応答、ディスカッション	テーマについてレポート

関連科目	日本語読解、日本語文法、日本語表現作文
------	---------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	映画で日本文化を学ぶ人のために	窪田守弘編	世界思想社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	映画でジャパニーズ	窪田守弘編	南雲堂フェニックス
	2			
	3			

評価方法(基準)	各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。
----------	--------------------------------

学生へのメッセージ	映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！
-----------	-------------------------------

担当者の研究室等	7号館4階(門脇研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	日本と世界の出会い	科目名 (英文)	Encounters between Japan and Foreign Cultures
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	村上 司樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	世界との出会いを考える際、日本にとって画期となったのは、16世紀のヨーロッパとの接触だった。日本と欧米、両文化のファーストコンタクトを学ぶことは、中国やイスラーム圏も含めたさらに広い世界の認識にもつながる。先行きの見えない現在だからこそ、グローバル化の原点にさかのぼって日本と世界の出会いを理解することが意味をもつ。
到達目標	学んだことを、結論・理由・具体例に分けて簡潔に説明できるようにする。
授業方法と留意点	毎回プリントを配布し、図像史料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の、最低2回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回のどのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要があるのである。そのための2度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。
科目学習の効果 (資格)	世界との出会いを知ると同時に、日本についての理解も深まる。

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	はじめに	授業のルール・方針・全体計画	必ず出席するよう予定を調整する。
2	それは16世紀に	日本が「世界」と出会ったのは16世紀	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
3	それは16世紀に	地球規模の東西交流が始まったのも16世紀	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
4	それは16世紀に	日本とヨーロッパは似ていた	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
5	それは16世紀に	接点は戦争と宗教	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
6	戦争と出会い	鉄砲伝来の交流史	授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
7	戦争と出会い	「西洋は進んでいて東洋は遅れている」という思い込み	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。	
8	戦争と出会い	鉄砲に日本史を変えるほどの力はなかった	同上の課題に加えて「レポートの手引き」を熟読する。	
9	戦争と出会い	飛び道具を憎んだ西洋騎士、飛び道具を愛した日本武士	同上の課題に加えて小レポート。	
10	戦争と出会い	鉄砲の起源は東洋	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
11	宗教と出会い	キリスト教伝来の交流史	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
12	宗教と出会い	ザビエルをアシストした日本人	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
13	宗教と出会い	西洋的教育機関に留学した最初の日本人	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
14	宗教と出会い	ザビエルを日本に運んだのは中国の船	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	
15	宗教と出会い	布教は慈善事業やファッションとも結びついてきた	最授業前に資料に目を通す。授業後に資料を読み返す。	

関連科目	世界の宗教
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	暗記は必要ない。テストは持ち込み可。具体的には以下3点で評価。①定期試験 (40点)、②小レポート (30点)、③レスポンスペーパー (30点 + α)。①～③すべてに共通する評価基準は、具体的に書けているかどうか。減点主義はとらないので、積極的に書いてマイナスになることは絶対ない。ただし、消極的に受講してプラス評価されることも絶対ない。例えば出席点はいつさいない。
-----------	--

学生へのメッセージ	一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンス・ペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やる人が多い」などとネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
備考	

科目名	日本の思想	科目名(英文)	Japanese Philosophy
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中村 翼
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本講義では、《かつて日本列島に生きていた人々が、「日本国」や「日本人」をどのように意識していたのか?》という問題について、「東アジア」と「神国思想」をキーワードに考えていきます。 神国思想という、誰もが一度は耳にしながら、その言葉が想起させるイメージのせいか、その実態に迫ることを忌避しがちです。ですが、神国思想は、日本国の自己認識であると同時に、日本を取り巻く世界への視座と密接に関わっています。神国思想と向き合うことは、東アジアという環境のなかで、日本がどのような歴史を歩んだのかを考える機会にもなると考えています。
到達目標	同じ日本でも、時代が異なると、ものの考え方や社会の仕組みが全く違っていきます。現代とは異なる論理で動いている社会の考え方を理解しようとする試みは、外国語を学ぶことはまた違った意味で、「異文化理解」の格好の訓練になるはずですが。 そのなかで、現代のナショナリズムの問題についても理解を深めていければと考えています。
授業方法と留意点	毎回、講師が準備したプリント。スライドを中心に講義を進めます。特定の教材は定めませんので、テキスト等を購入する必要はありません。
科目学習の効果(資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	ガイダンスー(日本国)の範囲ー	授業内容、授業の進め方、評価基準等について説明します。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
2	古代日本の自画像①ー『日本書紀』と「神国」意識ー	自然的で素朴な信仰とみなされがちな「神国」意識の実態に迫っていきます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
3	古代日本の自画像②ー帝国日本と東アジアー	古代の日本国が、東アジア情勢にどのように向き合おうとしたのかを考えていきます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
4	古代から中世へ①ー「もののけ姫」の世界からー	映画「もののけ姫」を素材に、日本の古代社会と中世社会の違いを紹介していきます。	映画を事前に観てきた方が、理解が深まると思います。
5	古代から中世へ②ー東アジアの変動と日本ー	中世における日本の自国意識を考える前提として、9~11世紀の東アジア情勢とそれに対する日本の姿勢について、解説します。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
6	中世日本の国際認識ー「三国」世界と「和漢」世界ー	中世における日本の自国意識を考える前提として、中世日本における世界認識について解説していきます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
7	中世日本の自画像①ー「仏国」と「神国」ー	仏教が社会に広く定着した日本の中世社会において、日本の神がどのように位置づけられたのかを考えながら、中世の神国思想の実態に迫っていきます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
8	中世日本の自画像②ー日本の境界とかたちー	中世の日本人が日本国の範囲(境界)と かたちをどのように意識していたのかについて、いくつかの事例を紹介し、それらの特質を考察していきます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
9	元寇と日本①ー「神国」思想の高まり?ー	元寇によって、神国思想が高まり、日本のナショナリズムの前提になった。——このような「通説」が本当に正しいのか、再検討していきます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
10	元寇と日本②ー「中国」への憧れー	元寇を前後する時期における日本と大陸の交流を紹介しながら、中世日本におけるナショナリズムとグローバリズムの葛藤に迫ります。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
11	辺境に生きる人々と日本ー倭寇とは誰か?ー	日本国の支配者層や中心部に生きる人々からいったん離れ、いわゆる「辺境」に生きた人々にとって、日本がどのように意識されていたのかを考えてみます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
12	琉球王国の自画像ー海域アジアの結節点ー	かつては日本国とは別の国家であった琉球王国の自国意識と日本観を検討していきます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
13	織豊期~徳川初期の日本と世界ー「東アジア」を越えて	織田信長・豊臣秀吉・徳川家康が活躍した時代は、多くの日本人が日本列島外の世界を体験した時代でもありました。その体験が日本意識をどう変えたかを考えてみます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
14	「鎖国」と日本人意識ー髪型・服装・信仰ー	「鎖国」下の日本で形成されたステレオタイプな日本人イメージ(=自画像)とは何であったか。また、そのイメージがどのように作られていったかを紹介していきます。	次回の講義に関する配布資料を読んでください。
15	まとめ	今期の講義を総括し、「到達度確認テスト」を実施します。	今期の講義の復習を各自で行って下さい。

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	定期試験期間内の試験は行いませんが、最終講義日に、「到達度確認テスト」を行います。 このテストと平常点で評価が決定しますので、なるべく欠席しないように受講してください。			
学生への メッセージ				
担当者の 研究室等	7号館2階外国語学部非常勤講師室			
備考				

科目名	日本の歴史	科目名(英文)	History of Japan
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目(中学校 社会) 【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史 【教員免許状取得のための履修区分】必修 【科目】教科に関する科目(高等学校 地理歴史) 【施行規則に定める科目区分】日本史 【教員免許状取得のための履修区分】必修		

授業概要・目的	歴史学は人々の営為を様々な角度から検証する学問です。その中でも「時間」と「空間」という視点は歴史学の大きな特徴といえるでしょう。政治、経済、宗教、生活、文化など様々な要素が、「時間」の流れの中で、互いに関係を持ちながらどう変化してゆくのか。ここに歴史学のおもしろさがあります。本講義では日本の歴史を「流れ」にそって理解することを目的とします。
到達目標	日本の歴史にかかる基本的な知識を習得し、政治、経済、宗教、文化など多角的な要素を複合的に叙述できる能力を養えます。
授業方法と留意点	板書により講義を進めますが、プリント・スライドも用います。
科目学習の効果(資格)	今後の講義や演習で一つの事象を様々な視角から考察、叙述できるようになります。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	講義の進め方、評価方法などについて説明します。日本史の時代区分について考えます。	復習
2	古代国家の形成	ヤマト国家から律令国家形成までの歴史を学びます。	復習
3	摂関政治と貴族社会	平安時代の政治と社会について学びます。	復習
4	武士の登場と成長	中世以降の日本の歴史を考える上で鍵となる武士の登場、成長について学びます。	復習
5	鎌倉幕府	鎌倉幕府とは何か。成立にかかる歴史と特質について学びます。	復習
6	室町時代の政治と文化	室町時代の政治・文化の特質について学びます。	復習
7	戦国時代と天下統一	戦国時代から織豊期までの動向と統一政権誕生の歴史的意義を学びます。	復習
8	古代・中世の宗教	神祇・仏教・道教などを素材に宗教と政治・社会の関係について学びます。	復習
9	幕藩体制の成立	江戸時代の国家や地域社会の枠組みについて学びます。	復習
10	近世社会と民衆	江戸時代の民衆の生活や文化について学びます。	復習
11	近代国家への道	幕末から明治政府樹立までの歴史を学びます。	復習
12	近代の思想と文化	明治から昭和初期の文化や思想について学びます。	復習
13	戦争と国家	日清戦争、日露戦争、第一次大戦、第二次大戦が与えた影響について考えます。	復習
14	戦後から現代へ	敗戦と戦後の日本の歴史について学び、私たちの「今」について考えます。	復習
15	まとめ	論述試験を行います。	今までの講義ノートをまとめておくこと。

関連科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	講義最終日に行う論述試験(持ち込み可)、講義中に課す小レポートなどをもとに総合的に評価します。詳しくは講義第1回目に説明します。
学生へのメッセージ	年号や用語を暗記する必要はまったくありません。「これとあれは実はつながっていたんだ」とか「この布石があったからこういう事件が起きたんだ」といった「つながり」の面白さを発見してください。
担当者の研究室等	7号館4階(赤澤研究室)
備考	事前・事後学習は総時間60時間を目安とする。

科目名	日本美術史	科目名(英文)	History of Japanese Fine Arts
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	芸術は作者、時代、思想などさまざまな要素から成り立っている。この講義では各時代の代表的な作品を鑑賞しながら、どうい社会状況のもとに生み出されたのか、何に用いられたのか、主題はなにか、技法や技術の完成度はどうかなどを解説する。日本の美術や文化を知ることが、人生を豊かにするだけでなく、グローバル社会において自分を支える力になるだろう。
到達目標	日本美術の基本的な知識を修得する。教養として必要な程度の知識を身につけるとともに、美術や歴史への関心を高める。
授業方法と留意点	講義は常時スライドや教材表示装置を使用する。必要に応じノートに書き留めてもらいたい。
科目学習の効果(資格)	日本文化・美術に関する基本的な知識を身につける。学芸員資格に必要である。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	奈良時代 飛鳥美術	仏教美術の伝来/法隆寺の美術/高松塚古墳壁画	飛鳥時代の歴史について調べておく
	2	奈良時代 天平美術	興福寺・東大寺の仏像/正倉院の工芸	奈良時代の歴史について調べておく
	3	平安時代 密教美術	図像/曼荼羅/密教彫刻	平安初期の歴史について調べておく
	4	平安時代 浄土教美術	平等院/浄土教絵画	平安後期の歴史について調べておく
	5	平安時代 絵巻物	源氏物語絵巻/信貴山縁起/伴大納言絵巻/鳥獣戯画	院政期の歴史について調べておく
	6	鎌倉時代 鎌倉彫刻	運慶/快慶	鎌倉初期の歴史について調べておく
	7	鎌倉時代 絵巻物	祖師絵伝絵巻/社寺縁起絵巻	鎌倉時代の歴史について調べておく
	8	鎌倉時代 肖像画	頂相/似絵	鎌倉時代の歴史について調べておく
	9	室町時代 水墨画	詩画軸/雪舟	室町時代の歴史について調べておく
	10	桃山時代 金碧障壁画	狩野永徳/南蛮美術	桃山時代の歴史について調べておく
	11	江戸時代 流派体制の確立	狩野探幽/土佐光起	江戸初期の歴史について調べておく
	12	江戸時代 琳派の継承	俵屋宗達/尾形光琳	江戸前期の歴史について調べておく
	13	江戸時代 錦絵の誕生	菱川師宣/鈴木春信	江戸前期の歴史について調べておく
	14	江戸時代 写生派・文人画	円山応挙/与謝蕪村	江戸後期の歴史について調べておく
	15	江戸時代 後期浮世絵	歌麿/写楽/北斎/広重	幕末の歴史について調べておく

関連科目	日本史・日本文化史
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	原色日本の美術		小学館
	2	人間の美術	梅原猛	学習研究社
	3			

評価方法(基準)	定期試験80%、小レポート20%
----------	------------------

学生へのメッセージ	専用のノートを作り、毎回持参すること。博物館・美術館・寺・神社などに出かけて実際に美術を見に行ってください。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階(岩間研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	日本文学	科目名(英文)	Japanese Literature
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この講義では、日本人が長い時間をかけて培ってきた様々な文化(文学)の精髓を、(旅)を主なテーマとして紹介・解説する。あつかう時代は古代から現代まで。古代人の旅から現代の世界遺産の旅までは幅広く対象とする。また日本国内の旅にかぎらず、日本人の海外への旅の記録や、海外から日本への旅をも含めて扱う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・旅の文化がどのようにして生まれたのか、その経緯を認識する。 ・現代の旅と前近代の旅との違いについて認識を深める。 ・名所旧跡についての文化的な知識を養成する。
授業方法と留意点	講義形式ですすめる。ただしあらかじめ読んでおくことを要求したり、授業時に作品を読んで問題に答えてもらったりする時間もしばしば設定する予定。
科目学習の効果(資格)	一部の資格試験に臨むための基礎的知識の養成。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	概説 文学は旅をする	旅や観光と文学との関わりについて考察し、全体の導入とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
2	神々の旅(神話伝承の世界から)①	人間にとって旅とは何か、日本や世界の神話にさかのぼって考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
3	神々の旅(神話伝承の世界から)?	引き続き、人間にとって旅とは何か、日本や世界の神話にさかのぼって考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
4	古代の文学と旅(万葉の旅)	古代日本人の旅への思いを万葉集を題材に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
5	物語と旅	平安朝物語における旅の意味について世界的視野で考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
6	巡礼の旅と伝説①	旅が契機となって生まれた伝説を世界的視野で考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
7	巡礼の旅と伝説?	中世の人々にとって旅とは何であったか、説話集を題材に探求する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
8	巡礼の旅と伝説?	世界遺産となっている土地に残る伝説を探求し、聖地の有する歴史的意義について認識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
9	江戸の観光と文学①	本格的な観光文学の登場について、『東海道中膝栗毛』などを中心に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
10	江戸の観光と文学?	芭蕉の旅をはじめ、「歌枕」を訪れる旅という視点から考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
11	旅行記の世界① ジパングへの旅	西洋人の日本発見の経緯を、「旅行記」を題材に考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
12	旅行記の世界② 西洋発見の旅	明治日本人の西洋発見の経緯をさまざまな旅行記をもとに考察する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
13	ユートピアの文学	人間の文化の基底で生きたユートピアの想像力について探求する。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
14	現代の旅と文学	映画やアニメなど現代文化における旅の意味について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料でキーワードとなるものについての事前リサーチ ・自分なりのノートの整理と問題点の再確認
15	総括(総合評価授業)	授業全体をまとめ、総合問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の整理とまとめ

関連科目	文化観光プログラムに関する科目や日本文化にかかわる科目。なお1年次開講の「現代文化論」は、一部この講義と有機的に連動している。
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	総合評価授業での総合問題、および各授業での確認問題・課題レポート等で総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	人間が(旅)することの意味を深く考えるきっかけにしてほしい。
-----------	--------------------------------

担当者の 研究室等	7号館4階(小川研究室)
備考	事前・事後の学習は、それぞれ2時間ずつ、総時間60時間を目安とする。

科目名	日本文学	科目名(英文)	Japanese Literature
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	古代から現代にいたる日本文学の流れを具体的にたどり、自らの属する社会・文化の特質についての理解を深めることを目的とする。同時に、近代以降の作品の読解を通じて、作品を読む力、批評する力、論理的に書く力など、基礎的なリテラシーの養成に力をおきたい。また、世界の文学との比較を通じて、国際社会において日本文化の特質を自らの言葉で明快に表現する力を養成することも目的の一つである。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> さまざまなテキストを読解し、その内容を論理的に把握する基本的な力を身につける。 古代から現代にいたる日本文学史の流れを説明する力を身につける。 日本文化についてその特質を自分なりに説明する力を養う。
授業方法と留意点	プリントにもとづく講義中心の授業。
科目学習の効果(資格)	各資格試験に臨むための前提となるリテラシーの基礎的養成。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	古代文学と神話の世界①	『古事記』の神話をもとに、古代の人々の想像力の特質を探索する。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
2	古代文学と神話の世界?	引き続き『古事記』の神話世界を探索する。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
3	平安文学とモノガタリ①	『竹取物語』や『源氏物語』をもとに、モノガタリとは何かについて考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
4	平安文学とモノガタリ?	引き続き、『竹取物語』や『源氏物語』をもとに、モノガタリとは何かについて考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
5	説話文学の世界	『今昔物語集』について解説する。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
6	軍記物語の世界	『平家物語』について解説する。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
7	中世の伝承文学①	御伽草子『鉢かぎ姫』について解説する。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
8	中世の伝承文学?	大阪に伝わる中世の伝承をとりあげ、信仰と文学との関わりについて考察する。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
9	江戸小説の世界	近松門左衛門の作品をとりあげ、大阪の文学について認識を深める。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
10	近代の文学①芥川龍之介	芥川龍之介の短編作品を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
11	近代の文学?太宰治	太宰治の短編作品を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
12	近代の文学?宮沢賢治	宮沢賢治の短編作品を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
13	近代の文学?江戸川乱歩	江戸川乱歩の短編作品を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
14	現代の文学(吉本ばなな)	吉本ばななの短編作品を読む。	<ul style="list-style-type: none"> 扱う内容にかかわるキーワードの事前リサーチ ノートの整理と要点の再確認
15	総合確認テスト	授業内テスト。	<ul style="list-style-type: none"> ノート全体の整理と講義要点の総まとめ

関連科目	日本文化にかかわる諸科目。日本語教育にかかわる諸科目。
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	中間テストと最終日に実施する総合確認テストを中心として、他に授業時に回収したコメント、課題レポートなどを加え、総合的に評価する。
学生へのメッセージ	モノガタリや小説を読む楽しさを味わいつつ、日本語を適切に駆使する基本的な力を身につけてほしいと思います。
担当者の研究室等	7号館4階(小川研究室)
備考	事前・事後の学習は、それぞれ2時間ずつ、総時間60時間を目安とする。

科目名	博物館概論	科目名(英文)	Introduction to Museum
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	谷直樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	現在、歴史博物館・美術館・文学館・記念館・動物園・水族館など博物館とその類似施設は全国に5700館以上あります。かつて「博物館行き」という言葉は古くさいものの代名詞でしたが、今日、博物館はその姿を大きく変えています。カラフルなシンボル展示、IT技術を駆使した映像展示、実物大の家を再現した体感型展示、様々な参加型プログラムなど、おしゃれて楽しめる施設へと変化しつつあります。またミュージアムグッズも図録だけでなく、Tシャツ・ぬいぐるみ・菓子などオリジナル商品を豊富に揃えている館が少なくありません。博物館とは何か、これからどう変化していくのかを、その歴史や現状を学びながら考えていきましょう。
到達目標	博物館は現代社会と無縁ではありません。博物館が収集した様々なコレクションは、現代だけでなく未来社会の知的生産活動に様々なヒントを与えてくれます。受講生の皆さんも、単に博物館を見学に行くだけでなく、博物館資料の活用や、ボランティア活動などに参加して、さらに博物館を中心とした生涯学習の担い手に成長してほしいものです。
授業方法と留意点	パワーポイント・ビデオなどを随時使用して、臨場感にあふれたビジュアルな講義にします。また教室内だけでなく、実際に新しい魅力的な博物館を見学します。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	博物館とは何か	話題の博物館紹介。記憶に残る博物館・展覧会。資格取得の条件・諸注意。	旅先などで博物館や美術館の見学をする習慣をつけて下さい。
2	日本の博物館 1	動物園ランキング(旭山動物園と天王寺動物園)、水族館ランキング(美ら海水族館と海遊館)	子どものころに行った動物園・水族館と、最近の動物園・水族館を比較して下さい。
3	日本の博物館 2	美術館(近代美術館と現代美術館)、自然史系博物館(琵琶湖博物館と大阪市立自然史博物館)、歴史系博物館(大阪歴史博物館と大阪くらしの今昔館)	美術館の特別展をのぞいてみて下さい。
4	日本の博物館 3	野外博物館(明治村、北海道開拓の村、四国村、おきなわ郷土村、まちぐるみ博物館)	町並み保存やまちおこしも野外博物館のヒントになります。
5	日本の博物館 4	企業ミュージアム(月桂冠大倉記念館、横浜ラーメン博物館、インスタントラーメン発明記念館、くすりのまち道修町資料館、大学博物館など)	近くにある企業ミュージアムを訪ねて下さい。
6	博物館法を読む	博物館の定義と種類。博物館法、博物館法施行規則、公立博物館に関する法律。博物館の機能、展示資料による分類、設置者による分類、制度による分類	博物館法は事前事後によく読んでください。
7	博物館をつくる 1	博物館構想の策定、資料の収集と保管、調査と研究、展示と学習	博物館に行ったら、展覧会を見るだけでなく、どんな仕事をしているのかよく観察すること。
8	博物館をつくる 2	博物館の設計、博物館の空間(エントランス、展示室、収蔵庫、学習室、ミュージアムショップ、レストラン、学芸員室、事務室、駐車場、動線計画、設備計画)	博物館に行ったら、どんな部屋があるのか、案内図を確認すること。
9	博物館の展示	常設展示の概要	博物館の展示(とくに常設展示)を時間かけて見学してみる。
10	博物館の展示	企画展示とは何か	最近話題になった特別展示を紹介しよう。
11	博物館と生涯学習	こどもと博物館、高齢者と博物館、大学生と博物館、観光・まちづくりと博物館	地域社会における博物館の役割を考えてみる。
12	博物館の歴史	日本と世界の博物館	友達どうしで、これまでに見学した博物館の中で、面白かった博物館や展覧会を紹介しよう。
13	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。
14	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。入館料は別途徴収。
15	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。入館料は別途徴収。

関連科目	博物館学Ⅱ・Ⅲ、教育原理、視覚芸術論、生涯学習論が学芸員資格の必修科目。その他の関連科目。
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	定期試験と授業中の課題(レポートや見学会の感想)を総合的に評価します。
----------	-------------------------------------

学生へのメッセージ	博物館に行っていない人がいますが、それは間違いです。歴史資料館や美術館に行っていない人でも、動物園や水族館には行ったことがあるはず。実は、動物園も水族館も博物館なのです。これからの博物館は、知的な好奇心を満足させてくれる楽しいところを目指してい
-----------	--

	ます。少しでも博物館に興味があるなら、とくに学芸員の資格をとるつもりがない人でも受講は歓迎です。学芸員資格を取るには、4年生で博物館実習を行う必要があります。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	博物館学Ⅰ	科目名(英文)	MuseologyⅠ
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	谷直樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	現在、歴史博物館・美術館・文学館・記念館・動物園・水族館など博物館とその類似施設は全国に5700館以上あります。かつて「博物館行き」という言葉は古くさいものの代名詞でしたが、今日、博物館はその姿を大きく変えています。カラフルなシンボル展示、IT技術を駆使した映像展示、実物大の家を再現した体感型展示、様々な参加型プログラムなど、おしゃれて楽しめる施設へと変化しつつあります。またミュージアムグッズも図録だけでなく、Tシャツ・ぬいぐるみ・菓子などオリジナル商品を豊富に揃えている館が少なくありません。博物館とは何か、これからどう変化していくのかを、その歴史や現状を学びながら考えていきましょう。
到達目標	博物館は現代社会と無縁ではありません。博物館が収集した様々なコレクションは、現代だけでなく未来社会の知的生産活動に様々なヒントを与えてくれます。受講生の皆さんも、単に博物館を見学に行くだけでなく、博物館資料の活用や、ボランティア活動などに参加して、さらに博物館を中心とした生涯学習の担い手に成長してほしいものです。
授業方法と留意点	パワーポイント・ビデオなどを随時使用して、臨場感にあふれたビジュアルな講義にします。また教室内だけではなく、実際に新しい魅力的な博物館を見学します。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	博物館とは何か	話題の博物館紹介。記憶に残る博物館・展覧会。資格取得の条件・諸注意。	旅先などで博物館や美術館の見学をする習慣をつけて下さい。
2	日本の博物館1	動物園ランキング(旭山動物園と天王寺動物園)、水族館ランキング(美ら海水族館と海遊館)	子どものころに行った動物園・水族館と、最近の動物園・水族館を比較して下さい。
3	日本の博物館2	美術館(近代美術館と現代美術館)、自然史系博物館(琵琶湖博物館と大阪市立自然史博物館)、歴史系博物館(大阪歴史博物館と大阪くらしの今昔館)	美術館の特別展をのぞいてみて下さい。
4	日本の博物館3	野外博物館(明治村、北海道開拓の村、四国村、おきなわ郷土村、まちぐるみ博物館)	町並み保存やまちおこしも野外博物館のヒントになります。
5	日本の博物館4	企業ミュージアム(月桂冠大倉記念館、横浜ラーメン博物館、インスタントラーメン発明記念館、くすりのまち道修町資料館、大学博物館など)	近くにある企業ミュージアムを訪ねて下さい。
6	博物館法を読む	博物館の定義と種類。博物館法、博物館法施行規則、公立博物館に関する法律。博物館の機能、展示資料による分類、設置者による分類、制度による分類	博物館法は事前事後によく読んでください。
7	博物館をつくる1	博物館構想の策定、資料の収集と保管、調査と研究、展示と学習	博物館に行ったら、展覧会を見るだけでなく、どんな仕事をしているのかよく観察すること。
8	博物館をつくる2	博物館の設計、博物館の空間(エントランス、展示室、収蔵庫、学習室、ミュージアムショップ、レストラン、学芸員室、事務室、駐車場、動線計画、設備計画)	博物館に行ったら、どんな部屋があるのか、案内図を確認すること。
9	博物館の展示	常設展示の概要	博物館の展示(とくに常設展示)を時間かけて見学してみる。
10	博物館の展示	企画展示とは何か	最近話題になった特別展示を紹介しよう。
11	博物館と生涯学習	こどもと博物館、高齢者と博物館、大学生と博物館、観光・まちづくりと博物館	地域社会における博物館の役割を考えてみる。
12	博物館の歴史	日本と世界の博物館	友達どうしで、これまでに見学した博物館の中で、面白かった博物館や展覧会を紹介しよう。
13	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。
14	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。入館料は別途徴収。
15	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。入館料は別途徴収。

関連科目 博物館学Ⅱ・Ⅲ、教育原理、視覚芸術論、生涯学習論が学芸員資格の必修科目。その他の関連科目。

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準) 定期試験と授業中の課題(レポートや見学会の感想)を総合的に評価します。

学生へのメッセージ 博物館に行っていない人がいますが、それは間違いです。歴史資料館や美術館に行っても、動物園や水族館には行ったことがあるはず。実は、動物園も水族館も博物館なのです。これからの博物館は、知的な好奇心を満足させてくれる楽しいところを目指してい

	ます。少しでも博物館に興味があるなら、とくに学芸員の資格をとるつもりがない人でも受講は歓迎です。学芸員資格を取るには、4年生で博物館実習を行う必要があります。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	博物館学Ⅱ	科目名(英文)	Museology II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	博物館資料は博物館になくてはならないものである。本講義では、博物館資料の種類や特質、及び、その収集・整理・保管の理論や方法を具体的に講義する。実物を観賞するために、博物館資料の特性や、モノを博物館資料とするために必要な理論やプロセスなど、学芸員に必要な博物館資料に関する基礎的知識と技術を習得するとともに、博物館資料を扱うには調査研究が不可欠であることを認識し、社会に求められる博物館の調査研究活動のあり方を理解することが目的である。
到達目標	多様な博物館資料に関する基礎的な知識を身につける。それらの特性を知り、保存上の注意についての基礎的な知識を身につける。博物館・美術館で実物に接して、その種類や特性が分かるようになる。
授業方法と留意点	毎回レジメを配布して、スライドを用いながら講義を進める。博物館・美術館における臨地講義も実施する。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格の取得(必修科目)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	美術資料について	美術資料の種類と特性を具体的に解説する。	本やWEBなどで、博物館所蔵の美術資料を調べる。
3	歴史・考古資料について	歴史・考古資料の種類と特性を具体的に解説する。	本やWEBなどで、博物館所蔵の歴史・考古資料を調べる。
4	民俗資料について	民俗資料の種類と特性を具体的に解説する。	本やWEBなどで、博物館所蔵の民俗資料を調べる。
5	自然史系資料について	自然史系資料の種類と特性を具体的に解説する。	本やWEBなどで、博物館所蔵の自然史資料を調べる。
6	博物館資料の特性	博物館資料に不可欠な要素を解説し、博物館資料の性格や意義について考える。	配布資料や参考書で復習する。
7	博物館における資料収集	博物館における資料収集の理念や原則、収集に関する倫理や法規について解説する。	配布資料や参考書で復習する。
8	資料の収集から収蔵まで	収集から収蔵までの具体的なプロセスと方法を説明する。	配布資料や参考書で復習する。
9	資料情報の記録と管理	博物館資料に付随する情報の記録方法とその管理方法を解説する。	配布資料や参考書で復習する。
10	二次資料の作製	模型やレプリカなどの二次資料の作製についての具体的な方法を知る。	配布資料や参考書で復習する。
11	資料の整理	資料の分類と整理の方法を解説する。	配布資料や参考書で復習する。
12	資料の活用	目録の作成や資料の貸出し、特別利用など多様な資料活用について解説する。	WEBで博物館の特別利用について調べる。
13	資料の公開	出版やインターネットを介しての資料の公開理念及び方法を解説する。	博物館が刊行した図録などをみる。
14	博物館の調査研究活動	博物館資料に関する調査研究活動はどのようになされているかを解説し、その意義を考える。	配布資料や参考書で復習する。
15	研究成果の社会還元	研究成果の社会還元の実例を説明し、その意義と可能性について考える。	配布資料や参考書で復習する。

関連科目	博物館科目
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	小レポート30% 定期試験70% 受講態度を加味する。
----------	-----------------------------------

学生へのメッセージ	各地にさまざまな博物館があります。できるだけ多くの博物館に行き、実際に展示された資料を見てください。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階(岩間研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	博物館教育論	科目名(英文)	Education in Museum
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	毛呂 祐子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業では博物館における教育のありかたを学びます。今日の博物館の役割は多様化してきていますが、その中でも「教育」という側面は、重要性を増してきています。さまざまな教育向けのプログラムの事例を学びます。
到達目標	この授業を通し、博物館活動全体にわたって、教育的な意義を考えて行えるようになることを目指します。
授業方法と留意点	まず、博物館教育の特性について概説します。博物館ならではの学びのありかたとは何か、という問題意識を持ちつつ、博物館施設での教育の実践をみていきます。また、博物館教育を発展させていくための課題として、自ら教育プログラムを考え、お互いの内容についてディスカッションします。日頃から博物館施設を訪れ、さまざまな教育プログラムを見るように努めてください。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格認定のため必修の科目となります。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーションと博物館における教育についての概説	この授業について説明したのち、博物館における教育について講義します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
2	博物館における教育プログラムの歴史	博物館における教育プログラムの歴史について講義します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
3	博物館教育の実例	写真、映像などを交えながら、博物館教育の実例を紹介しします。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
4	博物館教育の実例	写真、映像などを交えながら、博物館教育の実例を紹介しします。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
5	博物館教育の資料へ触れる	インターネットなどを通じ、博物館施設でどんなパンフレット、ワークシート、ワークショップの資料などが使われているのか、ダウンロードしたりして集めます。また、それらを実際に試してみます。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。ワークシートなどを見つけたら集めるようにしておいてください。
6	博物館教育の資料へ触れ、それらについて考察	インターネットなどを通じ、博物館施設でどんなパンフレット、ワークシート、ワークショップの資料などが使われているのか、ダウンロードしたりして集めます。また、それらを実際に試してみます。各々が試したのものについて考察し、発表します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。ワークシートなどを見つけたら集めるようにしておいてください。
7	博物館教育の資料へ触れ、それらについて考察	インターネットなどを通じ、博物館施設でどんなパンフレット、ワークシート、ワークショップの資料などが使われているのか、ダウンロードしたりして集めます。また、それらを実際に試してみます。各々が試したのものについて考察し、発表します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。ワークシートなどを見つけたら集めるようにしておいてください。
8	博物館施設の見学	博物館施設を訪れ、見学します。また、この施設に合わせたワークシートを後の授業で作りますので、それを前提に見学します。	訪れる博物館施設への行き方、概要など事前に調べておいてください。
9	博物館施設の見学	博物館施設を訪れ、見学します。また、この施設に合わせたワークシートを後の授業で作りますので、それを前提に見学します。	訪れる博物館施設への行き方、概要など事前に調べておいてください。
10	博物館教育の実例 小学校等との連携	博物館施設と学校との連携について、写真や映像などを交えながら講義します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
11	博物館教育の実例 大学等との連携	博物館施設と大学との連携について、写真や映像などを交えながら講義します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
12	博物館教育の実例 生涯学習	博物館施設での生涯学習、ボランティアとの連携などについて写真や映像を交えながら講義します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
13	教材の作成	授業で訪れた博物館施設、これまでに訪れた博物館施設でどのような教育活動ができるかを考え、教材を作成します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
14	教材の作成	授業で訪れた博物館施設、これまでに訪れた博物館施設でどのような教育活動ができるかを考え、教材を作成します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。
15	各自作った教材の発表	各自が作った教材について発表し、意見を交換します。	日頃からさまざまな博物館施設を訪れるようにしてください。

関連科目 学芸員資格に必要な各科目。

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				

	3		
評価方法 (基準)	授業への出席、授業態度、レポートによって評価します。		
学生への メッセージ	博物館施設の教育プログラムの様子は写真で紹介するだけではすべてはわかりません。積極的に博物館施設を訪れ、可能ならワークショップなどへ参加するようにしてください。		
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室		
備考	博物館施設の見学を行います。担当者は公益財団法人 日本伝染病組織振興会で学芸員をしています。		

科目名	博物館実習	科目名(英文)	Training Program of Museum Management
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	3	履修区分	選択科目
学期	通年集中	授業担当者	岩間 香, 赤澤 春彦, 谷 直樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	博物館は展示物(歴史・美術・文学ほか)、設置母体(公立・民間)、目的(教育が主・研究が主・保存が主など)により、さまざまな種類のものがある。学芸員の仕事も館の性格により、多様で一概には規定できない。この授業では博物館・美術館の実際を知り、学芸員の仕事を理解するために、博物館を实地見学に出かける。また学内においては、博物館についての知識を深め、学芸員の作業の一部を体験する。
到達目標	博物館における作業の内容と意味を理解する。博物館において学芸員の仕事の一部を体験し理解する。
授業方法と留意点	本授業は(1)大学が課する実習、(2)実習館が課する館内実習の2種に分かれ、(1)はさらに①学内での前期の講義と作業、②学外での見学の2種に分かれる。(下記15回)また(2)の館内実習は、夏休みあるいは後期に行われる。いずれが欠けても単位取得は不可である。なお見学・実習には交通費や実費が必要である。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション(谷・岩間・赤澤)	年間スケジュールの確認 博物館実習の取り組み方実習館の配属	出身地にある博物館を見ておく
2	拓本1(谷・岩間)	拓本の道具を作り、小さなもので練習する	拓本について調べる	
3	拓本2(谷・岩間)	近隣の神社や野外の石碑で拓本をとる練習をする。	道具を作っておく	
4	博物館の見学(岩間・谷・赤澤)	見学及びレクチャー	見学館について調べておく	
5	美術品の扱い方1(岩間)	掛け軸、陶磁器の扱い方、箱の納入の仕方を、実物を用いて学ぶ。	配布プリントの復習	
6	美術品の扱い方2(岩間)	絵巻物、額縁の扱い方、箱の納入の仕方を、実物を用いて学ぶ。	配布プリントの復習	
7	美術館の見学(岩間)	見学及びレクチャー	見学館について調べておく	
8	美術品の調査・整理(岩間)	美術品の計測、撮影、資料カードの作成を実物を用いて行なう。	配布プリントの復習	
9	歴史資料の調査・整理(谷)	調査の方法、資料カードの様々な様式、資料の整理法を学ぶ。	配布プリントの復習	
10	写真撮影の方法(谷)	美術写真・建築写真・記録写真の方法を、実例を見ながら学ぶ。	展覧会図録などを見ておく	
11	博物館の見学(谷・岩間・赤澤)	見学及びレクチャー	見学館について調べておく	
12	博物館の教育・普及活動(谷)	各自でワークショップ、イベントの実例を収集し発表。パンフレット、ホームページの効果についても考える。	さまざまなワークショップの例を調べておく	
13	展覧会の企画1(岩間)	各自が具体的にテーマと場所を決めて展覧会を企画する。	展示のテーマを考え、資料を集めておく	
14	展覧会の企画2(谷)	各自が具体的にテーマと場所を決めて展覧会を企画する。	展示場所の情報を集める。展示の細かい内容を考える	
15	プレゼンテーションと講評 博物館・館内実習の指導(岩間・谷・赤澤)	各自が企画した展覧会について発表し、講評を行なう。博物館ノートの配布と書き方の指導・諸注意	レジメを作り、発表の練習をする	

関連科目	学芸員資格の必修科目およびその他の関連科目
------	-----------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	受講態度、見学レポート、博物館での実習状況を総合して評価する。
----------	---------------------------------

学生へのメッセージ	各地の博物館に赴いて行なう実習は3～8日間程度です。期間中は実習に集中し、摂南大学の学生として恥ずかしくない行動をとってください。
-----------	---

担当者の研究室等	岩間・・・7号館5階(岩間研究室) 谷・・・7号館2階(非常勤講師室) 赤澤・・・7号館4階(赤澤研究室)
----------	---

備考	
----	--

科目名	博物館情報・メディア論	科目名(英文)	Media for Information of a Museum
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中川 馨
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	現代社会では様々なかたちで映像メディアと接しているが、写真の歴史と表現を学ぶことにより、映像メディア登場以後の社会環境の変化について考察する。また写真をはじめとする視覚情報によって、人間の視覚認識はどのように変化したのか、現代の膨大な映像メディアによる情報との向き合い方についても考える。
到達目標	映像メディアと社会の関係を理解する。 映像メディアによる情報との向き合い方を身につける。 博物館における映像メディアの役割を理解する。
授業方法と留意点	講義中はスライドを使用する。提示する図は必要に応じてノートに描きとどめてもらいたい。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	映像イメージの発見	光の像の投影について カメラオプスキュラの誕生	カメラオプスキュラについて本やWEBで調べる
3	カメラオプスキュラの活用	カメラオプスキュラによる近世絵画表現の変化について	カメラオプスキュラについて本やWEBで調べる
4	写真のはじまり	写真技術の誕生について	初期の写真技術について本やWEBで調べる
5	肖像写真の時代	肖像写真の役割と社会への影響について	歴史上の人物の肖像写真について本やWEBで調べる
6	初期の写真表現	写真黎明期の芸術写真表現について	19世紀の写真表現について本やWEBで調べる
7	都市の記録	写真による都市表象について	19世紀の写真について本やWEBで調べる
8	写真と絵画の交わり 1	写真と西洋絵画における写実表現の関係 映像による視覚がどのように表現の変化をもたらしたかについて	近代絵画について本やWEBで調べる
9	写真と絵画の交わり 2	日本の近代絵画への写真の影響について 主に花鳥画における表現の考察	日本の近代絵画について本やWEBで調べる
10	近代写真の確立	ストレートフォトグラフィを中心に近代写真表現について	ストレートフォトグラフィについて本やWEBで調べる
11	時代の記録	報道写真について 報道写真の社会的な影響を考える	報道写真について本やWEBで調べる
12	カラー写真の登場	カラー写真による表現の変化について	カラー写真について本やWEBで調べる
13	現代写真表現 1	アメリカの現代写真を中心に表現を考察	現代写真表現について本やWEBで調べる
14	現代写真表現 2	日本の現代写真を中心に表現を考察	現代写真表現について本やWEBで調べる
15	まとめ	写真の歴史や表現から、21世紀の写真メディアの在り方を考える 博物館における映像の役割を考える	写真について復習する

関連科目	博物館科目
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	期末レポートを実施 受講態度を加味する
----------	------------------------

学生へのメッセージ	板書を写すだけでなく、講義の内容をノートすること。
-----------	---------------------------

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	博物館資料保存論	科目名(英文)	Preservation of Museum Material
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	博物館にとって資料はなくてはならないものです。資料がなければ博物館は成り立たないと言っても過言ではありません。したがって資料の収集、管理、保存は学芸員にとって最も重要な仕事の1つとなります。また、一口に「資料」といっても例えば考古、歴史、民俗など様々な種類があります。
到達目標	資料の種類、取り扱い方、整理・管理・保存・修復の方法などの基礎的な知識と技能を習得できる。
授業方法と留意点	基本的に座学ですが、教室での講義だけでなく、基礎的な技術を身につけたり、博物館を見学することも予定しています。学芸員資格を取得するための大事な講義です。したがって原則欠席は認めません。なお、初回の講義には必ず出席してください。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格の取得(必修科目)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	
1	資料とは何か、資料保存とは何か	講義の進め方、自己紹介、博物館に関する話などをします。 資料の定義、種類について解説し、資料保存の基本的な考えについて講義します。	復習	
2	考古資料の保存(1)	埋蔵文化財、考古資料の保存方法について講義します。	復習	
3	考古資料の保存(2)	遺物の接合実習をします。	復習	
4	考古資料の保存(3)	遺物の接合の続きと実測をします。	復習	実測図を完成させ、次週までに提出する。
5	民俗資料の保存	民俗資料の保存の方法について講義します。	復習	
6	石造物の保存(1)	石造物の保存方法について講義し、実測とスケッチをします。	復習	
7	石造物の保存(2)	石造物の実測、スケッチの続きをします。	復習	実測図、スケッチを完成させ、次週までに提出する。
8	歴史資料の保存(1)	歴史資料の整理方法、保存方法について講義します。	復習	
9	歴史資料の保存(2)	古文書修復の実習をします。	復習	
10	歴史資料の保存(3)	和本の装丁の実習をします。	復習	
11	燻蒸とIPM	虫損から資料を守る燻蒸とIPM(総合的有害生物管理)という2つの方法を比較検討します。	復習	
12	資料保存の現実	博物館見学		3コマ分です。 日程は講義中に決めます。
13	資料保存の現実	博物館見学		3コマ分です。 日程は講義中に決めます。
14	資料保存の現実	博物館見学		3コマ分です。 日程は講義中に決めます。
15	まとめ	筆記試験を行います(持ち込み不可)		今までのノートをまとめておく。

関連科目 他の学芸員課程の講義。日本史学、日本美術史、日本文化史。

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準) 講義最終日に行う筆記試験(持ち込み不可)、受講中に課すレポート、実技試験をもとに評価します。

学生へのメッセージ 学芸員を目指す方にとって必須の科目です。単に知識を得るだけでなく、私の経験をもとに資料保存の現実について一緒に考えたり、また保存に関わる基礎的な技能を身につけましょう。積極的な姿勢を望みます。

担当者の研究室等 7号館4階(赤澤研究室)

備考 事前・事後学習は総時間60時間を目安とする。
課外学習の日程は天候などの要件によって変更する場合があります。

科目名	博物館資料論	科目名(英文)	Technique of collection and arrangement
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	博物館資料は博物館になくてはならないものである。本講義では、博物館資料の種類や特質、及び、その収集・整理・保管の理論や方法を具体的に講義する。実物を観賞するために、博物館資料の特性や、モノを博物館資料とするために必要な理論やプロセスなど、学芸員に必要な博物館資料に関する基礎的知識と技術を習得するとともに、博物館資料を扱うには調査研究が不可欠であることを認識し、社会に求められる博物館の調査研究活動のあり方を理解することが目的である。
到達目標	多様な博物館資料に関する基礎的な知識を身につける。それらの特性を知り、保存上の注意についての基礎的な知識を身につける。博物館・美術館で実物に接して、その種類や特性が分かるようになる。
授業方法と留意点	毎回レジメを配布して、スライドを用いながら講義を進める。博物館・美術館における臨地講義も実施する。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格の取得(必修科目)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	博物館資料の種類	博物館資料にはどのような種類があるかを概説する。	配布資料や参考書で復習する。
2	美術資料について	美術資料の種類と特性を具体的に解説する。	本やWEBなどで、博物館所蔵の美術資料を調べる。
3	歴史・考古資料について	歴史・考古資料の種類と特性を具体的に解説する。	本やWEBなどで、博物館所蔵の歴史・考古資料を調べる。
4	民俗資料について	民俗資料の種類と特性を具体的に解説する。	本やWEBなどで、博物館所蔵の民俗資料を調べる。
5	自然史系資料について	自然史系資料の種類と特性を具体的に解説する。	本やWEBなどで、博物館所蔵の自然史資料を調べる。
6	博物館資料の特性	博物館資料に不可欠な要素を解説し、博物館資料の性格や意義について考える。	配布資料や参考書で復習する。
7	博物館における資料収集	博物館における資料収集の理念や原則、収集に関する倫理や法規について解説する。	配布資料や参考書で復習する。
8	資料の収集から収蔵まで	収集から収蔵までの具体的なプロセスと方法を説明する。	配布資料や参考書で復習する。
9	資料情報の記録と管理	博物館資料に付随する情報の記録方法とその管理方法を解説する。	配布資料や参考書で復習する。
10	二次資料の作製	模型やレプリカなどの二次資料の作製についての具体的な方法を知る。	配布資料や参考書で復習する。
11	資料の整理	資料の分類と整理の方法を解説する。	配布資料や参考書で復習する。
12	資料の活用	目録の作成や資料の貸出し、特別利用など多様な資料活用について解説する。	WEBで博物館の特別利用について調べる。
13	資料の公開	出版やインターネットを介しての資料の公開理念及び方法を解説する。	博物館が刊行した図録などをみる。
14	博物館の調査研究活動	博物館資料に関する調査研究活動はどのようになされているかを解説し、その意義を考える。	配布資料や参考書で復習する。
15	研究成果の社会還元	研究成果の社会還元の実例を説明し、その意義と可能性について考える。	配布資料や参考書で復習する。

関連科目	博物館科目
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	小レポート30% 定期試験70% 受講態度を加味する。
----------	-----------------------------------

学生へのメッセージ	各地にさまざまな博物館があります。できるだけ多くの博物館に行き、実際に展示された資料を見てください。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階(岩間研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	パブリックスピーキング a	科目名 (英文)	Public Speaking a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	スティーブ トマシェフスキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	The course will focus on the necessary skills of public speaking in English. This will be achieved through use of materials and activities that hone skills of public oral presentation of ideas in a public English environment. Students will be expected to research various topics via print and electronic media and report the results in short presentations to fellow students using outlines and visual aids. Recitations will not be a part of this course. The activities are designed to reinforce and practice the specific skills introduced in the course.
到達目標	The students will be able to organize and present information in a clear and acceptable manner to an English speaking audience.
授業方法と留意点	・・・20% of the grade will be based upon the successful preparation for the class, 20% will be for active participation and involvement in the class and 60% will be based on the multiple presentations students will be expected to give in the class.
科目学習の効果 (資格)	・・・

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introductions	Course objectives, Outline construction, Self Introduction-Preparation / Discussion	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson before they come to class.
	2	Discourse Organization	Weekly News Summary. Outlines Construction / Definition	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	3	Research / Outlining	Weekly News Summary. Informative Speech- Hometown / Area	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	4	Evaluation	Presentation - Informative Speech Hometown / Area	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	5	Research / Outlining layout	An Institution- History & physical Focus- Body Organization	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	6	Research / Outlining	Outline Production / Practice	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	7	Evaluation	Presentation - Informative Speech Institution - History & physical layout	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	8	Research / Outlining	Weekly News Summary. Informative Speech- Biography- Contemporary Person Focus - Conclusions	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	9	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Practice	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	10	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Practice	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	11	Presentation / Evaluation	Informative Speech- Biography- Contemporary Person	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	12	Research / Outlining	Weekly News Summary. Informative Speech- Geography- World Cities Focus - Integration of Outline Components	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	13	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Practice	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	14	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Practice	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
15	Presentation / Evaluation	Informative Speech- Geography- World Cities	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.	

関連科目	・・・
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech	David Harrington, Charles LeBeau	Macmillan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	An English to English Dictionary		Oxford, Cambridge or other respected publisher
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Grades will be based on student preparation, in-class performance and spoken presentations given during the course.
学生への メッセージ	...
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	パブリックスピーキング b	科目名 (英文)	Public Speaking b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	スティーブ トマシェフスキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	The course will focus on the necessary skills of public speaking in English. This will be achieved through use of materials and activities that hone skills of public oral presentation of ideas in a public English environment. Students will be expected to research various topics via print and electronic media and report the results in short presentations to fellow students using outlines and visual aids. Recitations will not be a part of this course. The activities are designed to reinforce and practice the specific skills introduced in the course.
到達目標	The students will be able to organize and present information in a clear and acceptable manner to an English speaking audience.
授業方法と留意点	20% of the grade will be based upon the successful preparation for the class, 20% will be for active participation and involvement in the class and 60% will be based on the multiple presentations students will be expected to give in the class.
科目学習の効果 (資格)	...

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introductions	Course objectives, Outline construction, Self Introduction-Preparation / Discussion	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	2	Discourse Organization	Weekly News Summary. Review- Outlines - Construction / Definition	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	3	Research / Outlining	Weekly News Summary. Persuasive Speech- Comparison of 2 Electronic Products Focus- Topic Introductions / Visual Aids	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	4	Evaluation	Presentation - Persuasive Speech Comparison of 2 Electronic Products	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	5	Research / Outlining	Weekly News Summary. Ecology-Problems / Solutions Focus- Comparing Data	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	6	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Practice	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	7	Evaluation	Presentation - Persuasive Speech Ecology-Problems / Solutions	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	8	Research / Outlining	Weekly News Summary. Persuasive Speech- Biography- Historical Persons Focus - Compare /Contrast Accomplishments	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	9	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Practice	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	10	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Practice	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	11	Presentation / Evaluation	Persuasive Speech- Biography- Historical Persons Accomplishments	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	12	Research / Outlining	Weekly News Summary. Persuasive Speech- Topic - Product Comparison Focus - Providing Evidence	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	13	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Establishing Evidence	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	14	Research / Outlining	Weekly News Summary. Outline Production / Establishing Evidence	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.
	15	Presentation / Evaluation	Persuasive Speech - Product Comparison	Students should prepare outlines, study materials and practice their presentations before they come to class.

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech	David Harrington, Charles Lebeau	Macmillan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	An English to English Dictionary		Oxford, Cambridge or other respected publisher
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Grades will be based on student preparation, in-class performance and spoken presentations given during the course.
学生への メッセージ	It is my hope that all of the students in this class will seriously work to improve their research, critical thinking and speaking skills in English.
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	ビジネス イングリッシュ a	科目名 (英文)	Business English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ア・ラッド・リー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	Students will practice listening, reading writing and speaking in English in a business context.			
到達目標	Students are also asked to comprehend the main ideas of various passages, analyze the data and contents, and give their opinions regarding the topics discussed in the reading materials.			
授業方法と留意点	Students will do a variety of text book exercises in class.			
科目学習の効果 (資格)	To improve English for use in a business environment			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	2	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	3	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	4	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review.
	5	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	6	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	7	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	8	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	9	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	10	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	11	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	12	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	13	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	14	Exercises	Writing, reading speaking and listening exercises	Review
	15	Test	Test	None
関連科目	None			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Market Leader New Edition. Elementary Business Course Book	David Cotton	Pearson Longman
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Attendance 40%, participation 30% term end test 30%			
学生へのメッセージ	For students interested in improving their business English			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	ビジネス イングリッシュ a	科目名 (英文)	Business English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ダニエル マリノズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	このクラスでは、ビジネスの場で必要となるような基本語彙や重要表現を学びます。また、様々なビジネスシーンを想定したダイアログなどを通して英語での実践的コミュニケーション力を磨きます。
到達目標	Students are also asked to comprehend the main ideas of various passages, analyze the data and contents, and give their opinions regarding the topics discussed in the reading materials.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	ToEIC のスコアアップやビジネス英語検定の取得

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	導入	講義の進め方、評価方法などを説明	初回の授業時に説明します。
2	教科書 Unit 1	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
3	教科書 Unit 1	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
4	教科書 Unit 2	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
5	教科書 Unit 2	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
6	教科書 Unit 3 Unit 1-2 復習テスト	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
7	教科書 Unit 3	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
8	教科書 Unit 4	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
9	教科書 Unit 4	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
10	教科書 Unit 5 Unit 3-4 復習テスト	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
11	教科書 Unit 5	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
12	教科書 Unit 6	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
13	教科書 Unit 6	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
14	Unit 5-6 復習テスト	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
15	テストのフィードバックと学習アドバイス。	final exam	なし

関連科目	ビジネスイングリッシュ b
------	---------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Get Ready for Business 1: Preparing for work Student Book 1 (ISBN: 9780230039797)	Vaughn, A. and Zemach, D. E.	Macmillan
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	Class participation 10% Unit tests 3x30%
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	ビジネス イングリッシュ a	科目名 (英文)	Business English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	このコースではビジネスの様々な場において使える英語を学んでいきます。学生はこれらのシーンで具体的に自分自身を表現する為の中級レベルの英語を学びます。 This is a course in basic business English. Students will learn and use specific business English to express themselves up to intermediate level in situations such as meetings, dealing with clients, making appointments, requests and offers, etc.
到達目標	Upon completion of this course, students should have a working knowledge of the English used in the various business situations presented in the text.
授業方法と留意点	ペアになっての会話の練習、小さなグループに分かれての討論、対話練習等が重点的になっていくだろう。 Students will use pair work, small group work, roll play and dialogue practice.
科目学習の効果 (資格)	学生はビジネスのシーンにおいて、自分自身を表現する為の中級レベルの英語を学ぶことができます。 Students will learn language to express themselves in business situations up to intermediate level.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	Introduction and class overview.	No preparation required.
2	Unit 1. First meetings.	Meeting a client. Talking about yourself. Numbers.	Pages 4-6.
3	Unit 1. First meetings continued.	Who are you? Interviews. Culture file - Greetings.	Pages 7-9.
4	Unit 2. You and Your Company.	Introducing your company. Company activities. Company departments.	Pages 10-12.
5	Unit 2. You and Your Company. continued.	Numbers. Starting a conversation. Cultural file - Socializing.	Pages 13-15.
6	Unit 3. Visiting a Client.	Arriving at an airport. At reception. Meeting people.	Pages 16-18.
7	Unit 3. Visiting a Client continued.	Finding the right room. Numbers and addresses. Culture file - What's your office like?	Pages 19-21.
8	Unit 4. Business Activities.	Describing routines. How often? Adverbs of frequency. Talking about company activities.	Pages 22-24.
9	Unit 4. Business Activities continued.	Numbers and times. What's your job like? Cultural file - Office life.	Pages 25-28.
10	Unit 5. Fixing an Appointment.	Arranging to meet. Speaking to reception. Fixing an appointment.	Pages 29-31.
11	Unit 5. Fixing an Appointment continued.	Ordinal numbers and dates. Telephoning. Cultural file - The right time.	Pages 32-34.
12	Unit 6. Requests and Offers.	Placing an order. Requests and offers. Decimals and exchange rates.	Pages 35-37.
13	Unit 6. Requests and Offers continued.	E-mail and web site addresses. Ordering by phone. Cultural file - E-commerce.	Pages 38-40.
14	Review of units 1-6.	Review contents of units 1-6.	Review vocabulary of units 1-6.
15	Test of units 1-6.	Test of units 1-6.	Prepare for test.

関連科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Business Venture 1	Roger Bernard	Oxford University Press ISBN: 978-0-19-457817-2
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	辞書		
2			
3			

評価方法 (基準)	Term test: 30%, midterm vocabulary test: 20% 出席授業参加態度: 50%. Attendance, attitude and participation: 50%
-----------	--

学生へのメッセージ	良い成績を取るためには、授業に参加すること、学びたいという姿勢、態度が大切です。もちろん出席することが重要です。This business course is a communication course, so students should try to use their English as much as possible. A good attitude towards learning and participating are important to getting a good grade. Attendance is also very important.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	ビジネス イングリッシュ a	科目名 (英文)	Business English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	E F
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	藤岡 真樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業は、学生の皆さんにビジネスのさまざまな場面で用いる基礎的な英語表現を身につけてもらうことを目的として実施するものです。正しい発音と文法、話し方の「型」を重視して学習していきます。就職後を想定したスピーチやプレゼンテーションの練習もします。
到達目標	この授業では、皆さんに基礎的な英会話能力に加え、ビジネスの場面で必要となる丁寧な表現を身につけてもらうことを到達目標とします。
授業方法と留意点	Business Encounters の1Unit を2回の授業を使って学習していきます。学生の皆さんには、各Unit の予習を十分にできてもらったうえで、授業ではペアやグループに分かれて、実際に英語で会話してもらいます。 合わせて、それまでに学習したことを身につけ、かつビジネスの場面で英語を用いる練習として、スピーチ/プレゼンテーション・テストを実施します。このテストの結果は、成績評価に組み込みますので、必ず受けるようにしてください。 (留意点1) リーダーズなど中レベル以上の英和辞典を毎回必ず持参してください。書籍型でも電子型でもかまいません。 (留意点2) この授業は、担当者が一方的に教授するのではなく、担当者と受講者全員とが力を合わせて英語力の向上を図ることを目的としています。したがって授業中は、私語をしないなどの最低限の常識は守ってください。担当者の注意・指導に従わない学生は、単語テストや定期試験の出来いにかんにかかわらず、単位を認定しません。
科目学習の効果 (資格)	スピーキング力、リスニング力の向上。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション クラスメイトに自己紹介をする。	授業内容・成績評価についての説明。 自己紹介の仕方を学ぶ。	なし。
2	初出勤時のあいさつの仕方を学ぶ。 "I'll be -ing" を使えるようになる。	Unit 1: Welcome to the office. Unit 1 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 1 の予習。テキストを熟読する。
3	初出勤時のあいさつの仕方を学ぶ。 "I'll be -ing" を使えるようになる。	Unit 1: Welcome to the office. Unit 1 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 1 の予習。テキストを熟読する。
4	電話対応の基礎を学ぶ。	Unit 2: What time do you close? Unit 2 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 2 の予習。テキストを熟読する。
5	電話対応の基礎を学ぶ。	Unit 2: What time do you close? Unit 2 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 2 の予習。テキストを熟読する。
6	電話で発注を変更する仕方を学ぶ。 "I'd like to -", "Could you -?" を使えるようになる。	Unit 3: I'd like to change an order. Unit 3 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 3 の予習。テキストを熟読する。
7	電話で発注を変更する仕方を学ぶ。 "I'd like to -", "Could you -?" を使えるようになる。	Unit 3: I'd like to change an order. Unit 3 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 3 の予習。テキストを熟読する。
8	英語で仕事をすることについてのイメージを持つ。	英語で仕事をしている映像を鑑賞する。	(事後学習課題) 英語で仕事をするために何が必要か、映像を見て考えたことをレポートにまとめて提出する。
9	電話の受け方、伝言の預かり方を学ぶ。 "May I -?" を使えるようになる。	Unit 4: May I take a message? Unit 4 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 4 の予習。テキストを熟読する。
10	電話の受け方、伝言の預かり方を学ぶ。 "May I -?" を使えるようになる。	Unit 4: May I take a message? Unit 4 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 4 の予習。テキストを熟読する。
11	接客の仕方を学ぶ。 "Shall I -?" を使えるようになる。	Unit 5: Shall I ring that up for you? Unit 5 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 5 の予習。テキストを熟読する。
12	接客の仕方を学ぶ。 "Shall I -?" を使えるようになる。	Unit 5: Shall I ring that up for you? Unit 5 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 5 の予習。テキストを熟読する。
13	出迎え、案内の仕方を学ぶ。	Unit 6: This way, please. Unit 6 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 6 の予習。テキストを熟読する。
14	出迎え、案内の仕方を学ぶ。	Unit 6: This way, please. Unit 6 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 6 の予習。テキストを熟読する。
15	スピーチ/プレゼンテーション・テスト	これまでに学習した内容が身についているかを確認する。	スピーチ/プレゼンテーション・テストの準備。原稿を作成し、テスト後に提出する。

関連科目	他の英語全科目			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Business Encounters	Michael P. Critchley	南雲堂
	2			

	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業態度：40%、提出物：40%、スピーチ/プレゼンテーション・テスト：20%の割合で評価します。			
学生への メッセージ	英会話は慣れていないと緊張して萎縮しがちですが、発音と構文がしっかりしていれば、必ず相手に伝わります。この授業を通じて、英語を使って会話することに対する自信を身につけていきましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	ビジネス イングリッシュ a	科目名 (英文)	Business English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	G H
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	梅田 尋道
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	このクラスでは、ビジネスの場で必要となるような基本語彙や重要表現を学びます。また、様々なビジネスシーンを想定したダイアログなどを通して英語での実践的コミュニケーション力を磨きます。
到達目標	卒業後、英語を用いて仕事が行えるようになるための英語力を習得する。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	Toeic のスコアアップやビジネス英語検定の取得

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	導入	講義の進め方、評価方法などを説明	初回の授業時に説明します。
2	第1課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
3	第1課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
4	第2課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
5	第2課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
6	第3課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
7	第3課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
8	期間外試験 1	midterm exam	第1-3課の復習
9	第4課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
10	第4課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
11	第5課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
12	第5課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
13	第6課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
14	第6課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
15	期間外試験 2	final exam	第4-6課の復習

関連科目	ビジネスイングリッシュ b
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	lets get down to business	k. tsuji	macmillan languagehouse
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業活動への参加 10% 語彙テスト、提出物、発表等 30% 期間外テスト (2回) 60%
学生へのメッセージ	英語はもちろんのこと、実社会で問題となる様々なことについていっしょに考えてみたいと思います。学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	ビジネス イングリッシュ b	科目名 (英文)	Business English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	S
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	アフラッドリー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	Students will practice listening, reading writing and speaking in English in a business context.
到達目標	Students will increase their confidence in using general and business English.
授業方法と留意点	Students will do a variety of text book exercises in class.
科目学習の効果 (資格)	To improve English for use in a business environment

回数	授業テーマ	内容・方法 等		事前・事後学習課題
		Writing, reading listening exercises	speaking and	
1	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
2	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
3	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
4	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review.
5	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
6	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
7	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
8	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
9	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
10	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
11	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
12	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
13	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
14	Exercises	Writing, reading listening exercises	speaking and	Review
15	Test	Test		None

関連科目	None
------	------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Market Leader New Edition Elementary Course Book	David Cotton	Pearson Longman
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	Attendance 40%, participation 30% term end test 30%
-----------	---

学生へのメッセージ	For students interested in improving their business English
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	ビジネス イングリッシュ b	科目名 (英文)	Business English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	A B
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリノズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	このクラスでは、ビジネスの場で必要となるような基本語彙や重要表現を学びます。また、様々なビジネスシーンを想定したダイアログなどを通して英語での実践的コミュニケーション力を磨きます。
到達目標	Students are also asked to comprehend the main ideas of various passages, analyze the data and contents, and give their opinions regarding the topics discussed in the reading materials.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	ToEIC のスコアアップやビジネス英語検定の取得

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	導入	講義の進め方、評価方法などを説明	初回の授業時に説明します。
2	教科書 Unit 7	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
3	教科書 Unit 7	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
4	教科書 Unit 8	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
5	教科書 Unit 8	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
6	教科書 Unit 9 Unit 7-8 復習テスト	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
7	教科書 Unit 9	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
8	教科書 Unit 10	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
9	教科書 Unit 10	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
10	教科書 Unit 11 Unit 9-10 復習テスト	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
11	教科書 Unit 11	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
12	教科書 Unit 12	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
13	教科書 Unit 12	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
14	Unit 11-12 復習テスト	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、課題	課題
15	テストのフィードバックと学習アドバイス。	final exam	なし

関連科目	ビジネス イングリッシュ b
------	----------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Get Ready for Business 1: Preparing for work Student Book 1 (ISBN: 9780230039797)	Vaughn, A. and Zemach, D. E.	Macmillan
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	Class participation 10% Unit tests 3x30%
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	ビジネス イングリッシュ b	科目名 (英文)	Business English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	C D
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択必修	

授業概要・目的	このコースではビジネスの様々な場において使える英語を学んでいきます。学生はこれらのシーンで具体的に自分自身を表現する為の中級レベルの英語を学びます。 This is a course in basic business English. Students will learn and use specific business English to express themselves up to intermediate level in situations such as meetings, dealing with clients, making appointments, requests and offers, etc.
到達目標	Upon completion of this course, students should have a working knowledge of the English used in the various business situations presented in the text.
授業方法と留意点	ペアになっての会話の練習、小さなグループに分かれての討論、対話練習等が重点的になっていくだろう。 Students will use pair work, small group work, roll play and dialogue practice.
科目学習の効果 (資格)	学生はビジネスのシーンにおいて、自分自身を表現する為の中級レベルの英語を学ぶことができます。 Students will learn language to express themselves in business situations up to intermediate level.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Unit 7. Company and Personal History continued.	Large numbers. A family business. Culture file - Job mobility.	Pages 44-46.
3	Unit 8. Making Plans.	Announcing company plans. Talking about company objectives.	Pages 47-49.
4	Unit 8. Making Plans continued.	A business trip. A new project. Culture file - Business travelers.	Pages 50-53.
5	Unit 9. Opinions and Preferences.	Choosing the best candidate. Making comparisons. Agreeing and disagreeing.	Pages 54-56.
6	Unit 9. Opinions and Preferences continued.	Dimensions and weight. New offices. Culture file - Interrupting.	Pages 57-59.
7	Review of units 7-9. Vocabulary test units 7-9. Special topic.	Review of units 7-9. Special topic. Vocabulary test units 7-9.	Review vocabulary units 7-9.
8	Unit 10. Directions and Invitations.	Finding your way. Asking and giving directions. Apologies and invitations.	Pages 60-62
9	Unit 10. Directions and Invitations continued.	Numbers for journeys. How do I get there? Culture file - Airport transfer.	Pages 63-65.
10	Unit 11. Entertaining.	Offering food and drink. At a barbecue. At a restaurant.	Pages 66-68.
11	Unit 11. Entertaining continued.	Prices. Ordering food and drinks. Culture file - Entertaining clients.	Pages 69-71.
12	Unit 12. Saying Goodbye.	Saying goodbye. Keeping in touch. Talking about the future.	Pages 72-74.
13	Unit 12. Saying Goodbye continued.	Times and years. Itineraries. Culture file - Gifts.	Pages 75-78.
14	Review of units 7-12. Special topic.	Review contents of units 7-12.	Review vocabulary of units 7-12.
15	Review contents of units	Test of units 7-12.	Prepare for test.

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Business Venture 1</td> <td>Roger Bernard</td> <td>Oxford University Press ISBN: 978-0-19-457817-2</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Business Venture 1	Roger Bernard	Oxford University Press ISBN: 978-0-19-457817-2	2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	Business Venture 1	Roger Bernard	Oxford University Press ISBN: 978-0-19-457817-2													
	2																
3																	

参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>辞書</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	辞書			2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	辞書															
	2																
3																	

評価方法 (基準)	Term test: 30%, midterm vocabulary test: 20% 出席授業参加態度: 50%. Attendance, attitude and participation: 50%
-----------	--

学生へのメッセージ	良い成績を取るためには、授業に参加すること、学びたいという姿勢、態度が大切です。もちろん出席することが重要です。 This business course is a communication course, so students should try to use their English as much as possible. A good attitude towards learning and participating are important to getting a good grade. Attendance is also very important.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---------------------------------------

科目名	ビジネス イングリッシュ b	科目名 (英文)	Business English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	E F
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	藤岡 真樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業は、学生の皆さんにビジネスのさまざまな場面で用いる基礎的な英語表現を身につけてもらうことを目的として実施するものです。正しい発音と文法、話し方の「型」を重視して学習していきます。就職後を想定したスピーチやプレゼンテーションの練習もします。
到達目標	この授業では、皆さんに基礎的な英会話能力に加え、ビジネスの場面で必要となる丁寧な表現を身につけてもらうことを到達目標とします。
授業方法と留意点	Business Encounters の1Unit を2回の授業を使って学習していきます。学生の皆さんには、各Unit の予習を十分に行なってきてもらったうえで、授業ではペアやグループに分かれて、実際に英語で会話してもらいます。 合わせて、それまでに学習したことを身につけ、かつビジネスの場面で英語を用いる練習として、スピーチ/プレゼンテーション・テストを実施します。このテストの結果は、成績評価に組み込みますので、必ず受けるようにしてください。 (留意点1) リーダーズなど中レベル以上の英和辞典を毎回必ず持参してください。書籍型でも電子型でもかまいません。 (留意点2) この授業は、担当者が一方的に教授するのではなく、担当者と受講者全員とが力を合わせて英語力の向上を図ることを目的としています。したがって授業中は、私語をしないなどの最低限の常識は守ってください。担当者の注意・指導に従わない学生は、単語テストや定期試験の出来いにかかわらず、単位を認定しません。
科目学習の効果 (資格)	スピーキング力、リスニング力の向上。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション 電話の受け方、伝言の預かり方を学ぶ。 "May I -?" を使えるようになる。	授業内容・成績評価についての説明。 Unit 4: May I take a message? Unit 4 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 4 の予習。テキストを熟読する。
2	Scene A: A Day at the Office の復習をする。	Unit 1 から Unit 4 までの復習として、 語句やフレーズが身に付いているかを 確認する。	Unit 1 から Unit 4 までの復習をする。
3	接客の仕方を学ぶ。 "Shall I -?" を使えるようになる。	Unit 5: Shall I ring that up for you? Unit 5 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 5 の予習。テキストを熟読する。
4	出迎え、案内の仕方を学ぶ。	Unit 6: This way, please Unit 6 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 6 の予習。テキストを熟読する。
5	苦情の受け方を学ぶ。	Unit 7: I'd like to make a complaint. Unit 7 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 7 の予習。テキストを熟読する。
6	取引の仕方を学ぶ。	Unit 8: Could you fill out this form? Unit 8 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 8 の予習。テキストを熟読する。
7	Scene B: Meet the Customer の復習をする。	Unit 5 から Unit 8 までの復習として、 語句やフレーズが身に付いているかを 確認する。	Unit 5 から Unit 8 までの復習をする。
8	英語で仕事をする 것에 ついてのイメージを持つ。	英語での仕事かどのようなものかを想像するための映画を鑑賞する。	(事前学習課題) 映画の内容を理解するために必要な単語について調べてくる。 (事後学習課題) 英語で仕事をするために何が必要か、映画を見て考えたことをレポートにまとめて提出する。
9	ゲストの要求を聞きだせるようになる。 "There is/are -." を使えるようになる。	Unit 9: Welcome to Japan. Unit 9 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 9 の予習。テキストを熟読する。
10	会話を発展させるテクニックを学ぶ。	Unit 10: What's your background? Unit 10 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 10 の予習。テキストを熟読する。
11	スケジュールの伝え方を学ぶ。	Unit 11: Here's your schedule. Unit 11 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 11 の予習。テキストを熟読する。
12	ゲストの質問への答え方を学ぶ。	Unit 12: I'll see you tomorrow Unit 12 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 12 の予習。テキストを熟読する。
13	会議での議論の仕方を学ぶ。	Unit 15: I think people will love this! Unit 15 の学習内容をペア・ワークやグループ・ワークを通して身につける。	Unit 15 の予習。テキストを熟読する。
14	ビジネススピーキング・テスト	ビジネス・パートナーとのファースト・コンタクトから新製品のミーティングまでの一連の流れを英語で行う。	テストの準備。原稿を作成し、テスト後に提出する。
15	ビジネススピーキング・テスト	ビジネス・パートナーとのファースト・コンタクトから新製品のミーティングまでの一連の流れを英語で行う。	テストの準備。原稿を作成し、テスト後に提出する。

関連科目 他の英語全科目
教科書

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Business Encounters	Michael P. Critchley	南雲堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業態度：40%、提出物：40%、スピーチ/プレゼンテーション・テスト：20%の割合で評価します。			
学生への メッセージ	英会話は慣れていないと緊張して萎縮しがちですが、発音と構文がしっかりしていれば、必ず相手に伝わります。この授業を通じて、英語を使って会話することに対する自信を身につけていきましょう。			
担当者の 研究室等	7号館2階（非常勤講師室）			
備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とします。			

科目名	ビジネス イングリッシュ b	科目名 (英文)	Business English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	G H
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	梅田 尋道
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択必修	

授業概要・目的	このクラスでは、ビジネスの場で必要となるような基本語彙や重要表現を学びます。また、様々なビジネスシーンを想定したダイアログなどを通して英語での実践的コミュニケーション力を磨きます。
到達目標	卒業後、英語を用いて仕事が行えるようになるための英語力を習得する。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	ToEIC のスコアアップとビジネス英語検定の取得

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	導入	講義の進め方、評価方法などを説明	初回の授業時に説明します。
2	第7課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
3	第7課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
4	第8課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
5	第8課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
6	第9課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
7	第9課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
8	期間外試験 1	midterm exam	第7-9課の復習
9	第10課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
10	第10課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
11	第11課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
12	第11課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
13	第12課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
14	第12課	リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題	vocabulary test の準備
15	期間外試験 2	final exam	第10-12課の復習

関連科目	ビジネスイングリッシュ a
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	lets get down to business	k. tsuji	macmillan languagehouse
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業活動への参加 10% 語彙テスト、提出物、発表 30% 期間外テスト (2回) 60%
-----------	---

学生へのメッセージ	英語はもちろんのこと、実社会で問題となる様々なことについていっしょに考えてみたいと思います。学生の皆さんの積極的な参加を期待しています。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	予習・復習を含め、事前事後学習にかかる総時間をおおよそ15時間程度とする。 前期にビジネスイングリッシュ a (担当者: 梅田) を受講していない学生はできるだけ早い時期に書店で使用教科書の在庫を確認し、在庫がなければ自身で注文してください。
----	--

科目名	ビジネスインドネシア・マレー語	科目名 (英文)	Indonesian-Malayan Language for Business
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシアで仕事やビジネスに使われる、単語や表現や連絡の仕方の知識を高めるためです。
到達目標	インドネシアのビジネスの語彙を始め、様々なビジネスの場面を学習、知識をつける。
授業方法と留意点	事務所や工場での会話を学びます。映像資料も用いて会話の練習をします。
科目学習の効果 (資格)	ビジネス知識を高める事が出来る。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	自己紹介。	名刺、履歴書を作る。	会社の名称、職業などを調べる。
3	自分の会社を紹介する。	会社の概要や組織を説明する。	授業の内容を復習する。
4	秘書との会話やり取り	OA機器の名称。	事務所で使う器械の名前を覚える。
5	秘書との会話	電話・伝言などに関する表現。	社内の会話を練習する。
6	オフィス受付などの表現。	会社、役所、ホテルなどのやり取り。	授業の内容を復習する。
7	経済情勢について語る	銀行関係の用語。	授業の内容を復習する。
8	経済情勢について語る②。	金融関係の用語。	授業の内容を復習する。
9	商談。	貿易関係の用語・商業文。	授業の内容を会話で練習する。
10	工場にて。	職員とのやり取り。	会話練習する。
11	役所との連絡。	インドネシアの習慣。	授業の内容を復習する。
12	ビジネスの手紙。	ビジネスで使う基本書式。	ビジネス手紙やメールを書く練習。
13	現在のビジネスの情報収集①。	専門的な企業・技術の単語を調べる。	インターネットやメディアから情報を集める。
14	現在のビジネスの情報収集②。	専門的な企業・技術の単語を調べる	インターネットやメディアから情報を集める。
15	Workshop。	集めた情報から議論する。レポートを出す。	意見交換。

関連科目	主言語インドネシア語科目のすべて
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業参加 20% クラス活動 30% 小テスト 50%
-----------	-----------------------------------

学生へのメッセージ	専門用語以外に習慣、マナーを学んで、実践する。
-----------	-------------------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	ビジネス中国語Ⅱ a	科目名(英文)	Business Chinese IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	馮 艶
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	中国経済の発展に伴い、日中の経済的結びつきはますます強くなっている。このような状況の下、中国語を駆使するビジネスマンの役割はますます重要になっている。本学ではそのようなビジネス中国語の習得をを目指す学生のために、ビジネスに特化した中国語の講座を準備した。前期の授業は基礎知識、簡単な単語でのコミュニケーション、挨拶から質問のし方・答え方などビジネス場面で必要な会話を学ぶ。
到達目標	ビジネスの場で交わされる会話を理解し、簡単な通信文の翻訳や作成ができることを目指す。
授業方法と留意点	ビジネス中国語Ⅱaではビジネス中国語Ⅰを基礎により具体的なビジネスシーンを想定した中国語の習得を目指します。
科目学習の効果(資格)	ビジネス中国語検定試験など受験に有効です。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	第1課① 考察工場	1. 介詞「向」 2. 「無論…還是…」 3. 「不但…而且…」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	第1課② 考察工場	1. 介詞「向」 2. 「無論…還是…」 3. 「不但…而且…」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第2課① 洽谈交易	1. 「一方面…一方面…」 2. 剛才 3. …才(能)	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第2課② 洽谈交易	1. 「一方面…一方面…」 2. 動詞「?」 3. …才(能)	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	第3課① 洽谈价格	1. 動詞+過(動作を済ませる) 2. 要看 3. 「如果…的?」 4. 介詞「跟」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第3課② 洽谈价格	1. 動詞+過(動作を済ませる) 2. 要看 3. 「如果…的?」 4. 介詞「跟」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	復習	復習チェックシート(1)	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第4課① ??	1. 我看好? 2. 有什麼問題 3. 介詞「關於」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第4課② ??	1. 我看好? 2. 有什麼問題 3. 介詞「關於」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	第5課① 付款方式	1. 「非…不可」 2. 「以…為…」 3. 準備好	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第5課② 付款方式	1. 「非…不可」 2. 「以…為…」 3. 準備好	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第6課① 交貨	1. 「对…來說」 2. 最早 3. 介詞「?了」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第6課② 交貨	1. 「对…來說」 2. 最早 3. 介詞「?了」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第7課 復習	復習チェックシート(2)	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	補充	ビジネスシーンに必要な基本単語の学習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目 主言語・共通言語2年次中国語

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	ビジネス中国語Ⅱa	撰南大学外国語学部	撰南大学外国語学部
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	単元ごとに小テストを行う。
学生へのメッセージ	選択科目ですからしっかり自覚をもって講義に臨んでください
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	ビジネス中国語Ⅱb	科目名(英文)	Business Chinese IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	馮 艶
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	後期の授業では、基礎となる文法、会社・組織についての表現、アポイントのとり方、社交の場での会話、商談など、ビジネス現場ですぐに活用できる表現や語彙力を学びます。具体的なビジネス・シーンを想定し、商談のシーンを再現します。
到達目標	ビジネスの場面で交わされる会話を理解し、簡単な通信文の翻訳や作成ができることを目指す。
授業方法と留意点	ビジネス中国語Ⅱaから引き続き具体的なビジネスシーンを想定し、よりビジネスの現場を体感する。
科目学習の効果(資格)	ビジネス中国語検定試験など

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	第8課② 回扣	1「是不是」の用法 2「這樣」の用法 3 助動詞「会」の用法(～するのが上手だ)	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第9課① 保険	1 助詞「之」の用法 2 介詞「根据」 3 文型「只有～才～」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第9課② 保険	1 助詞「之」の用法 2 介詞「根据」 3 文型「只有～才～」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	第10課① 索赔	1 助詞「之」の用法 2 可能補語「～不了」 3 文型「既…又…」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第10課② 索赔	1 助詞「之」の用法 2 可能補語「～不了」 3 文型「既…又…」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	復習	復習チェックシート(1)	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第11課① 訂合同	1「記下来」(動詞+下来) 2「写进去」(動詞+?去) 3 代詞「本」 4 介詞「按」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第11課② 訂合同	1「記下来」(動詞+下来) 2「写进去」(動詞+?去) 3 代詞「本」 4 介詞「按」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	第12課① 合資企業	1 文型「A是A」 2「為…起见」 3 接続詞「再说」の用法 4「做个市场调查」: 助数詞前の「一」の省略	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第12課② 合資企業	1 文型「A是A」 2「為…起见」 3 接続詞「再说」の用法 4「做个市场调查」: 助数詞前の「一」の省略	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第13課① 告別	1 過意不去 2 介詞「本着」 3 一定, 一定 4 助動詞「能」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第13課② 告別	1 過意不去 2 介詞「本着」 3 一定, 一定 4 助動詞「能」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第14課	復習チェックシート(2)	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	補充	ビジネスシーンに必要な基本単語の学習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	主言語・共通言語2年次中国語
------	----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ビジネス中国語Ⅱb	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとに小テストを行う。
----------	---------------

学生へのメッセージ	選択科目ですからしっかり自覚をもって講義に臨んでください
-----------	------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	ビジネス中国語Ⅲ a	科目名 (英文)	Business Chinese IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	今中 崇文
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業はビジネス中国語Ⅰ、Ⅱの続きである。中国は2004年に、アメリカを抜いて、日本の最大の貿易相手国になった。近年でも、2014年には日本の対中貿易赤字が過去最高を記録するなど、日中間の経済的関係は順調に拡大しているといえる。また近年では、中国からの観光客が急増し、2014年には日本を訪れる中国人が240万人を超えて過去最多を記録するなど、新たな局面も迎えている。本授業では、ビジネスに関する知識を広げ、ビジネスや経済に関する様々な中国語の文章を読み、中国語の応用力に磨きをかけることを目的とする。なお、この1年間の授業をもって、1・2年次から続いたビジネス中国語の学習は終了となる。
到達目標	中国語のビジネスレターについて、その基本的な書式と常用される表現を習得する。
授業方法と留意点	文法の解説後、練習問題をこなし、特に中文和訳の精度を高めることを目指す。授業の難易度はそれほど高くないが、ビジネスや経済に興味をもつ必要がある。
科目学習の効果 (資格)	ビジネス中国語検定試験2級が受験可能。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	概説1	中国語の取引文書の基本書式と構成	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	2	概説2	中国語の社交文書の基本書式と構成	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	3	第1課	索求買价函	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	4	第2課	社交賀年函	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	5	第3課	事務関係函	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	6	復習チェックシート(1)	—————	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	7	第4課	?系洽谈函	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	8	第5課	建立貿易関係函	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	9	第6課	索取商品函	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	10	復習チェックシート(2)	—————	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	11	第7課	問价函	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	12	第8課	答復函	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	13	第9課	售后服务	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	14	第10課	招募通告	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
	15	復習チェックシート(3)	—————	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	ビジネス中国語Ⅰ ab・Ⅱ ab
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ビジネス中国語Ⅲ a	摂南大学外国語学部	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	単元ごとに試験を実施する。
-----------	---------------

学生へのメッセージ	実務書類を扱うなど難しいところもあるが、実践的な内容なので、がんばって習得してほしい。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	
----	--

科目名	ビジネス中国語Ⅲ b	科目名 (英文)	Business Chinese IIIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	今中 崇文
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この授業はビジネス中国語Ⅰ、Ⅱの続きである。中国は2004年に、アメリカを抜いて、日本の最大の貿易相手国になった。近年でも、2014年には日本の対中貿易赤字が過去最高を記録するなど、日中間の経済的関係は順調に拡大しているといえる。また近年では、中国からの観光客が急増し、2014年には日本を訪れる中国人が240万人を超えて過去最多を記録するなど、新たな局面も迎えている。本授業では、ビジネスに関する知識を広げ、ビジネスや経済に関する様々な中国語の文章を読み、中国語の応用力に磨きをかけていることを目的とする。なお、この1年間の授業をもって、1・2年次から続いたビジネス中国語の学習は終了となる。
到達目標	これまで学んできたビジネス中国語を、会話・ビジネスレター・ニュースといった実践的な教材を通して再確認し、実用的なレベルへと近づけていく。
授業方法と留意点	配布プリントをもとに授業を進める。文法の解説後、練習問題をこなし、特に中文和訳の精度を高めることを目指す。授業の難易度はそれほど高くないが、ビジネスや経済に興味をもつ必要がある。
科目学習の効果 (資格)	ビジネス中国語検定試験2級受験可能

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第1課	ビジネス会話 1	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	第2課	ビジネス会話 2	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第3課	ビジネス会話 3	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第4課	ビジネス会話 4	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	復習	—————	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第5課	ビジネスレター ①	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	第6課	ビジネスレター ②	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第7課	ビジネスレター ③	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第8課	ビジネスレター ④	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	復習	—————	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第9課	ビジネスニュース I	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第10課	ビジネスニュース II	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第11課	ビジネスニュース III	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第12課	ビジネスニュース IV	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	復習	—————	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	ビジネス中国語Ⅰ ab・Ⅱ ab
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント配布		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	單元ごとに試験をする。
-----------	-------------

学生へのメッセージ	実務書類を扱うなど難しいところもあるが、たいへん実践的な内容なので、がんばって習得してほしい。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	
----	--

科目名	ビジネス中国語 a	科目名 (英文)	Business Chinese a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	大西 紀
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	中国経済の発展に伴い、日中の経済的結びつきはますます強くなっている。このような状況の下、中国語を駆使するビジネスマンの役割はますます重要になっている。本学ではそのようなビジネス中国語の習得をを目指す学生のために、ビジネスに特化した中国語の講座を準備した。前期の授業は基礎知識、簡単な単語でのコミュニケーション、挨拶から質問のし方・答え方などビジネス場面で必要な会話を学ぶ。
到達目標	ビジネスシーンで使える中国語そして日本語も併せて習得しましょう。
授業方法と留意点	この講義は一般の中国語授業(主言語・共通言語)との同時受講が必須で、この講義だけを単独に履修することはできない。ただし他学部・他大学・社会人からの受講は可能である。
科目学習の効果(資格)	ビジネス中国語検定試験受験など

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	中国経済の概況	改革開放前の計画経済体制から今日の市場経済体制への転換軌跡を解明し、中国の特色ある経済システムについて講義する。	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
2	第1課・第2課	発音(1)(2) ビジネス時に使う中国語の単語を材料にして発音や声調を学習する。	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第3課前半	(1) 判断文 (2) 疑問文(1)「〜&030061d0;」 (3) 副詞「也」 (4) 姓名の表現	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第3課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	第4課前半	(1) 動詞述語文 (2) 疑問詞による疑問文 (3) 語気助詞「&03004e57;」 (4) 副詞「好好儿」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第4課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	第5課前半	(1) 形容詞述語文 (2) 反復疑問文 (3) 介詞「&03005fe4;」 (4) 比較の表現「A 比 B〜」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第5課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第6課前半	(1) 動詞「有」(〜に〜がある・いる) (2) 動詞「在」 (3) 助動詞「要」 (4) 助動詞「想」 (5) 介詞「从」と「到」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	第6課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第7課前半	(1) 年月日の言い方 (2) 動詞+「一下儿」 (3) 介詞「和」 (4) 動詞「有」(〜が〜を持っている)	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第7課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第8課前半	総合復習チェックシート	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第8課後半	教養としての中国語の基礎語の学習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	総復習	第3課から第8課までの総復習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	主言語・共通言語 1 年次中国語
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ビジネス中国語 a	摂南大学外国語学部編	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごとの小テストを行う。
----------	---------------

学生へのメッセージ	選択科目ですからしっかり自覚をもって講義に臨んでください。 教科書は必ず購入してください。 一時間開講科目ですが、他科目と同じく出席回数は10回以上なくては単位が認められません。 遅刻、欠席は出来るだけ少なくしましょう。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館2階(非常勤講師室)
------------	---------------

科目名	ビジネス中国語 b	科目名 (英文)	Business Chinese b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1 年	クラス	
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	大西 紀
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	後期の授業は、基礎となる文法、会社・組織についての表現、アポイントのとり方、社交の場での会話、商談など、ビジネス現場ですぐに活用できる表現や語彙力を学ぶ。
到達目標	前期に引き続き、ビジネスシーンで使える中国語、そして日本語を習得していきます。
授業方法と留意点	この講義は一般の中国語授業(主言語・共通言語)との同時受講が必須で、この講義だけを単独に履修することはできない。ただし他学部・他大学・社会人からの受講は可能である。
科目学習の効果(資格)	スコア式ビジネス中国語検定試験受験など

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	第8 課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
3	第9 課前半	1 助詞「之」の用法 2 介詞「根据」 3 句型「只有～才～」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
4	第9 課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
5	第10 課前半	1 助詞「&000083f7;」の用法 2 可能補語「～不了」 3 句型「既…又…」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
6	第10 課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
7	第11 課前半	1 「記下来」(動詞+下来) 2 「写進去」(動詞+進去) 3 代詞「本」 4 介詞「	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
8	第11 課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
9	第12 課前半	1 句型「A是A」 2 「為…起見」 3 接続詞「再說」の用法 4 「做个市場調查」: 助数詞前の「一」の省略	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
10	第12 課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
11	第13 課前半	1 過意不去 2 介詞「本着」 3 一定, 一定 4 助動詞「該」	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
12	第13 課後半	関連表現 練習問題	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
13	第14 課前半	復習チェックシート	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
14	第14 課後半	教養としての中国語の基礎語の学習	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。
15	総復習	第8 課から第13 課までを総復習する	練習問題を解答してくる。解答後の練習問題を復習する。

関連科目	主言語・共通言語 1 年次中国語
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ビジネス中国語 b	摂南大学外国語学部編	摂南大学外国語学部
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	単元ごと的小テストを行う。 出席は10 回以上していないと単位は認定されません。
----------	---

学生へのメッセージ	選択科目ですからしっかり自覚をもって講義に臨んでください。 必ず教科書は購入してください。
-----------	--

担当者の研究室等	7 号館 2 階(非常勤講師室)
----------	------------------

備考	
----	--

科目名	美術の歩み	科目名(英文)	History of Arts
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	芸術は作者、時代、思想などさまざまな要素から成り立っている。この講義では各時代の代表的な作品を鑑賞しながら、どうい社会状況のもとに生み出されたのか、何に用いられたのか、主題はなにか、技法や技術の完成度はどうかなどを解説する。日本の美術や文化を知ることが、人生を豊かにするだけでなく、グローバル社会において自分を支える力になるだろう。
到達目標	日本美術の基本的な知識を修得する。教養として必要な程度の知識を身につけるとともに、美術や歴史への関心を高める。
授業方法と留意点	講義は常時スライドや教材表示装置を使用する。必要に応じノートに書き留めてもらいたい。
科目学習の効果(資格)	日本文化・美術に関する基本的な知識を身につける。学芸員資格に必要である。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	奈良時代 飛鳥美術	仏教美術の伝来/法隆寺の美術/高松塚古墳壁画	飛鳥時代の歴史について調べておく
	2	奈良時代 天平美術	興福寺・東大寺の仏像/正倉院の工芸	奈良時代の歴史について調べておく
	3	平安時代 密教美術	図像/曼荼羅/密教彫刻	平安初期の歴史について調べておく
	4	平安時代 浄土教美術	平等院/浄土教絵画	平安後期の歴史について調べておく
	5	平安時代 絵巻物	源氏物語絵巻/信貴山縁起/伴大納言絵巻/鳥獣戯画	院政期の歴史について調べておく
	6	鎌倉時代 鎌倉彫刻	運慶/快慶	鎌倉初期の歴史について調べておく
	7	鎌倉時代 絵巻物	祖師絵伝絵巻/社寺縁起絵巻	鎌倉時代の歴史について調べておく
	8	鎌倉時代 肖像画	頂相/似絵	鎌倉時代の歴史について調べておく
	9	室町時代 水墨画	詩画軸/雪舟	室町時代の歴史について調べておく
	10	桃山時代 金碧障壁画	狩野永徳/南蛮美術	桃山時代の歴史について調べておく
	11	江戸時代 流派体制の確立	狩野探幽/土佐光起	江戸初期の歴史について調べておく
	12	江戸時代 琳派の継承	俵屋宗達/尾形光琳	江戸前期の歴史について調べておく
	13	江戸時代 錦絵の誕生	菱川師宣/鈴木春信	江戸前期の歴史について調べておく
	14	江戸時代 写生派・文人画	円山応挙/与謝蕪村	江戸後期の歴史について調べておく
	15	江戸時代 後期浮世絵	歌麿/写楽/北斎/広重	幕末の歴史について調べておく

関連科目	日本史・日本文化史
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	原色日本の美術		小学館
	2	人間の美術	梅原猛	学習研究社
	3			

評価方法(基準)	定期試験80%、小レポート20%
----------	------------------

学生へのメッセージ	専用のノートを作り、毎回持参すること。博物館・美術館・寺・神社などに出かけて実際に美術を見に行ってください。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階(岩間研究室)
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	風土と地理	科目名(英文)	Climate and Geography
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	木本 浩一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	地理学は長らく「自然と人との関係の学」と言われてきました。その「関係」をあらわす言葉が「風土」です。本講義では、「風土」をキーワードとして、地理学の新しい潮流を紹介していきます。			
到達目標	1) 風土、景観、風景などの概念についての知識を得る。 2) 風土と文化の関係について学ぶ。 3) 近年盛んになっている、環境保全や景観保全に関する基本的な知識を得る。			
授業方法と留意点	講義形式で進めます。授業の最後には必ず、コメントペーパーへの記入を求めます。			
科目学習の効果(資格)	客観化・対象化できない事象を「風土」「景観」として把握する考え方・手法を学べます。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション ー「風土」とは何か?ー	・授業の進め方を説明します。	【事前】風土とは何かについて、まとめておく。 【事後】課題をまとめる。
	2	「風土」とは何か? (1)	・「風土」論の歴史	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	3	「風土」とは何か? (2)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	4	「風土」とは何か? (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	5	「地」の地 (1)	・自然観の歴史	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	6	「地」の地 (2)	・自然観と世界観 ・ギリシア哲学と世界観	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	7	地図と世界 (1)	・地図とは何か? ・地球の相対化	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	8	地図と世界 (2)	・大航海時代 ・地図と世界観	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	9	地図と世界 (3)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	10	地図と世界 (4)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	11	景観論 (1)	・景観という見方・考え方 ・ダーウィンと景観	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	12	景観論 (2)	・景観の発見 ・景観の創造	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	13	景観論 (3)	・「観光」の登場	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	14	景観論 (4)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
	15	景観論 (5)	・前回の続き	【事前】授業で提示したキーワードについて調べておく。 【事後】課題をまとめる。
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	コメント、小テスト、レポートを総合して評価する。			
学生への	風土や景観は、地域を理解するための基本となります。			

メッセージ	
担当者の 研究室等	木本研究室 (7号館5階)
備考	

科目名	フランス語 I a	科目名 (英文)	French Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	藤本 武司
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的 日常的なフランス語運用に必要な最低限の文法知識および語彙を習得しつつ、文化的な背景の中でことばを考える習慣を身につけることを目的とする。

到達目標 最も基本的なフランス語の文法と発音の仕組みを理解し、あいさつをはじめとする日常の簡単なやり取りができるようになる。

授業方法と留意点 口頭練習を重視し、フランス語の音に慣れてもらう。映画等のビデオを用いて、フランス文化への理解を深める。また、文法理解や単語、表現の習得度を確認するため、原則として毎回小テスト（筆記または口頭）を行う。

科目学習の効果（資格） フランス語 Ib とあわせて、仏検(実用フランス語検定) 5級に相当する学力をつける。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	第0課:あいさつをする	オリエンテーション、アルファベ、あいさつの表現	テキスト例文の暗誦と単語暗記
2	第0課:あいさつをする	自分の名前を言う、発音の規則(1)	テキスト例文の暗誦と単語暗記
3	第0課:あいさつをする	依頼やお礼のことば、発音の規則(2)、フランスについて	テキスト例文の暗誦と単語暗記
4	第1課:自己紹介する	主語人称代名詞と動詞 <i>etre</i> の変化	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
5	第1課:自己紹介する	否定文	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
6	第1課:自己紹介する	主語と補語の性・数一致	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
7	第1課:自己紹介する	主語と補語の性・数一致	補充練習問題
8	第2課:情報を得る	動詞 <i>avoir</i> の変化	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
9	第2課:情報を得る	動詞 <i>avoir</i> の変化	補充練習問題
10	第2課:情報を得る	第一群規則動詞の変化	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
11	第2課:情報を得る	疑問文	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
12	第3課:持ち物をいう	名詞の性と数、不定冠詞	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
13	第3課:持ち物をいう	定冠詞	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
14	第3課:持ち物をいう	指示形容詞	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題
15	第3課:持ち物をいう	人称代名詞自立形	テキスト例文の暗誦と単語暗記、 補充練習問題

関連科目 [フランス語 IIa を併せて履修することが望ましい。]

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Au pas, camarade! オ・パ・カマラッド! 一足並みそろえて、フランス語― (改訂版)	藤本武司他	駿河台出版社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準) 期末試験は実施しない。授業時の口頭発表、小テスト、宿題等提出物、映画鑑賞後のコメント等から総合的に評価する。出席しているだけでは評価の対象にならないので注意のこと。

学生へのメッセージ フランス語の魅力はその音。積極的に声を出してください。そのためにも、出席は必須です。

担当者の研究室等 7号館2階(非常勤講師室)

備考

科目名	フランス語 I b	科目名 (英文)	French Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	藤本 武司
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	フランス語 Ia に引き続き、基礎文法事項の習得と、文化的な背景の中でことばを考える習慣を身につけることを目的とする。			
到達目標	フランス語の発音の仕組み、最も基本的な文法を習得し、日常的な短い会話ができる。			
授業方法と留意点	口頭練習を重視し、フランス語の音に慣れてもらう。映画等のビデオを用いて、フランス文化への理解を深める。また、文法理解や単語、表現の習得を確認するため、原則として毎回小テスト（筆記または口頭）を行う。			
科目学習の効果（資格）	仏検（実用フランス語検定）5級に相当する学力をつける。			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	導入	これまでの学習の確認とオリエンテーション	—————
	2	第4課：家族を紹介する	所有形容詞（1）	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	3	第4課：家族を紹介する	形容詞の用法（1）	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	4	第4課：家族を紹介する	形容詞の用法（2）	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	5	第5課：予定をいう	動詞 aller/venir の変化（1）	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	6	第5課：予定をいう	動詞 aller/venir の変化（2）	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	7	第5課：予定をいう	近接未来・近接過去	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	8	第5課：予定をいう	前置詞と定冠詞の縮約	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	9	第5課：予定をいう	命令形	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	10	第5課：予定をいう	所有代名詞	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	11	第6課：食事をする	部分冠詞	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	12	第6課：食事をする	疑問代名詞	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	13	第6課：食事をする	疑問代名詞	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	14	第6課：食事をする	中性代名詞 en/y（1）	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
	15	第6課：食事をする	中性代名詞 en/y（2）	テキスト例文暗誦と単語暗記、 補充練習問題
関連科目	フランス語 IIb を併せて履修することが望ましい。			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Au pas, camarade! オ・パ・カマラッド! 一足並みそろえて、フランス語― (改訂版)	藤本武司他	駿河台出版社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法（基準）	期末試験は実施しない。授業時の口頭発表、小テスト、宿題等提出物、映画鑑賞後のコメント等から総合的に評価する。出席しているだけでは評価の対象にならないので注意のこと。			
学生へのメッセージ	フランス語の魅力はその音。積極的に声を出してください。そのためにも、出席は必須です。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考				

科目名	フランス語Ⅱ a	科目名 (英文)	French IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中井 裕之
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>***** フランス語の歌を歌えるようになります！(カラオケで歌ったらカッコいいですよ) フランス語で会話ができるようになります！(旅行で使ったら楽しいですよ) *****</p> <p>本授業の目的はフランス語による基礎的コミュニケーション能力の育成にあります。挨拶や買物など、日常生活の様々な場面で役立つフランス語の表現をこの授業では学びます。またフレンチ・ポップスを素材にフランス語の歌を練習します。きれいな発音でフランス語の歌が歌えるようになることを目指します。</p>
到達目標	<p>この授業を受講すれば、学生はフランス語で歌が歌えるようになります。 この授業を受講すれば、学生は初歩的なフランス語が話せるようになります。</p> <p>日本に旅行に来ているフランス人に偶然、街で出会ったとする。その時フランス語で声をかけてみたくなるだろうか？あるいはフランスに旅行に行ったとする。店やレストランで、簡単でいいからフランス語で話してみたいだろうか？あるいはカラオケやパーティなどでフランス語の歌を歌ってみたいだろうか。この授業を取ればそれが可能となります。</p>
授業方法と留意点	<p>テキストに基づき、会話表現、文法事項、フランス語の歌の解説および練習問題の解答を行います。 同時に会話表現の口頭練習、歌の練習、美しい発音の練習、リスニング、訳読などを行います。 また受講生の希望に応じて仏検の解説も行います。参考書の内容の質問も随時受け付けます。 何よりもフランスを楽しみましょう！ 教科書(『フランス語ルージュ1』、『ポップ・フランセ』)を使用するので教室に持ってきてください。</p>
科目学習の効果(資格)	<p>仏検(実用フランス語技能検定試験)5級へ向けた学力の準備をする。</p>

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	フランス語会話(基礎)の学び方。授業の内容と進め方の説明。教科書、参考書の説明。辞書の説明。	『フランス語ルージュ1』の「まえがき」と『ポップ・フランセ』の「はじめに」を読む。そしてテキスト全体にざっと目を通して、どういったことを学習するかイメージをつかむ。
2	『フランス語ルージュ1』第0課(pp.2-3)	アルファベと文字の読み方 以降の授業で適宜、小テストを行う。また必要に応じて仏検のポイント解説を行う。参考書の質問も受け付ける。	『フランス語ルージュ1』第0課(テキスト導入部)の予習・復習
3	『フランス語ルージュ1』第1課(pp.4-5)「ある日...」「別の日...」	第1課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(自己紹介と挨拶、別れるときの言葉、tuとvous)。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第1課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
4	『フランス語ルージュ1』第2課(pp.6-7)「衣料品店で...」	第2課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(名前の綴りを言う、動詞 ETRE、否定形、形容詞、数字(1))。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第2課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
5	『フランス語ルージュ1』第3課(pp.8-9)「高校を出たところで...」	第3課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(国籍、言語、第一群規則動詞、数字(2))。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第3課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
6	『フランス語ルージュ1』第4課(pp.10-11)「家の前で...」	第4課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(年齢を尋ねる、年齢を言う、動詞 AVOIR、～という名前です)。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第4課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
7	『フランス語ルージュ1』第5課(pp.12-13)「キッチンで...」	第5課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(場所を表す前置詞、色、数字(3))。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第5課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
8	『フランス語ルージュ1』第6課(pp.14-15)「衣料品店で...」	第6課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(好みを言う、疑問形容詞)。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第6課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
9	『ポップ・フランセ』第1楽章(pp.10-13)「オー・シャンゼリゼ」	第1楽章の解説と練習問題演習。「オー・シャンゼリゼ」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第1楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「オー・シャンゼリゼ」の練習)
10	『ポップ・フランセ』第2楽章(pp.14-17)「夢見るシャンソン人形」	第2楽章の解説と練習問題演習。「夢見るシャンソン人形」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第2楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「夢見るシャンソン人形」の練習)
11	『ポップ・フランセ』第3楽章(pp.18-21)「子どもを抱いて」	第3楽章の解説と練習問題演習。「子どもを抱いて」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第3楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「子どもを抱いて」の練習)
12	『ポップ・フランセ』第4楽章(pp.22-25)「シェリーに口づけ」	第4楽章の解説と練習問題演習。「シェリーに口づけ」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第4楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「シェリーに口づけ」の練習)
13	『ポップ・フランセ』第5楽章(pp.26-29)「もう森へなんか行かない」	第5楽章の解説と練習問題演習。「もう森へなんか行かない」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第5楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「もう森へなんか行かない」の練習)
14	『ポップ・フランセ』第6楽章(pp.30-33)「ラ・マルセイエーズ」	第6楽章の解説と練習問題演習。「ラ・マルセイエーズ」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第6楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認)

	イエーズ」	スニング演習・講読演習を含む。	「ラ・マルセイエーズ」の練習)	
15	まとめ	前期学習内容の確認とまとめ 役に立つ表現と文法事項の補足	前期学習内容の理解のチェックと復習	
関連科目	フランス語 I I b (後期) と併せて履修することが望ましい			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	フランス語ルージュ 1 トリコロール 会話編一	Claire RENOUL, 高橋信良, 星埜守之	朝日出版社
	2	ポップ・フランセー フレンチポップスで学ぶフランス語一	杉村裕史	駿河台出版社
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ムーミン	トーベ・ヤンソン (TOVE JANSSON) [著], 山中知子 [編注]	朝日出版社
	2	アポリネール・コント集 (Choix de contes de Guillaume Apollinaire)	アポリネール (Guillaume Apollinaire) [著], 渡辺明正 [編注]	第三書房
	3	対訳フランス語で読もう「異邦人」	アルベール・カミュ [著], 柳沢文昭 [訳注]	第三書房
評価方法 (基準)	小テスト (50%) と平常点 (授業への参加の度合い・取り組む姿勢・発表・宿題の提出など) (50%)			
学生へのメッセージ	楽しくフランス語を学習しましょう。きっと何か新しい発見があると思います。フランス語で会話をすることの楽しさ、フランス語で歌うことの楽しさを感じてください。皆さんの参加をお待ちしております。難しいと思わずにどしどし来てください。それぞれの学生の興味・関心やレベルに合わせて丁寧に対応します。			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業時間外の質問等については相談の上、個別に時間を決めて応じる。			

科目名	フランス語Ⅱ b	科目名 (英文)	French IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中井 裕之
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>***** フランス語の歌を歌えるようになります！(カラオケで歌ったらかっこいいですよ) フランス語で会話ができるようになります！(旅行で使ったら楽しいですよ) *****</p> <p>この授業では前期に引き続き、フランス語の基礎的コミュニケーション能力の習得を目指します。日常生活の様々な場面で役立つフランス語の表現を学びます。またフレンチ・ポップスが歌えるように練習をします。フランス語で歌い、話す喜びを感じてください。楽しい授業を目指します。</p>
到達目標	<p>この授業を受講すれば、学生はフランス語で歌が歌えるようになります。 この授業を受講すれば、学生は初歩的なフランス語が話せるようになります。</p> <p>基本的なフランス語の言いまわしやを繰り返し練習することで、単に頭で理解できているばかりでなく、場面・状況に応じた表現が自然と口をついて出るようになります。フランス語の歌を練習することで、美しい発音が身につきます。</p>
授業方法と留意点	<p>テキストに基づき、会話表現、文法事項、フランス語の歌の解説および練習問題の解答を行います。 同時に会話表現の口頭練習、歌の練習、美しい発音の練習、リスニング、訳読などを行います。 また受講生の希望に応じて仏検の解説も行います。参考書の内容の質問も随時受け付けます。 何よりもフランスを楽しみましょう！ 教科書(『フランス語ルージュ1』、『ポップ・フランセ』)を使用するので教室に持ってきてください。</p>
科目学習の効果(資格)	<p>仏検(実用フランス語技能検定試験)5級に相当する学力を目指す。</p>

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	後期オリエンテーション	後期学習へ向けた示唆。授業の内容と進め方の説明。教科書、参考書の説明。	テキストの後期学習範囲に目を通しておく。
2	動詞の活用と復習	様々な動詞の活用の説明と復習以降の授業で適宜、小テストを行う。また必要に応じて仏検のポイント解説を行う。参考書の質問も受け付ける。	『フランス語ルージュ1』巻末動詞活用表の予習と復習
3	『フランス語ルージュ1』第7課(pp.16-17)「道で…」	第7課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(家族、所有形容詞)。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第7課の予習(文法と語彙の説明に目を通し、ディアログを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
4	『フランス語ルージュ1』第8課(pp.18-19)「ある日曜日…」	第8課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(アクティビティを言う、誘い、同意、拒絶、時間表現(1))。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第8課の予習(文法と語彙の説明に目を通し、ディアログを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
5	『フランス語ルージュ1』第9課(pp.20-21)「庭で…」	第9課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(食習慣を言う、食の好みを述べる)。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第9課の予習(文法と語彙の説明に目を通し、ディアログを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
6	『フランス語ルージュ1』第10課(pp.22-23)「大学の前で…」	第10課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(日常生活を話す、代名動詞、時間表現(2))。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第10課の予習(文法と語彙の説明に目を通し、ディアログを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
7	『フランス語ルージュ1』第11課(pp.24-25)「授業終了後に…」	第11課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(どこかに行く、住んでいる場所を言う、遠近の表現)。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第11課の予習(文法と語彙の説明に目を通し、ディアログを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
8	『フランス語ルージュ1』第12課(pp.26-27)「エロディの部屋で…」	第12課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(直説法複合過去)。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ1』第12課の予習(文法と語彙の説明に目を通し、ディアログを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)
9	『ポップ・フランセ』第7楽章(pp.34-37)「ラストダンスは私に」	第8楽章の解説と練習問題演習。「ラストダンスは私に」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第7楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「ラストダンスは私に」の練習)
10	『ポップ・フランセ』第8楽章(pp.38-41)「愛すること」	第8楽章の解説と練習問題演習。「愛すること」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第8楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「愛すること」の練習)
11	『ポップ・フランセ』第9楽章(pp.42-45)「いつものように」	第9楽章の解説と練習問題演習。「いつものように」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第9楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「いつものように」の練習)
12	『ポップ・フランセ』第10楽章(pp.46-49)「愛のとりこ」	第10楽章の解説と練習問題演習。「愛のとりこ」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第10楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「愛のとりこ」の練習)
13	『ポップ・フランセ』第11楽章(pp.50-51)「心に太陽を」	第11楽章の解説と練習問題演習。「心に太陽を」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第11楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「心に太陽を」の練習)
14	『ポップ・フランセ』第12楽章(pp.54-57)「サクランボの実る頃」	第12楽章の解説と練習問題演習。「サクランボの実る頃」の発音・口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	『ポップ・フランセ』第12楽章の予習(文法の説明に目を通しておく)と復習(全体の通読と内容確認、「サクランボの実る頃」の練習)
15	まとめ	後期学習内容のまとめ 役に立つ表現と文法事項の補足	後期学習内容の理解のチェックと復習

関連科目	フランス語 I I b (前期) と併せて履修することが望ましい。 (もちろん後期からの受講も大歓迎)			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	フランス語ルージュ 1 トリコロール 会話編一	Claire RENOUL, 高橋信良, 星壘 守之	朝日出版社
	2	ポップ・フランセーフレンチポップスで学ぶフランス語一	杉村裕史	駿河台出版社
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ムーミン	トーベ・ヤンソン (TOVE JANSON) [著], 山中知子[編注]	朝日出版社
	2	ボードレール散文詩抄 (改訂新版)	ボードレール (Baudelaire) [著], 山内義雄[編], 窪田般爾[補注]	第三書房
	3	対訳フランス語で読もう「異邦人」	アルベール・カミュ[著], 柳沢文 昭[訳注]	第三書房
評価方法 (基準)	小テスト (50%) と平常点 (授業への参加の度合い・取り組む姿勢・発表・宿題の提出など) (50%)			
学生への メッセージ	楽しくフランス語を学習しましょう。きっと何か新しい発見があると思います。フランス語で会話をする楽しさ、フランス語で歌うことの楽しさを感じてください。皆さんの参加をお待ちしております。難しいと思わずにどしどし来てください。それぞれの学生の興味・関心やレベルに合わせて丁寧に対応します。			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業時間外の質問等については相談の上、個別に時間を決めて応じる。			

科目名	フランス語Ⅲ a	科目名(英文)	French IIIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	藤本 武司
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	フランス語 I a, I b での学習事項をもとに、フランス語の4技能(聞く・話す・読む・書く)を総合的に高めることを目的とする。
到達目標	フランス語の基本的文法を習得し、短い日常会話をすることができる。辞書を用いれば簡単な文章を読むことができる。
授業方法と留意点	口頭練習を重視すると同時に読むことにも力を入れる。フランス文化の諸相をさまざまな視聴覚教材を用いて紹介する。また、文法理解や単語、表現の習得度を確認するため、原則として毎回小テスト(筆記または口頭)を行う。
科目学習の効果(資格)	フランス語 I I I b とあわせて、仏検(実用フランス語検定)4級に相当する学力を到達目標とする。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	
1	導入	オリエンテーションとこれまでの学習内容の確認	—————	
2	第7課:日課をいう	代名動詞(1)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
3	第7課:日課をいう	代名動詞(2)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
4	第7課:日課をいう	疑問形容詞	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
5	第7課:日課をいう	非人称構文	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
6	第8課:人や物を言いかえる	目的語人称代名詞(1)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
7	第8課:人や物を言いかえる	目的語人称代名詞(2)、中性代名詞	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
8	第8課:人や物を言いかえる	指示代名詞	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
9	第8課:人や物を言いかえる	代名詞のまとめ	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
10	第9課:過去を語る	複合過去(1)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
11	第9課:過去を語る	複合過去(2)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
12	第9課:過去を語る	代名動詞の複合過去	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
13	第9課:過去を語る	複合過去まとめ	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
14	第10課:人、ものについてくらべたり説明したりする	比較(1)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
15	第10課:人、ものについてくらべたり説明したりする	比較(2)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題

関連科目	フランス語 IVa を併せ履修することが望ましい。
------	---------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法(基準)	期末試験は実施しない。授業時の口頭発表、小テスト、宿題等提出物、映画鑑賞後のコメント等から総合的に評価する。出席しているだけでは評価の対象にならないので注意のこと。
----------	--

学生へのメッセージ	単に語学の勉強というだけではなく、フランスの様々な姿や、日本との違いを一緒に考えてみたいと思います。なお、皆さんの理解度にあわせて、進度は調整する可能性があります。また、出席は絶対に欠かさないでください。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	フランス語Ⅲb	科目名(英文)	French IIIB
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	藤本 武司
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	フランス語 IIIa に引き続き、フランス語の4技能(聞く・話す・読む・書く)を総合的に高めることを目的とする。本科目をもってひとりのフランス語文法の学習を完了させる
到達目標	フランス語の文法をひととおり習得し、辞書を用いればやや高度な内容の文章も読むことができる。
授業方法と留意点	口頭練習を重視すると同時に読むことにも力を入れる。フランス文化の諸相をさまざまな視聴覚教材を用いて紹介する。また、文法理解や単語、表現の習得度を確認するため、原則として毎回小テスト(筆記または口頭)を行う。
科目学習の効果(資格)	仏検(実用フランス語検定)4級に相当する学力を到達目標とする。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題	
1	導入	これまでの学習の確認とオリエンテーション	—————	
2	第10課:人・ものについてく らべたり説明したりする	関係代名詞(1)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
3	第10課:人・ものについてく らべたり説明したりする	関係代名詞(2)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
4	第11課:将来、未来を語る	直説法単純未来と前未来(1)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
5	第11課:将来、未来を語る	直説法単純未来と前未来(2)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
6	第11課:将来、未来を語る	現在分詞とジェロンディフ	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
7	第12課:思い出を語る	直説法半過去と大過去	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
8	第12課:思い出を語る	複合過去と半過去の違い	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
9	第12課:思い出を語る	受動態	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
10	第13課:仮定・願望を語る	条件法(1)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
11	第13課:仮定・願望を語る	条件法(2)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
12	第13課:仮定・願望を語る	話法	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
13	第14課:感情や希望を表現 する	接続法(1)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
14	第14課:感情や希望を表現 する	接続法(2)	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題
15	補遺:過去を記述する	単純過去	テキスト例文暗誦と単語暗記、	補充練習問題

関連科目 フランス語 IVb を併せ履修することが望ましい。

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Au pas, camarade! オ・パ・カマラッド! 一足並み そろえて、フランス語― (改訂版)	藤本武司他	駿河台出版社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	期末試験は実施しない。授業時の口頭発表、小テスト、宿題等提出物、映画鑑賞後のコメント等から総合的に評価する。出席しているだけでは評価の対象にならないので注意のこと。
学生へのメッセージ	単に語学の勉強というだけではなく、フランスの様々な姿や、日本との違いを一緒に考えてみたいと思います。なお、皆さんの理解度にあわせて、進度は調整する可能性があります。また、出席は絶対に欠かさないでください。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	フランス語IV a	科目名 (英文)	French IVa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	中井 裕之
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	意欲を持ってフランス語の能力を高め、実力をつけようと考えている学生のための上級クラスである。授業では特に会話練習に重点を置きつつ、読む、書く、話す、聞くの総合的なフランス語運用能力の伸長を目指す。また言葉果真に理解するためには、文法や単語の意味のみならず、背景となる文化の理解も欠かせない。そこで本授業では語学的説明と同時に文化的解説を与える。さらに受講生の希望に応じて仏検等の対策も盛り込んでいきたい。楽しく、ためになる授業を目指したい。
到達目標	授業を受けることで、学生はより高度なフランス語運用能力を身につけることができる。仏検3級以上のフランス語が読めて、書いて、話せて、聞けるようになることを目指す。
授業方法と留意点	テキストを用いた会話練習を中心に、リスニング、読解などの練習等も行。教科書(『フランス語ルージュ2』、『かたつむりの歌』)を使用するので購入して教室に持ってくる。授業への意欲的で積極的な参加を望む。
科目学習の効果(資格)	仏検(実用フランス語技能検定試験)3級以上の学力を目指す。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	オリエンテーション	フランス語(上級)の学習法の説明(自由にフランス語を使いこなすために)。授業の内容と進め方の説明。教科書、参考書、辞書の説明。	『フランス語ルージュ2』のavant-propos(まえがき)を読む。そしてテキスト全体に目を通し、どういったことを学習するかイメージをつかむ。『かたつむりの歌』に目をとっておく。
2	フランス語の基礎的復習	受講生の苦手な部分を重点的に復習。以降の授業で適宜、小テストを実施する。また『かたつむりの歌』の学習を行っていく。必要に応じて仏検のポイント解説を行う。参考書の質問も受けつける。	フランス語の基礎的文法事項のおさらいをしておく
3	第1課(pp.2-3)「結婚式へ向かう途中...」	『フランス語ルージュ2』第1課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(道を尋ねる、道を教える、序数、命令形)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第1課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
4	第2課(pp.4-5)「アクセサリ店で...」	『フランス語ルージュ2』第2課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(値段を尋ねる、買物をする、指示形容詞、比較級)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第2課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
5	第3課(pp.6-7)「衣料品店で...」	『フランス語ルージュ2』第3課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(洋服と靴のサイズ、pouvoir、人称代名詞(1))。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第3課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
6	第4課(pp.8-9)「ある朝...」	『フランス語ルージュ2』第4課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(どこが痛いかを言う、中性代名詞、頻度をあらわす表現)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第4課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
7	第5課(pp.10-11)「映画館で...」	『フランス語ルージュ2』第5課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(近接未来、半過去)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第5課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
8	第6課(pp.12-13)「リビングで...」	『フランス語ルージュ2』第6課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(したいことを伝える、関係代名詞、原因・理由)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第6課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
9	第7課(pp.14-15)「家の前で...」	『フランス語ルージュ2』第7課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(直説法単純未来、天候の表現)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第7課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
10	第8課(pp.16-17)「レストランで...」	『フランス語ルージュ2』第8課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(レストランで注文する、～は何を)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第8課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
11	第9課(pp.18-19)「寝室で...」	『フランス語ルージュ2』第9課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(接続法、未来についての仮定)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第9課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。
12	第10課(pp.20-21)「図書館で...」	『フランス語ルージュ2』第10課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(～の気になる、人称代名詞(2)、間接話法)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第10課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。

	13	第11課 (pp. 22-23) 「映画館の出口で…」	『フランス語ルージュ2』第11課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(意見を聞く/述べる、意見の根拠を述べる、条件法現在)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第11課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。																
	14	第12課 (pp. 24-25) 「トマの誕生日に…」	『フランス語ルージュ2』第12課の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と練習問題演習(経験を話す、中性名詞(2)、近接未来の仮定)。『かたつむりの歌』。リスニング演習・講読演習を含む。	『フランス語ルージュ2』第12課の予習(文法と語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認)。『かたつむりの歌』の音読。																
	15	まとめ	前期学習内容のまとめ 上級文法と高度な表現の補足	前期学習内容の理解のチェックと復習																
関連科目	フランス語科目すべて																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>フランス語ルージュ2 ートリコロール 会話編一</td> <td>Claire RENOUL, 高橋信良, 星埜守之</td> <td>朝日出版社</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>かたつむりの歌 (Chanson des Escargots)</td> <td>田島宏[編], プレヴェール[著]</td> <td>第三書房</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	フランス語ルージュ2 ートリコロール 会話編一	Claire RENOUL, 高橋信良, 星埜守之	朝日出版社	2	かたつむりの歌 (Chanson des Escargots)	田島宏[編], プレヴェール[著]	第三書房	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	フランス語ルージュ2 ートリコロール 会話編一	Claire RENOUL, 高橋信良, 星埜守之	朝日出版社																	
2	かたつむりの歌 (Chanson des Escargots)	田島宏[編], プレヴェール[著]	第三書房																	
3																				
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>みれん (Regret)</td> <td>モーパッサン(Maupassant) [著], 佐野一男[編注]</td> <td>第三書房</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>対訳フランス語で読もう「異邦人」</td> <td>アルベール・カミュ[著], 柳沢文昭[訳注]</td> <td>第三書房</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	みれん (Regret)	モーパッサン(Maupassant) [著], 佐野一男[編注]	第三書房	2	対訳フランス語で読もう「異邦人」	アルベール・カミュ[著], 柳沢文昭[訳注]	第三書房	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	みれん (Regret)	モーパッサン(Maupassant) [著], 佐野一男[編注]	第三書房																	
2	対訳フランス語で読もう「異邦人」	アルベール・カミュ[著], 柳沢文昭[訳注]	第三書房																	
3																				
評価方法(基準)	小テスト(50%)と平常点(授業への参加の度合い・取り組み姿勢・発表・宿題など)(50%)																			
学生へのメッセージ	しっかりと、また楽しくフランス語を学習しましょう。フランス語の実力をつけたい方、フランス文化に興味のある方、その他多くの方の参加をお待ちしております。やる気のある方、頑張ろうという方は是非、来てください。毎年このクラスでは、仏検などで成果を出している学生が多くいます。																			
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																			
備考	授業時間外の質問等については相談の上、個別に時間を決めて応じる。																			

科目名	フランス語IV b	科目名(英文)	French IVb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	中井 裕之
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	意欲を持ってフランス語の能力を高め、実力をつけようと考えている学生のための上級クラスである。本授業では、前期と同様に、会話の練習に重点を置きつつフランス語の総合的な運用能力の育成を図る。授業では語学的説明と同時に文化的な解説を与えるので、授業を通してフランス文化の諸側面に触れることができる。またフランス語学習にまつわる興味深いトピックを適宜提供していく。仏検対策など受講者の要望も取り入れつつ、楽しく、ためになる授業を目指したい。
到達目標	授業を受けることで、学生はより高度なフランス語運用能力を身につけることができる。仏検3級以上のフランス語が読めて、書いて、話せて、聞けるようになることを目指す。
授業方法と留意点	テキストを用いた会話練習を中心に、読解や書き取りの練習等も行う。教科書(『シチュアション1』)を使用するので購入して教室に持つてくること。授業への意欲的で積極的な参加を望む。
科目学習の効果(資格)	仏検(実用フランス語技能検定試験)3級以上の学力を目指す。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	後期オリエンテーション	後期学習へ向けた示唆。授業の内容と進め方の説明。教科書、参考書の説明。	テキストに目を通し、どういったことを学習するかイメージをつかむ。
2	フランス語の基礎的復習	文法事項、表現の復習。以降の授業で適宜、小テストを実施する。また必要に応じて仏検のポイント解説を行う。以降、適宜、ヴェルヌの文章を解説する。参考書の質問も受け付ける。	文法事項のおさらいをしておく
3	第1課 [SITUATION 1] (pp. 2-7) 「通りで」	ディアローグ(「通りで」)の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	第1課[SITUATION 1]の予習(語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(ディアローグの内容確認と音読)
4	第1課[SITUATION 1] つづき	第1課[SITUATION 1]の練習問題演習。リスニング演習・講読演習を含む。	第1課[SITUATION 1]の予習(練習問題に目を通し、問題文を訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認、ディアローグの音読)
5	第2課 [SITUATION 2] (pp. 2-7) 「カフェで」	ディアローグ(「カフェで」)の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	第2課[SITUATION 2]の予習(語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(ディアローグの内容確認と音読)
6	第2課[SITUATION 2] つづき	第2課[SITUATION 2]の練習問題演習。リスニング演習・講読演習を含む。	第2課[SITUATION 2]の予習(練習問題に目を通し、問題文を訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認、ディアローグの音読)
7	第3課 [SITUATION 3] (pp. 14-19) 「タクシーの中で」	ディアローグ(「タクシーの中で」)の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	第3課[SITUATION 3]の予習(語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(ディアローグの内容確認と音読)
8	第3課[SITUATION 3] つづき	第3課[SITUATION 3]の練習問題演習。リスニング演習・講読演習を含む。	第3課[SITUATION 3]の予習(練習問題に目を通し、問題文を訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認、ディアローグの音読)
9	第4課 [SITUATION 4] (pp. 20-25) 「電話で」	ディアローグ(「電話で」)の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	第4課[SITUATION 4]の予習(語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(ディアローグの内容確認と音読)
10	第4課[SITUATION 4] つづき	第4課[SITUATION 4]の練習問題演習。リスニング演習・講読演習を含む。	第4課[SITUATION 4]の予習(練習問題に目を通し、問題文を訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認、ディアローグの音読)
11	第5課 [SITUATION 5] (pp. 26-31) 「レストランで」	ディアローグ(「レストランで」)の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	第5課[SITUATION 5]の予習(語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(ディアローグの内容確認と音読)
12	第5課[SITUATION 5] つづき	第5課[SITUATION 5]の練習問題演習。リスニング演習・講読演習を含む。	第5課[SITUATION 5]の予習(練習問題に目を通し、問題文を訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認、ディアローグの音読)
13	第6課 [SITUATION 6] (pp. 32-37) 「郵便局で」	ディアローグ(「郵便局で」)の文法・語彙・表現・文化的背景等の解説と口頭練習。リスニング演習・講読演習を含む。	第6課[SITUATION 6]の予習(語彙の説明に目を通しディアローグを訳しておく)と復習(ディアローグの内容確認と音読)
14	第6課[SITUATION 6] つづき	第6課[SITUATION 6]の練習問題演習。リスニング演習・講読演習を含む。	第6課[SITUATION 6]の予習(練習問題に目を通し、問題文を訳しておく)と復習(全体の通読と内容確認、ディアローグの音読)
15	まとめ	後期学習内容のまとめ 上級文法と高度な表現の補足	後期学習内容の理解のチェックと復習

関連科目	フランス語科目すべて
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	シチュアション1	斎藤 広信, Serge GIUNTA, Sylvain DETEY	早美出版社
2	空中のドラマ	ヴェルヌ (Verne)[著], 重本利一・前原昌仁[編注]	第三書房	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	地獄の一季節(改訂新版) (Une Saison en Enfer)	ランボー (Rimbaud) [著], 山内	第三書房

			義雄[編], 渋沢孝輔[注]	
	2	対訳フランス語で読もう「異邦人」	アルベール・カミュ[著], 柳沢文昭[訳注]	第三書房
	3			
評価方法 (基準)	小テスト (50%) と平常点 (授業への参加の度合い・取り組む姿勢・発表・宿題など) (50%)			
学生への メッセージ	しっかりと、また楽しくフランス語を学習しましょう。フランス語の実力をつけたい方、フランス文化に興味のある方、その他多くの方のみなさんの参加をお待ちしております。やる気のある方、頑張ろうという方は是非、来てください。毎年、このクラスでは、仏検などで成果を出している学生が多くいます。			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	授業時間外の質問等については相談の上、個別に時間を決めて応じる。			

科目名	プレゼンテーション	科目名(英文)	Presentation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	A B
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ア'ラッド'リー パークス
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目(高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料やICTを用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル(身振り、姿勢、話し方など)や発表構成(導入・展開・結論)を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3]を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報(自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること)を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	学期末に、ハンドアウトやICTを使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Preparation(1) :Analyze your audience	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Preparation(2) :Purpose	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Organization(1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Organization(2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Organization(3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Delivery (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Delivery (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Delivery (3)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Rehearsal	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Presentation and peer evaluation (1)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Presentation and peer evaluation (2)	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Final presentation and self/peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Final presentation and self/peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Review	Feedback session	...	

関連科目	ドラマ
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech	Harrington	MacMillan ISBN 13 9780230726024
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	Prepare for your future by studying today.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	プレゼンテーション	科目名 (英文)	Presentation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	C D
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ニール カー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Unit 1	Posture and Eye Contact	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Unit 2	Gestures	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Unit 3	Voice Inflection	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Unit 4	Effective Visuals	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Unit 5	Explaining Visuals	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Preparing for Presentation1	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Presentation1	Making your presentation in the class	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Unit 6	The Introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Unit 7	The Body	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Unit 8	The Conclusion	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Preparing for Presentation2	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Presentation2	Making your presentation in the class	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Preparing for Final Presentation	Preparing your presentation	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
15	Final Presentation	Making your presentation in the class	・・・	

関連科目	ドラマ
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech, New Edition	David Harrington and Charles LeBeau	Macmillan
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	You will be able to present in a small class, in a comfortable atmosphere, and enjoy improving your speaking skills with some valuable hints on making your presentation exciting. Those who engage wholeheartedly in class activities, who read up on lessons and do their homework will benefit most from this course.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	プレゼンテーション	科目名(英文)	Presentation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マシュー クーパー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目(高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料やICTを用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル(身振り、姿勢、話し方など)や発表構成(導入・展開・結論)を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3]を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報(自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること)を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトやICTを使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises: Structure	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises: Audience Analysis	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises: Delivery	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises: Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises: Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	ドラマ
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Present Yourself 1. 2nd edition	Steven Gershon	Cambridge
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	英語での主張のために必要な証拠、事実について、それらの効果的な提示の方法について学びます。就職活動、仕事などに役立つ知識として身につけてほしいと思います。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	プレゼンテーション	科目名 (英文)	Presentation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検,

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction.	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Dramatic Poetry Reading	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Dramatic Poetry Reading	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Dramatic Poetry Reading	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Dramatic Poetry Reading Performance	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Storytelling	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Storytelling	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Storytelling	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Storytelling Performance	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Reading Aloud: Children's Picture Books	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Reading Aloud: Children's Picture Books	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Reading Aloud: Children's Picture Books	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Reading Aloud Performances	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Video Feedback	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Course Reflection	...

関連科目	speaking, drama
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Present Yourself Level 1 Student Book Experiences 2nd Edition (ISBN: 9781107435636)	Gershon, S.	Cambridge University Press
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	Learning about and giving presentations can be enjoyable, and students can improve their confidence through giving speeches in English. Students can expect to give at least four to five presentations during the semester. Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	プレゼンテーション	科目名 (英文)	Presentation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マーティン オイクル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料や ICT を用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル (身振り、姿勢、話し方など) や発表構成 (導入・展開・結論) を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3] を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報 (自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること) を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトや ICT を使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	英検、TOEIC

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction.	Class overview. Introducing the physical message. DVD episode 1, The Informative Speech.	No preparation required.
2	Informative Speech. Introducing your hometown.	Practice presenting the Informative Speech about your hometown.	Write a short speech about your hometown.	
3	Physical message in presentation 1: gestures.	The importance of using the body for communication. DVD episode 2, The Layout Speech.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.	
4	The Layout Speech.	Perform the Layout Speech.	Write a Layout Speech about a place you know.	
5	Write a Layout Speech about a place you know.	The importance in using voice inflection for emphasis in speech.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.	
6	The physical message in presentation 3: gestures and voice inflection.	DVD episode 3, The Demonstration Speech. Practice using gestures and voice inflection in explaining how to make a sandwich.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.	
7	The Demonstration Speech.	Perform the Demonstration Speech.	Write a Demonstration Speech about how to do something.	
8	The Visual Message 1: effective visuals.	DVD episode 4, Effective Visuals. Using visuals in presentation, such as charts, graphs, photos and diagrams.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.	
9	The Visual Message 2, explaining visuals.	DVD episode 5, Explaining visuals. Language to explain visuals in English. Practice explaining graphs.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.	
10	The Story Message.	Overview of Introduction, Body and Conclusion of the presentation.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.	
11	The Comparison Speech.	Perform the Comparison Speech.	Write a speech comparing two places with graphs.	
12	The Effective Introduction.	DVD episode 6, The Introduction.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.	
13	The Body of the Presentation.	DVD 7, The Body. Using evidence to prove your statements. Using transitions between main points.	Preview and learn unfamiliar vocabulary in the textbook.	
14	The Conclusion.	DVD episode 8, The Conclusion. Focus Points. Final Presentation topic and outline.	DVD episode 8, The Conclusion. Focus Points. Final Presentation topic and outline.	
15	Final Presentation.	Perform the Final Presentation.	Write Final Presentation.	

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Speaking of Speech	David Harrington and Charles LeBeau	MacMillan ISBN: 978-4-7773-6271-4
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Dictionary		
2				
3				

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等) の成績を総合的に評価する。
-----------	--

学生へのメッセージ	Learning about and giving presentations can be fun, and students can improve their confidence through giving speeches in English. Students can expect to write five presentations during the semester. Attendance is very important.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	プレゼンテーション	科目名(英文)	Presentation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目(中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目(高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ハンドアウトなどの資料やICTを用いて、英語でプレゼンテーションを行うためのスキルを修得する。プレゼンテーションを円滑に進めるスキル(身振り、姿勢、話し方など)や発表構成(導入・展開・結論)を修得する。
到達目標	CEFR-J [A1.1-3]を目標とし、前もって発表原稿を準備すれば、自分に関連する情報(自己紹介、趣味、関心事、学校、家族・友達に関すること)を簡単な語句や基本構文を用いて発表できるようになる。
授業方法と留意点	ハンドアウトやICTを使って、1人5分程度以上の英語プレゼンテーションを行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	2	Exercises: Description and Layout	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	3	Exercises: Description and Layout	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	4	Exercises: Description and Layout	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	5	Exercises: Definition, Comparison and Contrast	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	6	Exercises: Definition, Comparison and Contrast	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	7	Exercises: Definition, Comparison and Contrast	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	8	Exercises: Visual Support Materials	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	9	Exercises: Visual Support Materials	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	10	Exercises: Visual Support Materials	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	11	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	12	Exercises: Giving Presentations	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	13	Exercises: Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	14	Exercises: Peer evaluation	Individual task, pair work, and group work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	ドラマ
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、プレゼンテーション、宿題、提出物等)の成績を総合的に評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	The quality of your voice and pronunciation is just as important as the content of your speech. Audiences listen to passionate speakers. Let's present from the heart.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階 Herke 研究室
----------	-----------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	プレゼンテーションインドネシア・マレー語	科目名(英文)	Indonesian Language Presentation
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	エニ レスタリ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	Memberikan dasar-dasar metode dan teknik presentasi, dari penyusunan paper sampai praktek presentasi, agar mahasiswa memiliki kemampuan menyampaikan buah pikiran, hasil penelitian dsb, kepada audience.
到達目標	Dimulai dari sikap penyampaian, menyusun teks, penyusunan Power Point dan pelengkapannya, sehingga mahasiswa mempunyai kemampuan menyampaikan presentasi dengan baik.
授業方法と留意点	Penguasaan teori, penyusunan teks, latihan presentasi. Workshop class.
科目学習の効果(資格)	Mahasiswa mampu membuat naskah, menyajikan data dan mempresentasikan dengan baik.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Orientasi.	Penjelasan tentang materi perkuliahan, tujuan dan tugas akhir.	授業の内容を確認する。
	2	Persiapan fisik.	Postur dan kontak mata. Memprkatekkan di muka kelas.	Mengulang latihan.
	3	Persiapan fisik	Gerak-gerak dan tekanan suara..	Latihan dengan memperagakan berbagai macam gerak-gerak.
	4	Penyusunan naskah presentasi.	Penyusunan naskah, judul, isi, pembagian bab dll.	原稿の作り方。
	5	Power Point.	Penggunaan Power point dalam presentasi.	パワーポイントを利用する。
	6	Pemilihan data yang akan ditampilkan.	Cara menentukan pokok bahasan dalam tampilan, perumusan kalimat untuk tampilan.	データ管理。
	7	Lay out dan desain.	Warna, typografi, dan lay out.	パワーポイントのレイアウト。
	8	Workshop.	Mahasiswa mencoba menampilkan hasil karya.	作品 [パワーポイント] 画面の計画をたてる。
	9	Work shop.	Mahasiswa menganjukan masing-masing satu hasil karya.	作品を発表する。
	10	Penyusunan kalimat penjelasan tampilan.	Reduksi text dan visualisasi.	作品の説明の文章を作る。
	11	Berbicara di depan umum 1.	Presentasi informasi.	発表の仕方。
	12	Berbicara di depan umum 2.	Presentasi demonstrasi.	発表の仕方。
	13	Presentasi visualisasi.	Penyusunan visualisasi yang efektif. Pemilihan kata-kata panduan.	Praktek presentasi.
	14	プレゼンテーションの練習。	各トピックのQ&A。	授業内容の復習。
15	プレゼンテーション。	発表会。	授業内容の復習。	

関連科目	ビジネスインドネシア語・マレー語
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	Kedatangan dan aktivitas kelas 50% Tugas akhir 50%
----------	---

学生へのメッセージ	Kuliah dilaksanakan dengan metode workshop, sehingga mahasiswa harus berperan aktif. Selain mempresentasikan, mahiswa juga ditugaskan untuk menilai presentasi mahasiswa lain.
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	フレッシュマン イングリッシュ	科目名 (英文)	Freshman English
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西 美都子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	大学入学までに学んださまざまな英語の基礎知識を、実際の音声コミュニケーションに活かせるよう練習する。発音記号と調音の仕組みを理解しリスニングやスピーキングに生かせるようにする。																																																																		
到達目標	高校までに学んだ基本的な英文法の事項をコミュニケーションにつなげていけるようになる。また、未知の単語であっても発音記号を頼りに発音ができるようになる。																																																																		
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.																																																																		
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検																																																																		
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>Course introduction</td><td>An overview of the class procedures.</td><td>Preparation for the next class.</td></tr> <tr><td>2</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>3</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>4</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>5</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>6</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>7</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>8</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>9</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>10</td><td>Exercises</td><td>Individual Task, Pair work, and group work</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>11</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>12</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>13</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>14</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>Finishing up and preparing for the next class.</td></tr> <tr><td>15</td><td>Exercises</td><td>Individual tasks and group work.</td><td>*</td></tr> </tbody> </table>			回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	Course introduction	An overview of the class procedures.	Preparation for the next class.	2	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	3	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	4	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	5	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	6	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	7	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	8	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	9	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Finishing up and preparing for the next class.	11	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	12	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	13	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	14	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.	15	Exercises	Individual tasks and group work.	*
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																																
1	Course introduction	An overview of the class procedures.	Preparation for the next class.																																																																
2	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
3	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
4	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
5	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
6	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
7	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
8	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
9	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
11	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
12	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
13	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
14	Exercises	Individual tasks and group work.	Finishing up and preparing for the next class.																																																																
15	Exercises	Individual tasks and group work.	*																																																																
関連科目	*																																																																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>English Challenger - リーディングに役立つ基本英文法</td> <td>岡本 京子 共著</td> <td>成美堂</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	English Challenger - リーディングに役立つ基本英文法	岡本 京子 共著	成美堂	2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1	English Challenger - リーディングに役立つ基本英文法	岡本 京子 共著	成美堂																																																																
2																																																																			
3																																																																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																																
1																																																																			
2																																																																			
3																																																																			
評価方法 (基準)	授業への取り組み・発表、小テスト、復習テストから総合的に評価する。																																																																		
学生へのメッセージ	英語の発音の特徴を身につけられるように積極的に声に出して発音、発表をしてください。																																																																		
担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室																																																																		
備考	事前事後学習にかかる総学習時間をおおよそ15時間程度とする。																																																																		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。		
到達目標	Edgar Allan Poe と Herman Melville の作品を通して、アメリカ文学に慣れ親しむ。		
授業方法と留意点	受講生による発表を中心に授業を進める。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	前期は Edgar Allan Poe の作品を、後期は Herman Melville の作品を読む。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	出席状況、積極性、発言内容、課題を総合的に評価する。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等備考	7号館3F		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 資料調査、分析、プレゼンテーション、わかりやすい文章にまとめる、といった体験を通して、研究手法や考え方を学びます。 グループやペアでの活動を通して、卒業後にも生かせる、人との関わり方のバリエーションを増やします。 																
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 多面的に物事を見る、もしくは見ようとする姿勢を身につける。 想定する聴衆にとってわかりやすい情報の構成や見せ方を工夫できるようになる。 																
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 実物を観察し、触れ、また何かを作る、といった作業を体験したあと、言語化する練習をします。 新聞やニュースの記事 (日本語・英語)、本などを用いて、調査・発表・議論をします。 																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 言語・文化、美術、コミュニケーションなどの分野に関する研究</p> <p>【事前事後学習課題】 授業で扱ったテーマについて、自分で直接現場に行き調べたり、インターネットとは違う情報源を探してみよう。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	<ul style="list-style-type: none"> 授業での協働作業 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% 																
学生へのメッセージ	好奇心を覚醒させて、何でも見て、体験して、自分の感性を鍛えよう。																
担当者の研究室等備考	7号館4階 齋藤研究室																

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに、英語の語法や文法についてさらに深く学ぶ。基本的な文法事項も再確認しながら、英語の実証的な研究の一端に触れる。適時担当を決めて、英語の語法文法や英語の変化について発表を行う。4年次の卒業研究に向けてテーマ設定と資料収集を行う。																		
到達目標	本格的な文献探索や、論文講読、資料調査等を行い、研究手法や考え方を体得する。英語学に関する簡単な文献がある程度時間をかけながら理解できるようになる。英語の基本的な文法事項を整理確認する。																		
授業方法と留意点	文献の輪読や発表、プレゼンテーションを行う。そのような学びを通じて、4年次の卒業研究に向けてテーマ設定と資料収集を行う。日常使われる英語の表現や語法に関心をもつことが望まれる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>テーマ： 現代英語語法文法研究、英語の変容研究</p> <p>内容：現代英語の語法や文法について学ぶ。英語の変化にも注意しながら、これまでの「定説」と違う例などがある場合は、なぜそのような形が使用されているのかといったことを考えながら、</p> <p>方法： 映画の英語や、インターネット上で使用される英語、新聞などの英語から、現代英語の実態を明らかにする実例を探して、討議する。またそのような作業を進めるうえで、基本的な英文法の事項を習得しておくことが前提であるので、毎回英語の文法語法について復習を兼ねたエクササイズを行う。</p> <p>事前・事後学習課題 配布された文献を読みこんでくる。また、グループでの発表のための準備。エクササイズの予習、復習など。総事前・事後学習課題は、発表の準備などを含め30時間とする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	発表や、レポートを総合的に判断する。																		
学生へのメッセージ	ちょっとした言葉の使い方に疑問を持ち、「なぜ」を追求する楽しさを実感してください。																		
担当者の研究室等	7号館4階 住吉 誠 研究室																		
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>Theme: Tourism and Hospitality</p> <p>We will look at on the job situations for cabin crew, airline ground staff and hotel staff, do tour-guiding and discuss the importance of good service.</p>																		
到達目標	Students will attain better reading, and writing skills, with active study and increase speaking and listening skills in the class.																		
授業方法と留意点	Regular on-time attendance, a willingness to participate in all organised tutorial events, reading outside class for the reading marathon are the key to a good grade.																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>(First term) We will concentrate on hospitality topics, and building up reading skills in the first term from newspaper articles and the textbook.</p> <p>Youtube will be used for study at home to build up vocabulary and listening skills. Thesis topics will be decided towards the end of this term, with research in the library encouraged.</p> <p>We will also study the play to be attended during the first term, looking at four skills - speaking, listening, reading and writing to build up those skills.</p> <p>(Second term) Academic writing skills will be studied to help students formulate their ideas on a thesis topic and tourism and travel will be the basis for weekly topics.</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Tourism and Catering</td> <td>Neil Wood</td> <td>Oxford</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Language Note</td> <td>Richard McMahon</td> <td>languagenote.com</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Basic steps to writing research papers</td> <td>Kluge and Taylor</td> <td>Cengage</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Tourism and Catering	Neil Wood	Oxford	2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com	3	Basic steps to writing research papers	Kluge and Taylor	Cengage
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	Tourism and Catering	Neil Wood	Oxford																
2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com																
3	Basic steps to writing research papers	Kluge and Taylor	Cengage																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	Attendance, oral presentations, reading and thesis will form the basis for grading along with enthusiastic 100% participation in events organized by the teacher. Be ready to join in the reading marathon, speech/recitation contest, and drama events.																		
学生へのメッセージ	English only will be used in class. Please come ready to use English, read in English, write in English, and help others to stay in English for every class. Don't be afraid of making mistakes in English. It is part of the learning process. Just keep on tr																		
担当者の研究室等備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに、研究分野を選択します。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究方法や考え方を体得します。																		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語学・言語学に関する専門知識 (特に、統語論と意味論) を身につけ、専門的な考え方や研究手法に慣れる。 2. 言語学的な視点から学校英文法をとらえ直す。 3. レジュメを用いて効果的なプレゼンができる。 4. データベースを活用して必要な研究論文の検索ができる。 5. 英語語彙力を強化する。 																		
授業方法と留意点	<p>①専門知識の蓄積, ②論理的思考力の強化, ③表現力・伝達力の強化, の3本柱で授業を進める。</p> <p>留意点は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①～③の知力のバランスを意識して取り組むこと。 2. 指定箇所を相応の時間をかけて予習して授業に臨み、授業中のディスカッションを通じて疑問を解決できるようにすること。 3. グループディスカッションでは積極的に発言すること。 4. 積み上げ式に学習するので復習には十分時間をかけ、わからないことは早めに質問すること (ほかの受講生にも有益なのでできるだけ授業中に設ける質問時間を活用し 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校英文法の洗い直し 2. 英語学・言語学の専門知識と研究手法 3. レジュメを用いたプレゼンスキル 4. データベースを活用した研究論文の検索法 5. 英単語の成り立ち <p>【事前事後学習課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英単語を構成する要素についての理解を確認する。(単語テスト) 2. 指定された専門的な読み物を要約し、レジュメを用いて発表する。(プレゼン) 3. 指定されたテーマについてレポートを作成する。(期末レポート) 																		
関連科目	卒業研究 I, II																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>論文の教室</td> <td>戸田山和久</td> <td>NHK ブックス</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Expanding your vocabulary by word roots (語彙力養成の総合英語)</td> <td>Joe McKim</td> <td>英潮社</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【英英辞典をもっていない人】 Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)</td> <td></td> <td>Collins COBUILD</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	論文の教室	戸田山和久	NHK ブックス	2	Expanding your vocabulary by word roots (語彙力養成の総合英語)	Joe McKim	英潮社	3	【英英辞典をもっていない人】 Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	論文の教室	戸田山和久	NHK ブックス																
2	Expanding your vocabulary by word roots (語彙力養成の総合英語)	Joe McKim	英潮社																
3	【英英辞典をもっていない人】 Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>評価の対象 期末レポート, プレゼン, 単語テスト, 平常点</p> <p>評価に対する重み 期末レポート (50%), プレゼン (20%), 単語テスト (15%), 平常点 (15%)</p>																		
学生へのメッセージ	本科目は4年次の「卒業研究 I, II」の基礎になる科目です。土台が安定しなければ、充実した卒業研究ができないので真剣に取り組んでください。																		
担当者の研究室等	田中 (秀) 研究室 (7号館4階)																		
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の分析には英英辞典が不可欠なので、下記に示した英英辞典が電子辞書に入っていない人は教科書欄の英英辞典を購入すること。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。 <p>【英英辞典のリスト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロングマン現代英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English) ・オックスフォード現代英英辞典 (Oxford Advanced Learner's Dictionary) <p>2</p>																		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>アメリカ合衆国の文化、歴史、社会についての卒業論文 (研究レポート) を書くゼミです。各自、3年次終了時点で合計 12000 字 (40 字 x30 行で 10 ページ) 以上のレポートを書くことを目標にします。4 年次には、さらに研究を積み重ねて、これらのレポートを卒業論文に発展させることを目指します。</p> <p>各自の研究テーマは、アメリカ合衆国に関するものであれば幅広く選ぶことができます。過去のゼミ生に多いテーマは、映画や映画俳優について、音楽やミュージシャンについて、野球などのスポーツについてのものです。こうした一見カジュアルな題材を通じて、アメリカ社会の政治的、社会的、歴史的な問題点を考えるのが文化研究です。</p>																		
到達目標	<p>前期のうちに、アメリカ合衆国についての基礎的な知識を増やし、各自の卒業研究の仮テーマを決め、資料を読み、文章を書く練習を始める。小さなレポートをいくつか積み重ね、合計で少なくとも 6000 字以上を提出する。</p>																		
授業方法と留意点	<p>・最初の数週間は、全員で共通の資料を読み、アメリカ社会についての共通の理解事項を作ります。その後は、各自、自分のテーマに基づいた資料を手に入れ、読み、小さなレポートを書き、それをクラスに持ち寄って話し合う、という活動を繰り返します。</p> <p>・毎週文書を PC で作成し、学内ネットワークや電子メールを使ってやりとりをします。PC の基本操作は必須であり、自分の PC を所有しているか、好きな時に使える PC を学内および自宅に確保しておく必要があります。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 これまでのゼミ生の研究テーマには次のようなものがあります。 「ディズニーアニメを巡る人種差別論争：『ポカホンタス』『アラジン』を中心に」「ハリウッド映画が描く公民権運動：『ロング・ウォーク・ホーム』を例に」「映画『インデペンデンス・デイ』(1996)と多文化主義」「ラテンポップの舞台裏：1990 年代のサルサ音楽ブームについて」「アメリカ独自のモータースポーツ NASCAR の歴史」「アメリカにおけるラグビーの歴史」「ジャズ・トランペッター、ルイ・アームストロングとマイルス・デイビス」「初期ハリウッドの日本人スター早川雪洲」「『白雪姫』 — グリム童話からディズニーアニメへ」「黒人メジャーリーグ、ジャッキー・ロビンソンとアメリカ社会」「チャーリー・チャップリンと赤狩りの時代」「マイケル・ジャクソンと人種問題」「黒人だけのプロ野球、ニグロ・リーグの歴史とその遺産」「黒人ブルースと白人ロックミュージシャンたち」</p> <p>【事前事後学習課題】 資料を読み、文章を書くことを日々の習慣にすること。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	ゼミ活動への貢献 (50%) + 複数の小レポートの総量と質 (50%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 階鳥居研究室																		
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。		
到達目標	本授業を受けることによって、コミュニケーションとは何かを理論的に学ぶことができます。さらに、テキストを正確に読み、理解し、それについて多面的に考察し、自分の意見を述べるできるようになります。実際に何度も練習を行うことによって、コミュニケーション能力を高めることもできるようになります。		
授業方法と留意点	毎回担当者を決めて発表をします。担当者だけでなく、参加者全員が予習範囲のテキストをしっかりと読んで理解して授業に臨んでください。コミュニケーションな方法だけでなく、その内容が大事です。日ごろから情報や知識の獲得を心がけてください。英語の文献も読みますので予習をしてきてください。毎回、スピーチをしてもらいますので準備をしてきてください。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>コミュニケーションの取り方を理論的・実践的に学びます。最も大切なのは、相手の気持ちに配慮し、伝えたいことを正しくきっちり伝えることです。</p> <p>そのためには何度も練習しなければなりません。</p> <p>そこで、読んで考え、聞いて話すことを繰り返し行うことが決定的に重要になります。</p> <p>【事前事後学習課題】</p> <p>文献・インターネット等で内容を調べてくる。</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名 出版社名
	1	コミュニケーション理論をつかむ	辻 大介 他 有斐閣
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名 出版社名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	研究や授業に取り組む姿勢を重視して、総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	失敗しながらも楽しくコミュニケーションを学びましょう。		
担当者の研究室等備考	7号館4階西川研究室		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	シヨーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	Globalization is the topic of this seminar. Globalization is the interchange and sharing of products, ideas, social values, lifestyle patterns, and other aspects of culture. The coursework in both the first and second terms will be in the form of researching, designing presentations, and writing, but the topics in each term will differ. With the teacher's guidance, students will choose their own research topic that relates to the theme of the seminar. In this first term the focus will be on globalization, culture and geographic locations.			
到達目標	In this seminar course students will be able to improve their English listening, speaking, reading, writing ability and computer proficiency while researching topics of interest.			
授業方法と留意点	Students must have the ability to follow directions and participate in class using English.			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	In part of each class the teacher will introduce new ideas on the course topics. In the class workshop part of the lesson students will do research and develop their English writing ability using computers. Students will assemble their completed assignments to create a comprehensive notebook.			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Grades are based on reliable weekly attendance that includes active participation 50%; comprehensive term reports 50%.			
学生へのメッセージ	Be prepared to learn and communicate using English. All the classwork and all course assignments will be in English.?			
担当者の研究室等備考	McGovern7号館5階			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>時事問題に詳しくなり、自分の意見を自分の言葉で論理的に言える人材となるために、毎回意見発表をしてもらいます。また英文を覚え、新聞を読むことにより、TOEIC のスコアをアップを目指します。自分の実力を上げるには、時間をたっぷり取って自分と向き合い、勉強することが大事です。求める人には担当教員も全力で与えられるものは与えたいと思います。</p>																		
到達目標	<p>*論理的思考を身に付けることで、どんなトピックをふられても論理的に話せるようになる。 *TOEIC のスコアを最低 100 はアップさせる。 *激動する世界・日本社会の中でどんな人生を歩みたいのかを決める。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1. ①専門知識の蓄積と②論理的思考力の強化の 2 本柱で授業を進めるので知力のバランスを意識して取り組むこと。 2. グループディスカッションでは積極的に発言すること。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>以下の要領で授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近況報告 2. 英文暗誦 3. 時事事項報告 4. 意見発表 5. 新聞講読 6. グループディスカッション <p>【事前事後学習課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事前に相応の時間をかけて予習をする。 2. 指定されたテーマについてレポートを作成し、提出する。 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>評価の対象 レポート, 平常点 評価に対する重み 平常点 (70%), レポート (30%)</p>																		
学生へのメッセージ	<p>*将来何がしたいのかを考え、自分の人生の設計を立てましょう。 *この 1 年が人生で一番大事な時期となります。目標を立ててしっかり達成しましょう。</p>																		
担当者の研究室等	7 号館 4F																		
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	しっかりした卒業研究レポートを書くことができるよう、参考文献を知り、読み、まとめ、レジメの作るなどのノウハウを身につけるための授業です。		
到達目標	参考文献を調べ、それを読み、カードやノートを取り、レジメを作れるようになる。		
授業方法と留意点	前期はゼミ生全員で共通課題図書を読み、レジメを作ります。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 犬と日本人の関係について書かれた本を数冊、読む。</p> <p>【事前事後学習課題】 資料を読み、文章を書くことを日々の習慣にすること。</p>		
関連科目	歴史系科目		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	ゼミ活動への貢献(50%)+3年次終了時点までの小レポートの総量と質(50%)		
学生へのメッセージ	とにかく読書量を増やしましょう。		
担当者の研究室等備考	7号館5階 (篠原研究室)		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>グローバリゼーションと移民をキーワードに、基本文献を輪読しつつ、テーマをめぐる基礎知識や共通認識を培う。その中で、本格的な文献検索や論文の渉猟、資料収集、可能なかぎりの現地調査を行い、研究手法やルールを体得する。</p> <p>2年次までに基礎演習等で養った問題発見・解決能力をもとに、各自が関心の方向性を見出していく。その途上で、必要な資料の検索・収集方法、理論書の読解、レジュメの書き方、プレゼンテーションの方法などを指導する。</p>																		
到達目標	ゼミの基本文献を精読していきながら、関心分野、テーマを見出す。																		
授業方法と留意点	<p>毎回担当者を決めて発表をする。担当者だけでなく、全員が資料を熟読したうえでゼミに臨むこと。仲間の報告を傾聴し、その論点を捉え、的確な質問や批判を自分の言葉で伝える力を養いましょう。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 グローバリゼーション・移民・多文化社会 基本文献を輪読し、基礎知識と共通認識を養う。レジュメの作成になれると同時に、それをもとに議論を展開できるようになることが重要である。ときに学外での研修を行うこともある。</p> <p>【事前事後学習課題】 文献を熟読し、そこから疑問点や論点を抽出し、調べたり自分の考えを練ったりする。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>発表への取り組みと内容、議論への参加等に基づき、総合的に評価する。</p> <p>専攻外国語の力を伸ばし続けることは重要であるが、つねに日本語での読解力と論理的な文章構成力を問う。</p>																		
学生へのメッセージ	ゼミ生の共通語は日本語と英語だと考え、両言語の力を駆使すると同時に、自身の専攻言語の力を伸ばし続けましょう。																		
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室																		
備考	授業中に指示された時間を要するだけの事前事後学習を行うこと。																		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本演習は、卒業研究を進めていく上での準備段階と位置づけている。自分で「調べる」という営みを始動することができるように演習を通じて指導を行っていく。前半は文化人類学者による調査に関する参考文献を講読する。文献の講読を通じて、人類学的なものの見方について学ぶ。後半は受講者自身による調査主題の設定に当てる。相互のディスカッションを通じて人類学的な「調べる」営みについて考えていき、卒業研究のための調査を指導することを目指す。			
到達目標	適切な調査テーマを設定するとともに、そのアプローチの仕方を知る。			
授業方法と留意点	前半は文化人類学に関する文献講読を行う。毎回の授業では文献に関する内容の理解を問う。後半はディスカッション等に当てる。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	「人類学的に調べる」が本演習の主題である。文献講読と相互のディスカッションが中心になる。発表担当者は文献の内容について30分程度で報告をする。コメント担当者は5分程度のコメントが求められる。聴衆は発表についての質問をすることが求められる。いずれの役割を担うにしても、ゼミの時間を有意義に使うために、授業の前後には指定された文献を精読しておくこと。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	演習への出席、発言、課題、口頭発表に基づいて行う。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館5階 (上田研究室)			
備考				

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	2年次までに培った基礎力をもとに、自身が取り組むテーマを検討する。このゼミにおいては、主に現代の日本や東南アジア世界をめぐる社会事象や社会現象を取り上げることとしたい。具体的には、担当教員の指導のもと、本格的な文献検索や論文読解、資料調査、現地調査実習などを行い、研究手法や考え方を体得する。																		
到達目標	研究に対する考え方の整理を通じて、客観的な眼差しがもてるようになる。 また、日頃のゼミ活動を通してゼミ内外の人びとと接することを通じ、「気くばり」「目くばり」「心くばり」ができる人間になることを目標とする。																		
授業方法と留意点	授業では積極的に発言を行い、切磋琢磨できるような刺激的な環境を作っていくよう努力すること。 なお、7月に行われる4年ゼミ生による「卒業論文中間発表会」への参加を必須としている。																		
授業テーマ・内容・方法・事前・事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>①研究方法論（研究テーマの設定法、文献資料の収集法、学術研究論文の構成や論理、研究発表や研究討論の進め方等）についての解説を行う。</p> <p>②受講生各自が関心をもつテーマについて、それがテーマとなり得るか否かを全員で討論し、各自がテーマの絞り込み作業を行う。</p> <p>【事前・事後学習課題】</p> <p>自身の関心のあるテーマについて、事前学習をすること。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—</td> <td>浦野崇央編</td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>浦野ゼミの手引き—「卒業論文」を仕上げるまでの過程（タイムスケジュール）—</td> <td></td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ	2	浦野ゼミの手引き—「卒業論文」を仕上げるまでの過程（タイムスケジュール）—		摂南大学外国語学部・浦野ゼミ	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
2	浦野ゼミの手引き—「卒業論文」を仕上げるまでの過程（タイムスケジュール）—		摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
3																			
評価方法（基準）	ゼミでは、積極性が特に重視されます。そこで、成績評価については、討論への積極的な参加状況、レポートの内容等により、総合的に判断します。 なお、1回目の授業で、今後のスケジュールや参考文献資料を記した小冊子（「参考書」欄に記載）を配布し、ガイダンスを行います。																		
学生へのメッセージ	「研究する」という行為は、実はとてもワクワクし、楽しいものです。大学生であることを自覚し、「研究」に勤めましょう。																		
担当者の研究室等	7号館4階（浦野研究室）																		
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	どのように研究テーマを設定するかについて指導する。研究方法、資料収集方法についても指導する。以上の指導に基づき、各自でテーマを決め発表を行う。		
到達目標	問題点を発見し、解決していく能力が獲得できる。		
授業方法と留意点	演習では、各自が作業を行うことが多い点に留意しておくように。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	授業の中で指示された作業を必ず行うこと。特に発表の際には事前に充分準備をすること。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	平常点、発表による総合評価		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等	7号館5階(山口研究室)		
備考	指示された予習・復習・発表の準備には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本の文化や歴史を中心に、各自テーマを設定し、報告、議論を通して論理的な議論の組み立て方や思考力を養う。		
到達目標	論理的な思考に基づく分析と考察、ディスカッション、文章表現などの能力が身につく。		
授業方法と留意点	前半は各自がテーマを複数考え、みなでディスカッションしながらテーマを絞り込む。また、文献の検索方法や研究の方法論について学ぶ。後半は絞り込んだテーマについて調べ、レポートにまとめ、報告、議論する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	【授業テーマ】 歴史、文化とは何か 文献の検索と活用方法 テーマ設定 【事前事後学習】 自分の発表時はもちろん、他者が発表する前に報告者のテーマに関する文献を読み議論に備える。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	発表内容や発言、レポートをもとに評価する。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等			
備考			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期では、担当教員の指導のもと社会貢献活動などの学外活動による課題発見対処能力を高める。その活動の中で、社会問題を提起する。																		
到達目標	物事を多面的に考察できること、社会的倫理観の確立、相手に理解できるように論理的かつ的確コミュニケーション能力を持つこと。																		
授業方法と留意点	このゼミは、「夢」を持ちそれに向かって全力投球したい学生のゼミであることから様々な課題を自分自身で課すことになる。課題発見解決能力の開発や、現場ですぐに役立つ実践力を高めるプログラムを実践する。また、幼稚園、小学校、中学校の教員を目指す学生には教員採用試験の過去問題や面接対策の勉強会を行う。OB・先輩・外国人との交流が多く、年間3～4回のゼミ合宿に必ず参加することを強く希望する。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 社会に貢献できる活動を実践することから、学外での活動が多い。</p> <p>【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べる。</p> <p>計画に基づいた活動、活動発表、報告書を総合的に評価する。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	活動参加、協調性、企画力、コミュニケーション能力、発表力を総合的に判断する。																		
学生へのメッセージ	一歩前進ではなく、半歩前進でも、前に進んだことになる。小さな成功体験の積み重ねが、エネルギーになることを実感すると、挑戦することが楽しくなります。																		
担当者の研究室等	7号館5階 浅野研究室																		
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	有馬 善一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>テーマ「現代社会と人間」 現代社会の様々な問題を取り上げる。資料を読み合わせ、ディスカッションやディベートを行うことを通じて、問題の本質に迫っていくことを目指す。 これと並行して、卒業研究レポートの準備を行う。テーマの選定、文献の蒐集と読解、またそれに必要なスキルを身につける。</p>																
到達目標	<p>現代社会の問題やそこで生きる人間のあり方について、自分なりに問題意識を涵養する。 人前で分かりやすく自分の意見を発表する力を身につける。 必要な文献の蒐集と読解をする。</p>																
授業方法と留意点	<p>ゼミ形式での発表とディスカッションを行うので積極的な参加が求められる。テーマ自体は幅広いものになるので、特にどのような問題を取り上げるかは、参加者と相談の上、決定する。</p> <p>卒業研究レポートについては、ゼミでの勉強を踏まえて、各自でテーマを決めてもらうが、個別に課せられた課題はしっかりとこなすことが必要。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【テーマ・内容】 「現代社会と人間」 人間と社会そのものに対する近代的な見方がもはや成り立たなくなっているのが現代社会の特徴であろう。そのような現代社会の様々な問題を取り上げる。例えば、科学技術に対する信頼の崩壊（原発事故）、経済成長と人口の増加を前提に組み立てられてきた社会の危機（低成長と人口減少）、人々の価値観や倫理観の変化（権威に対する不信任、無差別テロや理由なき殺人）、等々。</p> <p>【方法】 資料を皆で読み合わせ、ディスカッションやディベートをする。また、その結果をまとめたレポートを書いてもらう。 個別に卒業研究レポートの準備を進める。文献の蒐集と発表をする。</p> <p>【事前事後学習課題】 発表の準備、発表後のレポート作成 卒業研究レポートの文献蒐集と読解。さらにテーマの発表の準備 およそ 30 時間。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>レポート・論文の書き方入門 第三版</td> <td>河野哲也</td> <td>慶應義塾大学出版会</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	レポート・論文の書き方入門 第三版	河野哲也	慶應義塾大学出版会	2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	レポート・論文の書き方入門 第三版	河野哲也	慶應義塾大学出版会														
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法 (基準)	参加[貢献]度、発表[プレゼンテーション]、レポートなどに基づいて評価する。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等	7号館4階																
備考	事前事後学習におよそ 60 時間必要。																

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	文化・美術をテーマに、本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得する。																		
到達目標	文化・美術に関する基礎的な知識を身につける。文献探索・調査の方法を身につける。正しい日本語での表現や、社会でのマナーを身につける。																		
授業方法と留意点	輪読、発表、討論を行う。絵画鑑賞や実地見学を随時行う。見学では入場料・交通費などの実費が必要である。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p><前半> 美術・文化に関する本・論文を輪読し討論する。本・論文は学生の興味を重視し、日本・海外の美術、工芸、建築、世界遺産、祭り、町おこし、博物館・美術館などの中から選ぶ。 見学・体験などを行う。小レポートで日本語の添削を行う。</p> <p><後半> 美術・文化に関する本・論文を輪読し討論し、内容をまとめる。各自の興味に従ってテーマを設定し、研究発表を行い討論する。発表では分かりやすく効果的なレジメを作る。</p> <p>【事前事後学習課題】 輪読では事前にテーマや分からない語句について調べておく。見学先をインターネットなどで調べておく。事後は課されたレポートを資料にもとづいて作成する。]</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	ゼミへの参加状況と小レポート																		
学生へのメッセージ	積極的に展覧会、博物館、美術館、寺院、神社などに出かけ美術や文化に触れてください。また図書館にも美術に関するおもしろい本がたくさんあります。ゼミが充実し、楽しい学習の場になるかどうかは、皆さん取り組み方で大きく変わります。ぜひ積極的にゼミ活動に参加してください。またゼミは小さな社会です。思いやりや助け合いも実践しましょう。																		
担当者の研究室等	7号館5階 岩間研究室																		
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>【授業概要・目的・到達目標】 外国人を対象にした「外国語としての日本語教育」について考察します。 単に「ひらがなをどのように教えるか」というような教授法だけでなく、広い意味の「日本語教育」としてとらえています。例えば次のようなことも含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> *日本語学習者の言語習得 *日本語の語用例からの日本語の文法や語彙の分析 *外国人との接触場面での異文化間コミュニケーション *海外における日本語教育 *在住外国人や留学生に関すること 等々です。 <p>海外や日本で起こっている様々な動きを、「日本語・日本語教育」そして自分自身に関連づけて考えることができるようになることを目指します。</p>																
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> *専門的な知識を得る。 *文献を批判的に読んで考察し、自分の意見をまとめて表現することができる。 *テーマについて、レジュメを作成し、プレゼンテーションができる。 *アカデミックライティングのスキルを身につける。 *ゼミの活動を通して、コミュニケーション能力を向上させる。 *卒業研究のテーマの設定を行う。 																
授業方法と留意点	<p>【授業方法と留意点】 前半は、教員が指定した日本語・日本語教育・異文化間コミュニケーションをテーマにした文献を読み、知識を増やし、内容についてディスカッションを行う。更に考察を深めレポートにまとめる。後半は各自が設定したテーマについての発表および内容についてディスカッションを行う。授業後に考察を深め、レポートにまとめ、4年時の卒業研究につなげていく。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 毎回担当者を決め、文献を読み、レジュメを作って発表する。 発表者は、資料収集、情報収集をしてレジュメを作成する。 発表後は、内容についてディスカッションを行う。</p> <p>【事前事後学習課題】 授業の前に文献を読み、予習シートをまとめる。 授業後に考察した内容についてレポートを書く。 ゼミ生全員のレポートをお互いにチェックしてコメントを書く。</p>																
関連科目	「日本語教授法」「日本語学」「日本語教育実習演習」																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文献資料、プリントを配布する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	文献資料、プリントを配布する			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	文献資料、プリントを配布する																
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>授業で指示する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	授業で指示する			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	授業で指示する																
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・発表・レポート・その他課題等によって総合的に評価する。																
学生へのメッセージ	友達とのコミュニケーション・外国語学習・海外留学等々、様々なこれらの基になっているのは言語（日本語）です。また、大学在学中や社会人になってから、外国人（日本語を母語としない人）に日本語や日本文化について聞かれる場面はあると思います。このゼミでは、日本語は日本語教育について、皆で一緒に深く考えてみたいと思います。																
担当者の研究室等	門脇研究室 (7号館4階)																
備考																	

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	「日本」をキーワードに、日本語や日本文化、文化比較などをテーマに考察する。各自が取り上げたテーマを通して、関心を広げ、また深めることを目的とする。		
到達目標	文献を講読して理解し、考察する力を身につける。		
授業方法と留意点	各自が関心あるテーマに基づいて文献を取り上げ、発表する。互いに意見を出し、議論する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	「日本」をキーワードに、日本語や日本文化、文化比較などをテーマに考察する。およそ隔週で報告を行い、毎週他の学生の報告について積極的な発言が求められる。十分に報告準備を行うこと。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	平常点 (報告内容、参加態度、課題) 100%		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等	7号館4階		
備考	事前事後学習時間 計60時間		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	2 年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。																		
到達目標	方法論としての社会史の概要を理解し、自ら問題を発見する。																		
授業方法と留意点	前半は、西洋社会史関連の文献を読みながら、方法論について学んでいく。新たな史料として、小説や伝説、風刺画などの「読み解き」もおこなう。 後半は、文献収集や研究の進め方、発表や討論の仕方についてガイダンスをおこなった後、各自、社会史関連のテーマを一つ選び、関連文献を収集・整理し発表をおこなう。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 (1) 西洋史学の方法論、(2) 社会史とは何か、(3) 図像史料の可能性、(4) テーマ別討論 【事前事後学習課題】 授業中に適宜指示する。事前・事後学習に要する総時間数は約 60 時間。																		
関連科目	文化演習 II																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	発表内容 (テーマの掘り下げ方・発表の仕方など)、討論 (積極的に発言しているかなど)、レポート (年度末に提出) を総合的に評価する。西洋の歴史 (世界史) に関する予備知識は必ずしも必要ではない。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等																			
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。			
到達目標	自分の関心のあるテーマについて文献を調べ、それを整理し、発表することができるようになる。			
授業方法と留意点	最初に「ことば」に関する基礎的な資料をいくつか読み、基本的な知識を身につける。その後、各テーマについて調査したことを各自で発表してもらい、全員で意見を交換・共有しながら、さらに理解を深めていく。最終的に、様々な領域から自分の最も関心のあるテーマを絞り、卒業研究へとつなげていく。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 言語学演習 【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べてくる。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	出席状況、積極性、発言内容、課題を総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	これから2年間、一緒に頑張っていきましょう。			
担当者の研究室等	後藤研究室 (7号館5階)			
備考				

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。		
到達目標	グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、その礎となる国際教養を身につけることを目標とします。		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やニュースの記事(英語)などを用いて、調査・発表・議論を軸とした演習形式で行います。また、学術的な研究とは何か、その特徴についても触れていきます。 ・積極的かつ協調的な取り組みを重視します。 		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 言語、文化、国際ビジネスなどの分野に関する研究を演習形式で進めていきます。グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、そのテーマについて発表やグループディスカッションも行います。</p> <p>【事前事後学習課題】 資料の収集、要点の整理など。</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	授業に取り組む姿勢、発表・プレゼンテーション、課題(レポート)などに基づいて総合的に評価します。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等			
備考	明朗で、行動力と協調性のある学生の育成を目指します。		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The purpose of this class is to choose a topic related to Canada that you are passionate about and deepen your understanding through reading and research. This is an ideal course for students currently studying abroad in Canada or who plan on doing so in the future.			
到達目標				
授業方法と留意点	The material will be presented through lecture, readings, and occasionally through video and audio. Students are expected to keep a notebook. There will be opportunity for class discussion and group work.			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	The focus of this seminar is Canada. Students will learn about contemporary Canadian society as well as important historical events and how they have shaped the country. Students will study and develop their research skills and will be expected to write and present regular reports.			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Tests, assignments, attendance, attitude.			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等				
備考	Please bring a dictionary.			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>本を読むとき、映画を観るとき、人と話すとき、そのベースとなる背景知識を持っているか否かで話の理解度が大きく変わってきます。このゼミでは、英語圏に共通する「知っておくべき事柄」を学び、文化知識の土台作りをします。取り扱う分野は、文学、ことわざ&イディオム、神話、音楽、芸術、建築物などです。</p> <p>また、ゼミとして多読活動に取り組みます。最初は自力で読める易しめの本を紹介しますが、後半には、映画化された児童文学作品を読んだり、実体験に基づくライフストーリーを読んだりして、豊かな表現に触れてもらうとともに、「今まで考えたこともなかった」ような、外の世界にも目を向けてもらいます。</p>																		
到達目標	与えられたテーマに関して調べ、それをレジュメにまとめて発表できるようになることを目指します。また、多読は初心者で5万語、経験者で10万語を目標とします。																		
授業方法と留意点	初日に決めたスケジュールに沿って、各自が当たったテーマを調べ、レジュメを作成してきます。授業中は発表と理解度チェックに充てます。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	初日に一学期間のテーマと担当を決めます。また、レジュメのサンプルを見せます。次回からは、各人がスケジュールに沿って下調べをしレジュメを作成してきます。余力があるようなら、全員で読む本も一冊指定するかもしれません。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	課題準備、発表、理解度などを総合的に評価します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等備考	7号館5階松田研究室																		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。																		
到達目標	英書や和書の読解を通して、物事を深く理解し、自分の意見を表現できるようになることを目標とする。																		
授業方法と留意点	主な活動として、英書を読み、授業中に理解度を確認します。他の活動として、英語の技能を向上させるための練習や、西洋文化の理解を深めるための活動などを行います。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ】 英語で本を読む。</p> <p>【内容・方法】 共通の英書の指定部分を全員が事前に読み、授業中は互いに理解度を確認しあう。 卒業研究の準備として、資料調査の実習を行う。</p> <p>【事前事後学習課題】 授業中に適宜指示する。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>授業初回の話し合いで決定する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	授業初回の話し合いで決定する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	授業初回の話し合いで決定する。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	授業にのぞむ姿勢や態度、発表内容 (発表の仕方や積極性など)、レポート等を総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等																			
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	国内外の映画・ドラマ・文学作品を英語で読解し、それを自分たちでアレンジを加えながら、実際に演じる/演出して、オリジナルの英語ムービーを作成する。インプット (リーディング・リスニング)・アウトプット (スピーキング・ライティング) 連動型の授業を行う。また4年次の卒業研究で扱うテーマを設定する。																		
到達目標	ただ漠然と対象作品を英語を読んだり、聞いたり、話したり、書いたりするのではなく、自分たちが演じる/演出することを想定しながらインプット・アウトプットできるようになる。																		
授業方法と留意点	グループでの作業が多くなるので、協調性と責任感を持って、授業に臨むこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 クラスメイトと協働して、30分程度の英語ムービーを作成する。</p> <p>【事前・事後学習課題】 毎授業で目標を設定し、その目標を達成するための事前・事後学習を行う。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	ショートムービー 50% グループワーク 30% 課題 20%																		
学生へのメッセージ	グループワークが基本になります。協調性を持って、ゼミメンバーとクオリティーの高い作品を完成させましょう！																		
担当者の研究室等備考	7号館3階 吉村研究室																		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	いままで培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択し、担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査等を行い、研究手法や学問的思考を体得する。																		
到達目標	異文化への理解を深めることは外国語学部の学生にとって大変重要なことである。慣用句はそれぞれの国で昔から使われてきたものなので、その国の風俗、習慣、物の見方、考え方などをよく反映するネイティブ的な表現である。このゼミでは、日本語と中国語あるいは他言語の慣用句や慣用表現の発想・特徴などを中心に比較研究を行うことによって、広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神を養うのを目指す。同時に研究能力を育成する。																		
授業方法と留意点	授業では、各自テーマを決め、収集した資料などを持ち寄り、それらをパソコンディスプレイで提示しながら他のゼミ生や指導教員に説明するとともに討議を行う。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【テーマ】：イディオム比較・対照研究</p> <p>各授業において、前回はある言語のテーマを決め、意味と由来を調査した資料を提示する。次回は前テーマをめぐって他言語による検討をする。このローテーションで進む。</p> <p>【事前事後学習課題】 指示に従って、文献・インターネット等で内容を調べて来る。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>会話で覚える中国語慣用句</td> <td>日本語版監修：上野恵司</td> <td>ASK</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「言いたいこと」から引ける慣用句・ことわざ・四字熟語辞典</td> <td>西谷裕子</td> <td>東京堂出版</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>語源を知れば自然に出てくる英語イディオム表現集</td> <td>牧野高吉</td> <td>三修社</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	会話で覚える中国語慣用句	日本語版監修：上野恵司	ASK	2	「言いたいこと」から引ける慣用句・ことわざ・四字熟語辞典	西谷裕子	東京堂出版	3	語源を知れば自然に出てくる英語イディオム表現集	牧野高吉	三修社
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	会話で覚える中国語慣用句	日本語版監修：上野恵司	ASK																
2	「言いたいこと」から引ける慣用句・ことわざ・四字熟語辞典	西谷裕子	東京堂出版																
3	語源を知れば自然に出てくる英語イディオム表現集	牧野高吉	三修社																
評価方法 (基準)	出席、ゼミでの発言、提出物の内容などを総合して評価する。																		
学生へのメッセージ	もっと知りたいという好奇心を持ちましょう。																		
担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)																		
備考																			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	Web には、解説つきの写真や動画を誰もが投稿できるサイトがある (Google マップや YouTube など)。当ゼミでは手元の写真のうち公開可能なものに日本語や外国語で案内文を作成しそれを投稿する活動を行う。授業では、各自が持ち寄った日本語文の内容や外国語への翻訳が適切かどうかを全員で検討しながら完成度を高める。撮影地は通常自由だが、ゼミによる観光地取材も適宜行う。																		
到達目標	自ら作成した観光案内をわかりやすい外国語に翻訳し、さらにそれを発表する能力を身につける。京都、大阪、奈良など関西の地理や歴史に対する知識を深めることも目指す。																		
授業方法と留意点	個人またはグループでテーマを決め、予め書籍や Web など調査したうえ現地へ行って写真やビデオの撮影を行う。さらにそれを素材として観光案内のための原稿を作成して授業で発表、必要な修正を加えて動画に編集したり Web サイトに登録するなどの作業を行う。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	前期は主として写真を動画に仕立ててそれにナレーションを付ける形式の観光案内ビデオを作成する。																		
関連科目	日中観光文化と通訳法																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	発表・レポートによる総合評価																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等備考	中西研究室 (7号館 7階)																		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次につちかった関心やテーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。今年度は上海に焦点を絞って勉強します。		
到達目標	レポートの書き方、発表の仕方、資料調査の方法などが習得できます。また、上海を中心とした現代中国の動きが理解できます。		
授業方法と留意点	毎回、教科書の内容を分担してレポートしてもらいます。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 上海をめぐる諸問題 【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べてくる。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	上海 都市生活の現代史	岩間一弘、金野純、朱珉、高綱博文
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	出席状況・レポート提出の有無および担当時の発表内容等によって総合的に評価します。		
学生へのメッセージ	いっしょに中国、上海に対する理解を深めましょう。		
担当者の研究室等	7号館3階瀬戸研究室		
備考			

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	2年次に培った基礎力を踏まえて、各自の興味・関心をもとに研究分野を選択する。文献探索や論文講読、資料収集、現地調査等を行い、研究方法や考え方、現地での調査法を習得する。古代から現代にわたる日本の文化を中心として、諸外国との比較を通じて、そのさまざまな特質をあきらかにすることが目的であるが、同時に、発表資料の作成や発表の仕方、発表後のレポート作成など、実践的なリテラシーの習得も大切な目標である。																		
到達目標	課題発見能力、発表力、聞く力、文献探求能力、書く力を総合的に養成する。																		
授業方法と留意点	オリエンテーション、図書館の利用と文献検索、文献目録の作成方法、地形図に関する基礎作業、統計資料の収集法、統計資料の分析、グラフ・表の作成法、論文・レポートのまとめ方、文献研究発表などについて解説していく。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ】 日本文化をめぐる諸問題</p> <p>【内容・方法】</p> <p>各テーマに関する文献などを読解し、問題点や研究方法を考える。大まかには以下の順序で行う。</p> <p>? 導入</p> <p>? 研究の方法と目的について</p> <p>? 発表テーマの設定</p> <p>? 全員の発表と質疑応答</p> <p>? まとめのレポート作成</p> <p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献・インターネット等で配布資料について重要語や内容について調べてくる。 ・発表担当に向けて準備する。 <p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の発表内容の推敲・錬成。 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	出席、取り組む姿勢、発表内容などにより、総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	冷たい頭と熱いハート、この二つを演習を通じて鍛錬しよう。																		
担当者の研究室等	7号館4階 (小川研究室)																		
備考	事前事後学習時間の目安：資料探索・整理に50時間。その他10時間。																		

科目名	文化演習 I	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	地域調査を行うにあたって必要とされる、さまざまな技術・方法を習得することを目的とする。地域の諸現象を解明するには、自然・人文両分野における広範な基礎知識を必要とする。このため地理学では、地形図の読図、統計処理に始まり、野外での現地調査にいたるまで、多様な方法を駆使して地域現象を解明してきた。こうした調査法の基礎を身につけるため、テーマの設定方法から調査計画の立て方、資料収集・資料分析・野外調査の方法など、順を追って習得していきたい。																		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・地域調査の基礎的な技術を習得する。 ・資料収集の方法、資料の分析法を身につける。 																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・全授業の出席を基本とする。 ・毎回のテーマに即して、発表、討論を行う。 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>以下の内容で、授業を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①オリエンテーション ②図書館の利用と文献検索 ③文献目録の作成法 ④地形図に関する基礎作業 ⑤統計資料の収集法 ⑥統計資料の分析 ⑦グラフ・表の作成法 ⑧論文・レポートのまとめ方 ⑨文献研究発表 <p>などについて詳細に解説・指導する。</p>																		
関連科目	旅と観光の地理、東南アジア地誌学、中国地誌学																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>使用しない。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	使用しない。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	使用しない。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜紹介する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜紹介する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜紹介する。																		
2																			
3																			
評価方法 (基準)	受講状況、研究発表、レポートの内容を加味して、総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	地理や観光、環境問題に興味があり、図書館や役所での資料集めが苦にならない人に適しています。																		
担当者の研究室等	7号館5階 原研究室																		
備考																			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。			
到達目標	Edgar Allan PoeとHerman Melvilleの作品を通して、アメリカ文学に慣れ親しむ。			
授業方法と留意点	受講生による発表を中心に授業を進める。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	前期はEdgar Allan Poeの作品を、後期はHerman Melvilleの作品を読む。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	出席状況、積極性、発言内容、課題を総合的に評価する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等備考	7号館3F			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> 資料調査、分析、プレゼンテーション、わかりやすい文章にまとめる、といった体験を通して、研究手法や考え方を学びます。 グループやペアでの活動を通して、卒業後にも生かせる、人との関わり方のバリエーションを増やします。 																
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 多面的に物事を見る、もしくは見ようとする姿勢を身につける。 想定する聴衆にとってわかりやすい情報の構成や見せ方を工夫できるようになる。 																
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 実物を観察し、触れ、また何かを作る、といった作業を体験したあと、言語化する練習をします。 新聞やニュースの記事(日本語・英語)、本などを用いて、調査・発表・議論をします。 																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>言語・文化、芸術、コミュニケーションなどの分野に関する研究</p> <p>【事前事後学習課題】</p> <p>授業で扱ったテーマについて、自分で直接現場に行き調べたり、インターネットとは違う情報源を探してみよう。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	<ul style="list-style-type: none"> 授業での協働作業 30% プレゼンテーション 30% レポート 40% 																
学生へのメッセージ	好奇心を覚醒させて、何でも見て、体験して、自分の感性を鍛えよう。																
担当者の研究室等備考	7号館4階 齋藤研究室																

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	前期に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに、英語の語法や文法についてさらに深く学ぶ。基本的な文法事項も再確認しながら、英語の実証的な研究の一端に触れる。適時担当を決めて、英語の語法文法や英語の変化について発表を行う。4年次の卒業研究に向けてテーマ設定と資料収集を行う。																
到達目標	本格的な文献探索や、論文講読、資料調査等を行い、研究手法や考え方を体得する。英語学に関する簡単な文献がある程度時間をかけながら理解できるようになる。英語の基本的な文法事項を整理確認する。																
授業方法と留意点	文献の輪読や発表、プレゼンテーションを行う。そのような学びを通じて、4年次の卒業研究に向けてテーマ設定と資料収集を行う。日常使われる英語の表現や語法に関心をもつことが望まれる。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>テーマ： 現代英語語法文法研究、英語の変容研究</p> <p>内容：現代英語の語法や文法について学ぶ。英語の変化にも注意しながら、これまでの「定説」と違う例などがある場合は、なぜそのような形が使用されているのかといったことを考えながら、</p> <p>方法： 映画の英語や、インターネット上で使用される英語、新聞などの英語から、現代英語の実態を明らかにする実例を探して、討議する。またそのような作業を進めるうえで、基本的な英文法の事項を習得しておくことが前提であるので、毎回英語の文法語法について復習を兼ねたエクササイズを行う。</p> <p>事前・事後学習課題 配布された文献を読みこんでくる。また、グループでの発表のための準備。エクササイズの予習、復習など。総事前・事後学習課題は、発表の準備などを含め30時間とする。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	発表や、レポートを総合的に判断する。																
学生へのメッセージ	ちょっとした言葉の使い方に疑問を持ち、「なぜ」を追求する楽しさを実感してください。																
担当者の研究室等	7号館4階 住吉 誠 研究室																
備考																	

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	Theme: Tourism, Hospitality and Australian culture We will look at on the job situations for cabin crew, airline ground staff and hotel staff, do tour-guiding and discuss the importance of good service. Australia will also be a focus for tourist destinations.																		
到達目標	Students will attain better reading, and writing skills, with active study and increase speaking and listening skills in the class.																		
授業方法と留意点	Regular on-time attendance, a willingness to participate in all organised tutorial events, reading outside class for the reading marathon are the key to a good grade.																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>(First term) We will concentrate on hospitality topics, and building up reading skills in the first term from newspaper articles and the textbook.</p> <p>Youtube will be used for study at home to build up vocabulary and listening skills. Thesis topics will be decided towards the end of this term, with research in the library encouraged.</p> <p>We will also study the play to be attended during the first term, looking at four skills - speaking, listening, reading and writing to build up those skills.</p> <p>(Second term) Academic writing skills will be studied to help students formulate their ideas on a thesis topic and tourism and travel will be the basis for weekly topics.</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Tourism and Catering</td> <td>Neil Wood</td> <td>Oxford</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Language Note</td> <td>Richard McMahon</td> <td>languagenote.com</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Basic steps to writing research papers</td> <td>Kluge and Taylor</td> <td>Cengage</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Tourism and Catering	Neil Wood	Oxford	2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com	3	Basic steps to writing research papers	Kluge and Taylor	Cengage
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	Tourism and Catering	Neil Wood	Oxford																
2	Language Note	Richard McMahon	languagenote.com																
3	Basic steps to writing research papers	Kluge and Taylor	Cengage																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	Attendance, oral presentations, reading and thesis will form the basis for grading along with enthusiastic 100% participation in events organized by the teacher. Be ready to join in the reading marathon, speech/recitation contest, and drama events. You will undertake a research project for your thesis in 2nd term.																		
学生へのメッセージ	English only will be used in class. Please come ready to use English, read in English, write in English, and help others to stay in English for every class. Don't be afraid of making mistakes in English. It is part of the learning process. Just keep on tr																		
担当者の研究室等	田浦研究室 7号館5階																		
備考																			

科目名	文化演習 II	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田中 秀毅
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに、研究分野を選択します。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。																		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語学・言語学に関する専門知識 (特に、統語論と意味論) を身につけ、専門的な考え方や研究手法に慣れる。(継続) 2. 言語学的な視点から学校文法をとらえ直す。(継続) 3. 英語語彙力を強化する。(継続) 4. パワーポイントを用いて効果的なプレゼンができる。 5. 言語コーパスを活用して、必要な言語データの検索ができる。 6. 卒業研究レポートを念頭に置いて、関心のある研究テーマを明確にする。 																		
授業方法と留意点	<p>①専門知識の蓄積, ②論理的思考力の強化, ③表現力・伝達力の強化, の3本柱で授業を進める。</p> <p>留意点は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①~③の知力のバランスを意識して取り組むこと。 2. 指定箇所を相応の時間をかけて予習して授業に臨み、授業中のディスカッションを通じて疑問を解決できるようにすること。 3. グループディスカッションでは積極的に発言すること。 4. 積み上げ式に学習するので復習には十分時間をかけ、わからないことは早めに質問すること (ほかの受講生にも有益なのでできるだけ授業中に設ける質問時間を活用し) 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学校英文法の洗い直し (文化演習 I の続き) 2. 英語学・言語学の専門知識と研究手法 (同上) 3. 英単語の成り立ち (同上) 4. パワーポイントによるプレゼンスキル 5. 言語コーパスを活用したデータ検索法 6. 研究論文の構成と論文スキル <p>【事前事後学習課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英単語を構成する要素についての理解を確認する。(単語テスト) 2. 前期の期末レポートの内容をパワーポイントを用いて発表する。(プレゼン) 3. 指定されたテーマについてレポートを作成する。(期末レポート) 																		
関連科目	卒業研究 I, II																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>論文の教室</td> <td>戸田山和久</td> <td>NHK ブックス</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Expanding your vocabulary by word roots (語彙力養成の総合英語)</td> <td>Joe McKim</td> <td>英潮社</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>【英英辞典をもっていない人】Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)</td> <td></td> <td>Collins COBUILD</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	論文の教室	戸田山和久	NHK ブックス	2	Expanding your vocabulary by word roots (語彙力養成の総合英語)	Joe McKim	英潮社	3	【英英辞典をもっていない人】Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	論文の教室	戸田山和久	NHK ブックス																
2	Expanding your vocabulary by word roots (語彙力養成の総合英語)	Joe McKim	英潮社																
3	【英英辞典をもっていない人】Collins COBUILD Advanced Learner's Dictionary, 8th revised ed. (Collins コウビルド英英辞典)		Collins COBUILD																
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	<p>評価の対象 期末レポート, プレゼン, 単語テスト, 平常点</p> <p>評価に対する重み 期末レポート (50%), プレゼン (20%), 単語テスト (15%), 平常点 (15%)</p>																		
学生へのメッセージ	本科目は4年次の「卒業研究 I, II」の基礎になる科目です。土台が安定しなければ、充実した卒業研究ができないので真剣に取り組んでください。																		
担当者の研究室等	田中 (秀) 研究室 (7号館4階)																		
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の分析には英英辞典が不可欠なので、下記に示した英英辞典が電子辞書に入っていない人は教科書欄の英英辞典を購入すること。電子辞書については、学習用に適した辞書を内蔵している場合に限り使用を認める。液晶画面の小さいものや旅行用のポータブルタイプは不可。 【英英辞典のリスト】 ・ロングマン現代英英辞典 (Longman Dictionary of Contemporary English) ・オックスフォード現代英英辞典 (Oxford Advanced Learner's Dictionary) 2 																		

科目名	文化演習 II	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>アメリカ合衆国の文化、歴史についての卒業論文 (研究レポート) を書くゼミです。各自、3年次終了時点で合計 12000 字(40 字 x30 行で 10 ページ)以上のレポートを書くことを目標にします。4年次には、さらに研究を積み重ねて、これらのレポートを卒業論文に発展させることを目指します。</p> <p>各自の研究テーマは、アメリカ合衆国に関するものであれば幅広く選ぶことができます。過去のゼミ生に多いテーマは、映画や映画俳優について、音楽やミュージシャンについて、野球などのスポーツについてのものです。こうした一見カジュアルな題材を通じて、アメリカ社会の政治的、社会的、歴史的な問題点を考えるのが文化研究です。</p>																		
到達目標	<p>前期からの通算で、合計少なくとも 12000 字以上のレポートを提出すること。</p>																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・各自、自分のテーマに基づいた資料を手に入れ、読み、小さなレポートを書き、それをクラスに持ち寄って話し合う、という活動を繰り返します。 ・毎週文書を PC で作成し、学内ネットワークや電子メールを使ってやりとりをします。PC の基本操作は必須であり、自分の PC を所有しているか、好きな時に使える PC を学内および自宅に確保しておく必要があります。 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>これまでのゼミ生の研究テーマには次のようなものがあります。</p> <p>「ディズニーアニメを巡る人種差別論争：『ボカホンタス』『アラジン』を中心に」「ハリウッド映画が描く公民権運動：『ロング・ウォーク・ホーム』を例に」「映画『インデペンデンス・デイ』(1996)と多文化主義」「ラテンポップの舞台裏：1990 年代のサルサ音楽ブームについて」「アメリカ独自のモータースポーツ NASCAR の歴史」「アメリカにおけるラグビーの歴史」「ジャズ・トランペッター、ルイ・アームストロングとマイルス・デイビス」「初期ハリウッドの日本人スター早川雪洲」「『白雪姫』 — グリム童話からディズニーアニメへ」「黒人メジャーリーガー、ジャッキー・ロビンソンとアメリカ社会」「チャーリー・チャップリンと赤狩りの時代」「マイケル・ジャクソンと人種問題」「黒人だけのプロ野球、ニグロ・リーグの歴史とその遺産」「黒人ブルースと白人ロックミュージシャンたち」</p> <p>【事前事後学習課題】</p> <p>資料を読み、文章を書くことを日々の習慣にすること。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	ゼミ活動への貢献 (50%) + 3年次終了時点までの小レポートの総量と質 (50%)																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	7 号館 3 階鳥居研究室																		
備考																			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。		
到達目標	本授業を受けることによって、コミュニケーションとは何かを理論的に学ぶことができます。さらに、テキストを正確に読み、理解し、それについて多面的に考察し、自分の意見を述べるできるようになります。実際に何度も練習を行うことによって、コミュニケーション能力を高めることもできるようになります。		
授業方法と留意点	毎回担当者を決めて発表をします。担当者だけでなく、参加者全員が予習範囲のテキストをしっかりと読んで理解して授業に臨んでください。コミュニケーションな方法だけでなく、その内容が大事です。日ごろから情報や知識の獲得を心がけてください。英語の文献も読みますので予習をしてきてください。毎回、スピーチをしてもらいますので準備をしてきてください。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>コミュニケーションの取り方を理論的・実践的に学びます。最も大切なのは、相手の気持ちに配慮し、伝えたいことを正しくきっちり伝えることです。</p> <p>そのためには何度も練習しなければなりません。</p> <p>そこで、読んで考え、聞いて話すことを繰り返し行うことが決定的に重要になります。</p> <p>【事前事後学習課題】</p> <p>文献・インターネット等で内容を調べてくる。</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	コミュニケーション理論をつかむ	辻 大介 他
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	研究や授業に取り組む姿勢を重視して、総合的に評価する。		
学生へのメッセージ	失敗しながらも楽しくコミュニケーションを学びましょう。		
担当者の研究室等備考	7号館4階西川研究室		

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	シヨーン マクガバン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	Globalization is the topic of this seminar. Globalization is the interchange and sharing of products, ideas, social values, lifestyle patterns, and other aspects of culture. The coursework in both the first and second terms will be in the form of researching, designing presentations, and writing, but the topics in each term will differ. With the teacher's guidance, students will choose their own research topic that relates to the theme of the seminar. In this second term the focus will be on globalization in relation to consumerism and entertainment.			
到達目標	In this seminar course students will be able to improve their English listening, speaking, reading, writing ability and computer proficiency while researching topics of interest.			
授業方法と留意点	Students must have the ability to follow directions and participate in class using English.			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	In part of each class the teacher will introduce new ideas on the course topics. In the class workshop part of the lesson students will do research and develop their English writing ability using computers. Students will assemble their completed assignments to create a comprehensive notebook.			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	Grades are based on reliable weekly attendance that includes active participation 50%; comprehensive term reports 50%.			
学生へのメッセージ	Be prepared to learn and communicate using English. All the classwork and all course assignments will be in English.?			
担当者の研究室等備考	McGovern7号館5階			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>時事問題に詳しくなり、自分の意見を自分の言葉で論理的に言える人材となるために、毎回意見発表をしてもらいます。また英文を覚え、新聞を読むことにより、TOEIC のスコアをアップを目指します。自分の実力を上げるには、時間をたっぷり取って自分と向き合い、勉強することが大事です。求める人には担当教員も全力で与えられるものは与えたいと思います。</p>																		
到達目標	<p>*論理的思考を身に付けることで、どんなトピックをふられても論理的に話せるようになる。 *TOEIC のスコアを最低 100 はアップさせる。 *激動する世界・日本社会の中でどんな人生を歩みたいのかを決める。</p>																		
授業方法と留意点	<p>1. ①専門知識の蓄積と②論理的思考力の強化の2本柱で授業を進めるので知力のバランスを意識して取り組むこと。 2. グループディスカッションでは積極的に発言すること。</p>																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>以下の要領で授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近況報告 2. 英文暗誦 3. 時事事項報告 4. 意見発表 5. 新聞講読 6. グループディスカッション <p>【事前事後学習課題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事前に相応の時間をかけて予習をする。 2. 指定されたテーマについてレポートを作成し、提出する。 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	<p>評価の対象 レポート, 平常点 評価に対する重み 平常点 (70%), レポート(30%)</p>																		
学生へのメッセージ	<p>*将来何がしたいのかを考え、自分の人生の設計を立てましょう。 *この1年が人生で一番大事な時期となります。目標を立ててしっかり達成しましょう。</p>																		
担当者の研究室等	7号館4F 家口研究室																		
備考																			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	しっかりした卒業研究レポートを書くことができるよう、参考文献を知り、読み、まとめ、レジメを作るなどのノウハウを身につけるための授業です。		
到達目標	参考文献を調べ、それを読み、カードやノートを取り、レジメを作れるようになる。		
授業方法と留意点	留学から帰ってきた人が加わるので、あらたに共通課題図書を決め、それを読みながら、どのようにレジメを作るか。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 前期に作ったレジメを反省しながら、同じ課題で類似の書物、論文を読み、レジメを作る。 あるいはスペイン語の論文を読み、内容の把握と同時に、論文がどのようなものか知る。 卒業研究レポートの主題を決め、参考文献表を作る。</p> <p>【事前事後学習課題】 資料を読み、文章を書くことを日々の習慣にすること。</p>		
関連科目	スペイン語、スペイン語圏に関する科目		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	ゼミ活動への貢献(50%)+3年次終了時点までの小レポートの総量と質(50%)		
学生へのメッセージ	かなりハードルが高いですが、くじけずがんばりましょう。		
担当者の研究室等備考	7号館5階(篠原研究室)		

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	グローバリゼーションと移民をキーワードに、基本文献の輪読を続け、テーマをめぐる基礎知識や共通認識を深める。その中で、本格的な文献検索や論文渉猟、資料収集、可能なかぎりの現地調査を行い、研究手法やルールを体得する。																
到達目標	文化演習Ⅰで養った基礎知識と、見つけた関心・テーマをもとに、研究領域・対象を選ぶまでに至る。																
授業方法と留意点	ゼミ生の間で切磋琢磨しつつ日本語と英語の運用能力を高めましょう。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 グローバリゼーション・移民・多文化社会</p> <p>前半は、教員とゼミ生とで話し合っ決めて特定のテーマをめぐって、グループワークを行い発表する。 後半は、各自が卒業研究レポートに向けてテーマおよび対象とする地域と時代を決め、個別に文献研究に着手する。その成果を段階的にゼミで報告しあい、議論する。仲間の報告に傾聴し、その論点を捉え、的確な質問や批判を自分の言葉で行う力をつける。 ときに学外での研修を行うこともある。</p> <p>【事前事後学習課題】</p> <p>文献を批判的に読み、要旨を把握し、疑問点を明らかにしてゼミに臨むこと。 ゼミでの議論を反芻し、自分の考えを文章化すること。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	発表への取り組みと内容、議論への参加等に基づき、総合的に評価する。																
学生へのメッセージ	ゼミ生の共通言語は日本語と英語です。両言語の力を駆使すると同時に、自身の専攻言語の運用能力も鍛え続けましょう。																
担当者の研究室等	7号館5階 北條研究室																
備考	授業中に指示された時間を要する事前事後学習を行うこと。																

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	上田 達
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本演習は、卒業研究を進めていく上での準備段階と位置づけている。自分で「調べる」という営みを始動することができるように演習を通じて指導を行っていく。受講者自身が設定した調査主題に関連する文献の講読と、調査成果についての報告を行う。相互のディスカッションを通じて人類的な「調べる」営みについて考えていき、卒業研究のための調査を指導することを目指す。			
到達目標	主体的に「調べる」営みに取り組み、成果を適切な形でアウトプットする。			
授業方法と留意点	前半は文献講読を行う。 後半は調査報告とディスカッション等に当てる。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	「人類的に調べる」が本演習の主題である。文献講読とディスカッションが中心になる。 文献講読時は、演習の時間を有意義に使うために、授業の前に指定された文献を精読することが強く望まれる。成果報告時は配付資料の準備、その他関連資料の収集と提示など含めて一人30分程度の発表時間がある。発表者、コメンテーター、聴衆のいずれも発言することが求められるため、授業時間外に行う作業の質と量が問われる。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	演習への出席、発言、課題、口頭発表に基づいて行う。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等備考				

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	浦野 崇央
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	2年次までに培った基礎力をもとに、自身が取り組むテーマを検討する。このゼミにおいては、主に現代の日本や東南アジア世界をめぐる社会事象や社会現象を取り上げることとする。 具体的には、担当教員の指導のもと、本格的な文献検索や論文読解、資料調査、現地調査実習などを行い、研究手法や考え方を体得する。最終成果として、後期末に「3年次レポート」を作成、提出する。																		
到達目標	研究に対する考え方の整理を通じて、客観的な眼差しがもてるようになる。 また、ゼミ内外の人びとと接することを通じて、「気づき」「目くぼり」「心くぼり」ができる人間になることを目標とする。																		
授業方法と留意点	授業では積極的に発言を行い、切磋琢磨できるような刺激的な環境を作っていくよう努力すること。 なお、4年ゼミ生との合同ゼミ合宿(秋)および1月に行われる4年ゼミ生による「卒業論文発表会」への参加を必須としている。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>各自がテーマを設定し、個別発表を行う。その際には、レジュメの作成法や研究発表の仕方等についても学ぶ。後期末には、一年間の総決算として、「3年次レポート」を作成する。</p> <p>ちなみに、2014年度生が取り組んだテーマは次の通り。 「日本企業にとってのサービス—東京ディズニーランドのもてなし方—」「文字のもつ力—商品名を題材として—」「両国の視点からみた日本占領下時代」「写真の役割—何のために撮るのか—」</p> <p>【事前、事後学習課題】</p> <p>文献資料・インターネット等を活用し、自身の研究を深化させる。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—</td> <td>浦野崇央編</td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル</td> <td>浦野崇央編</td> <td>摂南大学外国語学部・浦野ゼミ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ	2	浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	「研究」を進めるために—研究資料ガイド2015—	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
2	浦野ゼミ卒業論文執筆マニュアル	浦野崇央編	摂南大学外国語学部・浦野ゼミ																
3																			
評価方法(基準)	ゼミでは、積極性が特に重視されます。そこで、成績評価については、討論への積極的な参加状況、「3年次レポート」の成果等により、総合的に判断します。																		
学生へのメッセージ	ぜひ、楽しんで「研究」に取り組んでいきましょう。「研究」は、「お勉強」とは違って、必ずや、皆さんに満足感や達成感を与えるものとなることでしょう。																		
担当者の研究室等	7号館4階(浦野研究室)																		
備考																			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	山口 真佐夫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	研究テーマについてどのように研究を進めるかについて指導する。収集した研究資料の分析についても指導する。以上の指導に基づき、各自でテーマを決め研究を進め研究成果を発表してもらおう。最終的にレポートを作成する。		
到達目標	研究を進め、成果をまとめる能力が獲得できる。		
授業方法と留意点	演習では、各自が作業を行うことが多い点に留意しておくように。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	授業の中で指示された作業を必ず行うこと。特に発表の際には事前に充分準備をすること。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	平常点、発表、レポートによる総合評価		
学生への メッセージ			
担当者の 研究室等	7号館5階(山口研究室)		
備考	指示された予習・復習・発表の準備には充分時間をかけ、学習効果を上げるようにすること。		

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	日本の文化や歴史を中心に、各自テーマを設定し、報告、議論を通して論理的な議論の組み立て方や思考力を養う。来年の卒業論文にむけて準備をする。			
到達目標	論理的な思考に基づく分析と考察、ディスカッション、文章表現などの能力が身につく。			
授業方法と留意点	設定したテーマについて報告と討論を行う。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後 学習課題	【授業テーマ】 報告と討論を積み重ねることで、テーマにかかる理解を深め、卒業研究に向けて準備する。 【事前事後学習】 自分の発表時はもちろん、他者が発表する前に報告者のテーマに関する文献を読み議論に備える。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	発表内容や発言、レポートをもとに評価する。			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等				
備考				

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	浅野 英一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	後期では、前期の活動で提起した社会問題について、様々な角度から調査し、その原因や解決方法を導くプロセスを習得する。その中から、自分にあった卒業研究テーマを見つけ出す。																
到達目標	物事を多面的に考察できること、社会的倫理観の確立、相手に理解できるように論理的かつ的確コミュニケーション能力を持つこと。																
授業方法と留意点	このゼミは、「夢」を持ちそれに向かって全力投球したい学生のゼミであることから様々な課題を自分自身で課すことになる。課題発見解決能力の開発や、現場ですぐに役立つ実践力を高めるプログラムを実践する。また、幼稚園、小学校、中学校の教員を目指す学生には教員採用試験の過去問題や面接対策の勉強会を行う。OB・先輩・外国人との交流が多く、年間3～4回のゼミ合宿に必ず参加することを強く希望する。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】</p> <p>社会に貢献できる活動を実践することから、学外での活動が多い。</p> <p>【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べる。</p> <p>計画に基づいた活動、活動発表、報告書を総合的に評価する。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	活動参加、協調性、企画力、コミュニケーション能力、発表力を総合的に判断する。																
学生へのメッセージ	一歩前進ではなく、半歩前進でも、前に進んだことになる。小さな成功体験の積み重ねが、エネルギーになることを実感すると、挑戦することが楽しくなります。																
担当者の研究室等	7号館5階 浅野研究室																
備考																	

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	有馬 善一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>テーマ「現代社会と人間」 現代社会の様々な問題を取り上げる。資料を読み合わせ、ディスカッションやディベートを行うことを通じて、問題の本質に迫っていくことを目指す。 これと並行して、卒業研究レポートの準備を行う。テーマの選定、文献の蒐集と読解、またそれに必要なスキルを身につける。</p>																
到達目標	<p>現代社会の問題やそこで生きる人間のあり方について、自分なりに問題意識を涵養する。 人前で分かりやすく自分の意見を発表する力を身につける。 必要な文献の蒐集と読解をする。</p>																
授業方法と留意点	<p>ゼミ形式での発表とディスカッションを行うので積極的な参加が求められる。 また、個別に課せられた課題はしっかりとこなすことが必要。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【テーマ・内容】 「現代社会と人間」 人間と社会そのものに対する近代的な見方がもはや成り立たなくなっているのが現代社会の特徴であろう。そのような現代社会の様々な問題を取り上げる。例えば、科学技術に対する信頼の崩壊（原発事故）、経済成長と人口の増加を前提に組み立てられてきた社会の危機（低成長と人口減少）、人々の価値観や倫理観の変化（権威に対する不信心、無差別テロや理由なき殺人）、等々。</p> <p>【方法】 資料を皆で読み合わせ、ディスカッションやディベートをする。また、その結果をまとめたレポートを書いてもらう。 個別に卒業研究レポートの準備を進める。文献の蒐集と発表をする。</p> <p>【事前事後学習課題】 発表の準備、発表後のレポート作成 卒業研究レポートの文献蒐集と読解。さらにテーマの発表の準備 およそ 30 時間。</p>																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	授業への参加度・発表・レポート・その他課題等によって総合的に評価する。																
学生へのメッセージ																	
担当者の研究室等																	
備考	事前事後学習におよそ 60 時間必要。																

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	岩間 香
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	前期に引き続き、文化・美術の中から論文を講読する。また各自の興味のあるテーマに基づき、文章を書く練習をする。論文探索、資料調査、現地調査実習を行い、読み、考え、表現する力を養う。		
到達目標	専門的な文章を書くときに必要な論文探索の方法を身につける。的確な言葉を用い、正しい日本語の文章を書くことができるようになる。学内外で責任ある社会人としての行動をとることができる。卒業研究レポートのテーマを見つける。		
授業方法と留意点	12月末までに卒業研究のテーマを決め、1月にその基本的な問題点などについて発表する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 文化・美術 【事前事後学習課題】 事前：テーマに関して本・文献・インターネットで下調べをする。 事後：学んだことを整理する。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	ゼミ活動での取り組みの姿勢、レポート、発表の内容などを総合的に判断する。		
学生へのメッセージ	ゼミが充実し、楽しい学習の場になるかどうかは、皆さん取り組み方で大きく変わります。ぜひ積極的にゼミ活動に参加してください。またゼミは小さな社会です。思いやりや助け合いも実践しましょう。		
担当者の研究室等	岩間研究室(7号館5階)		
備考			

科目名	文化演習 II	科目名 (英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	門脇 薫
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>【授業概要・目的・到達目標】 外国人を対象にした「外国語としての日本語教育」について考察します。 単に「ひらがなをどのように教えるか」というような教授法だけでなく、広い意味の「日本語教育」としてとらえています。例えば次のようなことも含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> *日本語学習者の言語習得 *日本語の語用例からの日本語の文法や語彙の分析 *外国人との接触場面での異文化間コミュニケーション *海外における日本語教育 *在住外国人や留学生に関すること 等々です。 <p>海外や日本で起こっている様々な動きを、「日本語・日本語教育」そして自分自身に関連づけて考えることができるようになることを目指します。</p>																
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> *専門的な知識を得る。 *文献を批判的に読んで考察し、自分の意見をまとめて表現することができる。 *テーマについて、レジュメを作成し、プレゼンテーションができる。 *アカデミックライティングのスキルを身につける。 *ゼミの活動を通して、コミュニケーション能力を向上させる。 *卒業研究のテーマの設定を行う。 																
授業方法と留意点	<p>【授業方法と留意点】 前半は、教員が指定した日本語・日本語教育・異文化間コミュニケーションをテーマにした文献を読み、知識を増やし、内容についてディスカッションを行う。更に考察を深めレポートにまとめる。後半は各自が設定したテーマについての発表および内容についてディスカッションを行う。授業後に考察を深め、レポートにまとめ、4年時の卒業研究につなげていく。</p>																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 毎回担当者を決め、文献を読み、レジュメを作って発表する。 発表者は、資料収集、情報収集をしてレジュメを作成する。 発表後は、内容についてディスカッションを行う。</p> <p>【事前事後学習課題】 授業の前に文献を読み、予習シートをまとめる。 授業後に考察した内容についてレポートを書く。 ゼミ生全員のレポートをお互いにチェックしてコメントを書く。</p>																
関連科目	「日本語教授法」「日本語学」「日本語教育実習演習」																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>文献資料、プリントを配布する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	文献資料、プリントを配布する			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	文献資料、プリントを配布する																
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>授業で指示する</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	授業で指示する			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1	授業で指示する																
2																	
3																	
評価方法 (基準)	授業への参加度・発表・レポート・その他課題等によって総合的に評価する。																
学生へのメッセージ	友達とのコミュニケーション・外国語学習・海外留学等々、様々なこれらの基になっているのは言語（日本語）です。また、大学在学中や社会人になってから、外国人（日本語を母語としない人）に日本語や日本文化について聞かれる場面はあると思います。このゼミでは、日本語は日本語教育について、皆で一緒に深く考えてみたいと思います。																
担当者の研究室等	門脇研究室 (7号館4階)																
備考																	

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	「日本」をキーワードに、日本語や日本文化、文化比較などをテーマに考察する。卒業研究のテーマを設定する。各自が取り上げたテーマを通して、関心を広げ、また深めることを目的とする。		
到達目標	文献を講読して理解し、考察する力を身につける。		
授業方法と留意点	各自が関心あるテーマに基づいて文献を取り上げ、発表する。互いに意見を出し、議論する。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	「日本」をキーワードに、日本語や日本文化、文化比較などをテーマに考察する。およそ隔週で報告を行い、毎週他の学生の報告について積極的な発言が求められる。十分に報告準備を行うこと。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	平常点(報告内容、参加態度、課題) 100%		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等	7号館4階		
備考	事前事後学習時間 計60時間		

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。		
到達目標	先行研究を網羅(整理・批判)した上で、問いを立てる。		
授業方法と留意点	自らテーマを設定し、個別発表・討論をおこなう。		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 文献収集、読解、レジュメの作成方法、討論の仕方等を指導する。 【事前事後学習課題】 授業中に適宜指示する。事前・事後学習に要する総時間数は約60時間。		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	発表内容(テーマの掘り下げ方・発表の仕方など)、討論(積極的に発言しているかなど)、レポート(年度末に提出)を総合的に評価する。西洋の歴史(世界史)に関する予備知識は必ずしも必要ではない。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等備考	7号館4階 林田研究室		

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。			
到達目標	自分の関心のあるテーマについて文献を調べ、それを整理し、発表することができるようになる。			
授業方法と留意点	最初に「ことば」に関する基礎的な資料をいくつか読み、基本的な知識を身につける。その後、各テーマについて調査したことを各自で発表してもらい、全員で意見を交換・共有しながら、さらに理解を深めていく。最終的に、様々な領域から自分の最も関心のあるテーマを絞り、卒業研究へとつなげていく。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 言語学演習 【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べてくる。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	出席状況、積極性、発言内容、課題を総合的に評価する。			
学生へのメッセージ	これから2年間、一緒に頑張っていきましょう。			
担当者の研究室等	後藤研究室(7号館5階)			
備考				

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。		
到達目標	グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、その礎となる国際教養を身につけることを目標とします。		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞やニュースの記事(英語)などを用いて、調査・発表・議論を軸とした演習形式で行います。また、学術的な研究とは何か、その特徴についても触れていきます。 ・積極的かつ協調的な取り組みを重視します。 		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 言語、文化、国際ビジネスなどの分野に関する研究を演習形式で進めていきます。グローバルな視点で物事を考える力を養うとともに、そのテーマについて発表やグループディスカッションも行います。</p> <p>【事前事後学習課題】 資料の収集、要点の整理など。</p>		
関連科目			
教科書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法(基準)	授業に取り組む姿勢、発表・プレゼンテーション、課題(レポート)などに基づいて総合的に評価します。		
学生へのメッセージ			
担当者の研究室等	7号館4F 中島研究室		
備考	明朗で、行動力と協調性のある学生の育成を目指します。		

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	マイケル ハーキー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	The purpose of this class is to choose a topic related to Canada that you are passionate about and deepen your understanding through reading and research. This is an ideal course for students currently studying abroad in Canada or who plan on doing so in the future.			
到達目標				
授業方法と留意点	The material will be presented through lecture, readings, and occasionally through video and audio. Students are expected to keep a notebook. There will be opportunity for class discussion and group work.			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	The focus of this seminar is Canada. Students will learn about contemporary Canadian society as well as important historical events and how they have shaped the country. Students will study and develop their research skills and will be expected to write and present regular reports.			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	Tests, assignments, attendance, attitude.			
学生へのメッセージ				
担当者の研究室等	7号館3F ハーキー研究室			
備考	Please bring a dictionary.			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	<p>本を読むとき、映画を観るとき、人と話すとき、そのベースとなる背景知識を持っているか否かで話の理解度が大きく変わってきます。このゼミでは、英語圏に共通する「知っておくべき事柄」を学び、文化知識の土台作りをします。取り扱う分野は、文学、ことわざ&イディオム、神話、音楽、芸術、建築物などです。</p> <p>また、ゼミとして多読活動に取り組みます。最初は自力で読める易しめの本を紹介しますが、後半には、映画化された児童文学作品を読んだり、実体験に基づくライフストーリーを読んだりして、豊かな表現に触れてもらうとともに、「今まで考えたこともなかった」ような、外の世界にも目を向けてもらいます。</p>																		
到達目標	与えられたテーマに関して調べ、それをレジュメにまとめて発表できるようになることを目指します。また、多読は初心者で5万語、経験者で10万語を目標とします。																		
授業方法と留意点	初日に決めたスケジュールに沿って、各自が当たったテーマを調べ、レジュメを作成してきます。授業中は発表と理解度チェックに充てます。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	初日に一学期間のテーマと担当を決めます。また、レジュメのサンプルを見せます。次回からは、各人がスケジュールに沿って下調べをしレジュメを作成してきます。余力があるようなら、全員で読む本も一冊指定するかもしれません。																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	課題準備、発表、理解度などを総合的に評価します。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等備考	7号館5階松田研究室																		

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。																		
到達目標	英書や和書の読解を通して、物事を深く理解し、自分の意見を表現できるようになることを目標とする。																		
授業方法と留意点	主な活動として、英書を読み、授業中に理解度を確認します。他の活動として、英語の技能を向上させるための練習や、西洋文化の理解を深めるための活動などを行います。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ】 英語で本を読む。</p> <p>【内容・方法】 共通の英書の指定部分を全員が事前に読み、授業中は互いに理解度を確認しあう。 卒業研究の準備として、資料調査の実習を行う。</p> <p>【事前事後学習課題】 授業中に適宜指示する。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td colspan="3">授業初回の話し合いで決定する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	授業初回の話し合いで決定する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	授業初回の話し合いで決定する。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	授業にのぞむ姿勢や態度、発表内容(発表の仕方や積極性など)、レポート等を総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等																			
備考																			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	吉村 征洋
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	国内外の映画・ドラマ・文学作品を英語で読解し、それを自分たちでアレンジを加えながら、実際に演じる/演出して、オリジナルの英語ムービーを作成する。インプット(リーディング・リスニング)・アウトプット(スピーキング・ライティング)連動型の授業を行う。また4年次の卒業研究で扱うテーマを設定する。																		
到達目標	ただ漠然と対象作品を英語を読んだり、聞いたり、話したり、書いたりするのではなく、自分たちが演じる/演出することを想定しながらインプット・アウトプットできるようになる。																		
授業方法と留意点	グループでの作業が多くなるので、協調性と責任感を持って、授業に臨むこと。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【授業テーマ・内容・方法】 クラスメイトと協働して、1時間程度の英語ムービーを作成する。</p> <p>【事前・事後学習課題】 毎授業で目標を設定し、その目標を達成するための事前・事後学習を行う。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	ショートムービー 50% グループワーク 30% 課題 20%																		
学生へのメッセージ	グループワークが基本になります。協調性を持って、ゼミメンバーとクオリティーの高い作品を完成させましょう！																		
担当者の研究室等備考	7号館3階 吉村研究室																		

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	兪 鳴蒙
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	いままで培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに研究分野を選択し、担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査等を行い、研究手法や学問的思考を体得する。																		
到達目標	異文化への理解を深めることは外国語学部の学生にとって大変重要なことである。慣用句はそれぞれの国で昔から使われてきたものなので、その国の風俗、習慣、物の見方、考え方などをよく反映するネイティブ的な表現である。このゼミでは、日本語と中国語あるいは他言語の慣用句や慣用表現の発想・特徴などを中心に比較研究を行うことによって、広い視野から国際理解を深め、国際協調の精神を養うのを目指す。同時に研究能力を育成する。																		
授業方法と留意点	授業では、各自テーマを決め、収集した資料などを持ち寄り、それらをパソコンディスプレイで提示しながら他のゼミ生や指導教員に説明するとともに討議を行う。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>【テーマ】：イディオム比較・対照研究</p> <p>各授業において、前回はある言語のテーマを決め、意味と由来を調査した資料を提示する。次回は前テーマをめぐって他言語による検討をする。このローテーションで進む。</p> <p>【事前事後学習課題】 指示に従って、文献・インターネット等で内容を調べて来る。</p>																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>会話で覚える中国語慣用句</td> <td>日本語版監修：上野恵司</td> <td>ASK</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>「言いたいこと」から引ける慣用句・ことわざ・四字熟語辞典</td> <td>西谷裕子</td> <td>東京堂出版</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>語源を知れば自然に出てくる英語イディオム表現集</td> <td>牧野高吉</td> <td>三修社</td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	会話で覚える中国語慣用句	日本語版監修：上野恵司	ASK	2	「言いたいこと」から引ける慣用句・ことわざ・四字熟語辞典	西谷裕子	東京堂出版	3	語源を知れば自然に出てくる英語イディオム表現集	牧野高吉	三修社
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	会話で覚える中国語慣用句	日本語版監修：上野恵司	ASK																
2	「言いたいこと」から引ける慣用句・ことわざ・四字熟語辞典	西谷裕子	東京堂出版																
3	語源を知れば自然に出てくる英語イディオム表現集	牧野高吉	三修社																
評価方法(基準)	出席、ゼミでの発言、提出物の内容などを総合して評価する。																		
学生へのメッセージ	もっと知りたいという好奇心を持ちましょう。																		
担当者の研究室等	7号館3階(兪研究室)																		
備考																			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中西 正樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	Webには、解説つきの写真や動画を誰もが投稿できるサイトがある(GoogleマップやYouTubeなど)。当ゼミでは手元の写真のうち公開可能なものに日本語や外国語で案内文を作成しそれを投稿する活動を行う。授業では、各自が持ち寄った日本語文の内容や外国語への翻訳が適切かどうかを全員で検討しながら完成度を高める。撮影地は通常自由だが、ゼミによる観光地取材も適宜行う。																		
到達目標	Webには、解説つきの写真や動画を誰もが投稿できるサイトがある(GoogleマップやYouTubeなど)。当ゼミでは手元の写真のうち公開可能なものに日本語や外国語で案内文を作成しそれを投稿する活動を行う。授業では、各自が持ち寄った日本語文の内容や外国語への翻訳が適切かどうかを全員で検討しながら完成度を高める。撮影地は通常自由だが、ゼミによる観光地取材も適宜行う。																		
授業方法と留意点	個人またはグループでテーマを決め、予め書籍やWebなどで調査したうえ現地へ行って写真やビデオの撮影を行う。さらにそれを素材として観光案内のための原稿を作成して授業で発表、必要な修正を加えて動画に編集したりWebサイトに登録するなどの作業を行う。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	後期は、前期のゼミで身につけた技術や経験を活かしながら、ビデオカメラによる撮影を現地で行い、これをつかった映像作品の作成を課題とする。また、外国人観光客へのインタビューも課題の一つとしたい。																		
関連科目	日中観光文化と通訳法																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法(基準)	発表・レポートによる総合評価																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等	中西研究室(7号館7階)																		
備考																			

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	瀬戸 宏
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 中国語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	2年次に培った基礎力と見つけた関心・テーマをもとに、研究分野を選択します。担当教員の指導のもと本格的な文献探索や、論文講読、資料調査、現地調査実習等を行い、研究手法や考え方を体得します。			
到達目標	ゼミでの発表の仕方、資料調査の方法などが習得できます。上海を中心とした現代中国の動きについて理解できます。			
授業方法と留意点	前期に引き続き、教科書の内容を毎回分担してレポートしてもらいます。			
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	【授業テーマ・内容・方法】 上海研究 【事前事後学習課題】 文献・インターネット等で内容を調べてくる。			
関連科目				
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	上海 都市生活の現代史	岩間一弘、金野純、朱珉、高綱博文	風響社
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	発表内容、授業への積極性など、日常の授業態度および学年末レポートの内容で評価します。			
学生へのメッセージ	いっしょに上海、中国への認識を深めましょう。			
担当者の研究室等	7号館3階			
備考				

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	文化演習Ⅰをうけて、さらに各自の研究テーマを深め、研究の楽しさと意義を体得する。 ひきつづき、文献探索や論文講読、資料収集、現地調査等を行い、研究手法や考え方、現地での調査法を習得する。古代から現代にわたる日本の文化を中心として、諸外国との比較を通じて、そのさまざまな特質をあきらかにすることが目的であるが、同時に、発表資料の作成や発表の仕方、発表後のレポート作成など、実践的なリテラシーの習得も大切な目標である。																
到達目標	課題発見能力、発表力、聞く力、文献探求能力、書く力を総合的に身に着ける。																
授業方法と留意点	オリエンテーション、図書館の利用と文献検索、文献目録の作成方法、地形図に関する基礎作業、統計資料の収集法、統計資料の分析、グラフ・表の作成法、論文・レポートのまとめ方、文献研究発表などについて解説していく。																
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>授業テーマ 日本文化をめぐる諸問題</p> <p>【内容・方法】 各テーマに関する文献などを読解し、問題点や研究方法を考える。大まかには以下の順序で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ? 導入 ? 研究の方法と目的について ? 発表テーマの設定 ? 全員の発表と質疑応答 ? まとめのレポート作成 <p>【事前学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文献・インターネット等で配布資料について重要語や内容について調べてくる。 ・発表担当に向けて準備する。 <p>【事後学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自の発表内容の推敲・錬成。 																
関連科目																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名														
1																	
2																	
3																	
評価方法(基準)	出席、取り組む姿勢、発表内容などにより、総合的に評価する。																
学生へのメッセージ	知は力なり。																
担当者の研究室等	7号館4階(小川研究室)																
備考																	

科目名	文化演習Ⅱ	科目名(英文)	Cultural Studies Seminar II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	原 秀禎
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	地域調査を行うにあたって必要とされる、さまざまな技術・方法を習得することを目的とする。地域の諸現象を解明するには、自然・人文両分野における広範な基礎知識を必要とする。このため地理学では、地形図の読図、統計処理に始まり、野外での現地調査にいたるまで、多様な方法を駆使して地域現象を解明してきた。こうした調査法の基礎を身につけるため、テーマの設定方法から調査計画の立て方、資料収集・資料分析・野外調査の方法など、順を追って習得していきたい。																		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査内容の整理法、まとめ方を習得する。 ・ 資料を整理し、発表する能力を身につける。 																		
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全授業の出席を基本とする。 ・ 毎回のテーマに即して、発表、討論を行う。 																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>以下の内容で、授業を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①野外調査の方法 ②調査計画の立て方 ③文献研究の方法 ④調査資料の整理法 ⑤調査のまとめ方 ⑥調査研究発表の方法 ⑦研究発表 ⑧レポートの作成方法 <p>などについて詳細に解説・指導する。</p>																		
関連科目	旅と観光の地理、東南アジア地誌学、中国地誌学																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>使用しない。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	使用しない。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	使用しない。																		
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>適宜紹介する。</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1	適宜紹介する。			2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1	適宜紹介する。																		
2																			
3																			
評価方法(基準)	受講状況、研究発表、レポートの内容を加味して、総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	地理や観光、環境問題に興味があり、図書館や役所での資料集めが苦にならない人に適しています。																		
担当者の研究室等	7号館5階 原研究室																		
備考																			

科目名	文化観光実習演習	科目名 (英文)	Practical Training Seminar in Culture and Tourism
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	赤澤 春彦, 橋本 正俊, 林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	本演習では、京都の町家の保全・活用の事例から、歴史地区における地域振興のあり方を学ぶ。京町家に関する資料の収集と見学、関係者への聞き取りを行い、地域振興・観光開発を実践的に学ぶことを目的とする。																		
到達目標	地域における文化、観光、地域振興といった多角的な問題を個別に解決するのではなく、それぞれを有機的に関連づけて考察できるようになる。 フィールドワークの基礎を習得できる。 ポスター作成、プレゼンテーションの方法を習得できる。																		
授業方法と留意点	教室での講義・成果発表のほか、京町家を訪れ、その保全・利用の活動をしている方々からお話を伺う。この課外活動にも参加することが求められる。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<ul style="list-style-type: none"> ・実習に必要な基礎知識として、講義と演習の形式を織り交ぜながら、地域政策と観光開発について学び、続いて京町家の歴史や建築形式、社会文化的価値について学習する。 ・実習では、京町家の保存・活用を通じた地域振興にたずさわる方々からお話を伺う。 ・学習成果をポスターにまとめ、最後に口頭発表を行う。 ・3回ほど校外実習を行うので必ず出席すること。 																		
関連科目																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法 (基準)	出席および課外活動への参加、成果発表を総合して評価する。																		
学生へのメッセージ																			
担当者の研究室等																			
備考	毎回必ず出席して下さい。																		

科目名	文化と表現	科目名(英文)	Culture and Expression
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	橋本 正俊
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	文化とは何か。文化はどのように表現され、伝えられ、理解されてきたのか。この授業ではそういった観点から、文化や文化財について考察する。単に知識を習得するだけでなく、取り上げる様々な話題について、疑問を持ち、考えることを目的とする。
到達目標	文化と表現をめぐる諸問題について、概略を説明できる。自分の考えを述べるができる。
授業方法と留意点	毎回、テーマに沿った資料や画像を提示する。説明を行った後、受講生に意見を求めながら講義を進めてゆく。話を聞くだけというような、受身の受講をしないで欲しい。 また、毎回課題を与えるため、最低でも複数回の提出が求められる。
科目学習の効果(資格)	文化や文化財に対する理解を深める。学芸員資格にも関わる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	文字の文化史	文字の役割について考える	課題の作成
3	本の文化史	本の形態を知る	課題の作成
4	印刷の文化史	印刷の歴史を知る	課題の作成
5	【まとめと論述1】	これまでの内容をまとめた上で、論述する。	課題の作成
6	西洋から見た日本文化史1	西洋人の日本批評から考える	課題の作成
7	西洋から見た日本文化史2	西洋人の日本批評から考える	課題の作成
8	世界はどう表現されてきたか1	地図をもとに世界の認識について考える	課題の作成
9	世界はどう表現されてきたか2	地図をもとに世界の認識について考える	課題の作成
10	【まとめと論述2】	これまでの内容をまとめた上で論述する	課題の作成
11	文化財とは何か	文化財の保護と破壊について考える	課題の作成
12	文化財は誰のものか	文化財の略奪と返還について考える	課題の作成
13	四季の表現	日本人の季節感とその表現について考える	課題の作成
14	文化としての言語	滅びゆく言語について考える	課題の作成
15	【まとめと論述3】	これまでの内容をまとめた上で論述する	課題の確認

関連科目 美術、文学、歴史に関わる科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法(基準) 課題の内容と授業参加度から総合的に評価する。

学生へのメッセージ 積極的な受講を求めます。

担当者の研究室等 7号館4階(橋本研究室)

備考 毎回、まとめと課題の作成に最低1時間の事後学習が必要。

科目名	平和の思想	科目名(英文)	Ideas for Peace
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	濱 良祐
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	グローバル化の進展した今日の世界では、わたしたちは自分とは違う文化(異文化)に属する人びとと日常的に触れ合うようになっています。グローバル化した社会の中で活躍できる人物になるためには、異文化の人びとと平和的に接触する構えを身につけなければなりません。そのためにはどのような考え方が求められるのでしょうか。こうしたことを考えるのがこの授業の目的です。
到達目標	平和に関わる様々な考え方のうち、重要なものについて、どのような考え方なのか説明できるようになる。 そうした考え方について、平和的かつ説得的な批判ができ、そのうえで自分の考えを述べるができるようになる。
授業方法と留意点	基本的に毎回、授業の内容について適宜小レポートを書いてもらい、それをもとに議論します。 受講者で分担して、指示した文献・資料についての要約(レジюме)を用意してもらうことがあります。その要約をもとに議論します。 授業計画は目安であり、受講者の関心などに応じて授業の進度を変更します。

科目学習の効果(資格)	
-------------	--

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーションとイントロダクション	授業の進め方、目的について説明する。	〈事後〉授業のまとめの小レポート。
2	「平和」について「考える」こと	「平和」の定義について。「思考する」ことの重要性について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
3	「争い」の根源について考える	戦争や紛争などの原因はどこにあるのか。	〈事前〉授業で配布された資料を読んでおくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
4	正戦論と平和の思想(1)	西洋古代における正戦論と平和の思想について。	〈事前〉授業で配布された資料を読んでおくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
5	正戦論と平和の思想(2)	西洋中世における正戦論と平和の思想について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
6	正戦論と平和の思想(3)	西洋近代における正戦論と平和の思想について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
7	カントの永遠平和論(1)	カントの『永遠平和のために』を精読し、議論する。	〈事前〉授業で配布された資料を読んでおくこと。 担当者は自分の分担箇所のレジюмеを用意すること。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
8	カントの永遠平和論(2)	カントの『永遠平和のために』を精読し、議論する。	〈事前〉授業で配布された資料を読んでおくこと。 担当者は自分の分担箇所のレジюмеを用意すること。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
9	カントの永遠平和論(3)	カントの『永遠平和のために』を精読し、議論する。	〈事前〉授業で配布された資料を読んでおくこと。 担当者は自分の分担箇所のレジюмеを用意すること。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
10	平和主義とは何か(1)	本当の意味で平和を求めるとはどういうことなのか。	〈事前〉授業で配布された資料を読んでおくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
11	平和主義とは何か(2)	本当の意味で平和を求めるとはどういうことなのか。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
12	平和主義とは何か(3)	本当の意味で平和を求めるとはどういうことなのか。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
13	非暴力主義	ガンディーの非暴力主義について。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
14	反戦について	現代において反戦を貫くために。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	
15	総括と展望	これまでの授業を振り返り、現代のわれわれに残されている課題を確認する。	〈事前〉授業で配布された資料を読み直しておくこと。 〈事後〉授業のまとめの小レポート。	

関連科目	世界の政治、国際関係の基礎理解、国際平和論
------	-----------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	小レポートおよび授業への参加態度 (50%)、期末定期試験 (50%)
学生への メッセージ	授業中の私語、携帯電話の使用などで授業を妨害したものには退席を命じ、欠席扱いとします。大学生にふさわしい態度で授業にのぞんでください。
担当者の 研究室等	非常勤講師控室 (7号館2階)
備考	

科目名	ボキャブラリー&グラマー a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
			1
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
			1
2			
3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階松田研究室
----------	------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文100選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3	New Marvelous English Grammar	久保善宏 他	開文社

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階 後藤研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3	知っておきたい基礎英文法—Grammar Made Easy	Mikiko Hirata 他	成美堂

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	語彙と文法は言語習得の基礎です。 少しずつ、でもしっかり身につけていきましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館4階 西川研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&文法 a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高校で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&文法共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	言語の大事な要素を学び、それらを統合して使いこなすための練習をたくさんします。授業で学んだことは、他の授業や課外でも、くりかえし、いっぱい使ってください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館 4階 齋藤研究室
----------	--------------

備考	このほか、英語で書かれた短いお話を数多く読みます。英語を使う「体力」をつける方法の一つで、とても効果があります。詳しくは1回目の授業で説明します。 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	ボキャブラリー&グラマー a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階 鳥居研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文100選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 中島研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&文法 a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ト
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および 4 技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&文法共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	しっかりとがんばりましょう！
-----------	----------------

担当者の研究室等	7号館4階 家口研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。 Skype 教材 ¥3,200 （初回の授業のときに説明する。）
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	チ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	神崎 舞
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文100選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	できるだけ沢山の語彙を学び、使いこなせるようにしましょう。
-----------	-------------------------------

担当者の研究室等	7号館5階 神崎研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	リ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3	Grammar Clinic 5分間基本英文法	佐藤誠司	南雲堂

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 皆本研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー a	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ヌ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高校で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能（読む・書く・聞く・話すこと）への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト（筆記）」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果（資格）	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文100選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法（基準）	平常点（授業態度、小テスト、宿題、提出物等）、共通テスト（筆記）・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト（筆記）、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 住吉研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 指定の単語帳、例文集のほか、プリントを使用する。 また、別途スライプを使用した教材を使用する（4回分 3200円）。詳しくは初回の授業で説明する。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマーb	科目名(英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	A
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目(高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文100選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能(読む・書く・聞く・話すこと)への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文100選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文100選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト(筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文100選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト(筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト(筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 家口研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	皆本 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および 4 技能 (読む・書く・聞く・話すこと) への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト (筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3	5分間 TOEIC テスト・サプリメント 文法・語法 A Shorter Course in TOEIC Test Grammar	小池直己	南雲堂

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト (筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館4階 皆本研究室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	C
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西川 眞由美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能(読む・書く・聞く・話すこと)への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト(筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3	Simply Grammar	Kikuji Saito 他	南雲堂

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト(筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト(筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	語彙と文法は言語習得の基礎です。 少しずつ、でもしっかり身につけていきましょう。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館4階 西川研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	齋藤 安以子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能(読む・書く・聞く・話すこと)への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト(筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b

番号	書籍名	著者名	出版社名
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト(筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト(筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
学生へのメッセージ	言語の大事な要素を学び、それらを統合して使いこなすための練習をたくさんします。授業で学んだことは、他の授業や課外でも、くりかえし、いっぱい使ってください。
担当者の研究室等	7号館4階 齋藤研究室
備考	このほか、英語で書かれた短いお話を数多く読みます。英語を使う「体力」をつける方法の一つで、とても効果があります。詳しくは1回目の授業で説明します。 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	あ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および 4 技能 (読む・書く・聞く・話すこと) への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト (筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト (筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階 天野研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	い
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	後藤 一章
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および 4 技能 (読む・書く・聞く・話すこと) への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト (筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3	Useful College English	小中秀彦・Bill Benfield	成美堂

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト (筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階 後藤研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	う
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中島 直嗣
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および 4 技能 (読む・書く・聞く・話すこと) への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト (筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト (筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階 中島研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	え
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能(読む・書く・聞く・話すこと)への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト(筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準) 平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト(筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。
※共通テスト(筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。

学生へのメッセージ

担当者の研究室等 7号館4階 住吉研究室

備考 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
指定の単語帳、例文集のほかに、適時プリントを使用する。

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	お
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	大原 関 一浩
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および 4 技能 (読む・書く・聞く・話すこと) への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト (筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト (筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階 大原関研究室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	か
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田浦 アマンダ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能(読む・書く・聞く・話すこと)への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト(筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b
------	-------------------------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
3	Grammar in Practice 1	Roger Gower	Cambridge

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト(筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト(筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
----------	--

学生へのメッセージ	Don't be afraid of making mistakes because it is in making mistakes that you remember. Bring a positive attitude to class, and we will have a great class atmosphere.
-----------	---

担当者の研究室等	7号館5階 田浦研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	き
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松田 早恵
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目 (中学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および 4 技能 (読む・書く・聞く・話すこと) への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト (筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b
------	-------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト (筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。 ※共通テスト (筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階 松田研究室
----------	-------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ 15 時間程度とする。
----	--

科目名	ボキャブラリー&グラマー b	科目名 (英文)	Vocabulary and Grammar b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	く
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	鳥居 祐介
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択【科目】教科に関する科目 (高等学校 英語)【施行規則に定める科目区分】「英語コミュニケーション」【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	共通教材『暗唱英文 100 選』のうち、指定された範囲の例文に関連する文法事項を取り上げる。中高で学んだ英文法を網羅的に復習するのではなく、英語を実用的に使用するために必要な基礎文法項目を反復練習し、文法事項、および4技能(読む・書く・聞く・話すこと)への応用力を養う。
到達目標	共通教材の基礎文法事項に加えて、必要に応じて別途、問題集やハンドアウトを使用し、幅広い文法事項の習得も目指す。語彙に関しては、指定されたテキストの語彙を習得する。
授業方法と留意点	『暗唱英文 100 選』の文法事項を学習し、定着を図るために和文英訳を反復練習する。また応用力をつけるために、授業時に小テスト等を行う。学期の終盤に『暗唱英文 100 選』に基づいた「ボキャブラリー&グラマー共通テスト(筆記)」と共通単語テストを実施する。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング 1b

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	暗唱英文 100 選		
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準) 平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物等)、共通テスト(筆記)・共通単語テストと定期試験の成績を総合的に評価する。
※共通テスト(筆記)、ならびに指定された語彙テキストに関する共通単語テストの結果が合格基準に満たない場合は、原則として単位を認定しない。

学生へのメッセージ

担当者の研究室等 7号館3階 鳥居研究室

備考 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	ホスピタリティ・インターンシップ	科目名 (英文)	Hospitality Business Internship
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	通年集中	授業担当者	坂下 正憲
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	エアラインホスピタリティプログラムの最終到達点としてプログラムで学んだ事を実践する。ホスピタリティ・インターンシップの目的は、ホスピタリティ産業において実際の仕事の現場に接することにより、①社会における仕事の役割・意義 ②責任とやりがい ③ホスピタリティの本質を実感することである。																		
到達目標	ホスピタリティ産業の現場で実務を体験することにより、仕事の厳しさを、楽しさ、やりがいなどを実感して、就業意識を高めることを目標とする。																		
授業方法と留意点	本学内での事前・事後授業と実習先での研修（3日～4週間）による。 事前・事後授業には必ず出席する事。 受講態度、マナーの悪いものには本プログラムへの参加を認めない。																		
授業テーマ・内容、方法・事前、事後学習課題	<p>(1) 事前事後学習 本学内で1～3回の事前学習を実施し、それぞれの目標、目的を見直し、参加にあたっての心構えを作り上げる。</p> <p>(2) インターンシップ（前年の実施例、本年度は調整中）</p> <p>①空港業務訓練の体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空港旅客接客業務の新入訓練と同等の訓練の圧縮版を体験 ・3泊4日程度で実際の訓練と実務を体験 ・対象企業：ANA中部空港 <p>②国際貨物業務体験型インターンシップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関西国際空港にて、国際貨物業務について必要な訓練を実施後、実務を体験する。 ・期間、5日間 ・対象企業：ANAカーゴ <p>③ホテル業務訓練の体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルでの新入訓練と同等の訓練の圧縮版を体験 ・4週間程度で実際の訓練と実務を体験 ・対象企業：ANAクラウンプラザ大阪 <p>④海外空港業務体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台北空港での空港旅客取扱業務の実践 ・4泊5日程度で実際の訓練と実務を体験 ・対象企業：ANA台北空港所 <p>(3) 事後指導 インターンシップ終了後、体験報告書作成について指導する。</p>																		
関連科目	ホスピタリティ演習																		
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																
1																			
2																			
3																			
評価方法（基準）	各コースとも、現地研修先の評価とともに、事前・事後授業の参加状況、体験レポートを通じて総合的に評価する。																		
学生へのメッセージ	憧れのホスピタリティ産業。憧れているだけでは自分のものになりません。実際の職場にチャレンジして、自分との距離をぐっと縮めてみましょう。																		
担当者の研究室等	7号館4階（エアライン・ホスピタリティプログラムルーム）																		
備考	ホスピタリティ演習を受講し合格することが参加の条件になる。																		

科目名	ホスピタリティ演習	科目名(英文)	Hospitality Business Seminar
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	坂下 正憲
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	<p>エアライン・ホスピタリティプログラムで学んだ内容に関連して、各自が興味を持つホスピタリティ産業と呼ばれる旅行、航空、宿泊産業に関連したテーマを選定し、演習参加者で議論をして報告資料を作成し、発表する。</p> <p>前年のテーマ選定例 ①格安航空の実態とその将来性について研究し、報告する。 ②CAの本来業務と制服のありかたについて、歴史、保安業務、お客様へのサービスなどから論じる。 ③魅力ある旅行計画を作成する。世界遺産めぐり、グルメ、お宝観光資源発掘など。 ④各ホテルの成功例、失敗例などを調査して、集客力のあるホテルにするための条件を考察する。 ⑤急激に増加するアジアからの観光客の受け入れ態勢の現状と課題について研究し、将来の理想像を画策する。 ⑥ホスピタリティって何？ホスピタリティを考える。事例紹介など。</p>
到達目標	ホスピタリティを学び、研究することにより、社会人として活躍するのに必要な心構え、業務遂行能力の基礎作りなど社会人即戦力となる能力を養うことを目標とする。
授業方法と留意点	<p>演習参加者を少人数のグループに分けます。グループ毎にテーマ選定、議論、報告資料作成を経て発表します。ひとつのテーマに3時間程度をかけて実施、1 Semesterで3から4つのテーマを選択します。</p> <p>演習テーマ選定については受講者の自主性を重んじますが、明確な選定理由が必要です。課題発見も社会人として必要とされる能力です。</p> <p>議論をして作成された報告書を如何に効果的に発表するか、プレゼンテーション力を身につけることも重要です。発表の仕方についてもていねいに指導します。</p> <p>発表時には質疑応答の時間を設けます。問題点の指摘やそれに答える能力を習得します。積極的に議論に参画するよう取り組んでください。</p>
科目学習の効果(資格)	自らの責任においてテーマを選択し研究発表することによりプレゼンテーション能力を向上させることが出来る。また、共同作業実践の中で、組織での協調性を高め、チームワークによる仕事感覚を身につけることが出来るようになる。(特に公的資格取得には直接繋がらない。)

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	講師紹介、履修者自己紹介。演習に関する説明。到達点の説明。評価方法、履修上の注意点などの説明。	特になし。
	2	テーマの決定とグルーピング	各テーマの概略と到達点について講義し、今回の演習で取り上げるテーマを決定する。事例研究に向けてのグルーピングも決定する。	選択したテーマについて次回の事例研究(1)に備えて各自課題や問題点について学習する。
	3	第一回事例研究(1)	各グループに分かれてテーマに沿って議論し、到達点の確認をする。到達点に向けて、業務分担し次回の事例研究(2)に備える。	次回の事例研究(2)に備えて各自の分担分を完成させる。
	4	第一回事例研究(2)	事例研究発表に向けて、シナリオの完成。	事例研修発表に向けての事前準備。
	5	第一回事例研究発表	グループに分かれて研究内容を発表。質疑応答など。	発表準備。
	6	第一回事例研究フィードバック	研究発表についての講師からのコメント、次回へ向けての指導。第二回事例研究のテーマ選択、グルーピングの発表。	選択したテーマについて次回の事例研究(1)に備えて各自課題や問題点について学習する。
	7	第二回事例研究(1)	各グループに分かれてテーマに沿って議論し、到達点の確認をする。到達点に向けて、業務分担し次回の事例研究(2)に備える。	次回の事例研究(2)に備えて各自の分担分を完成させる。
	8	第二回事例研究(2)	事例研究発表に向けて、シナリオの完成。	事例研修発表に向けての事前準備。
	9	第二回事例研究発表	グループに分かれて研究内容を発表。質疑応答など。	発表準備。
	10	第二回事例研究フィードバック	研究発表についての講師からのコメント、次回へ向けての指導。第三回事例研究のテーマ選択、グルーピングの発表。	選択したテーマについて次回の事例研究(1)に備えて各自課題や問題点について学習する。
	11	第三回事例研究(1)	各グループに分かれてテーマに沿って議論し、到達点の確認をする。到達点に向けて、業務分担し次回の事例研究(2)に備える。	次回の事例研究(2)に備えて各自の分担分を完成させる。
	12	第三回事例研究(2)	事例研究発表に向けて、シナリオの完成。	事例研修発表に向けての事前準備。
	13	第三回事例研究発表	グループに分かれて研究内容を発表。質疑応答など。	発表準備。
	14	第三回事例研究フィードバック	研究発表についての講師からのコメント、レポート指導。	三回事例研究を通じて得たものや反省点など各自レポート準備。
	15	まとめ	事例研究の内容、発表の仕方など反省点も含めて全員で議論。	この演習で自分はどうに成長したのか、課題を克服できたのかなど演習の成果を整理してディスカッションに望む。
関連科目	ツーリズム論1、2 エアラインビジネス論1、2 ホテルビジネス論1、2 ホスピタリティ・インターンシップ(希望する学生は必ずホスピタリティ演習を履修する事)			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名

	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	出席重視します。最低 10 回以上の出席を成績評価の条件とします。 演習参加姿勢等を考慮して総合的に評価する。			
学生への メッセージ	興味のある仕事について、知りたいことや疑問点などを自分で調べて研究し、答えを見つけ出すのも大きな喜びです。常に問題意識を持って新聞やテレビニュースなどに接してください。グループディスカッションやプレゼンテーションなどは就職活動にも役立ちます。また、この後に続くホスピタリティ関連のインターンシップに参加する心構えも指導します。			
担当者の 研究室等	7号館4階 (エアライン・ホスピタリティプログラムルーム)			
備考	ホスピタリティ・インターンシップを希望する学生は必ずホスピタリティ演習を履修し、合格しなければなりません。			

科目名	ホスピタリティ論 I	科目名 (英文)	Hospitality I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	沖中 美喜
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	・現代社会では多種多様な場面でホスピタリティの重要性が高まっている。特に観光や旅行、ショッピング等、ホスピタリティが重視される場面や産業は幅広い。ホスピタリティというものに多角的にアプローチをして、主に個人（消費者）からの視点について取り上げる。そしてホスピタリティを生み出す為には何が求められるかについて考察し、理解を深めていく。
到達目標	・ホスピタリティについて学び、自ら考え、創造できるようになることを目指す。 ・コミュニケーション能力の向上
授業方法と留意点	Power point と配布資料で授業を進めていき、適宜ディスカッション等も交えていく。授業の最後に、小レポートを課し提出。また、簡単な社会人としてのマナーの実習も行う。
科目学習の効果（資格）	ホスピタリティがいかに重要なものかを実感し、今後のホスピタリティ産業への就職に役立つものとする。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	ホスピタリティとは	「ホスピタリティ」を語源からアプローチし、ホスピタリティというイメージを膨らませながら考察していく。	ホスピタリティとサービスの違いを考えてみる。
3	人間の感情とホスピタリティ	ホスピタリティというそのものの感覚は人間の中のどこから生まれるのかを考える。	相手の気持ちを理解するにはどうするか考えてみる。
4	事例研究1「旅行会社」	ホスピタリティを追求している旅行会社の実例を見てみる。	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する
5	ホスピタリティと文化1	ホスピタリティの表現について文化、文明による差異を考察する	文化の違いを感じたことはあるか考えてみる。
6	ホスピタリティと文化2	日本のホスピタリティの原点はどこにあるのか。	茶道のおもてなしを考えてみる。
7	事例研究2「京菓子司」	顧客と直接接することのない製造業におけるホスピタリティの事例を見てみる。	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する。
8	ホスピタリティと産業1	サービス産業、ホスピタリティ産業が求められる時代背景を産業構造の変化を追いながら考える。	サービス産業にはどのようなものがあるか考えてみる。
9	エアラインとホスピタリティ	エアラインサービスにおけるホスピタリティを考える。	航空会社のホームページを見る。
10	ホスピタリティとチームワーク	企業がホスピタリティをチームで生み出すために必要な要素は何かを考えていく。	チームワーク経験（スポーツ、アルバイトなど）を振り返る。
11	ホスピタリティとコミュニケーション	ホスピタリティを相手に伝える為にはコミュニケーション能力が重要となることを理解する。	第一印象はどこを見るか考える。
12	事例研究3「スーパーマーケット」	チームワークとコミュニケーションの重要性を事例を通して考える。	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する。
13	観光立国	日本における観光の現状を考えてみる。	観光に関するニュースに注目。
14	事例研究4「外国人ツアー」	今後、日本を観光立国にするために求められるものは何か。	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する。
15	まとめ	授業全体のまとめ	積極的な参加

関連科目: ホスピタリティ論 2

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法（基準）: 参加度合い、毎回の小レポート、定期試験により総合的に評価する。

学生へのメッセージ: ・授業には適宜”社会人になる為の心得”も盛り込んでいきます。
・自分の考えをまとめ、コミュニケーションを取ることは難しいと思います。誰しも最初からできる人はいません。力まずに、まずは積極的に参加する！という気持ちを持って参加して下さい。する！という気持ちを大切に、受講して下さい。
・この授業を終えた頃には、周りの様々なことに「気づく」ということが身についているはずです。

担当者の研究室等: 7号館4階（坂下・沖中研究室）

備考:

科目名	ホスピタリティ論Ⅱ	科目名(英文)	Hospitality II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	沖中 美喜
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	・「ホスピタリティー」についての理解を更に深める。「ホスピタリティー」を発揮するための具体的行動や組織・集団のあり方について考察する。 ・ホスピタリティー産業に関係する事業や企業活動を取り上げながら、現代社会において「ホスピタリティー」が生み出す価値の重要性について理解する。
到達目標	・コミュニケーションの重要性を学ぶことで、その能力を高める。 ・日常生活でホスピタリティを発揮するだけでなく、その分野でリードできる人材となる。
授業方法と留意点	Power point と配布資料で授業を進めていき、適宜ディスカッション等も交えていく。授業の最後に、小レポートを課し提出。また、ホスピタリティーを発揮するためのスキルを実習を通して学習する。
科目学習の効果(資格)	ホスピタリティがいかに重要なものかを実感し、今後のホスピタリティ産業への就職に役立つものとする。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	ホスピタリティとは?	ホスピタリティの意味を再確認する。また、ホスピタリティ産業の捉え方についても考えてみる。	ホスピタリティ1の内容を復習
3	ホスピタリティの発揮1	個人のホスピタリティの発揮について一人の人間としてどのようにあるべきなのかを考える。	ホスピタリティーの高い人間について考えてみる。
4	ホスピタリティの発揮2	身だしなみ・表情など、ホスピタリティの発揮能力を更に高めていく方法について具体的な内容に触れていく。	他者とコミュニケーションをとることを意識してみる。
5	ホスピタリティの発揮3	立ち居振る舞い、言葉遣い、など、ホスピタリティの発揮能力を更に高めていく方法について具体的な内容に触れていく。	他者とコミュニケーションをとることを意識してみる。
6	ホスピタリティの発揮4	ホスピタリティの発揮と企業との関係を考える。	ホスピタリティ産業について調べる。
7	ホスピタリティと評価	ホスピタリティの評価方法、評価尺度について考える。	顧客満足について調べる。
8	事例研究1「リゾートホテル」	ホスピタリティが発揮される瞬間・場面を企業側から考える。;	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する。
9	ホスピタリティとマニュアル	ホスピタリティとマニュアルの関係について考える。	身近なお店について評価してみる。
10	事例研究2 「ホテルの社員教育」	ホスピタリティを発揮するための企業の実例を見てみる。	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する。
11	ホスピタリティーとコミュニケーション	ホスピタリティーを生み出すコミュニケーションとはどのようなものか、	今まで所属した組織について考えてみる。
12	事例研究3「スターバックス」	ホスピタリティ産業の中から例を取り上げ検証する。	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する。
13	事例研究4「エンターテイメント企業」	ホスピタリティ産業の中から例を取り上げ検証する。	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する。
14	ホスピタリティマネージメント	ホスピタリティを発揮するための全体マネージメントを考える。	ESについて調べる。
15	事例研究5「エアライン」	ホスピタリティ産業の中から例を取り上げ検証する。	実例を見て感じたことを自分の言葉で表現する。

関連科目	ホスピタリティ論1
------	-----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	参加度合い、毎回の小レポート、プレゼンテーションにより総合的に評価する。
----------	--------------------------------------

学生へのメッセージ	・ホスピタリティ論Ⅰをもっと発展させ、ホスピタリティの発揮に重点を置きます。社会人になる前には是非、身に付けておいて欲しいことをしっかり体得してください。また、様々なホスピタリティ企業を研究してみましょう。 ・力まずに、まずは積極的に参加する！という気持ちを持って受講して下さい。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館4階(坂下・沖中研究室)
----------	-----------------

備考	
----	--

科目名	ホテルビジネス論 I	科目名 (英文)	Hotel Business I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	坂下 正憲
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ホテルに関心を持つ受講生に、その特性や歴史的背景、日系・外資系ホテルの相違、現在の様々な問題を、社会的、経済的背景に他産業事例を挙げながら、基礎的な事業知識やその実態について分かりやすく説明する。
到達目標	ホテル業界での業務知識、日系・外資系ホテルの相違などを学ぶことにより、ホテル業界で働くにはどのようにしたら良いのか、どのような意識を持てば良いのか等就業意識や社会で働く力を高める事を目標とする。
授業方法と留意点	主にパワーポイントと使用して授業する。指定する教科書はないが、適宜関連プリントを配布する。質問については随時受け付ける。また、授業の終わりに毎回小レポートを作成するのでその時に質問を記入する事も可。最新の状況や事情を授業に取り入れていくので、日ごろからホテル関連の報道等に関心を持って接し、授業に臨んで欲しい。
科目学習の効果 (資格)	観光産業に深く関わるホテル事業を学習、理解することにより、将来の進路の判断材料として役立つ事ができる。(特に公的資格取得には繋がらない)

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	世界の宿泊業の歴史	世界の宿泊業の歴史は古代ギリシャやローマの時代に遡る。そのような宿泊施設からホテルに発展し、その後様々な形に変化して現在に至るまでを解説する。	特になし。
3	日本の宿泊業の歴史 (1) 第二次世界大戦まで	日本のホテルはどのような背景で誕生し、その後発展していったのか、またその時代の社会や経済的情勢との関係を含めて、日本のホテルの歴史について説明を行う。	特になし。
4	日本の宿泊業の歴史 (2) 終戦から現代まで	前回は引き続き、太平洋戦争後から現在に至るまでのホテル歴史について、東京オリンピックや大阪万博など様々なエピソードを交えて説明を行う。	特になし。
5	日本のホテル業界の現況	日本のホテル業界は、時代の変化と共に様々な問題が生じており、決して楽観視できるような環境ではない。こうした点について説明を行っていく。	特になし。
6	ホテルビジネスの特性	ホテル事業をより分かり易く理解してもらうために、ホテル事業の「特性」について、様々な事例や他事業との相違を交えて説明を行う。	特になし。
7	ホテルの経営方式	ホテルの経営についても様々な種類があり、他産業に比較し、独自の方式・形態も存在する。そうした方式・形態の特徴や問題点について説明を行う。	特になし。
8	チェーンビジネスの基本	ホテルは、何故チェーン化を進めるのか、またチェーンを統括する本部に必要な機能は、どのようなものなのかについて述べる。	特になし。
9	世界のホテルチェーン	世界の主要なホテルチェーンの展開方式や現状を解説し、外資系ホテルチェーンの日本進出を読み解く。	特になし。
10	日本のホテルチェーン	日本にも多くのホテルチェーンが存在するが、世界のホテルチェーンとは様々な面で異なる特徴を持っている。そうした特徴や今後の方向性がどのように予測されるかを説明し、主要なホテルチェーンの概要についての説明を行う。	特になし。
11	日本の宿泊産業	日本の宿泊施設には、ホテル、旅館、民宿やペンションなど実に多くの宿泊施設があり、それぞれの特徴や相違点などを説明する。	特になし。
12	ホテルの収入構成と収益構造について	ホテルの収入構成で営業施設毎の比率・指数、ホテルの費用構成、収益構造を中心に講義を行う。	特になし。
13	ホテルの組織と仕事 (1) 宿泊部門	ホテル全体の組織の説明のあと、部門別にそれぞれの組織、具体的な業務内容について講義する。今回は宿泊部門。	特になし。
14	ホテルの組織と仕事 (2) 料飲・宴会部門など	前回は引き続き、料飲部門、宴会部門、管理部門の組織と業務内容について説明を行う。	特になし。
15	まとめと特別講義 (帝国ホテル)	日本を代表するホテル、帝国ホテルについてその歴史やホスピタリティなどを解説しながら今までの講義のまとめをする。	特になし。

関連科目	ツーリズム論 1、2			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			

	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	新ホテル総論	財団法人日本ホテル教育センター	プラザ出版
	2	宿を支える女将たち	岩崎信也	柴田書店
	3	帝国ホテル物語	武内孝夫	現代書館
評価方法 (基準)	10回以上の出席がない場合、評価の対象とならない。定期試験、小テストの成績やレポート評価を基本に講義参加姿勢も考慮して総合的に評価する。			
学生への メッセージ	一見華やかに見えるホテル業界、その裏と表に迫ります。将来の進路として考えている学生諸君にも参考になる内容です。社会人としてのマナーも指導します。一緒に研究しましょう。			
担当者の 研究室等	7号館4階 (エアライン・ホスピタルプログラムルーム)			
備考				

科目名	ホテルビジネス論Ⅱ	科目名(英文)	Hotel Business II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	坂下 正憲
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ホテル業をはじめとする宿泊産業に関心を持つ受講生に、ホテルマネジメント、ホテルマーケティングを大きなテーマとして取り上げ、宿泊経営に関する知識、現状とその将来性について説明する。宿泊業経営を理解することで、経営の基礎、一般論を学ぶ。また世界中の有名なクラシックホテルについても紹介する。
到達目標	宿泊業の経営活動を具体的に理解することを目標とする。宿泊業の経営を理解することで、「会社」という組織がどのような活動をしているか、経営の基礎を学び、問題意識を持って就業意欲を高める。
授業方法と留意点	主にパワーポイントを使用しての授業となる。教科書は特に指定しないが、授業が良く理解できるように、適宜関連プリントを配布する。質問については随時受け付ける。また、授業の終わりに毎回提出する小レポートに質問を記入することも可。最新の状況や事情を授業に取り入れて行くので、常にホテル関連の報道等に関心を持って接し、授業に臨んで欲しい。
科目学習の効果(資格)	ホテルをはじめとする様々な宿泊産業について学習、理解することにより、将来の就業意欲を高め、各自の進路決定にあたり一つの判断材料に資することが出来る。(特に公的資格には直接つながらない。)

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	ガイダンス	講師紹介。授業方法の説明。授業概要、到達点の説明。成績評価、履修上の注意点などの説明。	特になし。
2	ホテル業の社会的な役割と意義-1(位置づけと役割)	第3次産業の中で宿泊業はどのような位置づけにあるのか、また社会的にはどのような役割が期待されているのかを解説する。	特になし。
3	ホテル業の社会的役割と意義-2(ホテル業の意義)	ホテル業を取り巻く時代・社会的な環境変化がどのような影響をホテル経営に及ぼすのか、そしてホテル業の意義とはどのようなものを解かり易く解説する。	特になし。
4	ホテル業の課題	我が国のホテル業界は新しいニーズに応えられるのか、高齢者、女性、環境問題に対応できるのか、外客接遇の質は向上しているのかなど現代のホテル業界が抱える様々な課題を具体的に解説する。	特になし。
5	ホテル業の将来性	近年、様々な新しい動きが見られるようになったホテル業界、新たなホテルの役割や価値を創出しようという試みのように見受けられる。ホテル業界は、今後どのような動向を示すのかを論じる。	特になし。
6	ホテル業の経営・事業	一般論として経営と事業の定義について解説し、ホテル業における経営特性や経営・事業資源について解説する。	特になし。
7	ホテルの組織と人事・労務管理-1(組織と人事管理)	ホテル業の組織を理解することにより、ホテル業における人事・労務管理面での特性を明らかにするとともに課題への対応策についても学習する。	特になし。
8	ホテルの組織と人事・労務管理-2(労務管理と人材育成)	有用な人材を育成するためにどのような労務管理がなされているか所定労働時間や福利厚生についても解説する。	特になし。
9	ホテル業の財務・会計管理	ホテルの売上と支出にはどのようなものがあり、原価管理・原価計算とはどのようなものなのか、財務管理と会計管理について基本的な事項を解説する。	特になし。
10	仕入管理と施設管理	ホテル経営に対する効率化に重大な役割を果たす仕入管理と施設管理について解かり易く解説する。	特になし。
11	防犯・防災・衛生管理	ホテルには利用者の生命・財産やプライバシーを守る社会的使命があり、そのために防犯・防災・衛生管理など管理業務が強化されており、それらの基本的な対応ポイントを学習する。	特になし。
12	ホテルマーケティングの基本-1(企画から開業まで)	ホテルマーケティングを学ぶにあたり、その基本となる考え方やマーケティングの構成要因の概要などについて解説し、ホテル開業までのマーケティング活動について説明する。	特になし。
13	ホテルマーケティングの基本-2(開業後)	ホテルのセールス活動とはどのようなものか、またホテルの安定かつ発展的な経営の継続に必要な不可欠なホテル開業後のマーケティング活動のポイントとなる業務について解説する。	特になし。
14	顧客満足と従業員満足	顧客満足とは何か、顧客満足の最大化が企業にどのように貢献するのか、その最大化と従業員満足の関係について解説。	特になし。
15	ホテルの社会的責任	今、ホテル業界が問われている社会的責任とは何か、経済、社会、環境の観点から論じる。	特になし。

関連科目	ツーリズム論1、2
------	-----------

ホテルビジネス論 1																	
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1																
	2																
3																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>現代ホテル経営の基礎理論</td> <td>岡本伸之</td> <td>柴田書店</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ホテル</td> <td>中村正人</td> <td>産学社</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>ホテルブランド物語</td> <td>寺田直子</td> <td>角川書店</td> </tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	現代ホテル経営の基礎理論	岡本伸之	柴田書店	2	ホテル	中村正人	産学社	3	ホテルブランド物語	寺田直子	角川書店
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	現代ホテル経営の基礎理論	岡本伸之	柴田書店													
	2	ホテル	中村正人	産学社													
3	ホテルブランド物語	寺田直子	角川書店														
評価方法 (基準)	定期試験、ミニテストの成績、適宜リポート評価を基本に、講義参加姿勢等も考慮して総合的に評価する。 最低10回以上の出席を成績評価の条件とする。																
学生への メッセージ	ホテルビジネス論1に比べてより経営の立場からの授業になります。ただ、最前線で働く者が経営が何を考え何を必要としているかを知ることはホテル業界に限らず、どの業界においても重要です。是非チャレンジしてください。																
担当者の 研究室等	7号館4階(エアライン・ホスピタルプログラムルーム)																
備考	ホテルビジネス論1を受講していることが望ましいが履修条件ではない。																

科目名	翻訳文化論	科目名(英文)	Translation and Culture
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	小川 豊生
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	〈翻訳〉には、たんにある外国語から別の言語へと移し変えるということだけではなく、豊かな文化的な営みが含まれている。〈翻訳〉を〈文化〉の問題としてとらえ、日本で〈翻訳文化〉が登場する歴史的な流れや、新しい翻訳語創造のプロセス、名訳の誕生のいきさつなど、多角的に探究する。日本文化のなかで「翻訳」がいかに大切な問題であったかを深く理解してほしい。
到達目標	・ 翻訳によって形づくられてきた文化の様々な問題について知識を深める。 ・ 文化的な諸問題への関心を高めることによって外国語学習への意欲を促進する。
授業方法と留意点	講義とノートを中心にすすめる。外国語の修得を目的とした授業ではないことに留意してほしい。
科目学習の効果(資格)	

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	「翻訳文化」とはなにか	〈翻訳〉を、文化の問題としてとらえる視点をもつことの大切さについて概説する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
2	翻訳のはじまり 1 中国文化の受容と翻訳	翻訳のはじまりについて古くさかのぼり歴史的に探求する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
3	翻訳のはじまり 2 キリシタンと翻訳	キリシタンがなった役割は翻訳文化という側面にとってもきわめて重要な意義がある。物語や碎書づくりのなかにその足跡をたどる。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理とポイントの明確化
4	江戸の翻訳文化	前近代において〈翻訳〉はどのような形で生まれたか、江戸時代の具体的な事例(『解体新書』)をとりあげて探究する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
5	明治の翻訳文化 1	『西洋事情』や外国語辞書の誕生の問題をとりあげて、明治の翻訳文化の諸相を探究する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
6	明治の翻訳文化 2	日本の近代化にあたって、社会と文化に大きな影響を与えた明治期の翻訳について、多角的に学ぶ。明治の翻訳の事例を具体的にとりあげ、異文化遭遇の現場を検証する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
7	明治の翻訳文化 3	現代日本語に不可欠な翻訳語を取り上げ、その翻訳事情について追究する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理とポイントの明確化
8	外国人のみたイメージとしての「日本」1	日本を海外に翻訳紹介した人々について「文化の翻訳」という観点から探求する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理とポイントの明確化
9	外国人のみたイメージとしての「日本」2	日本を海外に翻訳紹介した人々について「文化の翻訳」という観点から探求する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
10	難語の翻訳	「日本らしさ」をいかに翻訳するか、いくつかの難語をテーマに考察する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理とポイントの明確化
11	映画字幕の世界	映画字幕の翻訳が生まれるプロセスを学び、現代のサブカルチャーにおける翻訳の意義について考察する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
12	歌詞と翻訳	歌詞がどのように翻訳されているか、事例をあげながら考察し、サブカルチャーにおける翻訳の意義について考える。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理とポイントの明確化
13	翻訳と日本文学	俳句や古典作品、小説など名作の翻訳例を通して、翻訳文化の厚みと困難について認識を深める。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
14	漫画の翻訳	翻訳テキストを例に、原文と訳文とのズレを発見・分析し、異文化理解のあり方について探究する。	・ 指示された重要語の Recherche ・ ノート整理と自主課題提出
15	総合評価授業	講義全体のまとめをおこない、修得度確認のための総合問題を解く。	_____

関連科目	学部で開講されている文化科目
------	----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	『翻訳と日本文化』	芳賀徹編	山川出版社
	2			
	3			

評価方法(基準)	総合評価授業における総合問題、および自主課題レポート・ミニ確認問題などを総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	外国語を文化の問題としてとらえる目を養ってほしい。
-----------	---------------------------

担当者の 研究室等	7号館4階(小川研究室)
備考	事前・事後の学習は、それぞれ2時間ずつ、総時間60時間を目安とする。

科目名	マイノリティー論	科目名(英文)	Minority Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	有馬 善一
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	マイノリティーの問題について、様々な観点から、いくつかのトピックを取り上げて考察する。歴史的な観点、世界史的な観点からの考察と、現在の日本における問題の双方を取り上げる。			
到達目標	マイノリティーの問題の多様性を理解する。 マイノリティーと差別の問題との関連性を理解する。 マイノリティーに対する自分自身の立場をはっきりさせ、差別のない社会を作るためにはどうしたらよいか、自分なりの考えを持つ。			
授業方法と留意点	講義形式で行う。適宜、資料を配付する。			
科目学習の効果(資格)				
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	講義の概要説明。イントロダクション	マイノリティについて概念規定を行う。	マイノリティという言葉についてあらかじめ調べておく。
	2	マイノリティー問題の概括	マイノリティー問題を扱う理論的枠組み マイノリティー問題の2つのベクトル、差別と支配について	2回の授業内容をまとめる。
	3	マイノリティー問題の原型としての「いじめ」問題	様々なレベルでの「いじめ」について考える。	「いじめ」問題に対する自分の考えをまとめる。
	4	日本の差別問題(1)	日本において歴史的な背景の下に、どのような差別が行われてきたかについて、考える。 階級差別としての部落問題。 部落問題の歴史と現状。	差別問題に対する解決策について各自で掘り下げ、まとめる。
	5	日本の差別問題(2)	ヤクザないしは暴力団の問題を考える。 国家権力とアウトローの衝突	事前に指示された映画を見る。 ヤクザ映画の人気はどこに理由があるのかを考えて、各自の意見をまとめる。
	6	日本の差別問題(3)	在日コリアン、琉球、アイヌの人たちと「日本人」との関係について考える。	事前に指示された映画を見る。
	7	ジェンダーの問題	ジェンダーとは何か。	身近にあるジェンダーの問題について取り上げて、自分の考えをまとめる。
	8	セクシュアル・マイノリティーの問題(1)	LGBT(性的マイノリティー)とは何か LGBTに対する偏見と誤解の歴史 LGBTの現在	同性愛を扱った資料をあらかじめ見ておく。
	9	セクシュアル・マイノリティーの問題(2)	日本におけるLGBTへの差別 世界におけるLGBTへの差別	授業内容をまとめておく。
	10	セクシュアル・マイノリティーの問題(3)	LGBTと社会の関わり カミングアウトとLGBTの祭典	授業内容を整理して、LGBTへの差別に対する自分の考えをまとめる。
	11	ユダヤ人問題(1)	ユダヤ人問題の社会的・経済的側面 近代におけるユダヤ人問題 ナチスとユダヤ人虐殺	授業内容を整理しておく。
	12	ユダヤ人問題(2)	ユダヤ人問題の現在 アメリカにおけるユダヤ人勢力 差別から支配への転換 イスラエルの建国とユダヤ問題 民族紛争とマイノリティ	授業内容を踏まえた上で、ユダヤ人問題についてまとめる。
	13	フランスにおけるマイノリティー問題	共和制の理念と現実の乖離 イスラム系移民の問題 極右勢力の伸張	授業内容を踏まえて、フランスの共和制の理念と現実との矛盾についてまとめる。
	14	アメリカにおけるマイノリティーの問題	黒人問題 ネイティブ・アメリカン問題 黄色人問題	授業内容を踏まえて、アメリカにおける人種差別の問題についてまとめる。
	15	まとめ	人種・階級とマイノリティの関係についてまとめる。	これまでの授業内容をまとめておく。
関連科目	多文化の共生			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法(基準)	授業で取り上げたトピックについてまとめた上で、参考資料を用いてレポートを書いてもらう。			
学生へのメッセージ	マイノリティの問題は、突きつめると、人間らしく生きるということはどういうことなのかという問題に突き当たることを理解して欲しい。			
担当者の	7号館4階			

研究室等	
備考	講義の内容・評価方法等は、受講生の数などに応じて変更する可能性がある。変更の際には、講義中に通知する。 事前事後学習におよそ 60 時間必要。

科目名	マレー語圏トピックス	科目名(英文)	Topics in the Malayan-speaking World
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	ノレハ ビンティ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	この講義では、マレー語、マレー文化、マレー系の人々について、具体的な生活場면을題材に取り上げながら学んでいきます。とくに現代を生きる「普通の人々」のライフスタイルや文化について詳しく紹介します。同時に、たんにマレーシアについての知識を増やすというだけではなく、マレー語の実践的な会話を身につけることも目指します。
到達目標	マレー語とその社会・文化的背景について理解する。
授業方法と留意点	授業は教員の講義と受講者とのやりとり(会話)という形式で進めます。やりとりはなるべくマレー語をもちいることで、受講者の会話力の向上をはかります。
科目学習の効果(資格)	マレー語の実践的な会話力とマレー文化についての詳しい知識が身につきます。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	人と知り合う	1. 人と知り合うときに使う言葉(初対面の人の場合、年長者、男性、女性、同じ歳の人の場合)、2. 人に尋ねる言葉(なにかを尋ねる言葉、人と知り合ったときの丁寧な言葉)を理解する。	既習事項の確認
2	マレーシアの新聞を読む	新聞を使ってマレーシアの社会状況について解説するとともに、ニュースのなかで使われる言葉を理解する。また、ニュースのカテゴリー、ニュースの説明のあり方について概説する。	練習問題
3	新聞で使われる言葉	マレーシアの新聞で使われている語彙を用いて、実際に短いニュースを書く。	練習問題
4	話し言葉	毎日の生活のなか(普通の人と話をする、市場の言葉)でのマレー語の使用について理解する。また、地方の言葉について概観する。	練習問題
5	言葉の話し方・使い方	マレー社会における1. 適切な話し言葉(言葉を使うさいの正しい発音、話すときの丁寧な言葉)、2. 慣習と言葉について理解する。	練習問題
6	雑誌の言葉づかい	マレーシアで発行されている女性雑誌、若者雑誌、イスラーム雑誌のそれぞれを読み、どのような言語が使われているかを知る。	練習問題
7	イスラームのなかのマレー語	1. イスラーム社会の言葉、2. アラビア語の影響、3. マレー社会のなかのイスラームについて概説する。	練習問題
8	多民族社会のなかのマレー語	1. マレー語とさまざまな言語との関連、2. マレーシアにおける毎日の生活での言葉づかい、3. 多民族社会での日常生活について解説する。	練習問題
9	手紙の言葉づかい	手紙を書くときにだけ使われる言葉や書式について概説したあと、実際に手紙を書いてみる。	練習問題
10	マレー料理で使われる言葉	マレーシアにおける毎日の食べ物や調理器具、調理方法についての語彙を紹介する。	練習問題
11	状況に応じた言葉づかい	マレー社会における喜怒哀楽の表現や、感情を表す婉曲的なマレー語表現について理解する。	練習問題
12	マレー語表現演習1	マレー語作文の書式や修辭について概説した後、マレーシアの文化に関連する主題を設定して文章作成を行う。	練習問題
13	マレー語表現演習2	作成した作文や用意したテキストを読み、内容を理解したうえで、内容について受講者相互で議論する。	練習問題
14	マレー語表現演習3	受講者の将来の仕事、実現するための努力、家族のことなどをマレー語で表現し、相互に意見交換を行う。	練習問題
15	まとめ	これまでの授業をふまえて主題を設定して受講者間で討論	練習問題

関連科目 総合マレー語 a&b、時事インドネシア・マレー語 a、実践インドネシア・マレー語 b

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点とレポートで評価します。
学生への メッセージ	積極的に授業に参加して下さい。この授業が皆さんにとって「知らない世界」への扉になることを望んでいます。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	ミュージアムへの招待	科目名(英文)	Introduction to Museum Studies
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	谷 直樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	現在、歴史博物館・美術館・文学館・記念館・動物園・水族館など博物館とその類似施設は全国に5700館以上あります。かつて「博物館行き」という言葉は古くさいものの代名詞でしたが、今日、博物館はその姿を大きく変えています。カラフルなシンボル展示、IT技術を駆使した映像展示、実物大の家を再現した体感型展示、様々な参加型プログラムなど、おしゃれて楽しめる施設へと変化しつつあります。またミュージアムグッズも図録だけでなく、Tシャツ・ぬいぐるみ・菓子などオリジナル商品を豊富に揃えている館が少なくありません。博物館とは何か、これからどう変化していくのかを、その歴史や現状を学びながら考えていきましょう。
到達目標	博物館は現代社会と無縁ではありません。博物館が収集した様々なコレクションは、現代だけでなく未来社会の知的生産活動に様々なヒントを与えてくれます。受講生の皆さんも、単に博物館を見学に行くだけでなく、博物館資料の活用や、ボランティア活動などに参加して、さらに博物館を中心とした生涯学習の担い手に成長してほしいものです。
授業方法と留意点	パワーポイント・ビデオなどを随時使用して、臨場感にあふれたビジュアルな講義にします。また教室内だけではなく、実際に新しい魅力的な博物館を見学します。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	博物館とは何か	話題の博物館紹介。記憶に残る博物館・展覧会。資格取得の条件・諸注意。	旅先などで博物館や美術館の見学をする習慣をつけて下さい。
2	日本の博物館 1	動物園ランキング(旭山動物園と天王寺動物園)、水族館ランキング(美ら海水族館と海遊館)	子どものころに行った動物園・水族館と、最近の動物園・水族館を比較して下さい。
3	日本の博物館 2	美術館(近代美術館と現代美術館)、自然史系博物館(琵琶湖博物館と大阪市立自然史博物館)、歴史系博物館(大阪歴史博物館と大阪くらしの今昔館)	美術館の特別展をのぞいてみて下さい。
4	日本の博物館 3	野外博物館(明治村、北海道開拓の村、四国村、おきなわ郷土村、まちぐるみ博物館)	町並み保存やまちおこしも野外博物館のヒントになります。
5	日本の博物館 4	企業ミュージアム(月桂冠大倉記念館、横浜ラーメン博物館、インスタントラーメン発明記念館、くすりのまち道修町資料館、大学博物館など)	近くにある企業ミュージアムを訪ねて下さい。
6	博物館法を読む	博物館の定義と種類。博物館法、博物館法施行規則、公立博物館に関する法律。博物館の機能、展示資料による分類、設置者による分類、制度による分類	博物館法は事前事後によく読んでください。
7	博物館をつくる 1	博物館構想の策定、資料の収集と保管、調査と研究、展示と学習	博物館に行ったら、展覧会を見るだけでなく、どんな仕事をしているのかよく観察すること。
8	博物館をつくる 2	博物館の設計、博物館の空間(エントランス、展示室、収蔵庫、学習室、ミュージアムショップ、レストラン、学芸員室、事務室、駐車場、動線計画、設備計画)	博物館に行ったら、どんな部屋があるのか、案内図を確認すること。
9	博物館の展示	常設展示の概要	博物館の展示(とくに常設展示)を時間かけて見学してみる。
10	博物館の展示	企画展示とは何か	最近話題になった特別展示を紹介しよう。
11	博物館と生涯学習	こどもと博物館、高齢者と博物館、大学生と博物館、観光・まちづくりと博物館	地域社会における博物館の役割を考えてみる。
12	博物館の歴史	日本と世界の博物館	友達どうしで、これまでに見学した博物館の中で、面白かった博物館や展覧会を紹介しよう。
13	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。
14	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。入館料は別途徴収。
15	現地見学	講義の中で指示	大阪で話題の博物館を見学する。3コマ分なので欠席しないこと。日程は初回の講義で決めます。入館料は別途徴収。

関連科目 博物館学Ⅱ・Ⅲ、教育原理、視覚芸術論、生涯学習論が学芸員資格の必修科目。その他の関連科目。

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準) 定期試験と授業中の課題(レポートや見学会の感想)を総合的に評価します。

学生へのメッセージ 博物館に行っていない人がいますが、それは間違いです。歴史資料館や美術館に行っても、動物園や水族館には行ったことがあるはず。実は、動物園も水族館も博物館なのです。これからの博物館は、知的な好奇心を満足させてくれる楽しいところを目指してい

	ます。少しでも博物館に興味があるなら、とくに学芸員の資格をとるつもりがない人でも受講は歓迎です。学芸員資格を取るには、4年生で博物館実習を行う必要があります。
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
備考	

科目名	ミュージアムマネジメント論	科目名(英文)	Management of a Museum
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	赤澤 春彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	博物館経営に関する行財政制度を踏まえながら、さまざまな博物館の形態や多岐にわたる活動について講義する。今後の方向性を考えるとともに、学芸員に必要な博物館経営に関する基礎的知識の習得をめざす。
到達目標	博物館の現状と課題を認識しながら、博物館はどうあるべきかを考え、理想の博物館を実現するためには、どのようなミュージアムマネジメント(博物館経営)が必要であるのかを具体的に理解できる。
授業方法と留意点	配付資料やスライドを見ながら進め、適宜板書もする。 受講生が調べたり、考えたりする作業を行い、毎回レポートを課すので欠席しないようにしてください。また、受講生と相談の上、博物館の臨地講義も実施する予定である。
科目学習の効果(資格)	学芸員資格の取得(必修科目)。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	行財政制度と博物館	博物館に関係する法律や財務に関する制度について解説する。	配布資料や参考書で復習する。
3	博物館をめぐる行政改革	指定管理者制度、PFI法、独立行政法人制度など、博物館に関する近年の行政改革について解説し、その問題点を考える。	PFI法、指定管理者制度について、本やWEBで調べておく。
4	博物館の財務	博物館の基本的な歳入と歳出などを解説し、財務状況や入館料をめぐる問題点を考える。	博物館の予算的な問題について調べる。
5	博物館の立地と環境	博物館にふさわしい立地条件や自然及び社会的環境について具体的に解説する。	実際の博物館の立地・環境を調べる。
6	博物館の施設と設備	博物館にどのような施設と設備が必要であるかを解説し、館種による相違点を比較する。	配布資料や参考書で復習する。
7	博物館の組織と職員	一般的な博物館の組織と職員、学芸員の具体的な業務内容を説明する。	配布資料や参考書で復習する。
8	博物館事業のあり方	博物館の理念と目的を説明し、その達成のためにどのような事業計画が必要かを検討する。	博物館が実施している事業の具体例を調べておく。
9	博物館の評価	博物館を評価するにはどのような基準・方法があるかを解説し、評価により得られる効果を検討する。	行ったことのある博物館の評価をしてみる。
10	博物館の危機管理	博物館で想定されるさまざまな危機について解説し、その対策を具体的に検討する。	博物館にかかわる危機にはどのようなものがあるか考えておく。
11	博物館の広報活動	非営利組織のマーケティングリサーチと、博物館における広報活動の具体的な方法を解説する。	博物館のポスターやチラシなどを見ておく。
12	ミュージアムサービス	ミュージアムショップ、レストランなどに代表されるサービスの現状を説明し、今後の方向性を考える。	本やWEBで博物館のサービスの具体例を調べる。
13	市民参画をめざす博物館	友の会、ボランティアなどの支援組織や、市民参画を促す博物館事業について解説する。	WEBやリーフレットなどで、博物館の友の会などについて調べる。
14	博物館のネットワーク	いろいろな博物館のネットワークについて解説する。	WEBで、日本博物館協会、日本動物園水族館協会などのHPを見る。
15	対話と連携の博物館	博物館が目指す対話と連携を具体的に検討することで、これからの博物館の経営について考える。	配布資料や参考書で復習する。

関連科目	ほかの学芸員科目
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	講義最終日に行う筆記試験(持ち込み不可)、講義中に課すレポートをもとに評価する。
----------	--

学生へのメッセージ	必ず毎回出席すること。また、本講義を受講する間、多くの博物館を訪れることを望みます。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館4階(赤澤研究室)
----------	--------------

備考	事前・事後学習は総時間 60 時間を目安とする。
----	--------------------------

科目名	メディア イングリッシュ a	科目名 (英文)	Media English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	山本 尚子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	Students with practice listening to radio news broadcasts plus other communication activities 文字や映像、音声によるソースを扱い、VOAの生の英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。教科書で学習したVOA NEWSをCALL教室でEnglish Central を使用して、発音録音練習、語彙学習もおこなう。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. 宿題としてENGLISH CENTRAL自習。 先生管理画面でどの程度自習しているかモニターできるので、その結果を成績に入れる。 ゴールを達成できない場合単位は難しくなります。 自習用CALL教室でも、ご家庭のPCでもできます。
科目学習の効果 (資格)	To improve news broadcast listening skills and pronunciation TOEIC, TOEFL.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction English CENTRALのアカウント作成 使用方法の説明 履修される方は必ず出席してください。	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	13	Final Project 発表	Final Project 発表	十分な準備が必要
	14	Final Project 発表	Final Project 発表	十分な準備が必要
15	学期末 Test	学期末 Test	学期末 Test	

関連科目																	
教科書	<table border="1"> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>What's on Japan 9</td> <td>山崎 達郎他</td> <td>金星堂</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1	What's on Japan 9	山崎 達郎他	金星堂	2				3			
	番号	書籍名	著者名	出版社名													
	1	What's on Japan 9	山崎 達郎他	金星堂													
	2																
3																	
参考書																	

	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	まとめテスト 40%、平常点(小テスト、提出物、授業への取り組み・発表) 60%で評価する。			
学生への メッセージ	英語でニュースを聴き取って内容を理解できるようになることで、自分の世界を広げましょう。授業だけでなく、日ごろからテレビで海外のニュースを英語で聞くことも心掛けてください。			
担当者の 研究室等	7号館 2階 非常勤講師室			
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。			

科目名	メディア イングリッシュ a	科目名 (英文)	Media English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	江戸 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
15	Review	Feedback sessionk	...

関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デベート ab
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
			音羽書房鶴見書店
1	映画総合教材 フリーダム・ライターズ - Freedom Writers	田中長子, 本多浩子 他	音羽書房鶴見書店
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	授業中に指示する。		
2			
3			

評価方法 (基準)	1. 予習、授業中の活動への貢献、提出課題、小テストなどから総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。
学生へのメッセージ	英語の力は学習時間に比例して伸びてゆきます。授業以外にも、自分の興味ある分野の英文に積極的にふれてください。授業への積極的な参加を期待します。
担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
備考	辞書を必ず持参すること。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。

科目名	メディア イングリッシュ a	科目名 (英文)	Media English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	中道 英美子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。 VOA ,BBC などのニュースを視聴してディクテーションを行い、内容を理解する問題に取り組む。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。 ニュース英語を理解する上で必須の単語、表現を身につける。
授業方法と留意点	ニュースを聞いてディクテーションを行うので集中力が必要とされる。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	特定のテキストを使用しない。印刷物が配布される。		特定のテキストを使用しない。
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	1. 平常点 (予習、授業への参加、提出課題、小テスト) および復習テスト (プレゼンテーション含む) から総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。
学生へのメッセージ	英語の力は学習時間に比例して伸びてゆきます。授業以外にも、自分の興味ある分野の英文に積極的にふれてください。 全員参加で活気ある授業を創り上げましょう。
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
備考	辞書を必ず持参すること。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。

科目名	メディア イングリッシュ a	科目名 (英文)	Media English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	湊 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	What's on Japan 9	山崎 達朗・Stella M. Yamazaki・Erika C. Yamazaki	金星堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (毎回の予習や課題、小テスト、質疑応答への貢献、授業態度等をすべて含む) とまとめのテストによる総合評価。詳しくは第1回目の授業でハンドアウトを配布し説明する。
-----------	--

学生へのメッセージ	マナーを守り、積極的、かつ集中して授業にのぞんでもらいたい。
-----------	--------------------------------

担当者の研究室等	非常勤講師室 (7号館2階)
----------	----------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	メディア イングリッシュ a	科目名 (英文)	Media English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	里井 真理子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。			
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。			
授業方法と留意点	テキストと共にジャーナリズム英語として英字新聞を使うこともある。			
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	まとめ
関連科目	リーディング、スピーキング			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	CBS NewsBreak 2 CBS ニュースブレイク 2	熊井 信弘 ほか	成美堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業態度 (30%) + 授業時の課題 (30%) + 小テスト (40%)			
学生へのメッセージ	予習・復習は必ず行ってください。 辞書を必ず持参すること。			
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)			
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	メディア イングリッシュ a	科目名 (英文)	Media English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	オーエン クロー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリントを使用する		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Attendance 40%; Participation 30%; Test 30%
-----------	---

学生へのメッセージ	
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	メディア イングリッシュ a	科目名 (英文)	Media English a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アーサー ロングスン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。			
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。			
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.			
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...
関連科目	...			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	出席、受講態度50%、期末試験、プレゼンテーション50%			
学生へのメッセージ	積極的な授業参加を望む。			
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)			
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	メディア イングリッシュ b	科目名 (英文)	Media English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	イ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	山本 尚子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。教科書で学習したVOA NEWSをCALL教室でEnglish Centralを使用して、発音録音練習、語彙学習もおこなう。 Students with practice listening to radio news broadcasts plus other communication activities
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course. 宿題としてENGLISH CENTRAL自習。 先生管理画面でどの程度自習しているかモニターできるので、その結果を成績に入れる。 ゴールを達成できない場合単位は難しくなります。 自習用CALL教室でも、ご家庭のPCでもできます。
科目学習の効果 (資格)	To improve news broadcast listening skills and pronunciation TOEIC, TOEFL.

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction English CENTRALのアカウント作成 使用方法の説明 履修される方は必ず出席されてください。	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson English Centralを行う。
	13	Final Project 発表	Final Project 発表	十分な準備が必要
	14	Final Project 発表	Final Project 発表	十分な準備が必要
15	学期末 Test	学期末 Test	学期末 Test	

関連科目

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	CBS News Break 2	熊井 信弘他	成美堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
-----	----	-----	-----	------

	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	まとめテスト40%、平常点(小テスト、提出物、授業への取り組み・発表)60%で評価する。			
学生への メッセージ	英語でニュースを聴き取って内容を理解できるようになることで、自分の世界を広げましょう。授業だけでなく、日ごろからテレビで海外のニュースを英語で聞くことも心掛けてください。			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	メディア イングリッシュ b	科目名 (英文)	Media English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ロ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	江戸 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback sessionk	...

関連科目	スピーキング I a・I b スピーキング II a・II b デベート ab
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	映画総合教材 フリーダム・ライターズ - Freedom Writers	田中長子, 本多浩子 他	音羽書房鶴見書店
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	授業中に指示する。		
	2			
	3			

評価方法 (基準)	1. 予習、授業中の活動への貢献、提出課題、小テストなどから総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。
学生へのメッセージ	英語の力は学習時間に比例して伸びてゆきます。授業以外にも、自分の興味ある分野の英文に積極的にふれてください。授業への積極的な参加を期待します。
担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
備考	辞書を必ず持参すること。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。

科目名	メディア イングリッシュ b	科目名 (英文)	Media English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ハ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	中道 英美子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。 VOA ,BBC などのニュースを視聴してディクテーションを行い、内容を理解する問題に取り組む。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。 ニュース英語を理解する上で必須の単語、表現を身につける。
授業方法と留意点	ニュースを聞いてディクテーションを行うので集中力が必要とされる。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	・・・

関連科目	・・・
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	特定のテキストを使用しない。印刷物が配布される。		特定のテキストを使用しない。
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	1. 平常点 (予習、授業への参加、提出課題、小テスト) および復習テスト (プレゼンテーション含む) から総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。
学生へのメッセージ	英語の力は学習時間に比例して伸びてゆきます。授業以外にも、自分の興味ある分野の英文に積極的にふれてください。 全員参加で活気ある授業を創り上げましょう。
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
備考	辞書を必ず持参すること。 配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。

科目名	メディア イングリッシュ b	科目名 (英文)	Media English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ニ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	湊 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	What's on Japan 9	山崎 達朗・Stella M. Yamazaki・Erika C. Yamazaki	金星堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (毎回の予習や課題、小テスト、質疑応答への貢献、授業態度等をすべて含む) とまとめのテストによる総合評価。詳しくは第1回目の授業でハンドアウトを配布し説明する。
-----------	--

学生へのメッセージ	マナーを守り、積極的、かつ集中して授業にのぞんでもらいたい。
-----------	--------------------------------

担当者の研究室等	非常勤講師室 (7号館2階)
----------	----------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	メディア イングリッシュ b	科目名 (英文)	Media English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	ホ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	里井 真理子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。			
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。			
授業方法と留意点	テキストと共にジャーナリズム英語として英字新聞を使うこともある。			
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	まとめ
関連科目	リーディング、スピーキング			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	CBS NewsBreak 2 CBS ニュースブレイク 2	熊井 信弘 ほか	成美堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	授業態度 (30%) + 授業時の課題 (30%) + 小テスト (40%)			
学生へのメッセージ	予習・復習は必ず行ってください。 辞書を必ず持参すること。			
担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)			
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。			

科目名	メディア イングリッシュ b	科目名 (英文)	Media English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	オーエン クロー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリントを使用する		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Attendance 40%; Participation 30%; Test 30%
-----------	---

学生へのメッセージ	積極的な授業参加を望む。
-----------	--------------

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ15時間程度とする。
----	---

科目名	メディア イングリッシュ b	科目名 (英文)	Media English b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	へ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アーサー ロングソン
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	文字や映像による多様なソースを扱い、メディアの英語に触れる。さまざまな情報源から世界の情報を英語で入手する力を養う。			
到達目標	メディア教材を通じて、現在世界で問題となっていることを理解しながら、英語の読解力を伸ばす。また、オーディオ教材から音声で情報の要点を聞き取れるようになる。			
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.			
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, TOEFL			
授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...
関連科目	...			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	出席、受講態度 50%、期末試験プレゼンテーション 50%			
学生へのメッセージ	積極的な授業参加を望む。			
担当者の研究室等	7号館 2階 (非常勤講師室)			
備考	配布資料の読み込みなど、事前事後学習にかかる総時間数をおおよそ 15 時間程度とする。			

科目名	メディアのスペイン語 I	科目名 (英文)	Media Spanish I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	三浦 知佐子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	今までに学習したスペイン語の文法知識を十分に駆使して、新聞、雑誌、ウェブページなどの様々なメディアで用いられるスペイン語の文章をできるだけ多く読み、「メディアのスペイン語」に慣れる。 国内外のさまざまなニュースに敏感になる。
到達目標	スペイン語による様々な表現や文法知識の更なる習得を目指す。
授業方法と留意点	スペイン語で書かれた新聞記事、雑誌記事、ウェブ記事をプリントにして配布します。 事前に配布されたプリントに目を通しておいてください。 また、関連記事やそれに限らない国内外でのニュースなどにも日頃から目を配っておきましょう。レポートや発表を課すことがあります。テーマが変わる場合もあります。
科目学習の効果 (資格)	スペイン語検定 4,3 級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方 メディアの多様性	授業の内容を理解しておくこと
	2	日本に関するスペイン語の記事 (1)	文化記事の訳読 1	授業の内容を理解しておくこと
	3	日本に関するスペイン語の記事 (2)	文化記事の訳読 2	授業の内容を理解しておくこと
	4	日本に関するスペイン語の記事 (3)	社会記事の訳読 1	授業の内容を理解しておくこと
	5	日本に関するスペイン語の記事 (4)	社会記事の訳読 2	授業の内容を理解しておくこと
	6	日本に関するスペイン語の記事 (5)	その他	授業の内容を理解しておくこと
	7	スペインに関するスペイン語の記事 (1)	スポーツ記事の訳読 1	授業の内容を理解しておくこと
	8	スペインに関するスペイン語の記事 (2)	スポーツ記事の訳読 2	授業の内容を理解しておくこと
	9	スペインに関するスペイン語の記事 (3)	文化記事の訳読 1	授業の内容を理解しておくこと
	10	スペインに関するスペイン語の記事 (4)	文化記事の訳読 2	授業の内容を理解しておくこと
	11	中南米諸国に関するスペイン語の記事 (1)	記事の訳読	授業の内容を理解しておくこと
	12	中南米に関するスペイン語の記事 (2)	記事の訳読	授業の内容を理解しておくこと
	13	世界に関するスペイン語の記事 (1)	国際的記事の訳読 1	授業の内容を理解しておくこと
	14	世界に関するスペイン語の記事 (2)	国際的記事の訳読 2	授業の内容を理解しておくこと
		15	まとめ	まとめ

関連科目	メディアのスペイン語
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	授業内の積極性や、課題、まとめテストの結果から、総合的に評価します。
-----------	------------------------------------

学生へのメッセージ	文法事項ももう一度きちんと理論的に学習し、スペイン語のスキルアップにつなげましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)
----------	----------------

備考	
----	--

科目名	メディアのスペイン語Ⅱ	科目名(英文)	Media Spanish II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	林 安紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	これまでに学習したスペイン語の文法知識を活用し、新聞、雑誌、映画、インターネットなどの様々なメディアで用いられるスペイン語に取り組む。 スペイン語圏の新聞・雑誌記事などを用いて読解力を養うことと、映画やラジオなどを使用して聞き取り能力の向上を図る。 時事スペイン語やメディア特有の表現について学ぶ。
到達目標	スペイン語の新聞・雑誌を読むことができる。 スペイン語の映画・ラジオを見る、聴くことができる。
授業方法と留意点	スペイン語で書かれた新聞や雑誌記事、ウェブページのプリントを配布する。 レポートや発表を課す予定である。 スペイン語の辞書は毎回持参すること。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題

1	イントロダクション	授業の進め方や評価基準について	
2	スペイン語圏の音楽(1)	聞き取り、翻訳	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
3	スペイン語圏の音楽(2)	聞き取り、翻訳	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
4	スペイン語圏の音楽(3)	聞き取り、翻訳	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
5	日本に関する記事(1)	訳読	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
6	日本に関する記事(2)	訳読	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
7	日本に関する記事(3)	訳読	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
8	スペイン語圏のCM(1)	聞き取り、翻訳	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
9	スペイン語圏のCM(2)	聞き取り、翻訳	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
10	スポーツ・文化に関する記事(1)	訳読	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
11	スポーツ・文化に関する記事(2)	訳読	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
12	スポーツ・文化に関する記事(3)	訳読	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
13	スペイン語圏の映画(1)	聞き取り、翻訳	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
14	スペイン語圏の映画(2)	聞き取り、翻訳	事前に配布されたプリントには目を通しておくこと。 文法事項の確認、復習
15	まとめ	総復習および確認テスト	-----

関連科目	メディアのスペイン語
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業参加度)30%、臨時試験(確認テスト)40%、その他(レポート・発表など)30%
----------	--

学生へのメッセージ	授業への積極的な参加を望む。 新聞・雑誌記事などの訳読の授業には事前に配布したプリントに必ず目を通し、予習してから出席すること。 日本やスペイン語圏のニュースに敏感になること。
-----------	--

担当者の 研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
備考	

科目名	メディアのスペイン語Ⅲ	科目名(英文)	Media Spanish III
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	4年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	磯野 吉美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	新聞、雑誌、TV、広告などさまざまなメディアで用いられるスペイン語に取り組みます。スペイン語で書かれた新聞・雑誌記事などを用いて読解力を養うことと、ニュース番組やCMなどを使用して聞き取り能力の向上を図ります。
到達目標	スペイン語圏や日本で話題になっている事柄に関する文を作成したり、討論できるようになることを目指します。
授業方法と留意点	さまざまなメディアで用いられるスペイン語を訳読するまたは聞き取り翻訳するなかで、時事スペイン語やメディア特有の表現について学びます。新聞・雑誌記事などの訳読では、履修生に発表を課す予定です。単元の内容、順番が変わることがあります。
科目学習の効果(資格)	スペイン語検定3級

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクション	授業の進め方や評価基準について	授業で指示
	2	広告	聞き取り、翻訳	授業で指示
	3	TVCM	聞き取り、翻訳	授業で指示
	4	スペイン語圏に関する記事(1)	訳読	授業で指示
	5	スペイン語圏に関する記事(2)	訳読	授業で指示
	6	スペイン語圏に関する記事(3)	訳読	授業で指示
	7	ニュース番組(1)	聞き取り、翻訳	授業で指示
	8	ニュース番組(2)	聞き取り、翻訳	授業で指示
	9	ニュース番組(3)	聞き取り、翻訳	授業で指示
	10	国際関係・国際問題に関する記事(1)	訳読	授業で指示
	11	国際関係・国際問題に関する記事(2)	訳読	授業で指示
	12	スペインのテレビ番組(1)	聞き取り、翻訳	授業で指示
	13	スペインのテレビ番組(2)	聞き取り、翻訳	授業で指示
	14	スペインのテレビ番組(3)	聞き取り、翻訳	授業で指示
	15	まとめ	復習	授業で指示

関連科目	メディアのスペイン語
------	------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業参加度)30%、発表30%、臨時試験(期末)40%
----------	---------------------------------

学生へのメッセージ	授業への積極的な参加を望みます。新聞・雑誌記事などの訳読の授業には必ず予習をして出席してください。日本やスペイン語圏のニュースに敏感になってください。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	ヨーロッパ史学	科目名(英文)	History of Europe
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	林田 敏子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】異文化理解 【教員免許状取得のための履修区分】選択 【科目】教科に関する科目(中学校 社会) 【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史 【教員免許状取得のための履修区分】必修 【科目】教科に関する科目(高等学校 地理歴史) 【施行規則に定める科目区分】外国史 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	ヨーロッパ世界を中心に世界の歴史をたどる。ヨーロッパ諸国は、「大航海時代」以来、アジアやアフリカ、アメリカ世界と密接なかかわりをもってきた。時代によってその「中心」(覇権国)は刻々と変化するものの、ヨーロッパ世界は今日にいたるまで、ある種の一体性を有しながら発展してきたといえる。常に世界史上の重大局面にかかわってきたヨーロッパを中心に、世界の歴史を読み解くことで、現代社会を歴史的観点からとらえかえす。
到達目標	ヨーロッパ、ひいては(日本を含めた)アジアの未来に関する明確なビジョンをもつために、古代、中世、近世、近代の歴史的特質を把握する。
授業方法と留意点	毎回プリントを配布し、図像史料を活用しながら、板書をまじえて授業をすすめる。
科目学習の効果(資格)	ヨーロッパを中心とする世界の歴史への知見を深め、歴史的思考を養う。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	古代エジプト(1)	ピラミッドの「謎」と宗教	ピラミッドについて予習してくる。
2	古代エジプト(2)	ミイラ信仰にみる古代の死生観	古代エジプトにおける王権についてまとめる。
3	中世ヨーロッパにおける魔女狩り(1)	魔女狩りの時代差・地域差	魔女狩りと聞いてイメージすることを文章にしてくる。
4	中世ヨーロッパにおける魔女狩り(2)	魔女裁判の社会的・宗教的意義	魔女裁判が中世社会においてもった意義についてまとめる。
5	「大航海時代」～アジアへの道～	ヨーロッパとアジアの「出会い」	「大航海時代」の新航路の開拓を地図上にまとめる。
6	フランス革命～何が革命的だったのか～	ヨーロッパ社会に与えた影響	フランス革命に関する年表を作成する。
7	ウィーン体制	ヨーロッパ新秩序の形成	ウィーン会議がドイツやイタリアに与えた影響についてまとめる。
8	イギリス産業革命(中間テスト)	世界初の産業革命はいかにしておこったのか	イギリス以外の産業革命について調べてくる。
9	膨張するヨーロッパ(1)(中間テスト解説)	帝国の拡大とアジア	ヨーロッパの植民地開拓が中国や日本に与えた影響について調べる。
10	膨張するヨーロッパ(2)	帝国の拡大とアフリカ・インド	ヨーロッパの植民地開拓を地図上にまとめる。
11	第一次世界大戦	総力戦と銃後の社会	第一次世界大戦に関する年表を作る。
12	ナチズムの台頭	戦争国家と人種主義	ナチズムの台頭がヨーロッパ社会に与えた影響についてまとめる。
13	第二次世界大戦	二つの世界大戦と20世紀	第一次世界大戦と第二次世界大戦の共通点と相違点についてまとめる。
14	一体化する世界	EUの誕生と拡大するヨーロッパ	EUが抱えている課題についてまとめる。
15	総括	小テストの実施と解説	全授業内容を復習してくる。

関連科目 歴史に学ぶ、世界の歴史

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	第15回目の授業で実施する小テスト(80%)、中間テストおよび提出物(20%)を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	歴史学とは、過去に起こった事件の年号や偉人の名前を暗記する学問ではありません。過去の出来事を通して、現代社会や未来についての思考力を養うためのものです。積極的に関連文献を読み、講義内容を批判的に摂取するよう心がけてください。
担当者の研究室等	7号館4階(林田研究室)
備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間。

科目名	ヨーロッパ思想	科目名(英文)	European Thought
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	池田 清
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ヨーロッパ思想は、現代日本の社会及び個人のあり方に関して大きな影響を与えてきた。とりわけ、私(自我)という存在の中心性を基本としてきた。しかし、私=自我とは、どういう存在なのか。私という存在は、他者という存在とどのように関係しているのか。これを問題とする。後半では、映画『Alien』を観る。これを通して、私=自我の分裂、及びテキスト(映画)の生産性について分析する。
到達目標	他者関係のあり方に関して、問題意識を有することができる。
授業方法と留意点	テキストは使用しない。板所はかなりの量になるので、ノートは必ず準備すること。
科目学習の効果(資格)	日常生活の中で気づかないながらも、基盤としている思考パターンを驚きと共に発見できます。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	授業展望	授業の進め方、レポートの書き方など。	—————
	2	ヨーロッパ近代の歴史像	事実としての歴史と物語としての歴史	シラバスの熟読
	3	—————	ルネッサンスと宗教改革	前回のノートの見直し
	4	ヨーロッパ近代の社会像	科学・経済・政治の近代、市民革命	前回のノートの見直し
	5	—————	産業革命と資本主義社会の誕生	前回のノートの見直し
	6	ヨーロッパ近代の人間像	人間観と排除の意識、制度化と正常と異常の区別	前回のノートの見直し
	7	—————	男性中心主義とフェミニズム、人間主義の驕慢	前回のノートの見直し
	8	—————	視覚の優位性	前回のノートの見直し
	9	ヨーロッパ近代の世界像	デカルトの近代合理主義	前回のノートの見直し
	10	—————	イギリス経験論の合理主義	前回のノートの見直し
	11	—————	ニーチェとニヒリズムの誕生	前回のノートの見直し
	12	—————	民主主義の可能性	前回のノートの見直し
	13	私=自我の分裂	『Alien』鑑賞	前回のノートの見直し
	14	私=自我の分裂	『Alien』鑑賞及び分析	これまでのノートの見直し
	15	試験対策	試験問題答案の書き方	—————

関連科目	思想系の科目。
------	---------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	授業参加、レポート結果、定期試験結果から総合的に評価します。
----------	--------------------------------

学生へのメッセージ	板書の量はかなりなものになるから、必ずノートを作成すること。また、思想は、常に知らない内に働いている生きものですから、今自分の周りで何が起きているか、これを知るために新聞などに目を通して下さい。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	ライティング a	科目名 (英文)	Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	S
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	パラグラフ・ライティングの力を養う。つまり、パラグラフの中でも organization: トピックセンテンス, 展開, (まとめ)が大事でかつ展開にはレトリックを使うと論理的な文章になることを学ぶ。 また同時に、英文を書く上で、文法・語彙の使い方を細かく見る。
到達目標	*論理的なパラグラフを書けるようになる。 *細かい文法にまで注意が払えるようになる。 *TOEIC の論理的な文章に慣れる。
授業方法と留意点	授業は1. テスト、2. リスニング宿題チェック、3. 作文の書き方説明、4. 文法説明 という流れで行う。 課題はたくさん出るのでしっかりこなすこと。 小テストで60%以下の学生には単位認定しないので、休んだり遅刻した場合は必ず追試を受けること。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC の得点アップ 日本語でも論理的に書くことができるようになる

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises: パラグラフエッセイとは何か	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの構成を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: トピックの選択	Individual Task, Pair Work or Group Work: 与えられたトピックを吟味する	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: トピックに応じた議論の流れを考える	Individual Task, Pair Work or Group Work: トピックについて賛成・反対のどちらの意見をとるか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 議論データの収集	Individual Task, Pair Work or Group Work: 自分の意見を支持するデータを収集する	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: パラグラフの作成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 収集したデータを使ってパラグラフを作成していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises: センテンスを整える	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフを構成する英文を正確に整える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises: センテンスどうしの論理関係を作る	Individual Task, Pair Work or Group Work: センテンスの論理関係を示す表現について学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises: エッセイ全体を整える	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの論理関係を示す表現を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: エッセイを完成させる	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイ起承転結に気をつけながら全体を完成させる	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: エッセイを発表する	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、論理関係に破たんがないか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: エッセイする発表	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、反論のデータなどがないか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: 講評をもとにエッセイの改訂をする	Individual Task, Pair Work or Group Work: 論理関係、反論データなどをさらに追加し、エッセイを書き直していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイの改訂をする	Individual Task, Pair Work or Group Work: 書き直したエッセイの起承転結に気を付けて、エッセイを改訂していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review: エッセイを完成させる	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイを整えて完成させる	

関連科目	ライティング b
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Weaving It Together 2	Shishido and Yaguchi	松柏社
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	平常点+テスト+課題提出 (1回目授業時に詳しく説明する。)
-----------	-----------------------------------

	共通単語試験 10%
学生への メッセージ	量は力です。たくさん英語を書きましょう。
担当者の 研究室等	7号館4階家口研究室
備考	Skype教材 3,200円 (詳しくは初回の授業で説明する)

科目名	ライティング a	科目名 (英文)	Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ゲラント パーミンハム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	College Writing provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises: パラグラフエッセイとは何か	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: パラグラフの構成を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises: トピックの選択	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 与えられたトピックを吟味する	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises: トピックに応じた議論の流れを考える	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: トピックについて賛成・反対のどちらの意見をとるか考える	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises: 議論データの収集	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 自分の意見を支持するデータを収集する	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises: パラグラフの作成	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 収集したデータを使ってパラグラフを作成していく	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises: センテンスを整える	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: パラグラフを構成する英文を正確に整える	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises: センテンスどうしの論理関係を作る	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: センテンスの論理関係を示す表現について学ぶ	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises: エッセイ全体を整える	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: パラグラフの論理関係を示す表現を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises: エッセイを完成させる	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: エッセイの起承転結に気をつけながら全体を完成させる	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises: エッセイを発表する	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、論理関係に破たんがないか考える	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises: エッセイを発表する	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、反論のデータなどがないか考える	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises: 講評をもとにエッセイの改訂をする	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 論理関係、反論データなどをさらに追加し、エッセイを書き直していく	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises: エッセイの改訂をする	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 書き直したエッセイの起承転結に気を付けて、エッセイを改訂していく	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises: エッセイを完成させる	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: エッセイを整えて完成させる	

関連科目	Grammar			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing from Within 2	Curtis Kelly Arlen Gargagliano	Cambridge
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Being properly prepared for each class 15% Paying close attention to the instructions given and co-operating with the teacher and classmates. 15% Full participation in all class drills, exercises, and writing-discussion activities. 15% Quality of in class exercises. 15% Completed paragraphs and essays. 30% 共通単語試験 10%			
学生への メッセージ	In this Course, students are expected to be on time to every class; to bring their textbook to every class; to come to every class fully prepared with all homework and other assignments completed; to pay close attention to the instructor at all times during class; and to participate fully in all of the classroom drills, exercises, and writing-discussion activities.			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	・・・			

科目名	ライティング a	科目名 (英文)	Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	College Writing provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	授業の最初に単語小テストを毎回行う。授業では、演習形式をとりながら、授業中にできるだけ多くのライティング活動を行う。必ず予習をして授業に臨むこと。また、簡単なレポートが4回程度課される。間違ってもいいのでとにかく一度自分の英語で書いてみて、どこをどのようにすれば改善されるのかを常に考えながら、レポートや課題、宿題に取り組むことが望まれる。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction:Communication in written language	Orientation and self introduction: 英文ライティングの基本	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises: パラグラフエッセイとは何か	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: パラグラフの構成を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises: トピックの選択	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 与えられたトピックを吟味する	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises: トピックに応じた議論の流れを考える	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: トピックについて賛成・反対のどちらの意見をとるか考える	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises: 議論データの収集	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 自分の意見を支持するデータを収集する	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises: パラグラフの作成	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 収集したデータを使ってパラグラフを作成していく	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises: センテンスを整える	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: パラグラフを構成する英文を正確に整える	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises: センテンスどうしの論理関係を作る	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: センテンスの論理関係を示す表現について学ぶ	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises: エッセイ全体を整える	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: パラグラフの論理関係を示す表現を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises: エッセイを完成させる	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: エッセイの起承転結に気をつけながら全体を完成させる	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises: エッセイを発表する	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: クラスメートの前でエッセイを発表し、論理関係に破たんがないか考える	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises: エッセイを発表する	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、反論のデータなどがないか考える	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises: 講評をもとにエッセイの改訂をする	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 論理関係、反論データなどをさらに追加し、エッセイを書き直していく	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises: エッセイの改訂をする	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: 書き直したエッセイの起承転結に気を付けて、エッセイを改訂していく	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises: エッセイを完成させる	Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation: エッセイを整えて完成させる	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	Grammar			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	宿題、毎回の小テストなど 20% 共通単語試験 10% 簡単なレポート 30% まとめの確認テスト 40%			
学生への メッセージ	当たり前のことを当たり前に行いましょう。			
担当者の 研究室等	7号館4階 住吉 誠 研究室			
備考	テキストはプリントを配布する。 そのほか、スカイプを使用した教材を使用する(4回分 3200円)。詳しくは初回の授業で説明する。 毎回の授業につき、1時間程度の予習復習を行うこと。レポート作成を含めた事前・事後学習の総時間を15時間とする。			

科目名	ライティング a	科目名 (英文)	Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Writing a provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays. Students will learn how to generate topics, write cohesive paragraphs, and organize these paragraphs into clear compositions.
到達目標	By the end of this course students should be able to write cohesive, well thought paragraphs, and be able to link these paragraphs to create longer, well organized bodies of work. Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			...
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction: 英文ライティングの基本	...
2	Exercises: パラグラフエッセイとは何か	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの構成を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: トピックの選択	Individual Task, Pair Work or Group Work: 与えられたトピックを吟味する	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: トピックに応じた議論の流れを考える	Individual Task, Pair Work or Group Work: トピックについて賛成・反対のごどちらの意見をとるか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 議論データの収集	Individual Task, Pair Work or Group Work: 自分の意見を支持するデータを収集する	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: パラグラフの作成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 収集したデータを使ってパラグラフを作成していく	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises: センテンスを整える	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフを構成する英文を正確に整える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercise: センテンスどうしの論理関係を作る	Individual Task, Pair Work or Group Work: センテンスの論理関係を示す表現について学ぶ	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises: エッセイ全体を整える	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの論理関係を示す表現を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: エッセイを完成させる	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイの起承転結に気をつけながら全体を完成させる	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: エッセイを発表する	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、論理関係に破たんがないか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: エッセイを発表する	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、反論のデータなどがいいか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: 講評をもとにエッセイの改訂をする	Individual Task, Pair Work or Group Work: 論理関係、反論データなどをさらに追加し、エッセイを書き直していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイの改訂をする	Individual Task, Pair Work or Group Work: 書き直したエッセイの起承転結に気を付けて、エッセイを改訂していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Exercise: エッセイを完成させる	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイを整えて完成させる	Students should study the content of the day's lesson (1h)

関連科目	None
------	------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	共通単語試験の結果を総合成績の 10%とする Vocabulary Quizzes 10% Class work 20% Weekly Free Writing Activity 20%
-----------	--

	Writing Assignments 40%
学生への メッセージ	Excellence in writing goes beyond writing accuracy and being able to mimic models. Excellence comes from writing that leads to discovery of of self, of ideas, and of others. In class always try to draw from your own experiences and interests. Make sure that you enjoy whatever you are writing, and you will make great progress.
担当者の 研究室等	Part-time teacher's room. Buliding 7. 2nd Floor
備考	Handouts distributed in class

科目名	ライティング a	科目名 (英文)	Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ブライアン スレーター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	In this course students will begin to develop writing skills to help them express themselves directly in English rather than translating. Writing practice will focus on descriptive writing (people and places) and narrative writing (personal experiences). Part of the course will focus on vocabulary development directed at these topics. Students will also learn how to effectively incorporate photos and other visual information into their written work.
到達目標	The goal of this class is for the students to be able to introduce a topic, develop an idea and clearly express themselves in an organised and coherent manner using complete sentences and paragraphs.
授業方法と留意点	Each new writing activity will include new vocabulary and practical grammar practice. All of the completed coursework will be organized into a comprehensive notebook. Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	In this class you will have the opportunity to write about yourselves and your daily life. You will also learn how to write for different purposes in English.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises: パラグラフエッセイとはなにか Questionnaire	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの構成を学ぶ Writing and grammar activity	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)
3	Exercises: トピックの選択 Self-introductions	Individual Task, Pair Work or Group Work: 与えられたトピックを吟味する Writing and grammar activity	Finishing up and making revisions of classwork. (1h)
4	Exercises: トピックに応じた議論の流れを考える Vocabulary building	Individual Task, Pair Work or Group Work: トピックについて賛成・反対のどちらの意見をとるか考える Reading and writing activities	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)
5	Exercises: 議論データの収集 Daily routines	Individual Task, Pair Work or Group Work: 自分の意見を支持するデータを収集する Writing activity and computer skills	Finishing up and making revisions of classwork. (1h)
6	Exercises: パラグラフの作成 Review	Individual Task, Pair Work or Group Work: 収集したデータを使ってパラグラフを作成していく Comprehensive notebook organization	Finishing up or making revisions of classwork
7	Exercises: センテンスを整える Timed writing	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフを構成する英文を正確に整える Writing activity	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)
8	Exercises: センテンスどうしの論理関係を作る Past experience	Individual Task, Pair Work or Group Work: センテンスの論理関係を示す表現について学ぶ Grammar and writing activity	Finishing up and making revisions of classwork. (1h)
9	Exercises: エッセイ全体を整える Favorite places	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの論理関係を示す表現を学ぶ Reading and writing activities	Finishing up and making revisions of classwork. (1h)
10	Exercises: エッセイを完成させる Photos and illustrations	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイの起承転結に気を付けながら全体を完成させる Information design activity	Finishing up and making revisions of classwork. (1h)
11	Exercises: エッセイを発表する Timed writing	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、論理関係に破たんがないか考える Writing activity	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)
12	Exercises: エッセイを発表する Mini research report	Individual Task, Pair Work or Group Work: Writing activity: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、反論のデータなどがないか考える	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)
13	Exercises: 講評をもとにエッセイの改訂をする Vocabulary building	Individual Task, Pair Work or Group Work: 論理関係、反論データなどをさらに追加し、エッセイを書き直していく Listening, reading and writing activities	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)

	14	Exercises: エッセイの改訂 をする Summer plans	Individual Task, Pair Work or Group Work: 書き直したエッセイの起承転結 に気を付けて、エッセイを改訂していく Writing activities	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)																
	15	Exercises: エッセイを完成 させる Review	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイを整えて完成させる Comprehensive notebook organization	...																
関連科目	College Writing																			
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Writing from Within Level 2 Student's Book</td> <td>Kelly and Gargagliano</td> <td>Cambridge</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test</td> <td>西谷 恒志</td> <td>成美堂</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1	Writing from Within Level 2 Student's Book	Kelly and Gargagliano	Cambridge	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1	Writing from Within Level 2 Student's Book	Kelly and Gargagliano	Cambridge																	
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂																	
3																				
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3			
番号	書籍名	著者名	出版社名																	
1																				
2																				
3																				
評価方法 (基準)	Grades are based on regular attendance with active participation, 50%; comprehensive notebook 40%; 共通単語試験 (vocabulary examination) 10%.																			
学生への メッセージ	All the coursework in this class will be done in English. Attending class regularly and arriving on time is important.																			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室																			
備考																				

科目名	ライティング a	科目名 (英文)	Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	けこ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ブルース ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Writing provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays. Students will learn how to generate topics, write cohesive paragraphs, and organize these paragraphs into clear compositions.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises: パラグラフエッセイとは何か	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの構成を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: トピックの選択	Individual Task, Pair Work or Group Work: 与えられたトピックを吟味する	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: トピックに応じた議論の流れを考える	Individual Task, Pair Work or Group Work: トピックについて賛成・反対のどちらの意見をとるか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 議論データの収集	Individual Task, Pair Work or Group Work: 自分の意見を支持するデータを収集する	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: パラグラフの作成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 収集したデータを使ってパラグラフを作成していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises: センテンスを整える	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフを構成する英文を正確に整える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Midterm Test: センテンスどうしの論理関係を作る	Individual Task, Pair Work or Group Work: センテンスの論理関係を示す表現について学ぶ Test	None
9	Exercises: エッセイ全体を整える	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの論理関係を示す表現を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: エッセイを完成させる	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイの起承転結に気をつけながら全体を完成させる	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: エッセイを発表する	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、論理関係に破たんがないか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: エッセイを発表する	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、反論のデータなどがいないか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: 講評をもとにエッセイの改訂をする	Individual Task, Pair Work or Group Work: 論理関係、反論データなどをさらに追加し、エッセイを書き直していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイの改訂をする	Individual Task, Pair Work or Group Work: 書き直したエッセイの起承転結にきをつけて、エッセイを改訂していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review: エッセイを完成させる Final Test	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイを整えて完成させる Test	None

関連科目	None
------	------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Write Away Right Away Second Edition	David Martin	EFL Press
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法	共通単語試験の結果を総合成績の10%とする
------	-----------------------

(基準)	Vocabulary Quizzes 10% Class work 20% Weekly Journal Writing 20% Midterm 20% Final 20%
学生への メッセージ	Excellence in writing goes beyond writing accuracy and being able to mimic models. Excellence comes from writing that leads to discovery of of self, of ideas, and of others. In class always try to draw from your own experiences and interests. Make sure that you enjoy whatever you are writing, and you will make great progress.
担当者の 研究室等	Part-time teacher's room. Buliding 7. 2nd Floor
備考	

科目名	ライティング a	科目名 (英文)	Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	さし
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジョン カール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	This course is designed to encourage students to develop their writing skills from simple sentences to logically organised, full essays.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	Students will develop their writing skills, independent thought and creative writing through a systematic, process approach. This approach will include exercises to explore ideas for their writing and express these in sentences, logically order sentences to form paragraphs, and peer review and revision to strengthen their work.
科目学習の効果 (資格)	Students will also learn how to develop independent thought and creative writing, and will serve as a sound foundation for future assignment papers.

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction Self Introduction Models 1-2	Orientation and Self-Introduction: 英文ライティングの基本 Skills: Layout	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
2	Exercises: パラグラフエッセイとは何か Self Introduction Models 3-6	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの構成を学ぶ Skills: Capital Letters	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
3	Exercises: トピックの選択 Self Introduction Models 7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: 与えられたトピックを吟味する Skills: What is a sentence? / Checklist	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
4	Exercises: トピックに応じた議論の流れを考える Family Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: トピックについて賛成・反対のどちらの意見をとるか考える Skills: Simple Sentences	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
5	Exercises: 議論データの収集 Family Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: 自分の意見を支持するデータを収集する Skills: And, But & Or in Simple Sentences	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
6	Exercises: パラグラフの作成 Hometowns Models 1-4 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: 収集したデータを使ってパラグラフを作成していく Skills: Compound Sentences (1)	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
7	Exercises: センテンスを整える Hometowns Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフを構成する英文を正確に整える Skills: Compound Sentences (2)	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
8	Exercises: センテンスどうしの論理関係を作る School Life Models 1-4 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: センテンスの論理関係を示す英語表現について学ぶ Skills: Because and So	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
9	Exercises: エッセイ全体を整える School Life Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの論理関係を示すを表現を学ぶ Skills: Complex Sentences	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
10	Exercises: エッセイを完成させる Friends Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイの起承転結に気をつけながら全体を完成させる Skills: Subject-Verb Agreement	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
11	Exercises: エッセイを発表する Friends Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、論理関係に破たんがないか考える Skills: Tense Agreement	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
12	Exercises: エッセイを発表する Part-Time Jobs Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、反論のデータなどがないか考える Skills: Singular and Plural Nouns	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework.	
13	Exercises: 講評をもとにエッセイの改訂をする Part-Time Jobs Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: 論理関係、反論データなどをさらに追加し、エッセイを改訂していく Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	
14	Exercises: エッセイの改訂をする Free Time Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: 書き直したエッセイの起承転結に気を付けて、エッセイを改訂していく	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)	

			Word Skills or How English Works	
	15	Exercises: エッセイを完成させる Free Time Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイを整えて完成させる Word Skills or How English Works	・・・
関連科目	文法、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	70% Reports (7 reports) 20% Participation 10% 共通単語試験 Standardized Vocabulary Test			
学生への メッセージ	Learn writing by making mistakes, correcting them, and remembering the corrections.			
担当者の 研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)			
備考				

科目名	ライティング a	科目名 (英文)	Writing a
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ダニエル マリノズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Writing a provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises: パラグラフエッセイとは何か	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの構成を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: トピックの選択	Individual Task, Pair Work or Group Work: 与えられたトピックを吟味する	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: トピックに応じた議論の流れを考える	Individual Task, Pair Work or Group Work: トピックについて賛成・反対のどちらの意見をとるか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 議論データの収集	Individual Task, Pair Work or Group Work: 自分の意見を支持するデータを収集する	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: パラグラフの作成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 収集したデータを使ってパラグラフを作成していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises: センテンスを整える	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフを構成する英文を正確に整える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises: センテンスどうしの論理関係を作る	Individual Task, Pair Work or Group Work: センテンスの論理関係を示す表現について学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises: エッセイ全体を整える	Individual Task, Pair Work or Group Work: パラグラフの論理関係を示す表現を学ぶ	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: エッセイを完成させる	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイの起承転結に気をつけながら全体を完成させる	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: エッセイを発表する	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、論理関係に破たんがないか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: エッセイを発表する	Individual Task, Pair Work or Group Work: クラスメートの前でエッセイの概要を発表し、反論のデータなどがなくないか考える	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: 講評をもとにエッセイの改訂をする	Individual Task, Pair Work or Group Work: 論理関係、反論データなどをさらに追加し、エッセイを書き直していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイの改訂をする	Individual Task, Pair Work or Group Work: 書き直したエッセイの起承転結に気を付けて、エッセイを改訂していく	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review: エッセイを完成させる	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイを整えて完成させる	...

関連科目 グラマー、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing to Learn The Paragraph (ISBN: 9780071188296)	L. and M. Spaventa	McGraw-Hill
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準) Writing assignment tasks・・・60%
Textbook exercises and weekly journal・・・40%

学生へのメッセージ In order to pass this course, you must:
- attempt all assignments

	<ul style="list-style-type: none"> - show evidence of prewriting and editing for each assignment - obtain an average of at least 60% for your best three assignments - not be absent for more than four lessons. <p>Please use lined, B5 looseleaf writing paper (in a slim binder) for all notes and assignments.</p> <p>N.B.: Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details.</p>
<p>担当者の 研究室等</p>	<p>Part-time faculty lounge, Bldg. 7, 2F</p>
<p>備考</p>	

科目名	ライティング b	科目名 (英文)	Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	S
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	家口 美智子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	前期に引き続き、論理的なパラグラフライティングの書き方を習得する。引き続きリスニングの課題をこなしながら、美しい文章に触れることにより、より論理的なライティングができるように練習する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> * 論理的なパラグラフを書けるようになる。 * 細かい文法にまで注意が払えるようになる。 * TOEIC の論理的な文章に慣れる。
授業方法と留意点	授業は1. 小テスト、2. リスニング宿題チェック、3. 作文の書き方説明、4. 文法説明 という流れで行う。課題はたくさん出るのでしっかりこなすこと。
科目学習の効果 (資格)	TOEIC の得点アップ。 日本語の作文も理論的に書けるようになる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction: エッセイライティング復習	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises: 理由	Individual Task, Pair Work or Group Work: 理由を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: 分析	Individual Task, Pair Work or Group Work: データ分析の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: 証明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 証明する際の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 意見	Individual Task, Pair Work or Group Work: 意見を述べる表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: 比較	Individual Task, Pair Work or Group Work: 比較する際の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises: 分類	Individual Task, Pair Work or Group Work: 分類表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises: 指示	Individual Task, Pair Work or Group Work: 指示をする表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises: 因果関係	Individual Task, Pair Work or Group Work: 原因と結果を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: 手順	Individual Task, Pair Work or Group Work: 手順を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: 説明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 説明表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: 定義	Individual Task, Pair Work or Group Work: 定義を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: データ	Individual Task, Pair Work or Group Work: データを示す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイライティング課題	Individual Task, Pair Work or Group Work: これまで学んださまざまな表現を入れたエッセイを書く	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review: エッセイライティング課題完成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 一つのエッセイを完成させる	...

関連科目	ライティング a
------	----------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Weaving It Together 2	Shishido and Yaguchi	松柏社
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点+テスト+課題提出 (1回目授業時に詳しく説明する。) 共通単語試験 10%
-----------	---

学生へのメッセージ	量は力です。たくさん英語を書きましょう。
-----------	----------------------

担当者の研究室等	7号館4階家口研究室
----------	------------

備考	
----	--

科目名	ライティング b	科目名 (英文)	Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	グランド パーシム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Writing b provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
2	Exercises: 理由	Individual Task, Pair Work or Group Work: 理由を表す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: 分析	Individual Task, Pair Work or Group Work: データ分析の表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: 証明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 証明する際の表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 意見	Individual Task, Pair Work or Group Work: 意見を述べる表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: 比較	Individual Task, Pair Work or Group Work: 比較する際の表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises: 分類	Individual Task, Pair Work or Group Work: 分類表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises: 指示	Individual Task, Pair Work or Group Work: 指示をする表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises: 因果関係	Individual Task, Pair Work or Group Work: 原因と結果を表す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: 手順	Individual Task, Pair Work or Group Work: 手順を表す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: 説明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 説明表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: 定義	Individual Task, Pair Work or Group Work: 定義を表す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: データ	Individual Task, Pair Work or Group Work: データを示す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイライテ	Individual Task, Pair Work or Group	Students should study the content of the day's

		インテグレーション課題	Work: これまで学んださまざまな表現を入れたエッセイを書く Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	lesson (1h)
	15	Exercises: エッセイライティング課題完成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 一つのエッセイを完成させる Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	
関連科目	Grammar			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing from Within 2	Curtis Kelly Arlen Gargagliano	Cambridge
	2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	Being properly prepared for each class 15% Paying close attention to the instructions given and co-operating with the teacher and classmates. 15% Full participation in all class drills, exercises, and writing-discussion activities. 15% Quality of in class exercises. 15% Completed paragraphs and essays. 30% 共通単語試験 10%			
学生への メッセージ	In this Course, students are expected to be on time to every class; to bring their textbook to every class; to come to every class fully prepared with all homework and other assignments completed; to pay close attention to the instructor at all times during class; and to participate fully in all of the classroom drills, exercises, and writing-discussion activities.			
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室			
備考	...			

科目名	ライティング b	科目名 (英文)	Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Writing b provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English. 基本的な英語を使用して、ある程度のまとまった分量の英語を書けるようになる。論理展開に注意しながら、あるテーマに対して根拠を挙げながら賛成や反対といった自分の意見が述べられるようになることを目標とする。
授業方法と留意点	授業の最初に単語小テストを毎回行う。授業では、演習形式をとりながら、授業中にできるだけ多くのライティング活動を行う。必ず予習をして授業に臨むこと。また、簡単なレポートが4回程度課される。間違ってもいいのでとにかく一度自分の英語で書いてみて、どこをどのようにすれば改善されるのかを常に考えながら、レポートや課題、宿題に取り組むことが望まれる。

科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検
--------------	-----------

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction:Communication in written language	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises: 理由	Individual Task, Pair Work or Group Work: 理由を表す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises: 分析	Individual Task, Pair Work or Group Work: データ分析の表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises: 証明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 証明する際の表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises: 意見	Individual Task, Pair Work or Group Work: 意見を述べる表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises: 比較	Individual Task, Pair Work or Group Work: 比較する際の表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises: 分類	Individual Task, Pair Work or Group Work: 分類表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises: 指示	Individual Task, Pair Work or Group Work: 指示をする表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises: 因果関係	Individual Task, Pair Work or Group Work: 原因と結果を表す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises: 手順	Individual Task, Pair Work or Group Work: 手順を表す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises: 説明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 説明表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises: 定義	Individual Task, Pair Work or Group Work: 定義を表す表現を中心に Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises: データ	Individual Task, Pair Work or Group Work: データを示す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson

			Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	
	14	Exercises: エッセイライティング課題	Individual Task, Pair Work or Group Work: これまで学んださまざまな表現を入れたエッセイを書く Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises: エッセイライティング課題完成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 一つのエッセイを完成させる Structure and organization Explanation, writing tasks, review and evaluation	Students should study the content of the day's lesson
関連科目	Grammar			
教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			
評価方法 (基準)	宿題、毎回の小テストなど 20% 共通単語試験 10% 簡単なレポート 30% まとめの確認テスト 40%			
学生への メッセージ	当たり前のことを当たり前にやりましょう。			
担当者の 研究室等	7号館4階 住吉 誠 研究室			
備考	テキストはプリントを配布する。 毎回の授業につき、1時間程度の予習復習を行うこと。レポート作成を含めた事前・事後学習の総時間を30時間とする。			

科目名	ライティング b	科目名 (英文)	Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	スコット ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Students will learn how to generate topics, write cohesive paragraphs, and organize these paragraphs into clear compositions.
到達目標	By the end of this course students should have progressed from writing simple sentences and paragraphs, to being able to writing longer pieces of prose. They will be able to write logical and coherent paragraphs linked together to form well written, understandable and more complex pieces of writing.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction: エッセイライティング復習	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises: 理由	Individual Task, Pair Work or Group Work: 理由を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: 分析	Individual Task, Pair Work or Group Work: データ分析の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: 証明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 証明する際の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 意見	Individual Task, Pair Work or Group Work: 意見を述べる表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: 比較	Individual Task, Pair Work or Group Work: 比較する際の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises: 分類	Individual Task, Pair Work or Group Work: 分類表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises: 指示	Individual Task, Pair Work or Group Work: 指示をする表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises: 因果関係	Individual Task, Pair Work or Group Work: 原因と結果を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: 手順	Individual Task, Pair Work or Group Work: 手順を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: 説明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 説明表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: 定義	Individual Task, Pair Work or Group Work: 定義を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: データ	Individual Task, Pair Work or Group Work: データを示す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイライティング課題	Individual Task, Pair Work or Group Work: これまで学んださまざまな表現を入れたエッセイを書く	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Exercises: エッセイライティング課題完成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 一つのエッセイを完成させる	Students should study the content of the day's lesson (1h)

関連科目	None
------	------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	共通単語試験の結果を総合成績の10%とする Vocabulary Quizzes 10% Class work 20% Weekly Free Writing Activity 20% Writing Assignments 40%
-----------	--

学生へのメッセージ	Excellence in writing goes beyond writing accuracy and being able to mimic models. Excellence comes from writing that leads to discovery of of self, of ideas, and of others. In class always try to draw from your own experiences and interests. Make sure that you enjoy whatever you are writing, and you will make great progress.
-----------	---

担当者の研究室等	Parttime Teacher's Room Building 7. 2nd Floor
----------	--

備考	Handouts will be distributed in class
----	---------------------------------------

科目名	ライティング b	科目名 (英文)	Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ブライアン スレーター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	In this course students will begin to develop writing skills to help them express themselves directly in English rather than translating. Writing practice will focus on descriptive writing (people and places) and narrative writing (personal experiences). Part of the course will focus on vocabulary development directed at these topics. Students will also learn how to effectively incorporate photos and other visual information into their written work.
到達目標	The goal of this class is for the students to be able to introduce a topic, develop an idea and clearly express themselves in an organized and coherent manner using complete sentences and paragraphs.
授業方法と留意点	Each new writing activity will include new vocabulary and practical grammar practice. All of the completed coursework will be organized into a comprehensive notebook. Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	In this class you will have the opportunity to write about yourselves and your daily life. You will also learn how to write for different purposes in English.

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Course overview	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイライティング復習 Orientation activities	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)
2	Exercises: 理由 Questionnaire	Individual Task, Pair Work or Group Work: 理由を表す表現を中心に Writing and grammar activity	Finishing up or making revisions of classwork. (1h)
3	Exercises: 分析 Self-introductions	Individual Task, Pair Work or Group Work: データ分析の表現を中心に Writing and grammar activity	Finishing up and making revisions of classwork. (1h)
4	Exercises: 証明 Vocabulary building	Individual Task, Pair Work or Group Work: 証明する際の表現を中心に Reading and writing activities	Finishing up or making revisions of classwork (1h)
5	Exercises: 意見 Daily routines	Individual Task, Pair Work or Group Work: 意見を述べる表現を中心に Writing activity and computer skills	Finishing up and making revisions of classwork (1h)
6	Exercises: 比較 Review	Individual Task, Pair Work or Group Work: 比較する際の表現を中心に Comprehensive notebook organization	Finishing up or making revisions of classwork (1h)
7	Exercises: 分類 Timed writing	Individual Task, Pair Work or Group Work: 分類表現を中心に Writing activity	Finishing up or making revisions of classwork (1h)
8	Exercises: 指示 Past experience	Individual Task, Pair Work or Group Work: 指示をする表現を中心に Grammar and writing activity	Finishing up and making revisions of classwork (1h)
9	Exercises: 因果関係 Favorite places	Individual Task, Pair Work or Group Work: 原因と結果を表す表現を中心に Reading and writing activities	Finishing up and making revisions of classwork (1h)
10	Exercises: 手順 Photos and illustrations	Individual Task, Pair Work or Group Work: 手順を表す表現を中心に Information design activity	Finishing up and making revisions of classwork (1h)
11	Exercises: 説明 Timed writing	Individual Task, Pair Work or Group Work: 説明表現を中心に Writing activity	Finishing up or making revisions of classwork (1h)
12	Exercises: 定義 Mini research report	Individual Task, Pair Work or Group Work: 定義を表す表現を中心に Writing activity	Finishing up or making revisions of classwork (1h)
13	Exercises: データ Vocabulary building	Individual Task, Pair Work or Group Work: データを示す表現を中心に Listening, reading and writing activities	Finishing up or making revisions of classwork (1h)
14	Exercises: エッセイライティング課題 Spring plans	Individual Task, Pair Work or Group Work: これまで学んださまざまな表現を入れたエッセイを書く Writing activities	Finishing up or making revisions of classwork (1h)
15	Exercises: エッセイライティング課題完成 Review	Individual Task, Pair Work or Group Work: 一つのエッセイを完成させる Comprehensive notebook organization	...

関連科目	College Writing
------	-----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Writing from Within Level 2 Student's Book	Kelly and Gargagliano	Cambridge
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	Grades are based on regular attendance with active participation, 50%; comprehensive notebook 40%; 共通単語試験 (vocabulary examination) 10%.
学生への メッセージ	All the coursework in this class will be done in English. Attending class regularly and arriving on time is important.
担当者の 研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	

科目名	ライティング b	科目名 (英文)	Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	けこ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ブルース ライリー
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Writing b provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays. Students will learn how to generate topics, write cohesive paragraphs, and organize these paragraphs into clear compositions.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises: 理由	Individual Task, Pair Work or Group Work: 理由を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: 分析	Individual Task, Pair Work or Group Work: データ分析の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: 証明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 証明する際の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 意見	Individual Task, Pair Work or Group Work: 意見を述べる表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: 比較	Individual Task, Pair Work or Group Work: 比較する際の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises: 分類	Individual Task, Pair Work or Group Work: 分類表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercise: 指示 Midterm Test	Individual Task, Pair Work or Group Work: 指示をする表現を中心に Test	None
9	Exercises: 因果関係	Individual Task, Pair Work or Group Work: 原因と結果を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: 手順	Individual Task, Pair Work or Group Work: 手順を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: 説明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 説明表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: 定義	Individual Task, Pair Work or Group Work: 定義を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: データ	Individual Task, Pair Work or Group Work: データを示す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイライティング課題	Individual Task, Pair Work or Group Work: これまで学んださまざまな表現を入れたエッセイを書く	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review: エッセイライティング課題完成 Final Test	Individual Task, Pair Work or Group Work: 一つのエッセイを完成させる Test	None

関連科目	None
------	------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Write Away Right Away Second Edition	David Martin	EFL Press
2	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志	成美堂	
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	共通単語試験の結果を総合成績の 10%とする Vocabulary Quizzes 10% Class work 20% Weekly Journal Writing 20% Midterm 20% Final 20%
-----------	--

学生へのメッセージ	Excellence in writing goes beyond writing accuracy and being able to mimic models. Excellence comes from writing that leads to discovery of of self, of ideas, and of others. In class always try to draw from your own experiences and interests. Make sure that you enjoy whatever you are writing, and you will make great progress.
-----------	---

担当者の研究室等	Parttime Teacher's Room Building 7. 2nd Floor
----------	--

備考	
----	--

科目名	ライティング b	科目名 (英文)	Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	さし
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジョン カール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Writing b provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays. This course is designed to encourage students to develop their writing skills from simple sentences to logically organised, full essays.
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English. Improve writing skills.
授業方法と留意点	Students will develop their writing skills, independent thought and creative writing through a systematic, process approach. This approach will include exercises to explore ideas for their writing and express these in sentences, logically order sentences to form paragraphs, and peer review and revision to strengthen their work.
科目学習の効果 (資格)	Students will also learn how to develop independent thought and creative writing, and will serve as a sound foundation for future assignment papers.

	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	授業計画	1	Introduction Trips & Travel Models 1-2	Individual Task, Pair Work or Group Work: エッセイライティング復習 Skills: Layout / Word Skills or How English Works
2		Exercises: 理由 Trips & Travel Models 3-6	Individual Task, Pair Work or Group Work: 理由を表す表現を中心に Skills: Capital Letters / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
3		Exercises: 分析 Trips & Travel Models 7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: データ分析の表現を中心に Skills: What is a sentence? / Checklist / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
4		Exercises: 証明 Childhood Memories Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: 証明する際の表現を中心に Skills: Simple Sentences / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
5		Exercises: 意見 Childhood Memories Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: 意見を述べる表現を中心に Skills: And, But & Or in Simple Sentences / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
6		Exercises: 比較 Dreams & Plans Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: 比較する際の表現を中心に Skills: Compound Sentences (1) / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
7		Exercises: 分類 Dreams & Plans 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: 分類表現を中心に Skills: Compound Sentences (2) / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
8		Exercises: 指示 People Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: 指示をする表現を中心に Skills: Because and So / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
9		Exercises: 因果関係 People Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: 原因と結果を表す表現を中心に Skills: Complex Sentences / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
10		Exercises: 手順 Biographies Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: 手順を表す表現を中心に Skills: Subject-Verb Agreement / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
11		Exercises: 説明 Biographies Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: 説明表現を中心に Skills: Tense Agreement / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
12		Exercises: 定義 Movie Reviews Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: 定義を表す表現を中心に Skills: Singular and Plural Nouns / Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
13		Exercises: データ Movie Reviews Models 5-7 (Draft/Peer Correction/Final)	Individual Task, Pair Work or Group Work: データを示す表現を中心に Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
14		Exercises: エッセイライティング課題 Anecdotes Models 1-4	Individual Task, Pair Work or Group Work: これまで学んださまざまな表現を入れたエッセイを書く Word Skills or How English Works	Students may be required to gather ideas, write a draft, or critique another student's work for homework. (1h)
15		Exercises: エッセイライティング課題完成 Anecdotes Models 5-7	Individual Task, Pair Work or Group Work: 一つのエッセイを完成させる Word Skills or How English Works	...

	(Draft/Peer Correction/Final)		
関連科目	グラマー、スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション		
教科書	番号	書籍名	著者名
	1	The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test	西谷 恒志
	2		
	3		
参考書	番号	書籍名	著者名
	1		
	2		
	3		
評価方法 (基準)	70% Reports (7 reports) 20% Participation 10% 共通単語試験 Standardized Vocabulary Test		
学生への メッセージ	Learn writing by making mistakes, correcting them, and remembering the corrections.		
担当者の 研究室等	7号館2階 (非常勤講師室)		
備考			

科目名	ライティング b	科目名 (英文)	Writing b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ダニエル マリンズ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英語コミュニケーション 【教員免許状取得のための履修区分】必修	

授業概要・目的	Writing b provides detailed instruction in the skills necessary for producing effective college level sentences, paragraphs and short essays. 具体的な場面と相手を想定した英語の文章を書く練習を行う。パラグラフ・ライティングの力を養う。
到達目標	Students will be expected to write paying attention to the reduction of significant grammar errors and to increase their level of sophistication in vocabulary and ideas appropriate for educated writers of English.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	...

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises: 理由	Individual Task, Pair Work or Group Work: 理由を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises: 分析	Individual Task, Pair Work or Group Work: データ分析の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises: 証明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 証明する際の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises: 意見	Individual Task, Pair Work or Group Work: 意見を述べる表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises: 比較	Individual Task, Pair Work or Group Work: 比較する際の表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises: 分類	Individual Task, Pair Work or Group Work: 分類表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises: 指示	Individual Task, Pair Work or Group Work: 指示をする表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises: 因果関係	Individual Task, Pair Work or Group Work: 原因と結果を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises: 手順	Individual Task, Pair Work or Group Work: 手順を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises: 説明	Individual Task, Pair Work or Group Work: 説明表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises: 定義	Individual Task, Pair Work or Group Work: 定義を表す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises: データ	Individual Task, Pair Work or Group Work: データを示す表現を中心に	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises: エッセイライティング課題	Individual Task, Pair Work or Group Work: これまで学んださまざまな表現を入れたエッセイを書く	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review: エッセイライティング課題完成	Individual Task, Pair Work or Group Work: 一つのエッセイを完成させる	...

関連科目: グラマー, スキルズ トレーニング、イングリッシュ プレゼンテーション

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Writing to Learn The Paragraph (ISBN: 9780071188296)	L. and M. Spaventa	McGraw-Hill
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)
Writing assignment tasks・・・60%
Textbook exercises and weekly journal・・・40%

学生へのメッセージ
In order to pass this course, you must:
- attempt all assignments
- show evidence of prewriting and editing for each assignment
- obtain an average of at least 60% for your best three assignments
- not be absent for more than four lessons.

Please use lined, B5 looseleaf writing paper (in a slim binder) for all notes and assignments.

N.B.: Absence is not an excuse for incomplete homework tasks. Ask a classmate or email the instructor for homework details.

担当者の研究室等
Part-time faculty lounge, Bldg. 7, 2F

備考

科目名	ラテンアメリカ史学	科目名(英文)	Latin-American History
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	篠原 愛人
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	【科目】教科に関する科目(中学校 社会) 【施行規則に定める科目区分】日本史及び外国史 【教員免許状取得のための履修区分】選択 【科目】教科に関する科目(高等学校 地理歴史) 【施行規則に定める科目区分】外国史 【教員免許状取得のための履修区分】選択		

授業概要・目的	ラテンアメリカの歴史を、コロンブスとの接触以前、スペインによる征服・植民地時代、19世紀初頭の独立まで概観する。高校の世界史ではマヤ・アステカ・インカとスペインによる征服、独立がエピソード的に取り上げられるにすぎない分野である。しかし、現在の強国・大国中心の歴史でなく、500年以上も搾取されてきた国々の歴史を知り、そこから世界史を見直す作業も、今日のグローバリゼーションを考える上で欠かせない。複眼的視点で現代を捉えることができるようになれば、と願っている。
到達目標	先スペイン期のメソアメリカ文明の豊かさをメソアメリカ考古学の進展とともに把握する。 「アメリカ発見」の世界史的意味を理解する。
授業方法と留意点	講義形式。要点を板書するよう心がけるが、それだけに頼らずノート作りをすること。
科目学習の効果(資格)	言葉の背景にある文化・歴史を知り、異文化理解の一歩となる。

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション・先住民文化	ラテンアメリカとは何か。最初の人種・巨大な孤島 様々な文化圏・時代区分	配布プリント・ノートの整理
2	先住民文明(1):メソアメリカの誕生	メソアメリカの先古典期 メソアメリカの共通文化要素	教科書 第1章
3	先住民文明(2):古典期～後古典期(中央高原とマヤ地帯)	テオティワカン、トルテカ:ティカル、パレンケ、チチェンイツァなど	配布プリント・ノートの整理
4	先住民文明(3):接触期の先住民文明	アステカと後古典期マヤ	配布プリント・ノートの整理
5	先スペイン期のメソアメリカ	DVD	DVD レポート
6	確認テスト	先スペイン期メソアメリカについて学習した事項の確認	
7	大航海時代(1):14～15世紀のヨーロッパとポルトガルの海外発展	地球は皿状? 地球は丸い? なぜポルトガルはほかの国々より先に海外へ進出できたのか	教科書の関連ページ
8	大航海時代(2):コロンブスの航海とアメリカ・ヴェスプッチの航海	コロンブスは何を「発見」したのか	教科書の関連ページ 配布プリント・ノートの整理
9	先住民国家(アステカ、インカ)の征服	なぜ少数のスペイン人が先住民の大国家を征服できたのか?	教科書の関連ページ
10	植民地時代(1):先住民とスペイン人	インディアス論争:先住民は人間か?	教科書の関連ページ
11	植民地時代(2):もう一つの征服・精神的征服(1)	世俗と教会:なぜスペイン王室はキリスト教を布教したのか? 修道会と教区教会	教科書の関連ページ
12	植民地時代(3):もう一つの征服・精神的征服(2)	伝道は成果をあげたか? 先住民はキリスト教にどのような反応を示したか?	教科書の関連ページ
13	植民地時代(4):植民地時代の先住民	先住民人口の激減、混血化の過程、労働制度の変遷	教科書の関連ページ
14	植民地時代(5):17世紀のメキシコ	不況の世紀? 植民地の午睡? 自律へ?	教科書の関連ページ
15	総括	これまでの概観	配布プリント・ノートの整理

関連科目	現代ラテンアメリカ論、スペインの社会と文化、ラテンアメリカの社会と文化
------	-------------------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	ラテンアメリカの歴史 史料から読み解く植民地時代	染田秀藤/篠原愛人	世界思想社
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準)	毎回の質問表+レポート(教科書を使った課題を何度か出す)+テスト(中間テストと理解度確認テスト)
学生へのメッセージ	歴史を見れば、ラテンアメリカの500年は苦難の連続でした。今日の日本は比喩にならないくらい豊かで、恵まれています。その苦しいはずのラティノーのほうが底抜けに明るいのはなぜなのでしょう。
担当者の研究室等	7号館5階(篠原研究室)
備考	毎回、数枚のプリントを配布するので、専用のファイルを用意すること。

科目名	ラテンアメリカの社会と文化	科目名(英文)	Latin American Society and Culture
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	北條 ゆかり
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ラテンアメリカ地域研究のなかでとくに社会と文化に焦点をあて、通時的理解が得られるよう征服以前からの歴史を参照しつつ、当該地域における多民族・多文化社会の形成過程について知り、現代的課題が何かを理解する。この地域の総合的理解への出発点に立つことをめざす。
到達目標	大半の域内諸国がラテン系言語(スペイン語、ポルトガル語、フランス語)を公用語とするこの地域の歴史的形成過程を理解し、社会と文化の特質を知る。
授業方法と留意点	視聴覚教材を活用することで、広大かつ多様なラテンアメリカの実像を提示する。受講者は、先住民文明の特質を理解し、現代のラテンアメリカ社会の基本的構造要因となった植民地支配の歴史を知り、多様な現代社会の様態と文化の諸相を把握する。
科目学習の効果(資格)	ラテンアメリカというラテン系言語文化圏の一部を知ること、これまで主として英語圏を通じて漠然と理解しているつもりになっていた世界認識のあり方、さらに世界の多様性に気づき、より広い視野を持てるようになる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	地域の概要	ラテンアメリカの地理と自然 「ラテンアメリカ」という名称の由来	ラテンアメリカを成す独立国と非独立領を地図上で確認する
2	地域の歴史的成立過程1	先住民文明	メソアメリカと中央アンデスの先住民文明について配布資料を読んでおく
3	地域の歴史的成立過程2	征服前後の歴史、世界遺産	古代先住民文明の世界遺産のひとつを選び調べる
4	植民地時代の社会形成と文化変容	イベリア文化の浸透とメスティサヘ	16-18世紀のラテンアメリカ史を概観することで域内の社会・文化的共通性に着目する
5	独立運動から独立国家へ	独立によって社会はどのように変わったのか? 変わらなかった部分は何か? 独立国としての歩み	独立運動の指導者とりわけシモン・ボリーバルの、現代の地域統合概念につながる思想を知る
6	家族と家父長制	家族の史的展開と現代的諸相; コンバドラスゴなどのソーシャル・ネットワーク	19世紀から20世紀にかけてのラテンアメリカの近代史を、資料を通じて概観しておく
7	現代社会の特徴	農村社会と都市社会; 社会のインフォーマル・セクター(麻薬、移民)	映画およびドキュメンタリー作品の配布リストの中から1点を鑑賞し、レポートを書く
8	文化の諸相(1)	日常の中の信仰と祝祭	レポートの添削に対する応答
9	文化の諸相(2)	美術、映画作品にみる特質	映像や写真を通してできるかぎり多くの作品に触れる
10	文化の諸相(3)	ラテンアメリカの多様な音楽と三大要素; 食文化	演奏を聴き、レシピにしたがって料理を作ってみる
11	民主化達成への歩みと課題	軍事政権と内戦、人権侵害の実相、地域紛争と米国の関与、地域協力の進展、民政移管	20世紀の軍事政権
12	経済の現状と課題	経済開発の思想、経済格差と貧困問題、新自由主義政策	経済面の課題を探る
13	さまざまな社会運動	フェミニズム運動、市民運動、環境運動、先住民運動	社会運動の一例を調べる
14	移民がもたらす社会変容	対米移民のトランスナショナルリティ	参考文献を読み、映画作品を鑑賞する
15	まとめ	到達目標確認テストと解説	総復習、期末レポートへの取組み

関連科目	1年次「スペイン語圏概論」「エリアスタディーズ(ラテンアメリカ)」、2年次「ラテンアメリカ史学」「ラテンアメリカ文学」、3年次「現代ラテンアメリカ論」を段階的に履修することにより、ラテンアメリカを深く知ることができる。
------	---

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	プリント		
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	中間と期末のレポートおよび到達目標確認テスト
----------	------------------------

学生へのメッセージ	地理的に遠隔地にある国ぐにですが、とても魅力に溢れる不思議な世界です。そこへと分け入る楽しさを味わうと同時に、自分自身の日本人としてのものの見方を相対化してみるきっかけとなるでしょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館5階(北條研究室)
----------	--------------

備考	事前・事後学習に要する総時間数は約60時間を目安とする。
----	------------------------------

科目名	ラテンアメリカ文学	科目名(英文)	Latin-American Literature
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	森川 香織
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	19世紀になってラテンアメリカ諸国はスペインやポルトガルから独立。以後、文学の面でも独自の展開をしていく。やがて、20世紀後半、欧米の文学の行き詰まりもあって、ラテンアメリカ文学は世界的なブームを巻き起こす。この授業では、現代ラテンアメリカ文学を代表する作家とその作品を素材にして、ラテンアメリカ社会の抱える問題や人の生のありようを検討する。
到達目標	ラテンアメリカの主要な文学作品とそれらが書かれた時代背景に関する知識を身につける。
授業方法と留意点	視聴覚教材を随時利用し、受講者に問いかけながら進める。なお、単元の順序が変わることがある。
科目学習の効果(資格)	現代社会への理解が深まる

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	イントロダクション	講義の概要～ラテンアメリカの概略	ラテンアメリカ諸国の地理的な位置を確認する。
2	ラテンアメリカ文学に向けて	サルミエント『ファクンドー文明と野蛮』ほか	19世紀～20世紀初頭にかけての新旧大陸の動きを理解する。
3	モデルニスモの詩	ルベン・ダリオ『青』を読む	ラテンアメリカにおける詩の近代化運動。起りりとその後の動向を追う。
4	アルゼンチンの前衛運動	ボルヘス『プエノスアイレスの熱狂』ほか	アルゼンチンの前衛運動の起りりとその後の動向を追う。
5	詩人と亡命	パブロ・ネルーダ『マチュピチュの高み』ほか	波乱に富んだネルーダの生涯と作品への影響について考える。
6	メキシコ革命	フアン・ルルフォ『燃える平原』ほか	革命時のメキシコ農村部における過酷な生活を知る。
7	ペルーのインディヘニスモ文学	ホセ・マリア・アルゲダス『深い川』ほか	ペルー先住民の権利回復と擁護。インディヘニスモとは何かを学ぶ。
8	キューバ革命と作家たち	レイナルド・アレナス『夜になる前に』ほか	革命前後のキューバ社会と亡命作家たちの動向を探る。
9	“ブーム”の作家たち	カルペンティエル『失われた足跡』ほか	カリブ地域の歴史と“驚異的現実”を知る。
10	“ブーム”の作家たち	カルロス・フェンテス『アルテミオ・クルスの死』ほか	メキシコ革命の光と影について考える。
11	“ブーム”の作家たち	フリオ・コルタサル『占拠された屋敷』ほか	ラブラタ幻想文学の伝統と新しい動きを探る。
12	“ブーム”の作家たち	バルガス・リョサ『緑の家』ほか	ペルー社会の多面性を知る。
13	“ブーム”の作家たち	ガルシア・マルケス『百年の孤独』ほか	マコンドの町に象徴された新世界の歴史。“魔術的リアリズム”とは何か。
14	“ブーム”以後の作家たち	イサベル・アジェンデ『精霊たちの家』ほか	アジェンデ政権の転覆とピノチェット独裁政権下における人々の生活。新世代の作家たちの動向を探る。
15	現代ラテンアメリカ文学の理解	確認テスト	———

関連科目 「文学」という語の入っている講義

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	現代ラテンアメリカ文学併走	安藤哲行	松籟社
2	ラテンアメリカ十大小説	木村榮一	岩波新書
3	ラテンアメリカ文学案内ー文学の祭典	野谷文昭他	冬樹社

評価方法(基準)	レポートと確認テストをもとに総合的に判断。なお、レポートの要領については、1回目の授業で詳しく説明します。
学生へのメッセージ	初回の授業および各回に必要なテキストを指示、あるいはプリントを配布します。必ず読んで授業に参加すること。適正な人数であれば双方向性の授業になるので、積極的な発言を期待します。
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師控室)
備考	毎回配布するプリントはその回限りで、後日、配布することはない。

科目名	リーディング I a	科目名 (英文)	Reading Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	江戸 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	外国語学部の大学1年生が興味を持つべきトピックを扱った、さまざまな分野の英語のテキストを読む。大意をつかみながら、細かな情報も見落とさないように英語を読み、内容を理解していく。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。

授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
----------	--

科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検
--------------	-----------

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Review	Feedback session	...

関連科目	...
------	-----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	A Journey into English	小島章子, Daniel H. Lowit	朝日出版社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	1. 平常点 (予習、授業への参加、提出課題、小テスト) および復習テストから総合的に評価する。 2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。
-----------	--

学生へのメッセージ	英語の方は学習時間に比例して伸びてゆきます。根気よく辞書を引き、暗号を解読するつもりで、英文に取り組んでください。授業への積極的な参加を期待します。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	-----------------

備考	辞書を必ず持参すること。
----	--------------

科目名	リーディング I a	科目名 (英文)	Reading Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	イロ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	湊 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J[A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia、ボキャブラリー&文法 a

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	リーディング・コンパス	松尾 秀樹 / Stephen Edward Rife	三修社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	リーディング I a	科目名 (英文)	Reading Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ハニ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	西谷 継治
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia、ボキャブラリー&文法 a
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	How Culture Affects Communication	Paul Stapleton	金星堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	多読を通して英語に慣れながら、教科書を使って構文レベルから一つ一つを丁寧に検討し今後の語学学習のための基礎を固めます。また、音源を通して内容を復習することにより、発音とリスニングの力の強化にも繋がって行きます。決して量は多くはありませんが毎回、授業前にその日に読む範囲の予習をして来ることを望ましいと考えます。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 教科書で扱うテーマは、文化とコミュニケーションの関係です。言語は人間社会と独立して存在するものではないので、言語を学習するには対象言語の文化も知る必要があります。その意味でも、教科書の内容も必ず皆さんの今後の活躍に役立つものはずですよ。
----	--

科目名	リーディング I a	科目名 (英文)	Reading Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	ホへ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia、ボキャブラリー&文法 a

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
2			
3			

評価方法(基準) 平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。

学生へのメッセージ 英語の上達にはインプットが欠かせません。できるだけ多くの英語に触れてください。

担当者の研究室等 7号館4階 住吉研究室

備考 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
速読のための教材のほか、プリントなどを使用する。またスカイプを使用した教材を使用する(4回分 3200円)。詳しくは初回の授業で説明する。

科目名	リーディング I a	科目名 (英文)	Reading Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	トチ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia、ボキャブラリー&文法 a

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	What's Up? Intermediate 2013-14	Muroi Michiko	桐原書店
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準) 平常点(授業態度、小テスト、宿題、課題、出席等)と定期試験の成績を総合的に評価する。

学生へのメッセージ 頑張りましょう。

担当者の研究室等 7号館3階 田中健二研究室

備考 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	リーディング I a	科目名 (英文)	Reading Ia
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	リヌ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	瀧川 宏樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング a、スピーキング&ライティング Ia、ボキャブラリー&文法 a

番号	書籍名	著者名	出版社名
			開文社出版
1	Let's Enjoy SF Short-Shorts 超短編SFで楽しく学ぶ読解・英作文	Takako Takamoto / Hiroshi Ikezono	開文社出版
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	リーディング I b	科目名 (英文)	Reading I b
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	江戸 智美
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的 外国語学部の大学1年生が興味を持つべきトピックを扱った、さまざまな分野の英語のテキストを読む。大意をつかみながら、細かな情報も見落とさないように英語を読み、内容を理解していく。

到達目標 基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。

授業方法と留意点 Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.

科目学習の効果 (資格) TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and self introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Feedback session	...

関連科目 . . .

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	A Journey into English	小島章子, Daniel H. Lowit	朝日出版社
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準) 1. 平常点 (予習、授業への参加、提出課題、小テスト) および復習テストから総合的に評価する。
2. 授業態度に問題のある場合 (遅刻、居眠り、飲食、私語、携帯電話の使用など) は厳しく対処する。

学生へのメッセージ 英語の方は学習時間に比例して伸びてゆきます。根気よく辞書を引き、暗号を解読するつもりで、英文に取り組んでください。授業への積極的な参加を期待します。

担当者の研究室等 7号館2階 非常勤講師室

備考 辞書を必ず持参すること。

科目名	リーディング I b	科目名 (英文)	Reading Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	A B
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	湊 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング Ib、ボキャブラリー&グラマー b

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Cultural Portraits: Japan and the US	Justin Charlebois / Atsushi Sakuma	金星堂
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	リーディング I b	科目名 (英文)	Reading Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	C D
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	住吉 誠
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング Ib、ボキャブラリー&文法 b

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法(基準) 平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。

学生へのメッセージ 英語の上達にはインプットが欠かせません。できるだけ多くの英語に触れてください。

担当者の研究室等 7号館4階 住吉研究室

備考 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。
プリント教材を使用する。また別途速読のテキストを指定することがある。

科目名	リーディング I b	科目名 (英文)	Reading Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	田中 健二
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング Ib、ボキャブラリー&文法 b

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	What's Up? Intermediate 2014-15	Muroi Michiko	桐原書店
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準) 平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、出席等)と定期試験の成績を総合的に評価する。

学生へのメッセージ 頑張りましょう。

担当者の研究室等 7号館3階 田中健二研究室

備考 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	リーディング I b	科目名 (英文)	Reading Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	関 初海
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング Ib、ボキャブラリー&グラマー b

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Simply Shakespeare	Jim Knudsen, Takao Taguchi	南雲堂
2	Reading for Speed and Fluency 1 (特注品)	Paul Nation and Casey Malarcher	Compass Publishing
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準) 平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。

学生へのメッセージ

担当者の研究室等 7号館2階 非常勤講師室

備考 毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	リーディング I b	科目名 (英文)	Reading Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	瀧川 宏樹
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目 スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング Ib、ボキャブラリー&グラマー b

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	英語で学ぶ日本三選 Touring Japan in English	Toshiyuki Sakabe / Noriaki Okajima/William Noel	南雲堂
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。

科目名	リーディング I b	科目名 (英文)	Reading Ib
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	1年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	西谷 継治
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	平易な英文を速読するためのリーディングスキルを修得する。また同時に、難易度の高い英文を精読する活動も行う。
到達目標	CEFR-J [A2-1]を目標とし、平易な英語で書かれた日常生活に関するトピックや文化に関する説明文、短い物語文や新聞記事の中の重要な情報を理解できるようになる。難解な英語でも、辞書を用いながら必要な情報を探し、理解できるようになる。
授業方法と留意点	英文の読解速度の向上を念頭に置いた速読訓練(Timed-Reading)が中心となる。毎回の授業で、読解時間を測って速読し(目標 100WPM)、大量の英文をインプットする。精読活動では、辞書を用いながら丁寧に英文を読解する。文の構造などに気をつけながら読解し、パラグラフの展開や要旨を理解する。毎回の授業で、10分程度の多読活動も行う。必ず辞書を持参すること。
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson
	2	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	3	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	4	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	5	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	6	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	7	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	8	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	9	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	10	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	11	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	12	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	13	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	14	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson
	15	Exercises	Individual Task, Pair work, and group work	Students should study the content of the day's lesson

関連科目	スキルズトレーニング b、スピーキング&ライティング Ib、ボキャブラリー&グラマー b
------	--

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(授業態度、小テスト、宿題、提出物、多読活動等)と定期試験の成績を総合的に評価する。
----------	---

学生へのメッセージ	図書館やPCを使って日頃から英文に慣れ親しむよう心掛けてください
-----------	----------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	毎回の授業のための資料やテキストの読み込み、各担当者からの課題、発表やレポートの準備、宿題などに要する事前・事後学習総時間をおおよそ15時間程度とする。 ハンドアウトを配布する。
----	--

科目名	リーディングⅡ a	科目名 (英文)	Reading IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	S
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	リーディングⅡでは、リーディングⅠより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	英語で書かれた物語を通して、内容を効率的かつ効果的に理解するとともに、読んだ内容について語る事ができる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目	リーディングⅠ a・Ⅰ b
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	平常点 (60%) とレポート (40%) で評価する。
-----------	------------------------------

学生へのメッセージ	読んだ内容を語る事ができなければ、それは読んだことにならない。読んだらしゃべりましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階 天野研究室
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	リーディングⅡ a	科目名 (英文)	Reading IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	湊 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	リーディングⅡでは、リーディングⅠより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC, 英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	Writing a, b Speaking I, II
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Insights 2015	Junko Murao/ Akiko Miyama/ Yuya Koga/ Atushi Mukuhira/Tomoko Tsujimoto/Ashley Moore	金星堂
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	平常点 (小テスト・予習・課題提出・授業態度等) とまとめのテストによる総合評価。第1回目の授業でハンドアウトを配布し説明する。
-----------	--

学生へのメッセージ	マナーを守り、積極的、かつ集中して授業にのぞんでもらいたい。
-----------	--------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階非常勤講師室
----------	-------------

備考	
----	--

科目名	リーディングⅡ a	科目名 (英文)	Reading IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	松井 信義
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	リーディングⅡでは、リーディングⅠより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	読解力強化を中心とした総合的な英語力向上と、その結果としての英語資格試験等のスコアの向上

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation, translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	"Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should study the content of the day's lesson (1h)

関連科目

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Eye on America and Japan	ジョージ・トラスコット, 木村博 是 他	南雲堂
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	英英・英和・和英辞典		
2			
3			

評価方法 (基準)	期末試験 50% 小テスト 20% 多読レポート 20% 授業への参加度 10%
-----------	---

学生へのメッセージ
 There is no royal road to English learning. 英語学習に王道などありません。英語に触れる絶対的な量を増やさない限り、英語の力は絶対に伸びません。Slow and steady wins the race. (急がば回れ)を心に留め、ゆっくりでも着実に勉強を続けることです。そうすれば英語の力は必ず上達します。英語ができれば、単眼が複眼になります。TOEIC対策にも少し時間を割きます。自分なりの目標を立て頑張ってください・・・。

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	

科目名	リーディングⅡa	科目名(英文)	ReadingⅡa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	木村 ゆみ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	リーディングⅡでは、リーディングⅠより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC、英検

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Introduction of the course	Students should prepare for the next lesson. (1h)
2	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
3	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
4	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
5	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
6	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
7	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
8	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
9	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
10	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
11	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
12	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
13	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
14	Exercises	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
15	Review	Review of the lessons, Preparation for the final exam	Students should prepare for the final exam. (1h)

関連科目	
------	--

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Mystery Break	Atsuko Uemura/Irene Iwasaki	Cengage learning
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	臨時試験の合計、提出物、宿題等 60% 授業参加、アクティビティ等 30% 授業外読書点 10%
----------	--

学生へのメッセージ	授業以外でもたくさん英文に触れ、リーディングを楽しみ、リーディング力を伸ばして行きましょう。 授業は出席するだけでなく、積極的に参加してください。 授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用などは即減点となります。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	

科目名	リーディングⅡ a	科目名 (英文)	Reading IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	アレク ニール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	リーディングⅡでは、リーディングⅠより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。 Students will report to their team what basic ideas were in the reading.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1)
2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1)
15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目 リーディングⅠ a・Ⅰ b

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法 (基準)	40% Attendance, 30% participation, 30% end exam
学生へのメッセージ	指示された課題提出と授業中の演習に真剣に取り組んでください。
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	Handouts distributed in class

科目名	リーディングⅡ a	科目名 (英文)	Reading IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	けこ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジェフリー ベル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	リーディングⅡでは、リーディングⅠより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson (1h)
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目	リーディングⅠ a・&Ⅰ b
------	----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Reading Pass 1 Second Edition	Andrew E. Bennett	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Unit tests 3 x 25% Extensive Reading 25% Final marks will be valid only if all assessment components have been completed.
-----------	---

学生へのメッセージ	毎回授業に積極的に取り組むこと
-----------	-----------------

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	リーディングⅡ a	科目名 (英文)	Reading IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	さし
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ケント バーンハム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	リーディングⅡでは、リーディングⅠより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。 In this class you will read topics from around the world and across history. We will study the vocabulary, and work on understanding the reading and remembering details. This will be followed by discussion and a very short writing exercise.
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。 The aim of this course to to improve students reading comprehension, speed, vocabulary, and critical thinking.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction, Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Quiz and review	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	
	14	Exercises	Extensive reading	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目 リーディングⅠ a・Ⅰ b

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	What A World 1 Second Edition.	Milada Broukal	Pearson Longman
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Completion of class classs activities, in class, and answering of questios 50%. Positive participation, co-operation, following instructions and functioning in a class conducted in English. 15% 15% Adequate preperation for class. 20 % Class tests.
学生への メッセージ	Please prepare for class each week, bring your text books to class and put you telephones away. You must not be absent more than 3 times. More than 30 minuites late is concidered absent. Two times more than 10 minutes late counts as a absents. You will be rewarded for your efforts.
担当者の 研究室等	Part-time teachers room 7 building 2nd floor.
備考	

科目名	リーディングII a	科目名(英文)	Reading IIa
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	前期	授業担当者	ジェーン パーミンター
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	リーディングIIでは、リーディングIより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。 The goal of this class is to have students develop their reading fluency and comprehension, as well as to increase their vocabulary. Towards this goal, in addition to weekly reading exercises, students will learn different reading techniques, proper word usage and word construction. This class is taught in English.
---------	--

到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。 このクラスの最終目標は学生達の読む力と理解力を高めると同時に彼らの語彙力を増やすことにあります。目標達成の為、毎週行われる読解練習の他、生徒達はたくさんの読むテクニックや正しい英語表現の使い方、単語の変化などを学びます。
------	--

授業方法と留意点	このクラスは英語で行われます。 毎回の授業に必ず必要な物・教科書、辞書 出席率そして積極的な授業参加、発言、態度等を重要視する。
----------	--

科目学習の効果(資格)	読むスピードのUpと理解力、語彙力が高まる。
-------------	------------------------

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	オリエンテーション	オリエンテーション 紹介、授業の説明。	準備は必要ありません。
	2	Unit 1 Education Chapter 1 Late Start	Topic Preview; Vocabulary preview, Reading	教科書: pages 2 -5
	3	Unit 1 Education Chapter 1 Continued	Reading check; Vocabulary check; Using a/ an; Finding the main idea in a paragraph; discussion	教科書: pages 6 -8
	4	Unit 1 Education Chapter 2 First Write... It helps!	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 9 - 11
	5	Unit 1 Education Chapter 2 continued	Reading Check; Vocabulary Check; Finding causes and effects in reading activity; discussion	教科書: pages 13 - 15
	6	Unit 1 Education Chapter 3 Student Government	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 16 -19
	7	Unit 1 Education Chapter 3 continued	Reading Check; Vocabulary Check. preposition practice; Organising information to help understand reading in a new way; Discussion	教科書: pages 20 - 22
	8	Unit 1 Wrap Up Progress Quiz One	Vocabulary Review Vocabulary in Use Writing Quiz (handout)	教科書: pages 23 - 24
	9	Unit 2 Sociology Chapter 4 A strange Place to Live	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 26 - 29
	10	Unit 2 Sociology Chapter 4 continued	Reading Check; Vocabulary Check, Organising information to help understand the content; Discussion	教科書: pages 30 - 32
	11	Unit 2 Sociology Chapter 5 King Peggy	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 33 -36
	12	Unit 2 Sociology Chapter 5 continued	Reading Check; Vocabulary Check; Writing events in correct order; Discussion	教科書: pages 37 - 39
	13	Unit 2 Sociology Chapter 6 Quidditch: The World of Harry Potter comes to Life	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 40 - 43
	14	Chapter 6 Continued	Reading Check; Vocabulary Check; Scanning practice; Discussion Unit 2 Wrap up Quiz	教科書: pages 44 - 47
	15	まとめの確認テスト Units 1 and 2	まとめの確認テスト Units 1 and 2	Prepare for test.

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Read This Intro	Daphne Mackey	Cambridge
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
-----	----	-----	-----	------

	1	Students will use graded readers from the library.	Various	Oxford
	2			
	3			
評価方法 (基準)	クラスに積極的に参加すること 50% Class work 50% 期末テスト 30% Term test 30% 態度 20% Attitude 20%			
学生への メッセージ	クラス内においては出来る限り英語を話すように努力して下さい。話していると口から英語が出てくるようになります。 そしてミスを恐れず、わからないと言うことを恥ずかしながらどんどんと質問して下さい。			
担当者の 研究室等				
備考	テキストの予習復習などを含めて、事前事後学習の総時間を 15 時間程度とする。 毎回の授業に際し必ず辞書を持参すること。			

科目名	リーディングII b	科目名(英文)	Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	S
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	天野 貴史
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	リーディングIIでは、リーディングIより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	英語で書かれた物語を通して、内容を効率的かつ効果的に理解するとともに、読んだ内容について語る事ができる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC、英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目	リーディングI a・I b
------	---------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(60%)とレポート(40%)で評価する。
----------	--------------------------

学生へのメッセージ	読んだ内容を語る事ができなければ、それは読んだことにならない。読んだらしゃべりましょう。
-----------	--

担当者の研究室等	7号館3階 天野研究室
備考	

科目名	リーディングII b	科目名(英文)	Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	あい
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	湊 由紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	リーディングIIでは、リーディングIより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。 さまざまな分野の英語のテキストを読む。内容を効率的かつ効果的に理解するためのコミュニケーション能力の総合的向上を目指す。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	TOEIC, 英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	3	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	4	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	5	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	6	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	7	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	8	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	9	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	10	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	11	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	12	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	13	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	14	Exercises	Individual Task, Pair Work or Group Work	Students should study the vocabulary and grammar for the lesson (1h)
	15	Review	Individual task, pair work, and group work	...

関連科目	Writing a, b Speaking I, II
------	-----------------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Insights 2015	Junko Muraio/Akiko Miyama/Yuya Koga/Atsushi Mukuhira/Tomoko Tsujimoto/Ashley Moore	金星堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法(基準)	平常点(小テスト・予習・課題提出・授業態度等)とまとめのテストによる総合評価 詳しくは第1回目の授業でハンドアウトを配布し説明する。
----------	---

学生へのメッセージ	マナーを守り、積極的、かつ集中して授業にのぞんでもらいたい。
-----------	--------------------------------

担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師室
----------	--------------

備考	
----	--

科目名	リーディング II b	科目名 (英文)	Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	うえ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	松井 信義
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	リーディング II では、リーディング I より語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson (1h)
1	Introduction	Orientation, translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	"Individual Task, Pair Work or Group Work"	Students should review the content of the day's lesson (1h)

関連科目	リーディング IIa
------	------------

番号	書籍名	著者名	出版社名
			南雲堂
1	Eye on America and Japan	ジョージ・トラスコット, 木村博 是 他	南雲堂
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	英英・英和・和英辞典		
2			
3			

評価方法 (基準)	期末試験 50% 小テスト 20% 多読レポート 20% 授業への参加度 10%
-----------	---

学生へのメッセージ
 There is no royal road to English learning. 英語学習に王道などありません。英語に触れる絶対的な量を増やさない限り、英語の力は絶対に伸びません。Slow and steady wins the race. (急がば回れ) を心に留め、ゆっくりでも着実に勉強を続けることです。そうすれば英語の力は必ず上達します。英語ができれば、単眼が複眼になります。TOEIC 対策にも少し時間を割きます。自分なりの目標を立て頑張ってください・・・。

担当者の研究室等	7号館 2階 非常勤講師控室
----------	----------------

備考	
----	--

科目名	リーディングII b	科目名(英文)	Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	おか
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	木村 ゆみ
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	リーディングIIでは、リーディングIより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようにする。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果(資格)	The objective of this class is for students to improve their reading comprehension, as well as to increase their vocabulary.

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
2	Unit 11: Kawaii	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
3	Unit 11: Kawaii	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
4	Unit 12: Same-Sex Marriage	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
5	Unit 12: Same-Sex Marriage	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
6	Unit 13: Japan Dresses Casual	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
7	Unit 14: World Happiness	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
8	Unit 15: The Right to Die	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
9	Unit 16: Pet Cloning	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
10	Unit 17: Solt, Sugar, Fat	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
11	Unit 18: Artificial Insemination	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
12	Unit 19: Smoking	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
13	Unit 20: Photoshop Ads	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
14	Unit 21: Are Men Necessary	Grammar understanding, Passage reading, Vocabulary reinforcement	Students should review the day's lesson and prepare for the next lesson. (1h)
15	Review	Review of the lessons, Preparation for the final exam	Students should prepare for the final exam.

関連科目	なし
------	----

番号	書籍名	著者名	出版社名
1	Mystery Break	Atsuko Uemura/Irene Iwasaki	Cengage learning
2			
3			

番号	書籍名	著者名	出版社名
1			
2			
3			

評価方法(基準)	臨時試験の合計、提出物、宿題等 60% 授業参加、アクティビティー等 30% 授業外読書点 10%
----------	---

学生へのメッセージ	前期より、レベルアップした英文をさらに多く読んで、リーディング力をつけましょう。 授業は出席するだけでなく、積極的に参加してください。 授業中の居眠り、私語、携帯電話の使用などは即減点とします。
-----------	---

担当者の研究室等備考	7号館2階 非常勤講師控室
------------	---------------

科目名	リーディング II b	科目名 (英文)	Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	きく
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	アレク ニール
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	リーディング II では、リーディング I より語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。 Students will report to their team what basic ideas were in the reading.
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目	リーディング I a・I b
------	----------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	40% Attendance, 30% participation, 30% end exam
学生へのメッセージ	指示された課題提出と授業中の演習に真剣に取り組んでください。
担当者の研究室等	7号館2階 非常勤講師控室
備考	Handouts distributed in class

科目名	リーディング II b	科目名 (英文)	Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	けこ
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェフリー ベル
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	リーディング II では、リーディング I より語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検

回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
			Students should study the content of the day's lesson (1h)
1	Introduction	Orientation and Self-Introduction	Students should study the content of the day's lesson (1h)
2	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
3	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
4	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
5	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
6	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
7	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
8	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
9	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
10	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
11	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
12	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
13	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
14	Exercises	Translation and group work	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...

関連科目	リーディング I a・& I b
------	------------------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Reading Pass 1 Second Edition	Andrew E. Bennett	南雲堂
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Unit tests 3 x 25% Extensive Reading 25% Final marks will be valid only if all assessment components have been completed.
-----------	---

学生へのメッセージ	毎回授業に積極的に取り組むこと
-----------	-----------------

担当者の研究室等	7号館 2階 非常勤講師室
----------	---------------

備考	
----	--

科目名	リーディング II b	科目名 (英文)	Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	さし
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ケラント バーンハム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目 (中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】 英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】 選択	

授業概要・目的	<p>リーディング II では、リーディング I より語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。</p> <p>In this class you will read topics from around the world and across history. We will study the vocabulary, and work on understanding the reading and remembering details. This will be followed by discussion and a very short writing exercise.</p> <p>The aim of this course is to improve students reading comprehension, speed, vocabulary, and critical thinking.</p>
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。
授業方法と留意点	Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
科目学習の効果 (資格)	TOEIC、英検

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	Introduction	Orientation and Self-Introduction, Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	2	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	3	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	4	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	5	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	6	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	7	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	8	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	9	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	10	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	11	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	12	Exercises	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	Students should study the content of the day's lesson (1h)
	13	Quiz and review	Reading, vocabulary, comprehension, discussion, critical thinking and writing	
	14	Exercises	Extensive reading	Students should study the content of the day's lesson (1h)
15	Review	Individual Task, Pair Work or Group Work	...	

関連科目 リーディング I a・I b IIa

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	What A World 1 Second Edition.	Milada Broukal	Pearson Longman
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	Completion of class classs activities, in class, and answering of questios 50%. Positive participation, co-operation, following instructions and functioning in a class conducted in English. 15% 15% Adequate preperation for class. 20 % Class tests.
学生への メッセージ	Please prepare for class each week, bring your text books to class and put you telephones away. You must not be absent more than 3 times. More than 30 minuites late is concidered absent. Two times more than 10 minutes late counts as a absents. You will be rewarded for your efforts.
担当者の 研究室等	Part-time teachers room 7 building 2nd floor.
備考	

科目名	リーディングII b	科目名(英文)	Reading IIb
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	再
単位数	1	履修区分	必修科目
学期	後期	授業担当者	ジェーン・バーミンガム
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等		【科目】教科に関する科目(中学校・高等学校 英語) 【施行規則に定める科目区分】英米文学 【教員免許状取得のための履修区分】選択	

授業概要・目的	リーディングIIでは、リーディングIより語彙数も多く、文章構造もやや複雑な英文を読む。ある程度長いまとまりをもつ英文を読みこなす力を育成するとともに、速読や多読を通してパラグラフリーディングなどの読解技術を学ぶ。 このクラスの最終目標は学生達の読む力と理解力を高めると同時に彼らの語彙力を増やすことにあります。目標達成の為、毎週行われる読解練習の他、生徒達はたくさんの読むテクニックや正しい英語表現の使い方、単語の変化などを学びます。このクラスは英語で行われます。
到達目標	基本的な語彙だけでなく、多少高度な語彙や表現、構文などを含んだ英文の内容を正確に読み取る力を養う。状況に応じて、大意をつかんだり、精読して情報を理解したりできるようになる。 The goal of this class is to have students develop their reading fluency and comprehension, as well as to increase their vocabulary. Towards this goal, in addition to weekly reading exercises, students will learn different reading techniques, proper word usage and word construction. This class is taught in English.
授業方法と留意点	毎回の授業に必ず必要な物・教科書、辞書 出席率そして積極的な授業参加、発言、態度等を重要視する。
科目学習の効果(資格)	読むスピードのUpと理解力、語彙力が高まる。

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	Unit 3 Chapter 7 Rescue in Chile	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 50 - 53
2	Unit 3 Chapter 7 Continued	Reading Check; Vocabulary Check; nouns and verbs which have the same form practise; Scanning practice; Discussion	教科書: pages 54 - 56
3	Unit 3 Chapter 8 Sleeping Beauty	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 57 -60
4	Unit 3 Chapter 8 Continued	Reading Check; Vocabulary Check; Finding main ideas and supporting details in the text; Discussion	教科書: pages 61 - 63
5	Unit 3 Chapter 9 Memory Palace	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 64 - 67
6	Unit 3 Chapter 9 Continued	Reading Check; Vocabulary Check; Understanding the order of events practice; Discussion; Unit 3 Wrap up Progress Quiz One (photocopy)	教科書: pages 68 - 72
7	Unit 4 Chapter 10 Farmville	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 74 - 77
8	Unit 4 Chapter 10 Continued	Reading Check; Vocabulary Check; finding nouns and verbs with the same form in the text; organising information - who? what? why?; Discussion	教科書: pages 78 - 80
9	Unit 4 Chapter 11 Guerilla Marketing	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 81 - 84
10	Unit 4 Chapter 11 Continued	Reading Check; Vocabulary Check; Asking and answering 'why' questions about a reading practice; Discussion.	教科書: pages 85 - 87
11	Unit 4 Chapter 12 The Land of Poyais	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 88 - 91
12	Unit 4 Chapter 12 Continued	Reading Check; Vocabulary Check; Discussion Unit 4 Wrap Up Progress Quiz Two (handout)	教科書: pages 92 - 96
13	Unit 5 Chapter 13 Mean Judges	Topic Preview; Vocabulary Preview; Reading	教科書: pages 98 - 101
14	Unit 5 Chapter 13 Continued	Reading Check; Vocabulary Check; Finding Main Ideas and supporting details practice; Discussion	教科書: pages 102 - 104
15	期末テスト Units 3 Chapter 7 - Unit 5 Chapter 13	期末テスト Unit 3 Chapter 7 - Unit 5 Chapter 13	Prepare for test.

関連科目	なし
------	----

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Read This Intro	Daphne Mackey	Cambridge
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	Graded Readers	Various	Oxford

	2			
	3			
評価方法 (基準)	クラスに積極的に参加すること 50% Class work 50% 期末テスト 30% Term test 30% 態度 20% Attitude 20%			
学生への メッセージ	クラス内においては出来る限り英語を話すように努力して下さい。話していると口から英語が出てくるようになります。 そしてミスを恐れず、わからないと言うことを恥ずかしがらずにどんどんと質問して下さい。			
担当者の 研究室等	7号館2階(非常勤講師室)			
備考	予習や復習、Graded Readers の読書などに費やす事前事後学習の総時間を15時間程度とする。 毎回の授業に際し必ず辞書を持参する事。			

科目名	旅行インドネシア・マレー語	科目名(英文)	Indonesian-Malayan Language for Travel
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	2年	クラス	
単位数	1	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	大坪 紀子
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	インドネシアやマレーシアへ実際に旅行に出かけることを想定し、さまざまな状況に応じた実践的なインドネシア語およびマレー語会話表現を学ぶことを目的とするが、今年度は旅先をスラバヤと設定した。 第8回から第10回ではスラバヤ発祥の芸能を取り上げる。そのうち第10回では Komedie Stamboel とともに英領マラヤの芸能 Bangsawan についても取り上げる。
到達目標	交通機関を利用する際の会話表現、緊急時の会話表現、買い物時の会話表現がスムーズにできるようになること。 訪問先の歴史や芸能に関する予備知識をある程度習得すること。
授業方法と留意点	場面ごとの表現について、「聴く・話す・読む・書く」の総合的能力を活かして授業を進める。随時、映像も使用する。本授業では、主にインドネシア語での表現を学ぶことにするが、必要があればマレー語での表現についても補足したい。
科目学習の効果(資格)	『インドネシア語技能検定』に役立つ

回数	授業テーマ	内容・方法等	事前・事後学習課題
1	プロローグ	授業の進め方や留意点、評価基準について説明を行なう。	_____
2	基本的な表現	旅行にも使える基本的な日常表現について、1年次で学んだことの復習も兼ねつつ習得する。	学習項目の復習
3	空港での表現(飛行機の搭乗など)	飛行機内をはじめイミグレーションや税関、両替所等での表現を習得する。	学習項目の復習
4	交通機関を利用する	タクシーやバスをはじめ、さまざまな交通機関を利用する際の表現を習得する。	学習項目の復習
5	スラバヤの地理・歴史①	スラバヤに関する日本語の案内書は少ない。インドネシア語で記述された案内書を講読し、スラバヤおよびスラバヤ近辺の地理と歴史を予習する。	学習項目の復習
6	スラバヤの地理・歴史②	インドネシア語で記述された案内書を講読し、スラバヤおよびスラバヤ近辺の地理と歴史を予習する。	学習項目の復習
7	復習と中間テスト	これまでに学習したことの再確認を行う。	これまでに学んだことの整理と復習
8	スラバヤからの芸能①	インドネシアのみならず世界的に伝説的存在として称賛されるガールズ・ロック・バンド Dara Puspita はスラバヤの出身である。Dara Puspita に関するインドネシア語文献を講読する。(映像も紹介する)	学習項目の予習
9	スラバヤからの芸能②	インドネシア各州と同様に、東ジャワ州の州都スラバヤにもアート・センターが存在する。スラバヤのアートセンターの名称となった Cak Durasim に関するインドネシア語文献を講読する。(芸能 Ludruk の映像も紹介する)	学習項目の予習
10	スラバヤからの芸能③	1891年にスラバヤで初演された芸能 Komedie Stamboel の発展とその影響を学ぶ。	学習項目の予習
11	宿泊施設を利用する	インドネシアにはホテルほかに、losmen という形態の宿泊施設がある。双方の宿泊施設でチェックインからチェックアウトまで過ごす際の会話表現を習得する。	学習項目の復習
12	レストラン、飲食店、屋台にて	さまざまな形態の飲食店を利用する際の会話表現を習得する。	学習項目の復習
13	観光をする。 買い物をする。	観光地を巡る際や訪れた時の会話表現とマナーを習得する。 買い物をする際の表現を習得する。	学習項目の復習
14	病気に罹ったときやトラブルに巻き込まれたときの表現	どのようなトラブルに遭遇し、どのような病気に罹り、どのような怪我を負う可能性があるかを想像してみる。そのうえで必要とされる会話表現を習得する。	学習項目の復習
15	まとめと理解度確認テスト	これまでに習得した表現を再確認する。	今までに学習したことの整理と復習

関連科目: インドネシア語・マレー語関係科目、東南アジア関係の講義科目、文化人類学。

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
2				
3				

評価方法 (基準)	授業への積極的な参加の度合い、中間テストおよび理解度確認テストの結果などをもとに総合的に評価する。 詳細は第1回目の授業で伝える。
学生への メッセージ	1年間のインドネシア語学習を通じて、単語力や文法の理解が深まったかと思われます。今後、旅先では会話を交わす機会が増えますが、その時に自己紹介だけでなく、「スラバヤにはこんな芸能があるそうですね」「スラバヤや東ジャワ州に美味しいものがあるそうですね」と一言添えるだけでも、飛躍的に会話が盛り上がり、インドネシアの人たちはいろんなことを教えてくれます。それは旅の楽しみの1つとも言えるでしょう。そのためにもこの授業でインドネシア語の表現能力と理解力を高めつつ、訪問先の地理や歴史、芸能といった知識も深めましょう。
担当者の 研究室等	7号館2階（非常勤講師室）
備考	

科目名	ロマンス語研究 I	科目名 (英文)	Studies of Romance Languages I
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	前期	授業担当者	柱本 元彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	イタリア語の入門。まったくのゼロからはじめる。イタリア語の全体像をイメージすることができるようになり、もっとも基本的な文法事項と表現を身につける。
到達目標	会話に必要なレベルのイタリア語文法を理解し、基本的な表現を身につける。
授業方法と留意点	スペイン語の知識も活用させながら教科書にしたがって進む。できれば AV 教材も利用したい。重要事項は授業中に理解するだけでなく記憶すること。
科目学習の効果 (資格)	イタリア語とスペイン語の類似点と相違点が分かりはじめる。

授業計画	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題
	1	イントロダクションと発音	イタリアとイタリア語の紹介	イタリア語とスペイン語の違い。教科書第一章
	2	発音	注意すべきイタリア語の発音	教科書第二章
	3	さまざまな会話表現	よく用いられるフレーズ	教科書第三章
	4	名詞・形容詞・冠詞	動詞以前の文法	教科書第四章
	5	名詞・形容詞・冠詞	動詞以前の文法その 2	教科書第四章
	6	are 動詞	一般動詞の基本形	教科書第五章
	7	are, ere, ire 動詞	一般動詞	教科書第五章
	8	are, ere, ire 動詞	一般動詞全般、その応用	教科書第五章
	9	essere と avere	基本の動詞	教科書第五章
	10	再帰動詞	再帰動詞の用法	教科書第五章
	11	近過去	過去の表現と過去分詞	教科書第六章
	12	半過去	イタリア語とスペイン語の過去表現の比較	教科書第六章
	13	ふたつの過去	近過去と半過去の用法	教科書第六課
	14	大過去と遠過去	過去時制のまとめ	教科書第六課
	15	まとめ	これまで学習した事柄をイタリア語文法全体のなかに位置づける	教科書第一章から第六章までの通読

関連科目	スペイン語
------	-------

教科書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1	はじめてのイタリア語	郡史郎	講談社
	2			
	3			

参考書	番号	書籍名	著者名	出版社名
	1			
	2			
	3			

評価方法 (基準)	基本的に定期試験の成績だが授業参加度も考慮する。
-----------	--------------------------

学生へのメッセージ	最低限記憶すべきことを授業中に練習して記憶しましょう。それができれば宿題はなし。できなければ次回までの宿題になります。
-----------	---

担当者の研究室等	7号館 2階 (非常勤講師室)
----------	-----------------

備考	
----	--

科目名	ロマンス語研究Ⅱ	科目名(英文)	Studies of Romance Languages II
学部	外国語学部	学科	外国語学科
配当年次	3年	クラス	
単位数	2	履修区分	選択科目
学期	後期	授業担当者	柱本 元彦
教育職員免許法施行規則に定める科目区分等			

授業概要・目的	ロマンス語研究Ⅰのつづき。イタリア語の初級文法をひとつおとり学習し、辞書さえあれば自分の力で進めるレベルに達する。ビデオ教材を多く利用する。																																																																
到達目標	言葉の運用、さまざまな表現を学ぶ。																																																																
授業方法と留意点	ロマンス語研究Ⅰの学習事項を習得していることが前提になる。AV教材を利用し、実際的な文章も読んでいきたい。																																																																
科目学習の効果(資格)	スペイン語の知識を活用してイタリア語がそれなりに理解できる。																																																																
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>授業テーマ</th> <th>内容・方法 等</th> <th>事前・事後学習課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>前期の復習</td><td>とりわけ補語人称代名詞と補助動詞</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>2</td><td>過去分詞</td><td>過去分詞の形と用法</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>3</td><td>近過去</td><td>近過去の形と用法</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>4</td><td>近過去と半過去</td><td>半過去の形と近過去・半過去の相違</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>5</td><td>近過去と半過去</td><td>半過去と近過去の用法</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>6</td><td>未来</td><td>単純未来の形と用法</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>7</td><td>命令法</td><td>命令法の形と用法</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>8</td><td>構文</td><td>関係詞と比較文</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>9</td><td>構文</td><td>ジェルンディオなど</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>10</td><td>時制</td><td>大過去、時制の一致</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>11</td><td>仮定文</td><td>条件法の形と用法、接続法の説明</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>12</td><td>接続法</td><td>接続法の形と用法</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>13</td><td>構文</td><td>受動態・非人称構文</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>14</td><td>遠過去</td><td>遠過去の形と用法</td><td>プリント配布</td></tr> <tr><td>15</td><td>総復習</td><td>イタリア語とスペイン語の比較</td><td>プリント配布</td></tr> </tbody> </table>	回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題	1	前期の復習	とりわけ補語人称代名詞と補助動詞	プリント配布	2	過去分詞	過去分詞の形と用法	プリント配布	3	近過去	近過去の形と用法	プリント配布	4	近過去と半過去	半過去の形と近過去・半過去の相違	プリント配布	5	近過去と半過去	半過去と近過去の用法	プリント配布	6	未来	単純未来の形と用法	プリント配布	7	命令法	命令法の形と用法	プリント配布	8	構文	関係詞と比較文	プリント配布	9	構文	ジェルンディオなど	プリント配布	10	時制	大過去、時制の一致	プリント配布	11	仮定文	条件法の形と用法、接続法の説明	プリント配布	12	接続法	接続法の形と用法	プリント配布	13	構文	受動態・非人称構文	プリント配布	14	遠過去	遠過去の形と用法	プリント配布	15	総復習	イタリア語とスペイン語の比較	プリント配布
回数	授業テーマ	内容・方法 等	事前・事後学習課題																																																														
1	前期の復習	とりわけ補語人称代名詞と補助動詞	プリント配布																																																														
2	過去分詞	過去分詞の形と用法	プリント配布																																																														
3	近過去	近過去の形と用法	プリント配布																																																														
4	近過去と半過去	半過去の形と近過去・半過去の相違	プリント配布																																																														
5	近過去と半過去	半過去と近過去の用法	プリント配布																																																														
6	未来	単純未来の形と用法	プリント配布																																																														
7	命令法	命令法の形と用法	プリント配布																																																														
8	構文	関係詞と比較文	プリント配布																																																														
9	構文	ジェルンディオなど	プリント配布																																																														
10	時制	大過去、時制の一致	プリント配布																																																														
11	仮定文	条件法の形と用法、接続法の説明	プリント配布																																																														
12	接続法	接続法の形と用法	プリント配布																																																														
13	構文	受動態・非人称構文	プリント配布																																																														
14	遠過去	遠過去の形と用法	プリント配布																																																														
15	総復習	イタリア語とスペイン語の比較	プリント配布																																																														
関連科目	スペイン語																																																																
教科書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
参考書	<table border="1"> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>書籍名</th> <th>著者名</th> <th>出版社名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>2</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>3</td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	番号	書籍名	著者名	出版社名	1				2				3																																																			
番号	書籍名	著者名	出版社名																																																														
1																																																																	
2																																																																	
3																																																																	
評価方法(基準)	授業参加度および定期試験																																																																
学生へのメッセージ	スペイン語の力がずいぶん役に立ちます。																																																																
担当者の研究室等	7号館2階(非常勤講師室)																																																																
備考																																																																	